令和６年度（2024 年度）

吹田市市政モニタリング調査報告書

令和７年（2025 年）３月

吹　田　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1

１　調査の目的 1
２　調査項目 1
３　調査対象 1
４　調査期間 1
５　調査方法 1
６　回収状況 1
７　調査結果の表示方法 2

Ⅱ　調査結果 3

１　標本構成 3
２　地域との関わりについて 15
第１章　男女共同参画センターについて 25
第２章　市民自治について 45
第３章　地域経済について 102
第４章　住みやすさについて 196
第５章　シティプロモーションの取組について 204
第６章　こども基本法などについて 238
第７章　こども食堂などについて 244
第８章　ヤングケアラーについて 254
第９章　減塩を意識した食生活について 269
第１０章　地球環境問題について 284
第１１章　下水道について 329
第１２章　庁舎案内について 341
第１３章　おくやみコーナーについて 348
第１４章　市政モニタリング調査について 350

Ⅲ　調査に対する意見・感想 356

Ⅳ　調査票 357

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

市民参画のまちづくりのため、市民の意見を伺うことにより、その声を市政に反映することを目的とする。

２　調査項目

居住地域、属性（性別、年齢、職業、通勤・通学地、年収、住宅の種類、世帯構成）、居住年数、直前の居住地、永住意識、ふるさと意識、男女共同参画センターについて、市民自治について、地域経済について、住みやすさについて、シティプロモーションの取組について、こども基本法などについて、こども食堂などについて、ヤングケアラーについて、減塩を意識した食生活について、地球環境問題について、下水道について、庁舎案内について、おくやみコーナーについて、市政モニタリング調査について、調査に対する意見・感想

３　調査対象

（１）調査地域：吹田市全域
（２）母集団　：令和６年(2024 年) 7 月 31 日現在、
　　18 歳以上の吹田市在住者 321,370 名
（３）計画標本：2,000 名
（４）抽出方法：層化系統無作為抽出法

４　調査期間

令和６年（2024 年）年９月２日（月）～９月 30 日（月）

５　調査方法

郵送配布（お礼状兼督促状を１回送付）、郵送回収と WEB 回収を併用

６　回収状況

（１）郵送調査回収票数　　739 件
（２）web 調査回収票数　　363 件
（３）無効票数　　0 件
（４）有効票数（率）　　1,102 件（55.1%）
（５）調査不能票数　　898 件

7　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・回答者数（各項目のｎ）が少ない設問については、誤差が大きく生じるため、参考結果としてご覧ください。
・入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　　で網かけをしています。

・一部の設問では、調査結果から期待値を算出しています。
例）ｎ数 50、０～３の４段階評価の質問で、下記のような回答結果の場合

回答内容	0	1	2	3	無回答
回答者数	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人
割合	20%	20%	20%	20%	20%

上記の結果より、無回答者の数を除いた数をｎ数とし、回答の割合を再度算出。

回答内容	0	1	2	3
回答者数	10 人	10 人	10 人	10 人
割合	25%	25%	25%	25%

期待値を算出する数式にあてはめると、下記のようになります。
０×0.25＋１×0.25＋２×0.25＋３×0.25=1.5

この場合、期待値が 1.5 となります。

※期待値とは…1 回の試行で得られる値の平均値のことで、得られうるすべての値とそれが起こる確率の積を足し合わせたものです。

Ⅱ　調査結果

１　標本構成

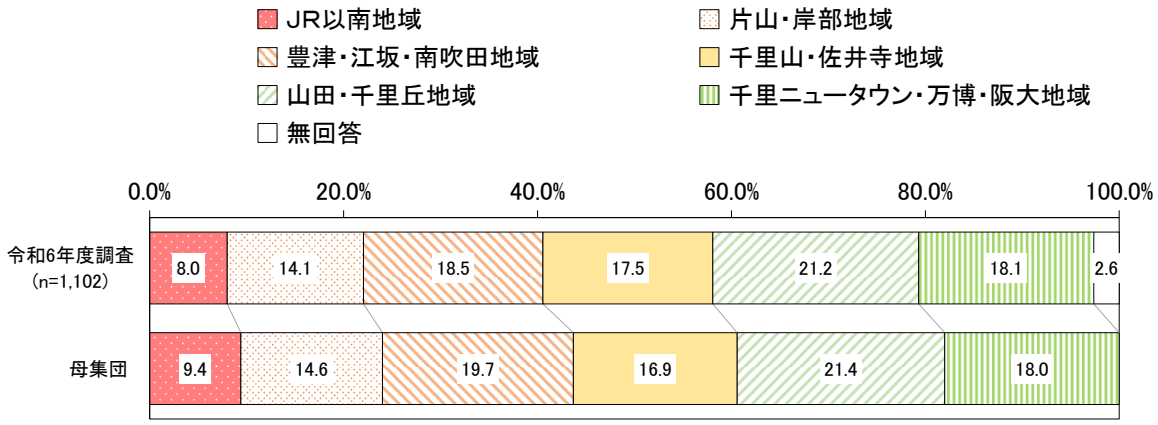
ここでは、回答者の基本属性について集計し、回収標本の特徴を示します。また、母集団（令和６年(2024 年) ７月 31 日現在）と比較可能な項目についても示しています。なお、無回答の算入や除外、四捨五入の処理などによって、百分率の合計が 100%にならない場合もあります。

（１）居住地域（問１）

「山田・千里丘地域」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「豊津・江坂・南吹田地域」の割合が 18.5%、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」の割合が 18.1%となっています。

母集団と比較すると、大きな違いはみられません。

図表１　居住地域（単純回答）

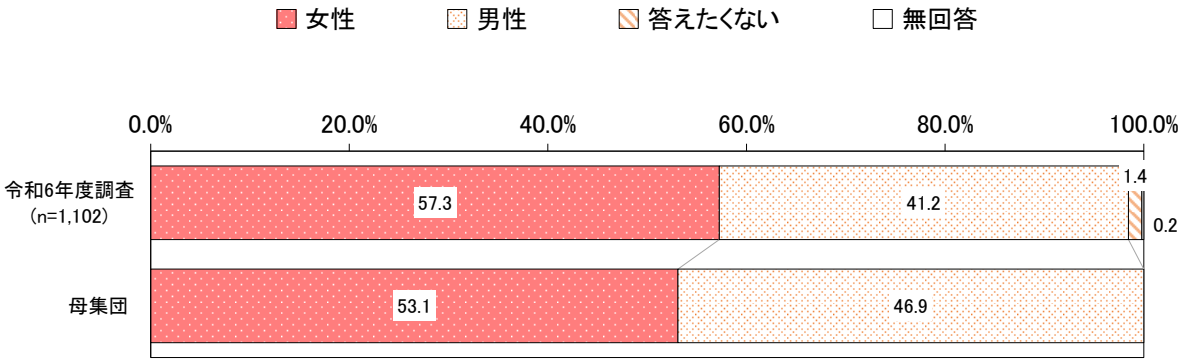


（２）性別（問２）

「女性」の割合が 57.3%、「男性」の割合が 41.2%となっており、「女性」が「男性」を 16.1 ポイント上回っています。

母集団をみると、「女性」の割合が 53.1%、「男性」の割合が 46.9%となっており、「女性」が「男性」を 6.2 ポイント上回っています。

図表２　回答者の性別（単純回答）



図表３　回答者の性別（居住地域別）

単位：%

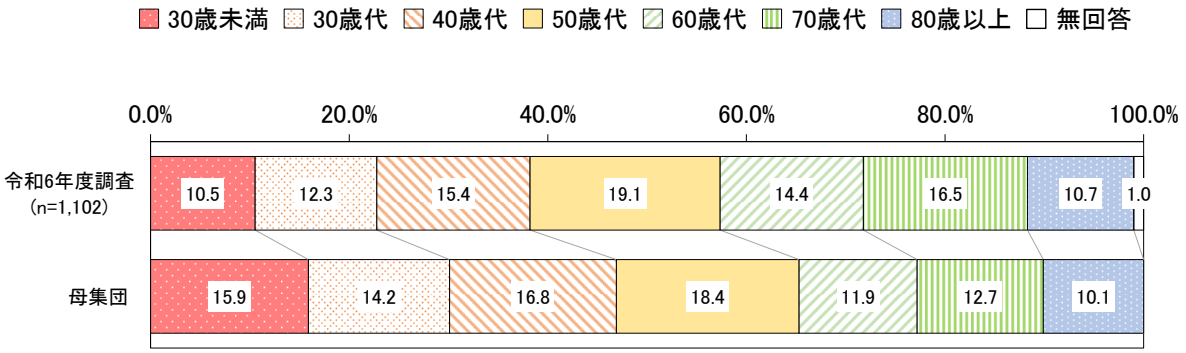
区分		有効回答数（件）	女性	男性	その他	無回答
全　体		1,102	57.3	41.2	1.4	0.2
母集団		321,370	53.1	46.9	－	－
居住地域別	JR以南	88	58.0	42.0	－	－
	片山・岸部	155	54.2	42.6	3.2	－
	豊津・江坂・南吹田	204	55.4	42.6	1.5	0.5
	千里山・佐井寺	193	58.0	40.9	1.0	－
	山田・千里丘	234	55.6	42.3	1.7	0.4
	千里NT・万博・阪大	199	60.3	39.2	0.5	－

（３）年齢層（問３）

「50 歳代」の割合が 19.1％と最も高く、次いで「70 歳代」の割合が 16.5％、「40 歳代」の割合が 15.4％となっています。

母集団と比較すると、「30 歳未満」の割合が少なくなっています。

図表４　回答者の年齢層（単純回答）



図表５　回答者の年齢層（居住地域別・性別）

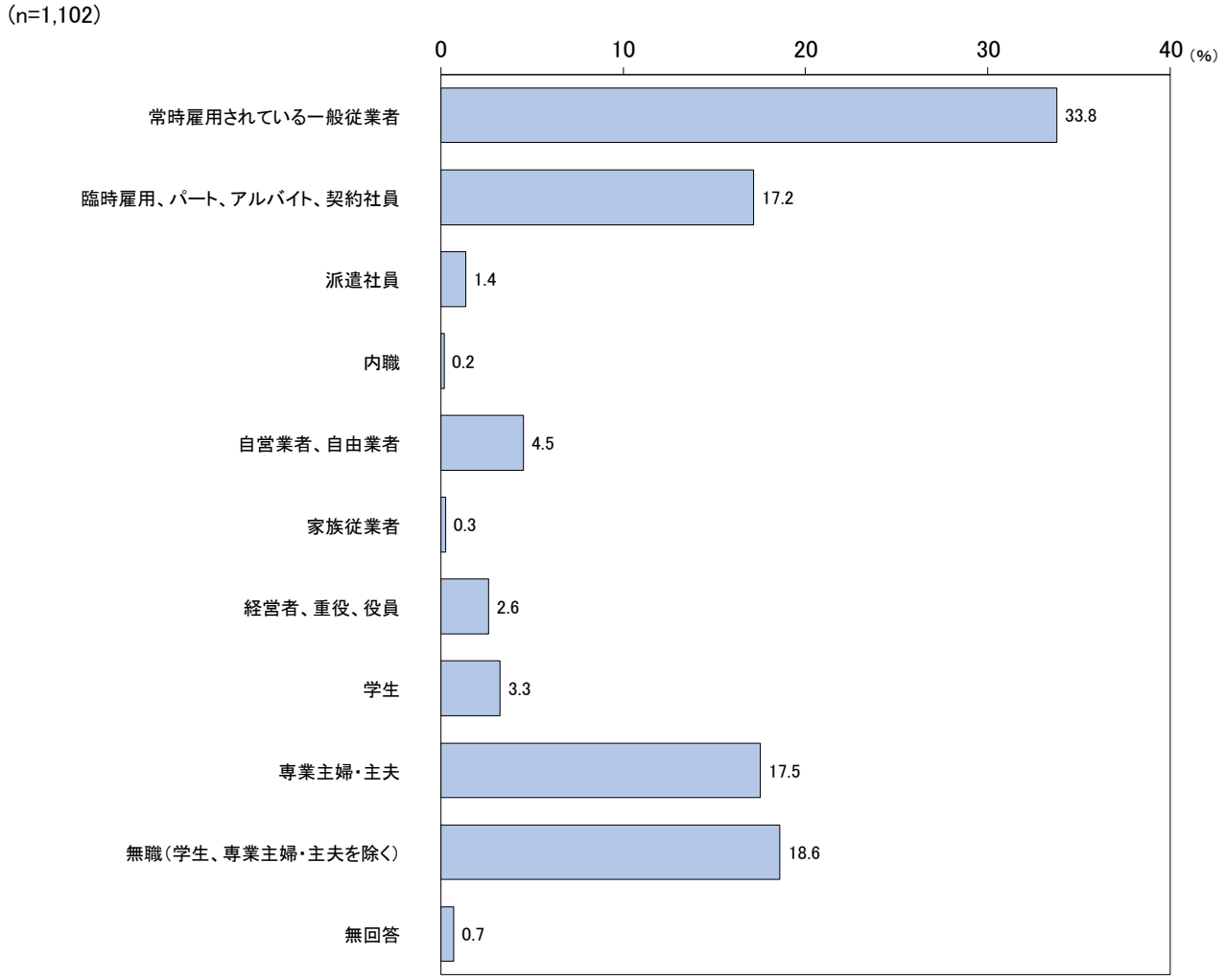
単位：％

区分		有効回答数（件）	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全　体		1,102	10.5	12.3	15.4	19.1	14.4	16.5	10.7	1.0
居住地域別	JR以南	88	9.1	17.0	9.1	22.7	9.1	18.2	14.8	－
	片山・岸部	155	11.6	10.3	16.1	20.6	15.5	12.9	11.6	1.3
	豊津・江坂・南吹田	204	16.7	19.6	17.2	19.1	10.8	11.3	3.9	1.5
	千里山・佐井寺	193	10.9	10.9	17.6	18.1	16.1	18.1	7.3	1.0
	山田・千里丘	234	9.8	8.1	16.7	18.4	17.5	18.8	10.3	0.4
	千里NT・万博・阪大	199	5.0	11.6	14.1	19.6	15.6	19.1	14.6	0.5
性別	女性	631	11.7	12.2	15.7	16.6	14.7	17.1	10.9	1.0
	男性	454	8.8	12.3	14.1	22.5	14.3	16.3	10.6	1.1
	答えたくない	15	13.3	13.3	40.0	26.7	6.7	－	－	－

（４）職業（問４）

「常時雇用されている一般従業者」の割合が 33.8％と最も高く、次いで「無職(学生、専業主婦・主夫を除く)」の割合が 18.6％、「専業主婦・主夫」の割合が 17.5％となっています。

図表６　回答者の職業（単純回答）



図表７　回答者の職業（居住地域別、性別、年齢別）

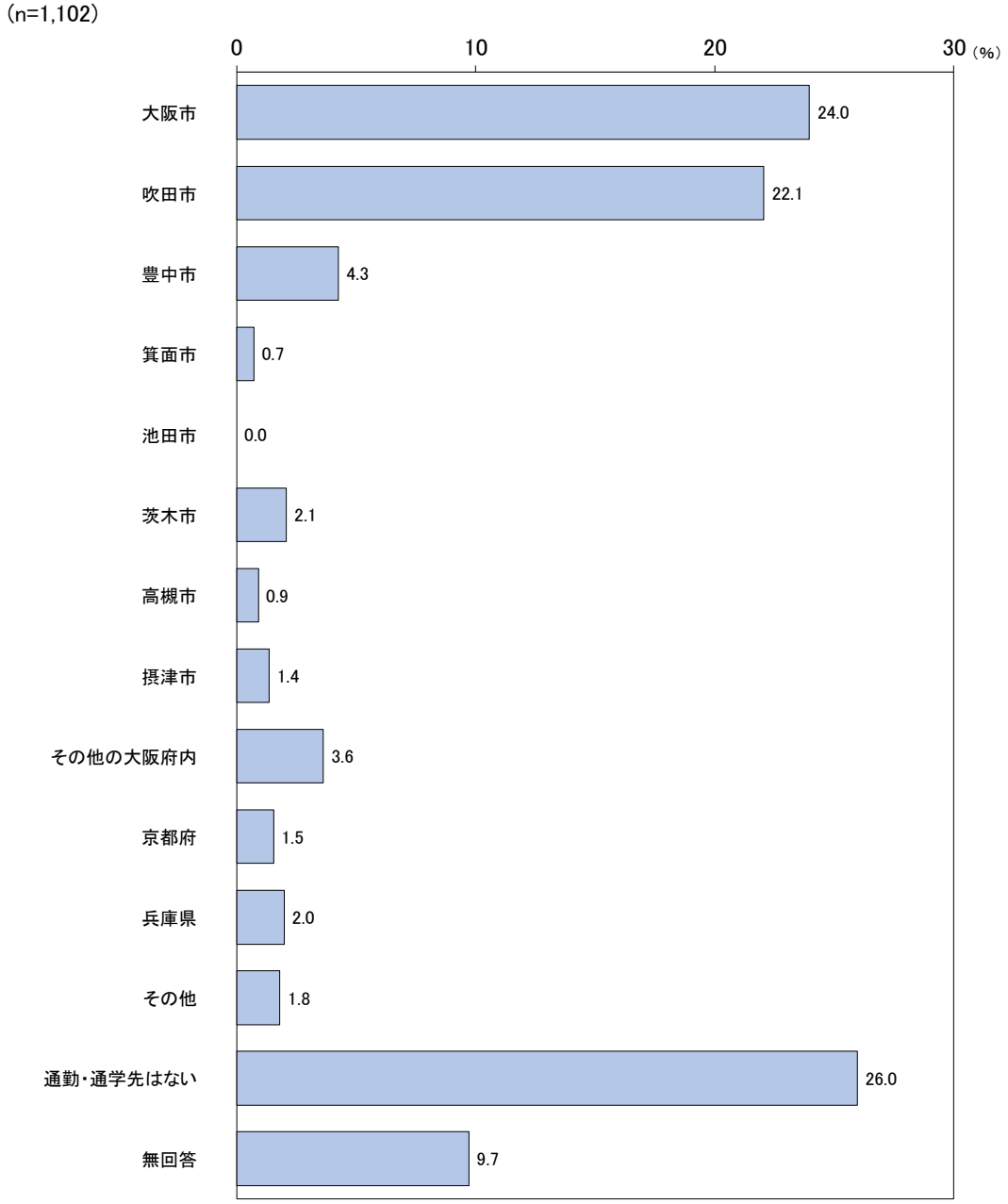
単位：％

区分		有効回答数（件）	常時雇用されている一般従業者	臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員	派遣社員	内職	自営業者、自由業者	家族従業者	経営者、重役、役員	学生	専業主婦・主夫	無職（学生、専業主婦・主夫を除く）	無回答
全　体		1,102	33.8	17.2	1.4	0.2	4.5	0.3	2.6	3.3	17.5	18.6	0.7
居住地域別	JR以南	88	40.9	14.8	3.4	－	3.4	－	－	－	21.6	14.8	1.1
	片山・岸部	155	32.3	23.2	0.6	－	4.5	0.6	3.2	6.5	11.0	16.8	1.3
	豊津・江坂・南吹田	204	43.6	16.2	2.9	0.5	3.9	1.0	2.9	2.9	10.8	14.7	0.5
	千里山・佐井寺	193	32.1	18.1	－	－	4.1	－	4.1	2.6	21.8	17.1	－
	山田・千里丘	234	31.2	14.5	1.7	0.4	5.6	－	2.1	4.3	17.9	21.4	0.9
	千里NT・万博・阪大	199	29.6	17.1	0.5	－	4.0	－	2.0	2.0	22.1	22.1	0.5
性別	女性	631	22.7	23.9	2.1	0.2	3.2	0.5	1.7	2.9	29.3	13.2	0.5
	男性	454	48.7	8.1	0.4	－	6.6	－	4.0	3.5	1.3	26.2	1.1
	答えたくない	15	46.7	6.7	－	6.7	－	－	－	13.3	13.3	13.3	－
年齢別	30 歳未満	116	45.7	12.9	2.6	－	4.3	－	0.9	30.2	1.7	1.7	－
	30 歳代	135	59.3	20.0	0.7	0.7	1.5	－	－	0.7	13.3	3.7	－
	40 歳代	170	53.5	23.5	1.8	－	2.9	－	2.9	－	11.2	4.1	－
	50 歳代	211	54.0	18.0	1.9	－	6.6	0.9	3.3	－	11.4	3.3	0.5
	60 歳代	159	20.8	27.0	1.9	0.6	5.7	0.6	5.0	－	18.2	20.1	－
	70 歳代	182	－	12.1	－	－	6.0	－	3.3	－	36.8	41.8	－
	80 歳以上	118	－	0.8	0.8	－	2.5	－	0.8	－	28.8	62.7	3.4

（５）通勤・通学地（問５）

「通勤・通学先はない」の割合が 26.0％と最も高く、次いで「大阪市」の割合が 24.0％、「吹田市」の割合が 22.1％となっています。

図表８　回答者の通勤・通学地（単純回答）



図表９　回答者の通勤・通学地（居住地域別・性別・年齢別・職業別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	大阪市	吹田市	通勤・通学先はない	無回答
全　体		1,102	24.0	22.1	26.0	9.7
居住地域別	JR以南	88	25.0	20.5	23.9	11.4
	片山・岸部	155	24.5	31.6	21.3	5.2
	豊津・江坂・南吹田	204	24.5	26.0	18.1	8.3
	千里山・佐井寺	193	31.1	19.7	28.0	10.4
	山田・千里丘	234	20.5	17.9	28.6	11.5
	千里NT・万博・阪大	199	22.6	17.1	35.2	7.5
性別	女性	631	19.3	26.0	29.6	12.0
	男性	454	30.0	16.3	21.1	6.4
	答えたくない	15	33.3	33.3	20.0	6.7
年齢別	30 歳未満	116	28.4	31.0	3.4	－
	30 歳代	135	39.3	20.0	15.6	1.5
	40 歳代	170	35.3	25.9	13.5	1.8
	50 歳代	211	31.3	26.1	12.8	3.8
	60 歳代	159	24.5	25.2	29.6	7.5
	70 歳代	182	5.5	13.2	54.4	23.1
	80 歳以上	118	0.8	11.9	54.2	31.4
職業別	常時雇用者	372	48.7	16.9	0.8	－
	臨時雇用者	189	25.4	54.5	0.5	－
	派遣社員	15	53.3	20.0	－	－
	内職	2	50.0	50.0	－	－
	自営業者、自由業者	50	14.0	68.0	4.0	2.0
	家族従業者	3	－	66.7	－	－
	経営者、重役、役員	29	31.0	27.6	－	6.9
	学生	36	22.2	25.0	－	－
	専業主婦・主夫	193	－	4.7	71.0	24.4
	無職	205	0.5	4.9	68.8	25.9

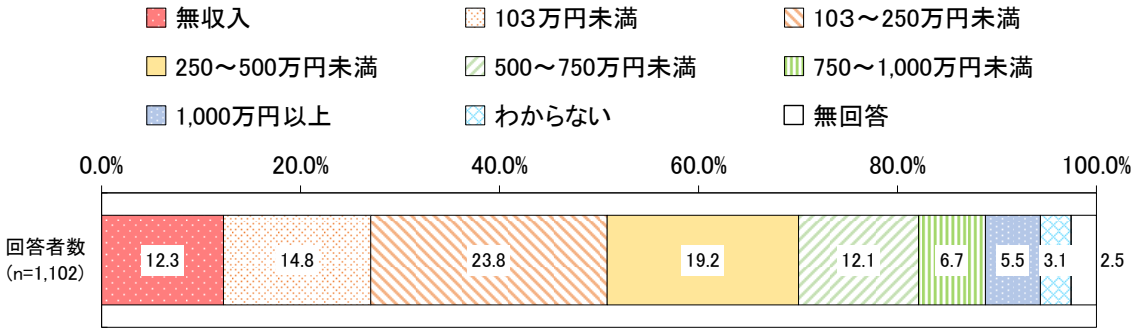
（６）年間収入（問６）

【回答者自身の年間収入】

「103～250 万円未満」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「250～500 万円未満」の割合が 19.2%、「103 万円未満」の割合が 14.8%となっています。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者自身の平均年間収入は 387.4 万円となります。

図表10　回答者自身の年間収入（単純回答）



注）加重平均値

○加重平均値は、値を単純に平均するのではなく、値の個数を加味して平均すること。

○各年収層の中間値と回答者数を掛け、収入総額を算出する。例えば、「103 万円未満」では、51.5 万円×163 人＝8,395 万円となる。

○全年収層の総収入額を回答者数で割った値が加重平均値となる。このケースでは、350,638 万円÷905 人＝387.4 万円となる。

○なお、「無回答」や「わからない」は計算から除かれている。

図表11　回答者自身の年間収入

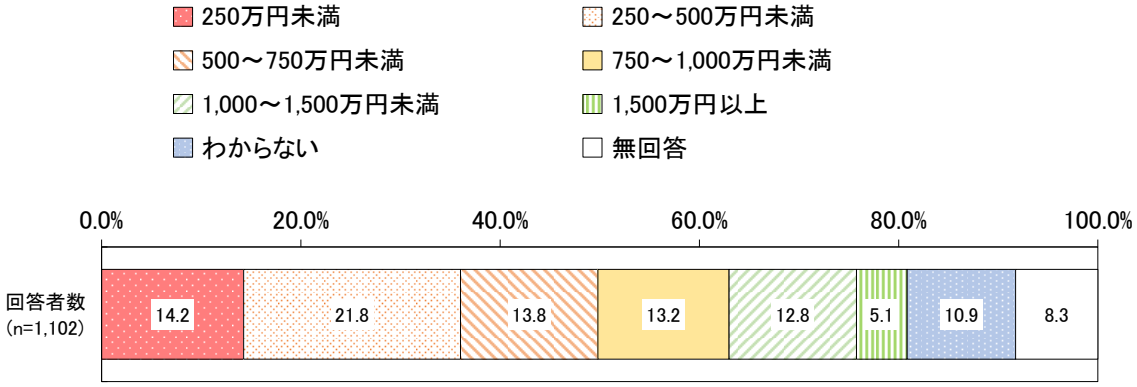
	回答者数	構成比（%）	中間値（万円）	収入総額（万円）
無収入	135	12.3	－	－
103 万円未満	163	14.8	51.5	8,395
103～250 万円未満	262	23.8	176.5	46,243
250～500 万円未満	212	19.2	375.0	79,500
500～750 万円未満	133	12.1	625.0	83,125
750～1,000 万円未満	74	6.7	875.0	64,750
1,000 万円以上	61	5.5	1,125.0	68,625
わからない	34	3.1	－	－
無回答	28	2.5	－	－
合計	1,102	100.0	－	－
有所得者数・収入総額	905	－	－	350,638
平均年間収入（加重平均値）	－	－	－	387.4

【回答者の世帯の年間収入】

「250～500 万円未満」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「250 万円未満」の割合が 14.2%、「500～750 万円未満」の割合が 13.8%となっています。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者の世帯の平均年間収入は 679.9 万円となります。

図表12　回答者の世帯の年間収入（単純回答）



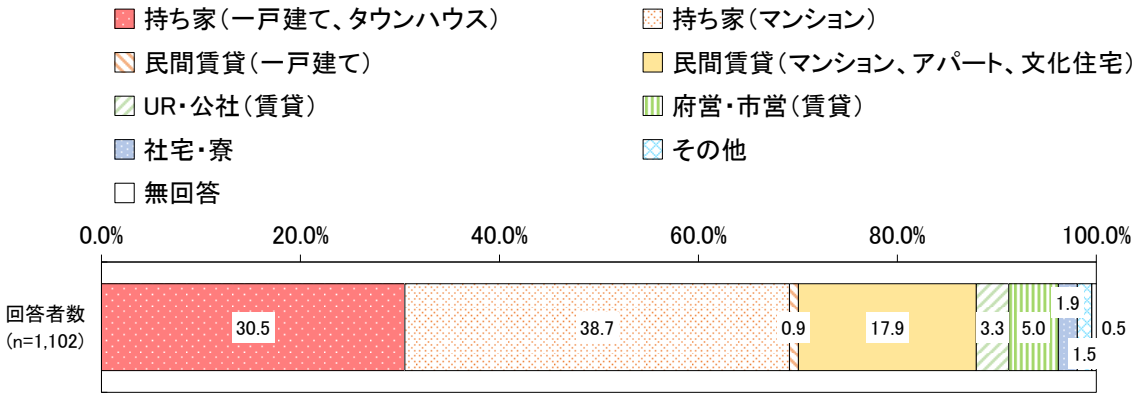
図表13　回答者の世帯の年間収入

	回答者数	構成比（%）	中間値（万円）	収入総額（万円）
250 万円未満	157	14.2	125.0	19,625
250～500 万円未満	240	21.8	375.0	90,000
500～750 万円未満	152	13.8	625.0	95,000
750～1,000 万円未満	145	13.2	875.0	126,875
1,000～1,500 万円未満	141	12.8	1250.0	176,250
1,500 万円以上	56	5.1	1,750.0	98,000
わからない	120	10.9	－	－
無回答	91	8.3	－	－
合計	1,102	100.0	－	－
有所得者数・収入総額	891	－	－	605,750
平均年間収入（加重平均値）	－	－	－	679.9

（７）住宅の種類（問７）

「持ち家（マンション）」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「持ち家（一戸建て、タウンハウス）」の割合が 30.5%、「民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）」の割合が 17.9%となっています。

図表14　回答者の住宅の種類（単純回答）



図表15　回答者の住宅の種類（居住地域別・性別・年齢別）

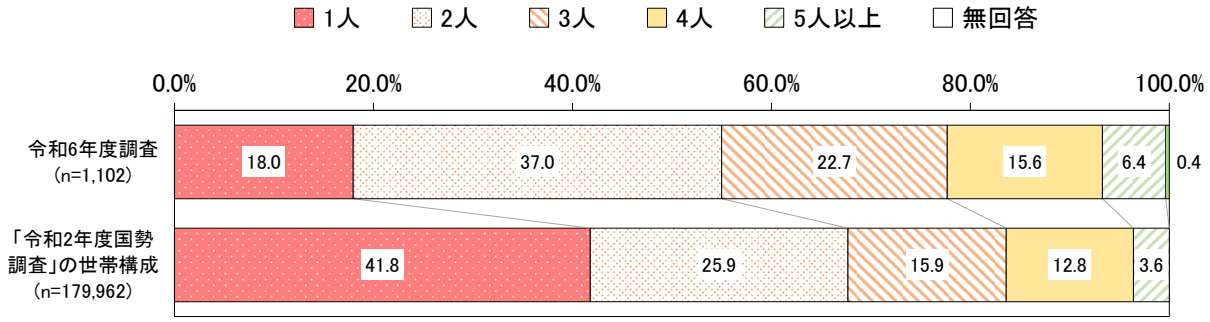
単位：%

区分		有効回答数（件）	持ち家（一戸建て、タウンハウス）	持ち家（マンション）	民間賃貸（一戸建て）	民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	UR・公社（賃貸）	府営・市営（賃貸）	社宅・寮	その他	無回答
全　体		1,102	30.5	38.7	0.9	17.9	3.3	5.0	1.9	1.5	0.5
居住地域別	JR以南	88	58.0	9.1	－	20.5	1.1	8.0	－	2.3	1.1
	片山・岸部	155	42.6	27.1	1.9	20.0	1.3	2.6	1.3	2.6	0.6
	豊津・江坂・南吹田	204	25.0	30.9	1.5	36.8	0.5	－	3.9	1.5	－
	千里山・佐井寺	193	37.3	34.7	1.0	19.2	2.6	－	3.1	1.6	0.5
	山田・千里丘	234	20.5	63.7	0.4	11.5	－	1.7	1.3	0.9	－
	千里NT・万博・阪大	199	18.6	44.2	0.5	3.0	13.1	19.6	0.5	0.5	－
性別	女性	631	30.4	38.4	1.1	17.6	3.5	5.2	1.1	2.1	0.6
	男性	454	31.3	38.5	0.7	17.6	3.1	4.8	3.1	0.7	0.2
	答えたくない	15	13.3	53.3	－	33.3	－	－	－	－	－
年齢別	30 歳未満	116	24.1	25.0	2.6	43.1	－	－	2.6	2.6	－
	30 歳代	135	20.0	31.9	－	38.5	1.5	3.7	3.0	0.7	0.7
	40 歳代	170	29.4	39.4	2.4	21.8	0.6	2.4	4.1	－	－
	50 歳代	211	29.4	45.0	1.4	12.3	4.3	3.8	2.4	1.4	－
	60 歳代	159	33.3	46.5	－	10.7	3.8	4.4	0.6	0.6	－
	70 歳代	182	39.6	41.8	－	2.2	5.5	9.3	－	1.1	0.5
	80 歳以上	118	35.6	34.7	－	5.9	5.9	11.9	－	5.1	0.8

（８）世帯構成（問８）

本調査の回答者の世帯人員は「１人」世帯が 18.0％であり、令和２年度の国勢調査での本市の「１人」世帯の割合（41.8%）の半数以下となっています。一方、「２人」世帯（37.0％）、「３人」世帯（22.7％）、「４人」世帯（15.6％）及び「５人以上」世帯（6.4％）は、本市の令和２年度の国勢調査による世帯構成を上回っています。

図表16　回答者の世帯人員



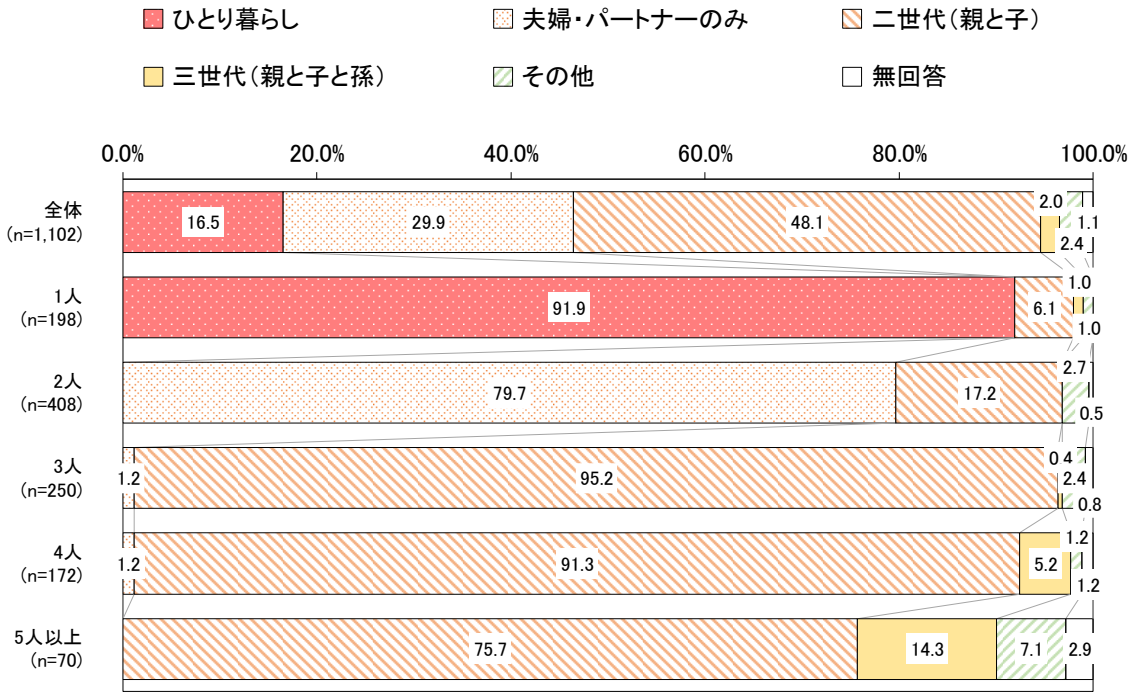
図表17　回答者の世帯人員

	アンケート調査		令和２年度国勢調査	
	回答者数	構成比（%）	世帯数	構成比（%）
１人	198	18.0	75,156	41.8
２人	408	37.0	46,696	25.9
３人	250	22.7	28,678	15.9
４人	172	15.6	23,040	12.8
５人以上	70	6.4	6,392	3.6
無回答	4	0.4	－	－
合計	1,102	100.0	179,962	100.0
世帯人員	3,217	－	379,876	－
１世帯当たり人員	2.93	－	2.11	－

回答者の家族構成は、「二世代（親と子）」の割合が 48.1％と最も高く、次いで「夫婦・パートナーのみ」の割合が 29.9％、「ひとり暮らし」の割合が 16.5％となっています。

世帯人員別でみると、２人世帯で「夫婦」の割合が 79.7％を占めており、３人世帯、４人世帯で「親子」の割合が 90％を超えています。また、５人以上世帯は「親子」が 75.7％を占めています。

図表18　回答者の家族構成

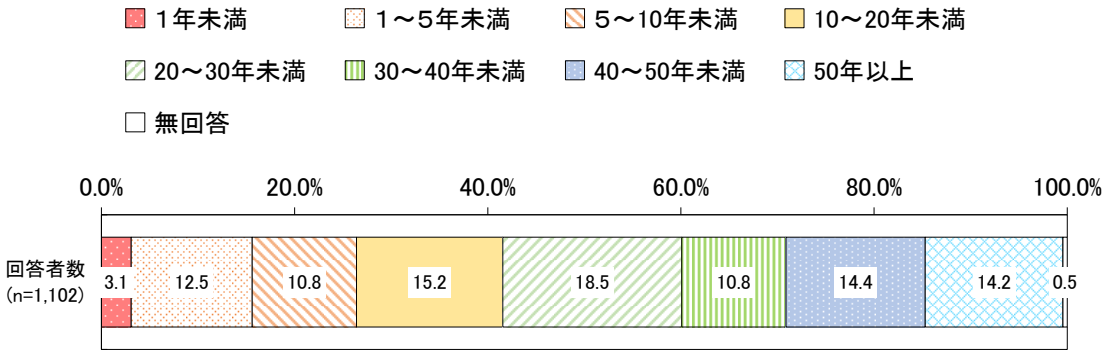


２　地域との関わりについて

（１）居住年数（問９）

「20～30 年未満」の割合が 18.5％と最も高く、次いで「10～20 年未満」の割合が 15.2％、「40～50 年未満」の割合が 14.4％となっています。

図表19　回答者の居住年数（単純回答）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「１～５年未満」の割合が最も高くなっています。40 歳代以上では、年齢層が上がるにつれて居住年数が長い傾向がうかがえます。

図表20　回答者の居住年数（居住地域別・性別・年齢別・職業別・居住形態別）

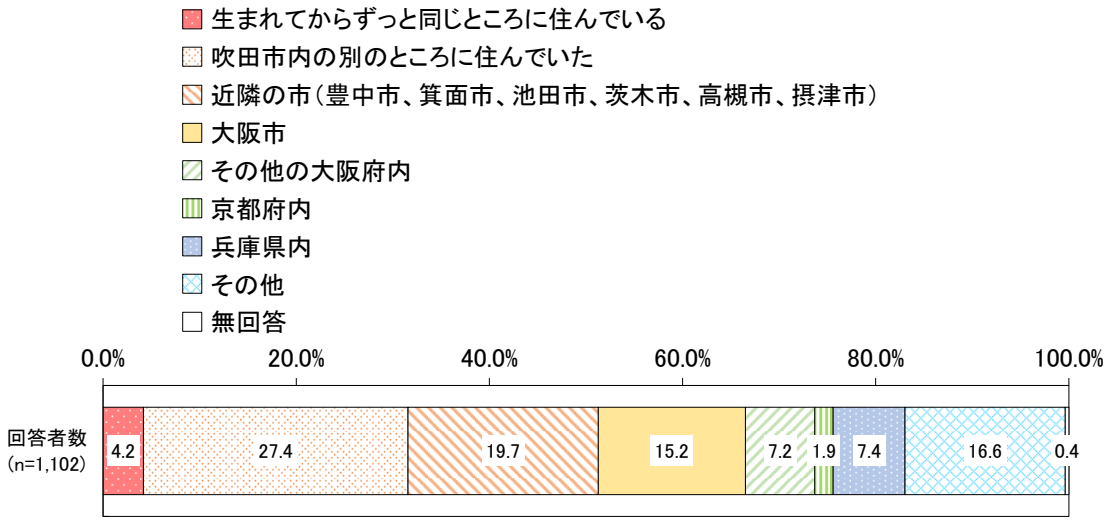
単位：％

区分		有効回答数（件）	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30～40年未満	40～50年未満	50年以上	無回答
今回調査		1,102	3.1	12.5	10.8	15.2	18.5	10.8	14.4	14.2	0.5
R2年度（2020年度）調査		1,353	3.8	11.2	10.6	18.5	15.4	13.4	14.3	11.8	1.0
H28年度（2016年度）調査		1,197	3.2	12.5	8.9	17.6	15.2	17.0	14.9	10.2	0.5
H24年度（2012年度）調査		1,092	3.5	10.5	10.9	17.1	15.5	19.7	13.2	8.6	1.0
居住地域別	JR以南	88	2.3	8.0	10.2	9.1	14.8	13.6	18.2	23.9	－
	片山・岸部	155	4.5	12.9	6.5	14.2	16.8	11.0	15.5	18.1	0.6
	豊津・江坂・南吹田	204	6.4	20.6	14.7	13.7	20.6	6.9	9.3	7.4	0.5
	千里山・佐井寺	193	2.6	11.9	11.9	16.6	16.6	9.8	15.5	15.0	－
	山田・千里丘	234	1.3	9.0	12.0	18.4	17.9	11.5	20.9	9.0	－
	千里NT・万博・阪大	199	2.0	11.1	8.5	16.1	22.6	14.1	9.0	16.1	0.5
性別	女性	631	3.3	12.4	11.3	15.1	18.1	10.6	16.0	13.0	0.3
	男性	454	2.9	12.8	10.1	15.2	18.9	11.2	11.9	16.3	0.7
	答えたくない	15	－	13.3	13.3	13.3	20.0	6.7	26.7	6.7	－
年齢別	30歳未満	116	10.3	24.1	6.0	16.4	43.1	－	－	－	－
	30歳代	135	7.4	32.6	31.9	8.1	6.7	12.6	－	－	0.7
	40歳代	170	2.4	15.9	18.2	33.5	9.4	4.7	15.3	－	0.6
	50歳代	211	0.5	8.1	8.1	22.7	28.4	11.4	10.9	10.0	－
	60歳代	159	1.3	4.4	7.5	13.2	20.8	23.9	13.2	15.7	－
	70歳代	182	1.6	4.9	3.8	3.3	12.6	12.6	34.1	26.9	－
	80歳以上	118	0.8	5.1	0.8	3.4	8.5	7.6	21.2	51.7	0.8
職業別	常時雇用者	372	4.3	19.9	15.3	19.4	19.6	9.7	7.0	4.6	0.3
	臨時雇用者	189	0.5	7.4	13.8	20.1	23.3	13.8	14.3	6.9	－
	派遣社員	15	33.3	20.0	20.0	－	13.3	6.7	6.7	－	－
	内職	2	－	－	50.0	－	－	－	50.0	－	－
	自営業者、自由業者	50	－	－	10.0	8.0	26.0	14.0	16.0	26.0	－
	家族従業者	3	－	－	－	－	66.7	－	－	33.3	－
	経営者、重役、役員	29	－	13.8	6.9	27.6	13.8	6.9	10.3	20.7	－
	学生	36	5.6	25.0	－	38.9	30.6	－	－	－	－
	専業主婦・主夫	193	2.6	7.3	10.4	11.4	14.5	9.3	20.7	23.8	－
	無職	205	2.0	9.8	2.4	4.4	13.2	13.7	24.9	28.8	1.0
居住形態別	持ち家（一戸建て）	336	1.5	2.7	7.4	14.3	22.3	9.8	18.2	23.5	0.3
	持ち家（マンション）	426	1.6	7.7	10.6	19.0	22.3	12.2	16.4	9.9	0.2
	民間賃貸（一戸建て）	10	10.0	10.0	10.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	－
	民間賃貸（マンション）	197	8.1	37.1	18.8	11.7	11.2	5.1	6.1	2.0	－
	UR・公社（賃貸）	36	－	5.6	8.3	16.7	8.3	25.0	13.9	22.2	－
	府営・市営（賃貸）	55	1.8	3.6	7.3	7.3	7.3	23.6	16.4	30.9	1.8
	社宅・寮	21	14.3	57.1	9.5	9.5	4.8	－	－	4.8	－
	その他	16	6.3	37.5	12.5	6.3	6.3	－	6.3	25.0	－

（２）直前の居住地（問 10）

「吹田市内の別のところに住んでいた」の割合が 27.4％と最も高く、次いで「近隣の市（豊中市、箕面市、池田市、茨木市、高槻市、摂津市）」の割合が 19.7％、「大阪市」の割合が 15.2％となっています。

図表21　回答者の直前の居住地（単純回答）



【その他の記述】（一部）

○東京都　　○神奈川県　　○千葉県
○愛知県　　○広島県　　○福岡県
○海外（タイ、ベトナム等）　　など

年齢別でみると、他に比べ、50 歳代、60 歳代、70 歳代は「吹田市内の別のところに住んでいた」の割合が 30％を超えています。

居住形態別でみると、「持ち家（一戸建て）」「持ち家（マンション）」「民間賃貸（一戸建て）」及び「ＵＲ・公社（賃貸）」では「吹田市内の別のところに住んでいた」が最も多く、「民間賃貸（マンション）」及び「社宅・寮」は「その他」が、「府営・市営（賃貸）」では「大阪市」が最も多く、居住形態によって差がみられます。

図表22　回答者の直前の居住地

（居住地域別・性別・年齢別・居住形態別・家族構成別・子供の有無別）

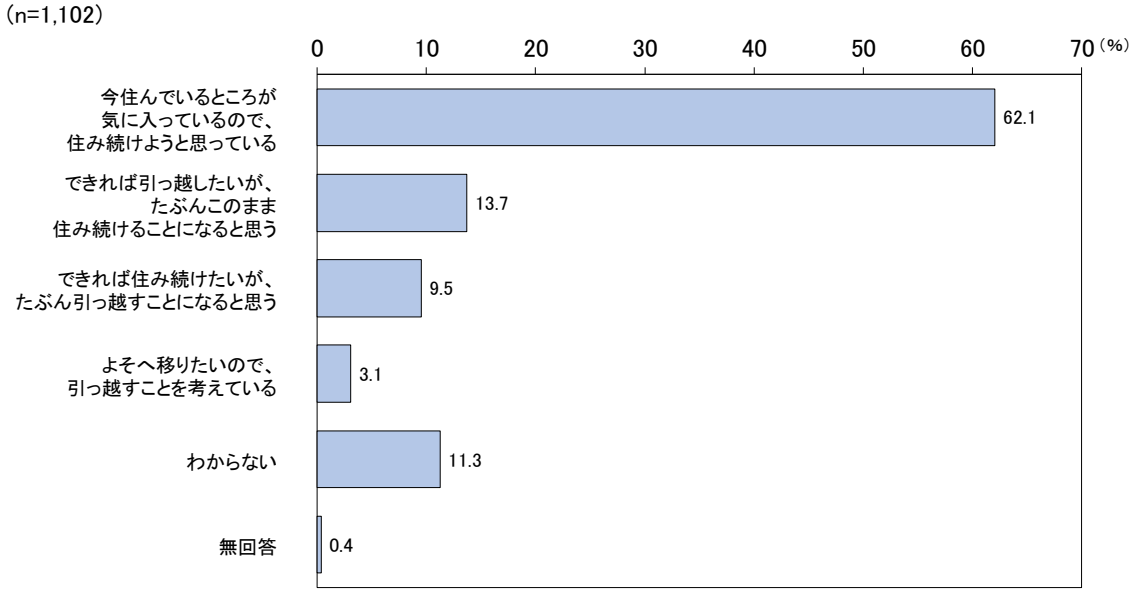
単位：％

区分		有効回答数（件）	生まれてからずっと同じところに住んでいる	吹田市内の別のところに住んでいた	近隣の市	大阪市	その他の大阪府内	京都府内	兵庫県内	その他	無回答
今回調査		1,102	4.2	27.4	19.7	15.2	7.2	1.9	7.4	16.6	0.4
R2年度（2020年度）調査		1,353	5.1	27.5	18.0	14.9	7.8	2.0	5.8	15.9	3.1
H28年度（2016年度）調査		1,197	3.6	31.8	18.1	13.2	8.2	2.2	5.6	16.7	0.6
H24年度（2012年度）調査		1,092	5.8	26.4	18.4	13.4	8.0	2.4	6.6	17.0	2.1
居住地域別	JR以南	88	9.1	30.7	19.3	14.8	5.7	1.1	8.0	11.4	－
	片山・岸部	155	4.5	32.3	15.5	14.2	5.2	2.6	3.2	21.3	1.3
	豊津・江坂・南吹田	204	3.9	21.6	14.7	16.7	9.8	3.9	7.4	22.1	－
	千里山・佐井寺	193	2.6	29.0	15.5	15.5	7.8	0.5	8.8	20.2	－
	山田・千里丘	234	4.7	26.9	23.5	11.5	6.8	1.7	8.5	16.2	－
	千里NT・万博・阪大	199	3.0	26.1	28.6	18.6	7.0	1.0	8.0	7.5	－
性別	女性	631	3.8	26.3	21.2	16.5	6.8	1.7	7.8	15.5	0.3
	男性	454	4.4	28.4	18.1	13.9	7.7	2.2	6.8	18.1	0.4
	答えたくない	15	13.3	40.0	6.7	6.7	－	－	13.3	20.0	－
年齢別	30歳未満	116	20.7	28.4	7.8	9.5	3.4	2.6	6.0	21.6	－
	30歳代	135	3.7	17.8	23.0	18.5	7.4	3.0	7.4	19.3	－
	40歳代	170	4.1	22.4	17.6	17.6	7.1	1.2	10.6	19.4	－
	50歳代	211	1.9	31.8	18.0	10.4	6.6	1.4	9.5	20.4	－
	60歳代	159	0.6	33.3	25.2	13.8	8.2	1.3	6.3	10.7	0.6
	70歳代	182	2.2	30.2	23.6	16.5	7.1	1.6	6.0	12.6	－
	80歳以上	118	0.8	25.4	19.5	23.7	10.2	3.4	5.1	11.0	0.8
居住形態別	持ち家（一戸建て）	336	6.3	32.4	17.9	16.4	6.0	2.1	7.4	11.6	－
	持ち家（マンション）	426	3.5	27.5	23.0	14.3	8.0	2.1	7.7	13.6	0.2
	民間賃貸（一戸建て）	10	10.0	40.0	10.0	10.0	－	－	10.0	20.0	－
	民間賃貸（マンション）	197	2.0	20.8	14.7	12.2	7.6	2.0	8.1	32.5	－
	UR・公社（賃貸）	36	－	38.9	25.0	8.3	13.9	2.8	8.3	2.8	－
	府営・市営（賃貸）	55	5.5	23.6	29.1	34.5	3.6	－	－	1.8	1.8
	社宅・寮	21	4.8	4.8	－	9.5	9.5	－	4.8	66.7	－
	その他	16	－	18.8	18.8	12.5	6.3	－	18.8	25.0	－
家族構成別	ひとり暮らし	182	2.7	18.7	27.5	11.0	9.3	1.6	5.5	23.6	－
	夫婦・パートナーのみ	330	1.2	30.3	17.6	16.7	8.2	2.7	6.7	16.4	0.3
	二世代（親と子）	530	6.4	28.1	18.7	15.7	6.0	1.5	8.1	15.3	0.2
	三世代（親と子と孫）	22	9.1	27.3	18.2	27.3	4.5	－	4.5	9.1	－
	その他	26	3.8	34.6	15.4	7.7	7.7	－	19.2	11.5	－
子	子供有	557	6.6	28.2	18.5	16.0	6.1	1.4	8.1	14.9	0.2
	子供無	533	1.7	26.5	21.0	14.4	8.4	2.3	6.8	18.8	0.2

（３）永住意識（問 11）

「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う」の割合が 13.7% 、「できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う」の割合が 9.5%となっています。

図表23　回答者の永住意識（単純回答）



年齢別でみると、「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」は「30 歳未満」が 33.6%であるのに対し、「80 歳以上」は 75.4%であり、年齢層が高くなるほど永住の傾向が強くなる傾向がうかがえます。

また、居住年数別でみると、どの居住年数においても「よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている」が 10%未満であり、吹田市の住みよさがうかがえます。

図表 24　回答者の永住意識

（居住地域別・性別・年齢別・居住形態別・家族構成別・子供の有無別・居住年数別）

単位：%

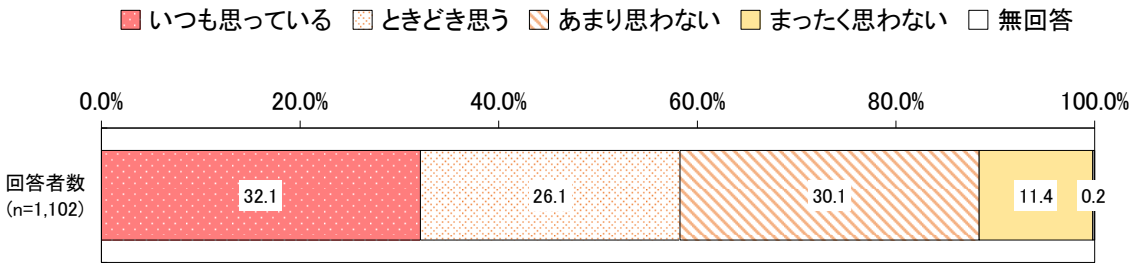
区分		有効回答数（件）	今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている	できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う	できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う	よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている	わからない	無回答
今回調査		1,102	62.1	13.7	9.5	3.1	11.3	0.4
R2年度（2020 年度）調査		1,353	61.7	10.8	9.7	3.9	12.9	1.0
H28 年度（2016 年度）調査		1,197	61.5	12.3	10.9	2.5	12.6	0.3
H24 年度（2012 年度）調査		1,092	57.1	13.2	11.8	3.3	12.8	1.8
居住地域別	JR以南	88	53.4	18.2	8.0	3.4	15.9	1.1
	片山・岸部	155	60.6	14.8	10.3	3.2	11.0	－
	豊津・江坂・南吹田	204	60.3	11.3	14.2	4.9	9.3	－
	千里山・佐井寺	193	60.1	15.5	10.4	2.6	10.9	0.5
	山田・千里丘	234	61.5	16.2	6.4	3.4	12.4	－
	千里NT・万博・阪大	199	72.4	9.5	9.0	1.5	7.5	－
性別	女性	631	61.5	14.4	9.0	3.0	11.6	0.5
	男性	454	63.7	12.6	10.1	3.1	10.4	0.2
	答えたくない	15	40.0	13.3	13.3	6.7	26.7	－
年齢別	30 歳未満	116	33.6	14.7	25.0	10.3	16.4	－
	30 歳代	135	50.4	15.6	16.3	5.9	11.9	－
	40 歳代	170	61.8	14.1	10.6	1.2	12.4	－
	50 歳代	211	65.9	12.8	5.7	2.8	12.8	－
	60 歳代	159	63.5	16.4	6.9	2.5	10.7	－
	70 歳代	182	75.3	9.3	6.0	1.1	7.1	1.1
	80 歳以上	118	75.4	15.3	1.7	－	5.9	1.7
居住形態別	持ち家（一戸建て）	336	70.5	11.6	5.7	0.6	11.0	0.6
	持ち家（マンション）	426	71.1	13.4	5.6	1.2	8.2	0.5
	民間賃貸（一戸建て）	10	30.0	－	50.0	－	20.0	－
	民間賃貸（マンション）	197	32.0	20.3	19.8	11.2	16.8	－
	UR・公社（賃貸）	36	52.8	19.4	13.9	5.6	8.3	－
	府営・市営（賃貸）	55	74.5	12.7	3.6	3.6	5.5	－
	社宅・寮	21	28.6	－	38.1	4.8	28.6	－
	その他	16	50.0	6.3	18.8	－	25.0	－

区分		有効回答数（件）	今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている	できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う	できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う	よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている	わからない	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	182	48.9	15.9	12.6	4.4	17.0	1.1
	夫婦・パートナーのみ	330	66.4	13.0	8.8	2.4	9.1	0.3
	二世代（親と子）	530	63.6	14.2	9.2	3.4	9.4	0.2
	三世代（親と子と孫）	22	72.7	9.1	4.5	－	13.6	－
	その他	26	69.2	3.8	7.7	－	19.2	－
子	子供有	557	63.7	13.8	9.2	3.2	9.9	0.2
	子供無	533	60.8	13.7	9.9	3.0	12.0	0.6
居住年数別	1年未満	34	44.1	8.8	23.5	8.8	14.7	－
	1～5年未満	138	44.9	14.5	17.4	5.1	18.1	－
	5～10 年未満	119	58.0	16.8	11.8	5.0	8.4	－
	10～20 年未満	167	62.9	10.2	9.0	3.0	15.0	－
	20～30 年未満	204	60.8	15.2	10.3	2.9	10.8	－
	30～40 年未満	119	58.0	17.6	10.1	1.7	10.9	1.7
	40～50 年未満	159	68.6	15.7	5.0	2.5	7.5	0.6
	50 年以上	157	80.9	8.9	1.9	0.6	7.0	0.6

（４）ふるさと意識（問 12）

「いつも思っている」の割合が 32.1％と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 30.1％、「ときどき思う」の割合が 26.1％となっています。

図表25　回答者のふるさと意識（単純回答）



居住年数別でみると、居住年数が長いほど、ふるさと意識が強くなる傾向がうかがえます。
令和２年度調査と比べると、大きな変化はみられません。

図表26　回答者のふるさと意識

（居住地域別・性別・年齢別・居住形態別・家族構成別・子供の有無別・居住年数別・永住意識別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	いつも思っている	ときどき思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
今回調査		1,102	32.1	26.1	30.1	11.4	0.2
R2年度（2020年度）調査		1,353	30.8	26.9	30.4	10.9	1.0
H28年度（2016年度）調査		1,197	31.5	27.1	29.6	11.4	0.5
H24年度（2012年度）調査		1,092	28.5	25.0	33.7	10.3	2.5
居住地域別	JR以南	88	39.8	25.0	23.9	11.4	－
	片山・岸部	155	35.5	23.9	31.6	9.0	－
	豊津・江坂・南吹田	204	22.5	26.0	37.3	14.2	－
	千里山・佐井寺	193	38.3	27.5	25.9	8.3	－
	山田・千里丘	234	30.8	23.9	29.5	15.8	－
	千里NT・万博・阪大	199	30.2	30.7	29.1	9.5	0.5
性別	女性	631	30.9	28.5	31.2	9.2	0.2
	男性	454	33.7	23.3	28.2	14.5	0.2
	答えたくない	15	33.3	13.3	40.0	13.3	－
年齢別	30歳未満	116	39.7	27.6	17.2	15.5	－
	30歳代	135	20.0	25.2	39.3	15.6	－
	40歳代	170	28.8	22.9	34.1	14.1	－
	50歳代	211	28.4	29.9	30.3	11.4	－
	60歳代	159	31.4	27.0	32.7	8.8	－
	70歳代	182	39.0	20.9	31.9	7.7	0.5
	80歳以上	118	39.8	30.5	22.0	7.6	－
居住形態別	持ち家（一戸建て）	336	46.1	22.9	24.4	6.5	－
	持ち家（マンション）	426	28.4	28.6	31.7	11.3	－
	民間賃貸（一戸建て）	10	40.0	20.0	30.0	10.0	－
	民間賃貸（マンション）	197	17.3	24.9	36.0	21.8	－
	UR・公社（賃貸）	36	33.3	36.1	25.0	5.6	－
	府営・市営（賃貸）	55	38.2	30.9	27.3	1.8	1.8
	社宅・寮	21	14.3	9.5	42.9	33.3	－
	その他	16	12.5	31.3	43.8	12.5	－

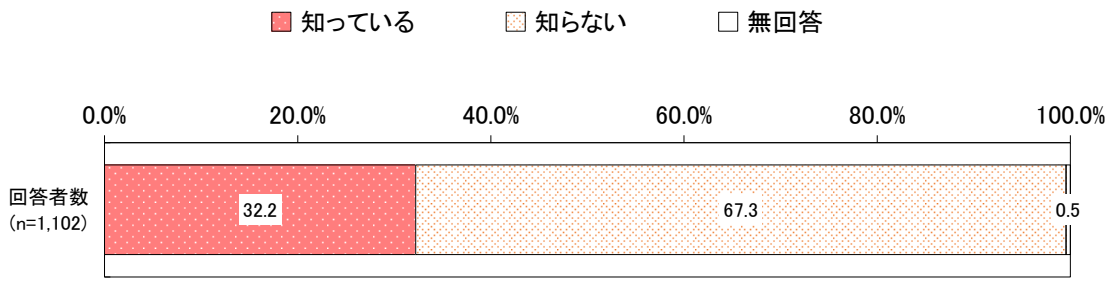
区分		有効回答数（件）	いつも思っている	ときどき思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	182	24.2	24.2	30.8	20.9	－
	夫婦・パートナーのみ	330	33.3	22.4	32.1	11.8	0.3
	二世代（親と子）	530	33.6	29.2	28.5	8.7	－
	三世代（親と子と孫）	22	36.4	31.8	27.3	4.5	－
	その他	26	42.3	11.5	42.3	3.8	－
子	子供有	557	33.6	29.1	28.9	8.4	－
	子供無	533	30.8	22.7	31.7	14.6	0.2
居住年数別	1年未満	34	5.9	11.8	44.1	38.2	－
	1～5年未満	138	6.5	17.4	42.0	34.1	－
	5～10 年未満	119	15.1	27.7	42.9	14.3	－
	10～20 年未満	167	25.1	32.3	32.3	10.2	－
	20～30 年未満	204	33.3	32.4	29.4	4.9	－
	30～40 年未満	119	35.3	24.4	31.1	9.2	－
	40～50 年未満	159	43.4	28.3	22.6	5.0	0.6
	50 年以上	157	65.6	19.7	12.7	1.9	－
永住意識別	住み続ける	684	39.2	27.6	26.6	6.4	0.1
	たぶん住み続ける	151	21.2	26.5	31.8	20.5	0.0
	たぶん引っ越す	105	26.7	23.8	33.3	16.2	0.0
	引っ越す	34	20.6	35.3	17.6	26.5	0.0
	わからない	124	14.5	16.1	48.4	20.2	0.8

第１章　男女共同参画センターについて

問 13　あなたは、センターの存在を知っていますか。（１つだけ○印）

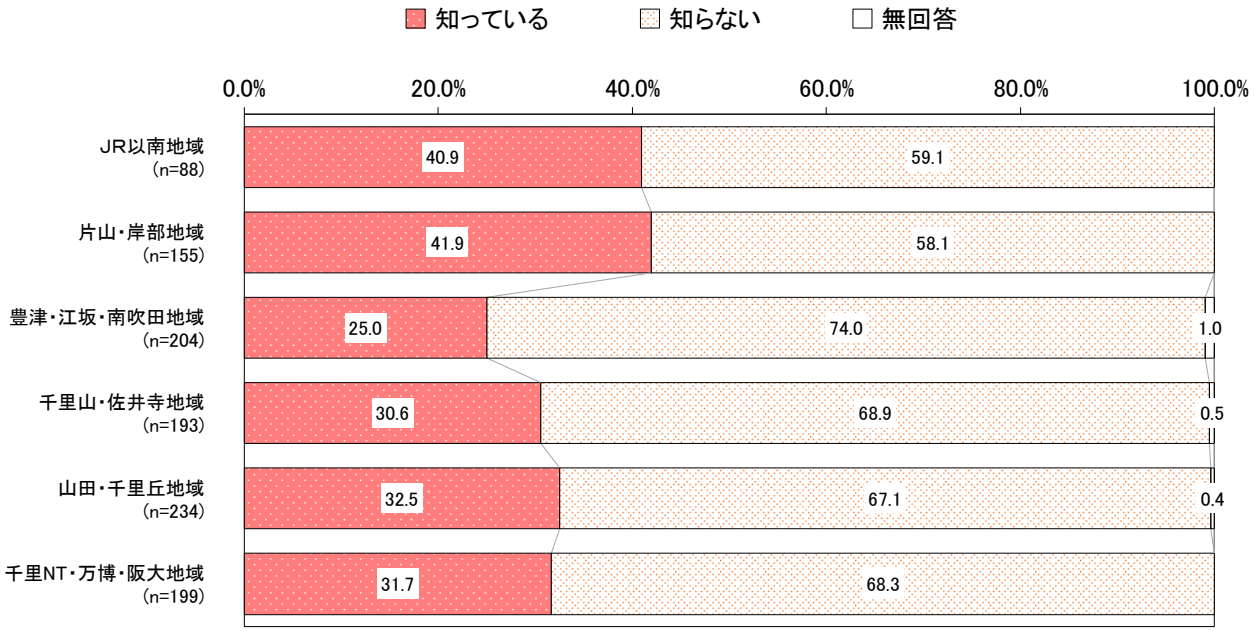
「知っている」が 32.2%、「知らない」が 67.3%でした。

図表１－１　男女共同参画センターの認知度（単純回答）



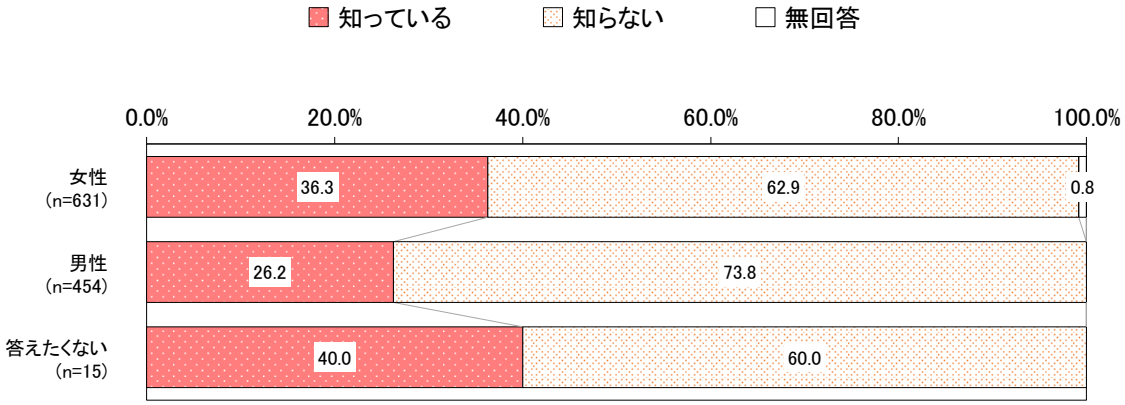
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表１－２　男女共同参画センターの認知度（居住地域別）



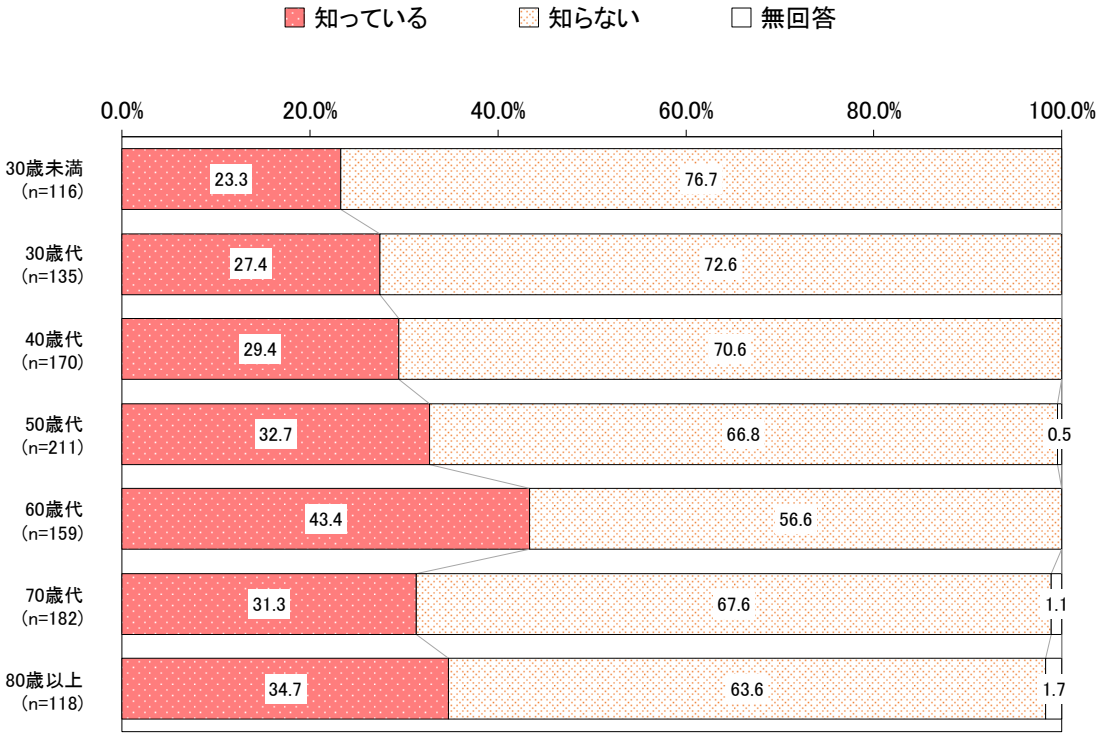
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表１－３　男女共同参画センターの認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、60 歳代で「知っている」の割合が最も高くなっています。

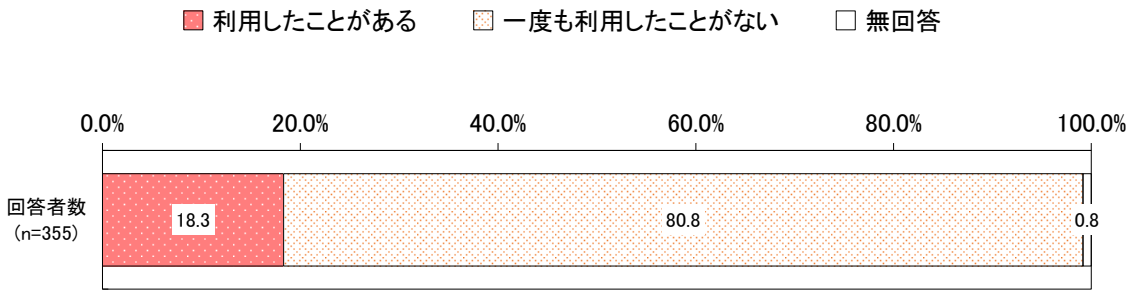
図表１－４　男女共同参画センターの認知度（年齢別）



問 13-1　あなたは、センターを利用したことがありますか。（１つだけ○印）

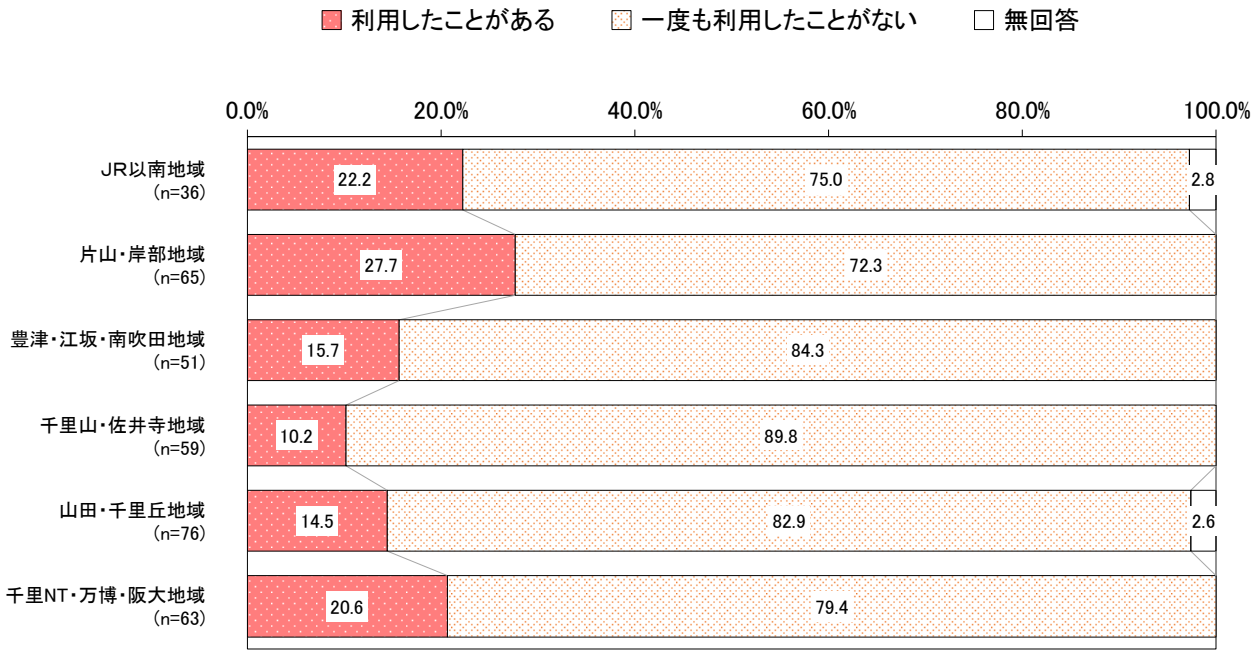
「利用したことがある」が 18.3%、「一度も利用したことがない」が 80.8%でした。

図表１－５　男女共同参画センターの利用経験（単純回答）



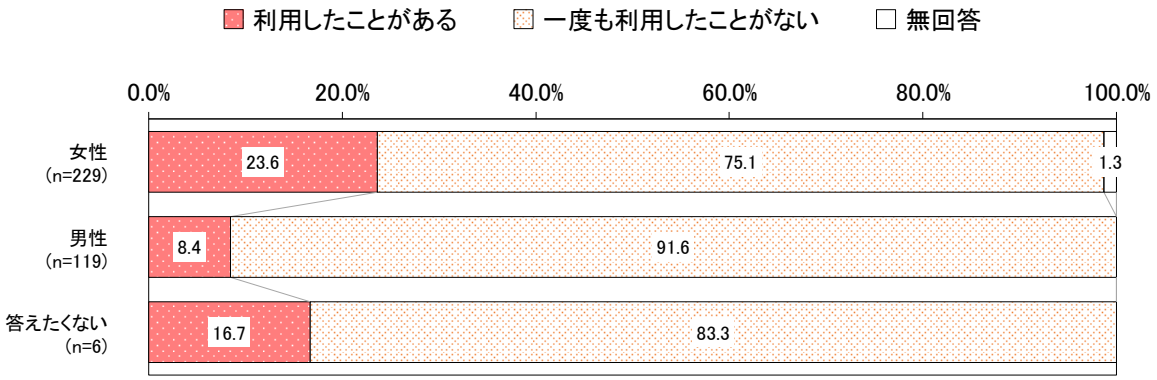
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

図表１－６　男女共同参画センターの利用経験（居住地域別）



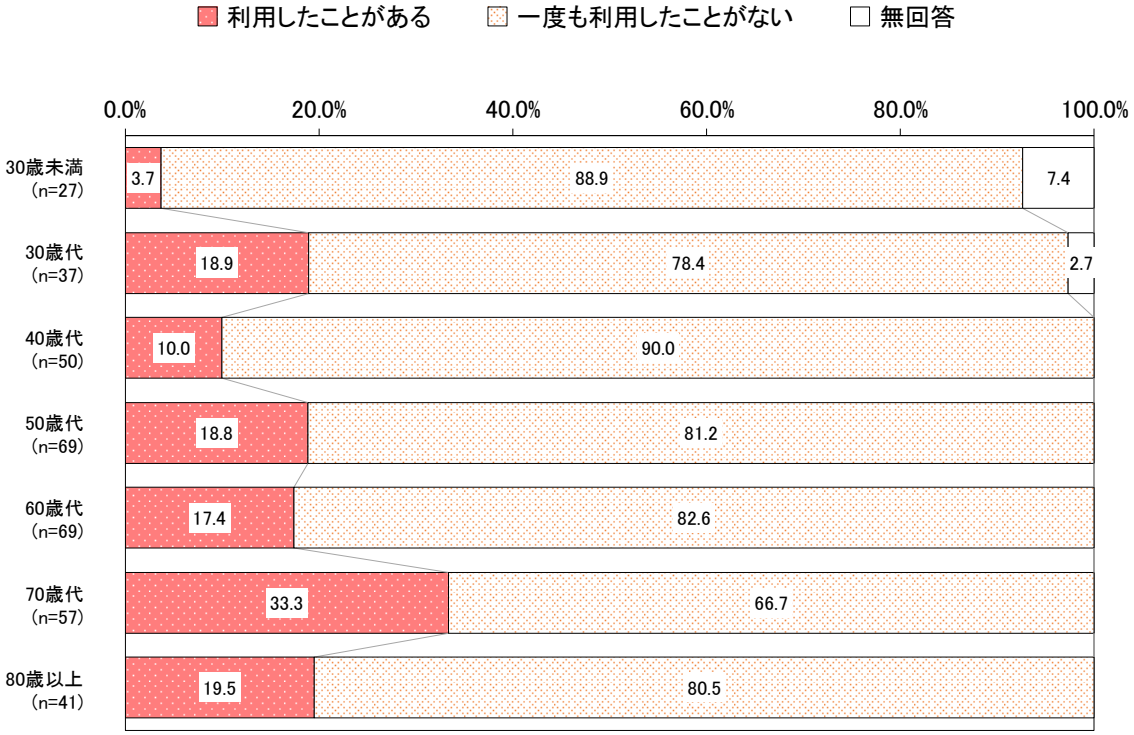
性別でみると、男性より女性の方が「利用したことがある」と答えています。

図表１－７　男女共同参画センターの利用経験（性別）



年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

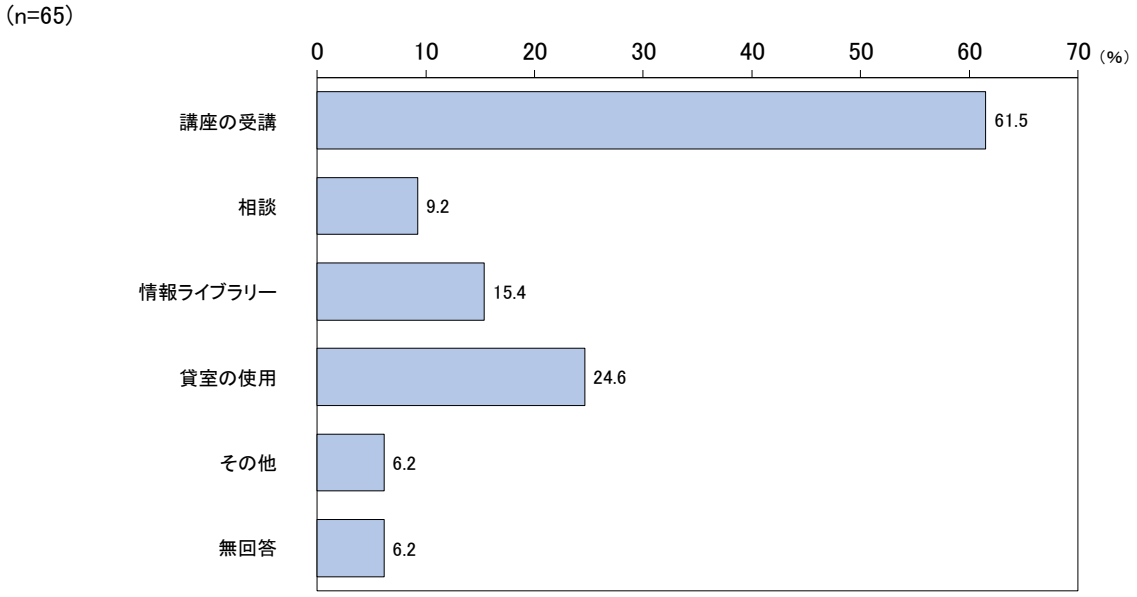
図表１－８　男女共同参画センターの利用経験（年齢別）



問 13-2　あなたは、どのような目的で利用されましたか。（いくつでも）

「講座の受講」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「貸室の使用」の割合が 24.6%、「情報ライブラリー」の割合が 15.4%となっています。

図表１－９　男女共同参画センターの利用目的（単純回答）



居住地域別でみると、どの地域においても「講座の受講」の割合が高くなっています。

図表１－10　男女共同参画センターの利用目的（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	講座の受講	相談	情報ライブラリー	貸室の使用	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	8	75.0	－	25.0	25.0	－	12.5
	片山・岸部地域	18	55.6	16.7	22.2	38.9	5.6	5.6
	豊津・江坂・南吹田地域	8	37.5	12.5	25.0	37.5	12.5	－
	千里山・佐井寺地域	6	66.7	16.7	－	16.7	－	－
	山田・千里丘地域	11	72.7	－	－	9.1	18.2	9.1
	千里NT・万博・阪大地域	13	61.5	7.7	15.4	15.4	－	7.7

性別でみると、女性より男性の方が「講座の受講」「情報ライブラリー」と答えています。一方、男性より女性の方が「貸室の使用」と答えています。

図表１－11　男女共同参画センターの利用目的（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	講座の受講	相談	情報ライブラリー	貸室の使用	その他	無回答
性別	女性	54	59.3	9.3	13.0	27.8	3.7	7.4
	男性	10	70.0	－	20.0	10.0	20.0	－
	答えたくない	1	100.0	100.0	100.0	－	－	－

年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「講座の受講」の割合が最も高くなっています。

図表１－12　男女共同参画センターの利用目的（年齢別）

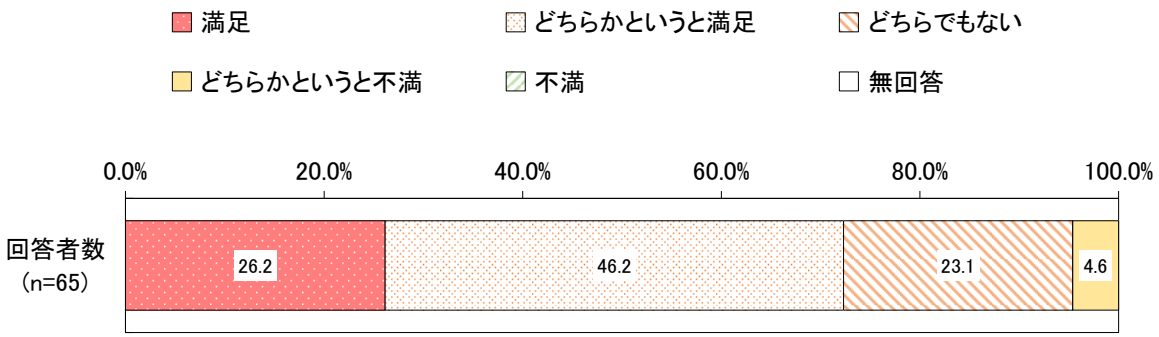
単位：％

区分		有効回答数（件）	講座の受講	相談	情報ライブラリー	貸室の使用	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	1	－	－	100.0	－	－	－
	30 歳代	7	57.1	28.6	－	－	14.3	－
	40 歳代	5	80.0	20.0	20.0	－	20.0	－
	50 歳代	13	53.8	23.1	30.8	38.5	7.7	－
	60 歳代	12	58.3	－	16.7	33.3	8.3	16.7
	70 歳代	19	68.4	－	5.3	26.3	－	5.3
	80 歳以上	8	62.5	－	12.5	25.0	－	12.5

問 13-3(1)　利用した際の、満足度を教えてください。（１つだけ○印）

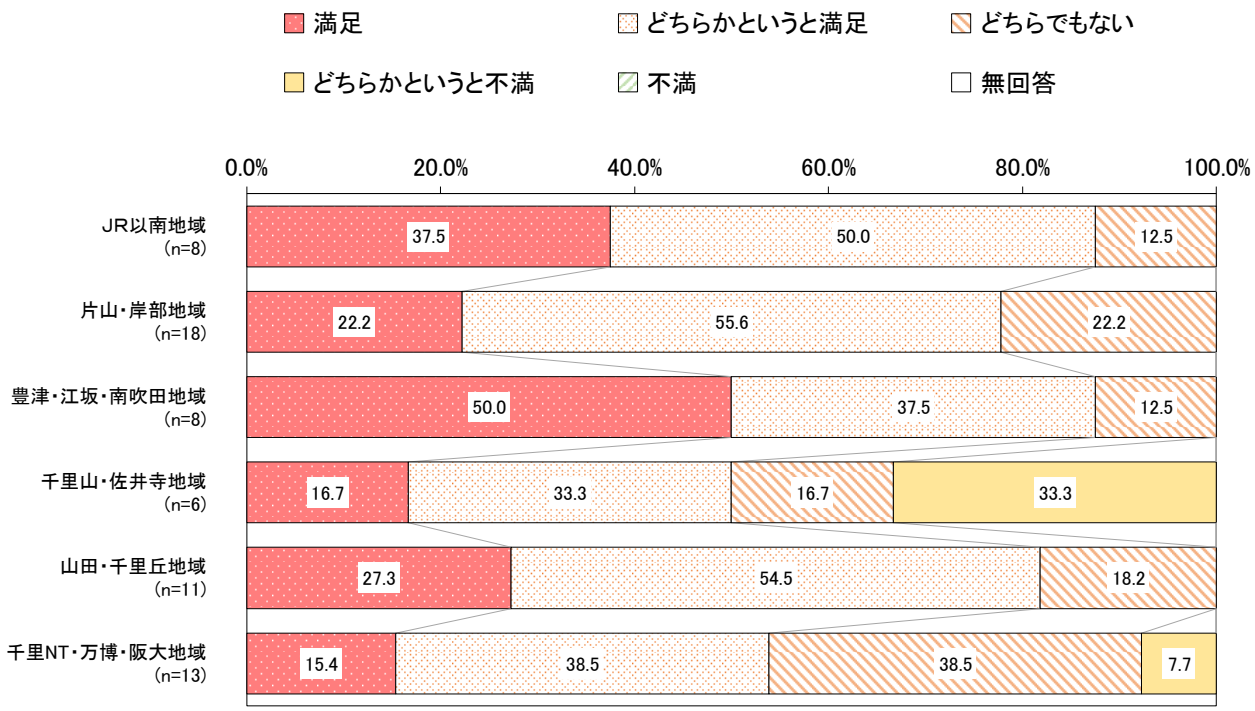
「どちらかというと満足」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「満足」の割合が 26.2%、「どちらでもない」の割合が 23.1%となっています。

図表１－13　男女共同参画センターの満足度（単純回答）



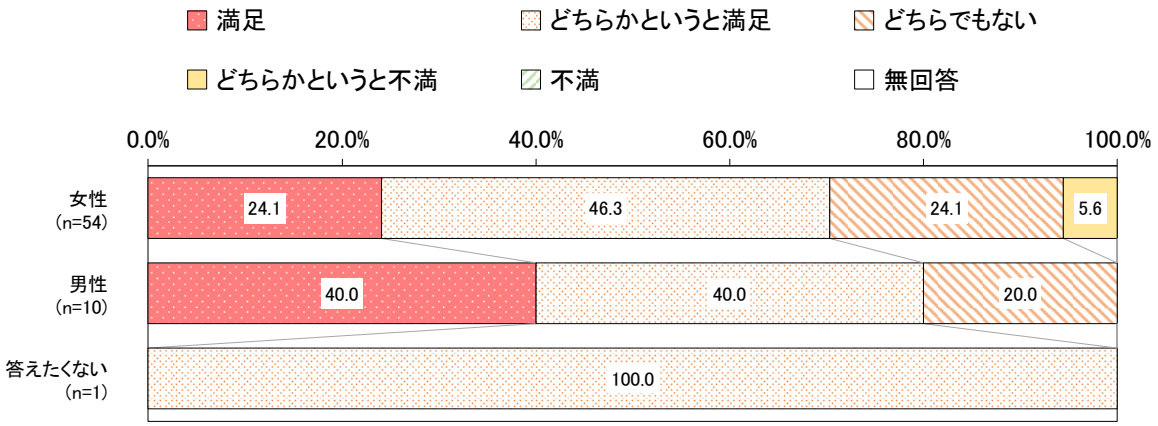
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「満足」の割合が最も高くなっています。

図表１－14　男女共同参画センターの満足度（居住地域別）



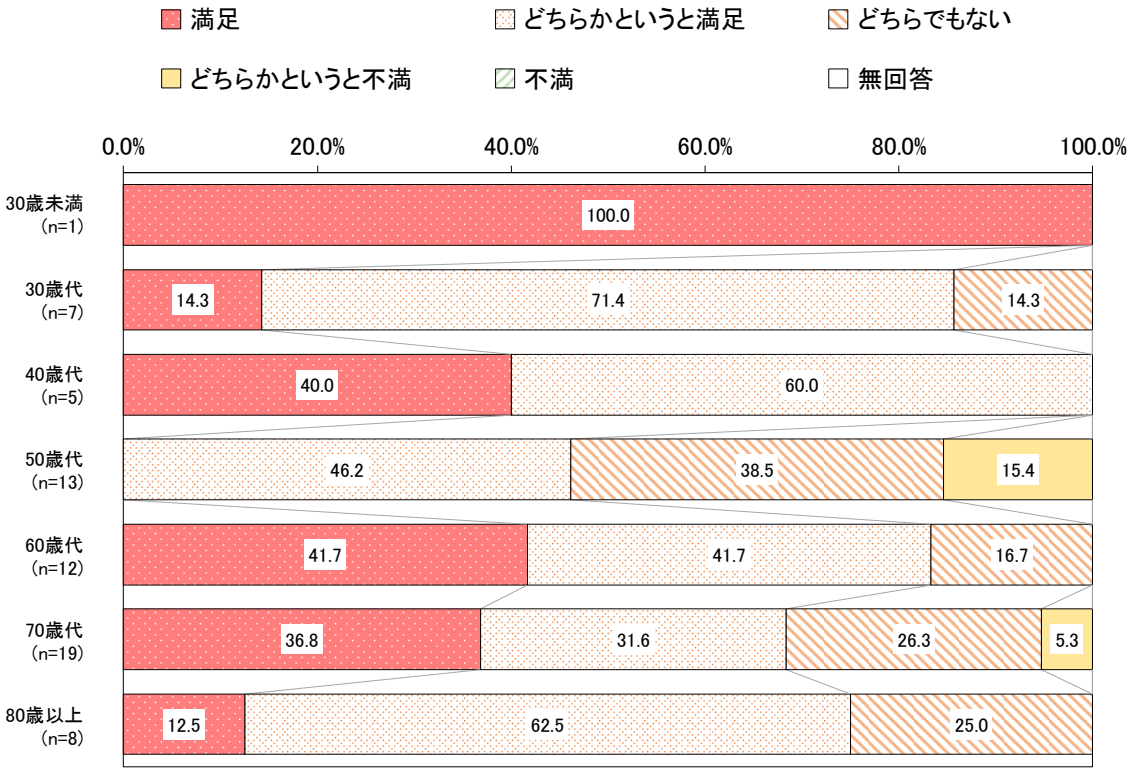
性別でみると、女性より男性の方が「満足」と答えています。

図表１－15　男女共同参画センターの満足度（性別）



年齢別にみると、唯一 50 歳代で「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた“満足”の割合が過半数を超えず、比較的満足度が低い傾向が伺えます。

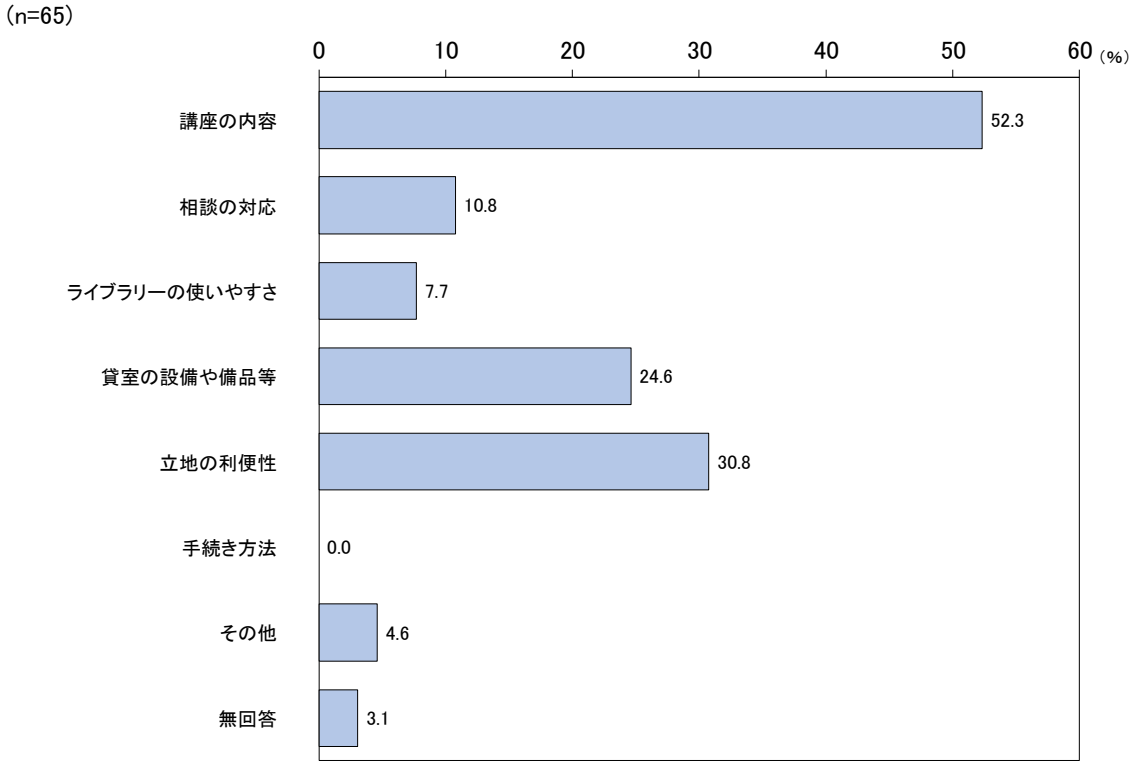
図表１－16　男女共同参画センターの満足度（年齢別）



問 13-3(2)　その理由は何ですか。（いくつでも）

「講座の内容」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「立地の利便性」の割合が 30.8%、「貸室の設備や備品等」の割合が 24.6%となっています。

図表１－17　男女共同参画センターの満足度の理由（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「講座の内容」の割合が最も高くなっています。

図表１－18　男女共同参画センターの満足度の理由（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	講座の内容	相談の対応	ライブラリーの使いやすさ	貸室の設備や備品等	立地の利便性	手続き方法	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	8	62.5	－	25.0	37.5	25.0	－	12.5	－
	片山・岸部地域	18	55.6	11.1	11.1	16.7	44.4	－	5.6	－
	豊津・江坂・南吹田地域	8	50.0	12.5	－	37.5	12.5	－	－	12.5
	千里山・佐井寺地域	6	33.3	33.3	－	16.7	33.3	－	－	－
	山田・千里丘地域	11	72.7	9.1	－	9.1	9.1	－	9.1	－
	千里NT・万博・阪大地域	13	38.5	7.7	7.7	38.5	38.5	－	－	7.7

性別でみると、女性より男性の方が「講座の内容」「貸室の設備や備品等」と答えています。一方、男性より女性の方が「立地の利便性」と答えています。

図表１－19　男女共同参画センターの満足度の理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	講座の内容	相談の対応	ライブラリーの使いやすさ	貸室の設備や備品等	立地の利便性	手続き方法	その他	無回答
性別	女性	54	50.0	11.1	5.6	24.1	33.3	－	3.7	3.7
	男性	10	60.0	－	10.0	30.0	10.0	－	10.0	－
	答えたくない	1	100.0	100.0	100.0	－	100.0	－	－	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「講座の内容」の割合が最も高くなっています。

図表１－20　男女共同参画センターの満足度の理由（年齢別）

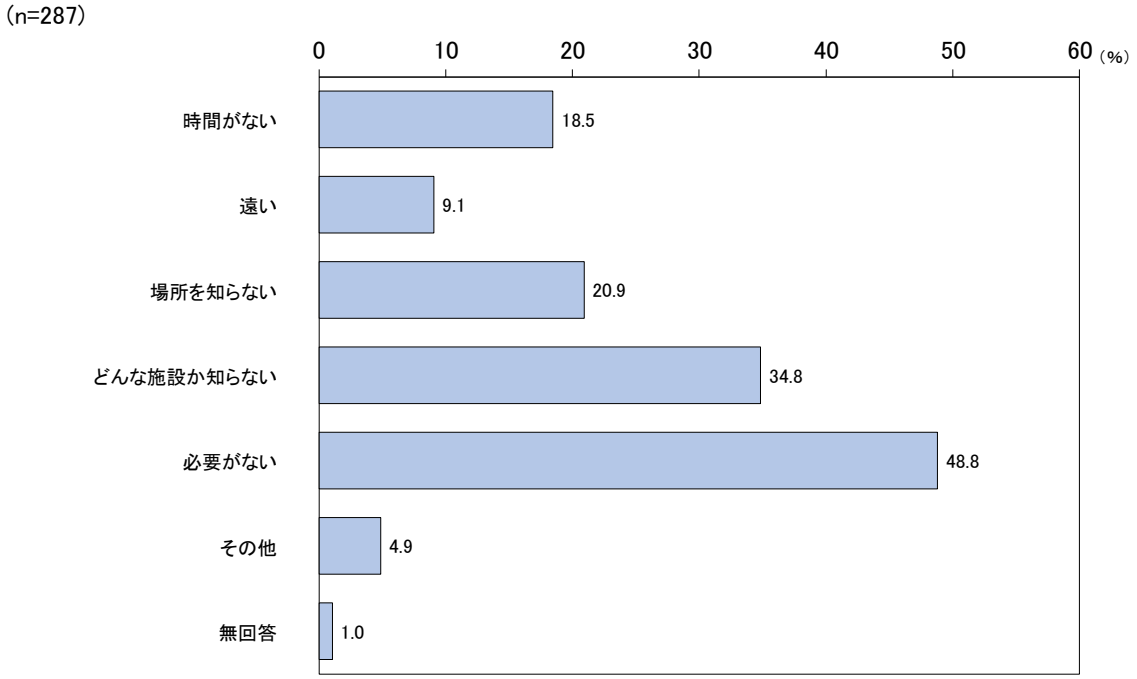
単位：％

区分		有効回答数（件）	講座の内容	相談の対応	ライブラリーの使いやすさ	貸室の設備や備品等	立地の利便性	手続き方法	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－
	30 歳代	7	57.1	28.6	－	14.3	14.3	－	－	－
	40 歳代	5	80.0	20.0	－	20.0	20.0	－	－	－
	50 歳代	13	30.8	15.4	23.1	23.1	38.5	－	7.7	7.7
	60 歳代	12	58.3	8.3	8.3	16.7	8.3	－	8.3	8.3
	70 歳代	19	42.1	5.3	5.3	36.8	42.1	－	5.3	－
	80 歳以上	8	75.0	－	－	25.0	50.0	－	－	－

問 13-4　利用したことがないのは、なぜですか。（いくつでも）

「必要がない」の割合が 48.8％と最も高く、次いで「どんな施設か知らない」の割合が 34.8％、「場所を知らない」の割合が 20.9％となっています。

図表１－21　男女共同参画センターを利用したことがない理由（単純回答）



居住地域別でみると、どの地域においても「必要がない」の割合が高くなっています。

図表１－22　男女共同参画センターを利用したことがない理由（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	時間がない	遠い	場所を知らない	どんな施設か知らない	必要がない	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	27	11.1	11.1	22.2	29.6	48.1	7.4	－
	片山・岸部地域	47	17.0	2.1	19.1	42.6	51.1	2.1	2.1
	豊津・江坂・南吹田地域	43	18.6	4.7	34.9	37.2	58.1	4.7	2.3
	千里山・佐井寺地域	53	18.9	7.5	15.1	35.8	47.2	5.7	－
	山田・千里丘地域	63	14.3	11.1	14.3	34.9	49.2	4.8	－
	千里NT・万博・阪大地域	50	28.0	16.0	26.0	30.0	40.0	6.0	－

性別でみると、大きな差異はみられません。

図表１－23　男女共同参画センターを利用したことがない理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	時間がない	遠い	場所を知らない	どんな施設か知らない	必要がない	その他	無回答
性別	女性	172	19.8	9.3	21.5	36.0	48.8	5.2	1.7
	男性	109	17.4	9.2	21.1	32.1	48.6	4.6	－
	答えたくない	5	－	－	－	40.0	60.0	－	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「必要がない」の割合が最も高くなっています。

図表１－24　男女共同参画センターを利用したことがない理由（年齢別）

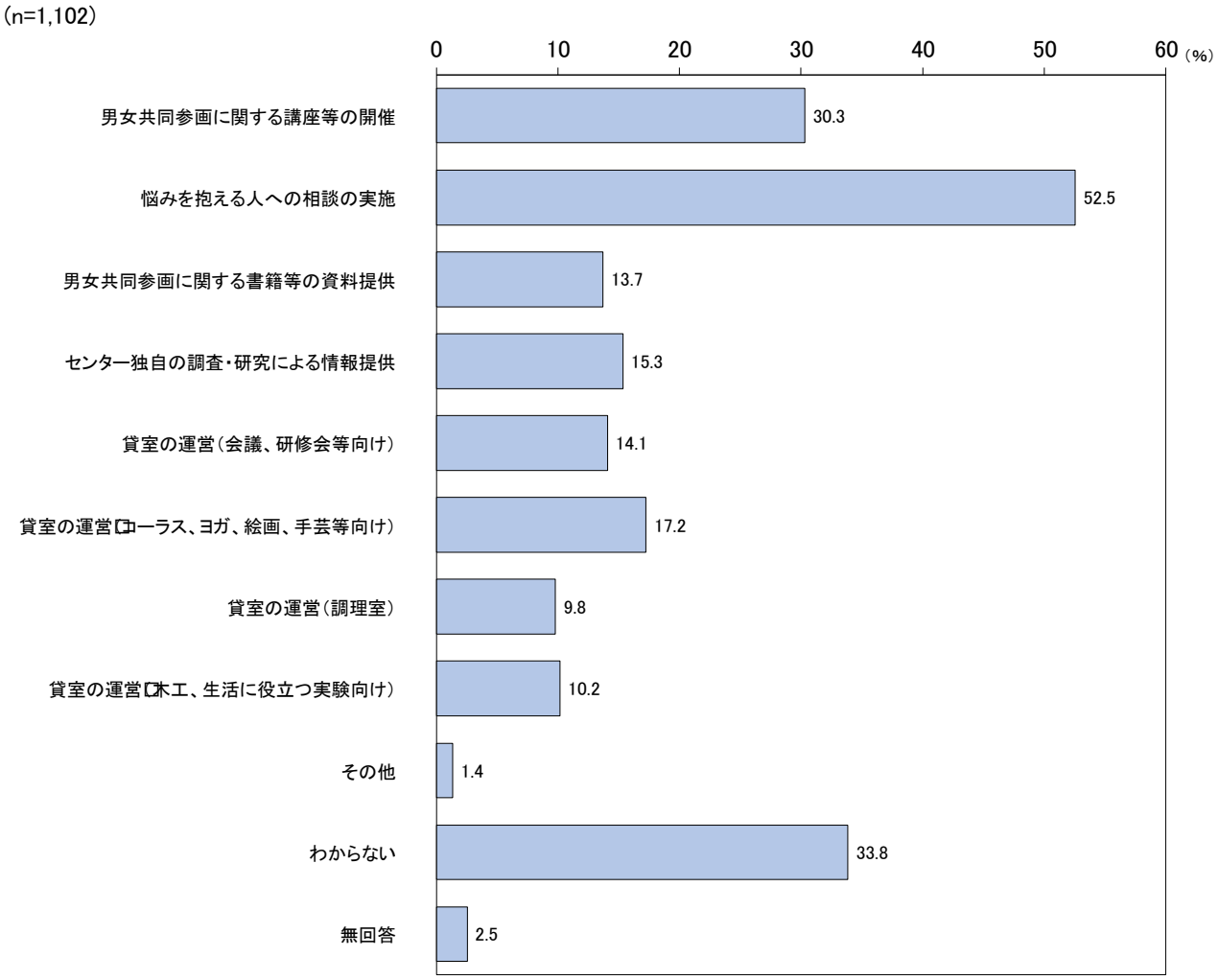
単位：％

区分		有効回答数（件）	時間がない	遠い	場所を知らない	どんな施設か知らない	必要がない	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	24	20.8	4.2	41.7	41.7	45.8	－	4.2
	30 歳代	29	20.7	13.8	31.0	44.8	62.1	－	－
	40 歳代	45	26.7	6.7	17.8	44.4	37.8	6.7	2.2
	50 歳代	56	14.3	10.7	17.9	42.9	44.6	7.1	－
	60 歳代	57	24.6	7.0	12.3	26.3	50.9	3.5	－
	70 歳代	38	7.9	7.9	21.1	23.7	52.6	7.9	－
	80 歳以上	33	6.1	12.1	24.2	24.2	51.5	6.1	3.0

問 14　センターが現在行っている次の取組のうち、センターの役割として大切だと思う活動はどれですか。（いくつでも）

「悩みを抱える人への相談の実施」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「男女共同参画に関する講座等の開催」の割合が 30.3%、「貸室の運営（コーラス、ヨガ、絵画、手芸等向け）」の割合が 17.2%となっています。

図表１－25　男女共同参画センターの役割として大切だと思う活動（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「悩みを抱える人への相談の実施」の割合が最も高くなっています。

図表１－26　男女共同参画センターの役割として大切だと思う活動（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	男女共同参画に関する講座等の開催	悩みを抱える人への相談の実施	男女共同参画に関する書籍等の資料提供	センター独自の調査・研究による情報提供	貸室の運営（会議、研修会等向け）	貸室の運営（コーラス、ヨガ、絵画、手芸等向け）
居住地域別	JR以南地域	88	22.7	44.3	9.1	12.5	14.8	12.5
	片山・岸部地域	155	27.7	50.3	15.5	16.1	18.1	16.8
	豊津・江坂・南吹田地域	204	28.4	52.5	11.8	12.7	13.2	15.7
	千里山・佐井寺地域	193	32.6	60.6	17.6	19.2	11.9	12.4
	山田・千里丘地域	234	35.0	53.8	12.4	14.5	13.2	20.5
	千里NT・万博・阪大地域	199	31.7	51.8	14.6	16.6	16.1	23.1

区分		有効回答数（件）	貸室の運営（調理室）	貸室の運営（木工、生活に役立つ実験向け）	その他	わからない	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	6.8	8.0	－	44.3	2.3
	片山・岸部地域	155	12.3	9.7	1.9	33.5	2.6
	豊津・江坂・南吹田地域	204	8.8	9.3	2.9	36.8	1.0
	千里山・佐井寺地域	193	5.7	6.7	0.5	26.9	2.6
	山田・千里丘地域	234	12.4	13.7	0.9	35.5	0.9
	千里NT・万博・阪大地域	199	12.1	13.1	1.5	31.2	3.0

性別でみると、男性より女性の方が「悩みを抱える人への相談の実施」と答えています。

図表１－27　男女共同参画センターの役割として大切だと思う活動（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	男女共同参画に関する講座等の開催	悩みを抱える人への相談の実施	男女共同参画に関する書籍等の資料提供	センター独自の調査・研究による情報提供	貸室の運営（会議、研修会等向け）	貸室の運営（コーラス、ヨガ、絵画、手芸等向け）
性別	女性	631	33.0	55.2	12.5	15.7	15.7	20.8
	男性	454	27.1	49.1	14.8	15.0	11.7	11.5
	答えたくない	15	20.0	53.3	33.3	13.3	20.0	40.0

区分		有効回答数（件）	貸室の運営（調理室）	貸室の運営（木工、生活に役立つ実験向け）	その他	わからない	無回答
性別	女性	631	10.8	11.3	0.6	31.5	2.7
	男性	454	7.5	8.1	2.4	36.6	2.4
	答えたくない	15	40.0	26.7	－	46.7	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「悩みを抱える人への相談の実施」の割合が最も高くなっています。

図表１－28　男女共同参画センターの役割として大切だと思う活動（年齢別）

単位：％

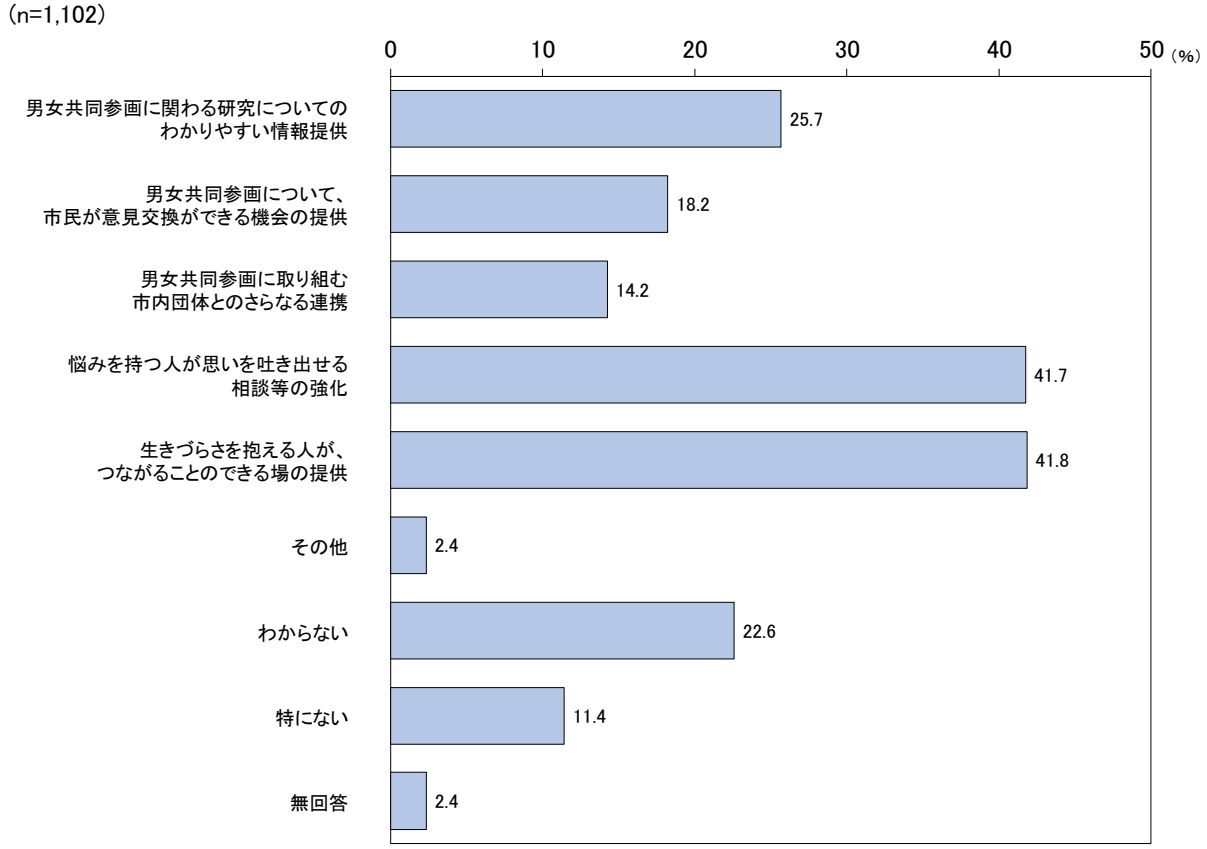
区分		有効回答数（件）	男女共同参画に関する講座等の開催	悩みを抱える人への相談の実施	男女共同参画に関する書籍等の資料提供	センター独自の調査・研究による情報提供	貸室の運営（会議、研修会等向け）	貸室の運営（コーラス、ヨガ、絵画、手芸等向け）
年齢別	30 歳未満	116	25.0	63.8	18.1	14.7	12.9	13.8
	30 歳代	135	20.7	53.3	14.8	14.8	11.1	10.4
	40 歳代	170	34.1	62.9	13.5	15.9	18.8	18.8
	50 歳代	211	33.2	57.3	12.8	16.6	13.7	18.0
	60 歳代	159	39.0	56.6	14.5	20.1	23.3	25.8
	70 歳代	182	35.7	39.0	12.6	14.8	11.0	19.2
	80 歳以上	118	16.9	33.9	11.0	8.5	4.2	11.9

区分		有効回答数（件）	貸室の運営（調理室）	貸室の運営（木工、生活に役立つ実験向け）	その他	わからない	無回答
年齢別	30 歳未満	116	9.5	7.8	0.9	25.9	－
	30 歳代	135	6.7	8.9	1.5	39.3	－
	40 歳代	170	11.8	12.9	1.2	30.0	－
	50 歳代	211	14.2	14.2	0.9	32.7	0.9
	60 歳代	159	13.8	11.3	3.1	31.4	0.6
	70 歳代	182	6.6	8.8	1.1	38.5	3.8
	80 歳以上	118	3.4	4.2	0.8	39.0	14.4

問 15　今後、センターでは、どんな取組に注力すべきだと思いますか。（いくつでも）

「生きづらさを抱える人が、つながることのできる場の提供」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「悩みを持つ人が思いを吐き出せる相談等の強化」の割合が 41.7%、「男女共同参画に関わる研究についてのわかりやすい情報提供」の割合が 25.7%となっています。

図表１－29　男女共同参画センターで注力すべき取組（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「生きづらさを抱える人が、つながることのできる場の提供」の割合が最も高くなっています。

図表１－30　男女共同参画センターで注力すべき取組（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	男女共同参画に関わる研究についてのわかりやすい情報提供	男女共同参画について、市民が意見交換ができる機会の提供	男女共同参画に取り組む市内団体とのさらなる連携	悩みを持つ人が思いを吐き出せる相談等の強化	生きづらさを抱える人が、つながることのできる場の提供	その他	わからない	特にない	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	18.2	13.6	12.5	39.8	40.9	2.3	27.3	15.9	1.1
	片山・岸部地域	155	29.7	20.6	18.1	41.3	41.9	1.9	19.4	11.6	2.6
	豊津・江坂・南吹田地域	204	20.1	16.2	12.7	42.2	45.1	2.5	24.5	12.3	1.0
	千里山・佐井寺地域	193	29.0	16.6	15.5	44.0	40.9	2.1	19.2	10.9	3.1
	山田・千里丘地域	234	29.1	21.4	12.0	42.7	40.6	3.4	23.9	11.1	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	199	25.6	18.1	14.1	40.7	42.7	2.0	22.6	9.5	3.5

性別でみると、男性より女性の方が「生きづらさを抱える人が、つながることのできる場の提供」と答えています。

図表１－31　男女共同参画センターで注力すべき取組（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	男女共同参画に関わる研究についてのわかりやすい情報提供	男女共同参画について、市民が意見交換ができる機会の提供	男女共同参画に取り組む市内団体とのさらなる連携	悩みを持つ人が思いを吐き出せる相談等の強化	生きづらさを抱える人が、つながることのできる場の提供	その他	わからない	特にない	無回答
性別	女性	631	24.4	16.5	13.3	43.1	45.6	2.1	21.6	9.4	2.4
	男性	454	27.3	20.5	15.0	39.6	36.3	2.9	24.2	13.7	2.4
	答えたくない	15	33.3	26.7	33.3	53.3	53.3	－	20.0	20.0	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「生きづらさを抱える人が、つながることのできる場の提供」の割合が最も高くなっています。

図表１－32　男女共同参画センターで注力すべき取組（年齢別）

単位：％

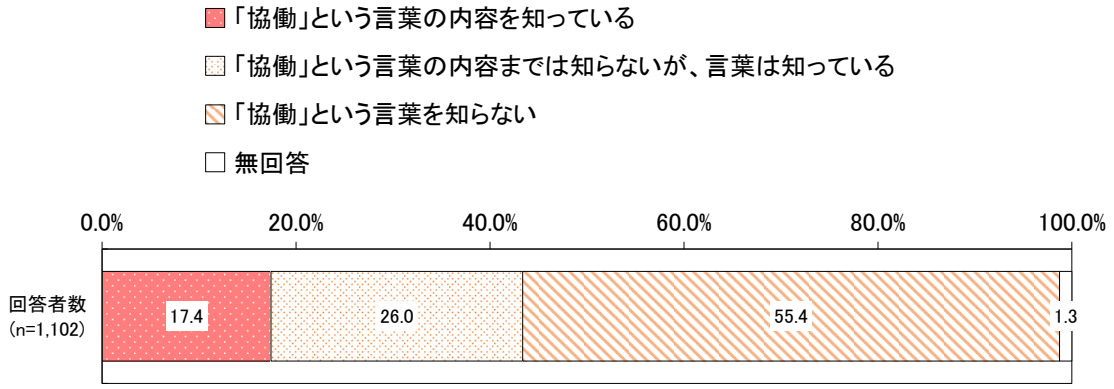
区分		有効回答数（件）	男女共同参画に関わる研究についてのわかりやすい情報提供	男女共同参画について、市民が意見交換ができる機会の提供	男女共同参画に取り組む市内団体とのさらなる連携	悩みを持つ人が思いを吐き出せる相談等の強化	生きづらさを抱える人が、つながることのできる場の提供	その他	わからない	特にない	無回答
年齢別	30 歳未満	116	22.4	19.0	20.7	51.7	53.4	0.9	18.1	9.5	－
	30 歳代	135	21.5	13.3	10.4	45.9	37.0	3.7	23.0	14.1	0.7
	40 歳代	170	27.1	18.2	17.6	50.0	51.8	1.8	20.0	10.0	0.6
	50 歳代	211	25.1	21.8	13.7	48.3	49.8	3.3	19.9	9.0	1.4
	60 歳代	159	33.3	17.0	17.0	39.6	44.7	3.1	28.9	7.5	0.6
	70 歳代	182	30.8	19.2	12.6	30.8	28.0	2.2	20.3	15.9	3.8
	80 歳以上	118	15.3	16.9	6.8	25.4	26.3	0.8	29.7	14.4	10.2

第２章　市民自治について

問 16　「協働」という言葉について、あなたはご存知でしたか。（１つだけ○印）

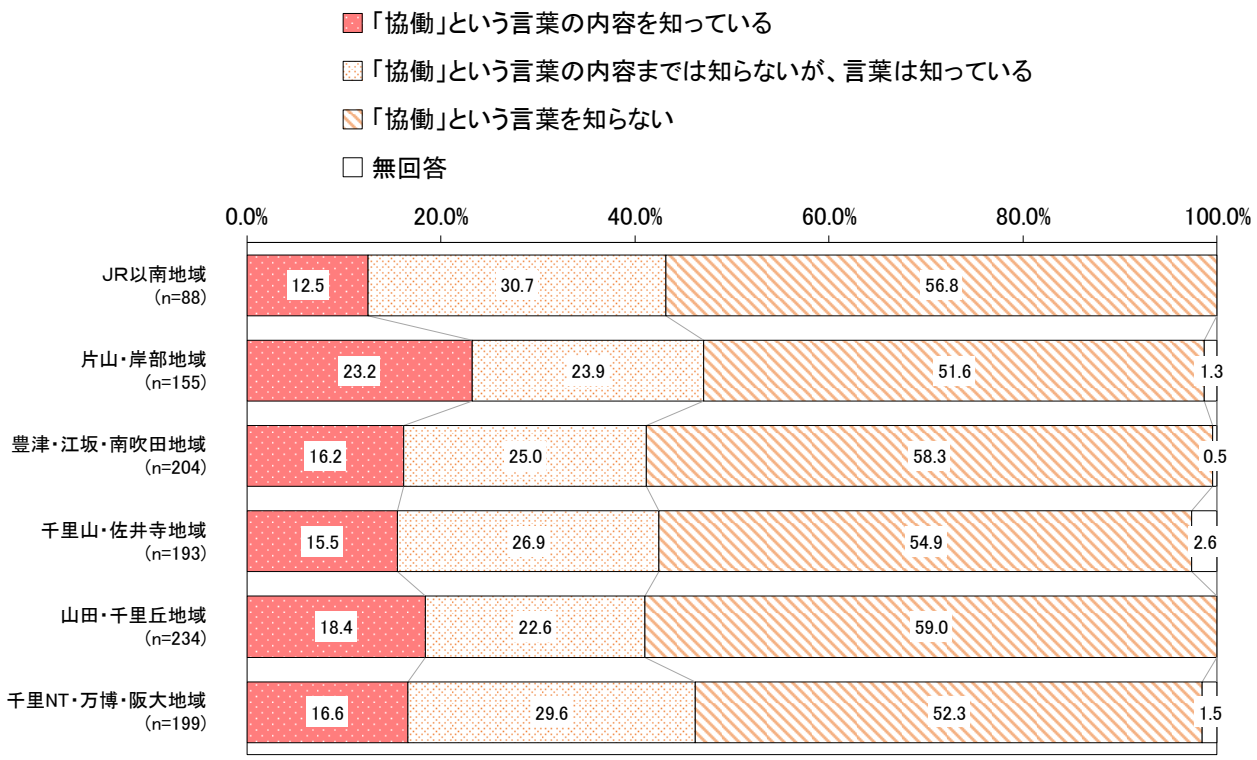
「「協働」という言葉を知らない」の割合が 55.4％と最も高く、次いで「「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている」の割合が 26.0％、「「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が 17.4％となっています。

図表２－１　「協働」という言葉の認知度（単純回答）



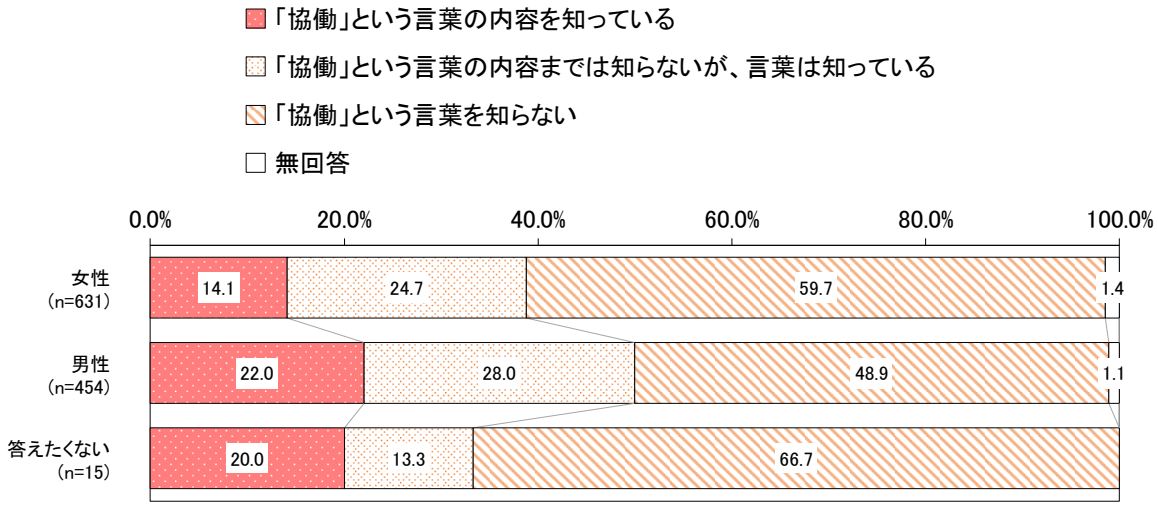
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が最も高くなっています。

図表２－２　「協働」という言葉の認知度（居住地域別）



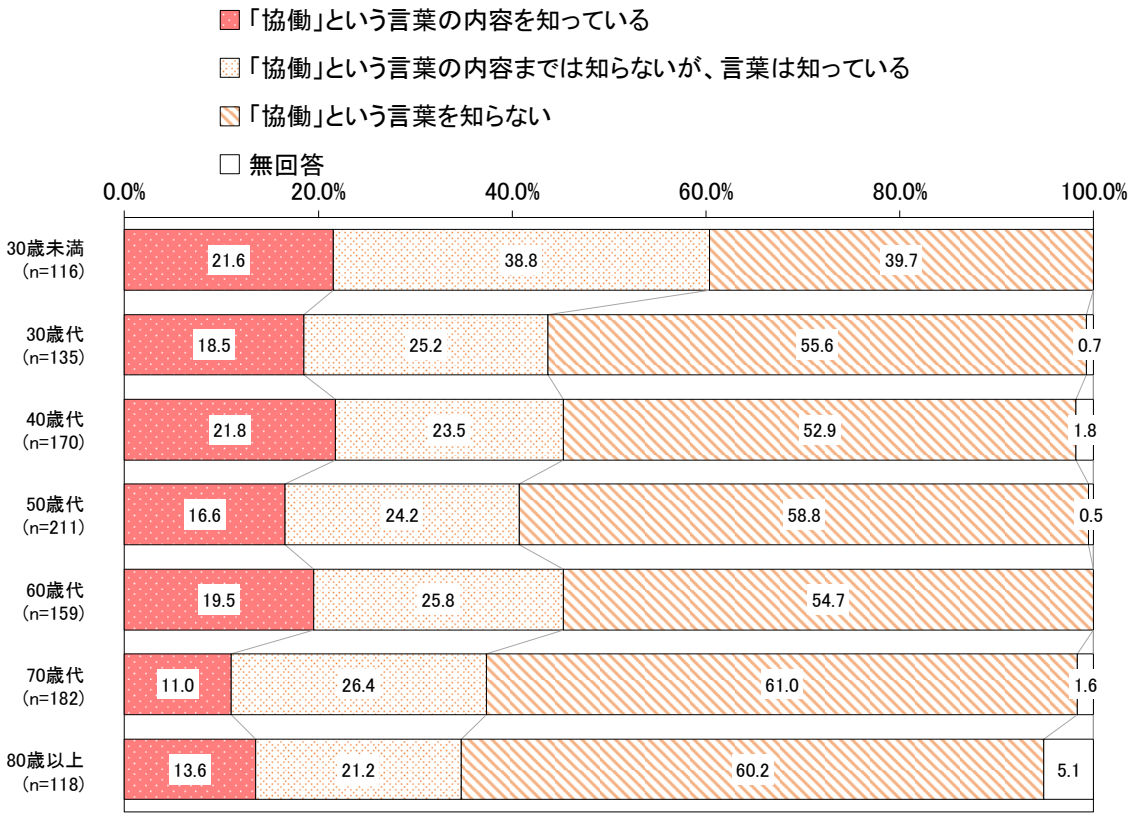
性別でみると、女性より男性の方が「「協働」という言葉の内容を知っている」と答えています。

図表２－３　「協働」という言葉の認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が最も高くなっています。

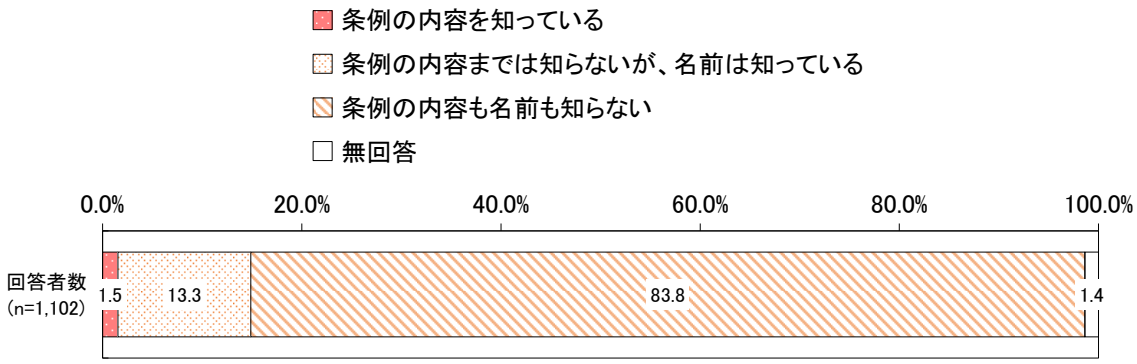
図表２－４　「協働」という言葉の認知度（年齢別）



問 17　吹田市は平成 19 年１月に「協働」の理念などを定めた吹田市自治基本条例を施行しました。この条例についてご存知ですか。（１つだけ○印）

「条例の内容も名前も知らない」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」の割合が 13.3%、「条例の内容を知っている」の割合が 1.5%となっています。

図表２－５　吹田市自治基本条例の認知度（単純回答）

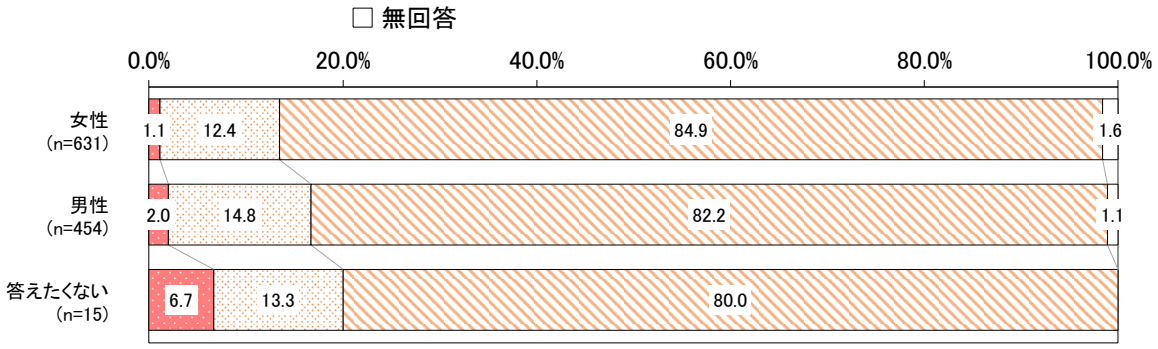


居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表２－６　吹田市自治基本条例の認知度（居住地域別）

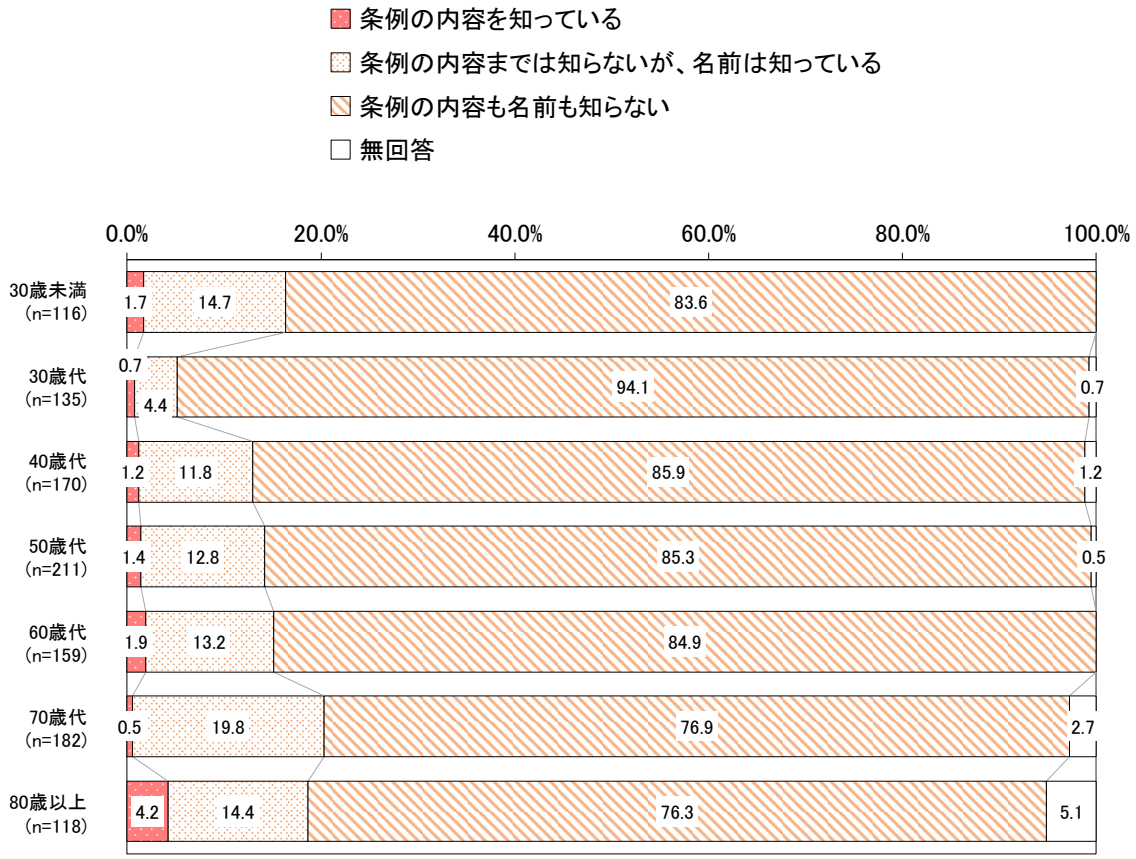
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表２－７　吹田市自治基本条例の認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、80 歳以上で「条例の内容を知っている」の割合が最も高くなっています。

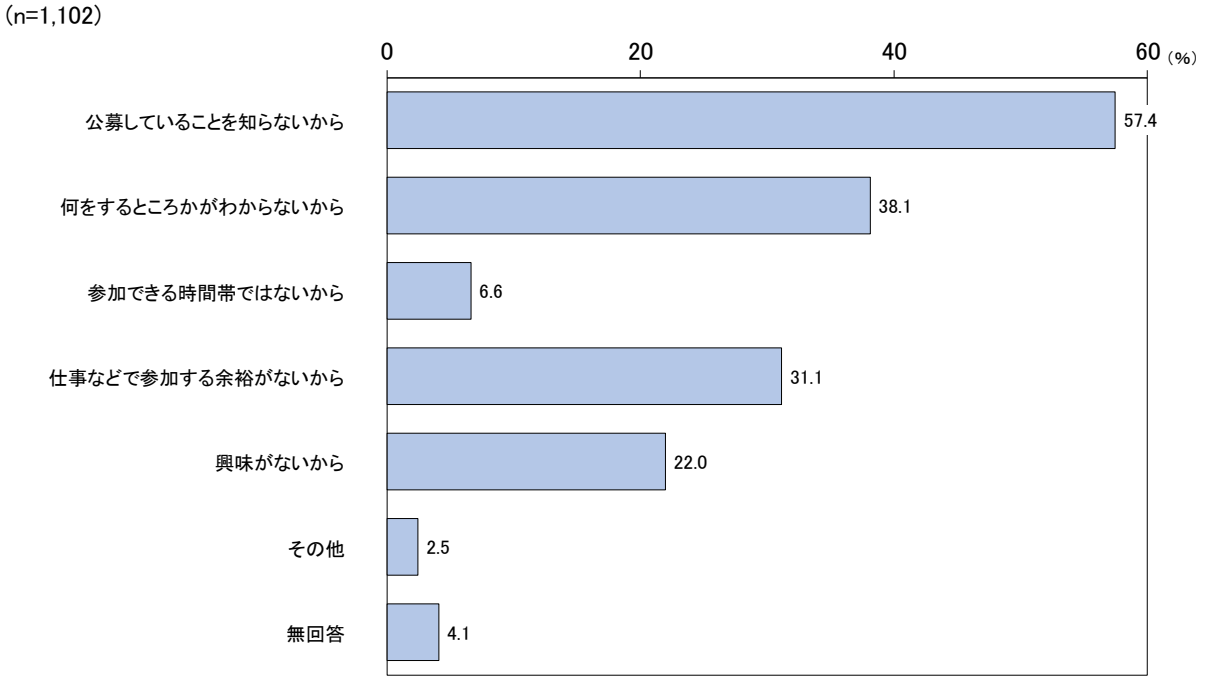
図表２－８　吹田市自治基本条例の認知度（年齢別）



問 18　多くの審議会では委員を市民から公募していますが、市民からの応募が少ないのが現状です。それはどういう理由からだと思いますか。（２つまで）

「公募していることを知らないから」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「何をするところかがわからないから」の割合が 38.1%、「仕事などで参加する余裕がないから」の割合が 31.1%となっています。

図表２－９　市民からの応募が少ない理由（単純回答）



居住地域別でみると、どの地域においても「公募していることを知らないから」の割合が高くなっています。

図表２－10　市民からの応募が少ない理由（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	公募していることを知らないから	何をするところかがわからないから	参加できる時間帯ではないから	仕事などで参加する余裕がないから	興味がないから	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	51.1	36.4	6.8	27.3	26.1	2.3	5.7
	片山・岸部地域	155	58.1	40.6	6.5	33.5	23.2	2.6	1.9
	豊津・江坂・南吹田地域	204	56.4	33.3	6.4	37.3	24.0	2.0	3.4
	千里山・佐井寺地域	193	57.5	40.4	6.7	29.0	23.8	2.6	3.6
	山田・千里丘地域	234	60.3	39.7	8.1	32.5	20.5	2.6	2.1
	千里NT・万博・阪大地域	199	59.3	38.7	5.0	27.6	18.1	2.5	6.5

性別でみると、男性より女性の方が「公募していることを知らないから」「何をするところかがわからないから」と答えています。一方、女性より男性の方が「仕事などで参加する余裕がないから」「興味がないから」と答えています。

図表２－11　市民からの応募が少ない理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	公募していることを知らないから	何をするところかがわからないから	参加できる時間帯ではないから	仕事などで参加する余裕がないから	興味がないから	その他	無回答
性別	女性	631	60.1	41.7	6.2	28.7	19.3	2.5	4.6
	男性	454	53.5	33.3	7.0	33.7	25.6	2.4	3.5
	答えたくない	15	73.3	33.3	13.3	46.7	26.7	－	－

年齢別でみると、どの世代においても「公募していることを知らないから」の割合が高くなっています。

図表２－12　市民からの応募が少ない理由（年齢別）

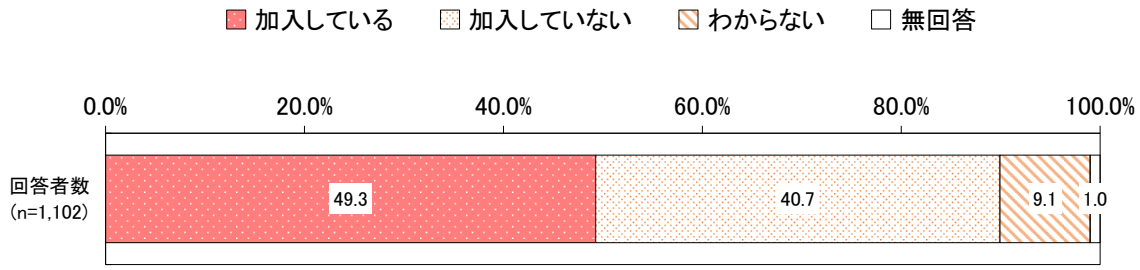
単位：％

区分		有効回答数（件）	公募していることを知らないから	何をするところかがわからないから	参加できる時間帯ではないから	仕事などで参加する余裕がないから	興味がないから	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	62.9	36.2	6.9	31.0	30.2	0.9	1.7
	30 歳代	135	57.0	34.8	5.9	43.0	25.9	2.2	2.2
	40 歳代	170	63.5	32.4	9.4	41.2	24.1	0.6	1.2
	50 歳代	211	59.7	33.6	7.1	46.4	17.5	1.4	2.4
	60 歳代	159	58.5	41.5	8.2	25.8	18.9	3.1	4.4
	70 歳代	182	56.6	53.3	3.8	13.7	19.8	3.3	5.5
	80 歳以上	118	42.4	33.9	5.1	8.5	21.2	6.8	11.9

問 19　あなたは、自治会に加入していますか。（１つだけ○印）

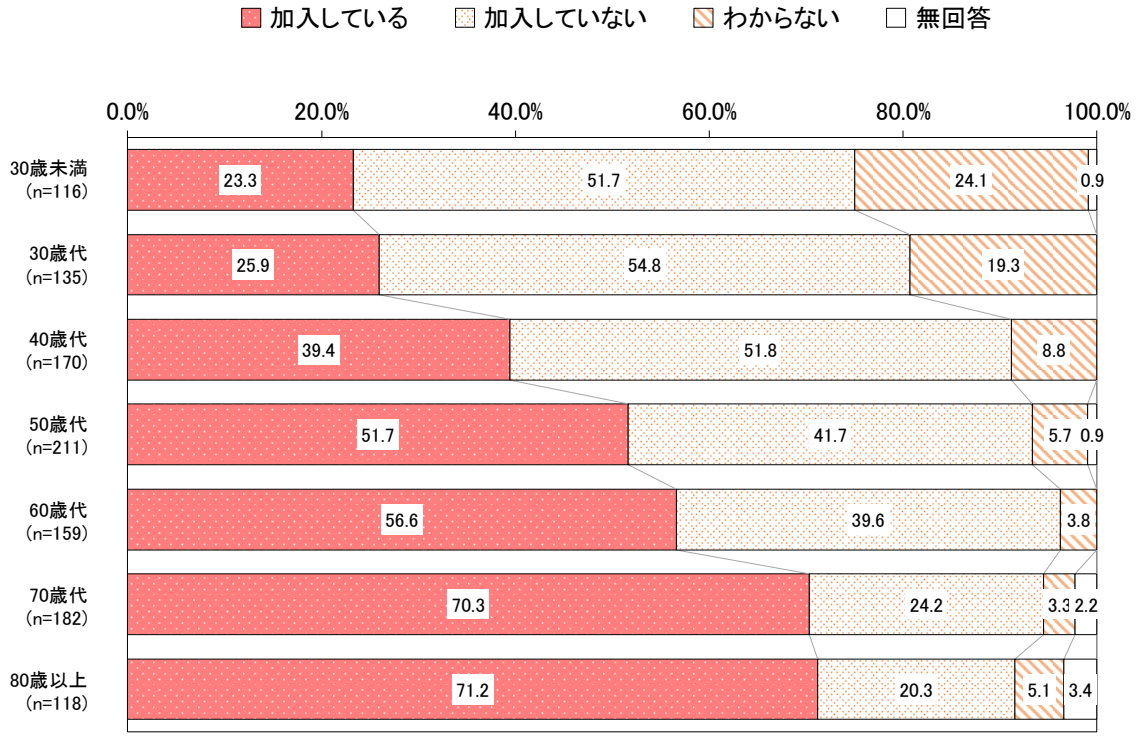
「加入している」が 49.3%、「加入していない」が 40.7%でした。

図表２－13　自治会への加入状況（単純回答）



年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「加入している」の割合が高くなっています。

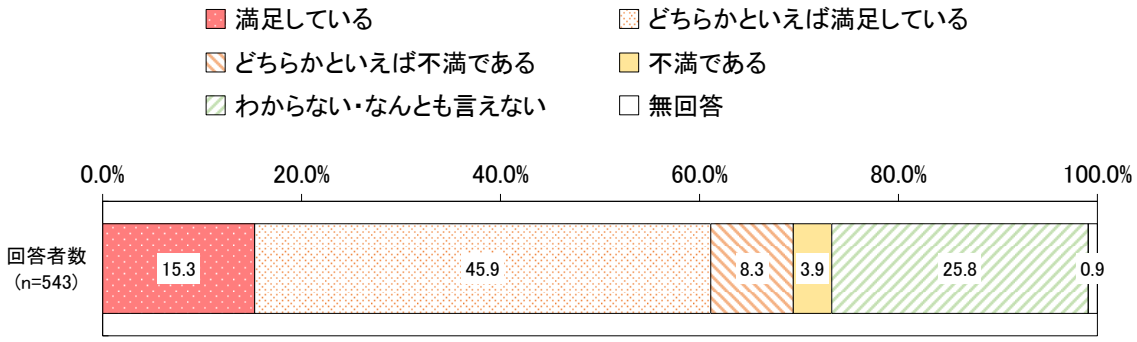
図表２－14　自治会への加入状況（年齢別）



問 19-1　あなたは、自治会の活動に満足していますか。（１つだけ○印）

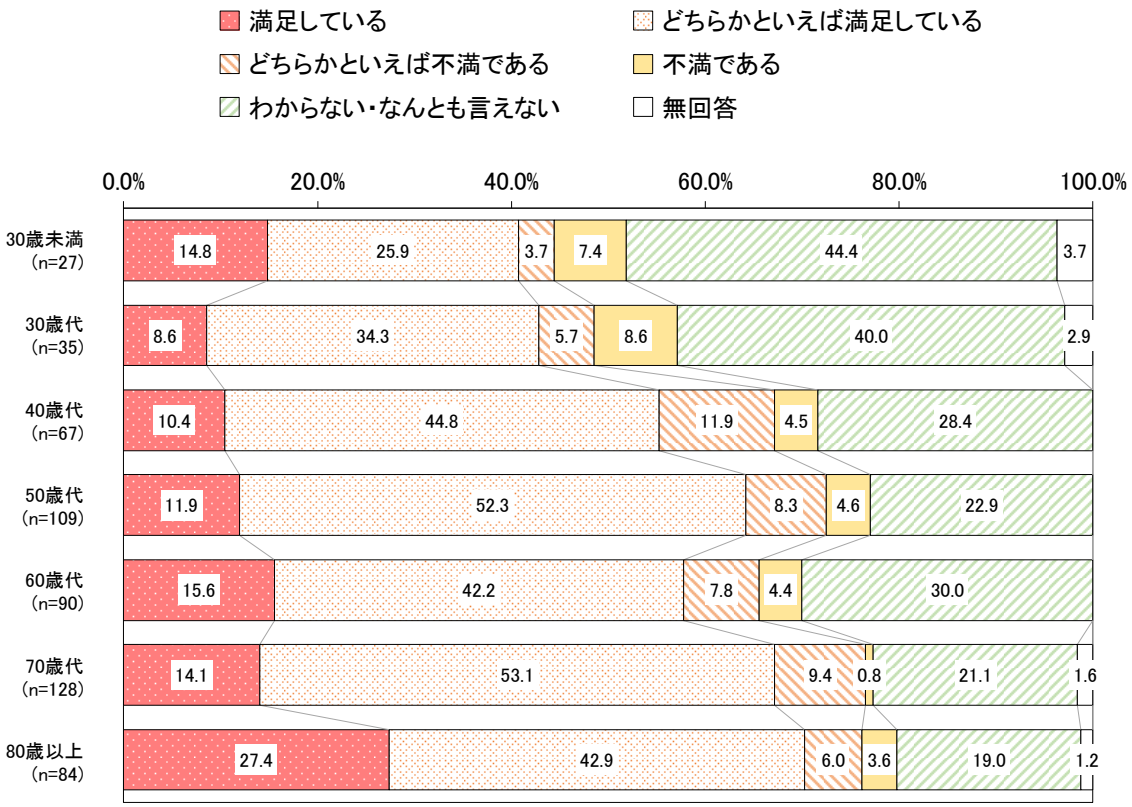
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が61.2%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が12.2%となっています。

図表２－15　自治会活動の満足度（単純回答）



年齢別でみると、他に比べ、80 歳以上で“満足している”の割合が最も高くなっています。

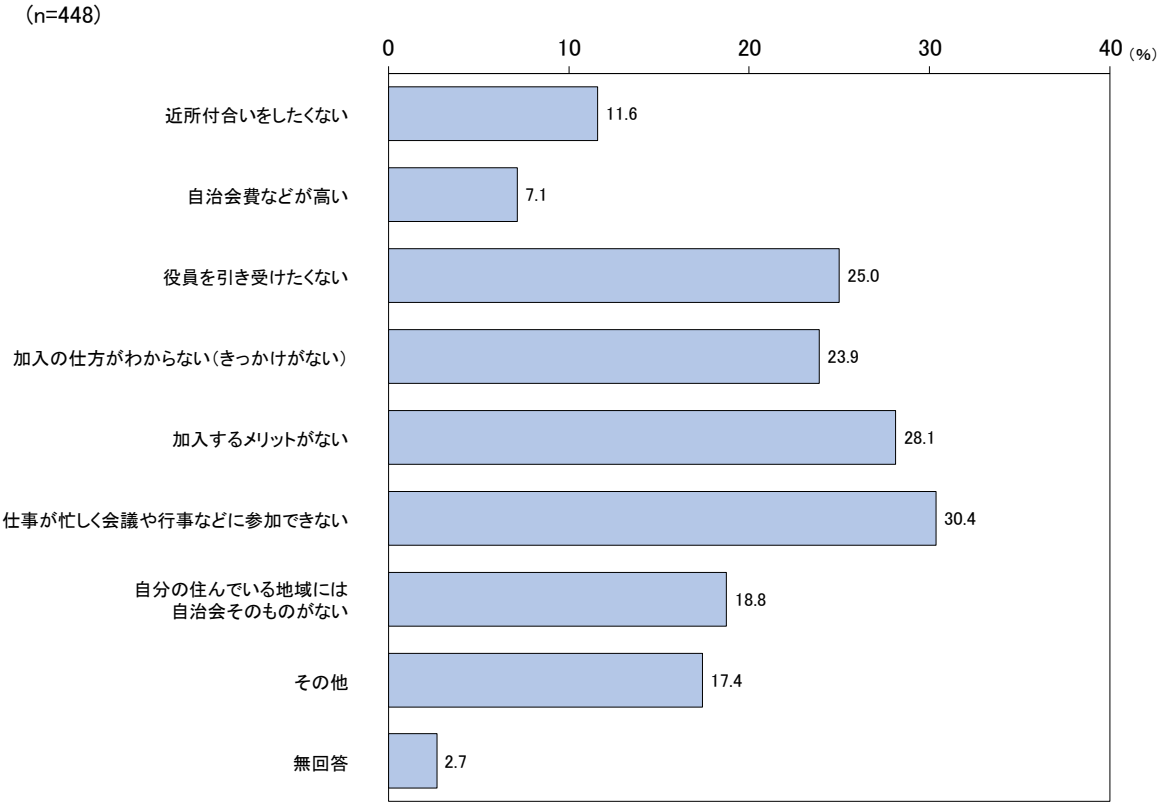
図表２－16　自治会活動の満足度（年齢別）



問 19-3　自治会に加入していない理由は何ですか。（いくつでも）

「仕事が忙しく会議や行事などに参加できない」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「加入するメリットがない」の割合が 28.1%、「役員を引き受けたくない」の割合が 25.0%となっています。

図表２－17　自治会に加入していない理由（単純回答）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「仕事が忙しく会議や行事などに参加できない」の割合が最も高くなっています。

図表２－18　自治会に加入していない理由（年齢別）

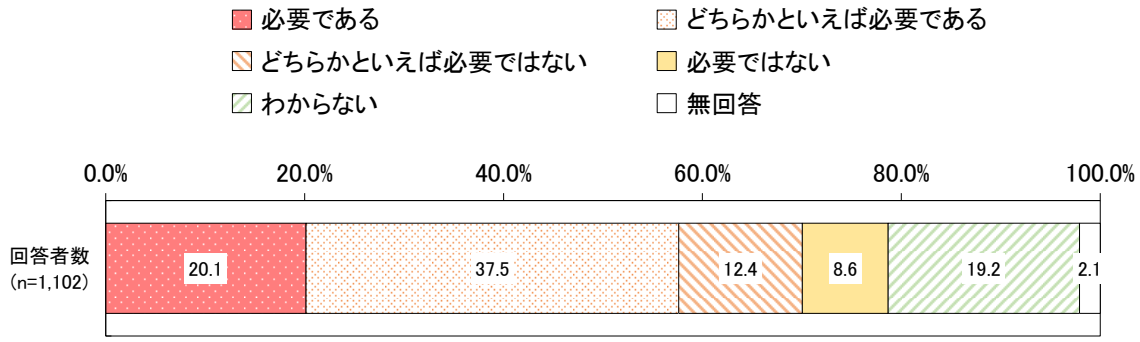
単位：％

区分		有効回答数（件）	近所付合いをしたくない	自治会費などが高い	役員を引き受けたくない	加入の仕方がわからない（きっかけがない）	加入するメリットがない	仕事が忙しく会議や行事などに参加できない	自分の住んでいる地域には自治会そのものがない	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	60	15.0	15.0	23.3	30.0	30.0	45.0	10.0	10.0	5.0
	30 歳代	74	16.2	8.1	24.3	41.9	27.0	39.2	20.3	8.1	1.4
	40 歳代	88	8.0	6.8	27.3	25.0	29.5	31.8	22.7	17.0	1.1
	50 歳代	88	14.8	9.1	25.0	19.3	27.3	37.5	22.7	14.8	2.3
	60 歳代	63	11.1	1.6	23.8	17.5	33.3	27.0	14.3	20.6	1.6
	70 歳代	44	9.1	4.5	36.4	13.6	25.0	2.3	18.2	27.3	2.3
	80 歳以上	24	－	－	8.3	8.3	16.7	－	20.8	45.8	4.2

問 20　あなたは、自治会の必要性を感じていますか。（１つだけ○印）

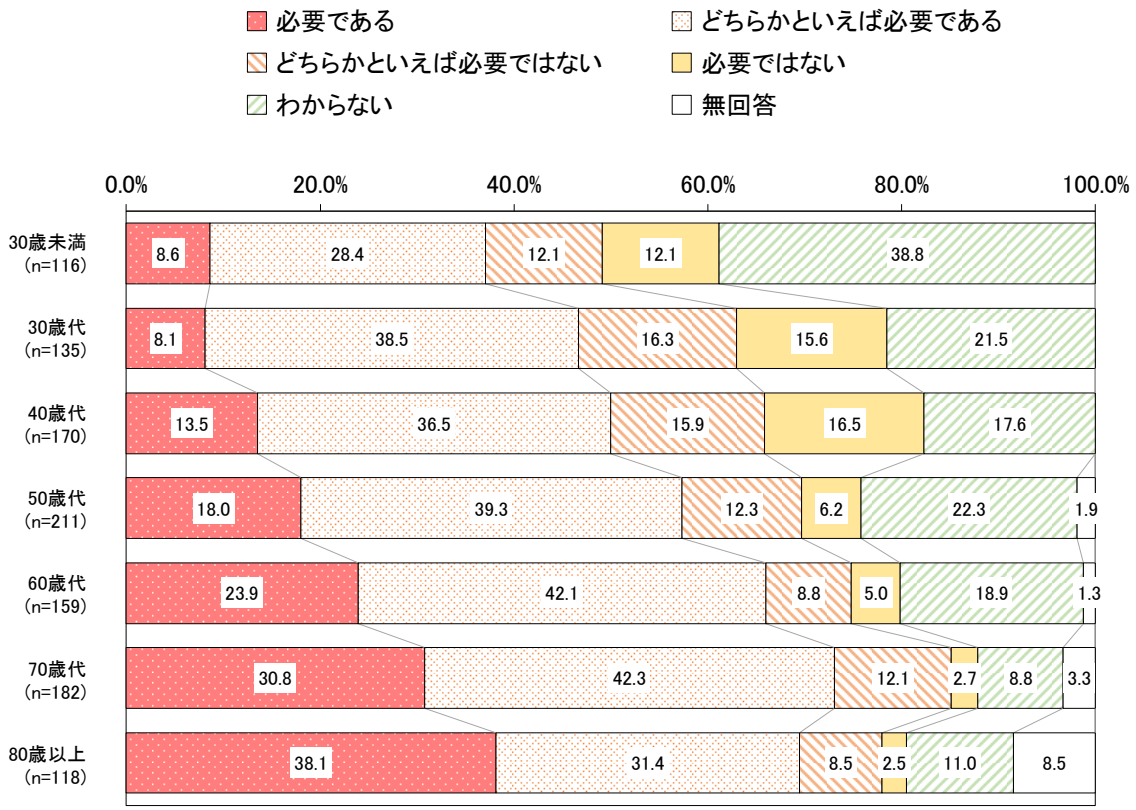
「必要である」と「どちらかといえば必要である」をあわせた“必要である”の割合が 57.6%、「どちらかといえば必要ではない」と「必要ではない」をあわせた“必要でない”の割合が 21.0%となっています。

図表２－19　自治会の必要性（単純回答）



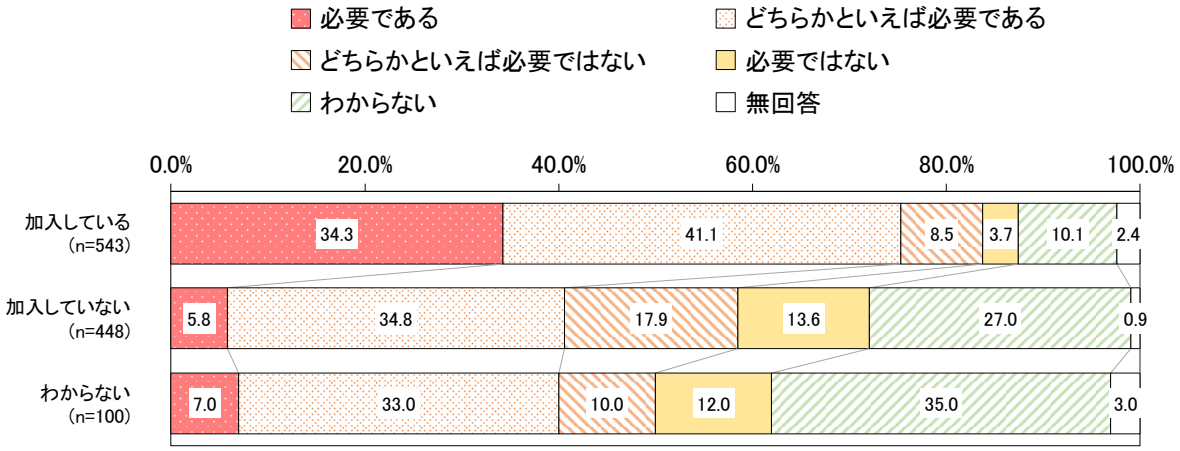
年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「必要である」と「どちらかといえば必要である」をあわせた“必要である”　の割合が最も高くなっています。

図表２－20　自治会の必要性（年齢別）



自治会への加入別でみると、加入していない人に比べ、加入している人の方が“必要である”と回答しています。

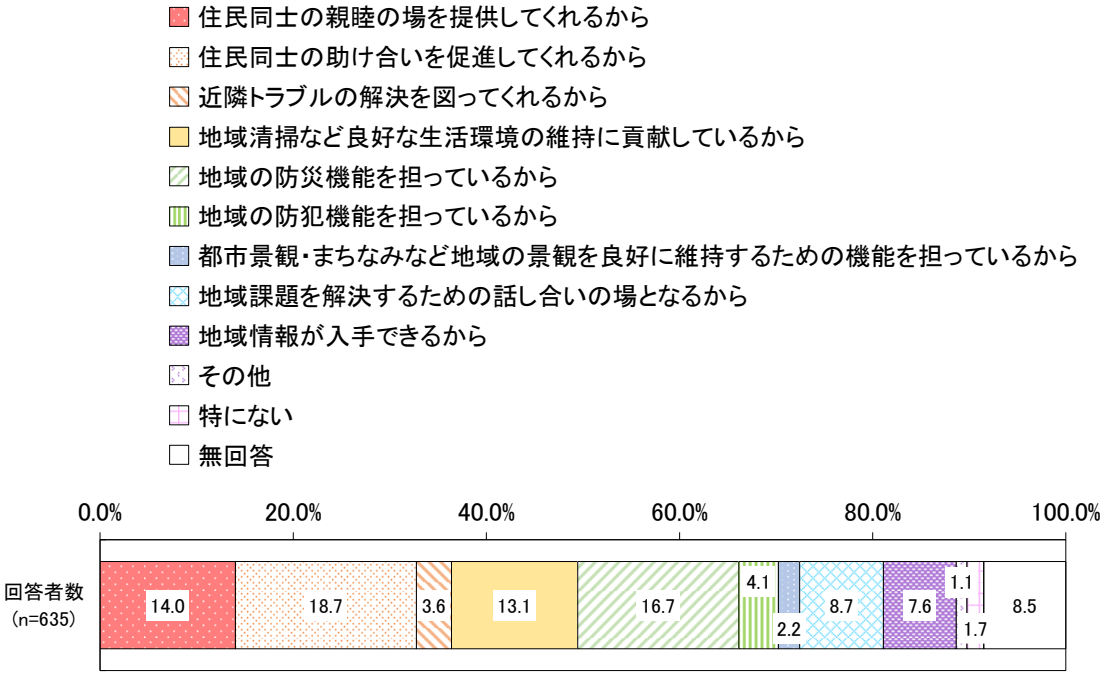
図表２－21　自治会の必要性（自治会への加入別）



問 20-1　あなたは、自治会の必要性をどのようなところに感じていますか。最も大切だと思うものを教えてください。（１つだけ○印）

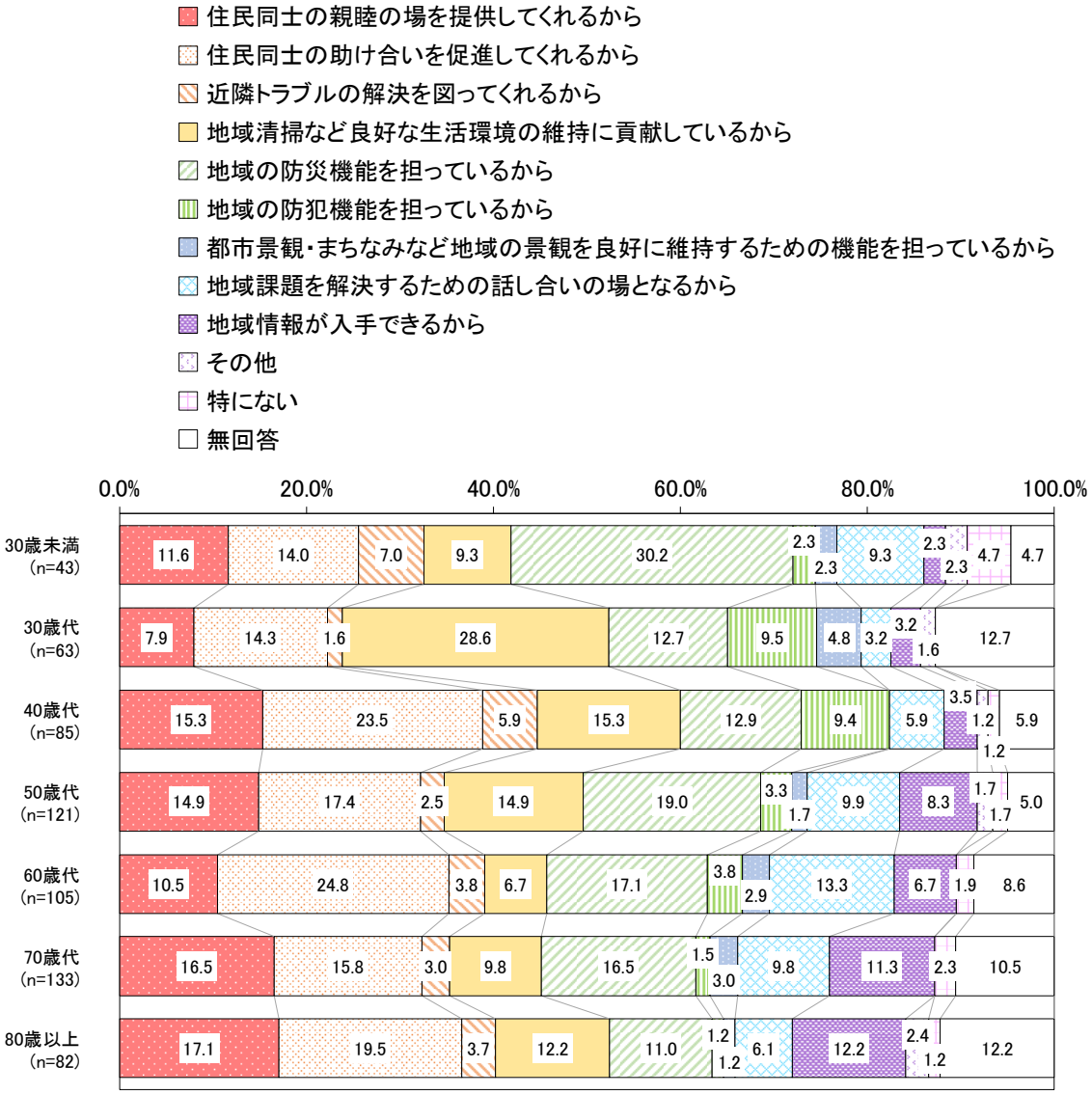
「住民同士の助け合いを促進してくれるから」の割合が 18.7%と最も高く、次いで「地域の防災機能を担っているから」の割合が 16.7%、「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」の割合が 14.0%となっています。

図表２－22　自治会の必要性を感じる要因（単純回答）



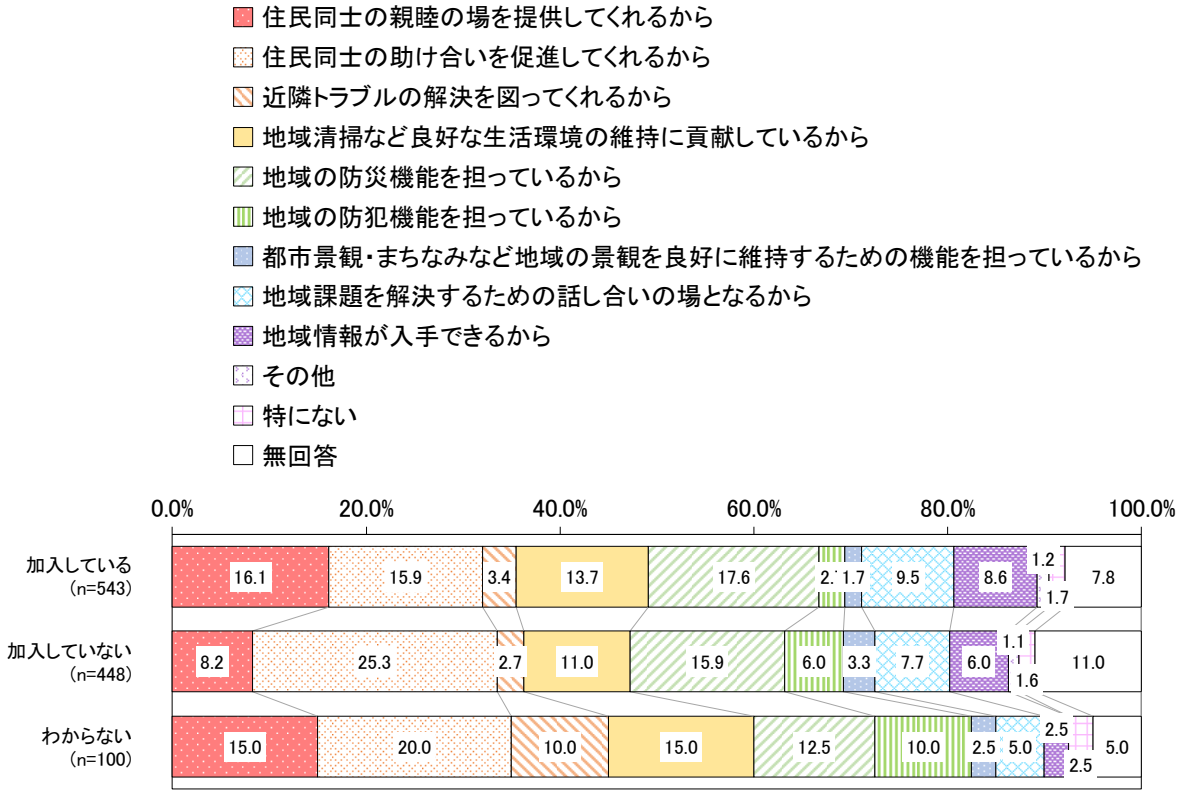
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「地域の防災機能を担っているから」の割合が最も高くなっています。

図表２－23　自治会の必要性を感じる要因（年齢別）



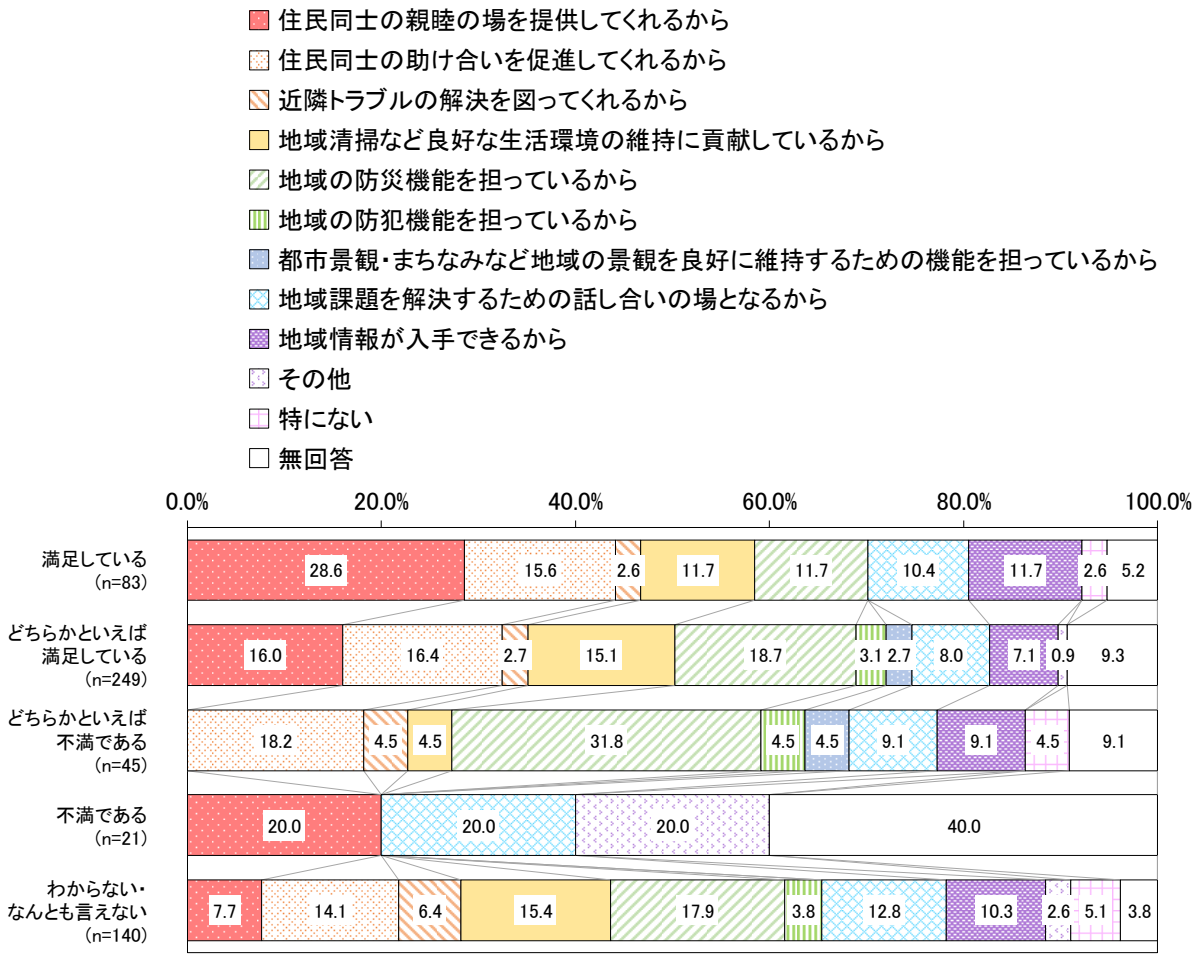
自治会への加入別でみると、加入している人は「地域の防災機能を担っているから」を最も選択しています。

図表２－24　自治会の必要性を感じる要因（自治会への加入別）



自治会活動の満足度別でみると、他に比べ、満足しているで「住民同士の親睦の場を提供してくれるから」の割合が最も高くなっています。

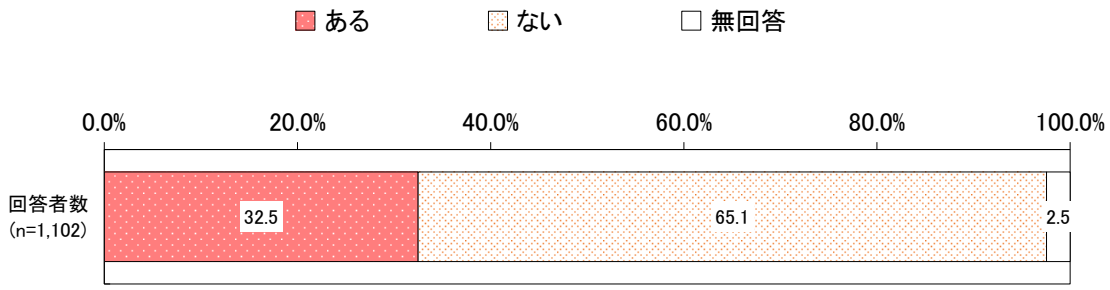
図表２－25　自治会の必要性を感じる要因（自治会活動の満足度別）



問 21　過去１年間に地域の行事や活動へ参加したことがありますか。（１つだけ○印）

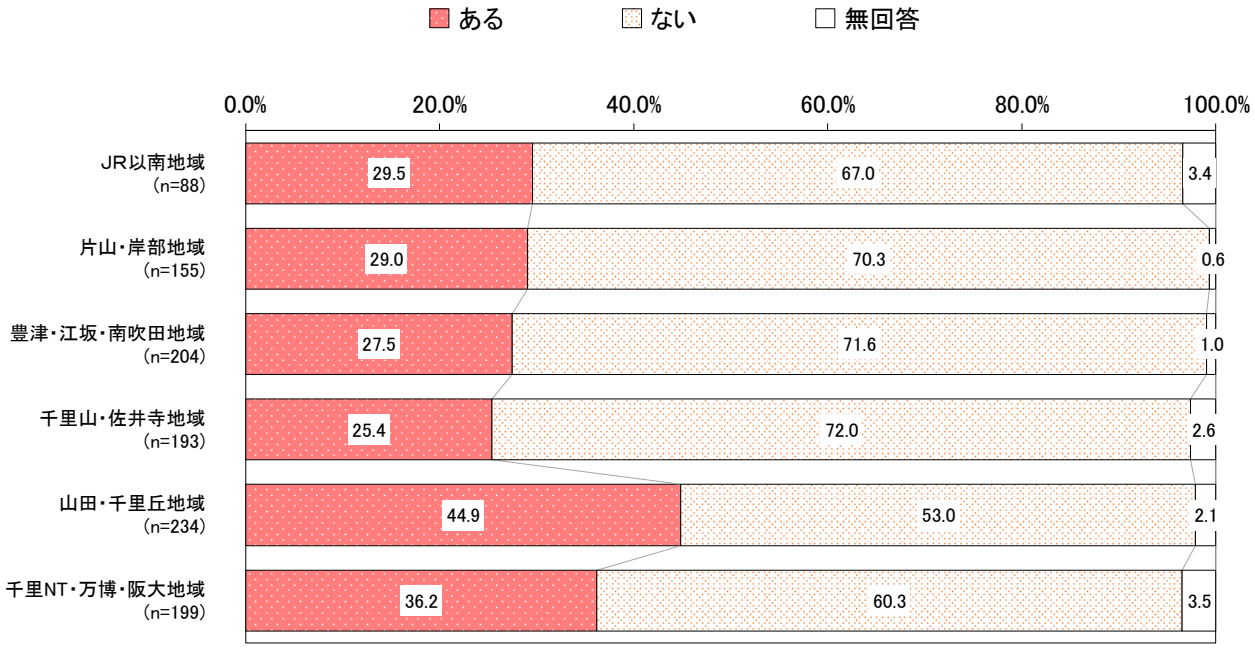
「ある」が 32.5%、「ない」が 65.1%でした。

図表２－26　過去１年間の地域行事への参加状況（単純回答）



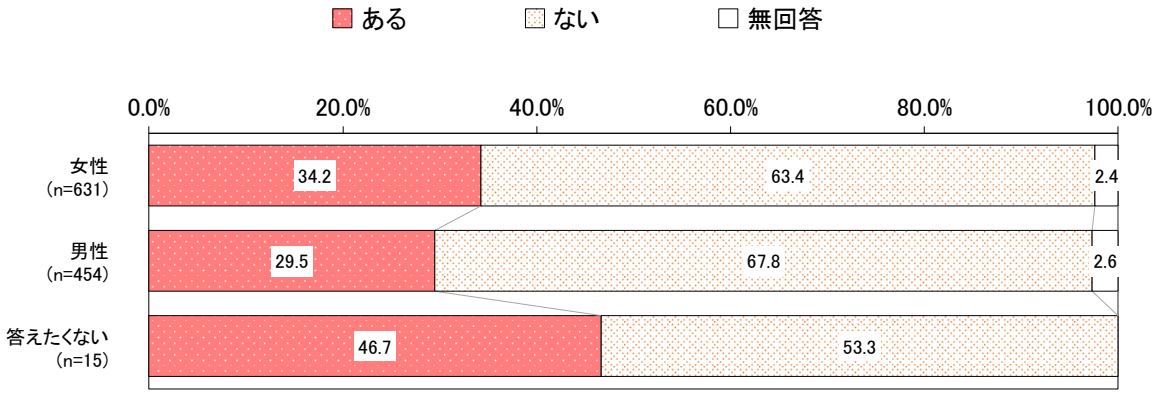
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表２－27　過去１年間の地域行事への参加状況（居住地域別）



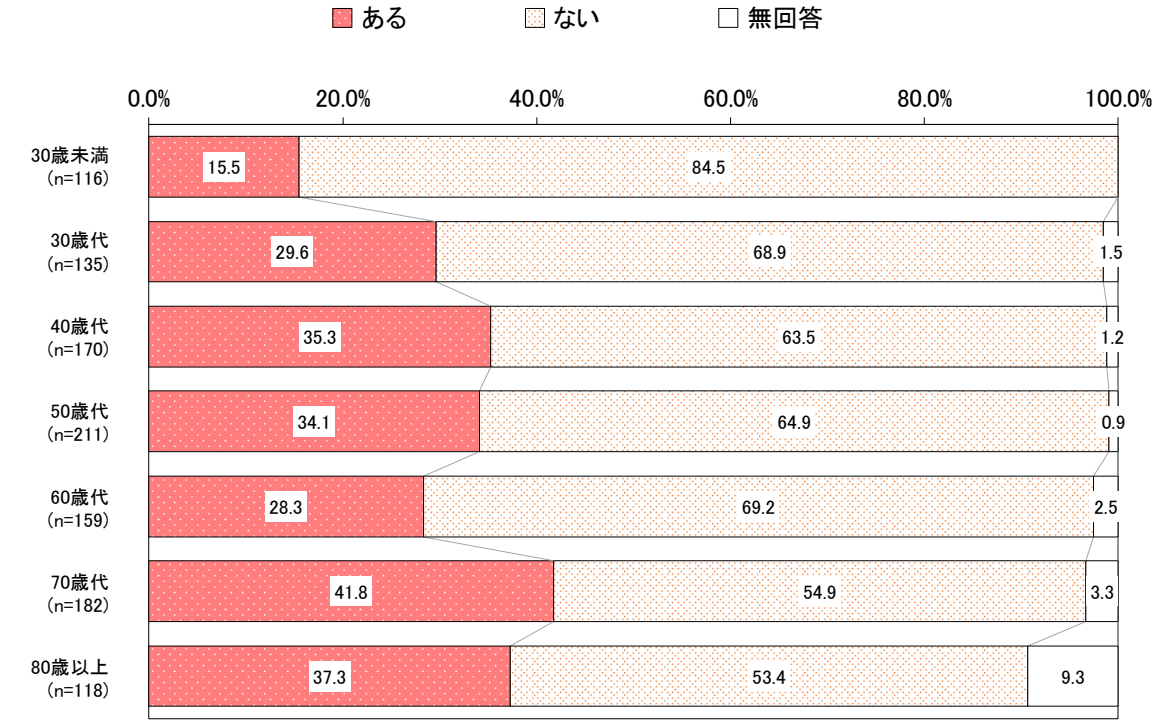
性別でみると、男性より女性の方が「ある」と答えています。

図表２－28　過去１年間の地域行事への参加状況（性別）



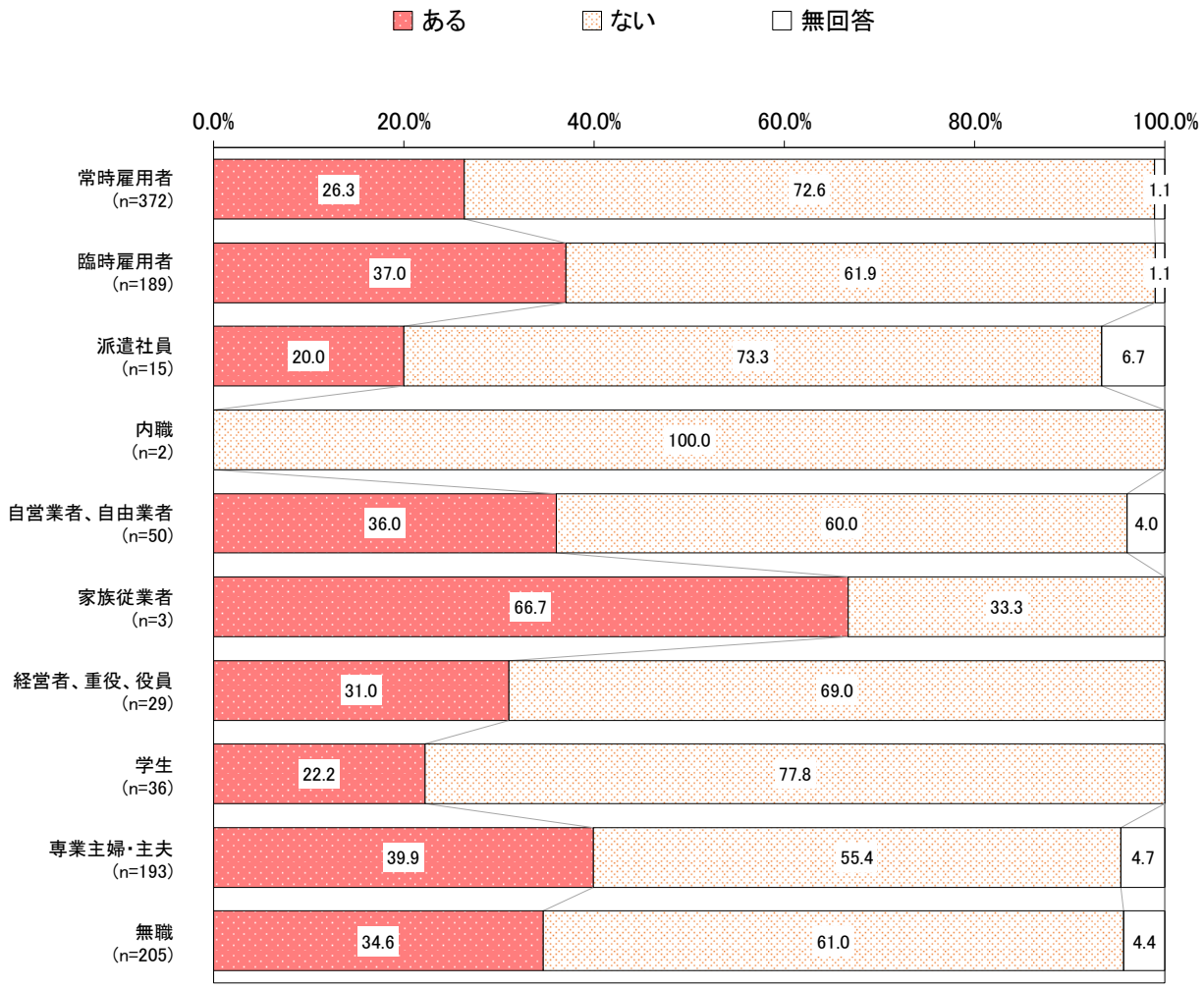
年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表２－29　過去１年間の地域行事への参加状況（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「ある」の割合が最も高くなっています。

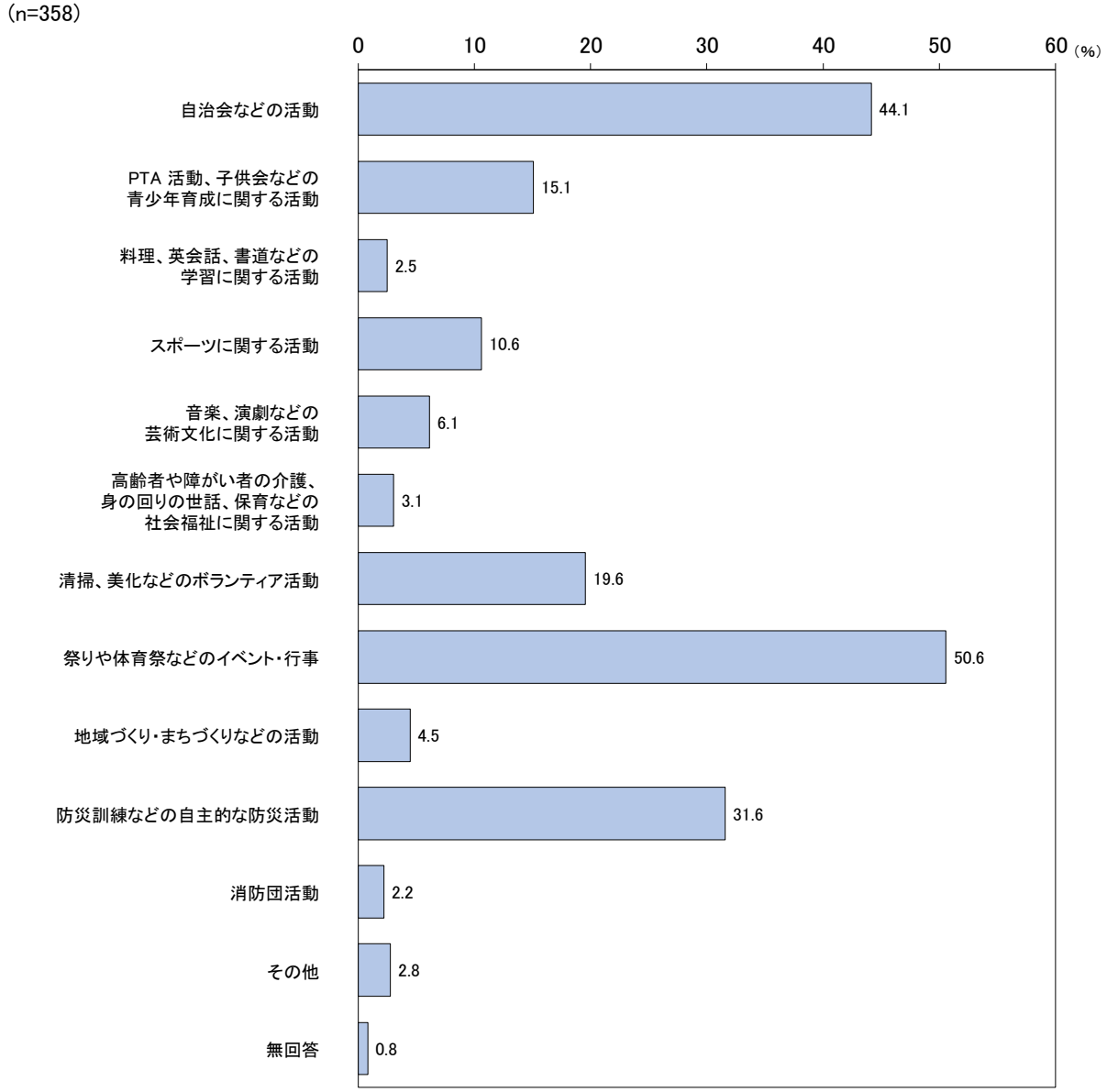
図表２－30　過去１年間の地域行事への参加状況（職業別）



問 21-1　どのような行事や活動へ参加しましたか。（いくつでも）

「祭りや体育祭などのイベント・行事」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「自治会などの活動」の割合が 44.1%、「防災訓練などの自主的な防災活動」の割合が 31.6%となっています。

図表２－31　参加した行事の内容（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、ＪＲ以南地域で「自治会などの活動」の割合が最も高くなっています。

図表２－32　参加した行事の内容（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	ＰＴＡ活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
居住地域別	JR以南地域	26	61.5	19.2	3.8	15.4	7.7	7.7	38.5
	片山・岸部地域	45	46.7	13.3	－	17.8	6.7	－	4.4
	豊津・江坂・南吹田地域	56	26.8	10.7	－	8.9	5.4	5.4	19.6
	千里山・佐井寺地域	49	40.8	20.4	－	10.2	6.1	－	22.4
	山田・千里丘地域	105	45.7	11.4	3.8	8.6	6.7	4.8	21.9
	千里NT・万博・阪大地域	72	47.2	20.8	4.2	8.3	5.6	1.4	18.1

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	26	57.7	7.7	34.6	7.7	－	3.8
	片山・岸部地域	45	55.6	－	33.3	2.2	2.2	－
	豊津・江坂・南吹田地域	56	58.9	7.1	21.4	1.8	5.4	－
	千里山・佐井寺地域	49	44.9	6.1	20.4	－	6.1	－
	山田・千里丘地域	105	43.8	2.9	42.9	2.9	2.9	1.9
	千里NT・万博・阪大地域	72	52.8	5.6	29.2	1.4	－	－

性別でみると、女性より男性の方が「祭りや体育祭などのイベント・行事」と答えています。

図表２－33　参加した行事の内容（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	ＰＴＡ活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
性別	女性	216	39.4	18.1	2.3	10.6	6.0	2.3	18.1
	男性	134	50.0	10.4	3.0	9.7	6.7	4.5	22.4
	答えたくない	7	71.4	14.3	－	28.6	－	－	－

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
性別	女性	216	48.1	3.2	29.6	2.3	1.9	1.4
	男性	134	53.0	6.0	34.3	2.2	4.5	－
	答えたくない	7	71.4	14.3	42.9	－	－	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「祭りや体育祭などのイベント・行事」の割合が最も高くなっています。

図表２－34　参加した行事の内容（年齢別）

単位：％

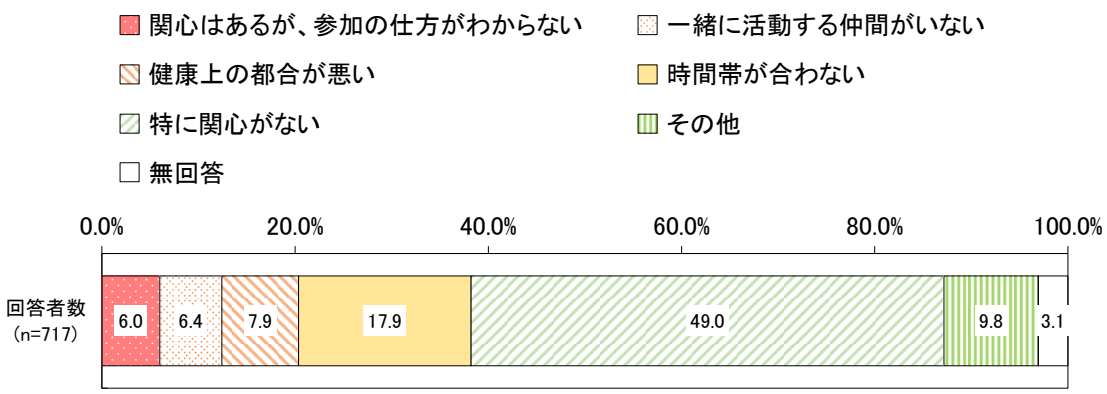
区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	ＰＴＡ活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
年齢別	30 歳未満	18	27.8	5.6	－	11.1	－	－	5.6
	30 歳代	40	15.0	15.0	2.5	5.0	2.5	－	5.0
	40 歳代	60	28.3	50.0	5.0	13.3	3.3	－	8.3
	50 歳代	72	47.2	13.9	2.8	9.7	5.6	1.4	13.9
	60 歳代	45	51.1	4.4	2.2	6.7	6.7	6.7	26.7
	70 歳代	76	64.5	3.9	1.3	9.2	10.5	5.3	34.2
	80 歳以上	44	50.0	4.5	2.3	20.5	9.1	6.8	29.5

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	18	61.1	－	11.1	5.6	－	11.1
	30 歳代	40	70.0	2.5	17.5	－	－	2.5
	40 歳代	60	68.3	1.7	16.7	－	－	－
	50 歳代	72	45.8	6.9	40.3	5.6	－	－
	60 歳代	45	40.0	2.2	28.9	2.2	－	－
	70 歳代	76	43.4	6.6	44.7	2.6	6.6	－
	80 歳以上	44	38.6	6.8	38.6	－	11.4	－

問 21-2　参加したことがない主な理由を教えてください。（１つだけ○印）

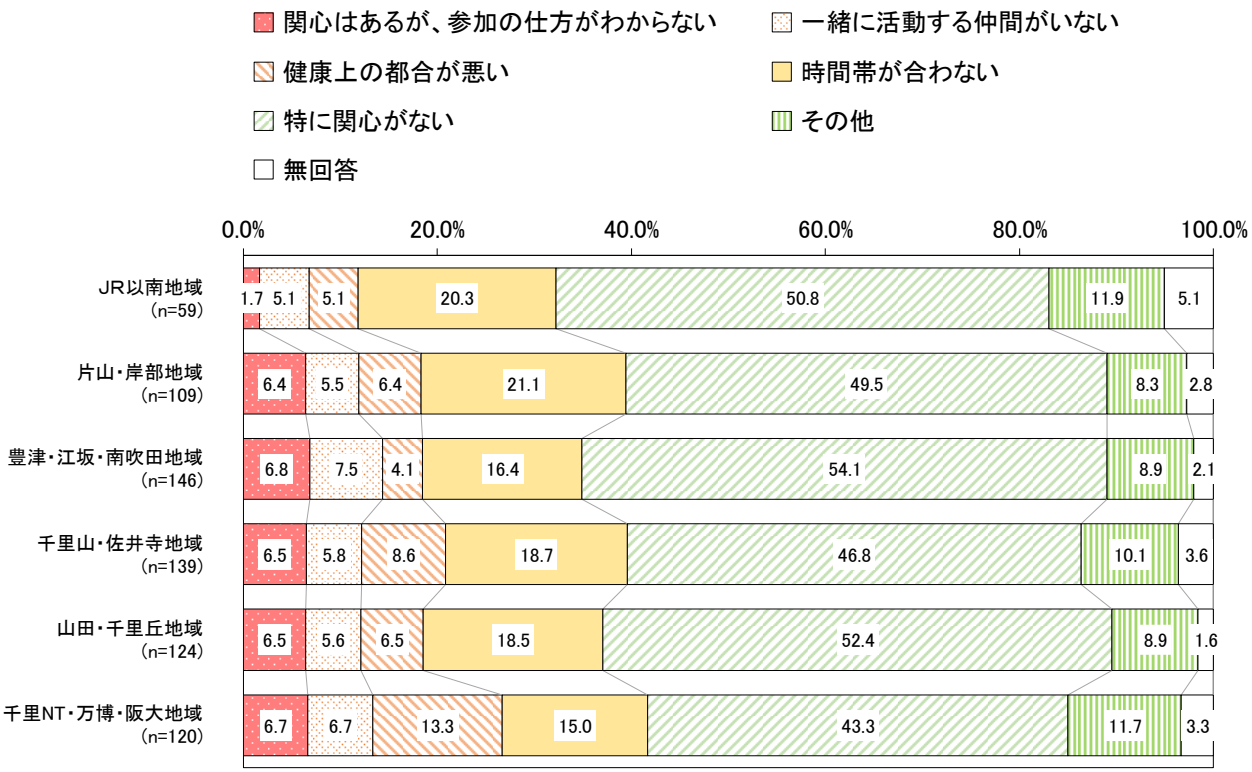
「特に関心がない」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「時間帯が合わない」の割合が 17.9%、「健康上の都合が悪い」の割合が 7.9%となっています。

図表２－35　地域行事の不参加理由（単純回答）



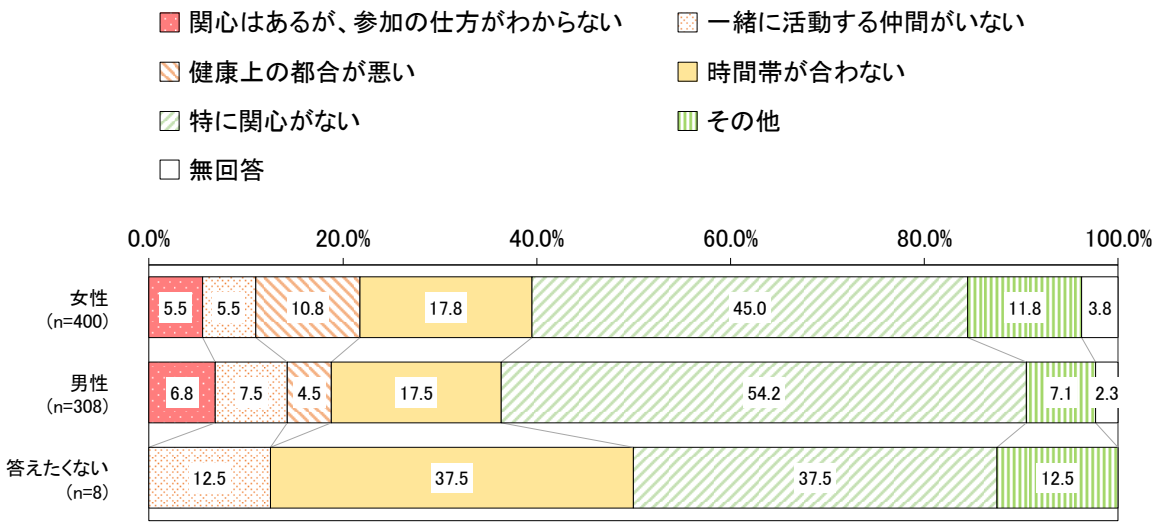
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「特に関心がない」の割合が最も高くなっています。

図表２－36　地域行事の不参加理由（居住地域別）



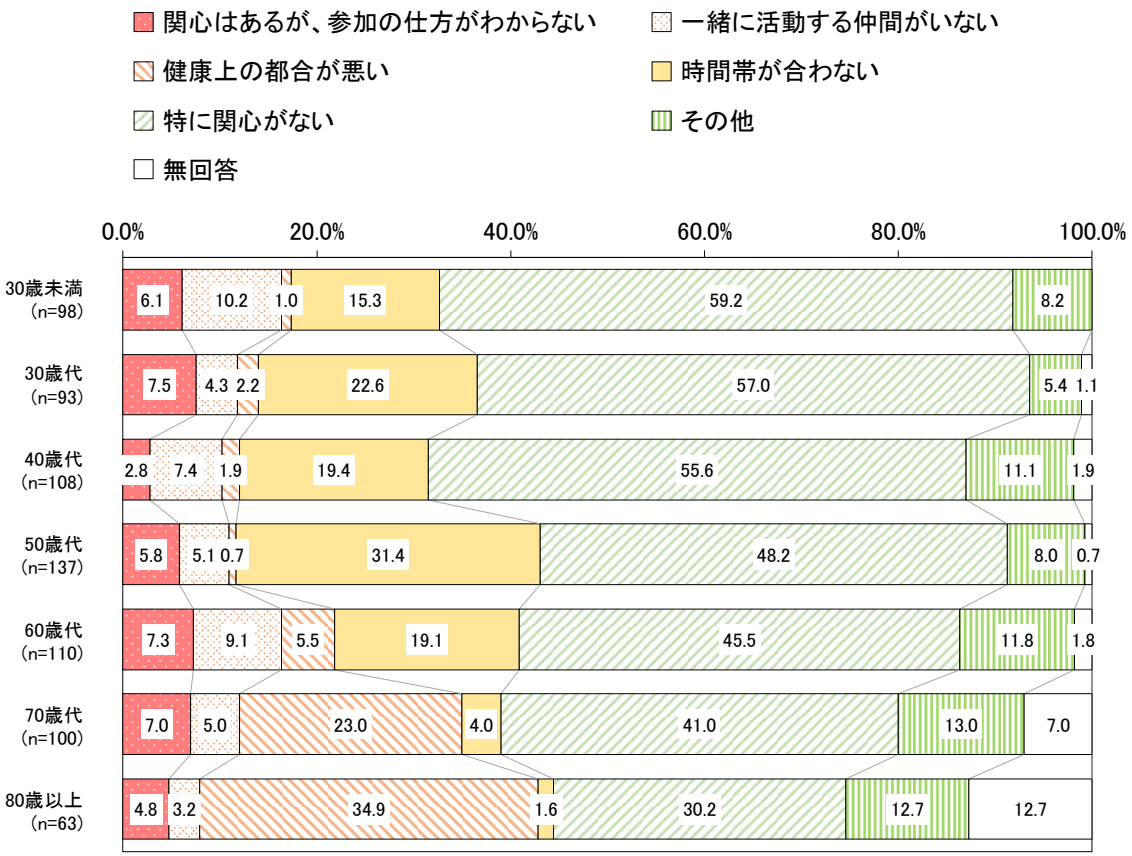
性別でみると、女性より男性の方が「特に関心がない」と答えています。

図表２－37　地域行事の不参加理由（性別）



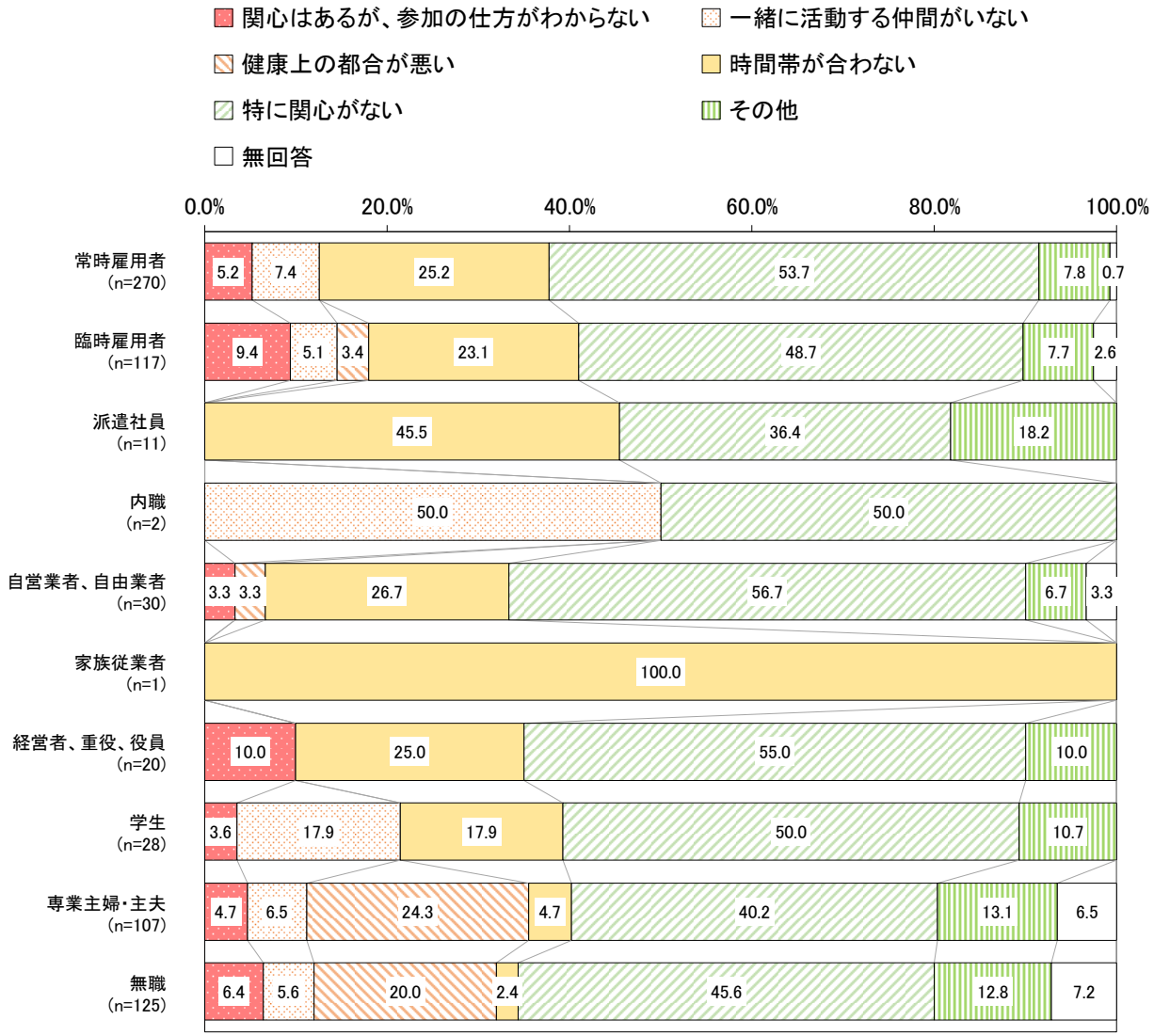
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「特に関心がない」の割合が最も高くなっています。

図表２－38　地域行事の不参加理由（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、自営業者、自由業者で「特に関心がない」の割合が最も高くなっています。

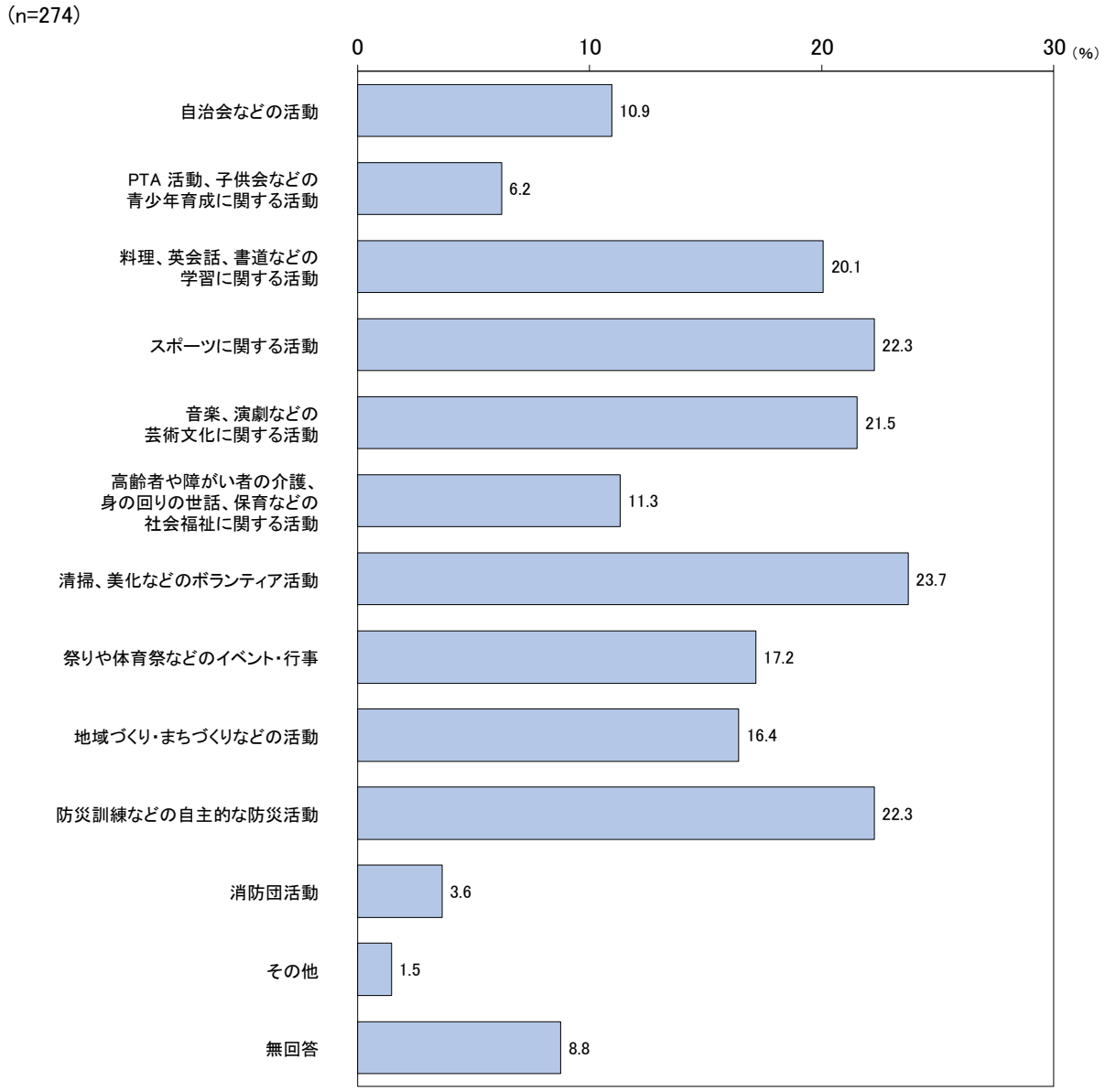
図表２－39　地域行事の不参加理由（職業別）



問 21-3　参加できる状況になったときに、どのような行事や活動へ参加したいと思いますか。（いくつでも）

「清掃、美化などのボランティア活動」の割合が 23.7％と最も高く、次いで「スポーツに関する活動」、「防災訓練などの自主的な防災活動」の割合が 22.3％、「音楽、演劇などの芸術文化に関する活動」の割合が 21.5％となっています。

図表２－40　参加したいと思う行事の内容（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「清掃、美化などのボランティア活動」の割合が最も高くなっています。

図表２－41　参加したいと思う行事の内容（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	ＰＴＡ活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
居住地域別	JR以南地域	19	15.8	－	15.8	21.1	21.1	5.3	15.8
	片山・岸部地域	43	11.6	14.0	23.3	20.9	11.6	7.0	20.9
	豊津・江坂・南吹田地域	51	2.0	5.9	21.6	27.5	17.6	13.7	25.5
	千里山・佐井寺地域	55	12.7	3.6	18.2	21.8	25.5	9.1	32.7
	山田・千里丘地域	46	4.3	4.3	26.1	26.1	28.3	13.0	26.1
	千里NT・万博・阪大地域	50	20.0	6.0	16.0	20.0	26.0	14.0	16.0

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	19	15.8	21.1	31.6	－	－	10.5
	片山・岸部地域	43	9.3	18.6	23.3	11.6	2.3	9.3
	豊津・江坂・南吹田地域	51	27.5	13.7	13.7	－	3.9	3.9
	千里山・佐井寺地域	55	10.9	16.4	23.6	1.8	－	12.7
	山田・千里丘地域	46	23.9	21.7	26.1	4.3	2.2	6.5
	千里NT・万博・阪大地域	50	14.0	14.0	22.0	4.0	－	8.0

性別でみると、男性より女性の方が「音楽、演劇などの芸術文化に関する活動」と答えています。一方、女性より男性の方が「スポーツに関する活動」と答えています。

図表２－42　参加したいと思う行事の内容（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	ＰＴＡ活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
性別	女性	158	8.9	5.1	22.8	16.5	29.1	10.1	22.2
	男性	112	13.4	7.1	17.0	30.4	9.8	12.5	25.9
	答えたくない	4	25.0	25.0	－	25.0	50.0	25.0	25.0

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
性別	女性	158	18.4	12.7	19.0	2.5	1.3	12.0
	男性	112	16.1	21.4	25.0	5.4	1.8	4.5
	答えたくない	4	－	25.0	75.0	－	－	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「祭りや体育祭などのイベント・行事」の割合が最も高くなっています。

図表２－43　参加したいと思う行事の内容（年齢別）

単位：％

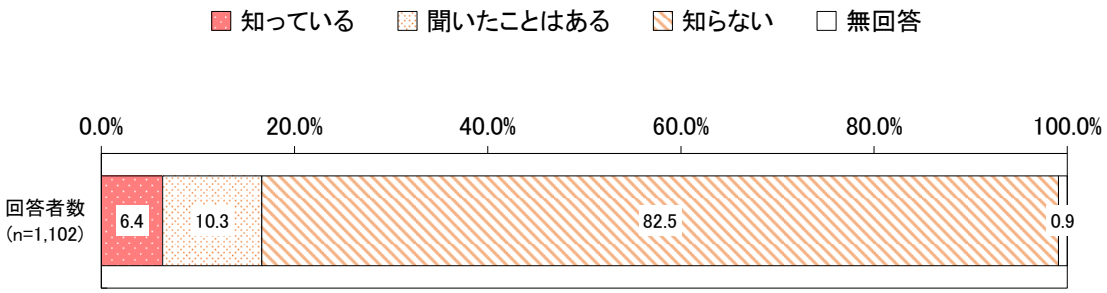
区分		有効回答数（件）	自治会などの活動	ＰＴＡ活動、子供会などの青少年育成に関する活動	料理、英会話、書道などの学習に関する活動	スポーツに関する活動	音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	清掃、美化などのボランティア活動
年齢別	30 歳未満	32	9.4	6.3	21.9	28.1	31.3	6.3	12.5
	30 歳代	34	5.9	17.6	14.7	23.5	20.6	8.8	23.5
	40 歳代	34	5.9	8.8	23.5	23.5	26.5	11.8	29.4
	50 歳代	59	10.2	6.8	23.7	32.2	16.9	10.2	42.4
	60 歳代	45	15.6	2.2	26.7	28.9	22.2	13.3	15.6
	70 歳代	39	12.8	2.6	17.9	7.7	25.6	7.7	17.9
	80 歳以上	28	17.9	－	7.1	－	10.7	25.0	14.3

区分		有効回答数（件）	祭りや体育祭などのイベント・行事	地域づくり・まちづくりなどの活動	防災訓練などの自主的な防災活動	消防団活動	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	32	43.8	21.9	21.9	9.4	－	－
	30 歳代	34	38.2	8.8	11.8	－	－	2.9
	40 歳代	34	14.7	20.6	35.3	5.9	2.9	－
	50 歳代	59	15.3	23.7	28.8	5.1	－	5.1
	60 歳代	45	－	20.0	24.4	2.2	－	6.7
	70 歳代	39	5.1	12.8	17.9	2.6	5.1	17.9
	80 歳以上	28	14.3	－	10.7	－	3.6	28.6

問 22　あなたは、吹田市市民公益活動センター（愛称ラコルタ）をご存知ですか。
（１つだけ○印）

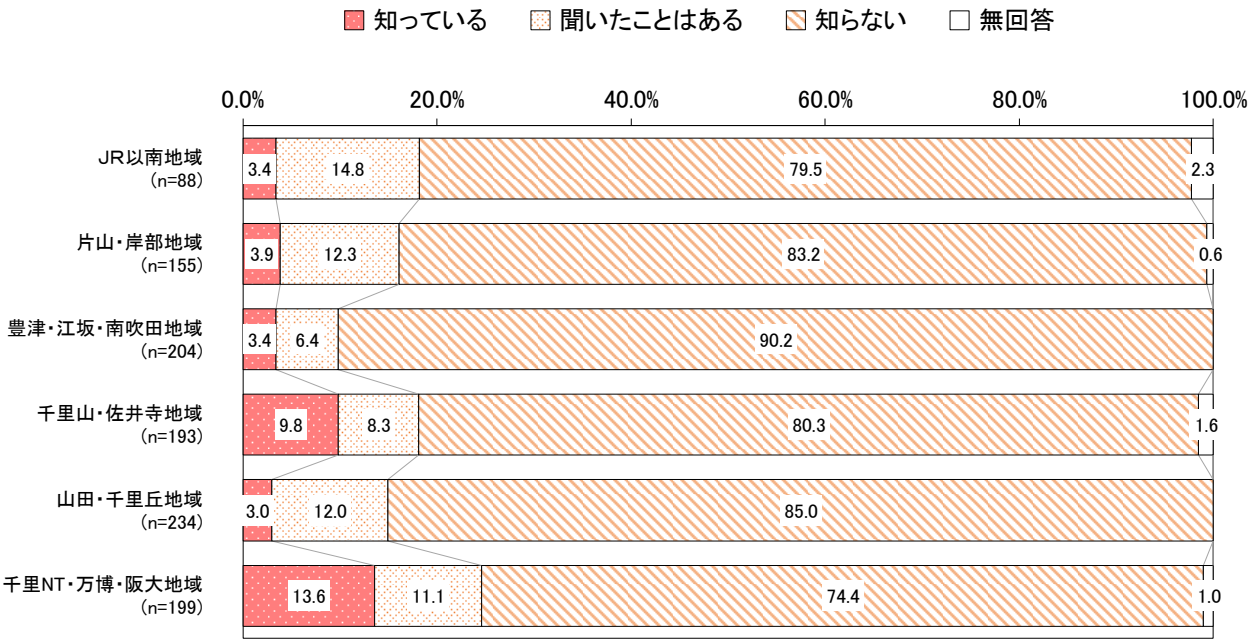
「知っている」が 6.4%、「聞いたことはある」が 10.3%、「知らない」が 82.5%となっています。

図表２－44　吹田市市民公益活動センターの認知度（単純回答）



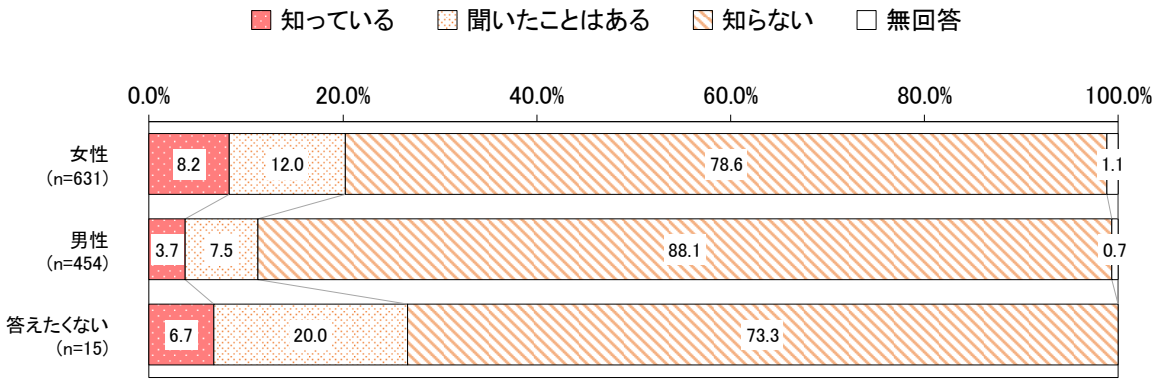
居住地域別でみると、他に比べ、市民公益活動センターが存在する千里ＮＴ・万博・阪大地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表２－45　　吹田市市民公益活動センターの認知度（居住地域別）



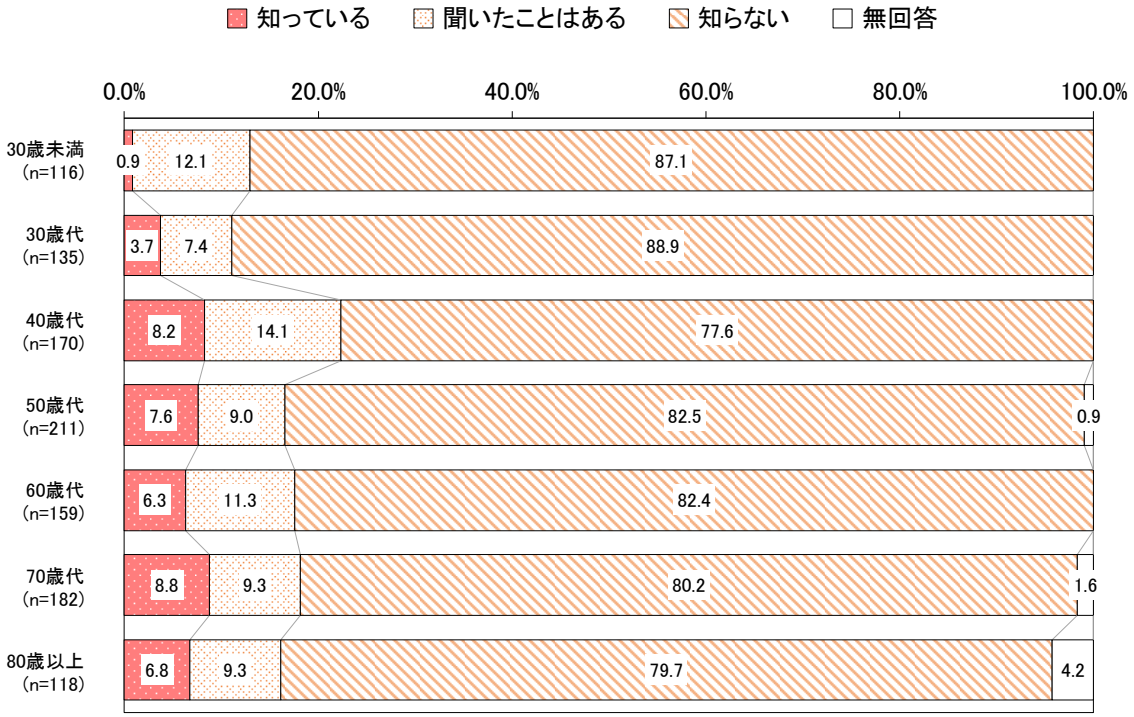
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表２－46　　吹田市市民公益活動センターの認知度（性別）



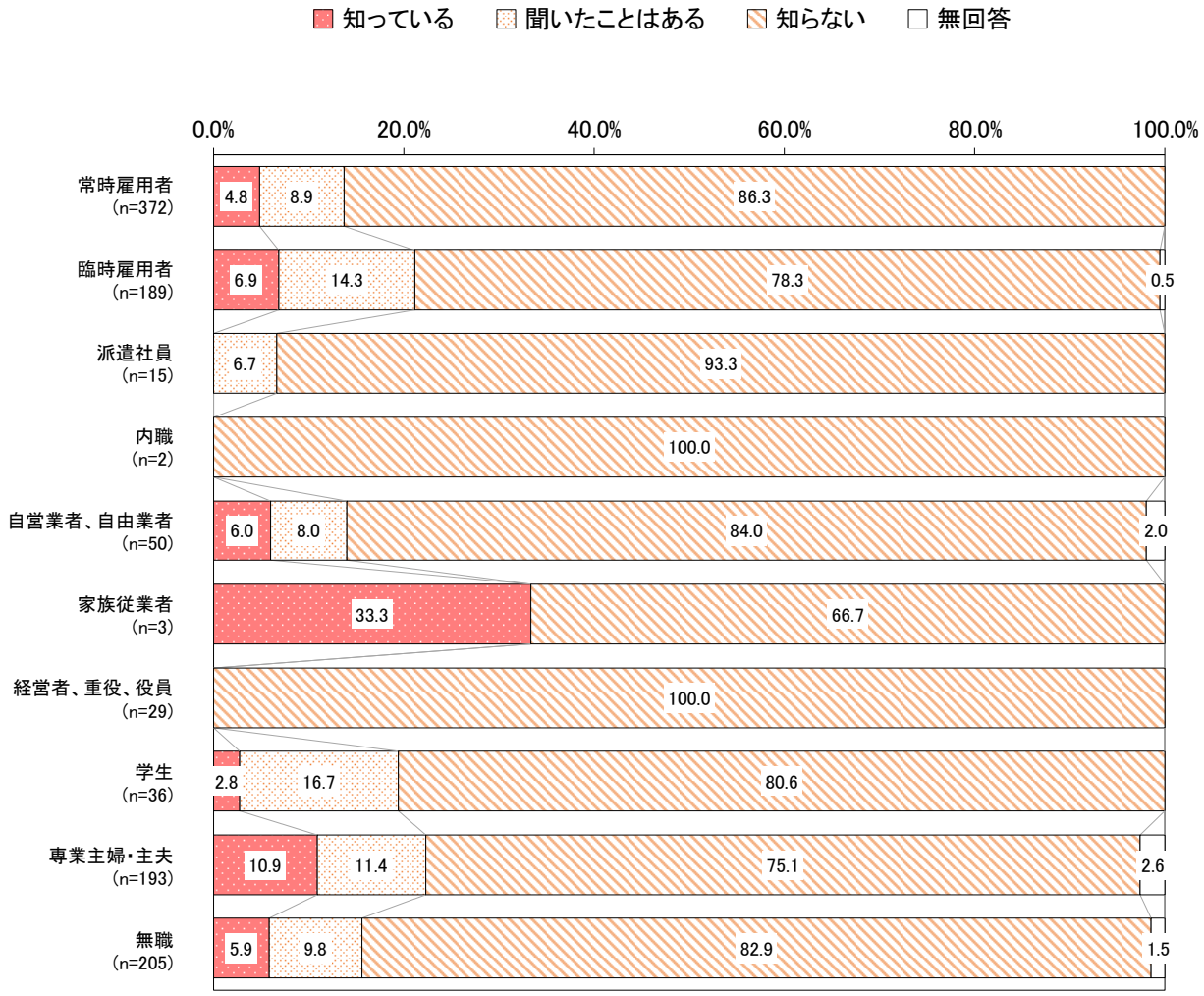
年齢別でみると、30 歳未満では「知っている」と答える人が、特に少ない傾向にあります。

図表２－47　　吹田市市民公益活動センターの認知度（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「知っている」の割合が最も高くなっています。

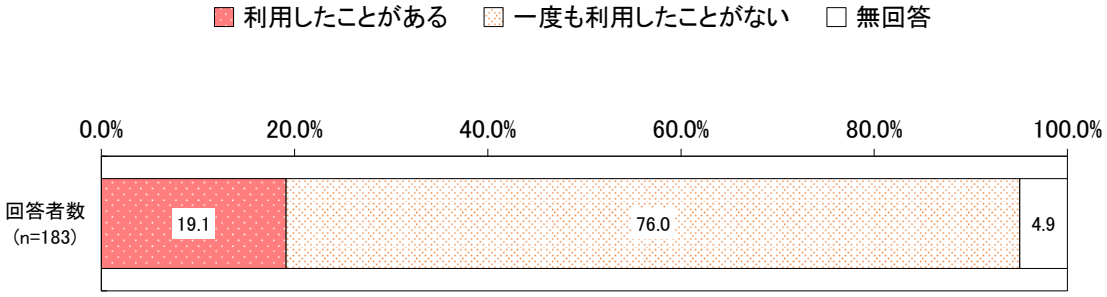
図表２－48　　吹田市市民公益活動センターの認知度（職業別）



問 22-1　吹田市市民公益活動センター（愛称ラコルタ）を利用したことがありますか。
（１つだけ○印）

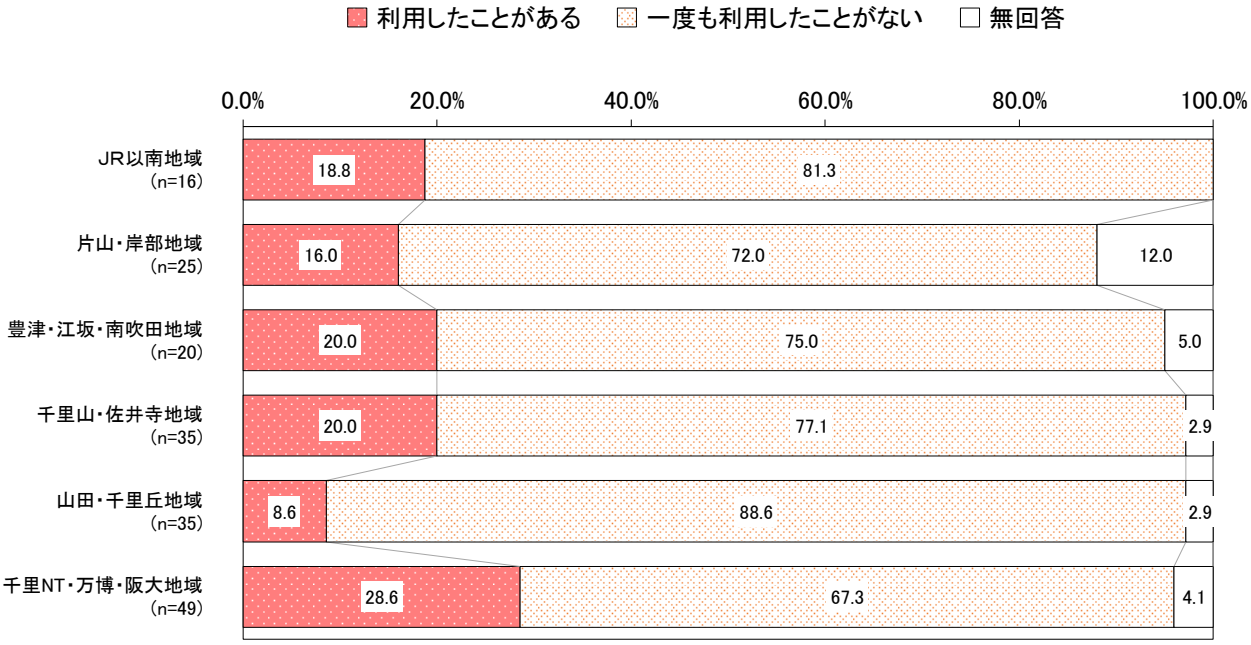
「利用したことがある」が 19.1%、「一度も利用したことがない」が 76.0%でした。

図表２－49　　吹田市市民公益活動センターの利用経験（単純回答）



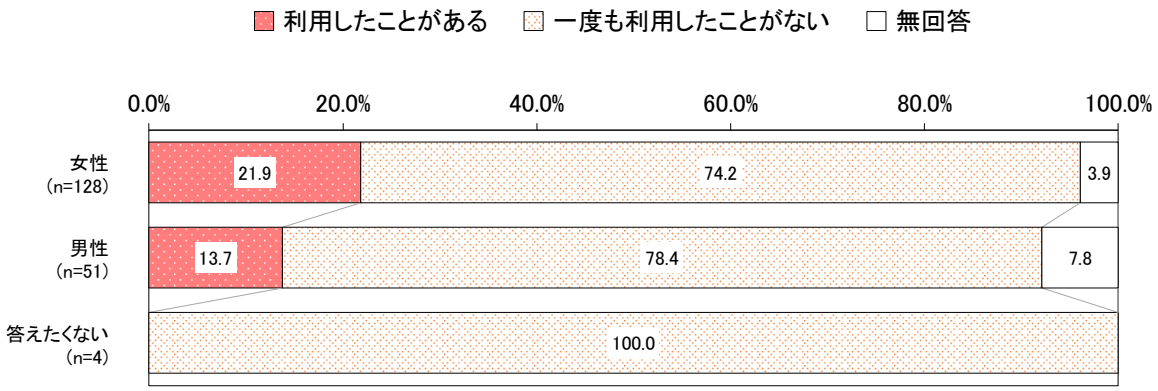
居住地域別でみると、他に比べ、市民公益活動センターが存在する千里ＮＴ・万博・阪大地域で「利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

図表２－50　吹田市市民公益活動センターの利用経験（居住地域別）



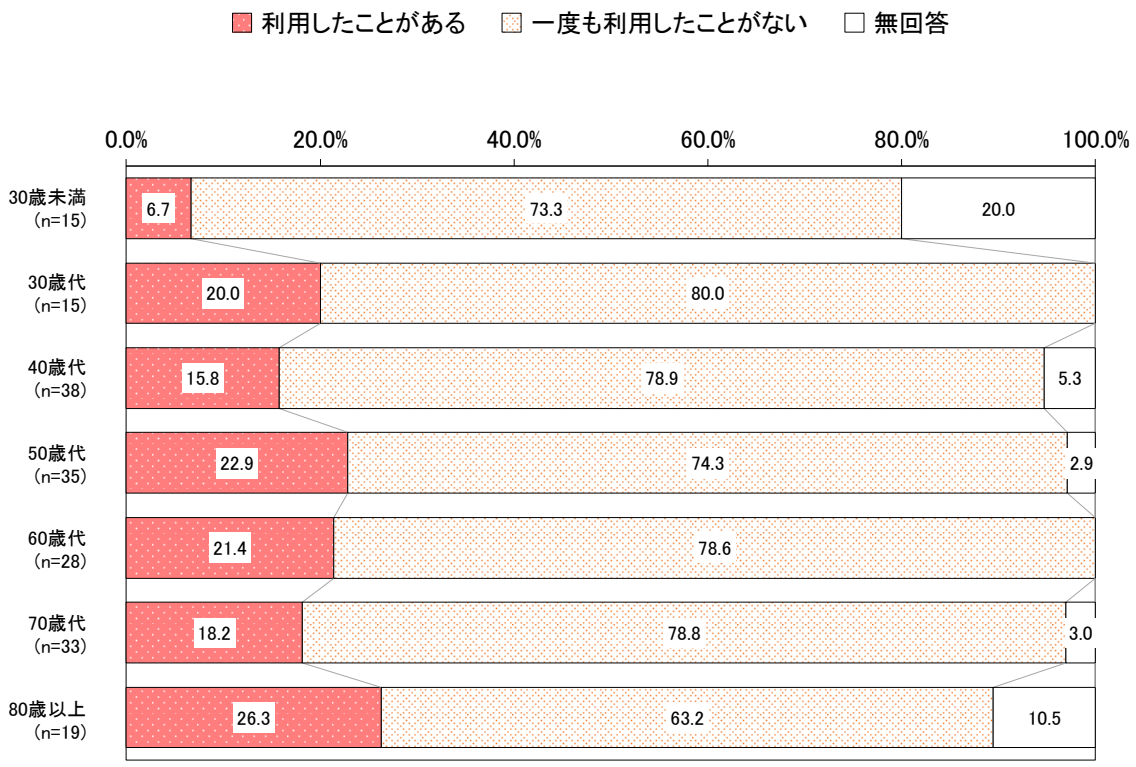
性別でみると、男性より女性の方が「利用したことがある」と答えています。

図表２－51　吹田市市民公益活動センターの利用経験（性別）



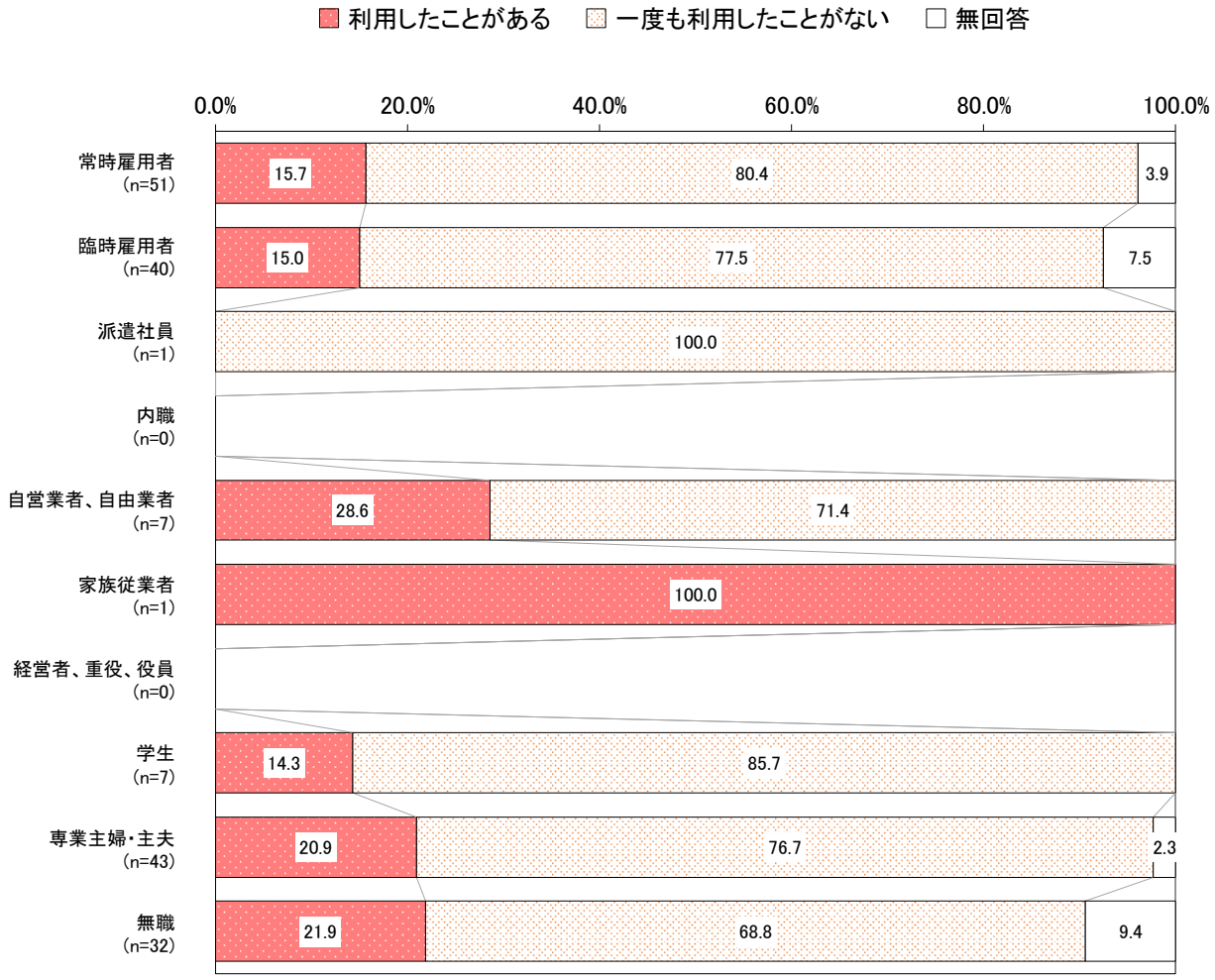
年齢別でみると、他に比べ、80 歳以上で「利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

図表２－52　吹田市市民公益活動センターの利用経験（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

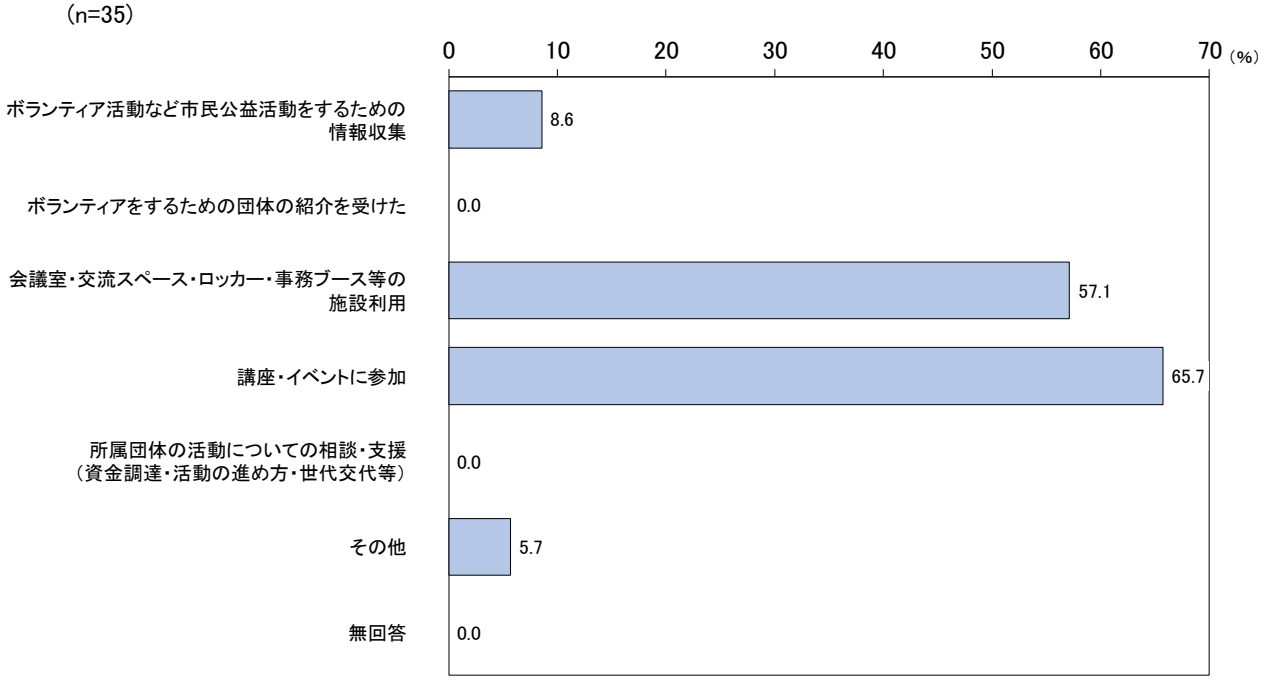
図表２－53　吹田市市民公益活動センターの利用経験（職業別）



問 22-2　どのような内容で利用しましたか。（いくつでも）

「講座・イベントに参加」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用」の割合が 57.1%、「ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集」の割合が 8.6%となっています。

図表２－54　吹田市市民公益活動センターの利用目的（単純回答）



居住地域別でみても「会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用」「講座・イベントに参加」に回答が集中しています。

図表２－55　吹田市市民公益活動センターの利用目的（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	ボランティアをするための団体の紹介を受けた	会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	講座・イベントに参加	所属団体の活動についての相談・支援	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	3	33.3	－	100.0	66.7	－	－	－
	片山・岸部地域	4	25.0	－	50.0	75.0	－	－	－
	豊津・江坂・南吹田地域	4	－	－	75.0	50.0	－	－	－
	千里山・佐井寺地域	7	14.3	－	28.6	100.0	－	－	－
	山田・千里丘地域	3	－	－	33.3	66.7	－	－	－
	千里NT・万博・阪大地域	14	－	－	64.3	50.0	－	14.3	－

性別でみると、男性より女性の方が「講座・イベントに参加」と答えています。一方、女性より男性の方が「会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用」と答えています。

図表２－56　吹田市市民公益活動センターの利用目的（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	ボランティアをするための団体の紹介を受けた	会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	講座・イベントに参加	所属団体の活動についての相談・支援	その他	無回答
性別	女性	28	7.1	－	53.6	67.9	－	－	－
	男性	7	14.3	－	71.4	57.1	－	28.6	－
	答えたくない	0	－	－	－	－	－	－	－

年齢別でみても「会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用」「講座・イベントに参加」に回答が集中しています。

図表２－57　吹田市市民公益活動センターの利用目的（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	ボランティアをするための団体の紹介を受けた	会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	講座・イベントに参加	所属団体の活動についての相談・支援	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	1	－	－	－	－	－	100.0	－
	30 歳代	3	－	－	66.7	100.0	－	－	－
	40 歳代	6	－	－	66.7	33.3	－	16.7	－
	50 歳代	8	－	－	62.5	62.5	－	－	－
	60 歳代	6	16.7	－	66.7	50.0	－	－	－
	70 歳代	6	33.3	－	33.3	100.0	－	－	－
	80 歳以上	5	－	－	60.0	80.0	－	－	－

職業別でみると、他に比べ、自営業者、自由業者、家族従業者で「講座・イベントに参加」の割合が最も高くなっています。

図表２－58　吹田市市民公益活動センターの利用目的（職業別）

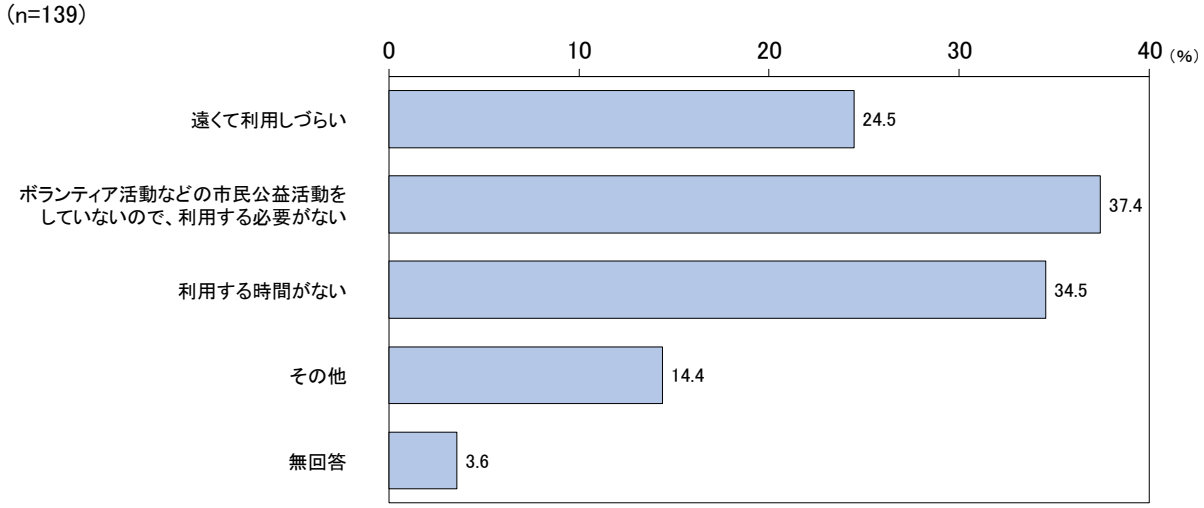
単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	ボランティアをするための団体の紹介を受けた	会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	講座・イベントに参加	所属団体の活動についての相談・支援	その他	無回答
職業別	常時雇用者	8	12.5	－	87.5	50.0	－	12.5	－
	臨時雇用者	6	－	－	66.7	50.0	－	－	－
	派遣社員	0	－	－	－	－	－	－	－
	内職	0	－	－	－	－	－	－	－
	自営業者、自由業者	2	－	－	50.0	100.0	－	－	－
	家族従業者	1	－	－	－	100.0	－	－	－
	経営者、重役、役員	0	－	－	－	－	－	－	－
	学生	1	－	－	－	－	－	100.0	－
	専業主婦・主夫	9	－	－	44.4	66.7	－	－	－
	無職	7	28.6	－	57.1	85.7	－	－	－

問 22-3　一度も利用したことがない理由を教えてください。（いくつでも）

「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「利用する時間がない」の割合が 34.5%、「遠くて利用しづらい」の割合が 24.5%となっています。

図表２－59　吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。

図表２－60　吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	遠くて利用しづらい	ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	利用する時間がない	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	13	30.8	38.5	15.4	23.1	－
	片山・岸部地域	18	50.0	55.6	16.7	5.6	5.6
	豊津・江坂・南吹田地域	15	26.7	20.0	53.3	13.3	－
	千里山・佐井寺地域	27	7.4	33.3	51.9	18.5	－
	山田・千里丘地域	31	35.5	41.9	22.6	12.9	3.2
	千里NT・万博・阪大地域	33	9.1	36.4	42.4	15.2	6.1

性別でみると、男性より女性の方が「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」と答えています。女性より男性の方が「利用する時間がない」と答えています。

図表２－61　吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	遠くて利用しづらい	ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	利用する時間がない	その他	無回答
性別	女性	95	28.4	37.9	27.4	18.9	4.2
	男性	40	15.0	35.0	50.0	5.0	2.5
	答えたくない	4	25.0	50.0	50.0	－	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。

図表２－62　吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	遠くて利用しづらい	ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	利用する時間がない	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	11	27.3	36.4	36.4	18.2	－
	30 歳代	12	25.0	58.3	16.7	16.7	8.3
	40 歳代	30	30.0	33.3	33.3	13.3	3.3
	50 歳代	26	23.1	38.5	46.2	11.5	－
	60 歳代	22	22.7	50.0	36.4	13.6	－
	70 歳代	26	19.2	26.9	34.6	11.5	11.5
	80 歳以上	12	25.0	25.0	25.0	25.0	－

職業別でみると、他に比べ、自営業者、自由業者で「ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。

図表２－63　吹田市市民公益活動センターを利用したことがない理由（職業別）

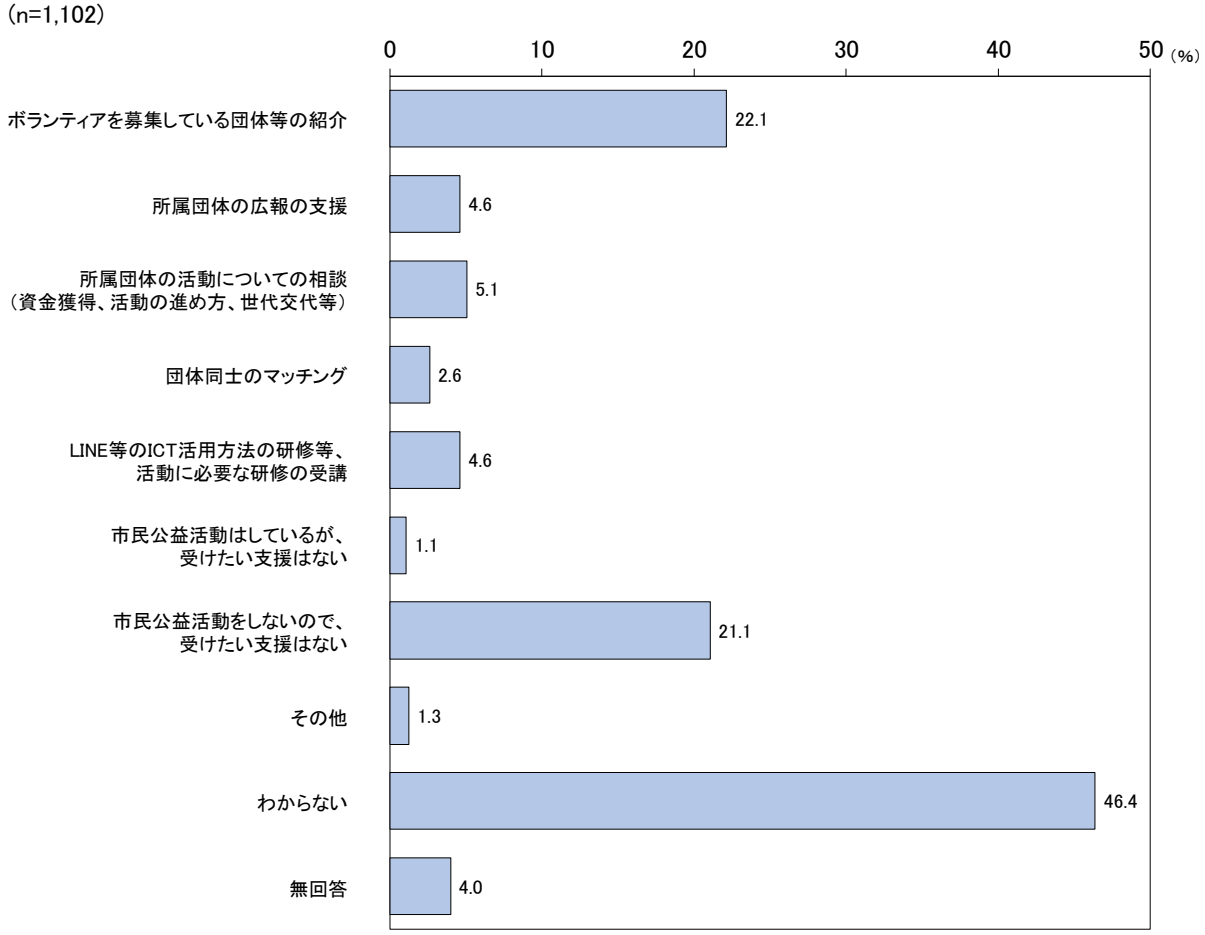
単位：％

区分		有効回答数（件）	遠くて利用しづらい	ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	利用する時間がない	その他	無回答
職業別	常時雇用者	41	14.6	43.9	43.9	4.9	4.9
	臨時雇用者	31	38.7	25.8	29.0	29.0	3.2
	派遣社員	1	－	－	100.0	－	－
	内職	0	－	－	－	－	－
	自営業者、自由業者	5	－	60.0	40.0	－	－
	家族従業者	0	－	－	－	－	－
	経営者、重役、役員	0	－	－	－	－	－
	学生	6	50.0	50.0	16.7	16.7	－
	専業主婦・主夫	33	24.2	36.4	27.3	18.2	6.1
	無職	22	22.7	36.4	36.4	9.1	－

問 23　あなたがボランティア活動などの市民公益活動をする上で、受けたい支援として当てはまるものを教えてください。（いくつでも）

「ボランティアを募集している団体等の紹介」の割合が 22.1％と最も高く、次いで「市民公益活動をしないので、受けたい支援はない」の割合が 21.1％、「所属団体の活動についての相談（資金獲得、活動の進め方、世代交代等）」の割合が 5.1％となっています。

図表２－64　市民公益活動をする上で受けたい支援（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「ボランティアを募集している団体等の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表２－65　市民公益活動をする上で受けたい支援（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティアを募集している団体等の紹介	所属団体の広報の支援	所属団体の活動についての相談	団体同士のマッチング	ＩＣＴ活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	市民公益活動をしないので、受けたい支援はない	その他	わからない	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	15.9	5.7	2.3	1.1	5.7	1.1	18.2	1.1	51.1	4.5
	片山・岸部地域	155	21.9	7.1	6.5	3.2	7.1	－	22.6	0.6	42.6	5.2
	豊津・江坂・南吹田地域	204	16.7	2.5	4.9	3.4	4.9	1.0	25.0	3.4	48.5	1.5
	千里山・佐井寺地域	193	24.9	4.1	5.7	3.1	2.6	1.0	21.8	0.5	46.1	3.6
	山田・千里丘地域	234	27.4	6.0	5.6	2.1	4.7	0.4	15.4	0.4	49.6	1.7
	千里NT・万博・阪大地域	199	24.1	4.0	5.0	2.5	4.5	3.0	23.6	1.5	40.2	5.5

性別でみると、女性より男性の方が「市民公益活動をしないので、受けたい支援はない」と答えています。

図表２－66　市民公益活動をする上で受けたい支援（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティアを募集している団体等の紹介	所属団体の広報の支援	所属団体の活動についての相談	団体同士のマッチング	ＩＣＴ活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	市民公益活動をしないので、受けたい支援はない	その他	わからない	無回答
性別	女性	631	22.7	4.3	4.9	3.0	4.9	0.5	17.6	1.4	48.7	4.6
	男性	454	21.4	5.1	5.3	2.2	3.7	1.8	26.2	1.1	42.7	3.3
	答えたくない	15	26.7	6.7	6.7	－	20.0	6.7	13.3	－	53.3	－

年齢別でみると、他に比べ、60 歳代で「ボランティアを募集している団体等の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表２－67　市民公益活動をする上で受けたい支援（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティアを募集している団体等の紹介	所属団体の広報の支援	所属団体の活動についての相談	団体同士のマッチング	ＩＣＴ活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	市民公益活動をしないので、受けたい支援はない	その他	わからない	無回答
年齢別	30 歳未満	116	29.3	6.0	9.5	4.3	7.8	1.7	20.7	1.7	37.1	0.9
	30 歳代	135	17.8	2.2	3.7	2.2	3.0	0.7	21.5	0.7	54.1	2.2
	40 歳代	170	21.2	5.3	8.2	2.9	4.1	0.6	28.2	1.2	41.8	1.2
	50 歳代	211	25.1	3.8	5.7	3.3	6.6	0.9	19.9	0.9	46.0	1.4
	60 歳代	159	30.8	6.9	5.0	1.9	4.4	0.6	18.9	1.3	44.7	1.3
	70 歳代	182	20.9	3.3	1.6	2.7	3.8	0.5	17.0	0.5	52.7	7.7
	80 歳以上	118	7.6	5.9	2.5	0.8	1.7	3.4	22.0	3.4	45.8	15.3

職業別でみると、他に比べ、学生で「ボランティアを募集している団体等の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表２－68　市民公益活動をする上で受けたい支援（職業別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ボランティアを募集している団体等の紹介	所属団体の広報の支援	所属団体の活動についての相談	団体同士のマッチング	ＩＣＴ活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	市民公益活動をしないので、受けたい支援はない	その他	わからない	無回答
職業別	常時雇用者	372	24.2	4.6	8.1	3.0	6.2	1.1	26.6	1.1	39.5	1.1
	臨時雇用者	189	20.1	4.2	4.8	2.1	3.2	0.5	15.3	1.1	57.1	2.1
	派遣社員	15	20.0	－	6.7	6.7	20.0	－	20.0	－	46.7	－
	内職	2	－	－	－	－	－	－	50.0	－	50.0	－
	自営業者、自由業者	50	28.0	2.0	2.0	2.0	6.0	2.0	24.0	2.0	36.0	6.0
	家族従業者	3	－	－	－	－	－	－	33.3	－	66.7	－
	経営者、重役、役員	29	34.5	3.4	3.4	3.4	6.9	3.4	13.8	3.4	41.4	3.4
	学生	36	47.2	13.9	11.1	11.1	11.1	2.8	8.3	2.8	27.8	2.8
	専業主婦・主夫	193	19.7	4.7	3.1	1.0	2.1	0.5	16.6	1.0	49.2	8.8
	無職	205	16.6	4.9	2.0	2.4	2.9	1.5	22.4	1.5	52.2	5.9

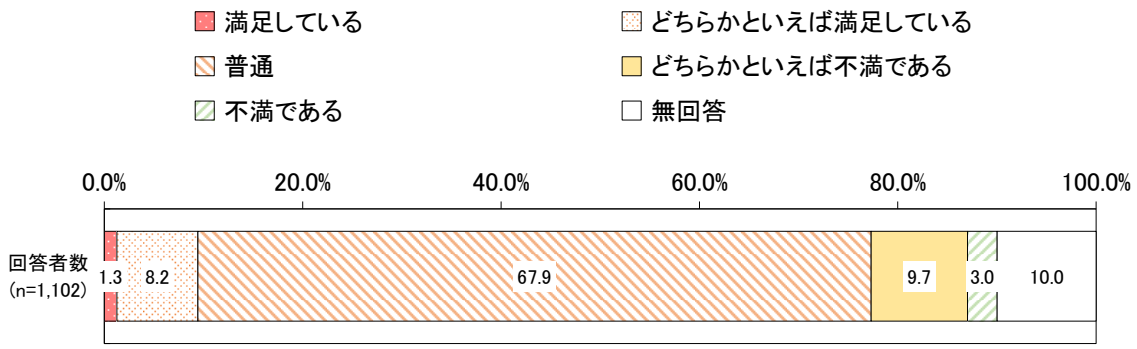
問 24　あなたは、次の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市民自治を進めるに当たってどの程度重要だと思いますか。
（「満足度」と「重要度」からそれぞれ１つずつ○印）

満足度

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働

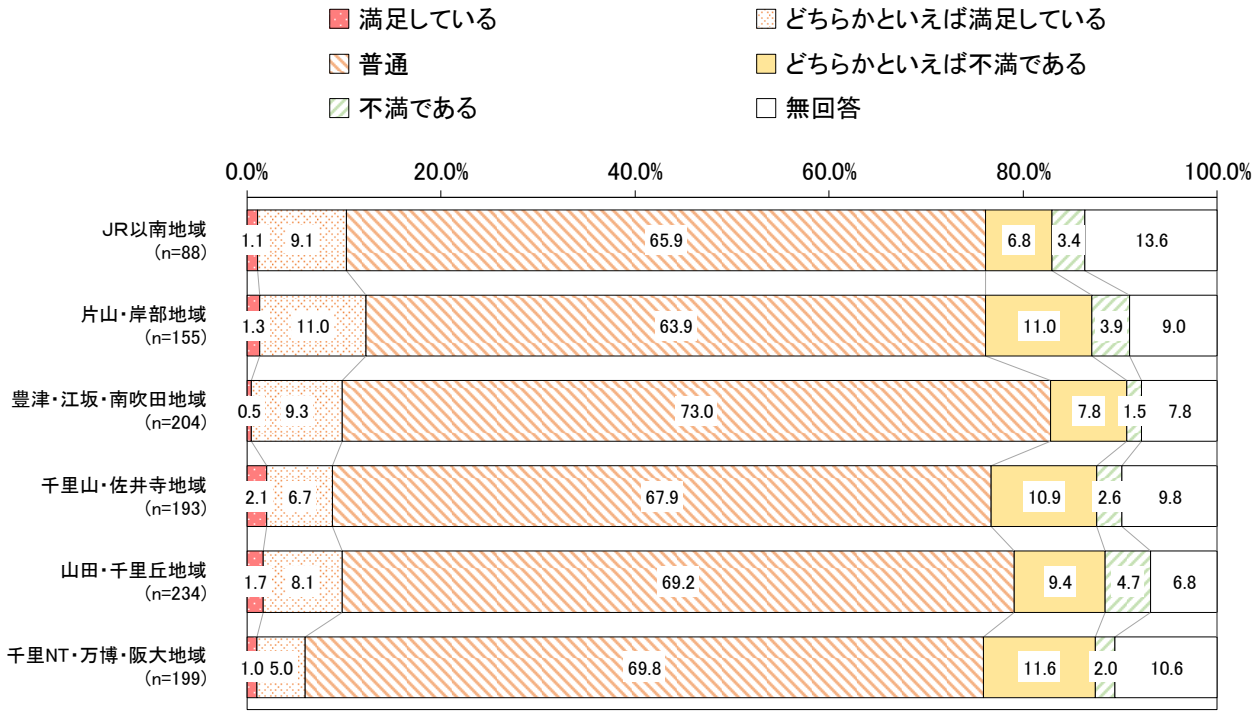
「普通」の割合が 67.9％と最も高く、「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が 9.5％、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合は 12.7％となっています。

図表２－69　課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての満足度（単純回答）



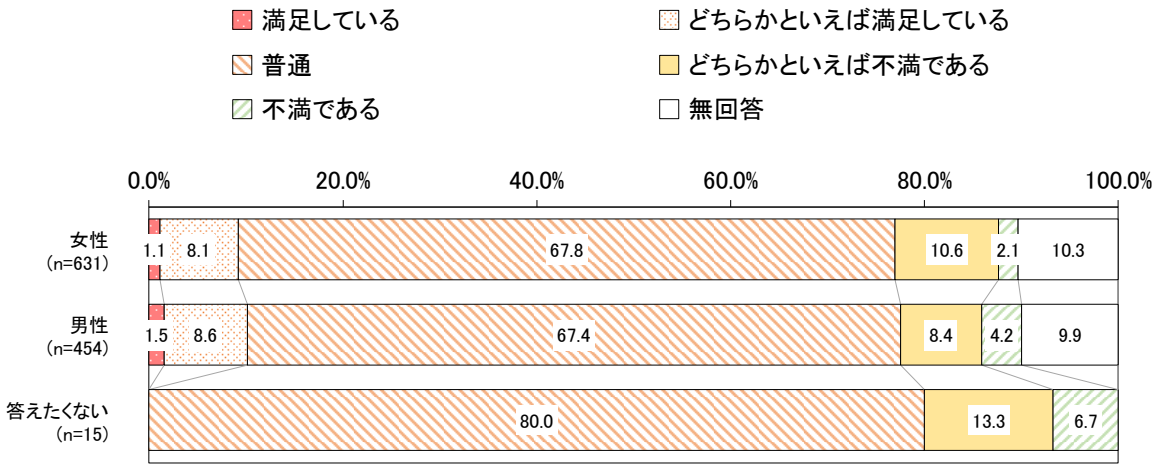
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が最も高くなっています。

図表２－70　課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての満足度（居住地域別）



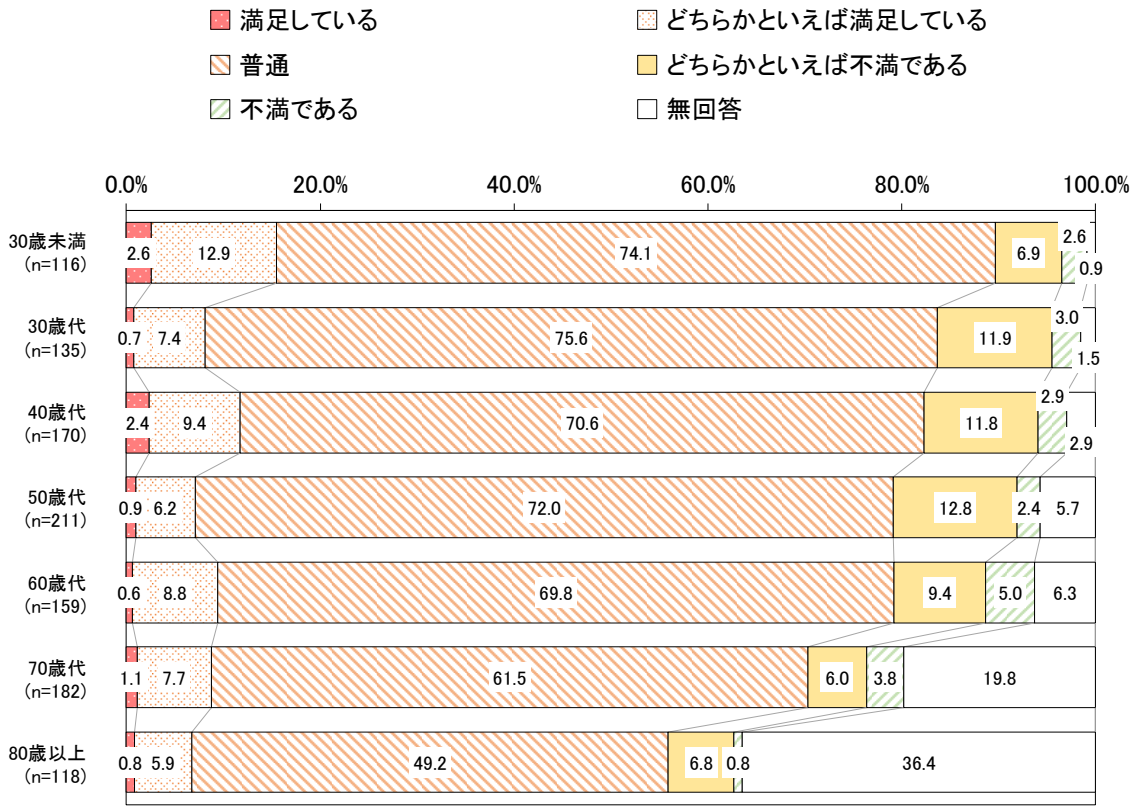
性別でみると、女性より男性の方が“満足している” と答えています。

図表２－71　課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての満足度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で“満足している”の割合が最も高くなっています。

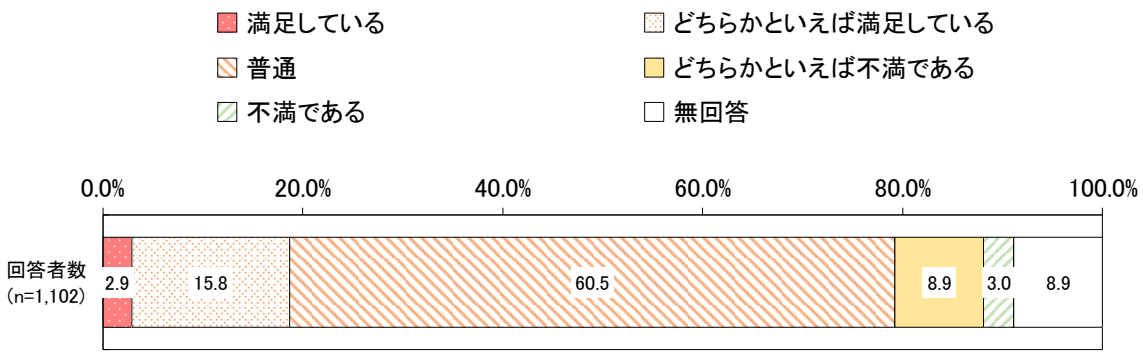
図表２－72　課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての満足度（年齢別）



②市からの情報提供・公表

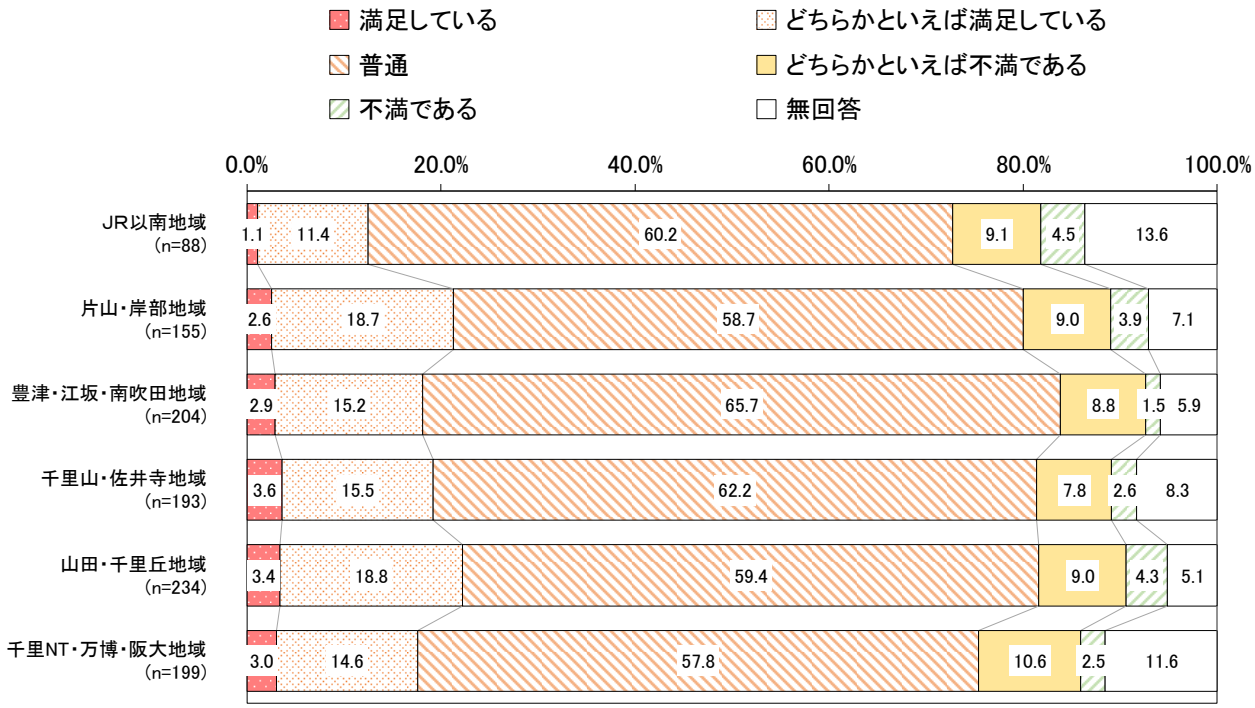
「普通」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が 18.7%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合は 11.9%となっています。

図表２－73　市からの情報提供・公表についての満足度（単純回答）



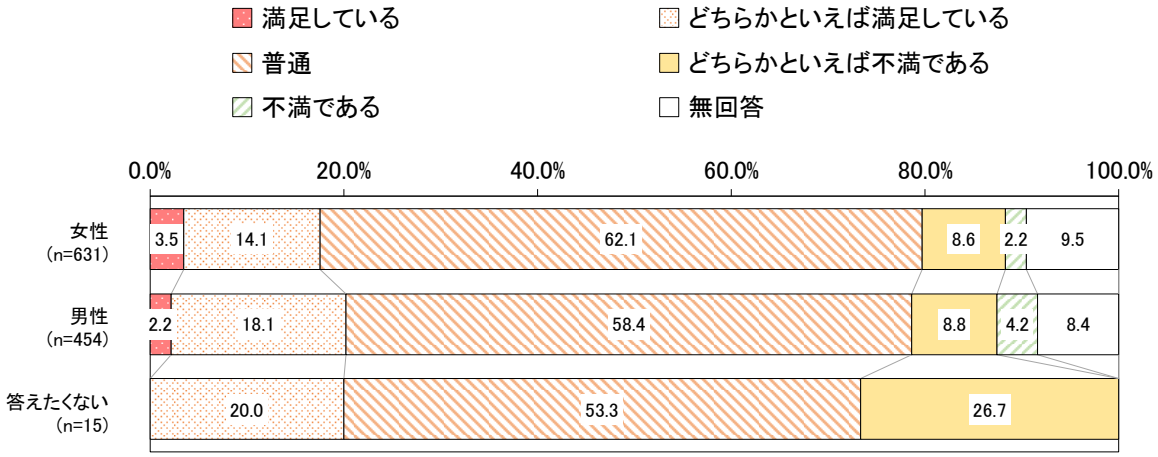
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が最も高くなっています。

図表２－74　市からの情報提供・公表についての満足度（居住地域別）



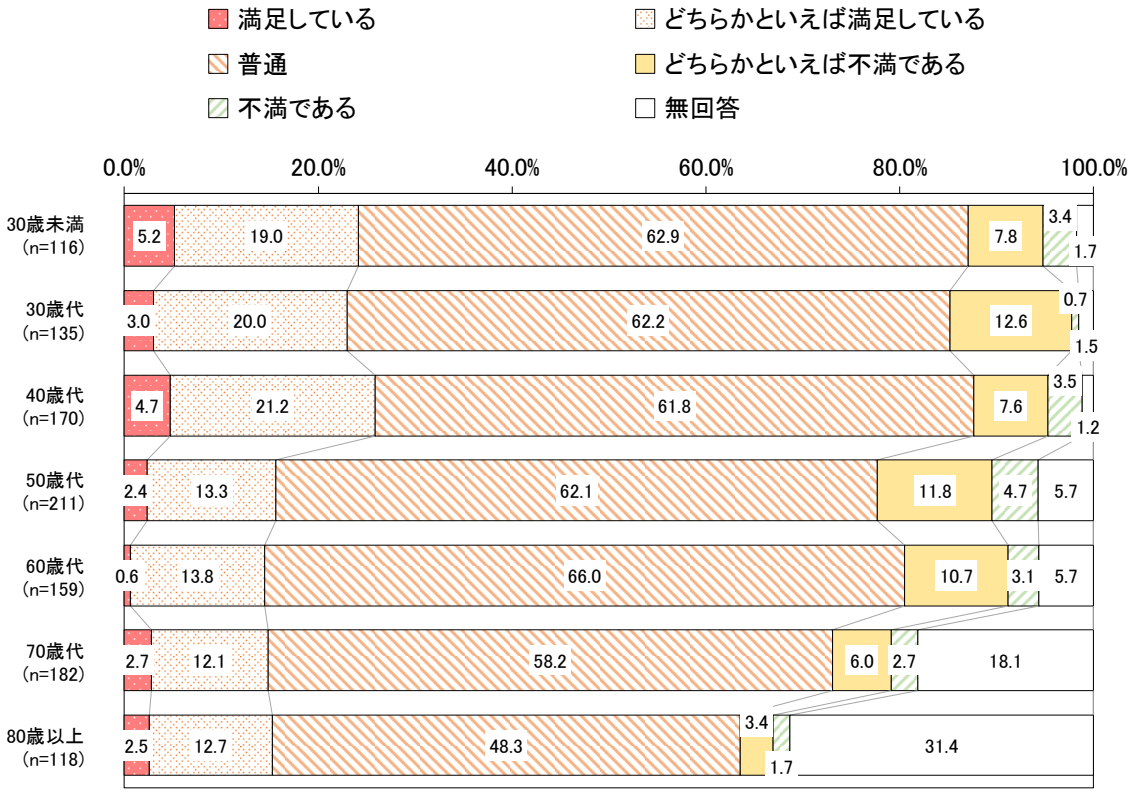
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表２－75　市からの情報提供・公表についての満足度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた “満足している”の割合が最も高くなっています。

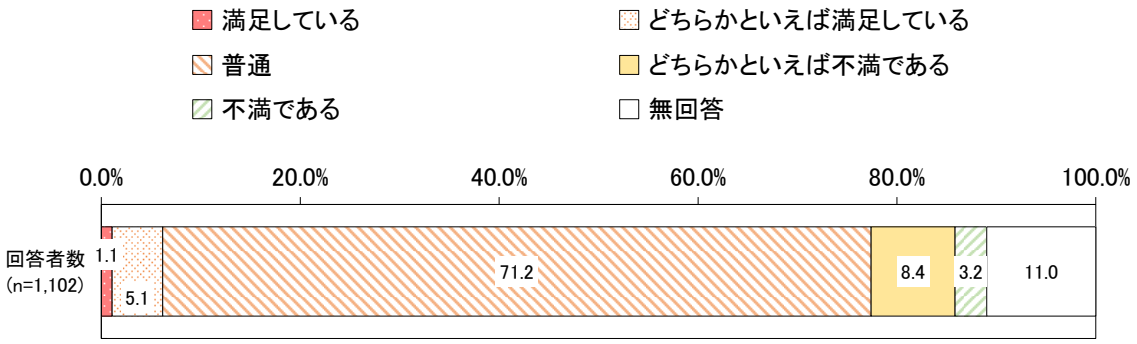
図表２－76　市からの情報提供・公表についての満足度（年齢別）



③市民参画の推進

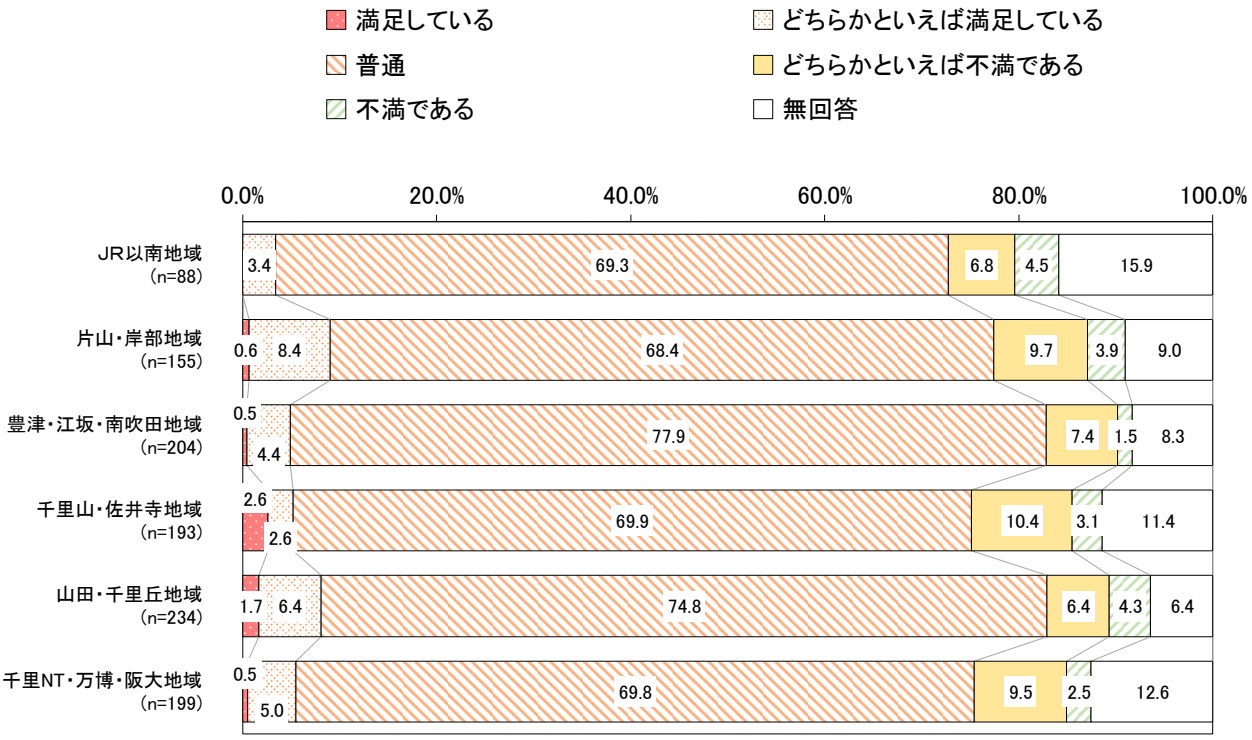
「普通」の割合が 71.2%と最も高く、「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が 6.2%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合は 11.6%となっています。

図表２－77　市民参画の推進についての満足度（単純回答）



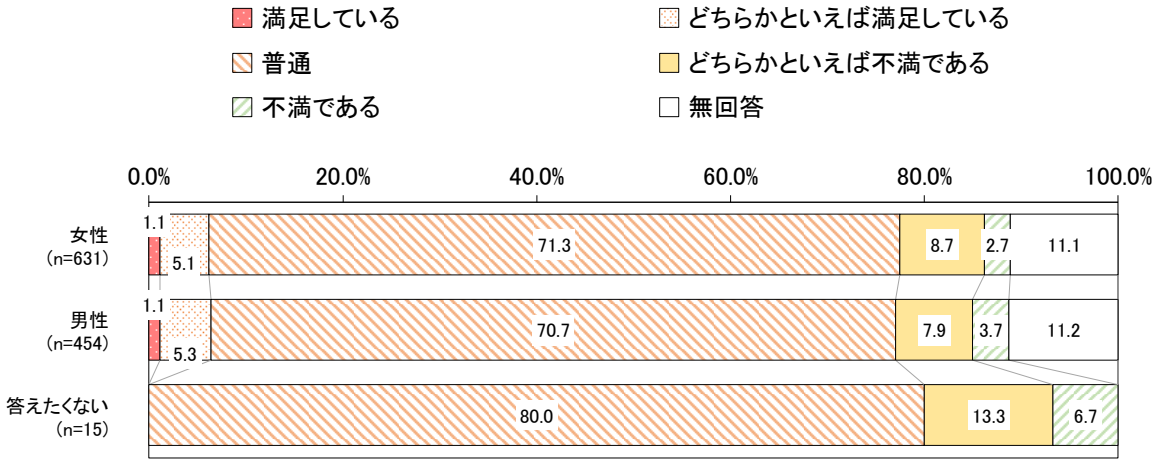
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が最も高くなっています。

図表２－78　市民参画の推進についての満足度（居住地域別）



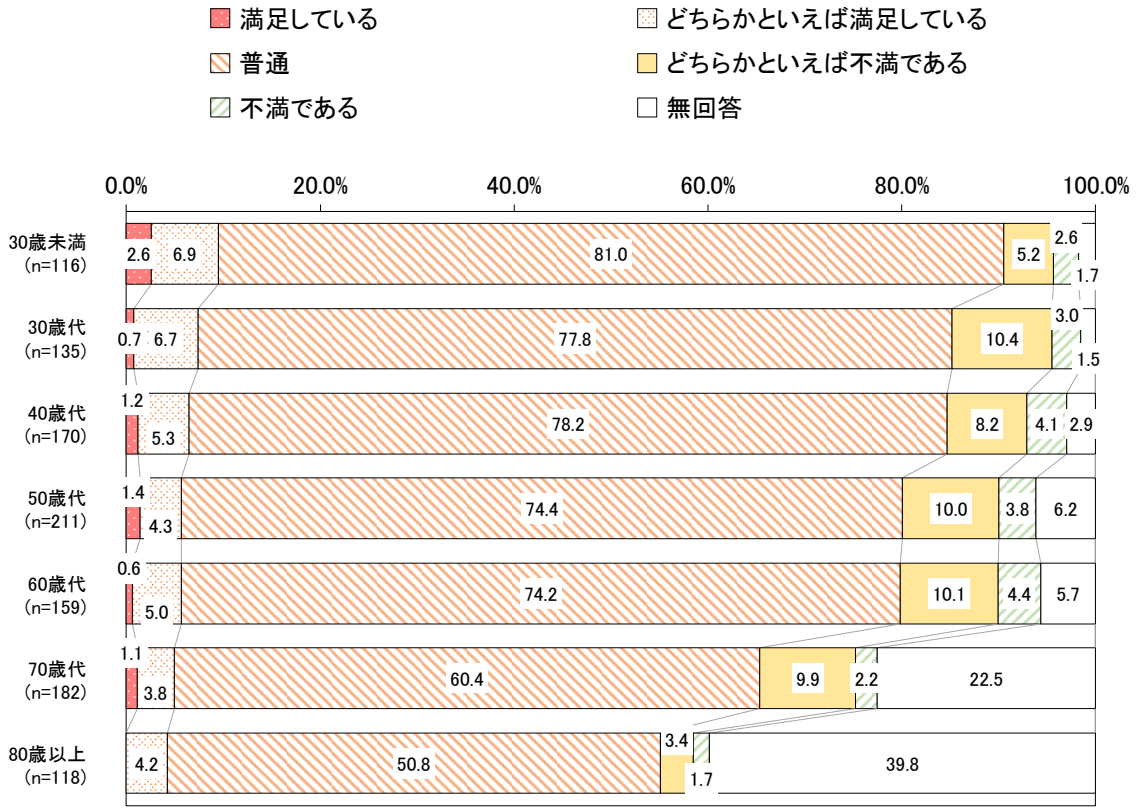
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表２－79　市民参画の推進についての満足度（性別）



年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて“満足している”の割合が低くなっています。

図表２－80　市民参画の推進についての満足度（年齢別）

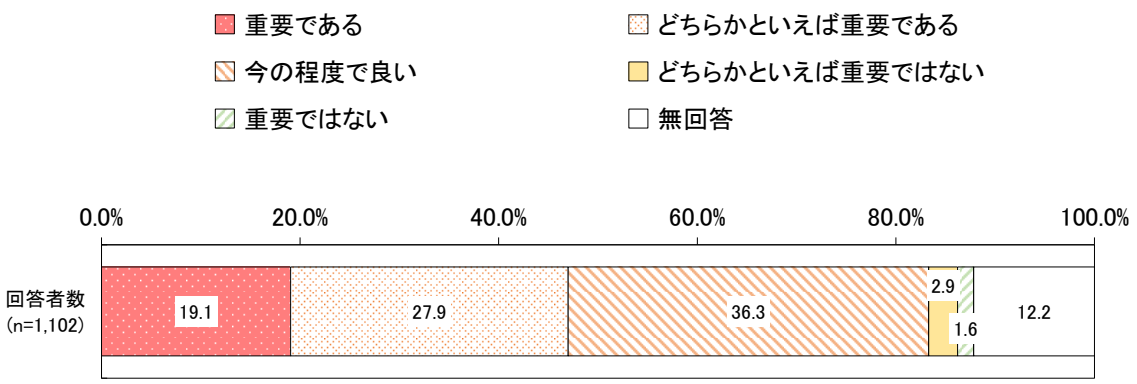


重要度

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働

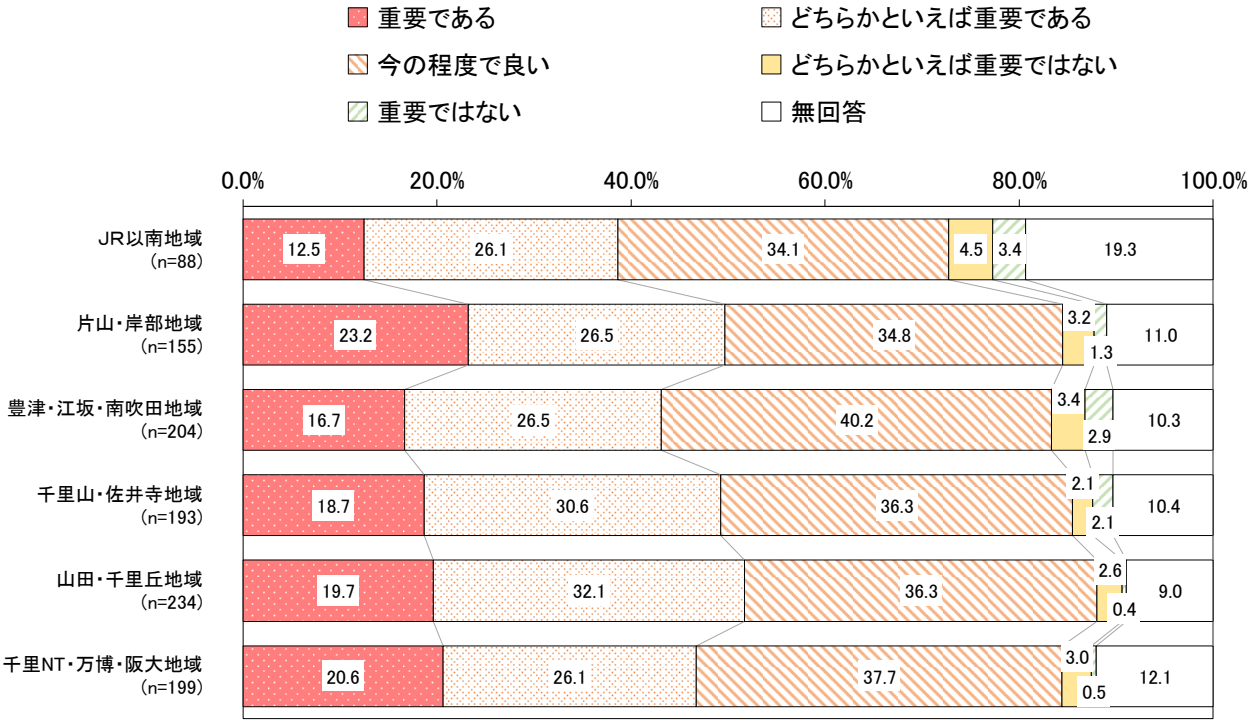
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が 47.0%と最も高く、次いで「今の程度で良い」の割合が 36.3%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合は 4.5%となっています。

図表２－81　課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての重要度（単純回答）



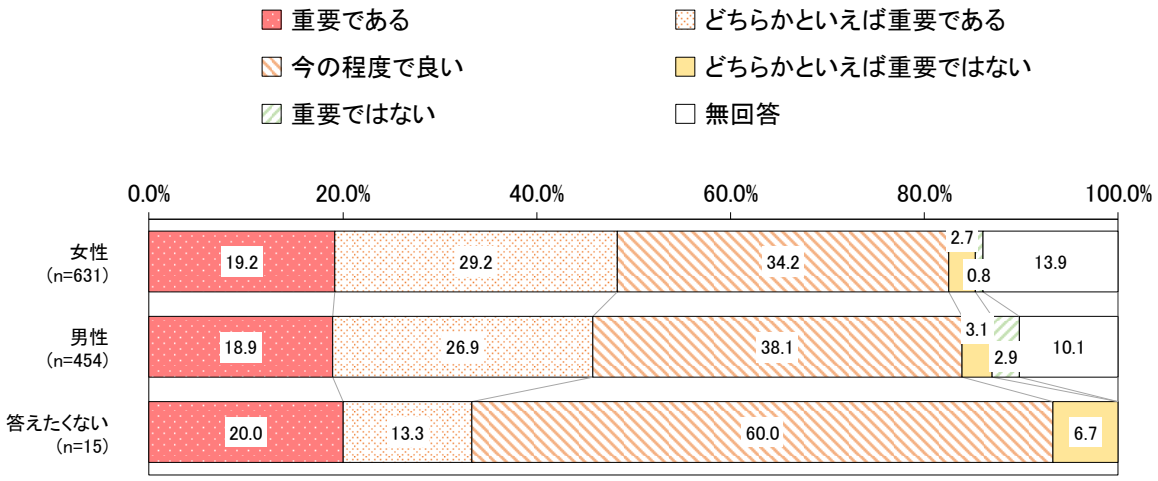
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が最も高くなっています。

図表２－82　課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての重要度（居住地域別）



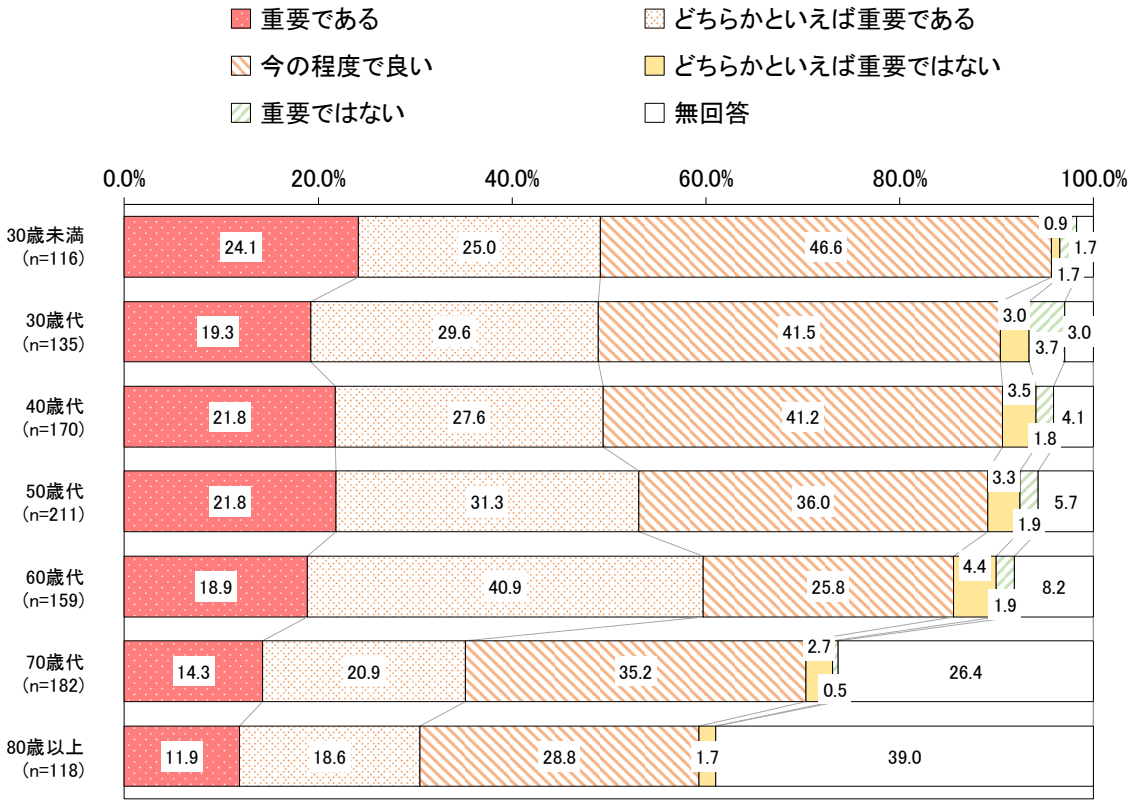
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表２－83　課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての重要度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳代から 60 歳代になるにつれて「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が高くなっています。

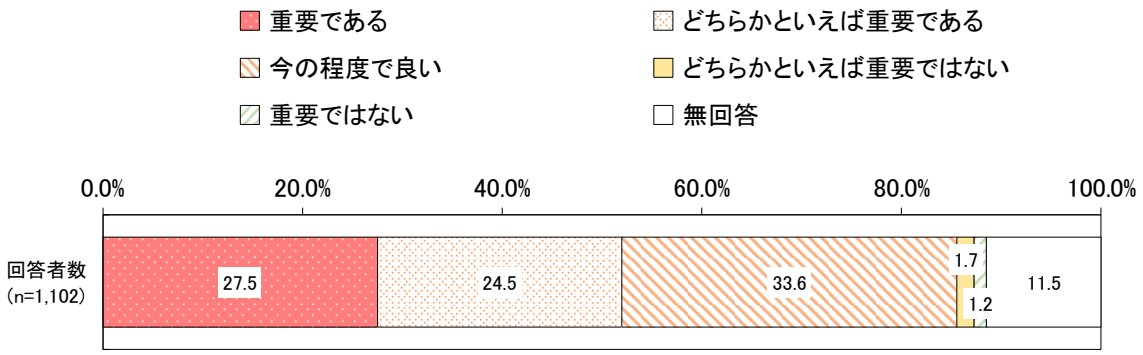
図表２－84　課題の解決のための市民、事業者、行政の協働についての重要度（年齢別）



②市からの情報提供・公表

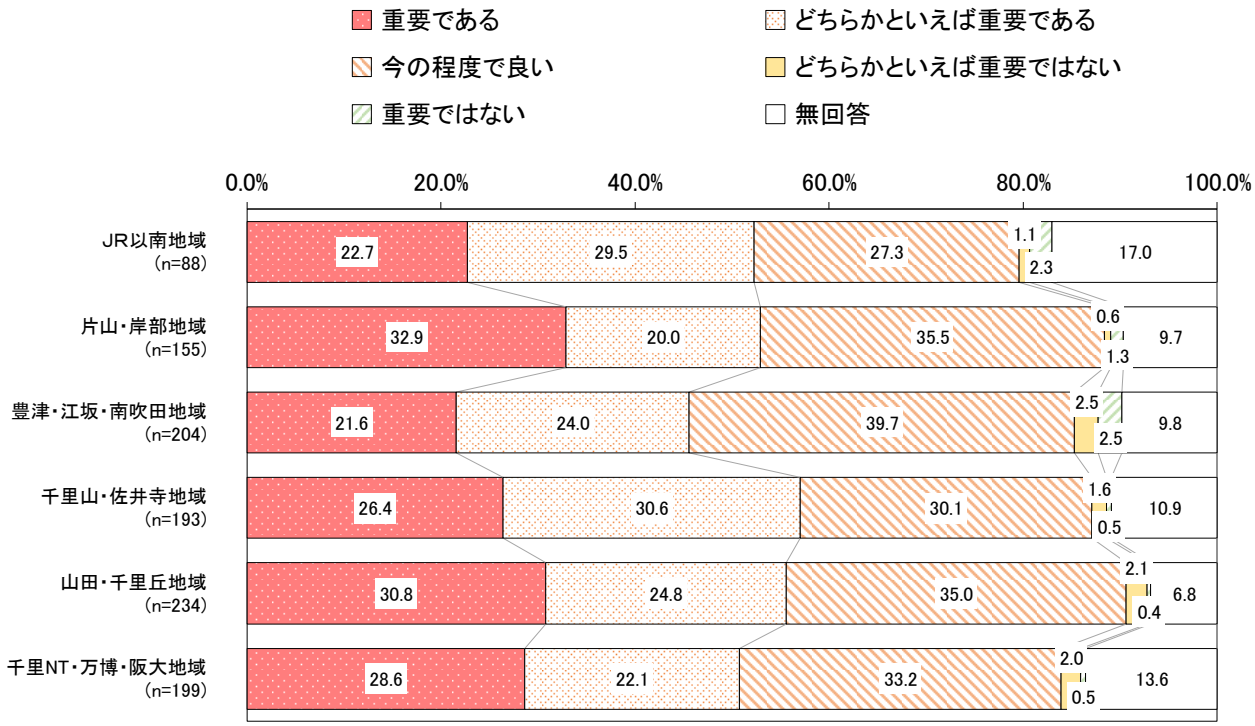
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が 52.0%と最も高く、次いで「今の程度で良い」の割合が 33.6%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合は 2.9%となっています。

図表２－85　市からの情報提供・公表についての重要度（単純回答）



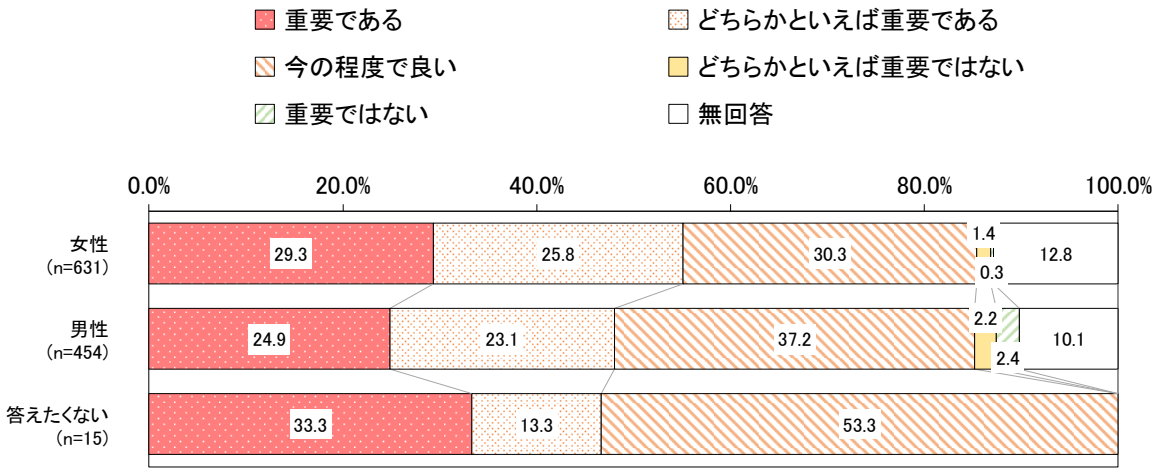
居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が最も高くなっています。

図表２－86　市からの情報提供・公表についての重要度（居住地域別）



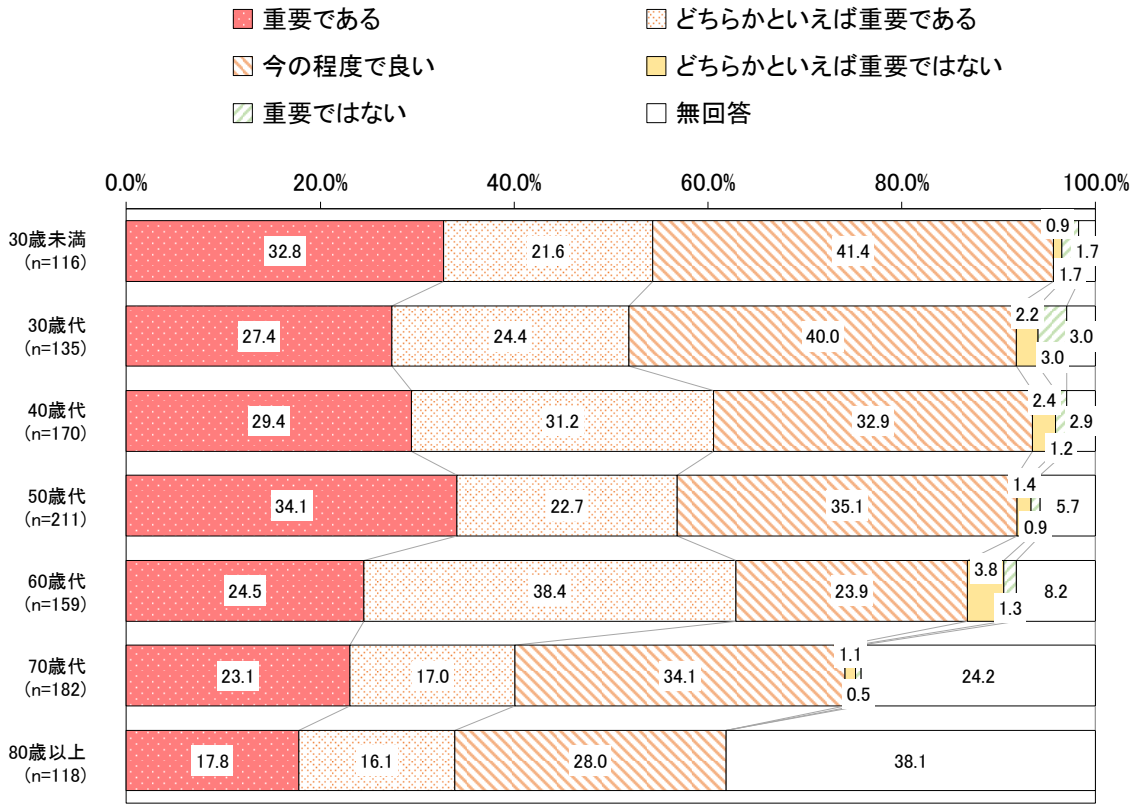
性別でみると、男性より女性の方が“重要である” と答えています。

図表２－87　市からの情報提供・公表についての重要度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、60 歳代で「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が最も高くなっています。

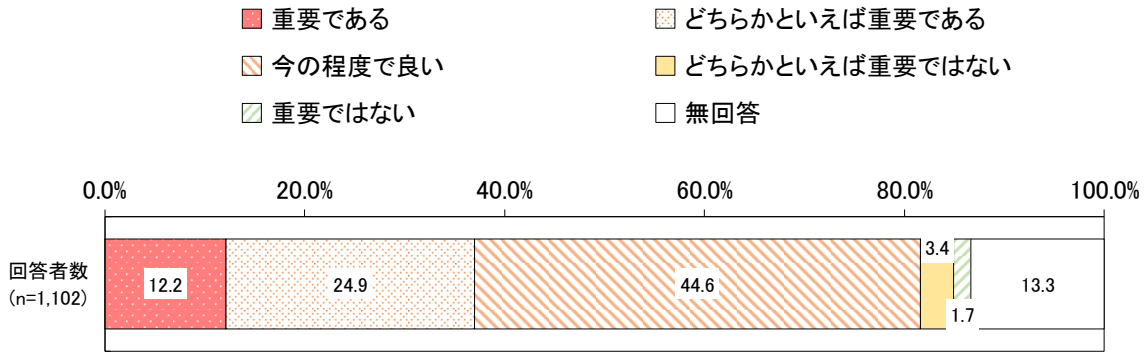
図表２－88　市からの情報提供・公表についての重要度（年齢別）



③市民参画の推進

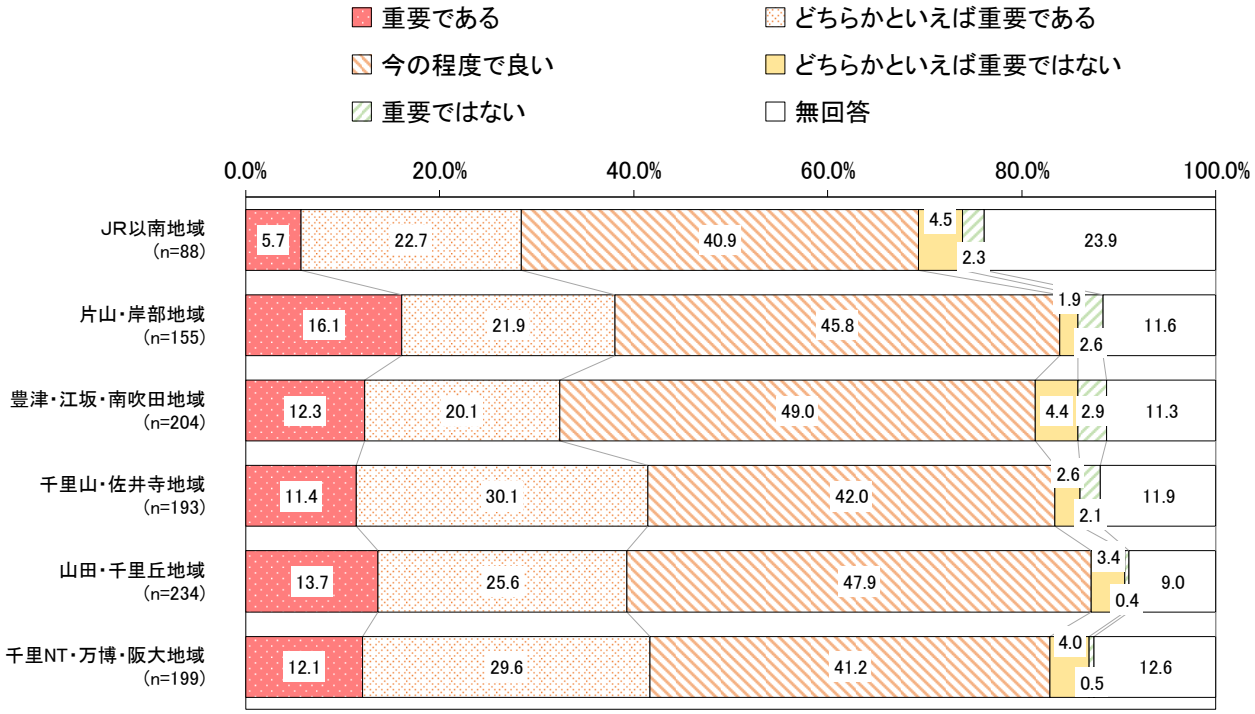
「今の程度で良い」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が 37.1%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合は 5.1%となっています。

図表２－89　市民参画の推進についての重要度（単純回答）



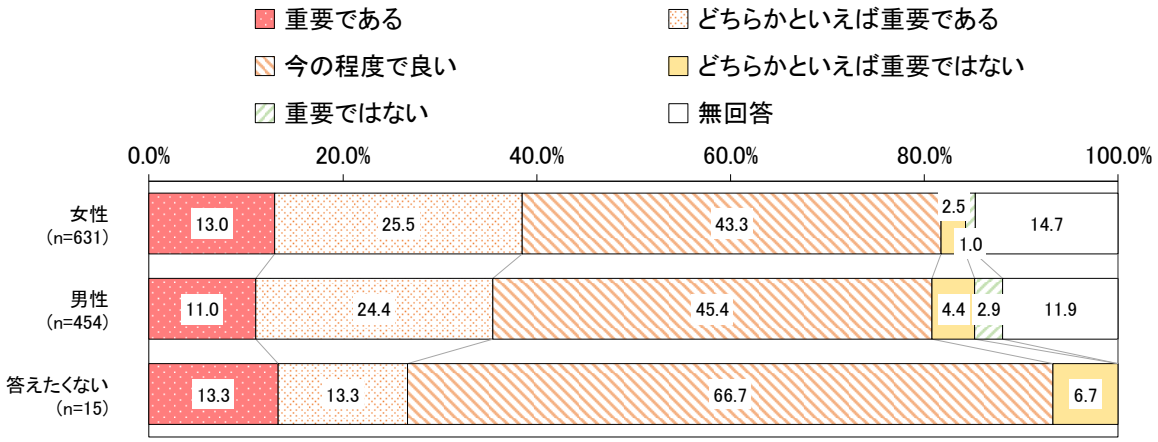
居住地域別でみると、他に比べ、千里ＮＴ・万博・阪大地域で「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が最も高くなっています。

図表２－90　市民参画の推進についての重要度（居住地域別）



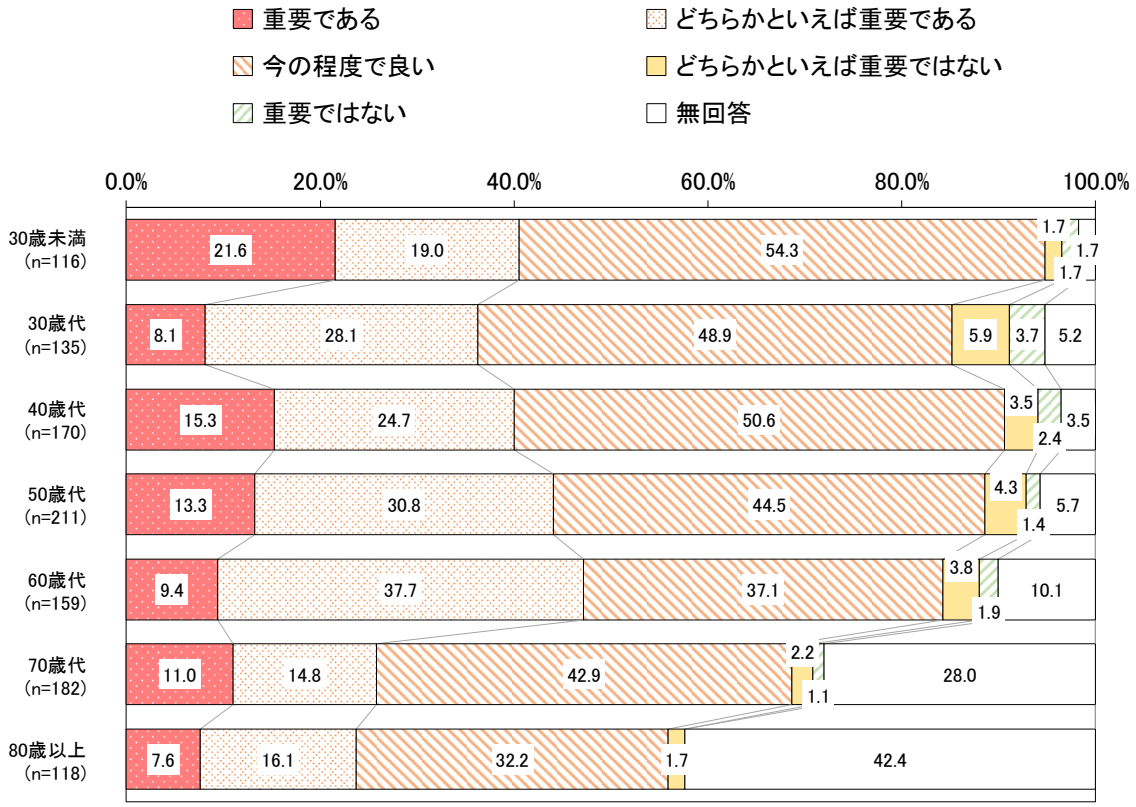
性別でみると、男性より女性の方が“重要である” と答えています。

図表２－91　市民参画の推進についての重要度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳代から 60 歳代になるにつれて「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が高くなっています。

図表２－92　市民参画の推進についての重要度（年齢別）

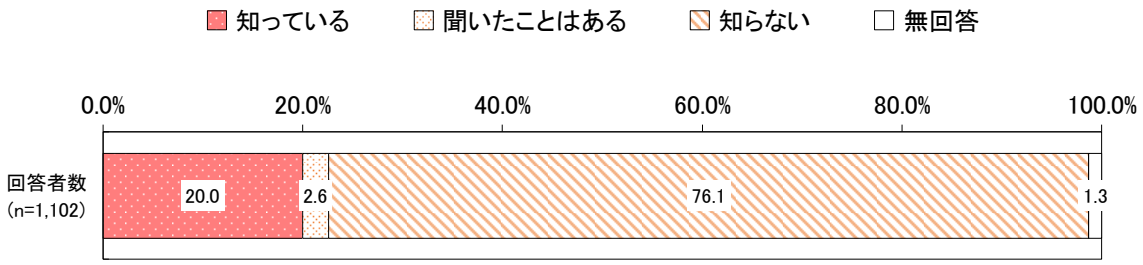


第３章　地域経済について

問 25　あなたはＪＲ吹田駅前の旭通商店街内に平面駐車場があることをご存知ですか。
（１つだけ○印）

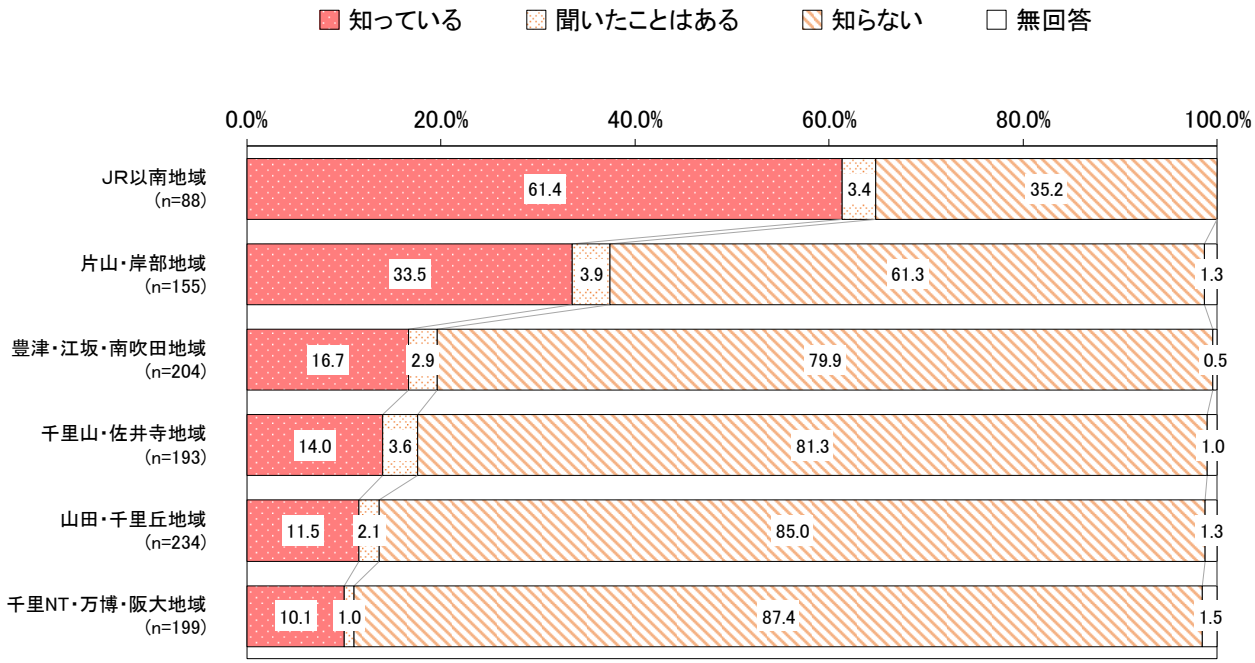
「知っている」が 20.0%、「聞いたことがある」が 2.6%、「知らない」が 76.1%となっています。

図表３－１　平面駐車場の認知度（単純回答）



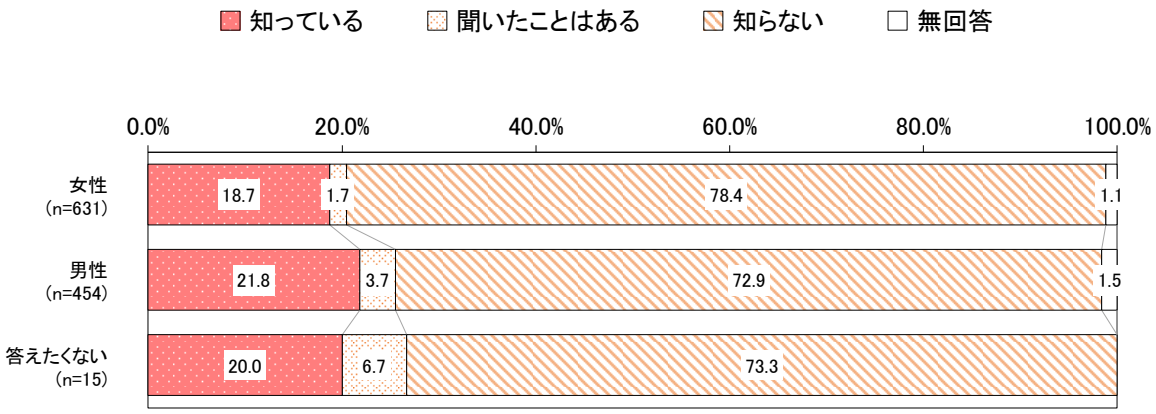
居住地域別でみると、他に比べ、旭通商店街に近い順に「知っている」の割合が高くなっています。

図表３－２　平面駐車場の認知度（居住地域別）



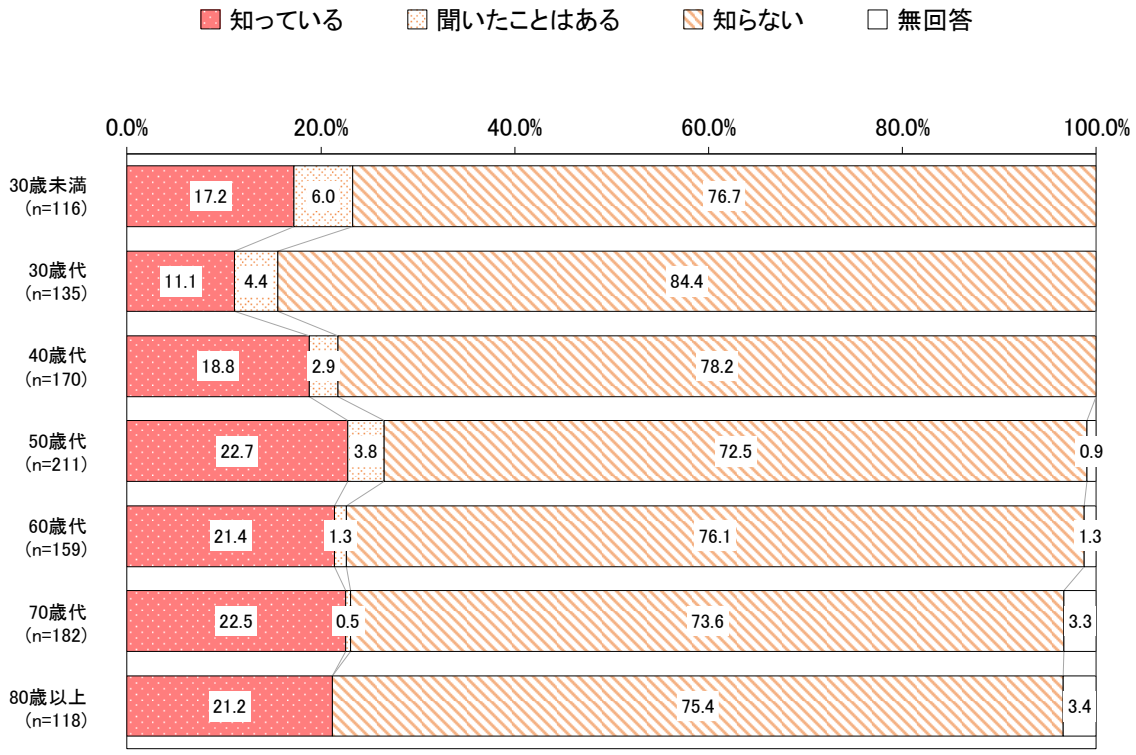
性別でみると、女性より男性の方が「知っている」と答えています。

図表３－３　平面駐車場の認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、50 歳代で「知っている」の割合が最も高くなっています。

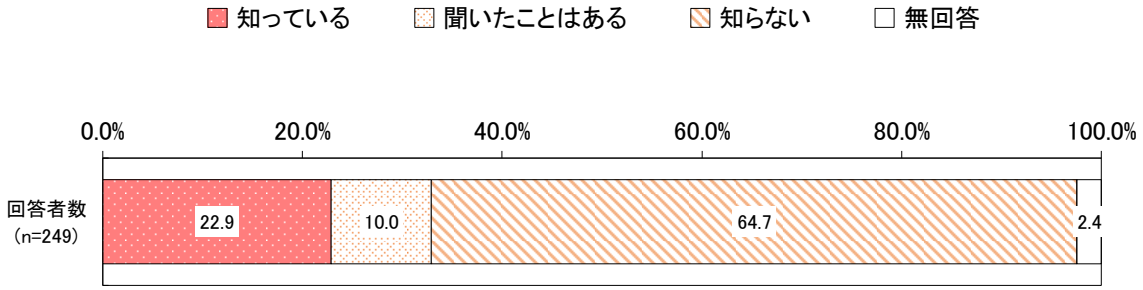
図表３－４　平面駐車場の認知度（年齢別）



問 25-1　あなたはＪＲ吹田駅前の旭通商店街内にある平面駐車場にコミュニティ施設であるステンショ Suita があることをご存知ですか。（１つだけ○印）

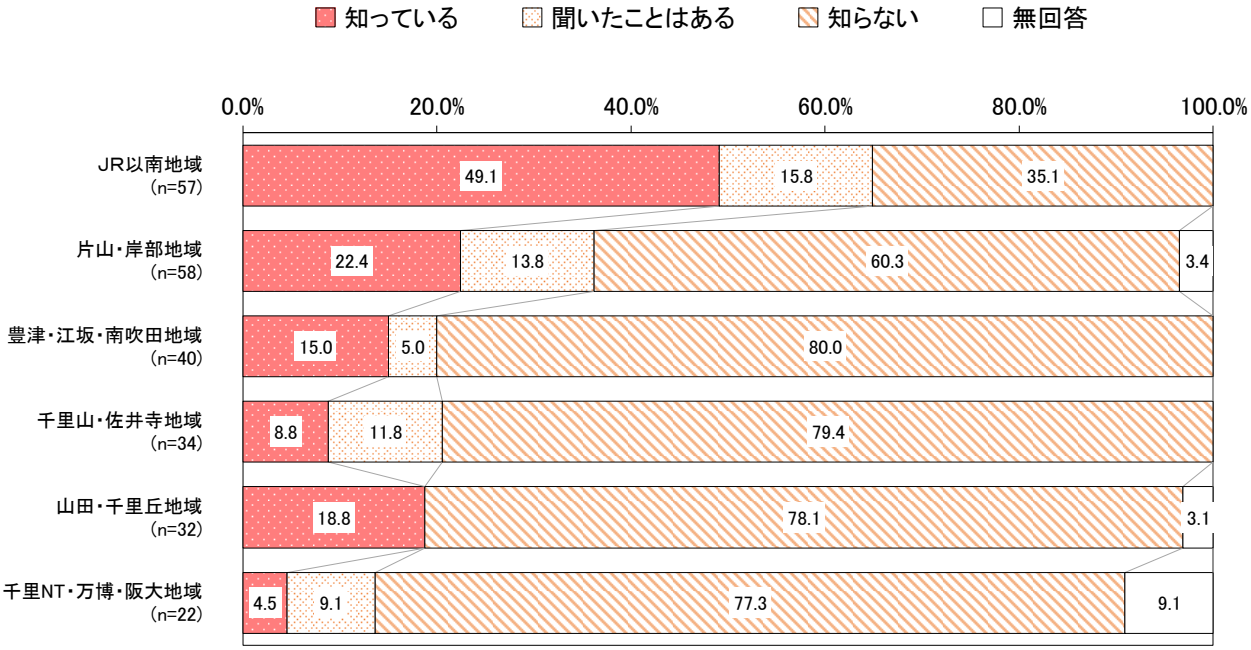
「知っている」が 22.9%、「聞いたことはある」が 10.0%、「知らない」が 64.7%となっています。

図表３－５　ステンショ Suitaの認知度（単純回答）



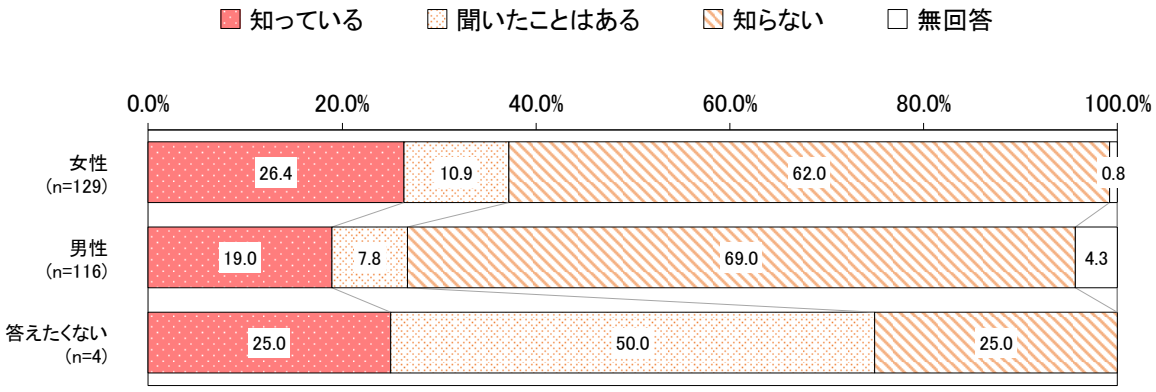
居住地域別でみると、他に比べ、旭通商店街が存在するＪＲ以南地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－６　ステンショ Suitaの認知度（居住地域別）



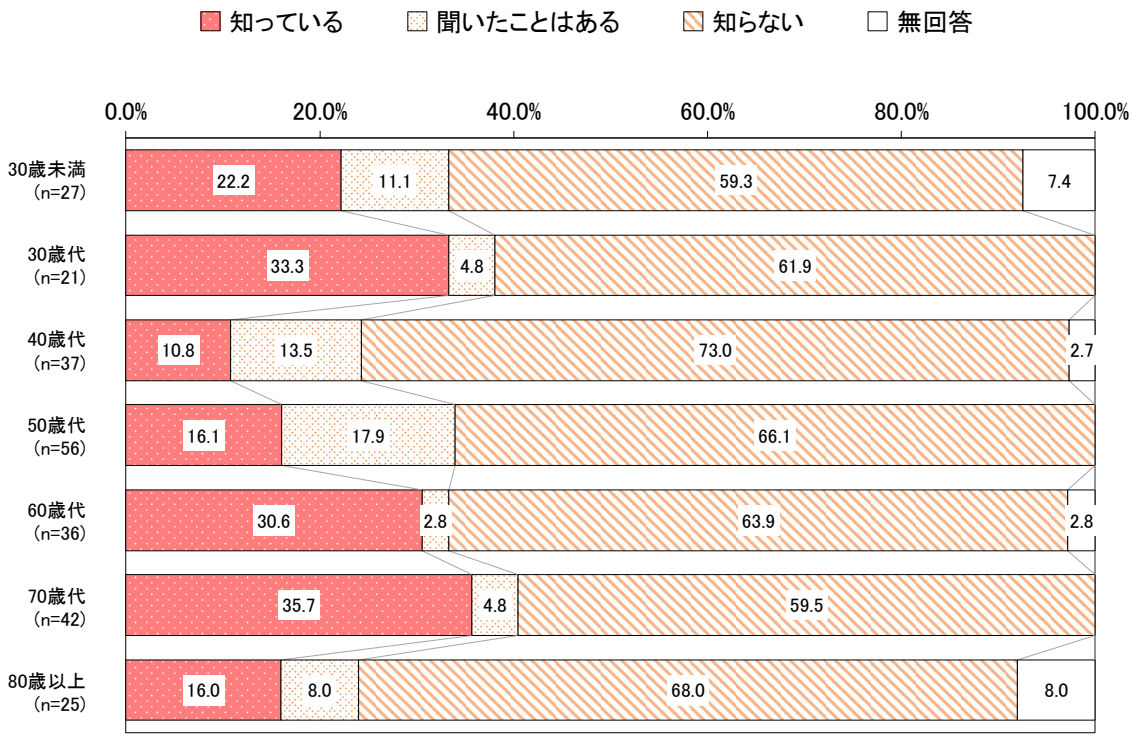
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表３－７　ステンショ Suitaの認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－８　ステンショ Suitaの認知度（年齢別）

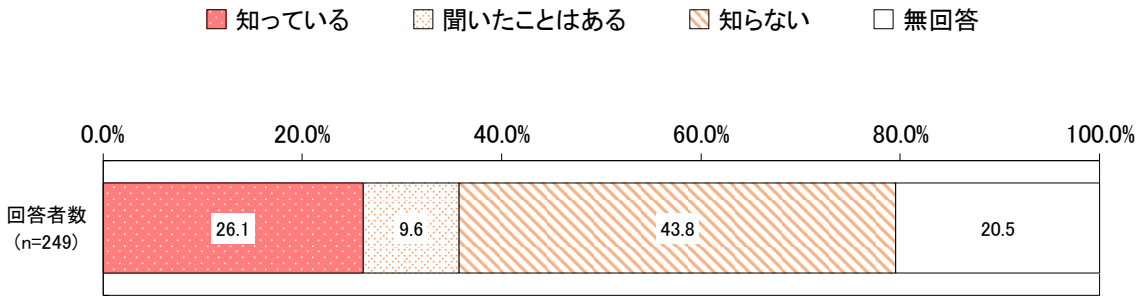


問 25-2　あなたはＪＲ吹田駅前の旭通商店街内にある平面駐車場内で行われている下記の取組をご存知ですか。（１つだけ○印）

①【常設】さくらカフェ（カフェ・食材の無料配布・こども食堂等）

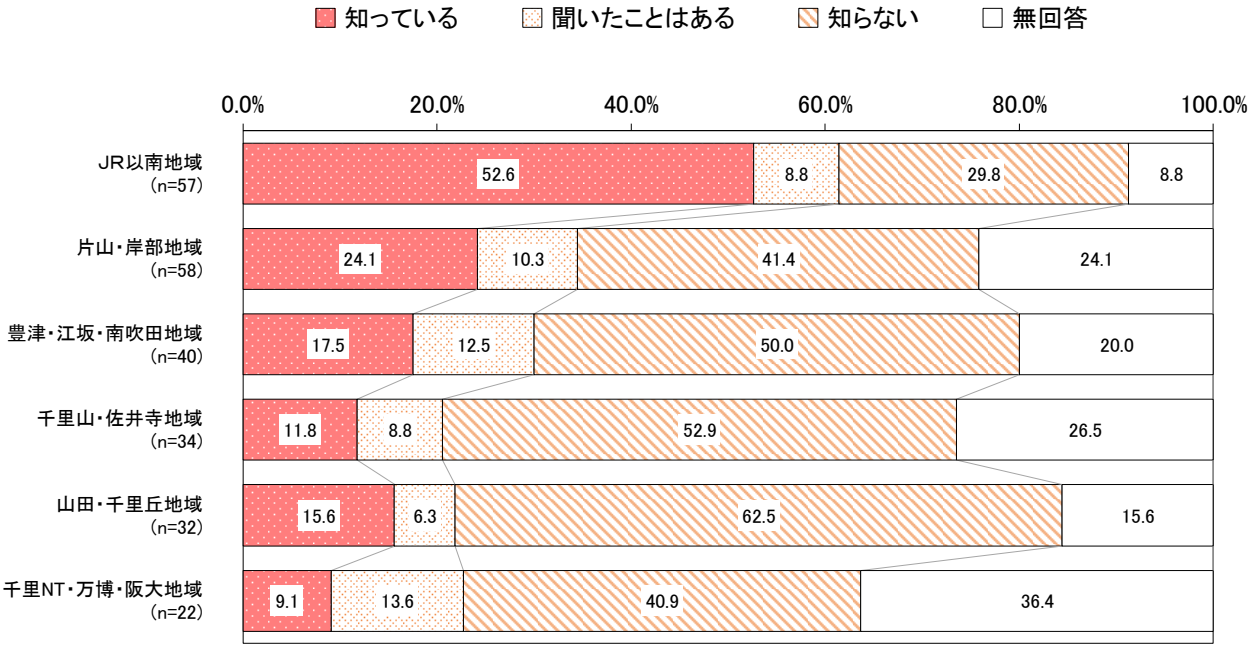
「知っている」が 26.1%、「聞いたことはある」が 9.6%、「知らない」が 43.8%となっています。

図表３－９　さくらカフェの認知度（単純回答）



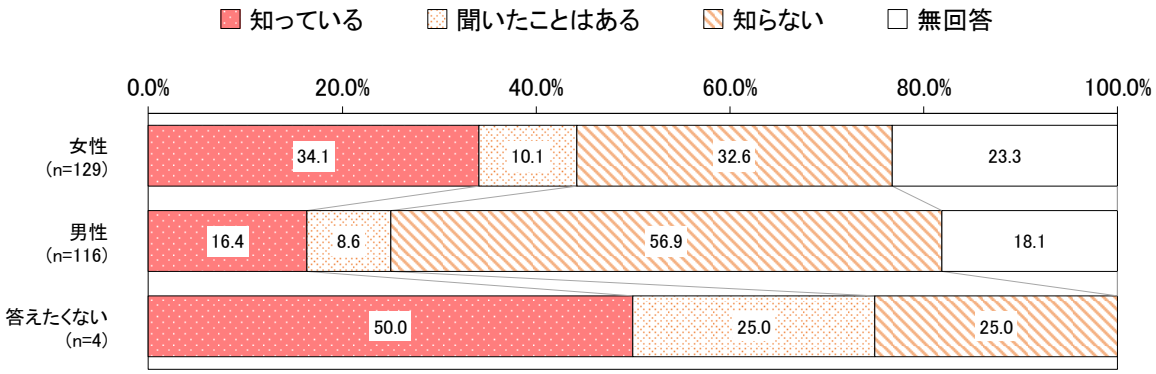
居住地域別でみると、他に比べ、旭通商店街が存在するＪＲ以南地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－10　さくらカフェの認知度（居住地域別）



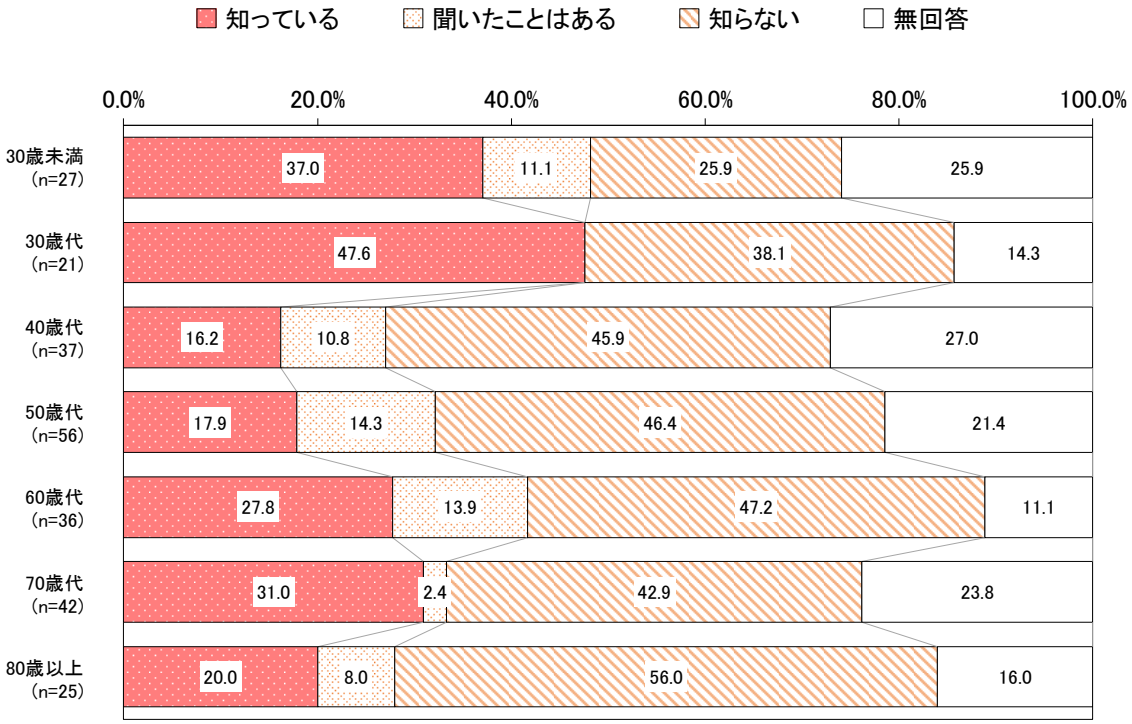
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表３－11　さくらカフェの認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳代以で「知っている」の割合が最も高くなっています。

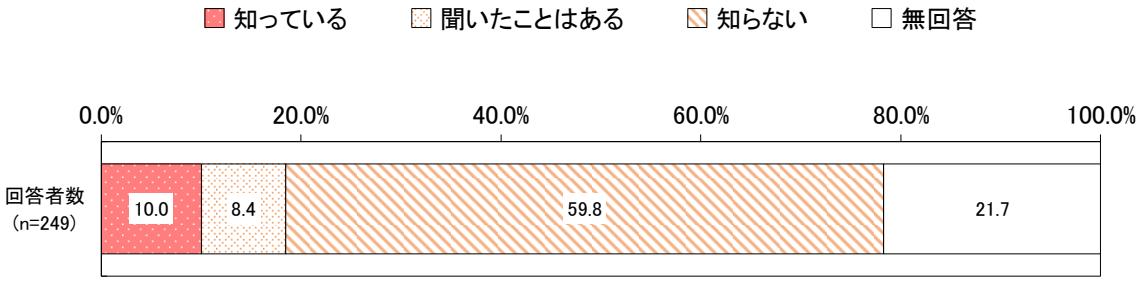
図表３－12　さくらカフェの認知度（年齢別）



②【常設】レンタルスペース

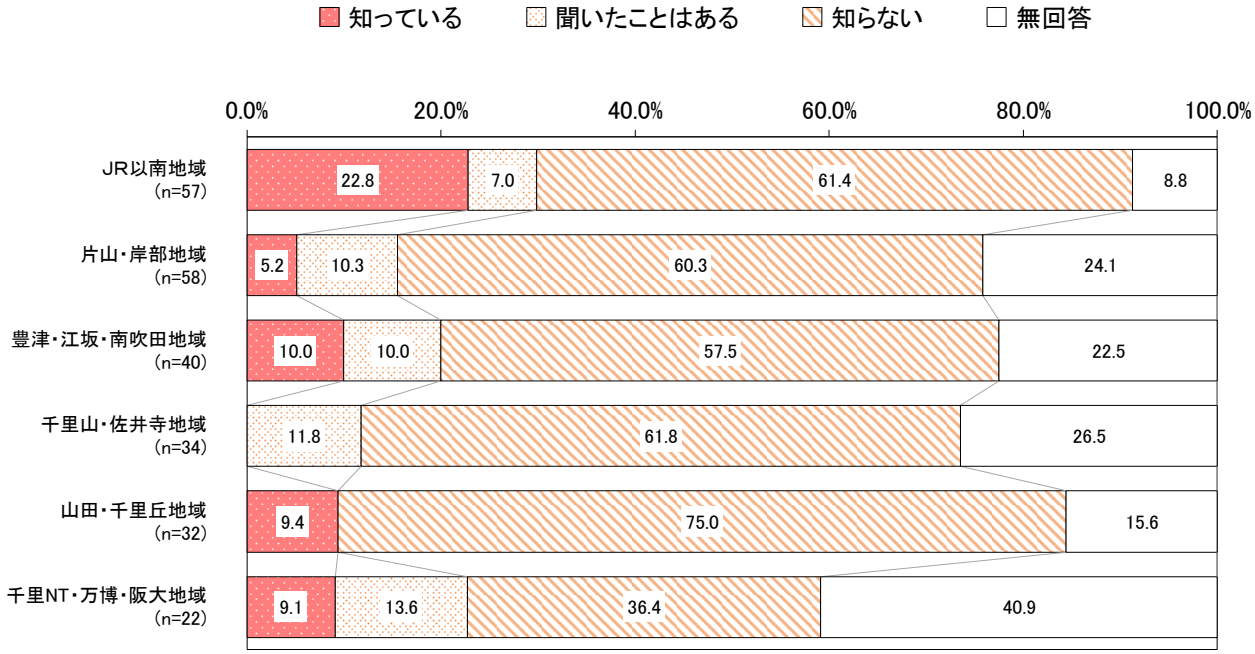
「知っている」が 10.0%、「聞いたことはある」が 8.4%、「知らない」が 59.8%となっています。

図表３－13　レンタルスペースの認知度（単純回答）



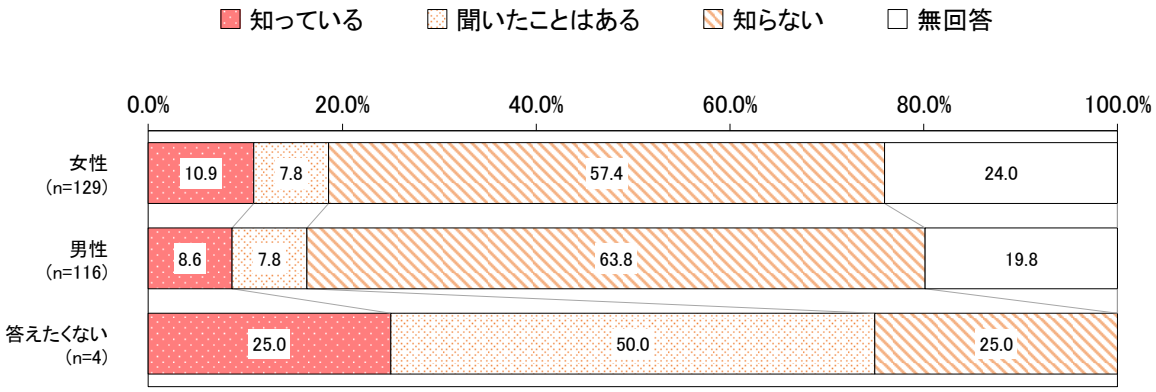
居住地域別でみると、他に比べ、旭通商店街が存在するＪＲ以南地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－14　レンタルスペースの認知度（居住地域別）



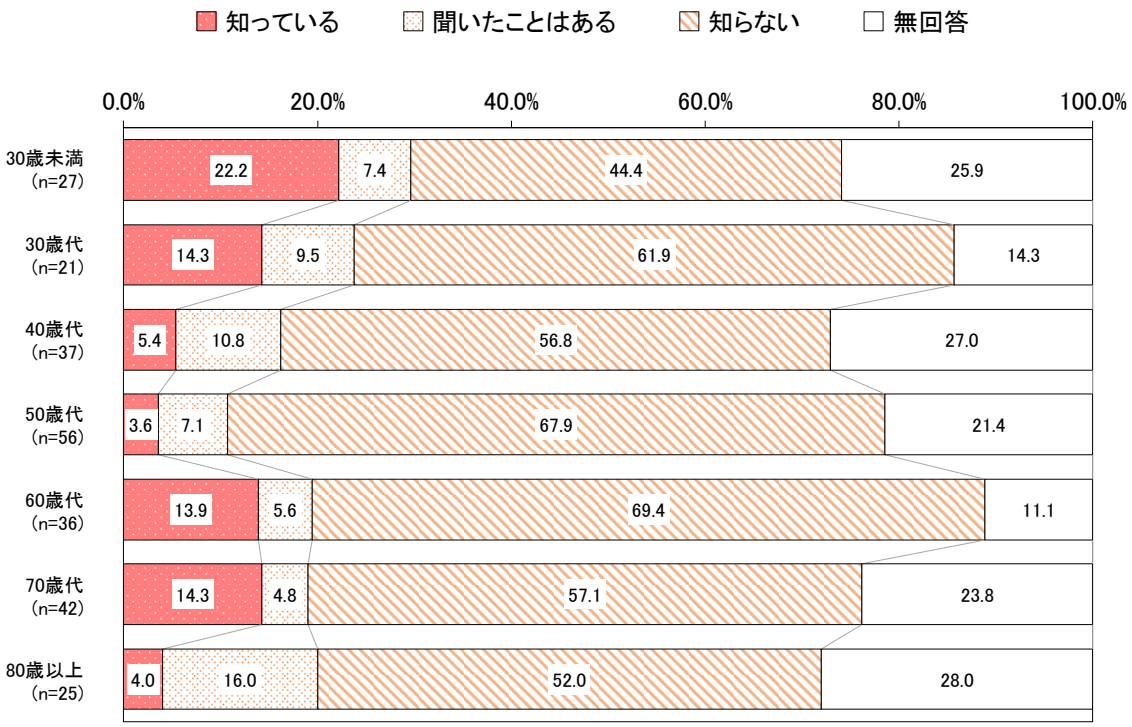
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表３－15　レンタルスペースの認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「知っている」の割合が最も高くなっています。

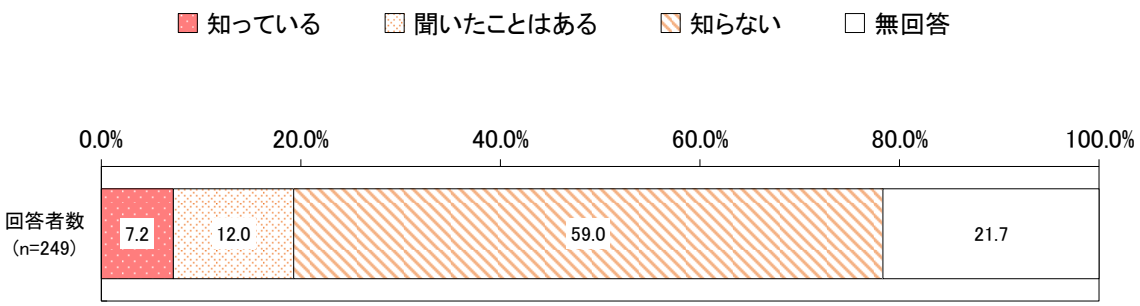
図表３－16　レンタルスペースの認知度（年齢別）



③さくらフェスタ

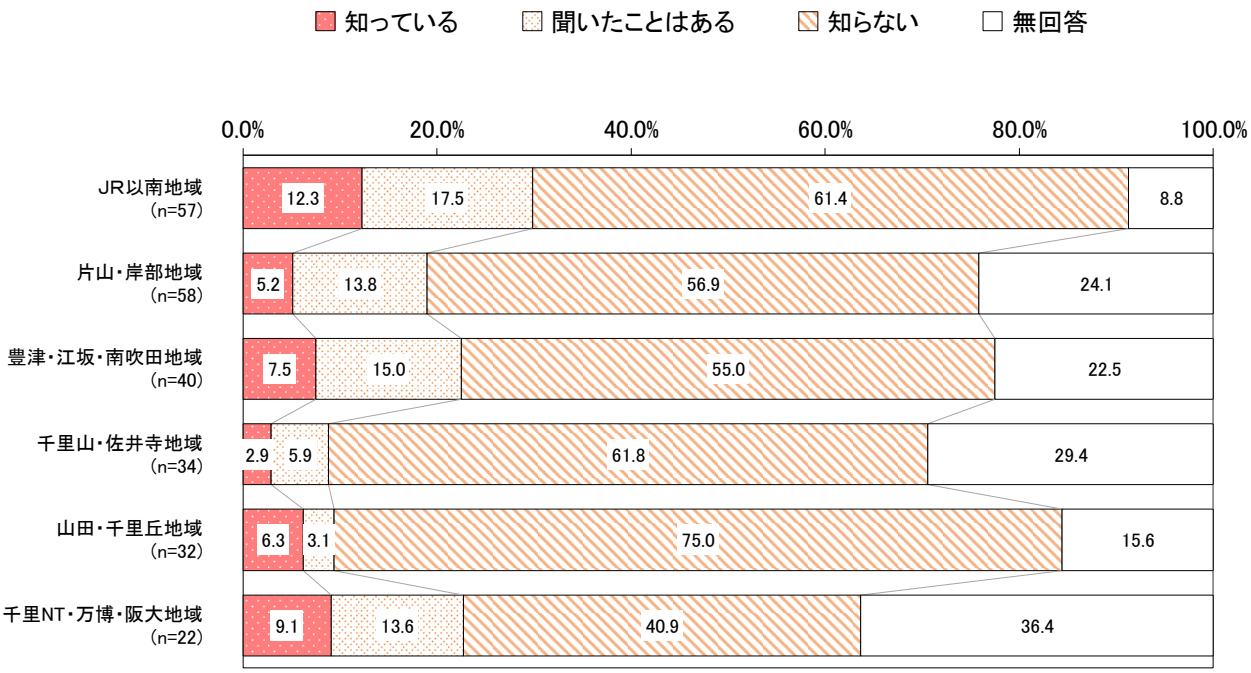
「知っている」が 7.2%、「聞いたことはある」が 12.0%、「知らない」が 59.0%となっています。

図表３－17　さくらフェスタの認知度（単純回答）



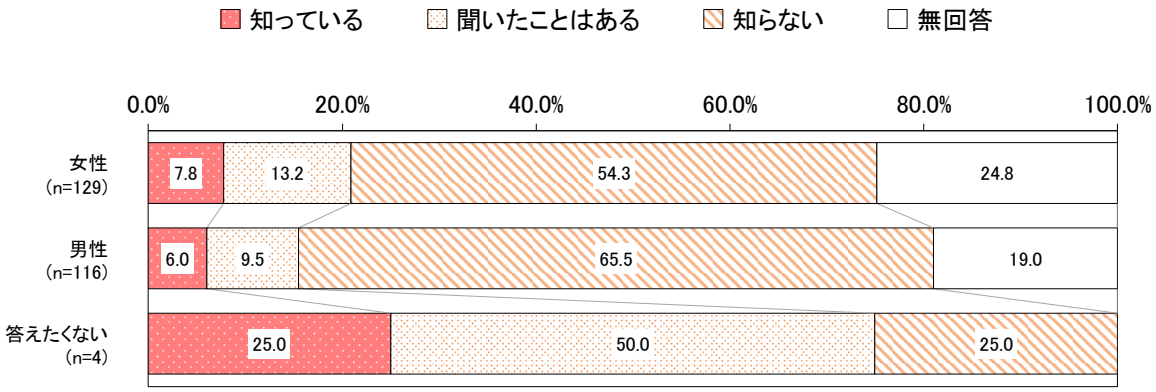
居住地域別でみると、他に比べ、旭通商店街が存在するＪＲ以南地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－18　さくらフェスタの認知度（居住地域別）



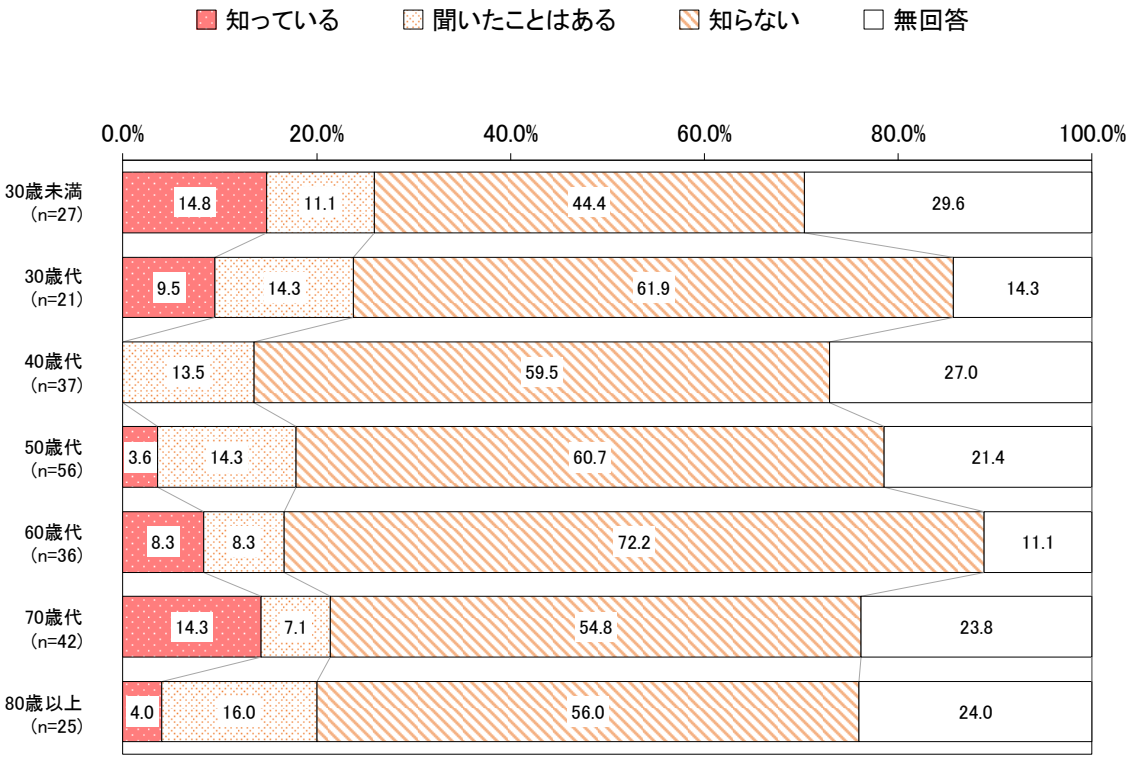
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表３－19　さくらフェスタの認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「知っている」の割合が最も高くなっています。

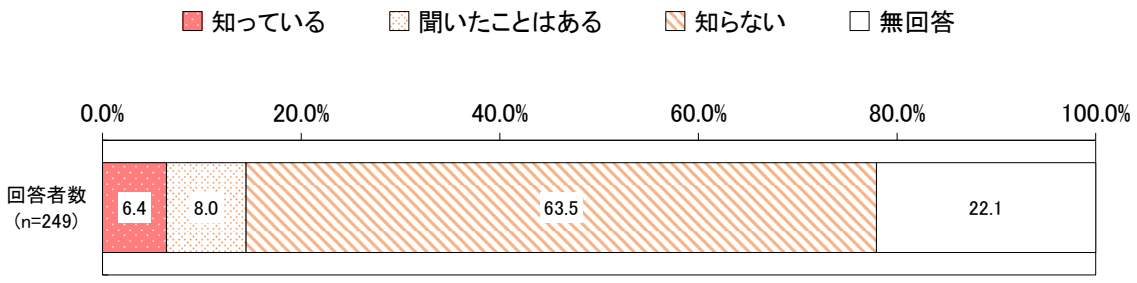
図表３－20　さくらフェスタの認知度（年齢別）



④あさひビアガーデン

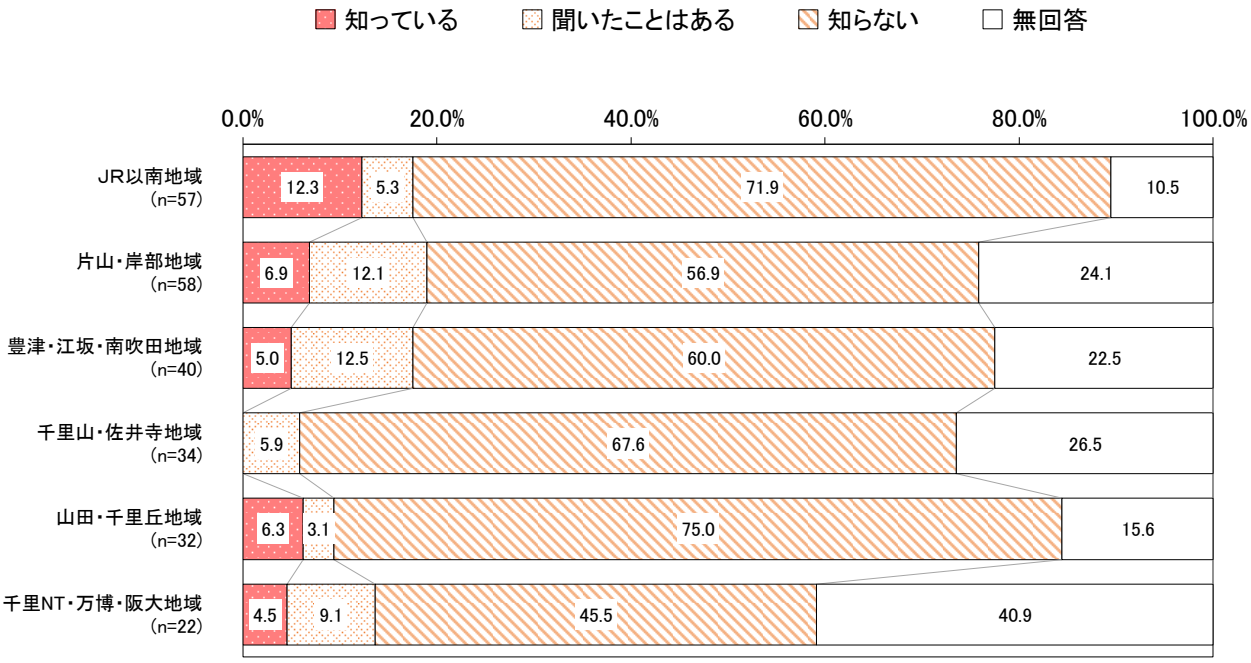
「知っている」が 6.4%、「聞いたことはある」が 8.0%、「知らない」が 63.5%となっています。

図表３－21　あさひビアガーデンの認知度（単純回答）



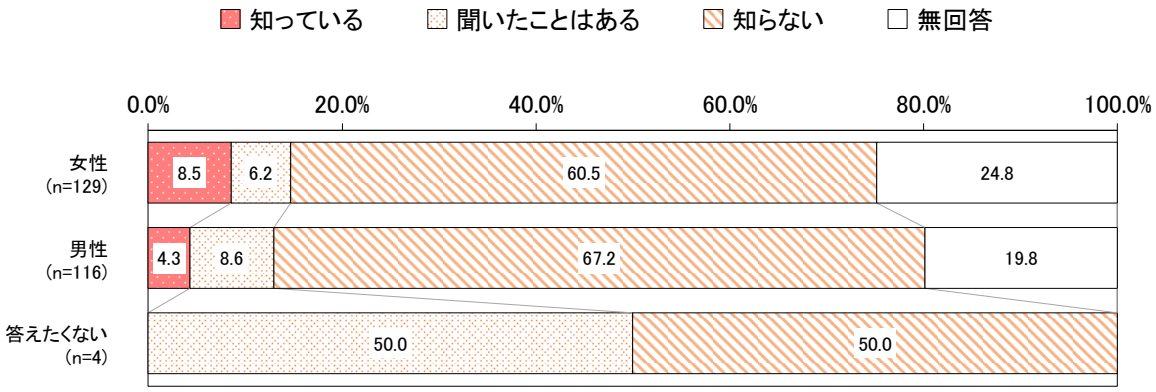
居住地域別でみると、他に比べ、旭通商店街が存在するＪＲ以南地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－22　あさひビアガーデンの認知度（居住地域別）



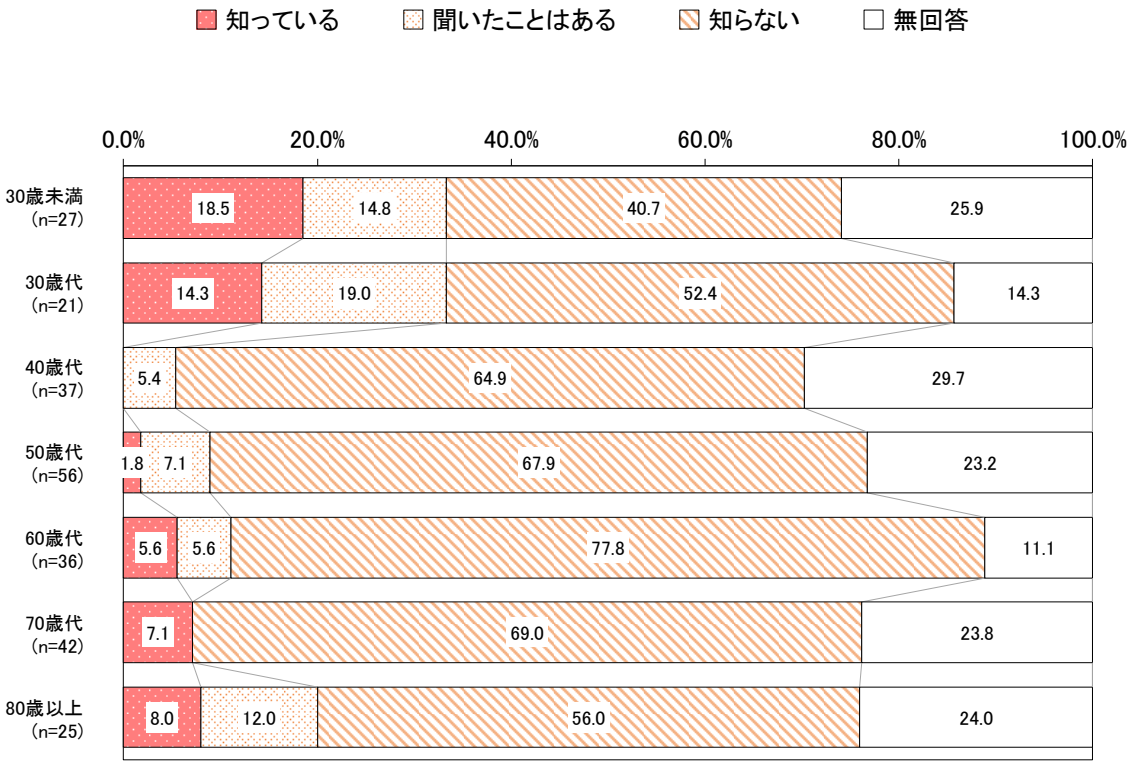
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表３－23　あさひビアガーデンの認知度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「知っている」の割合が最も高くなっています。

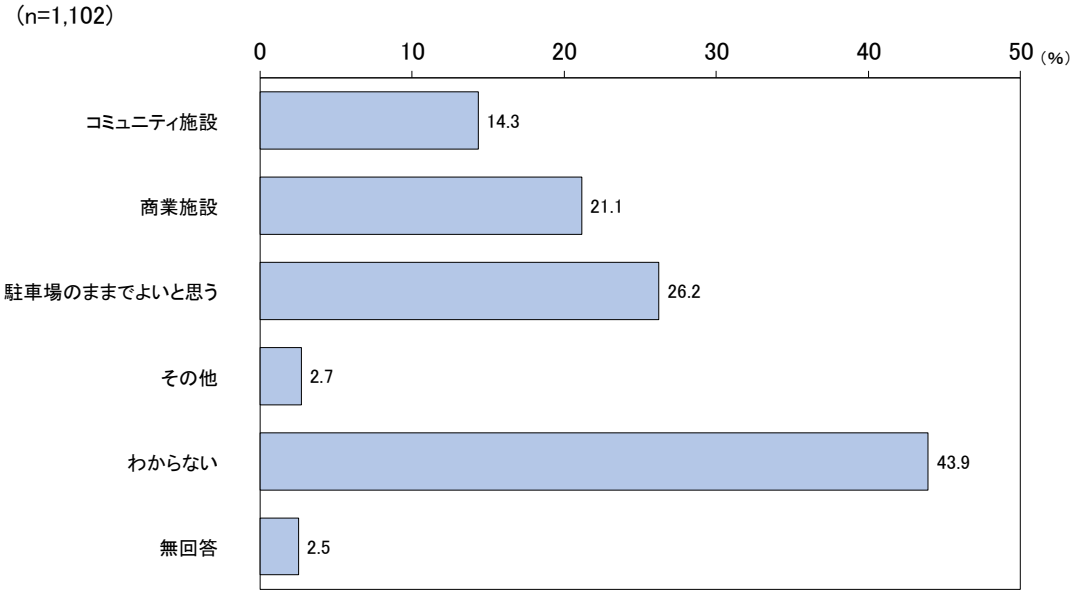
図表３－24　あさひビアガーデンの認知度（年齢別）



問 26　あなたはＪＲ吹田駅前の旭通商店街内にある平面駐車場の場所にどのような施設があると良いと思いますか。（いくつでも）

「駐車場のままでよいと思う」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「商業施設」の割合が 21.1%、「コミュニティ施設」の割合が 14.3%となっています。

図表３－25　平面駐車場の場所に希望する施設（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、ＪＲ以南地域で「駐車場のままでよいと思う」の割合が最も高くなっています。

図表３－26　平面駐車場の場所に希望する施設（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	コミュニティ施設	商業施設	駐車場のままでよいと思う	その他	わからない	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	25.0	18.2	37.5	4.5	28.4	1.1
	片山・岸部地域	155	16.8	27.7	35.5	3.2	27.7	3.2
	豊津・江坂・南吹田地域	204	8.8	28.9	21.6	1.5	47.1	0.5
	千里山・佐井寺地域	193	14.5	21.8	30.1	3.6	40.9	1.6
	山田・千里丘地域	234	13.7	17.1	23.5	2.6	50.4	3.4
	千里NT・万博・阪大地域	199	15.6	14.1	18.6	2.5	55.3	3.0

性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－27　平面駐車場の場所に希望する施設（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	コミュニティ施設	商業施設	駐車場のままでよいと思う	その他	わからない	無回答
性別	女性	631	15.4	20.3	25.8	2.7	45.3	2.1
	男性	454	12.1	22.0	26.7	2.9	42.3	3.3
	答えたくない	15	40.0	26.7	33.3	－	33.3	－

年齢別でみると、他に比べ、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳代、80 歳以上で「駐車場のままでよいと思う」の割合が高くなっています。

図表３－28　平面駐車場の場所に希望する施設（年齢別）

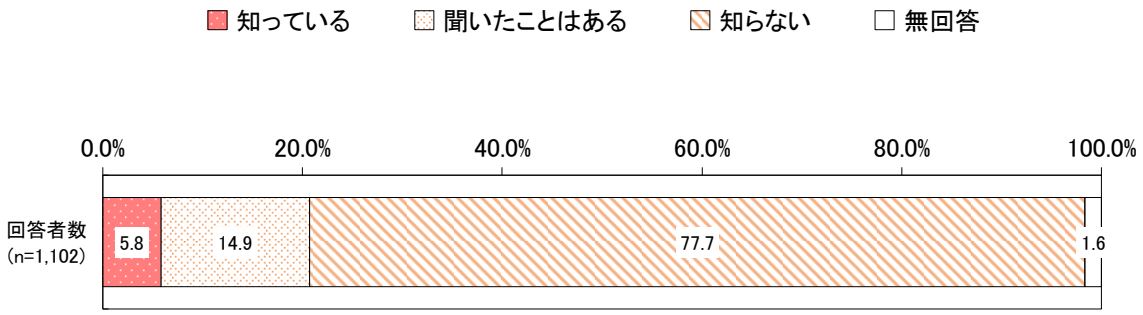
単位：％

区分		有効回答数（件）	コミュニティ施設	商業施設	駐車場のままでよいと思う	その他	わからない	無回答
年齢別	30 歳未満	116	17.2	39.7	25.9	3.4	30.2	0.9
	30 歳代	135	8.1	34.8	21.5	5.2	37.0	1.5
	40 歳代	170	17.6	26.5	32.4	1.8	34.7	0.6
	50 歳代	211	17.1	21.3	30.3	2.4	40.3	0.5
	60 歳代	159	15.7	13.2	25.2	3.1	52.8	1.3
	70 歳代	182	12.1	11.5	20.9	2.2	58.8	3.3
	80 歳以上	118	11.9	5.9	23.7	1.7	50.8	11.9

問 27　あなたは、市が運営している就労支援施設「ＪＯＢナビすいた」をご存知ですか。（１つだけ○印）

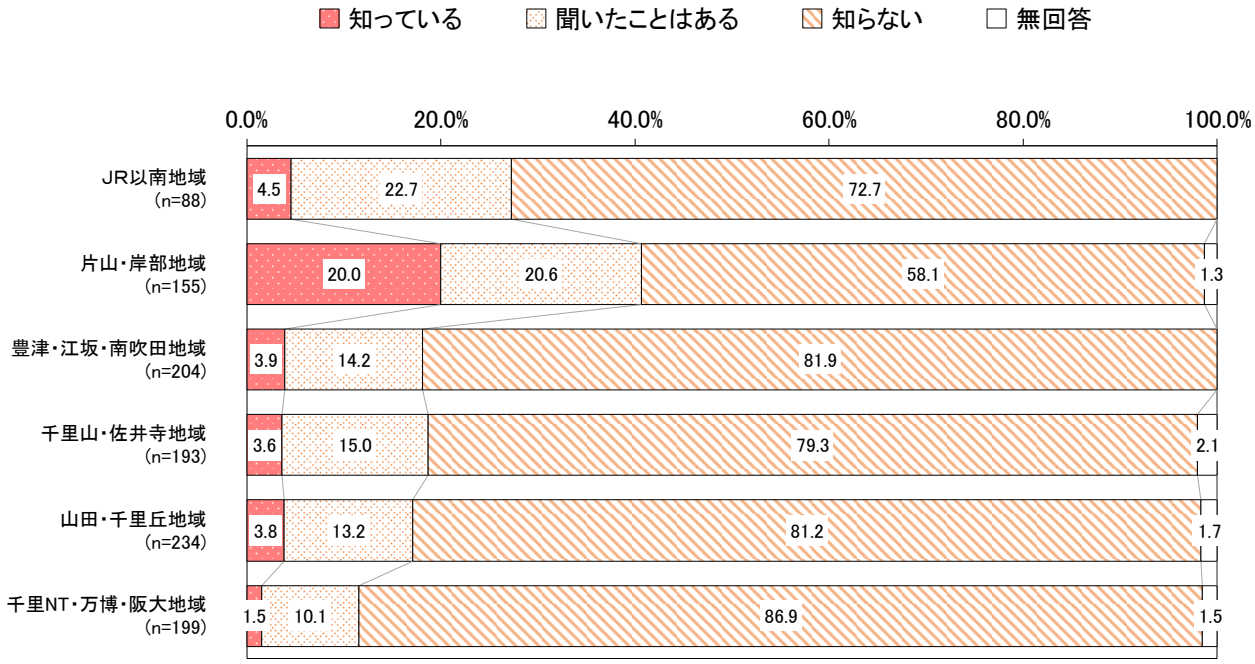
「知っている」が 5.8%、「聞いたことはある」が 14.9%、「知らない」が 77.7%となっています。

図表３－29　ＪＯＢナビすいたの認知度（単純回答）



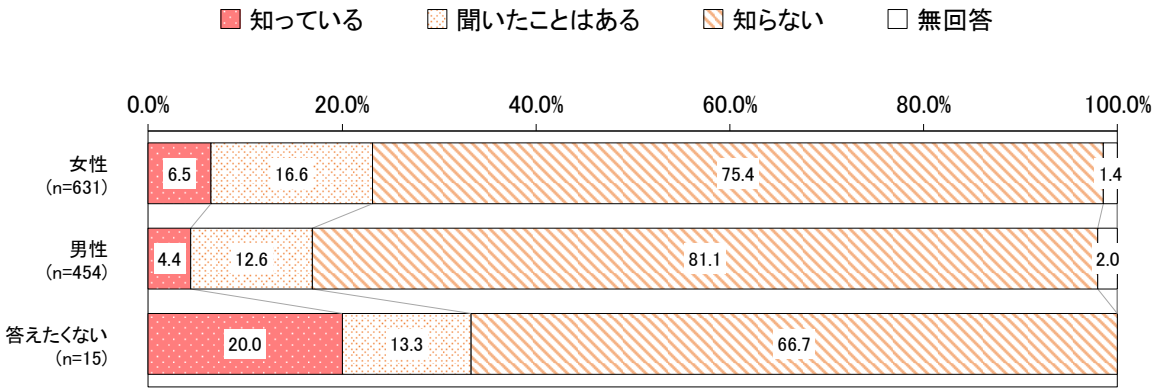
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－30　ＪＯＢナビすいたの認知度（居住地域別）



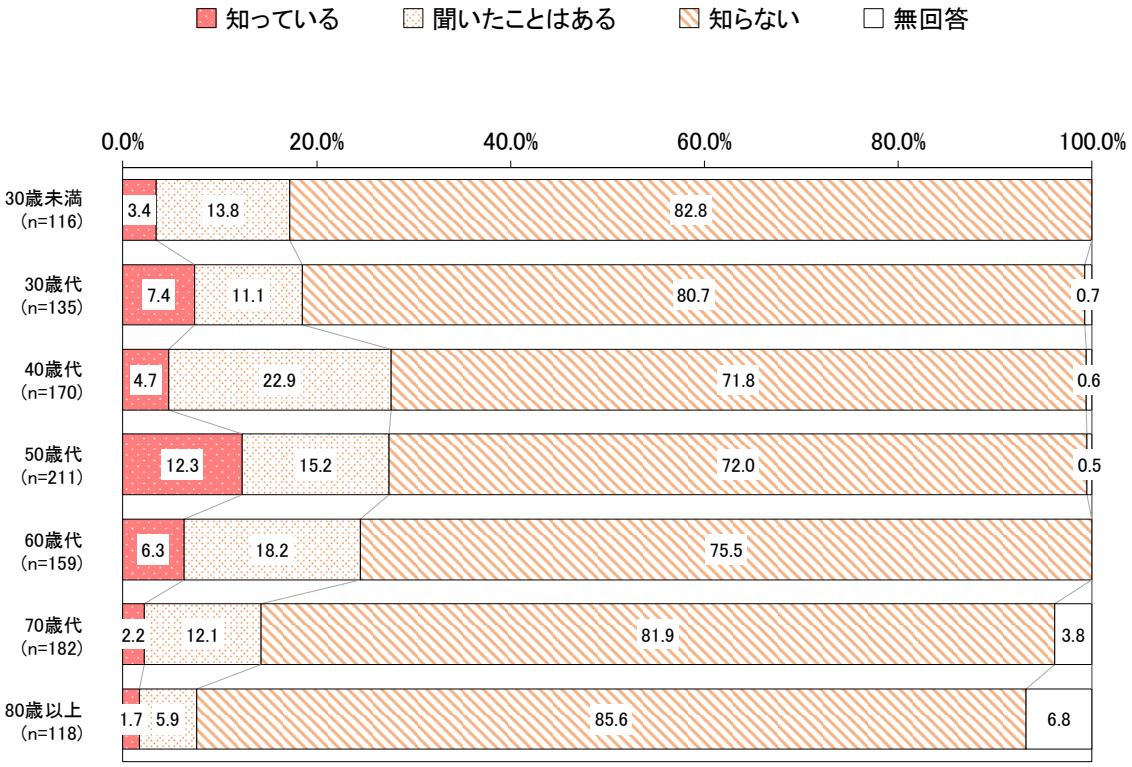
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表３－31　ＪＯＢナビすいたの認知度（性別）



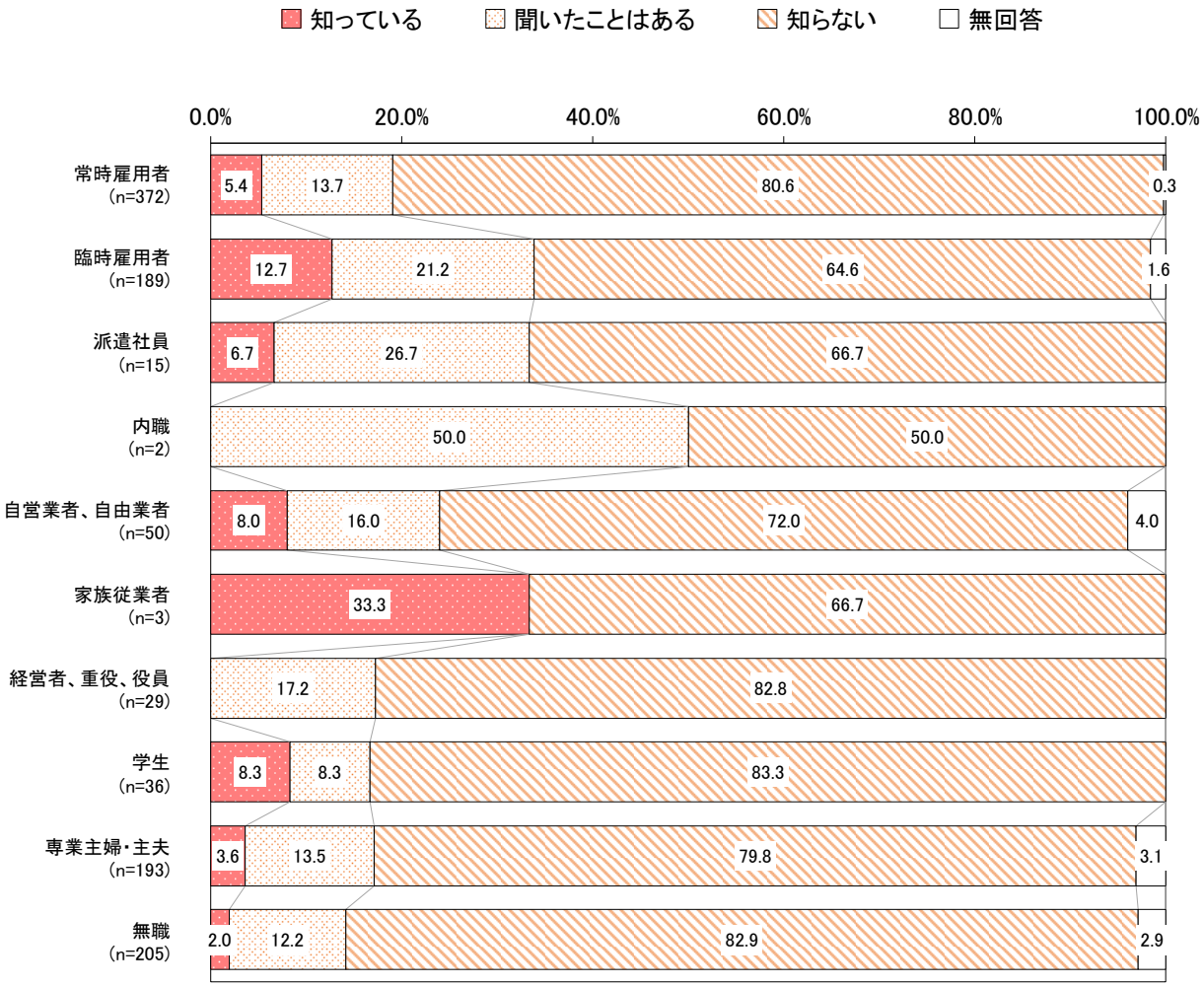
年齢別でみると、他に比べ、50 歳代で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－32　ＪＯＢナビすいたの認知度（年齢別）



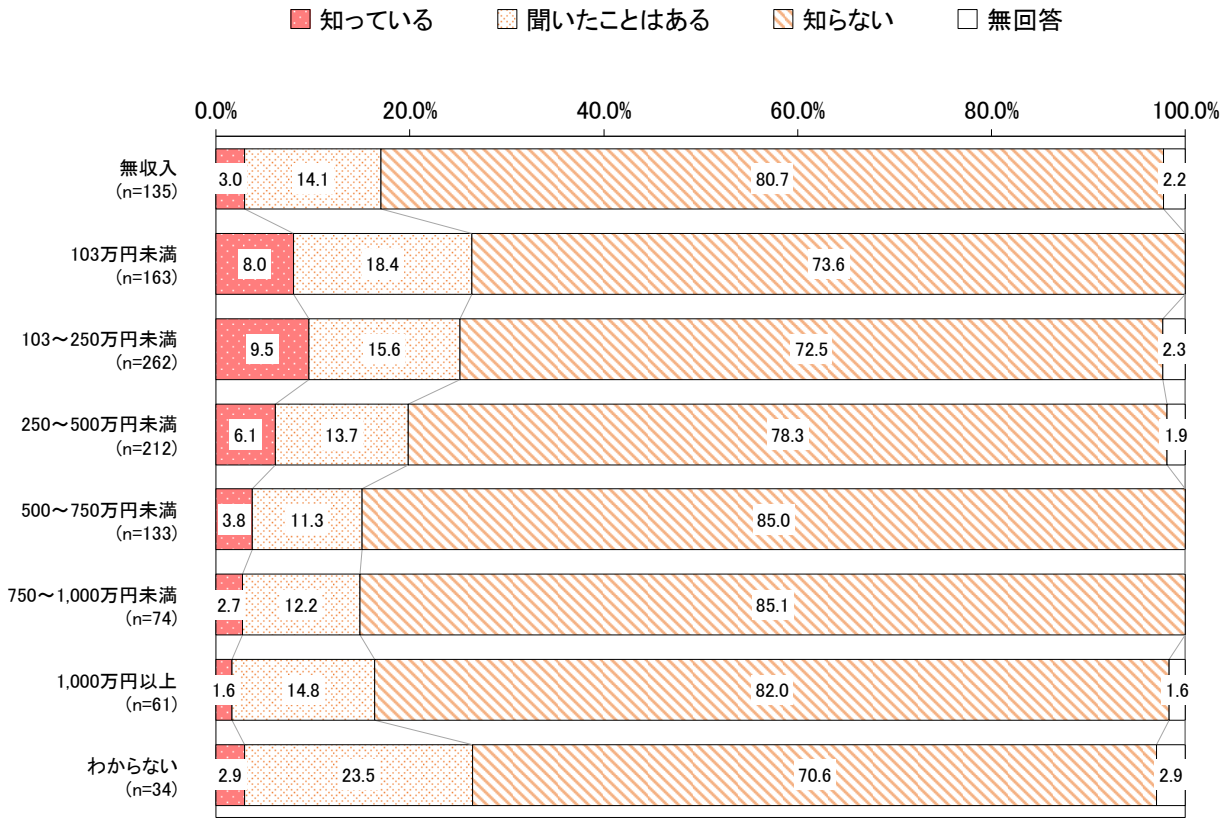
職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－33　ＪＯＢナビすいたの認知度（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、103～250 万円未満で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表３－34　ＪＯＢナビすいたの認知度（個人収入別）

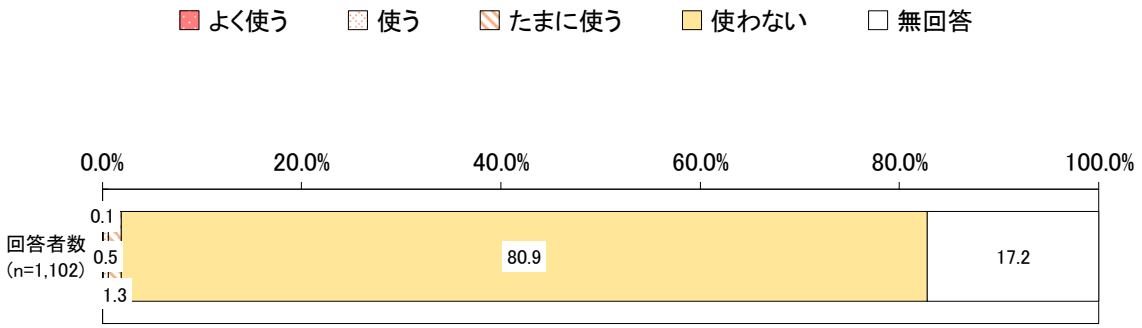


問 28　あなたは、仕事（正規職員・パート・アルバイトなど）を探すときに、どのような施設や媒体を利用しますか。（１つだけ○印）

①ＪＯＢナビすいた

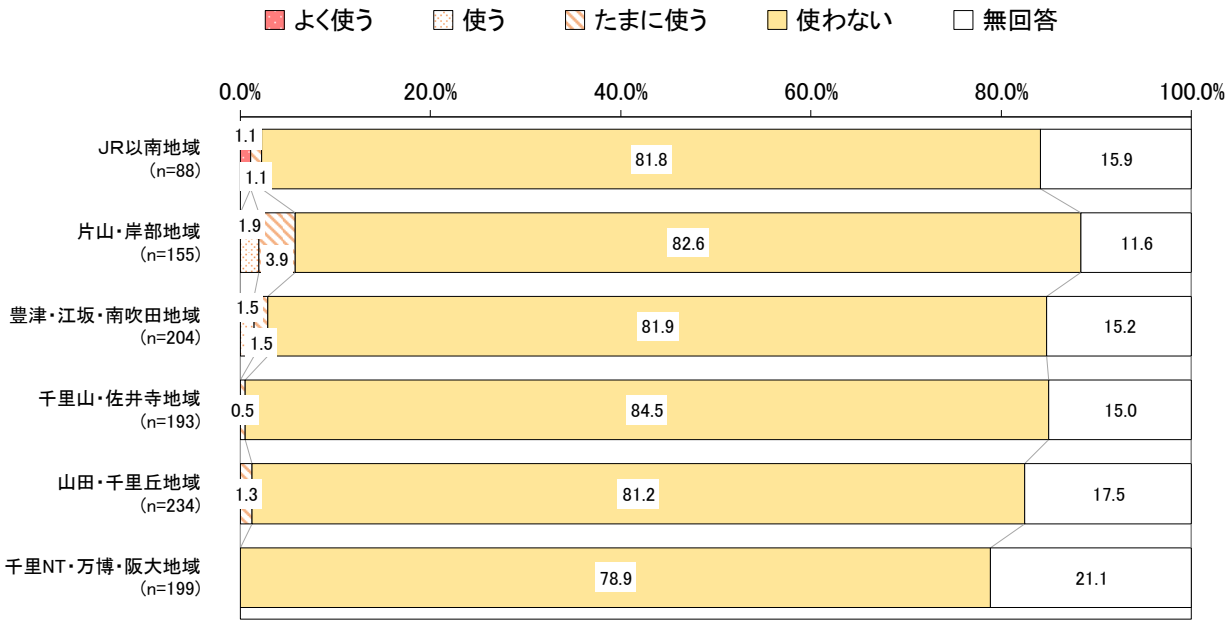
「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が 1.9%、「使わない」の割合が 80.9%となっています。

図表３－35　ＪＯＢナビすいたの利用状況（単純回答）



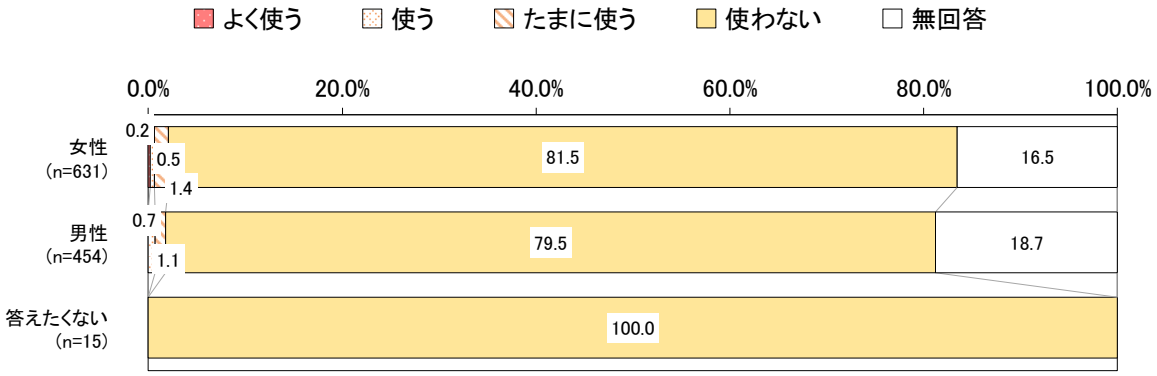
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－36　ＪＯＢナビすいたの利用状況（居住地域別）



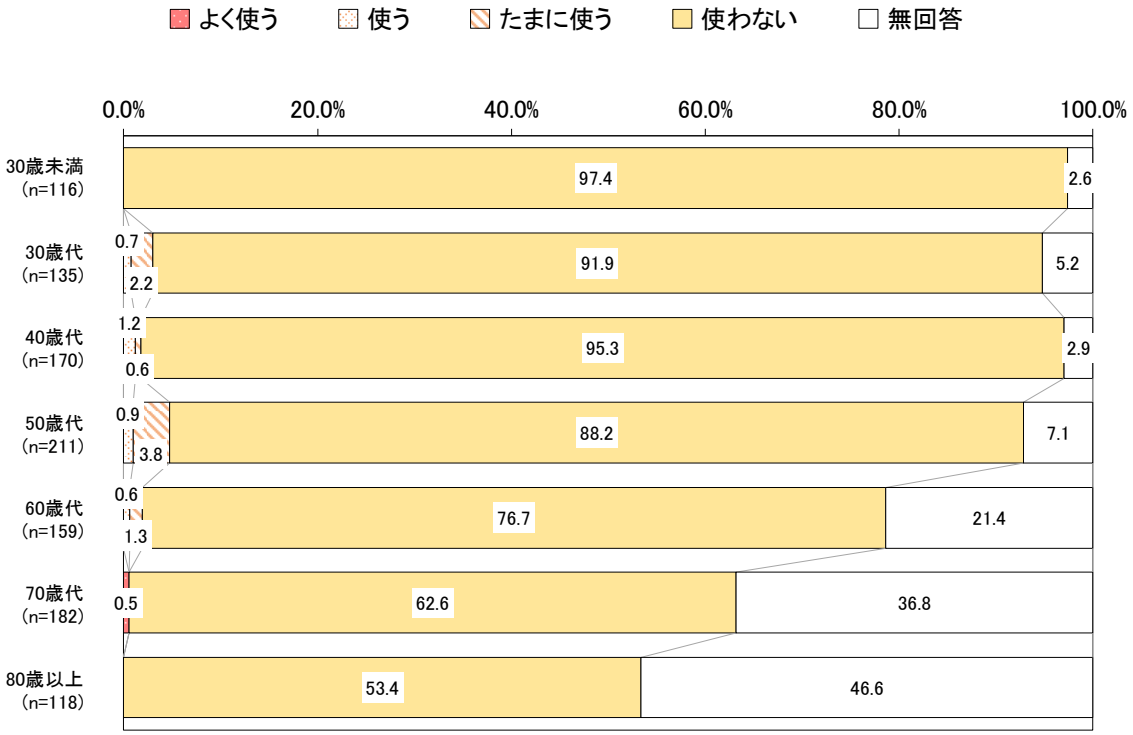
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－37　ＪＯＢナビすいたの利用状況（性別）



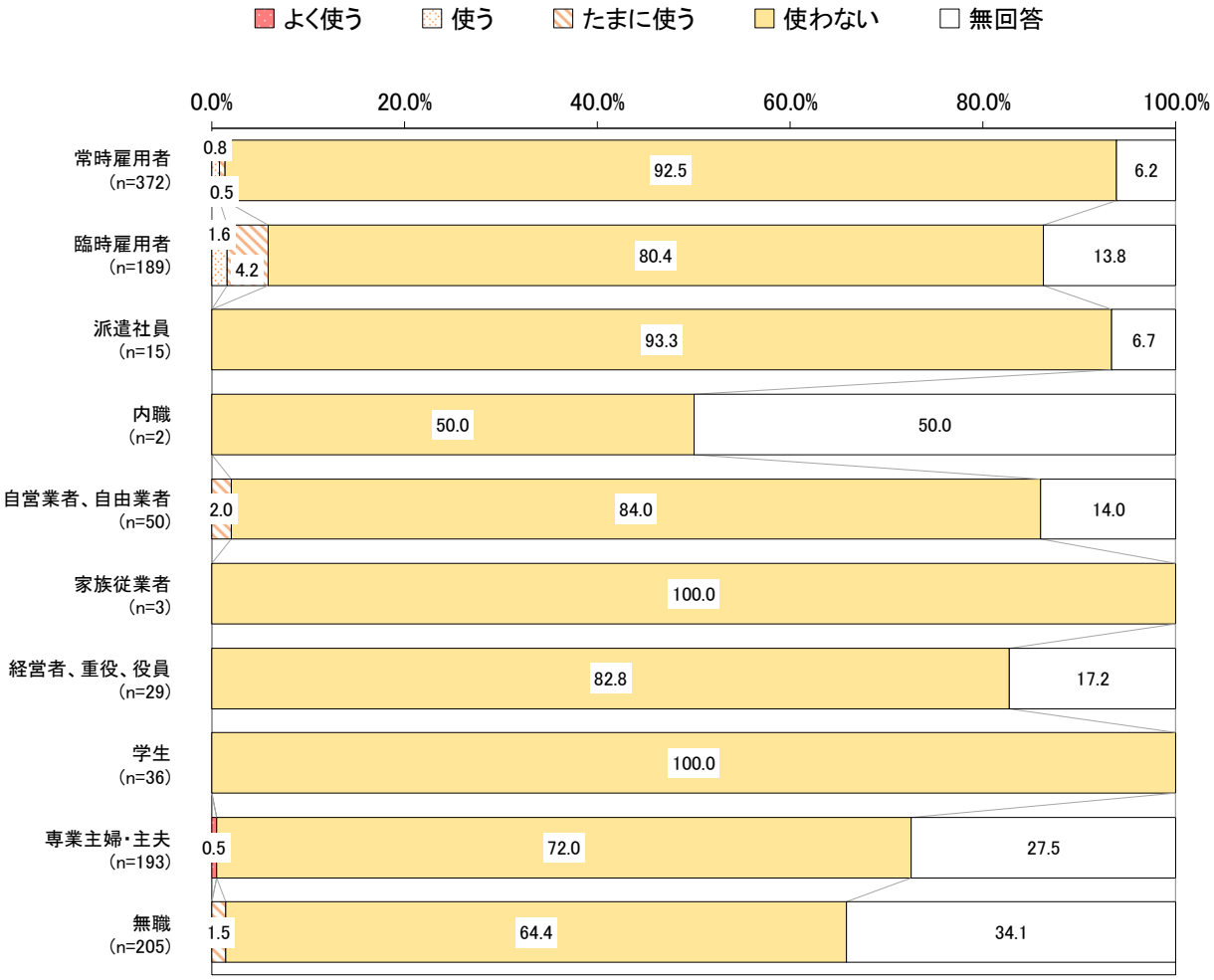
年齢別でみると、他に比べ、50 歳代で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－38　ＪＯＢナビすいたの利用状況（年齢別）



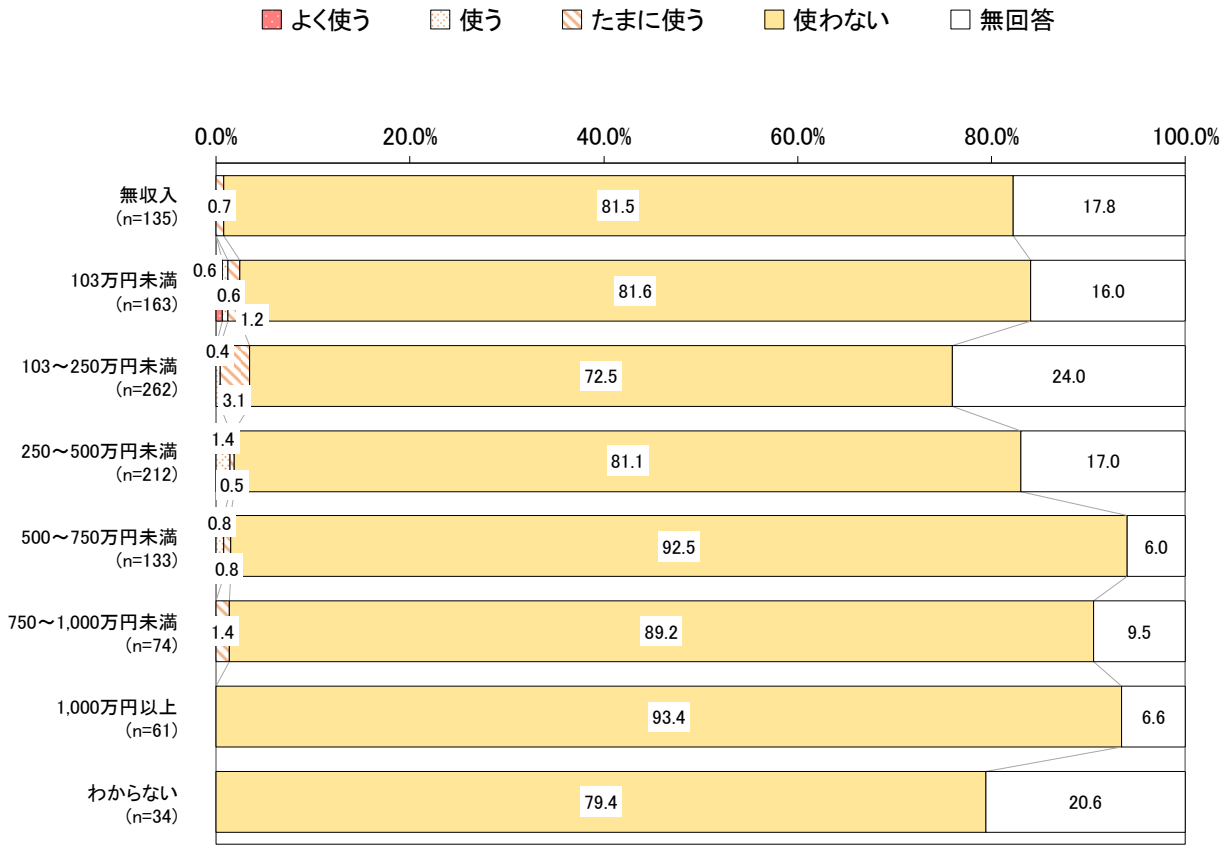
職業別でみると、他に比べ、臨時雇用者で“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－39　ＪＯＢナビすいたの利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、103～250 万円未満で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

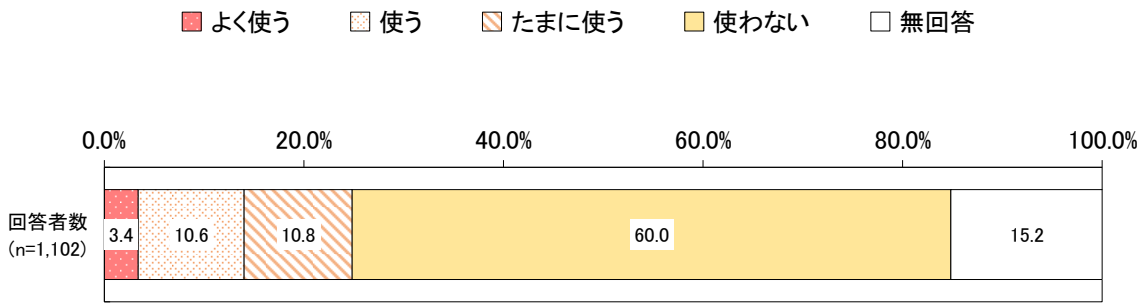
図表３－40　ＪＯＢナビすいたの利用状況（個人収入別）



②ハローワーク

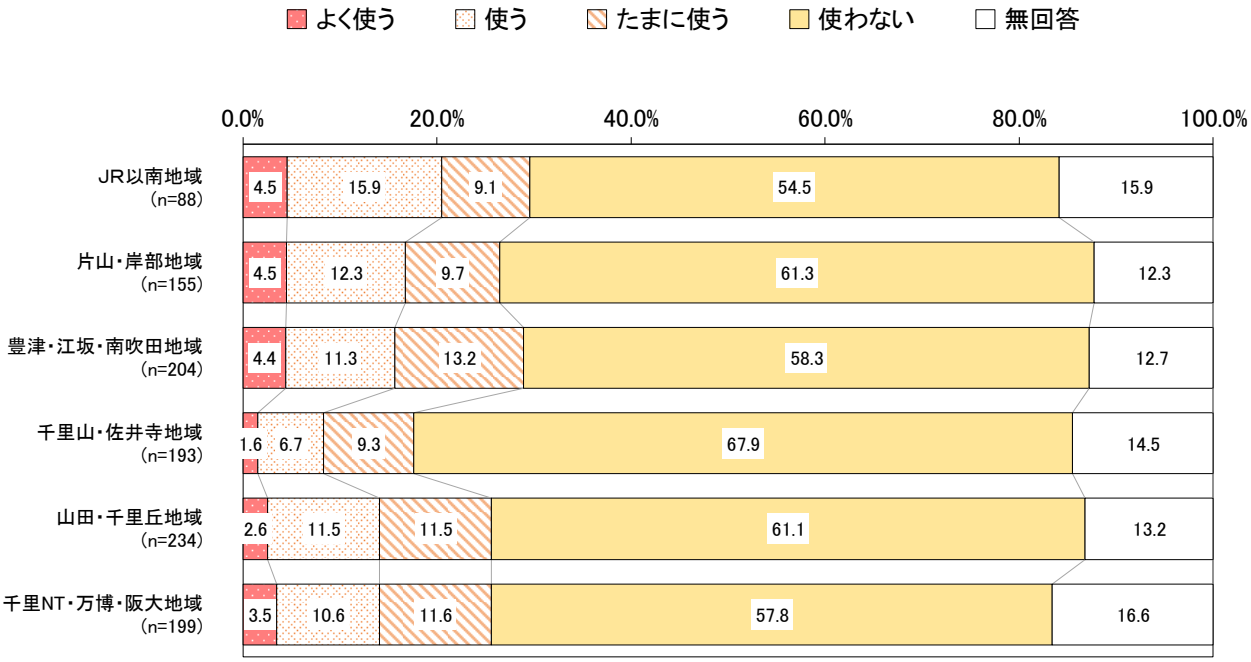
「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が 24.8%、「使わない」の割合が 60.0%となっています。

図表３－41　ハローワークの利用状況（単純回答）



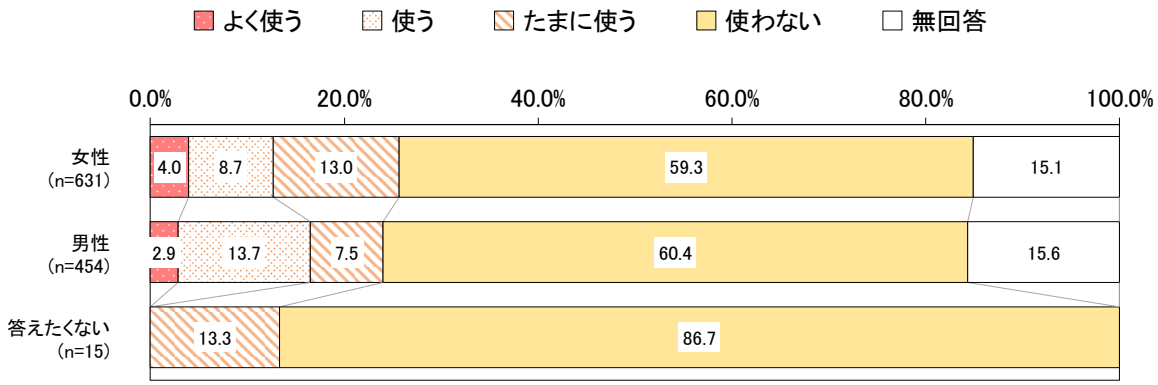
居住地域別でみると、他に比べ、ＪＲ以南地域で“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－42　ハローワークの利用状況（居住地域別）



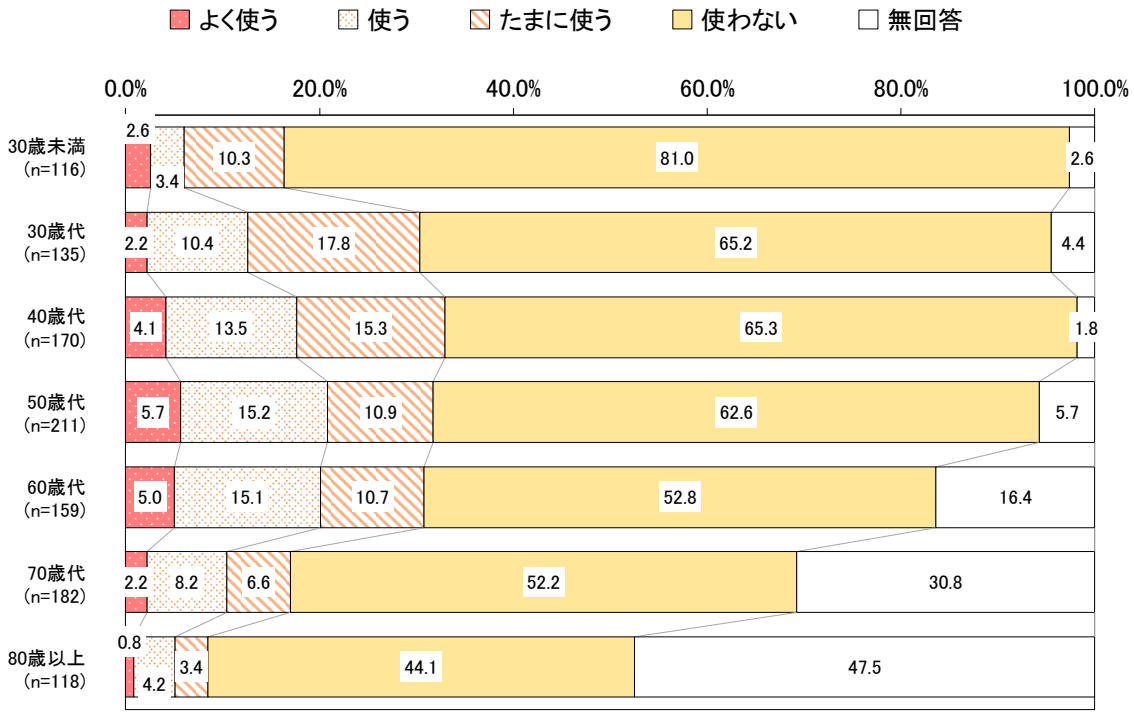
性別でみると、男性より女性の方が「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”と答えています。

図表３－43　ハローワークの利用状況（性別）



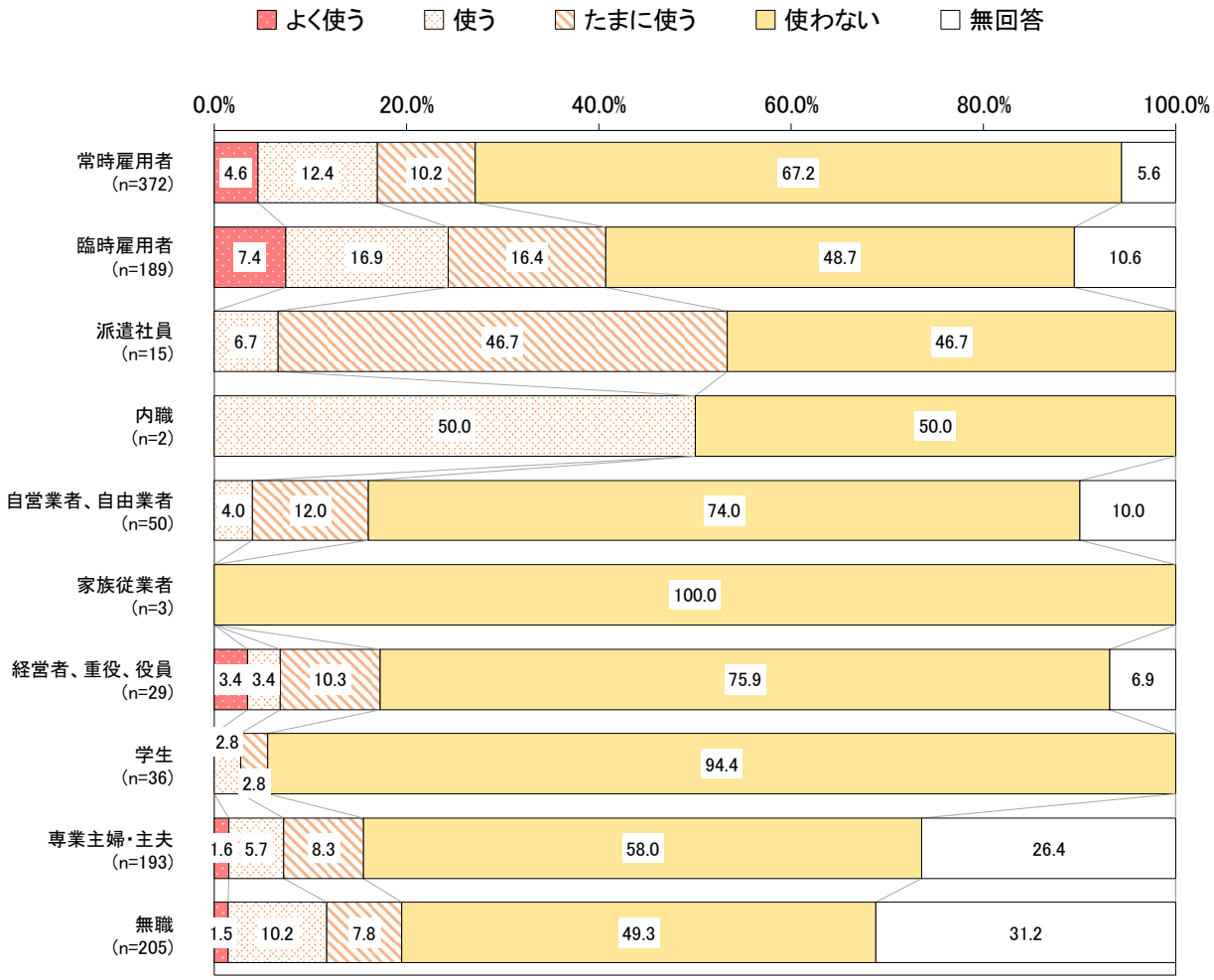
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で 「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－44　ハローワークの利用状況（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、派遣社員で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせたで“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－45　ハローワークの利用状況（職業別）



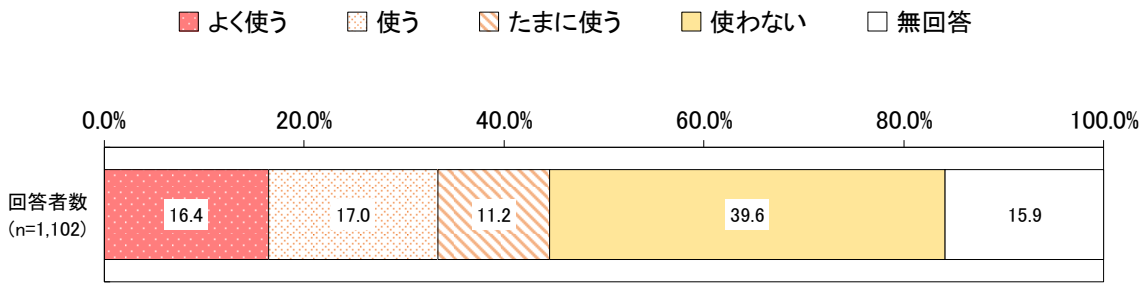
個人収入別でみると、他に比べ、250～500 万円未満で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－46　ハローワークの利用状況（個人収入別）

③就職・転職サイト・アプリ

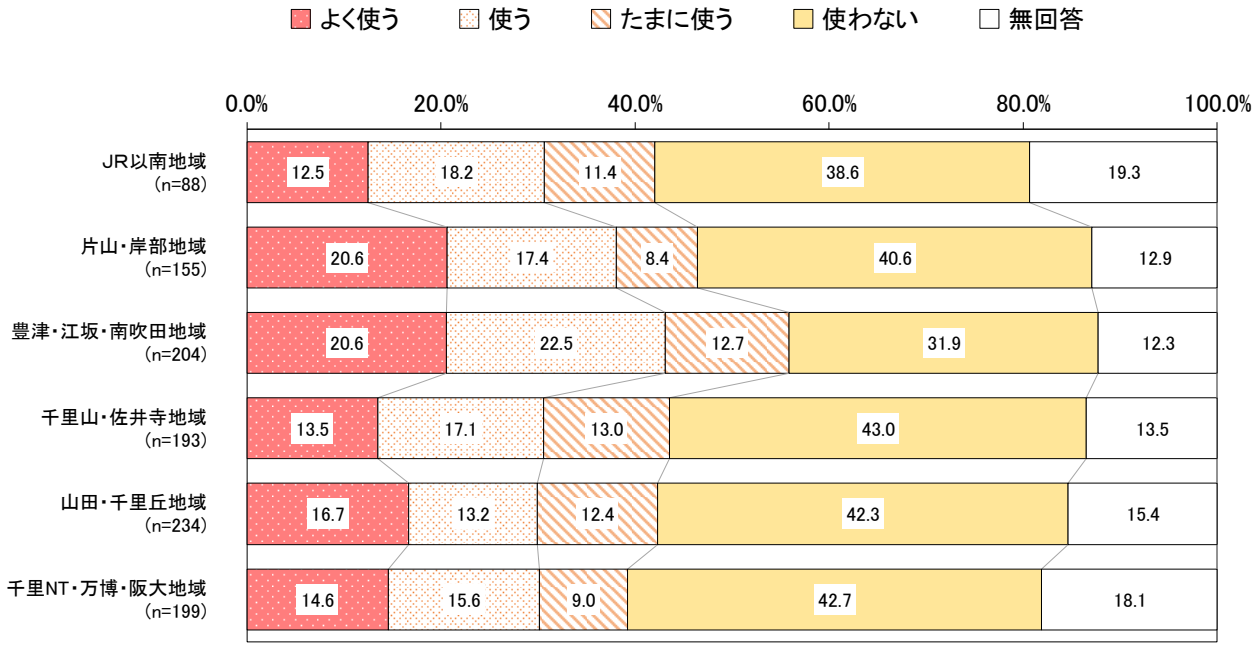
「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が 44.6%、「使わない」の割合が 39.6%となっています。

図表３－47　就職・転職サイト・アプリの利用状況（単純回答）



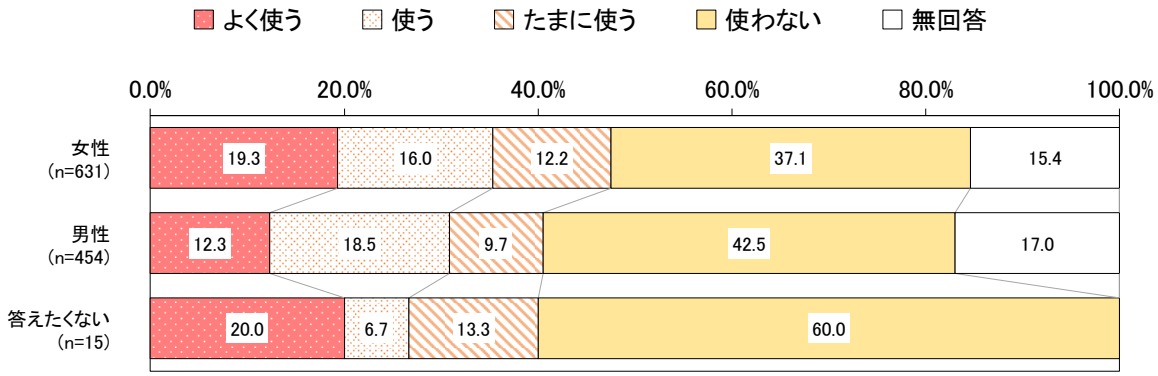
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－48　就職・転職サイト・アプリの利用状況（居住地域別）



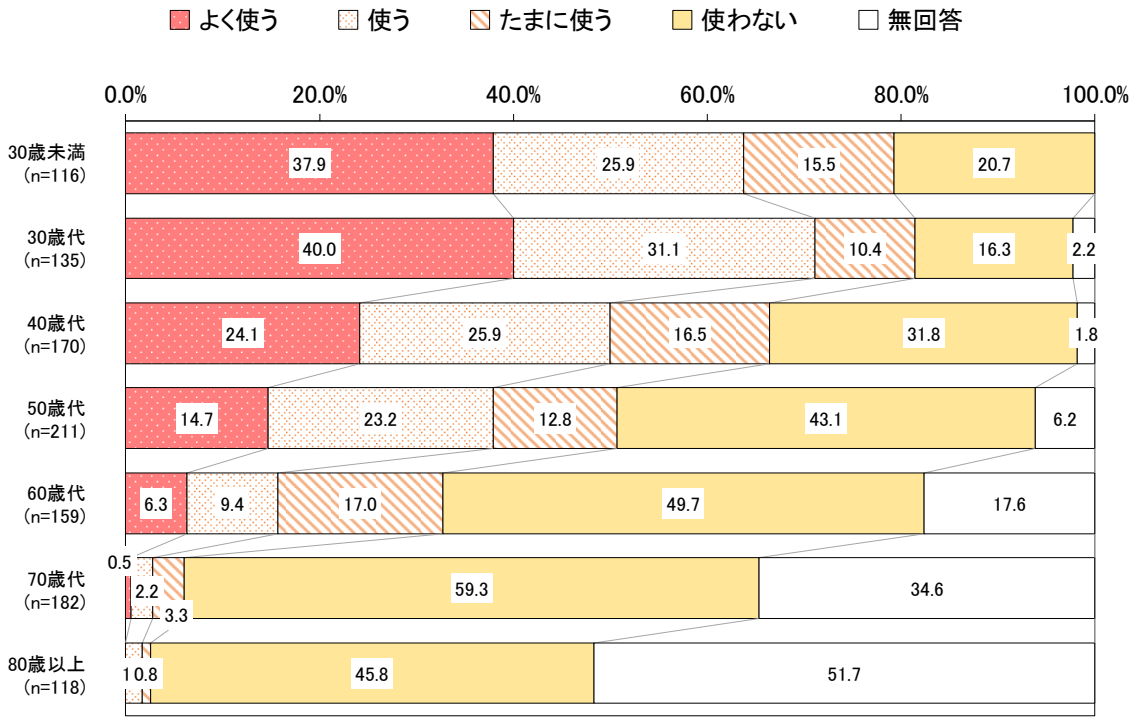
性別でみると、男性より女性の方が「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”と答えています。

図表３－49　就職・転職サイト・アプリの利用状況（性別）



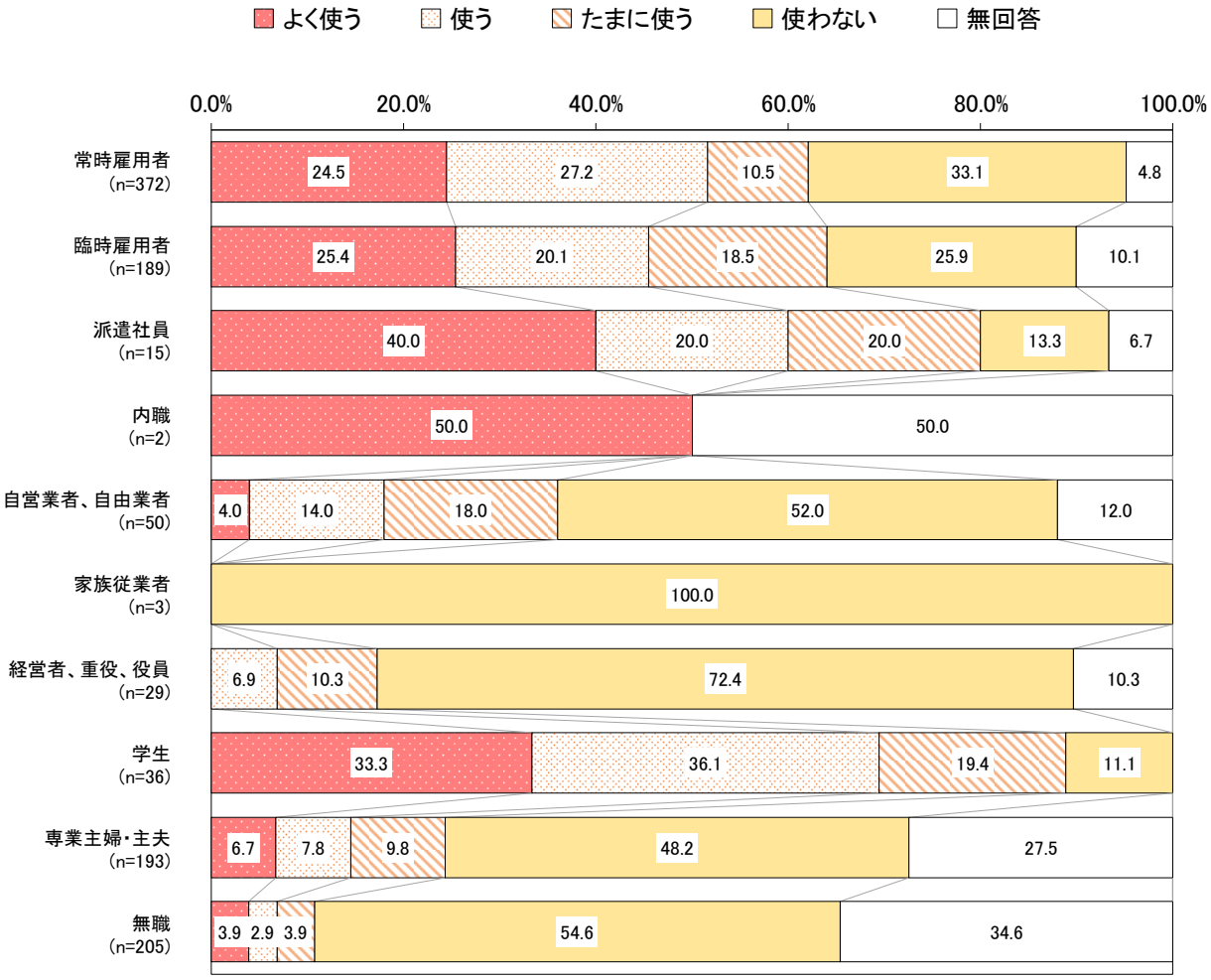
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が低くなっています。

図表３－50　就職・転職サイト・アプリの利用状況（年齢別）



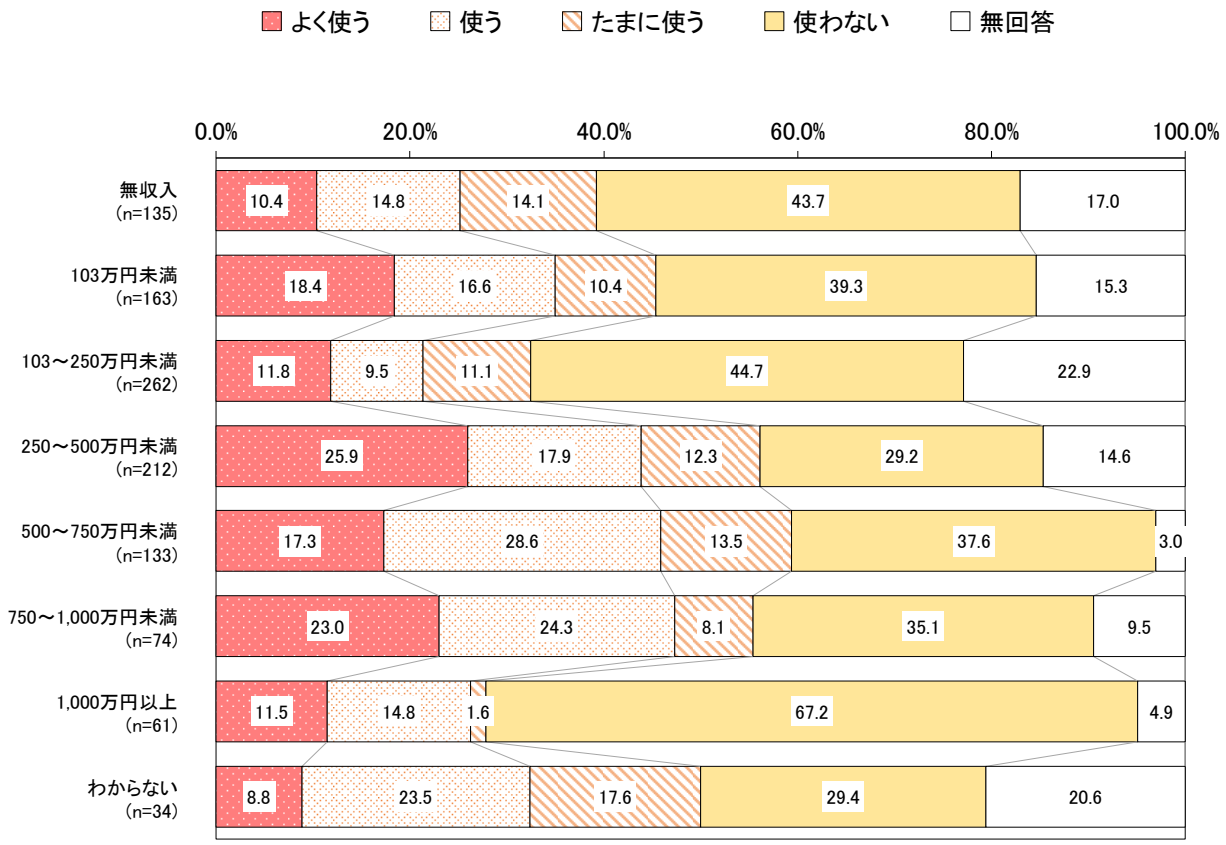
職業別でみると、他に比べ、学生で “使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－51　就職・転職サイト・アプリの利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で “使う”の割合が最も高くなっています。

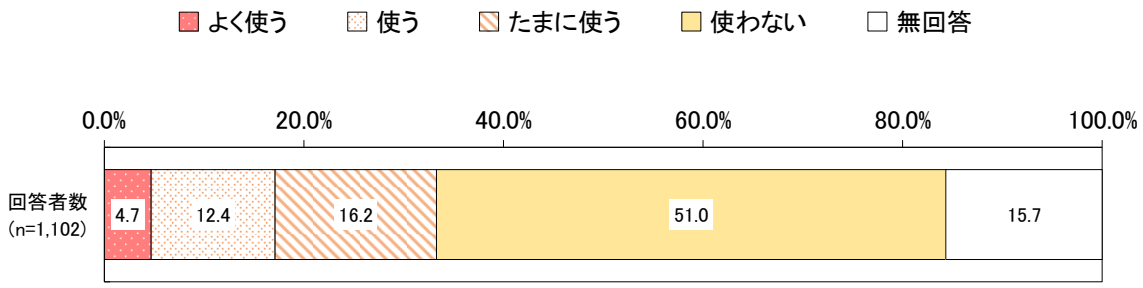
図表３－52　就職・転職サイト・アプリの利用状況（個人収入別）



④求人広告・情報誌

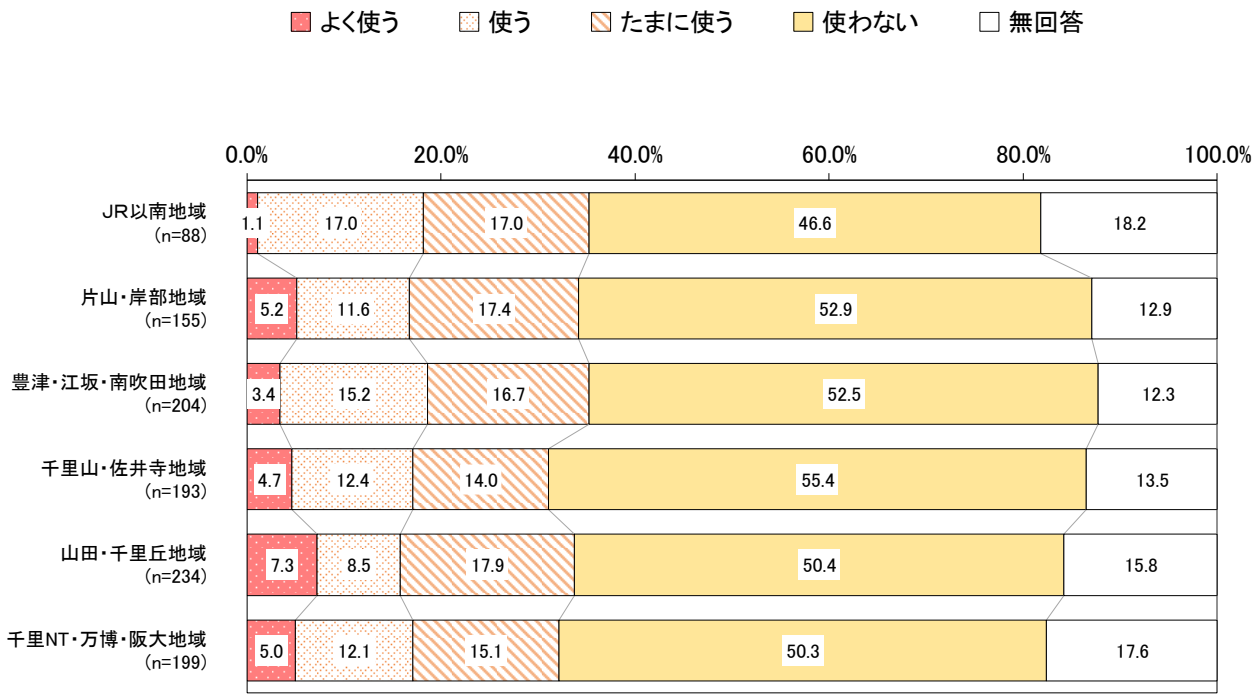
「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が 33.3%、「使わない」の割合が 51.0%となっています。

図表３－53　求人広告・情報誌の利用状況（単純回答）



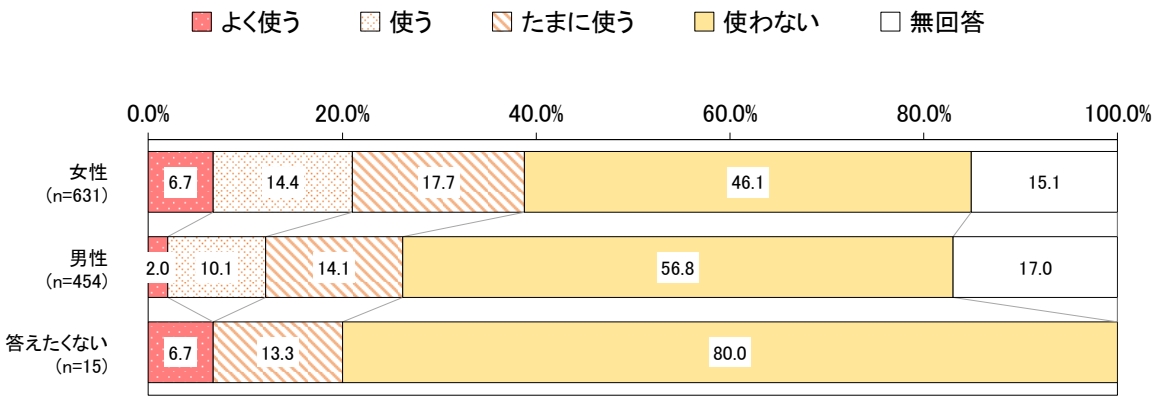
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－54　求人広告・情報誌の利用状況（居住地域別）



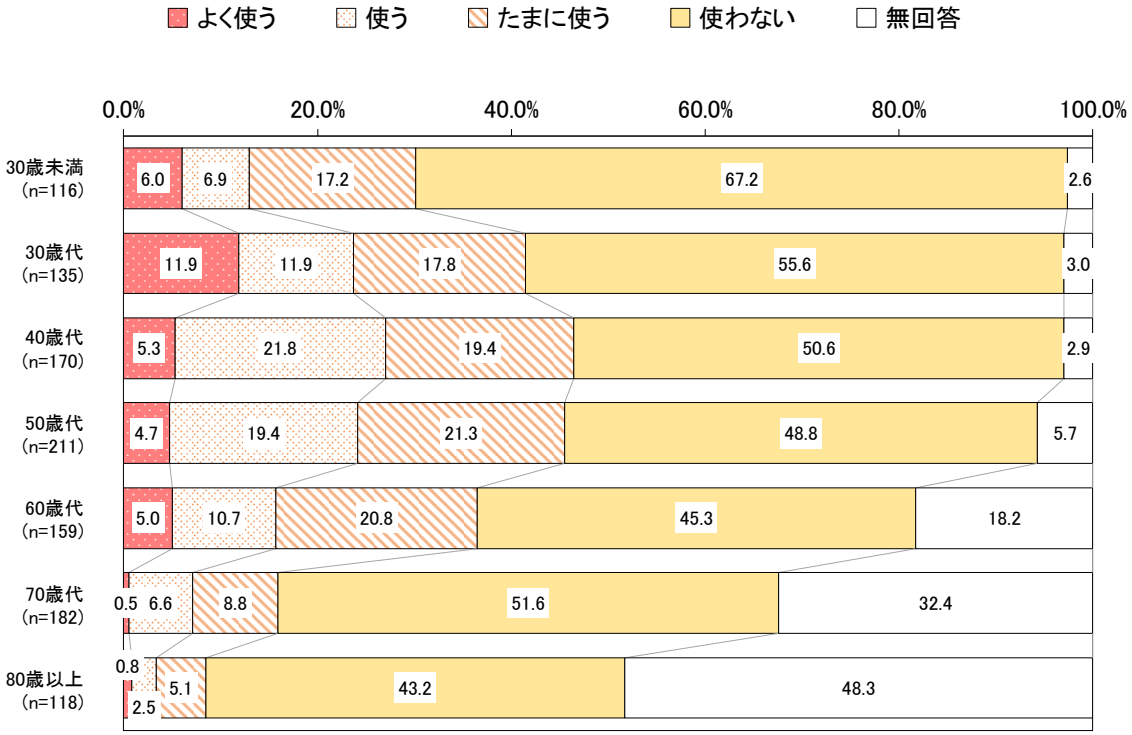
性別でみると、男性より女性の方が“使う”と答えています。

図表３－55　求人広告・情報誌の利用状況（性別）



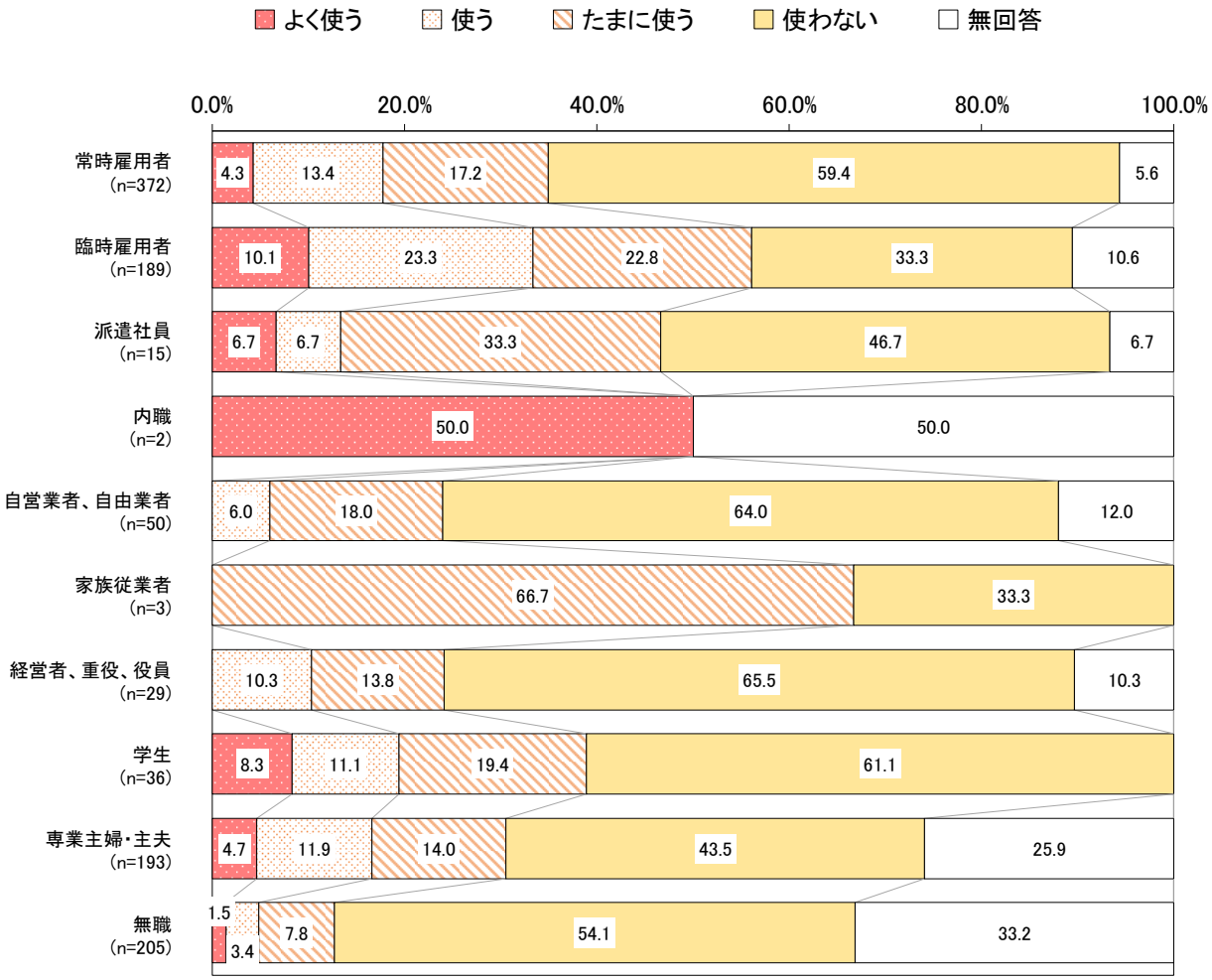
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で “使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－56　求人広告・情報誌の利用状況（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－57　求人広告・情報誌の利用状況（職業別）



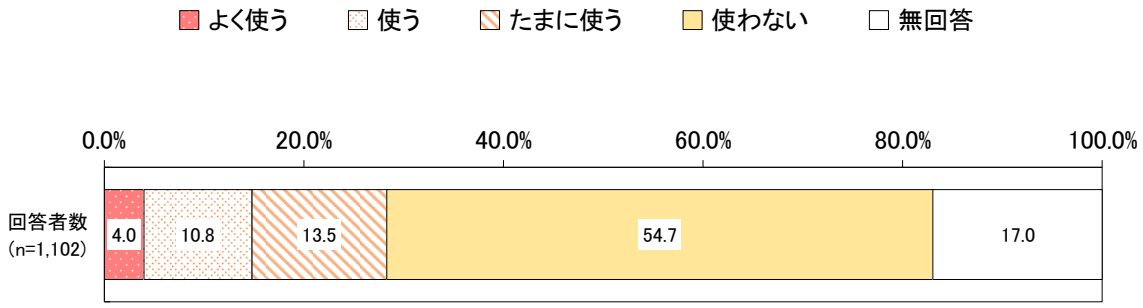
個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－58　求人広告・情報誌の利用状況（個人収入別）

⑤友人・知人からの紹介

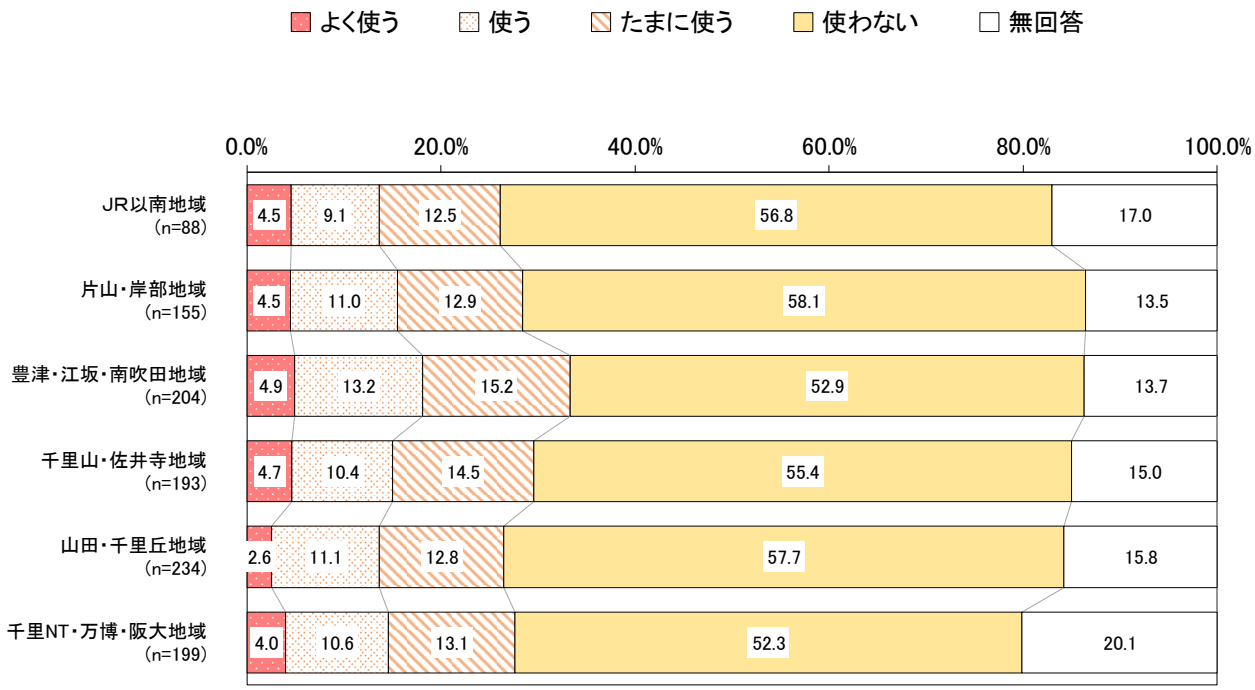
「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が 28.3%、「使わない」の割合が 54.7%となっています。

図表３－59　友人・知人からの紹介状況（単純回答）



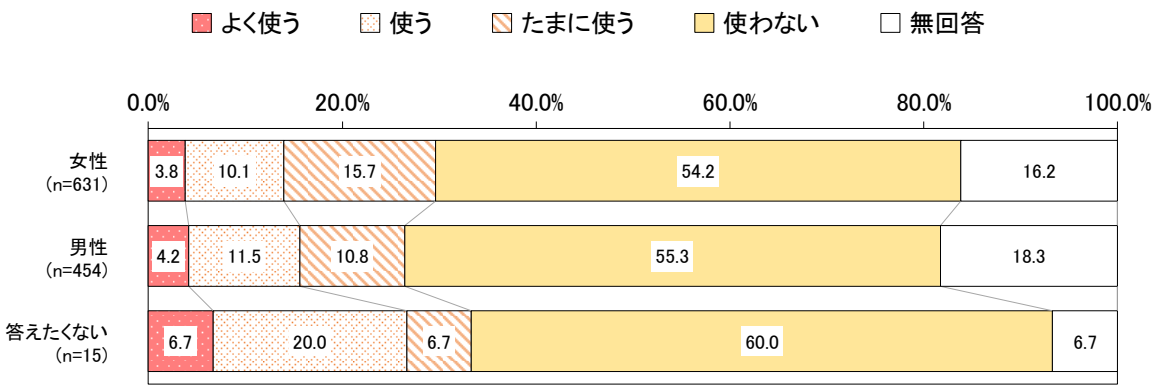
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－60　友人・知人からの紹介状況（居住地域別）



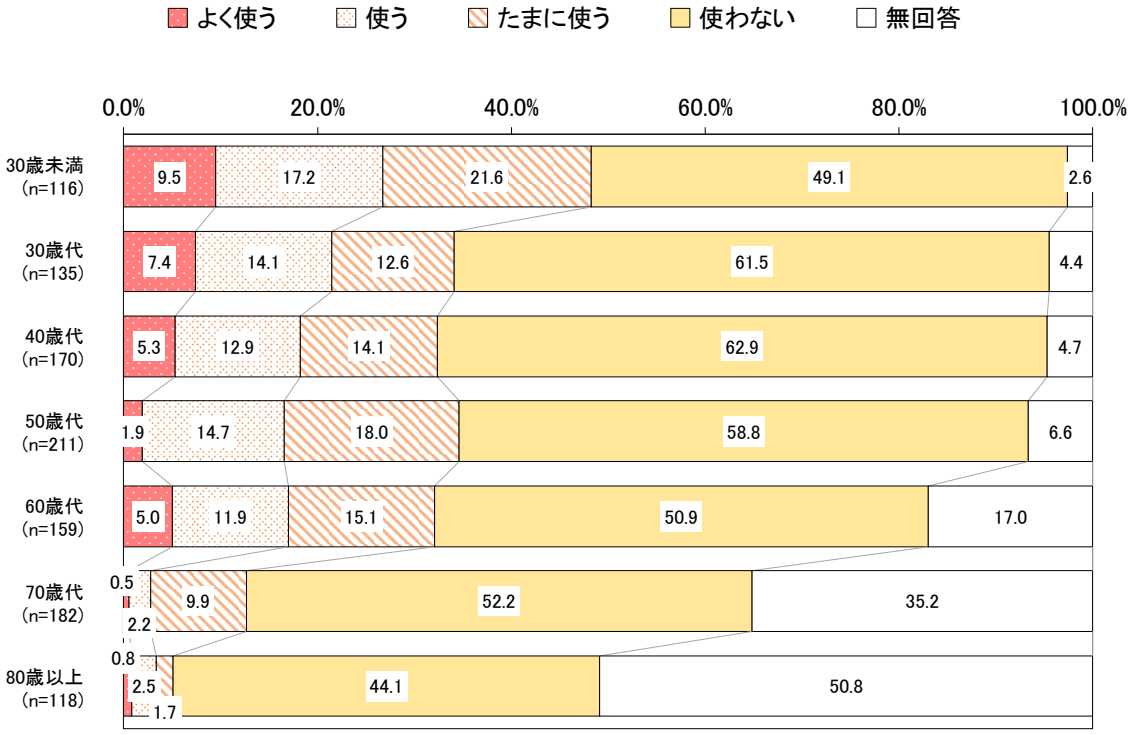
性別でみると、男性より女性の方が「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”と答えています。

図表３－61　友人・知人からの紹介状況（性別）



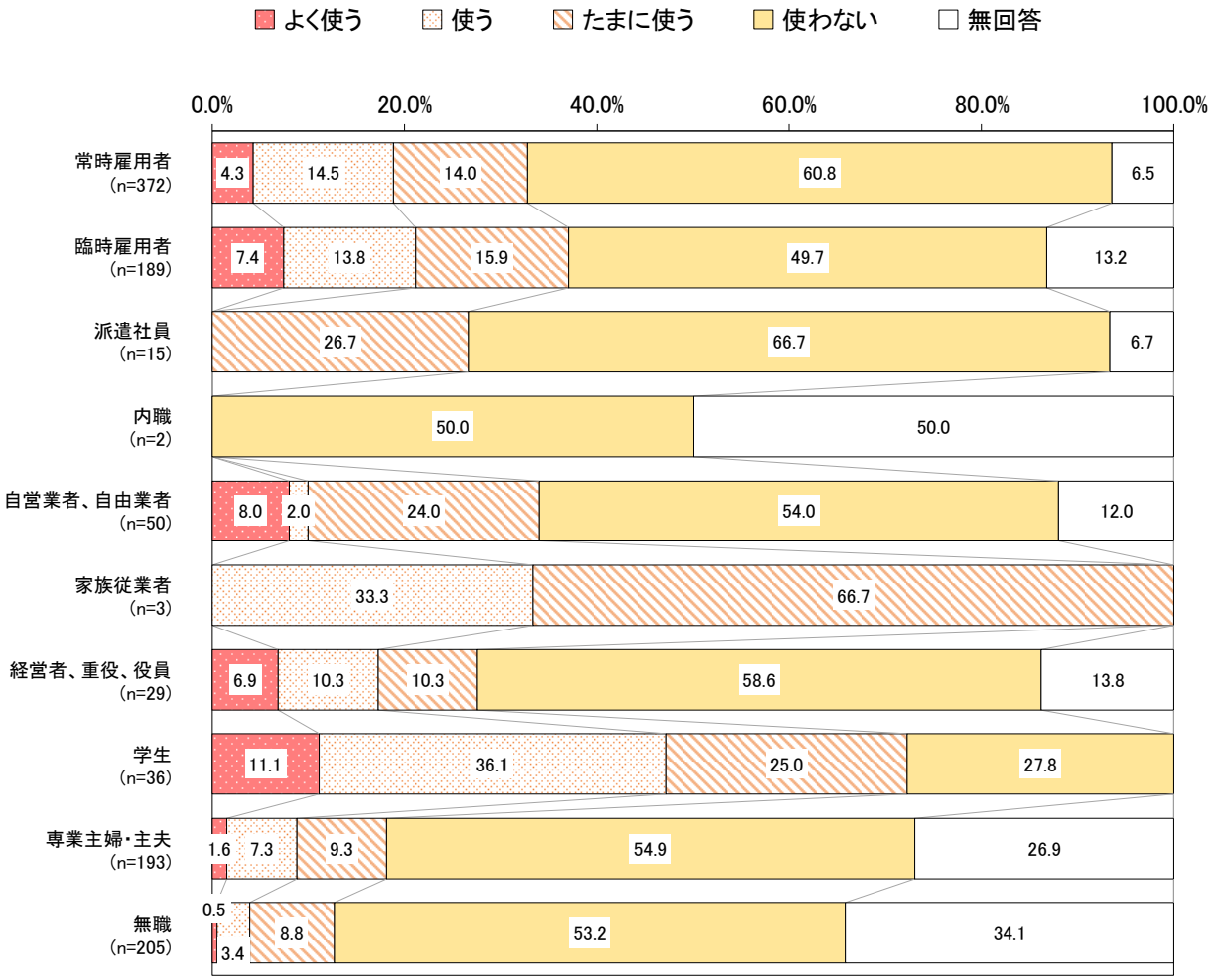
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－62　友人・知人からの紹介状況（年齢別）



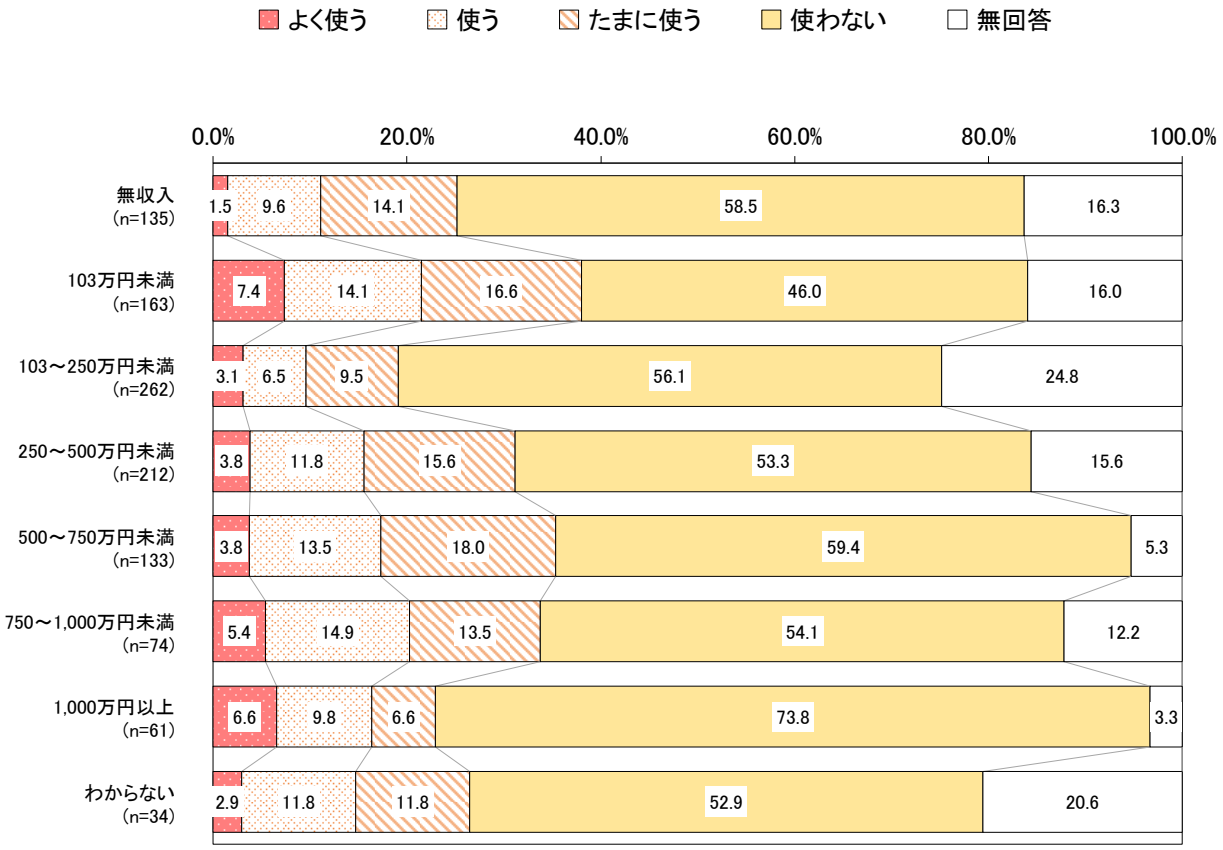
職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－63　友人・知人からの紹介状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、103 万未満で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

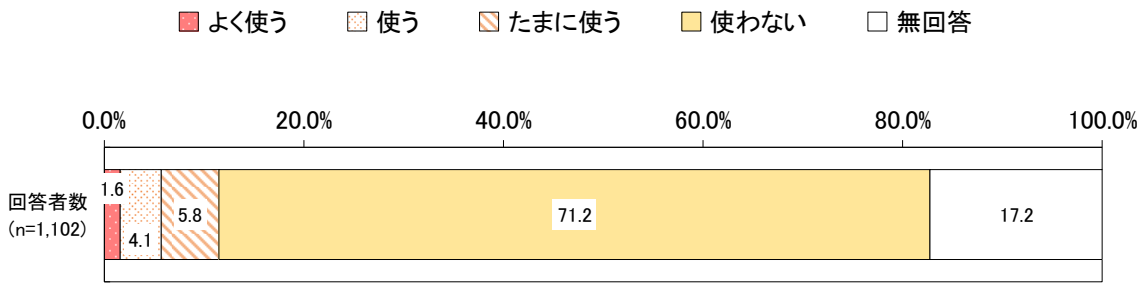
図表３－64　友人・知人からの紹介状況（個人収入別）



⑥就職・転職フェア等のイベント

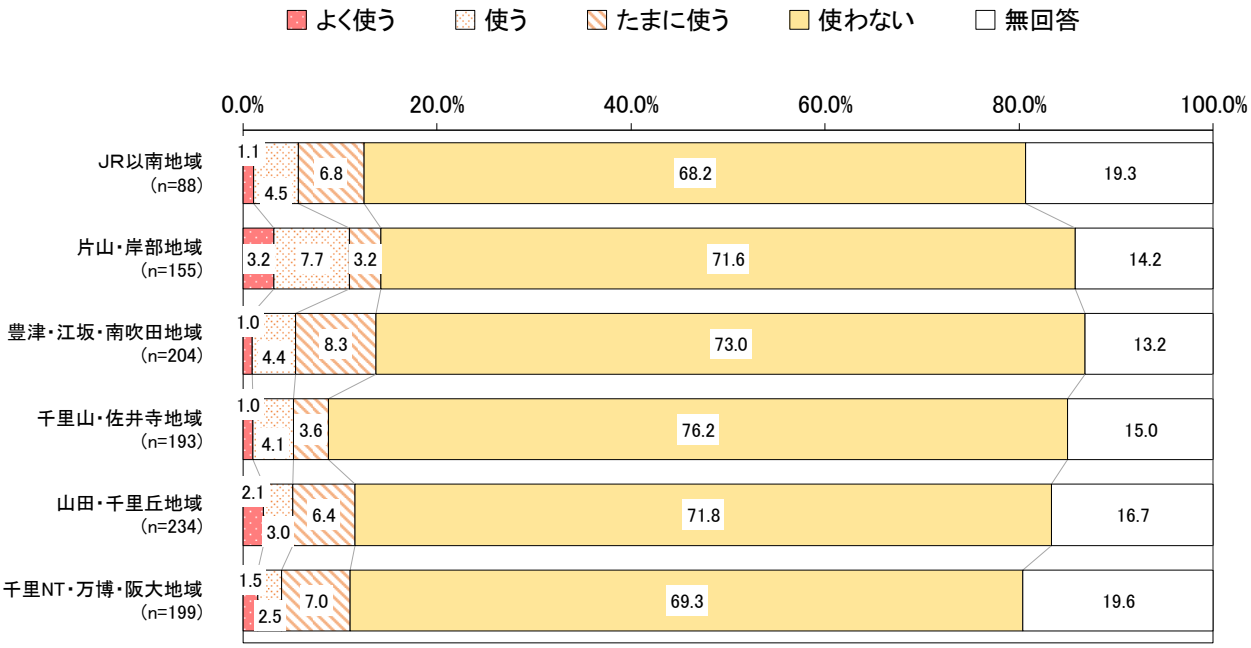
「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が 11.5%、「使わない」の割合が 71.2%となっています。

図表３－65　就職・転職フェア等のイベントの利用状況（単純回答）



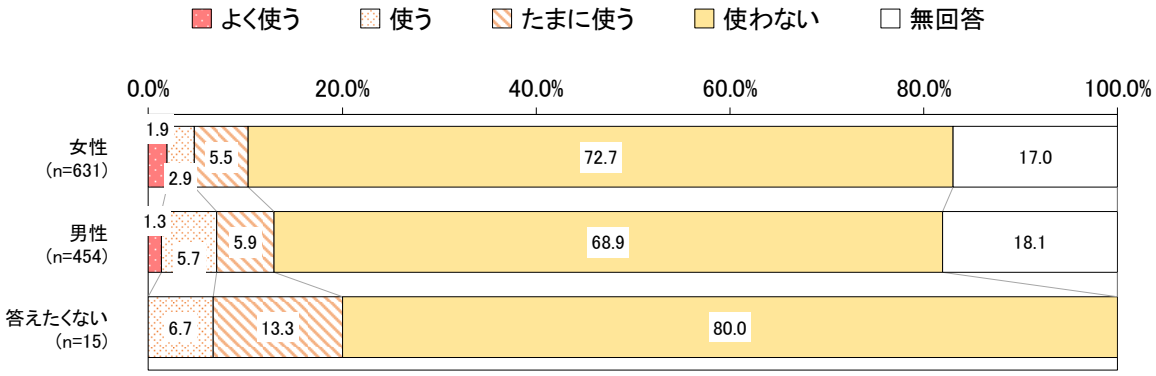
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－66　就職・転職フェア等のイベントの利用状況（居住地域別）



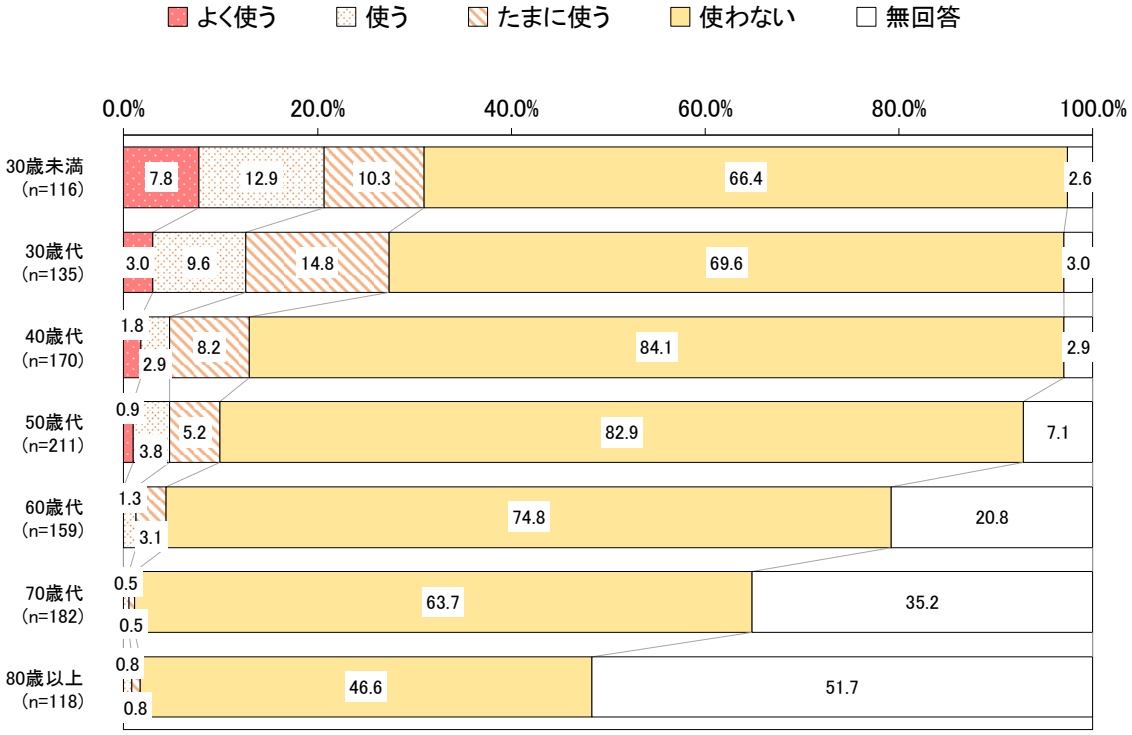
性別でみると、女性より男性の方が“使う”と答えています。

図表３－67　就職・転職フェア等のイベントの利用状況（性別）



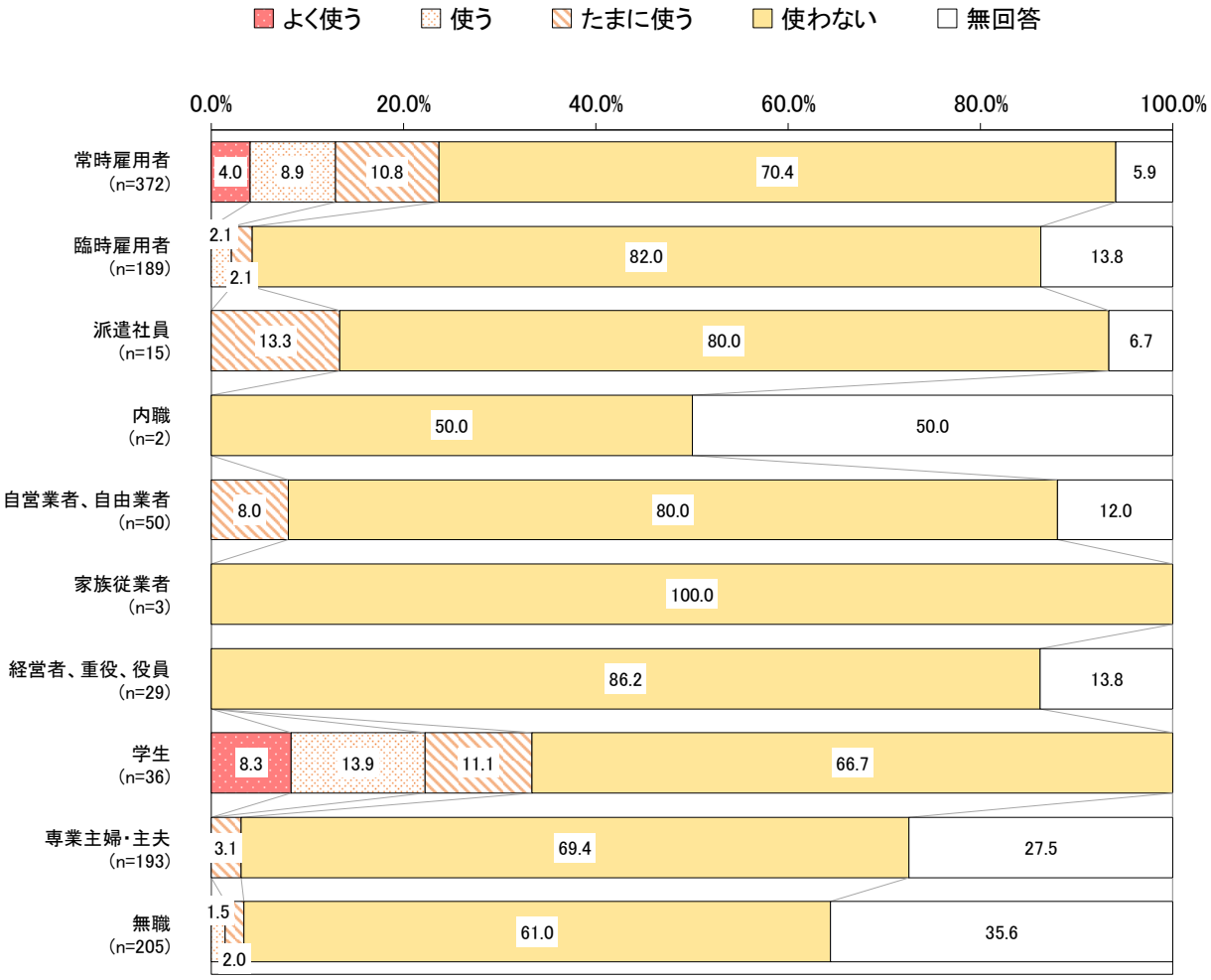
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が低くなっています。

図表３－68　就職・転職フェア等のイベントの利用状況（年齢別）



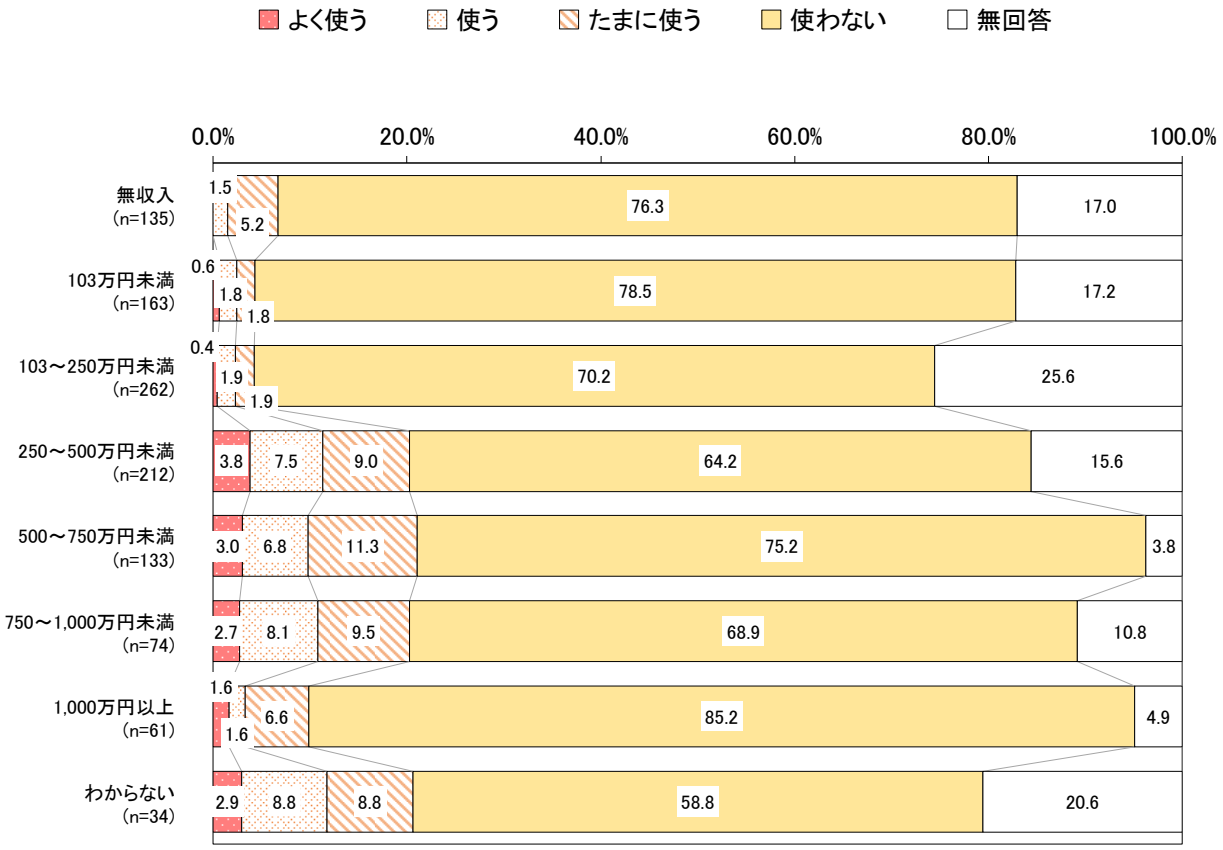
職業別でみると、他に比べ、学生で“使う”の割合が最も高くなっています。

図表３－69　就職・転職フェア等のイベントの利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「よく使う」と「使う」と「たまに使う」をあわせた“使う”の割合が最も高くなっています。

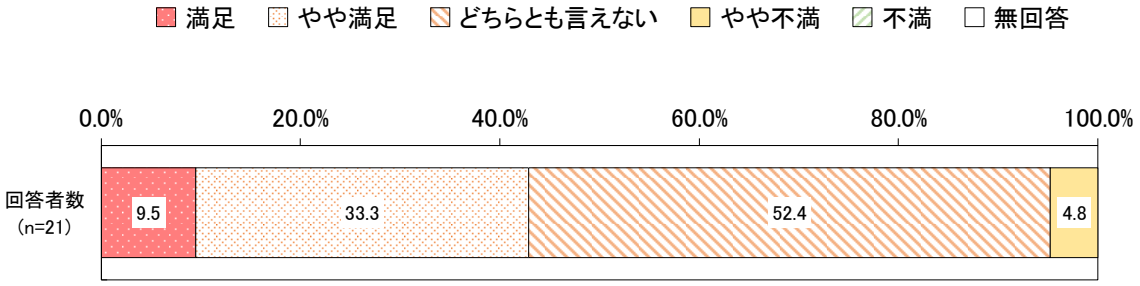
図表３－70　就職・転職フェア等のイベントの利用状況（個人収入別）



問 28-1　「ＪＯＢナビすいた」を利用した際の満足度を教えてください。
（１つだけ○印）

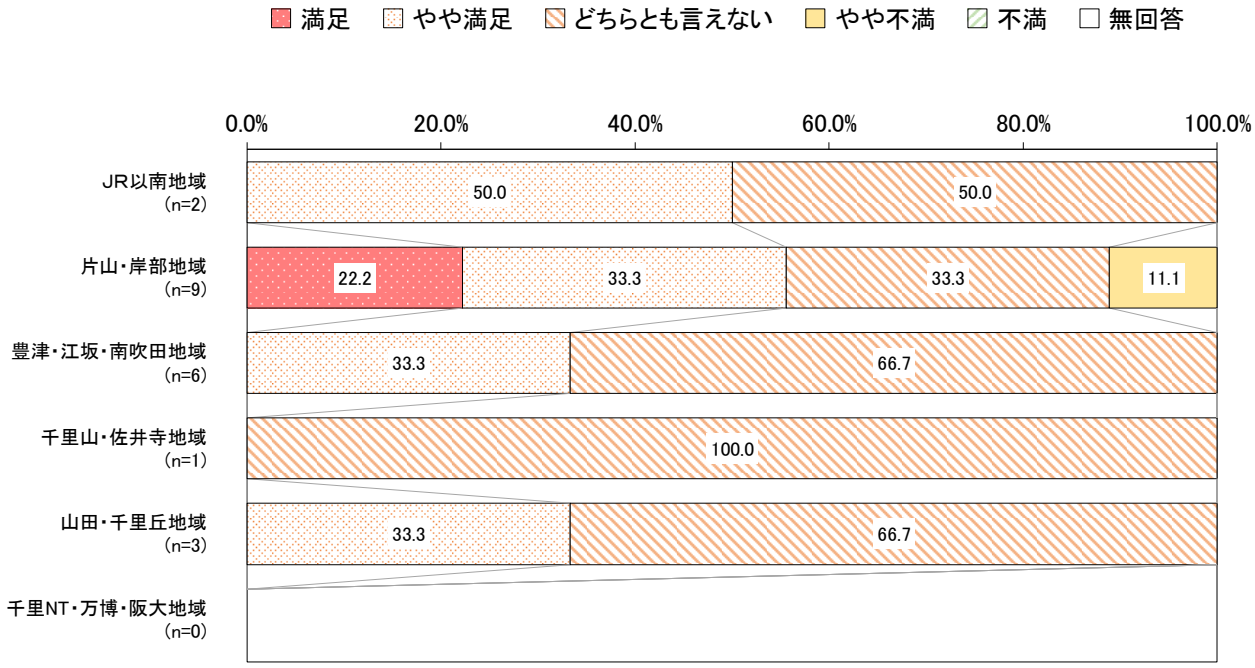
「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 42.8%、「どちらとも言えない」の割合が 52.4%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が 4.8%となっています。

図表３－71　ＪＯＢナビすいたの満足度（単純回答）



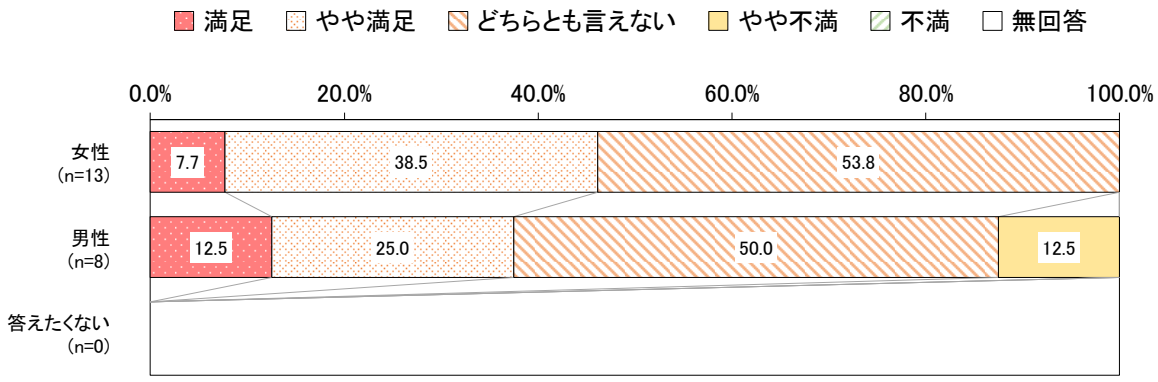
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で“満足”の割合が最も高くなっています。

図表３－72　ＪＯＢナビすいたの満足度（居住地域別）



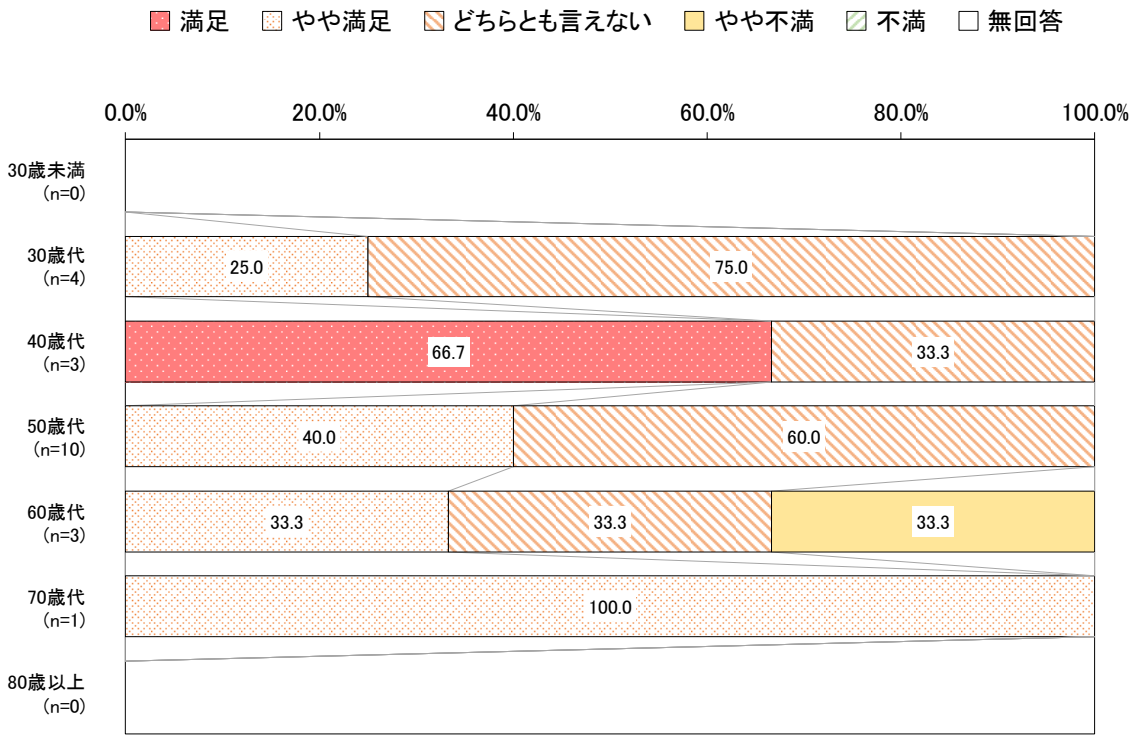
性別でみると、男性より女性の方が「満足している」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が最も高くなっています。

図表３－73　ＪＯＢナビすいたの満足度（性別）



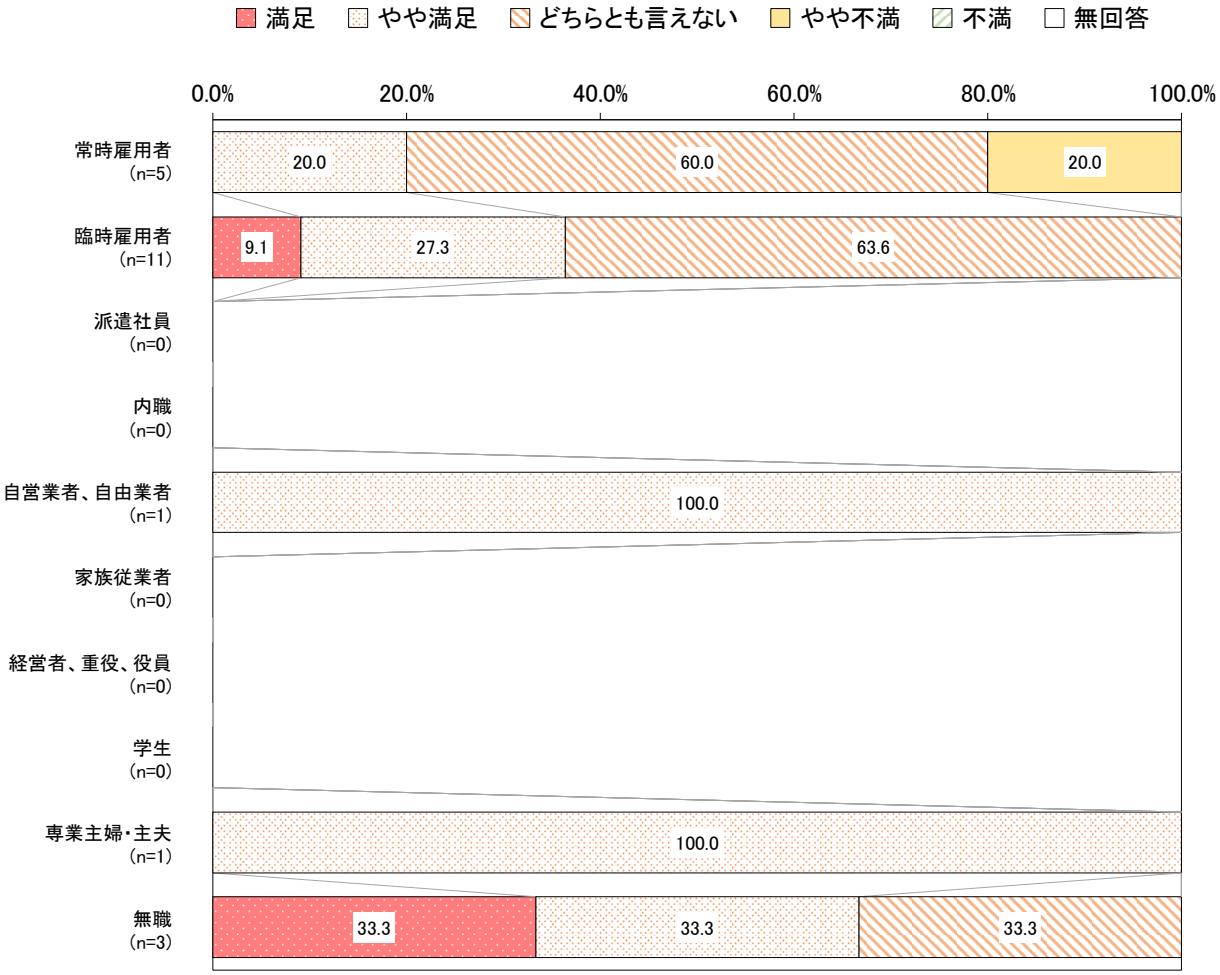
年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「満足している」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が最も高くなっています。

図表３－74　ＪＯＢナビすいたの満足度（年齢別）



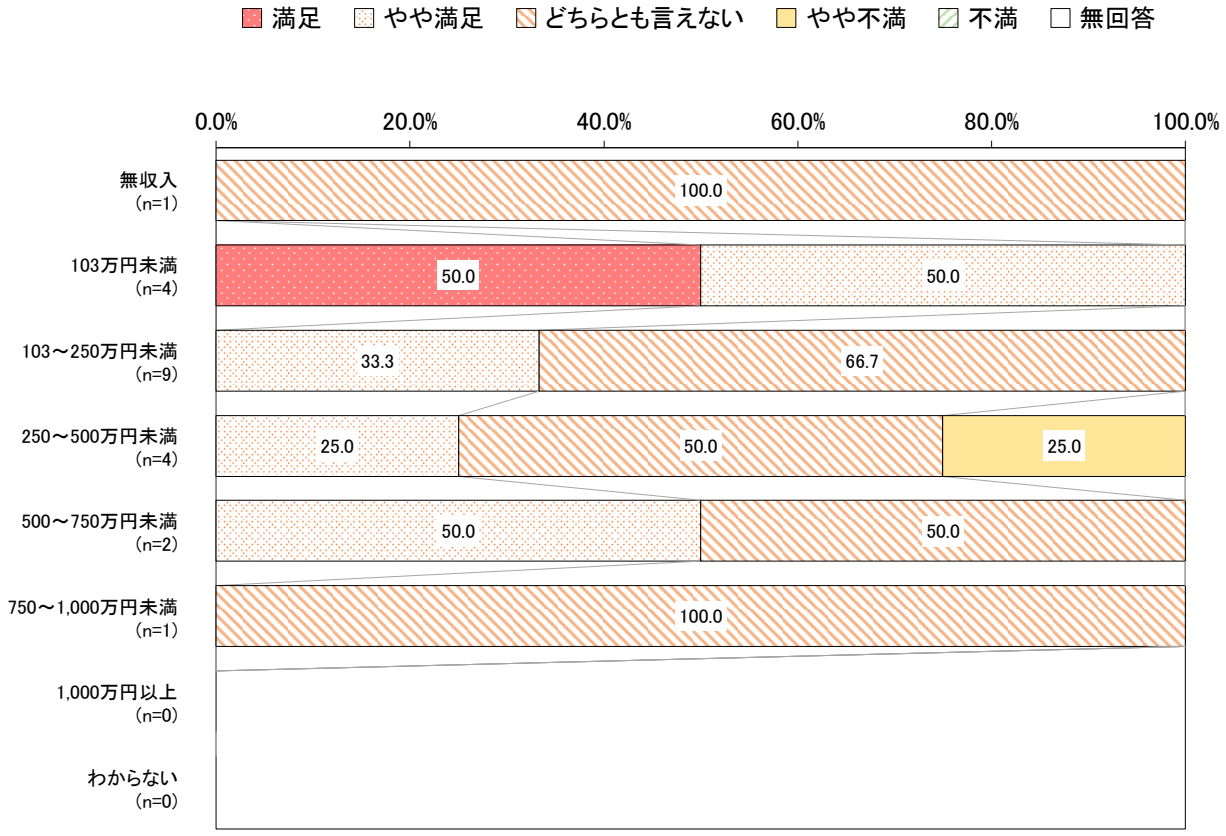
職業別でみると、他に比べ、自営業者、自由業者、専業主婦・主夫で「満足している」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が最も高くなっています。

図表３－75　ＪＯＢナビすいたの満足度（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、103 万円未満で “満足”の割合が最も高くなっています。

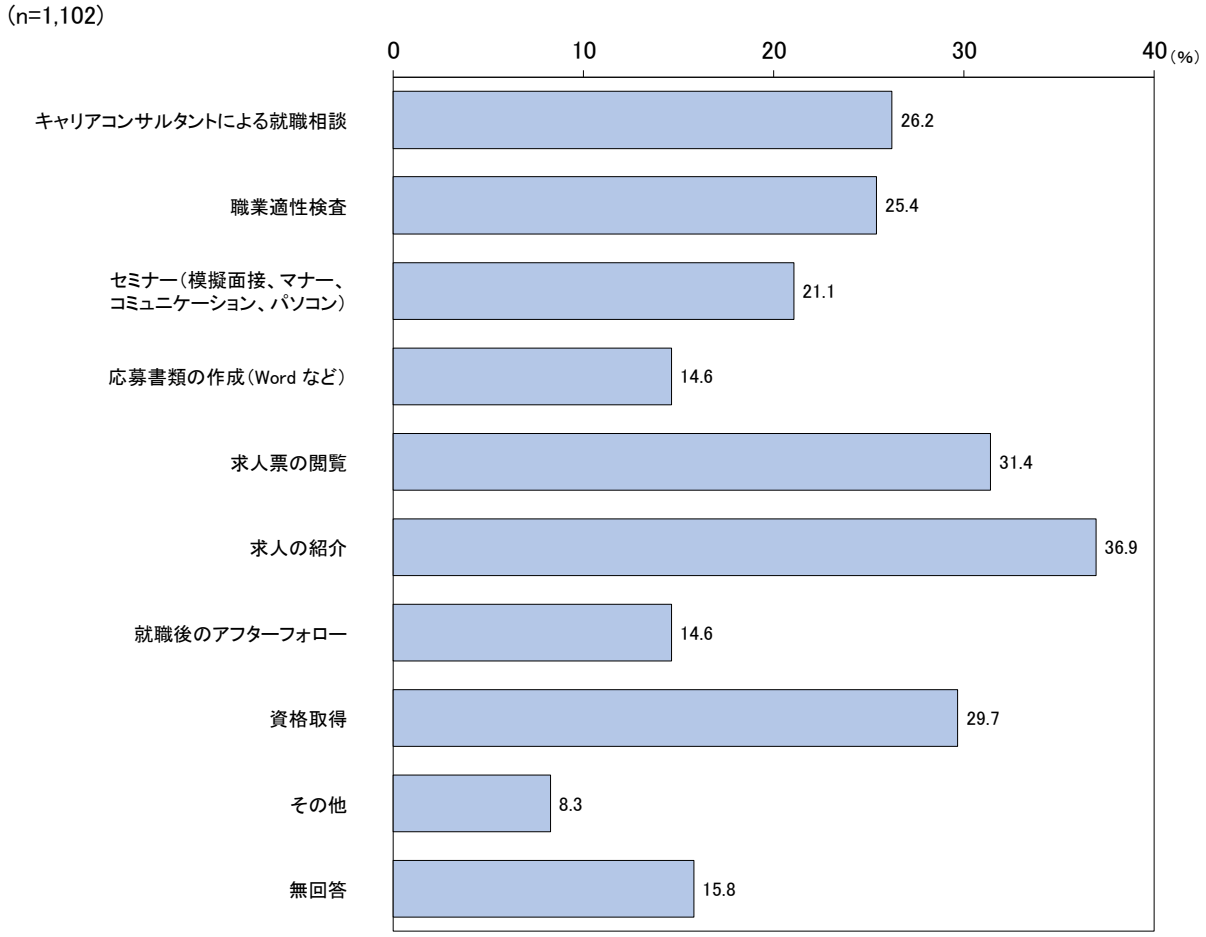
図表３－76　ＪＯＢナビすいたの満足度（個人収入別）



問 29　あなたは、就職活動（正規職員・パート・アルバイトなど）において、どのようなサポートを受けたいですか。（いくつでも）

「求人の紹介」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「求人票の閲覧」の割合が 31.4%、「資格取得」の割合が 29.7%となっています。

図表３－77　転職活動の際に受けたいサポート（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「求人の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表３－78　転職活動の際に受けたいサポート（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	キャリアコンサルタントによる就職相談	職業適性検査	セミナー	応募書類の作成（Ｗｏｒｄなど）	求人票の閲覧	求人の紹介	就職後のアフターフォロー	資格取得	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	17.0	21.6	19.3	12.5	33.0	31.8	12.5	27.3	10.2	13.6
	片山・岸部地域	155	27.1	27.1	26.5	14.8	33.5	42.6	18.1	32.3	8.4	14.2
	豊津・江坂・南吹田地域	204	30.4	33.8	26.0	22.1	35.8	40.2	14.2	36.3	6.4	12.7
	千里山・佐井寺地域	193	29.5	27.5	23.8	14.5	26.4	35.2	14.0	29.5	6.7	15.0
	山田・千里丘地域	234	24.4	23.9	19.7	12.4	34.2	37.6	18.8	27.8	9.8	13.2
	千里NT・万博・阪大地域	199	27.1	20.1	13.1	12.1	28.1	35.2	10.6	27.6	8.5	19.6

性別でみると、女性より男性の方が「求人の紹介」と答えています。

図表３－79　転職活動の際に受けたいサポート（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	キャリアコンサルタントによる就職相談	職業適性検査	セミナー	応募書類の作成（Ｗｏｒｄなど）	求人票の閲覧	求人の紹介	就職後のアフターフォロー	資格取得	その他	無回答
性別	女性	631	23.5	28.2	23.9	17.3	32.6	36.0	14.9	31.2	9.2	15.2
	男性	454	29.5	20.9	17.2	11.0	29.7	37.7	13.7	27.1	6.8	17.0
	答えたくない	15	46.7	46.7	20.0	13.3	33.3	53.3	33.3	40.0	13.3	－

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「職業適性検査」の割合が低くなっています。

図表３－80　転職活動の際に受けたいサポート（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	キャリアコンサルタントによる就職相談	職業適性検査	セミナー	応募書類の作成（Ｗｏｒｄなど）	求人票の閲覧	求人の紹介	就職後のアフターフォロー	資格取得	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	41.4	45.7	32.8	36.2	22.4	44.0	26.7	36.2	1.7	1.7
	30 歳代	135	40.0	45.2	25.9	26.7	34.8	39.3	13.3	44.4	2.2	4.4
	40 歳代	170	38.2	36.5	32.4	18.8	41.2	49.4	22.4	44.1	2.9	3.5
	50 歳代	211	30.8	24.2	26.1	11.8	44.1	51.2	17.1	36.0	2.8	3.3
	60 歳代	159	23.9	20.1	15.1	10.1	40.9	45.3	11.9	26.4	6.9	11.3
	70 歳代	182	6.0	7.1	9.9	3.8	18.7	15.9	8.2	12.1	19.2	37.4
	80 歳以上	118	5.9	5.9	5.9	2.5	5.1	5.1	3.4	5.9	24.6	54.2

職業別でみると、他に比べ、臨時雇用者で「求人の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表３－81　転職活動の際に受けたいサポート（職業別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	キャリアコンサルタントによる就職相談	職業適性検査	セミナー	応募書類の作成（Ｗｏｒｄなど）	求人票の閲覧	求人の紹介	就職後のアフターフォロー	資格取得	その他	無回答
職業別	常時雇用者	372	45.2	35.2	26.9	21.8	38.2	48.9	19.1	39.8	3.5	2.2
	臨時雇用者	189	24.9	31.2	27.0	18.0	46.0	51.9	21.7	36.0	3.7	4.2
	派遣社員	15	13.3	40.0	46.7	26.7	60.0	40.0	26.7	40.0	－	－
	内職	2	－	－	－	－	50.0	50.0	－	50.0	－	－
	自営業者、自由業者	50	20.0	18.0	14.0	4.0	34.0	34.0	10.0	32.0	6.0	18.0
	家族従業者	3	－	66.7	－	－	－	33.3	－	33.3	－	－
	経営者、重役、役員	29	24.1	13.8	13.8	13.8	37.9	27.6	3.4	13.8	10.3	17.2
	学生	36	38.9	36.1	36.1	25.0	13.9	41.7	22.2	30.6	－	5.6
	専業主婦・主夫	193	11.4	17.1	17.6	9.3	23.3	22.8	8.3	22.8	13.5	27.5
	無職	205	8.8	9.8	7.8	4.4	14.1	17.1	7.3	13.2	19.0	41.0

個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「求人の紹介」の割合が最も高くなっています。

図表３－82　転職活動の際に受けたいサポート（個人収入別）

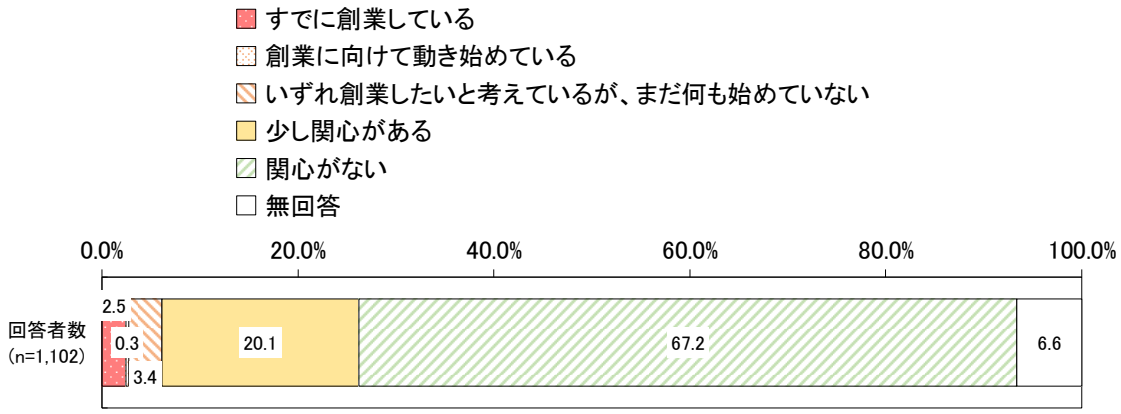
単位：％

区分		有効回答数（件）	キャリアコンサルタントによる就職相談	職業適性検査	セミナー	応募書類の作成（Ｗｏｒｄなど）	求人票の閲覧	求人の紹介	就職後のアフターフォロー	資格取得	その他	無回答
個人収入別	無収入	135	16.3	21.5	20.7	14.1	26.7	36.3	10.4	30.4	5.9	23.7
	103 万円未満	163	19.6	23.9	23.9	15.3	30.7	34.4	14.1	30.1	12.3	12.9
	103～250 万円未満	262	13.7	19.8	17.9	11.8	27.5	27.1	14.5	22.9	13.4	24.4
	250～500 万円未満	212	37.3	33.5	27.4	24.5	38.2	44.3	19.8	35.4	6.1	11.8
	500～750 万円未満	133	37.6	30.1	22.6	18.0	34.6	47.4	13.5	36.1	2.3	3.0
	750～1,000 万円未満	74	41.9	28.4	25.7	8.1	41.9	47.3	16.2	36.5	8.1	4.1
	1,000 万円以上	61	44.3	21.3	9.8	3.3	27.9	32.8	8.2	21.3	3.3	8.2
	わからない	34	23.5	26.5	8.8	5.9	23.5	41.2	17.6	26.5	5.9	20.6

問 30　あなたは創業について関心がありますか。（１つだけ○印）

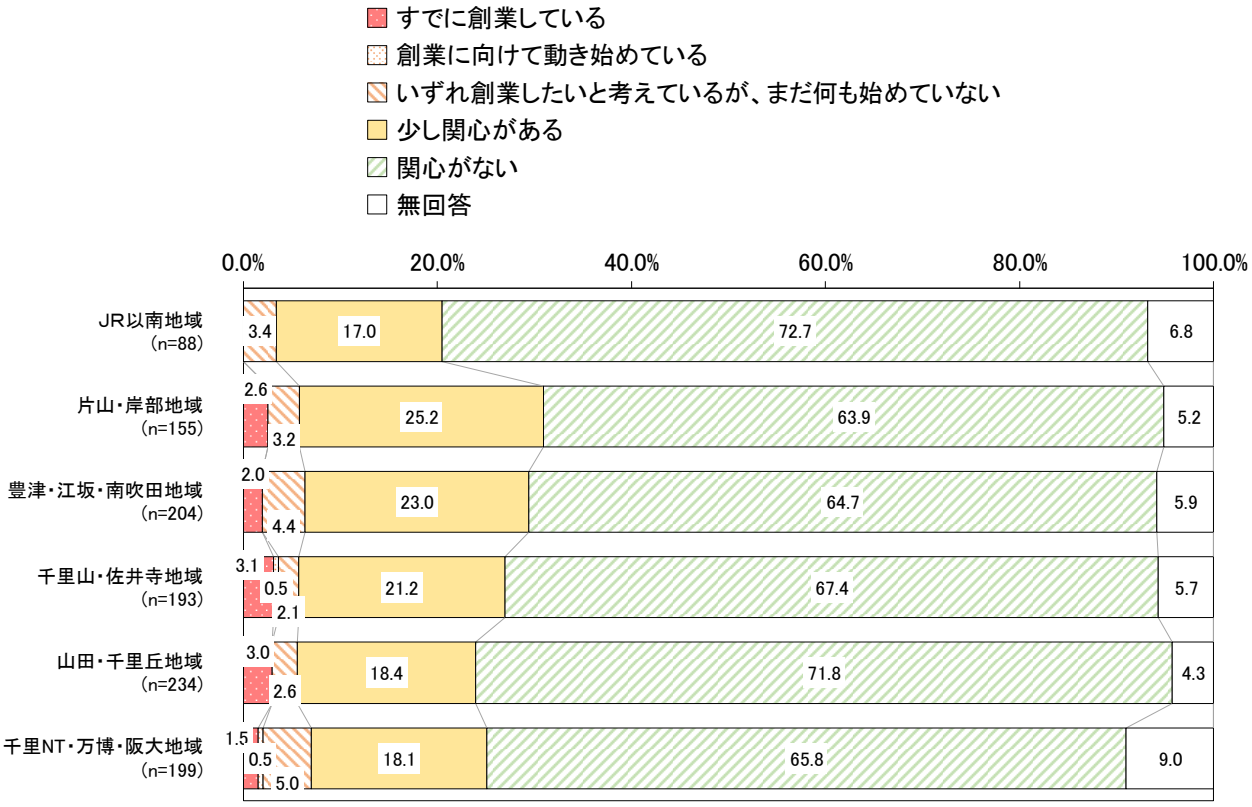
「関心がない」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「少し関心がある」の割合が 20.1%、「いずれ創業したいと考えているが、まだ何も始めていない」の割合が 3.4%となっています。

図表３－83　創業への関心度（単純回答）



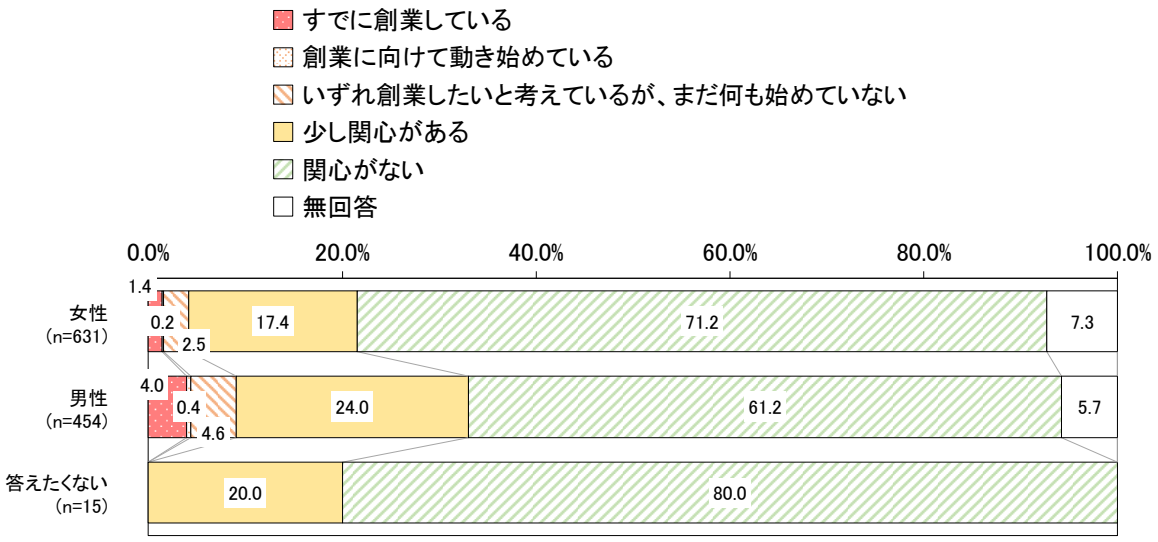
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「少し関心がある」の割合が最も高くなっています。

図表３－84　創業への関心度（居住地域別）



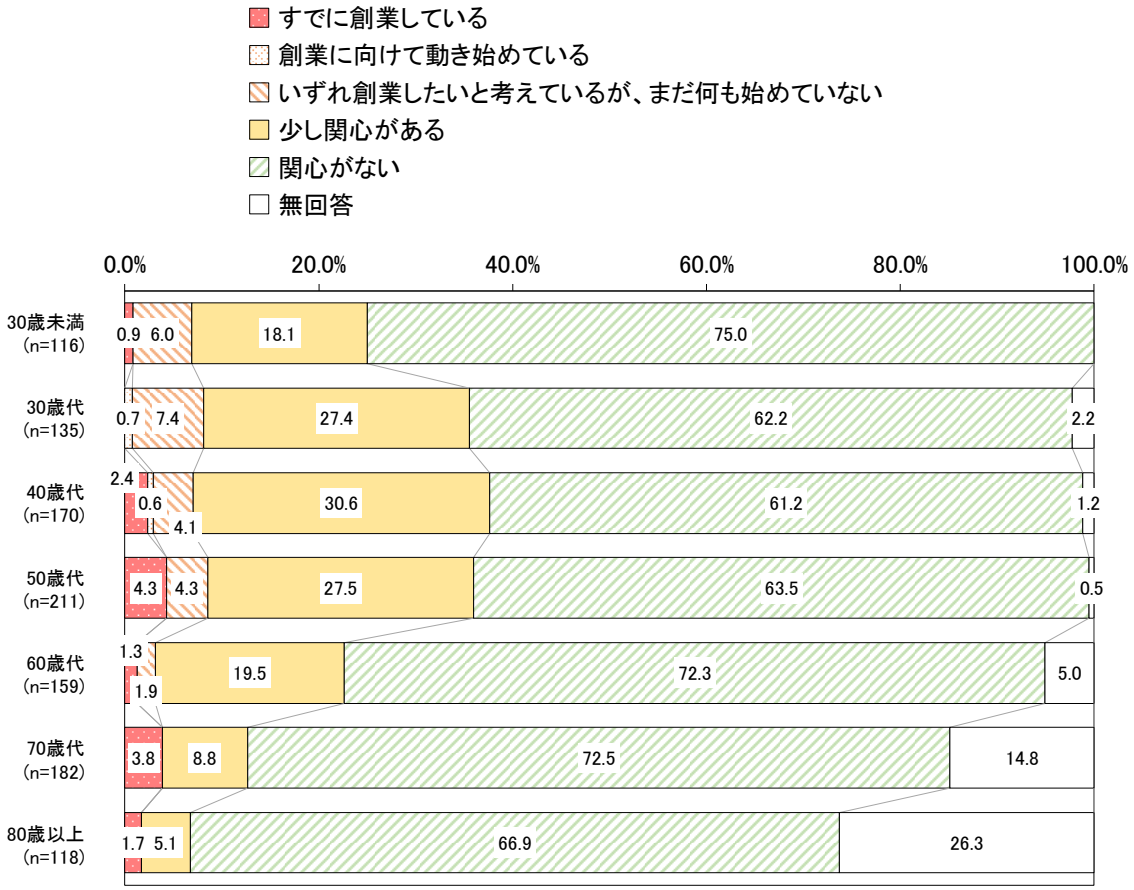
性別でみると、女性より男性の方が「少し関心がある」と答えています。

図表３－85　創業への関心度（性別）



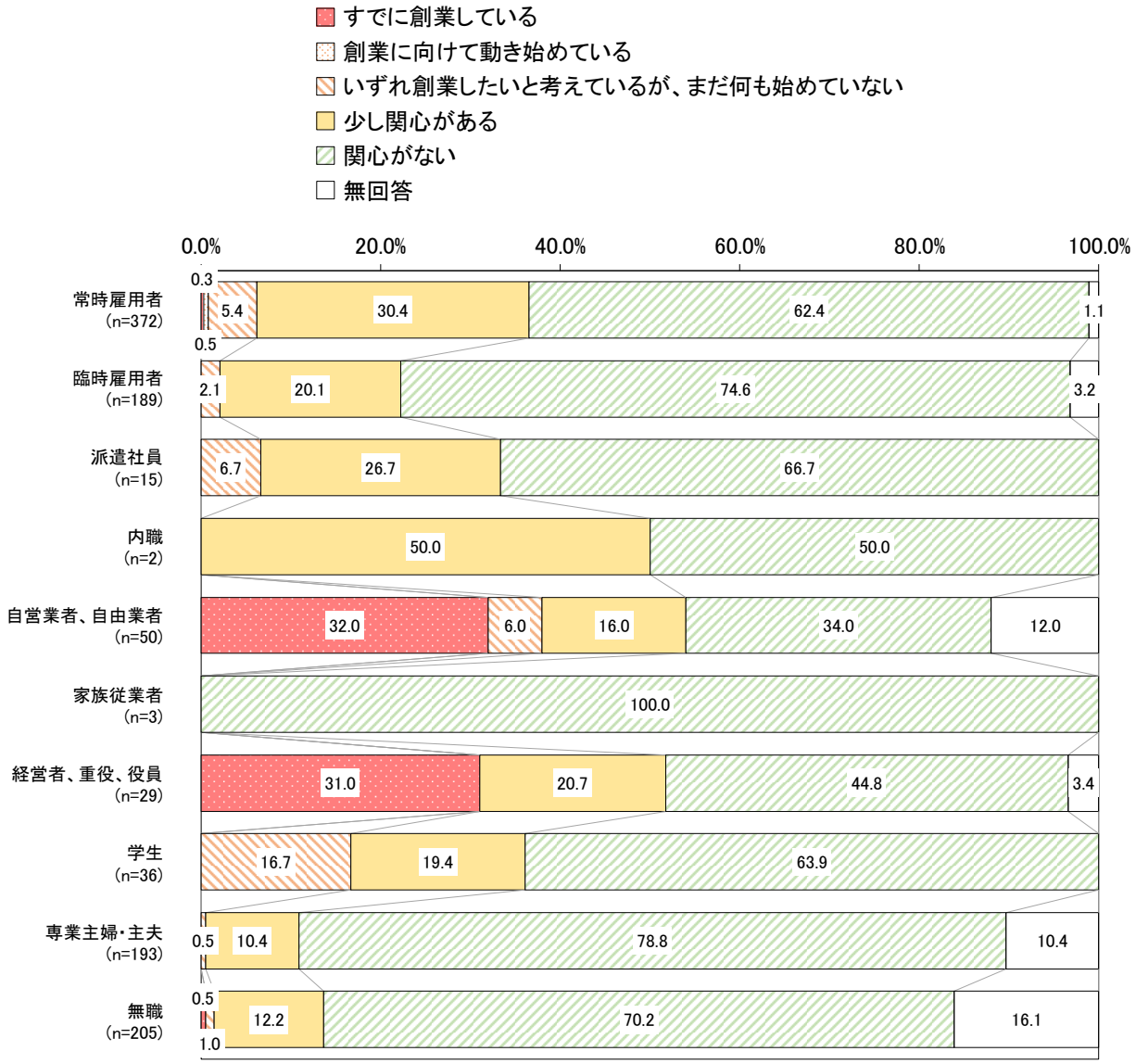
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「少し関心がある」の割合が最も高くなっています。

図表３－86　創業への関心度（年齢別）



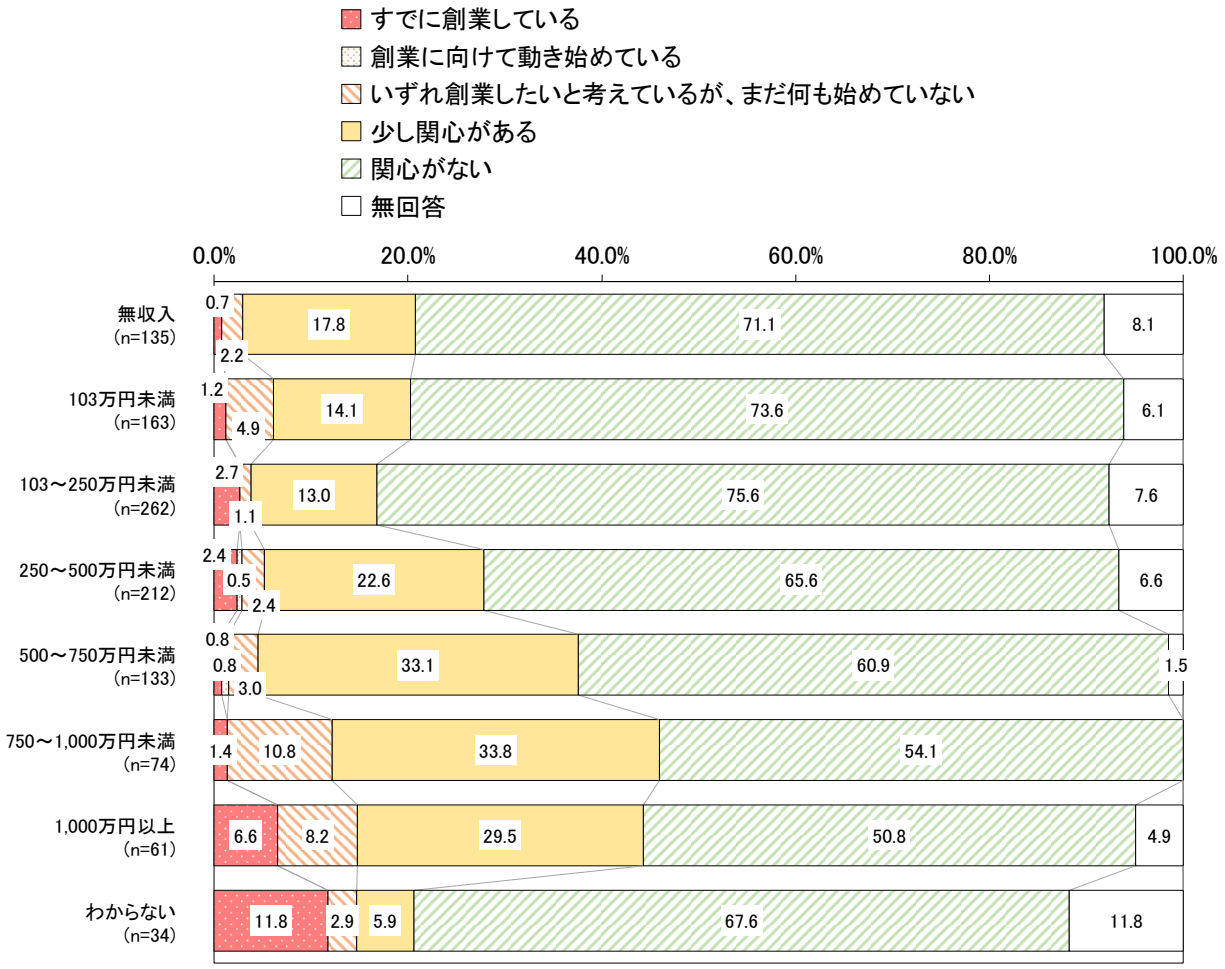
職業別でみると、他に比べ、内職で「少し関心がある」の割合が最も高くなっています。

図表３－87　創業への関心度（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、750～1,000 万円未満で「少し関心がある」の割合が最も高くなっています。

図表３－88　創業への関心度（個人収入別）

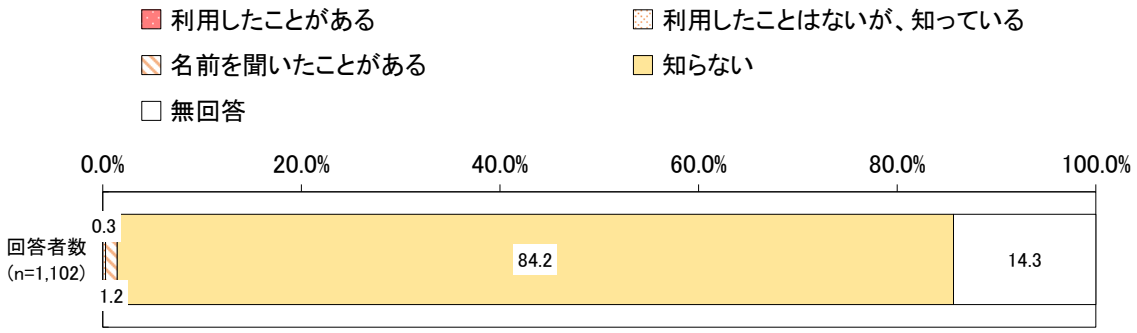


問 31　市内での創業をお考えの方向けの各種支援制度について、当てはまるものをそれぞれ１つずつお選びください。（１つだけ○印）

（１）すいた経営革新支援センター「SaBiC（サビック）」

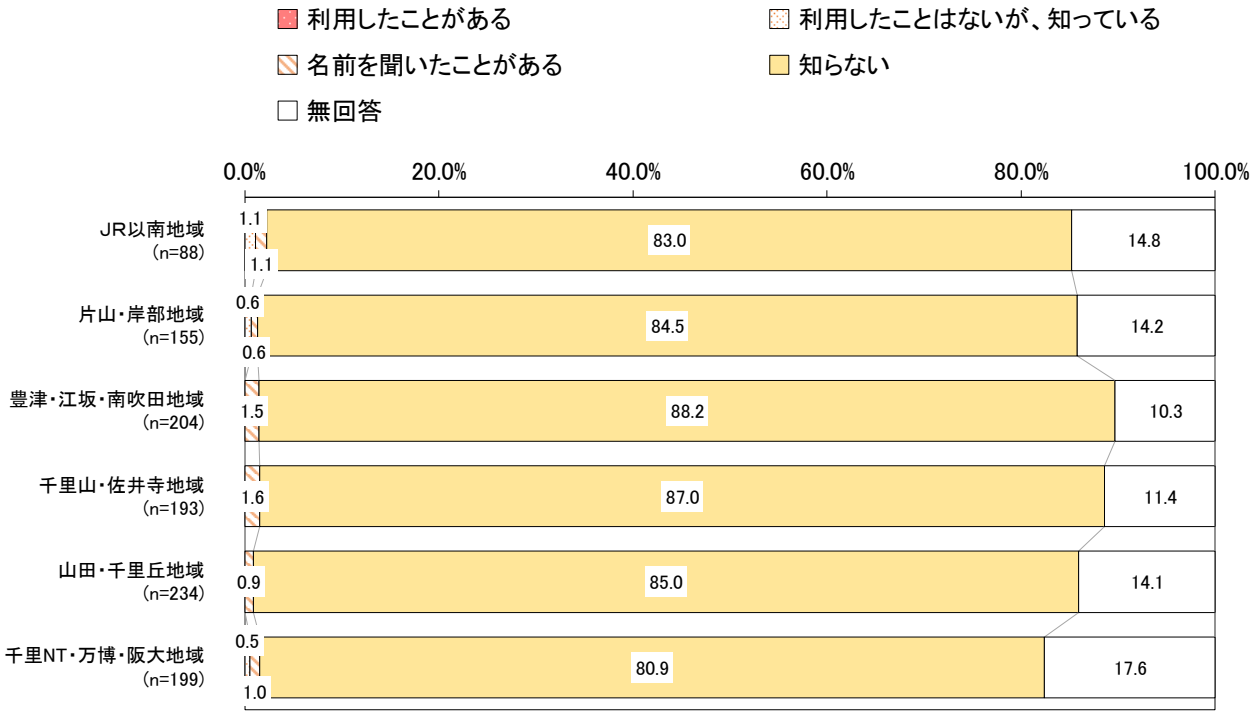
「知らない」の割合が 84.2%と最も高く、「名前を聞いたことがある」の割合が 1.2%、「利用したことはないが、知っている」の割合が 0.3%となっています。

図表３－89　すいた経営革新支援センター「SaBiC（サビック）」の認知度・利用状況（単純回答）



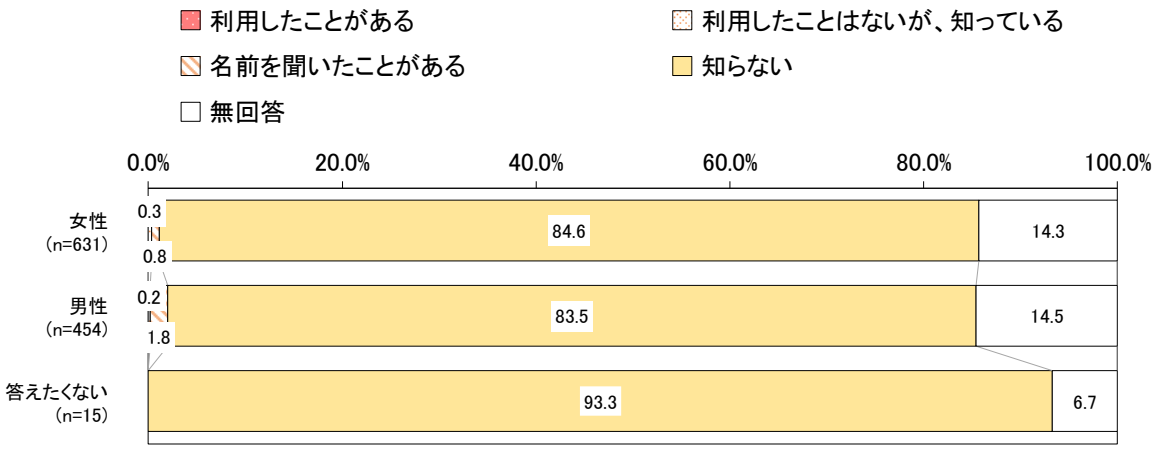
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－90　すいた経営革新支援センター「SaBiC（サビック）」の認知度・利用状況（居住地域別）



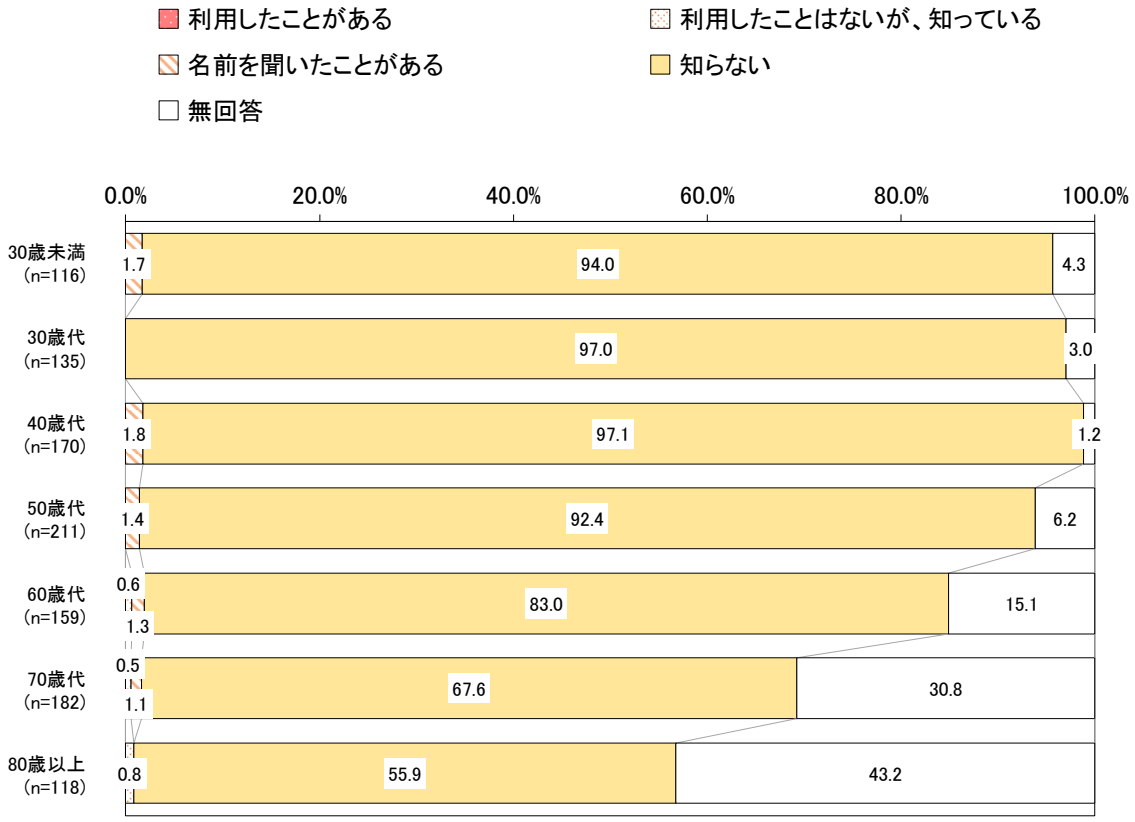
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－91　すいた経営革新支援センター「SaBiC（サビック）」の認知度・利用状況（性別）



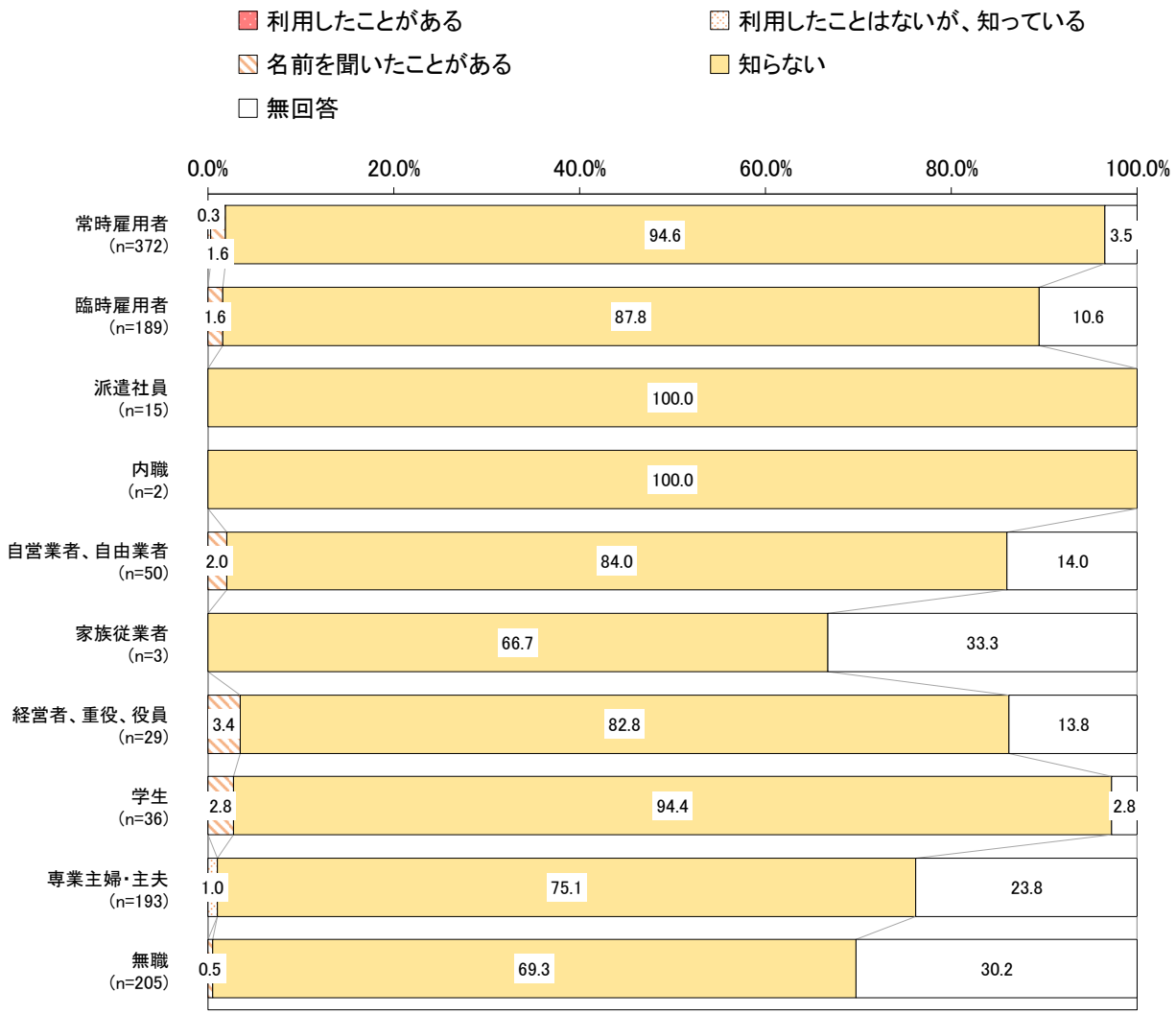
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－92　すいた経営革新支援センター「SaBiC（サビック）」の認知度・利用状況（年齢別）



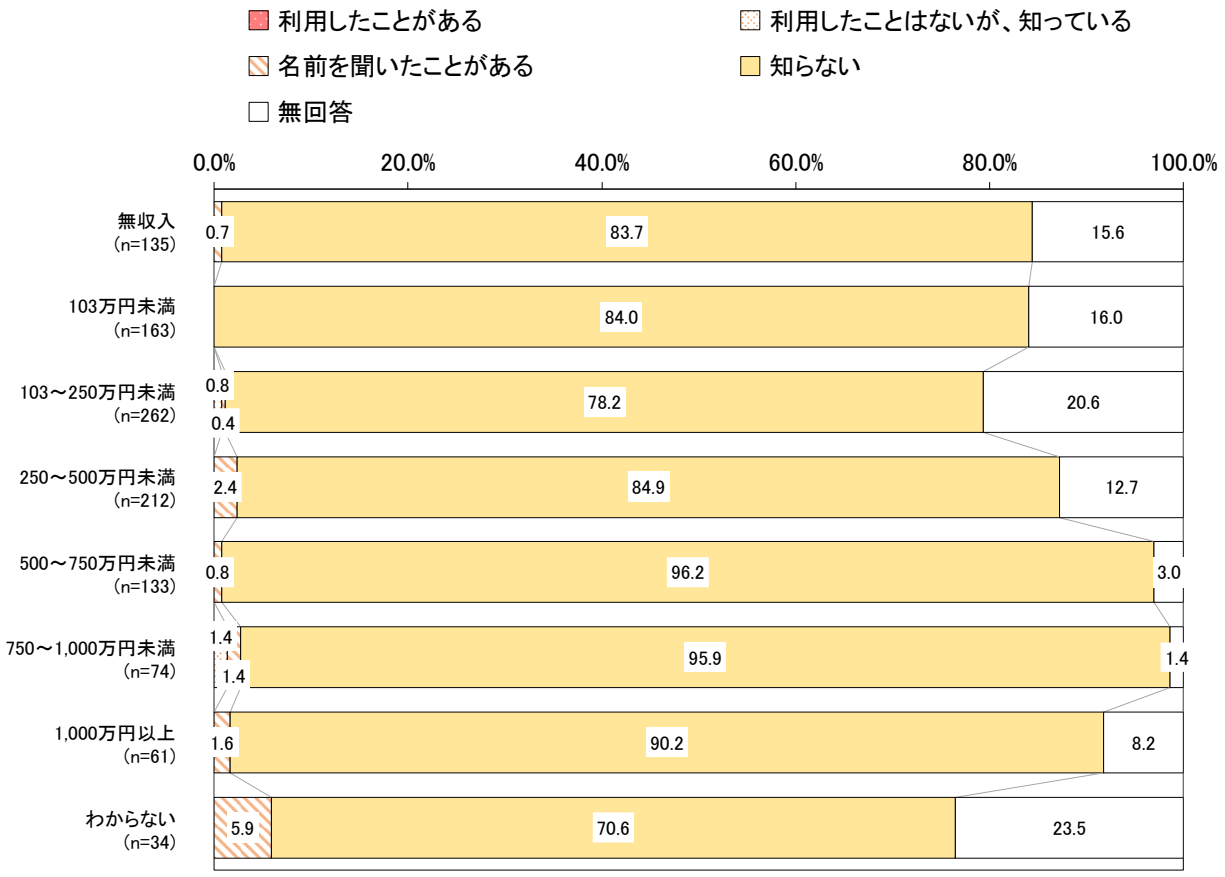
職業別でみると、他に比べ、派遣社員、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－93　すいた経営革新支援センター「SaBiC（サビック）」の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

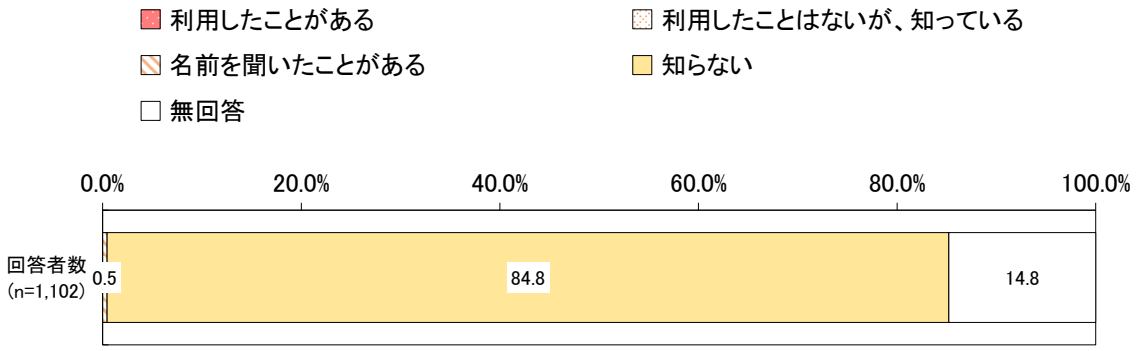
図表３－94　すいた経営革新支援センター「SaBiC（サビック）」の認知度・利用状況（個人収入別）



（2）起業ライダーマモル

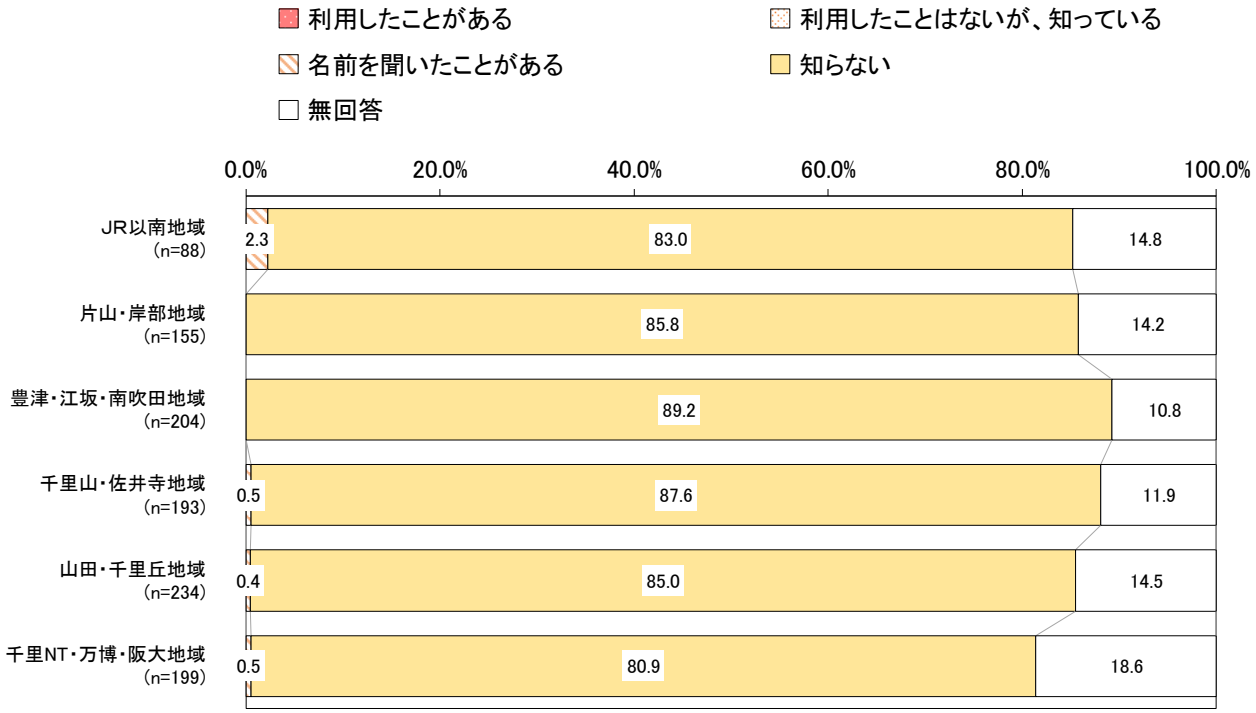
「知らない」の割合が 84.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 0.5%となっています。

図表３－95　起業ライダーマモルの認知度・利用状況（単純回答）



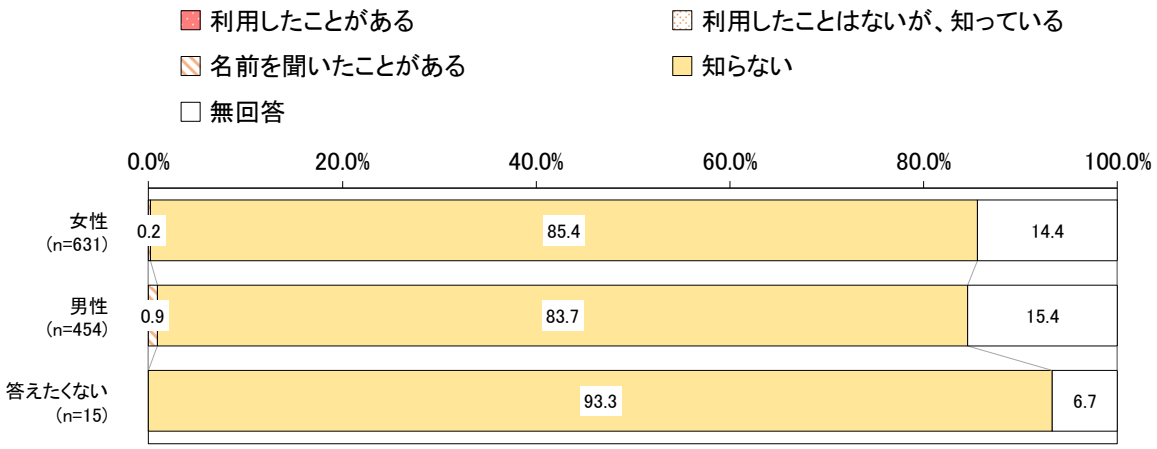
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－96　起業ライダーマモルの認知度・利用状況（居住地域別）



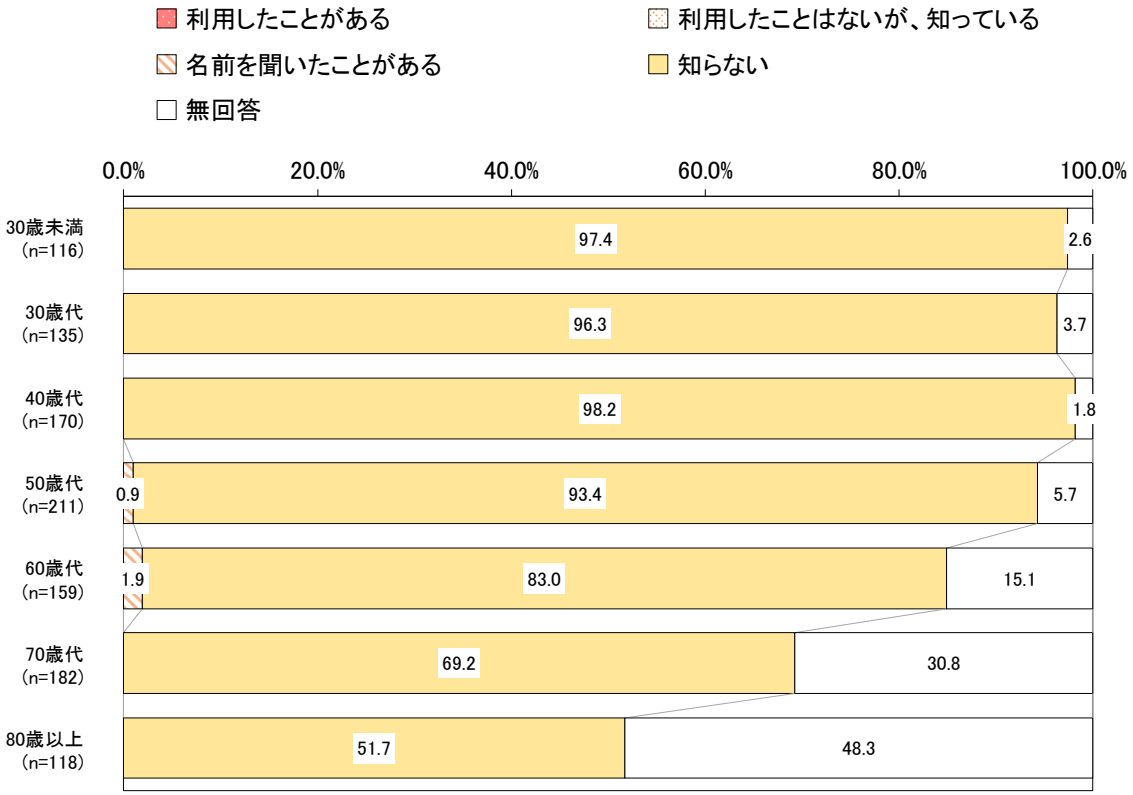
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－97　起業ライダーマモルの認知度・利用状況（性別）



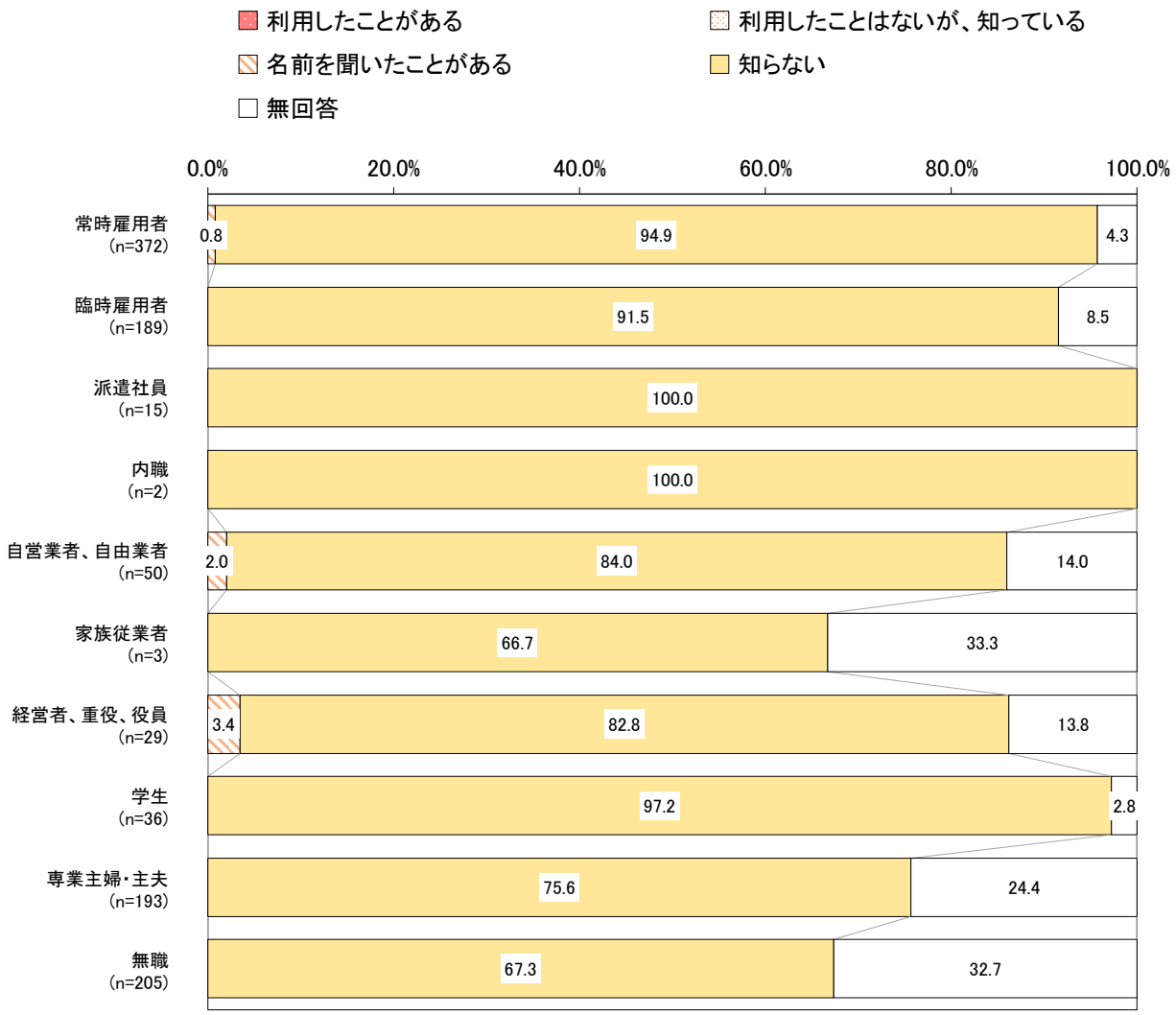
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－98　起業ライダーマモルの認知度・利用状況（年齢別）



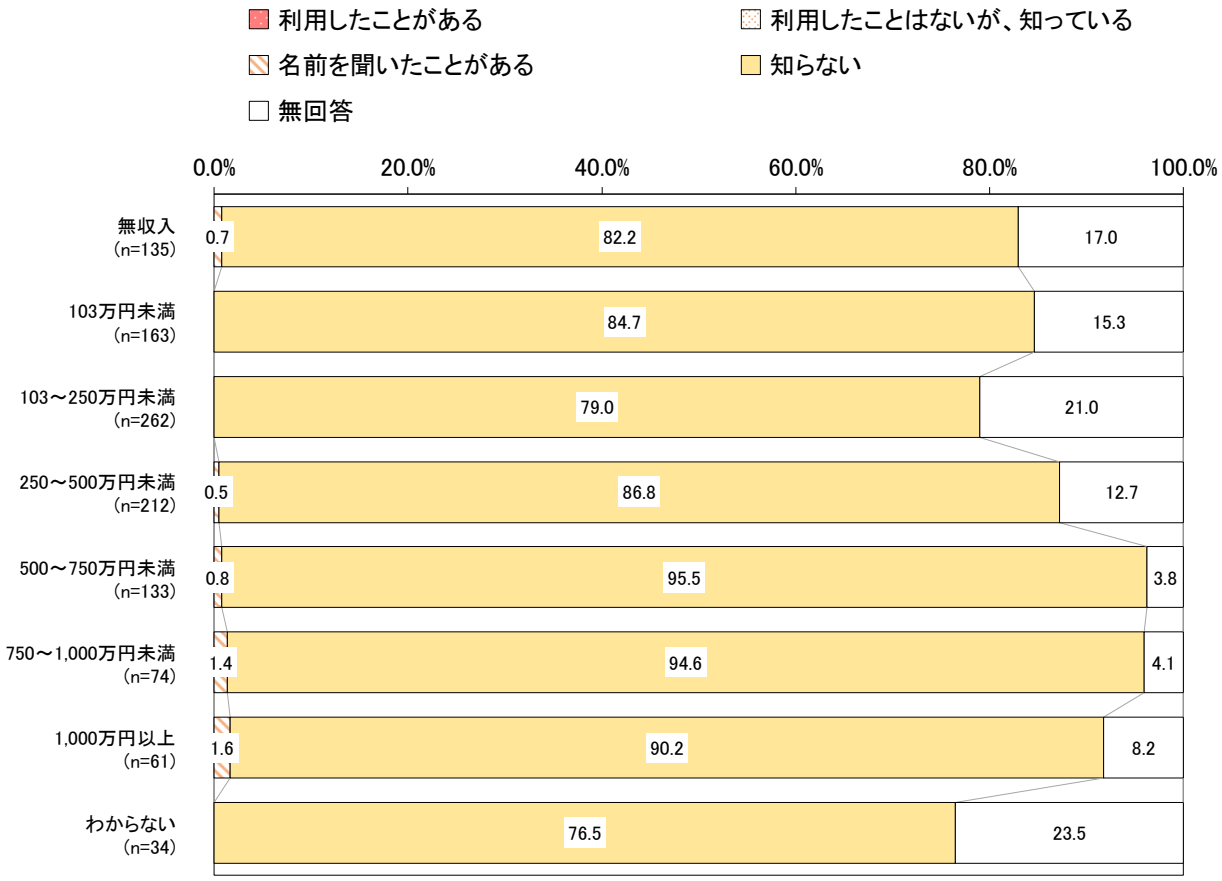
職業別でみると、他に比べ、派遣社員、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－99　起業ライダーマモルの認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

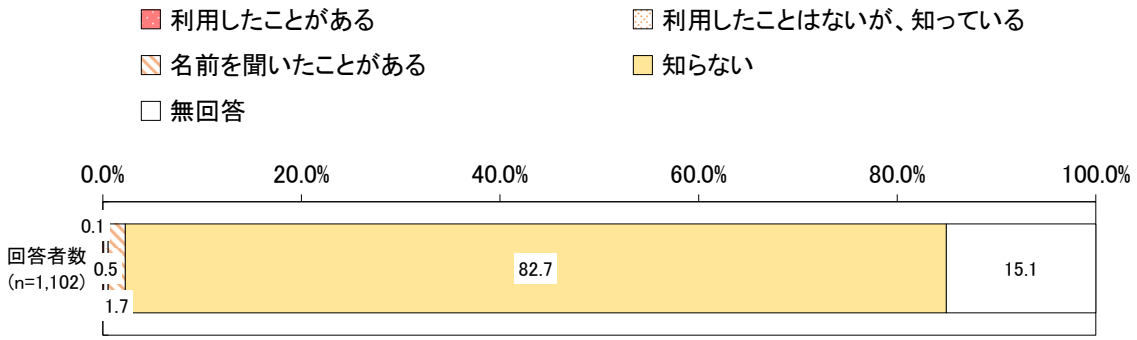
図表３－100　起業ライダーマモルの認知度・利用状況（個人収入別）



（３）創業塾

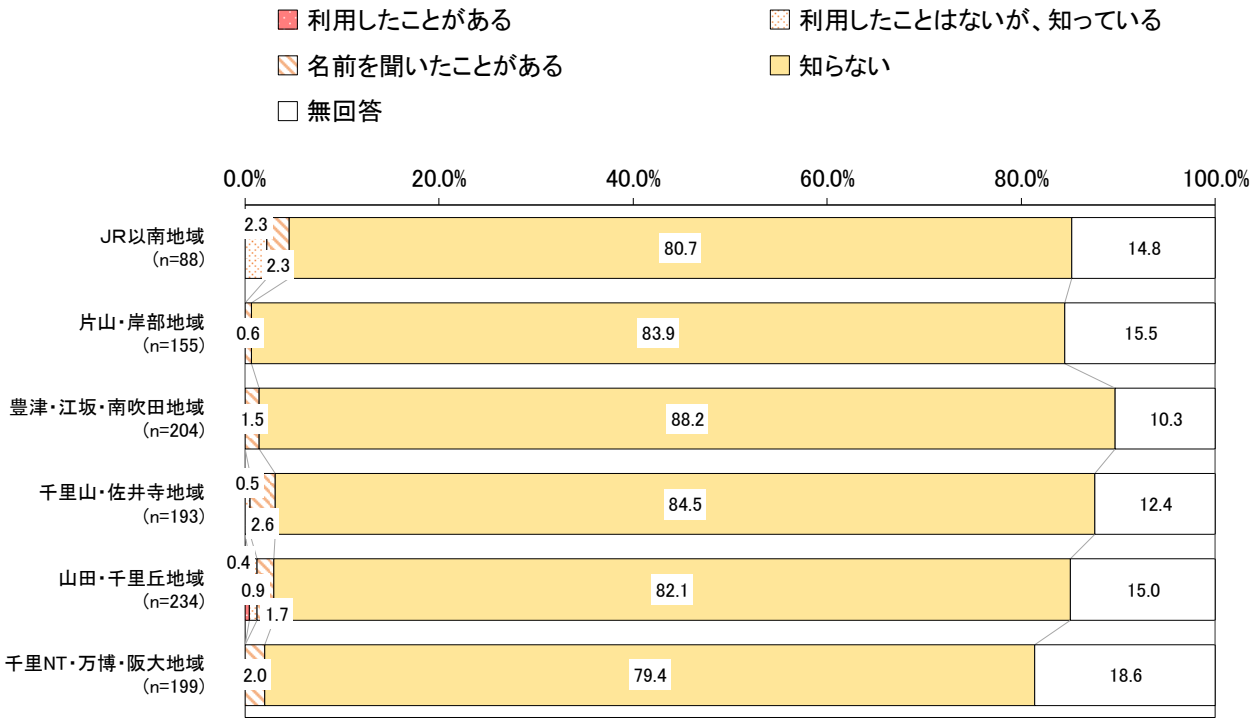
「知らない」の割合が 82.7%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 1.7%、「利用したことはないが、知っている」の割合が 0.5%なっています。

図表３－101　創業塾の認知度・利用状況（単純回答）



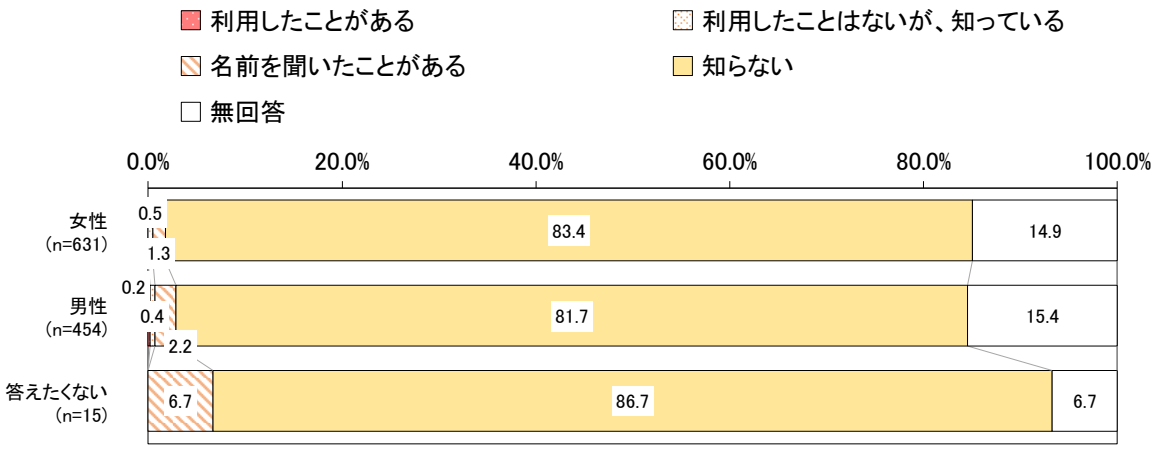
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－102　創業塾の認知度・利用状況（居住地域別）



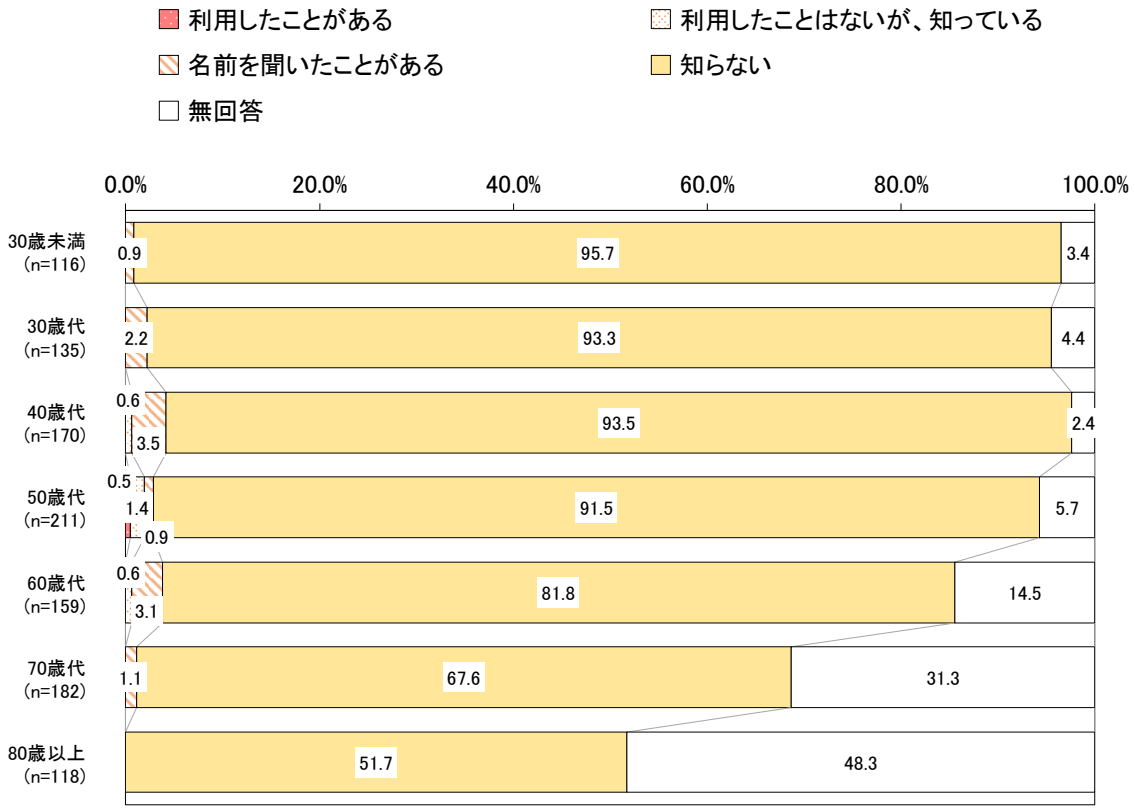
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－103　創業塾の認知度・利用状況（性別）



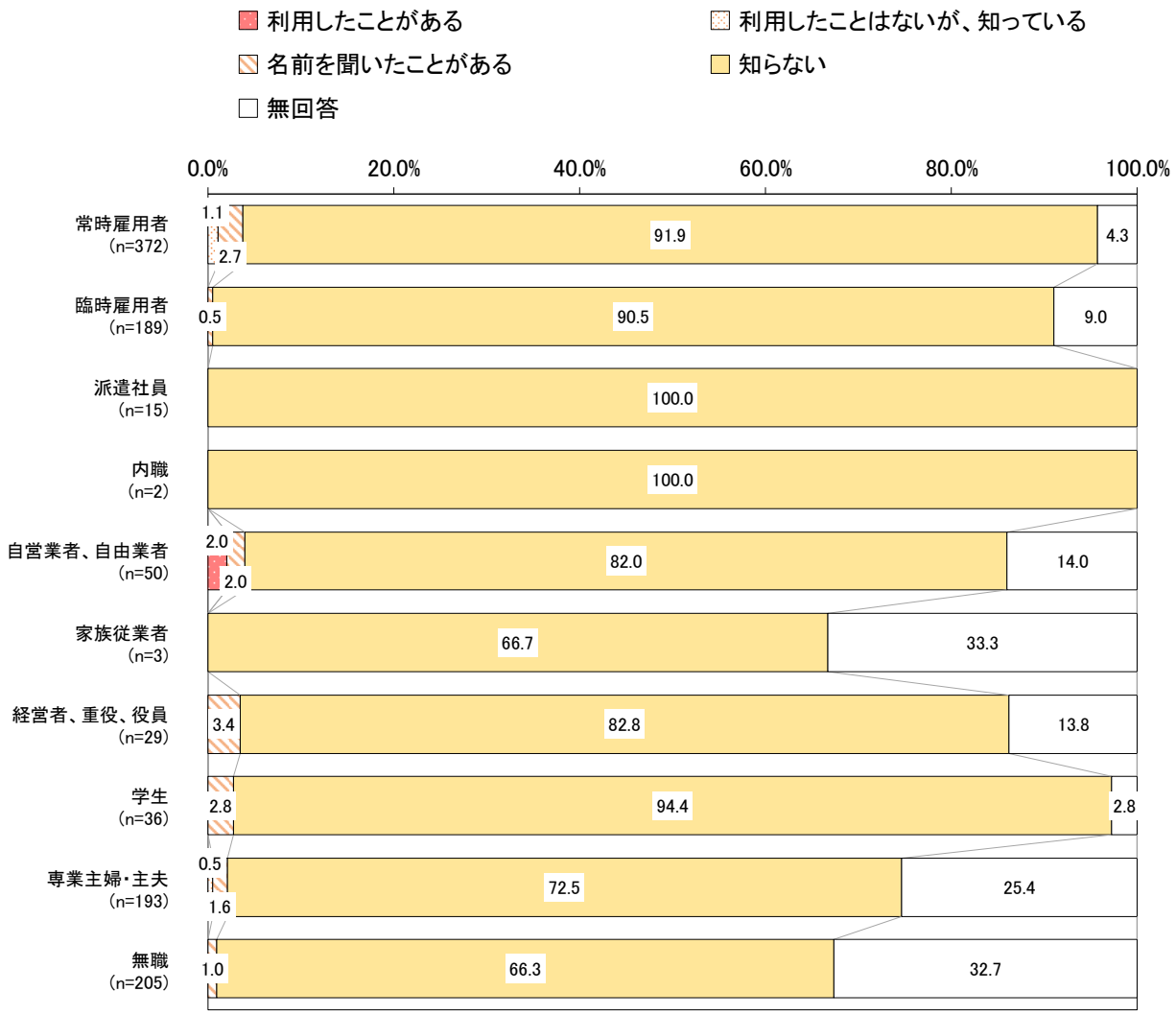
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－104　創業塾の認知度・利用状況（年齢別）



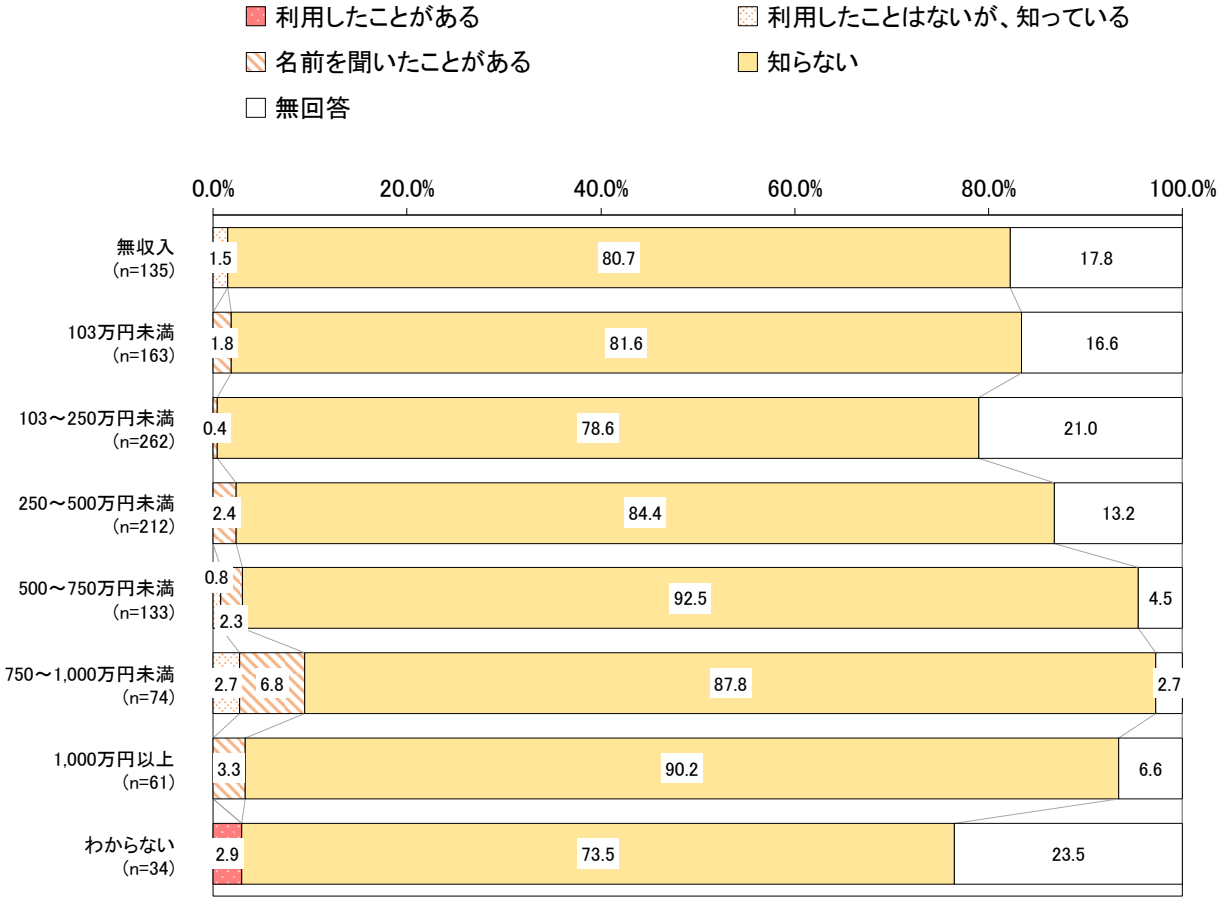
職業別でみると、他に比べ、派遣社員、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－105　創業塾の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

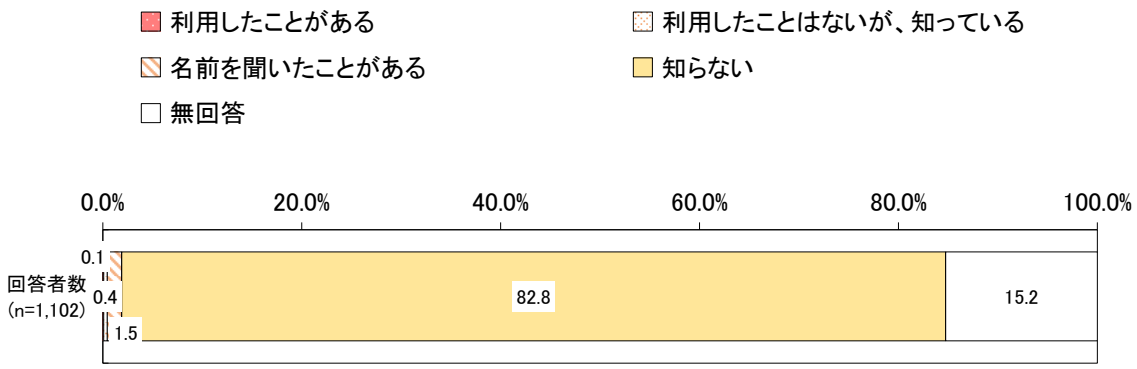
図表３－106　創業塾の認知度・利用状況（個人収入別）



（４）女性創業塾

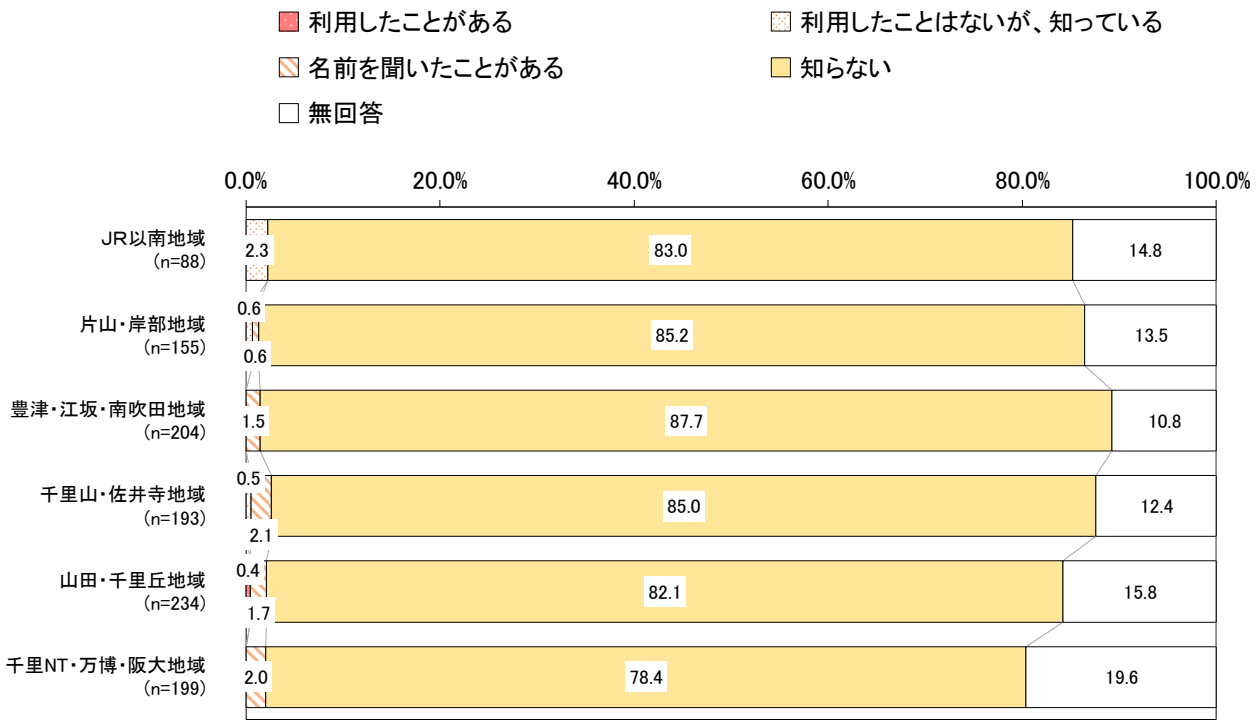
「知らない」の割合が 82.8％と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 1.5％、「利用したことはないが、知っている」の割合が 0.4％となっています。

図表３－107　女性創業塾の認知度・利用状況（単純回答）



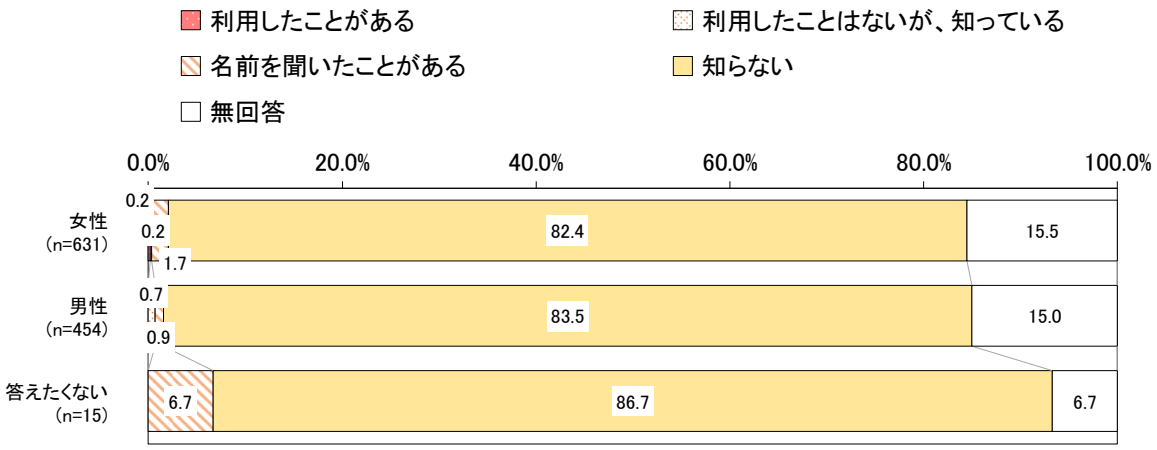
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－108　女性創業塾の認知度・利用状況（居住地域別）



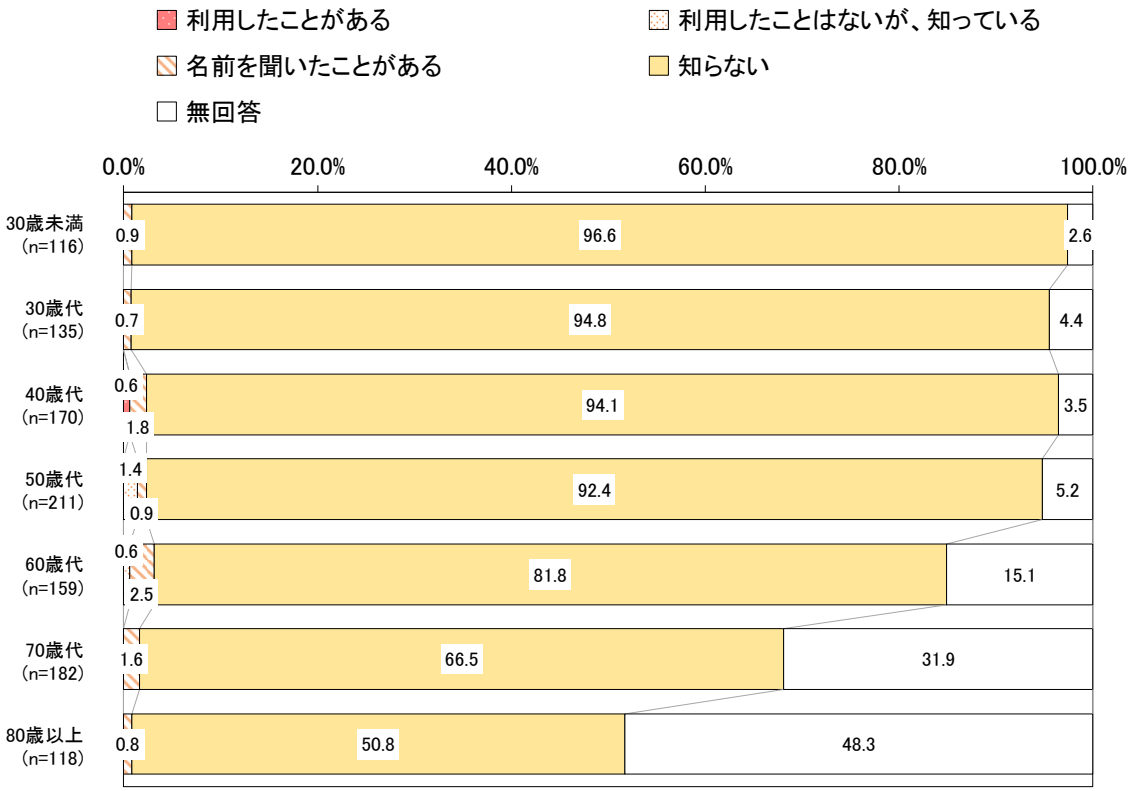
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－109　女性創業塾の認知度・利用状況（性別）



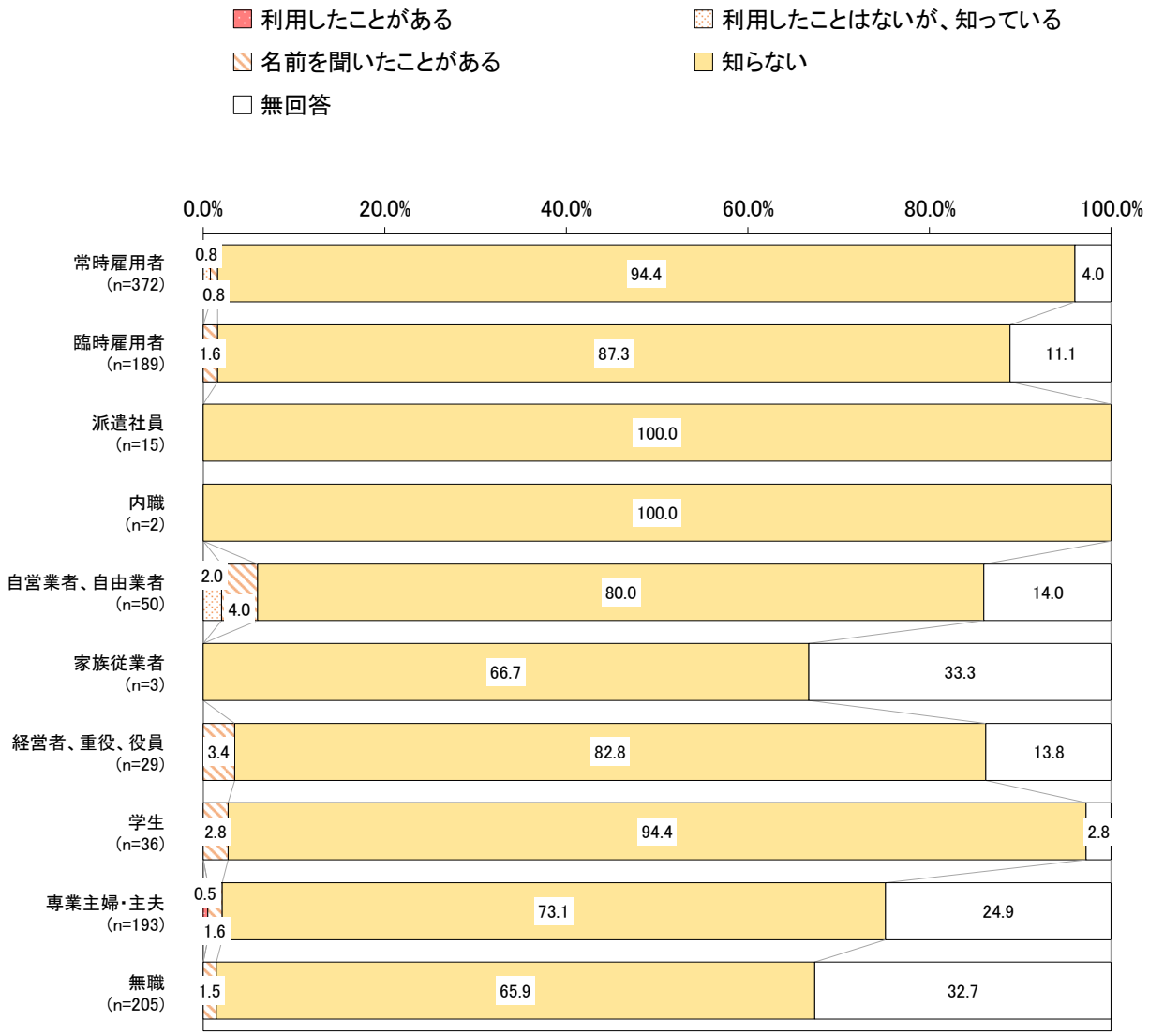
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－110　女性創業塾の認知度・利用状況（年齢別）



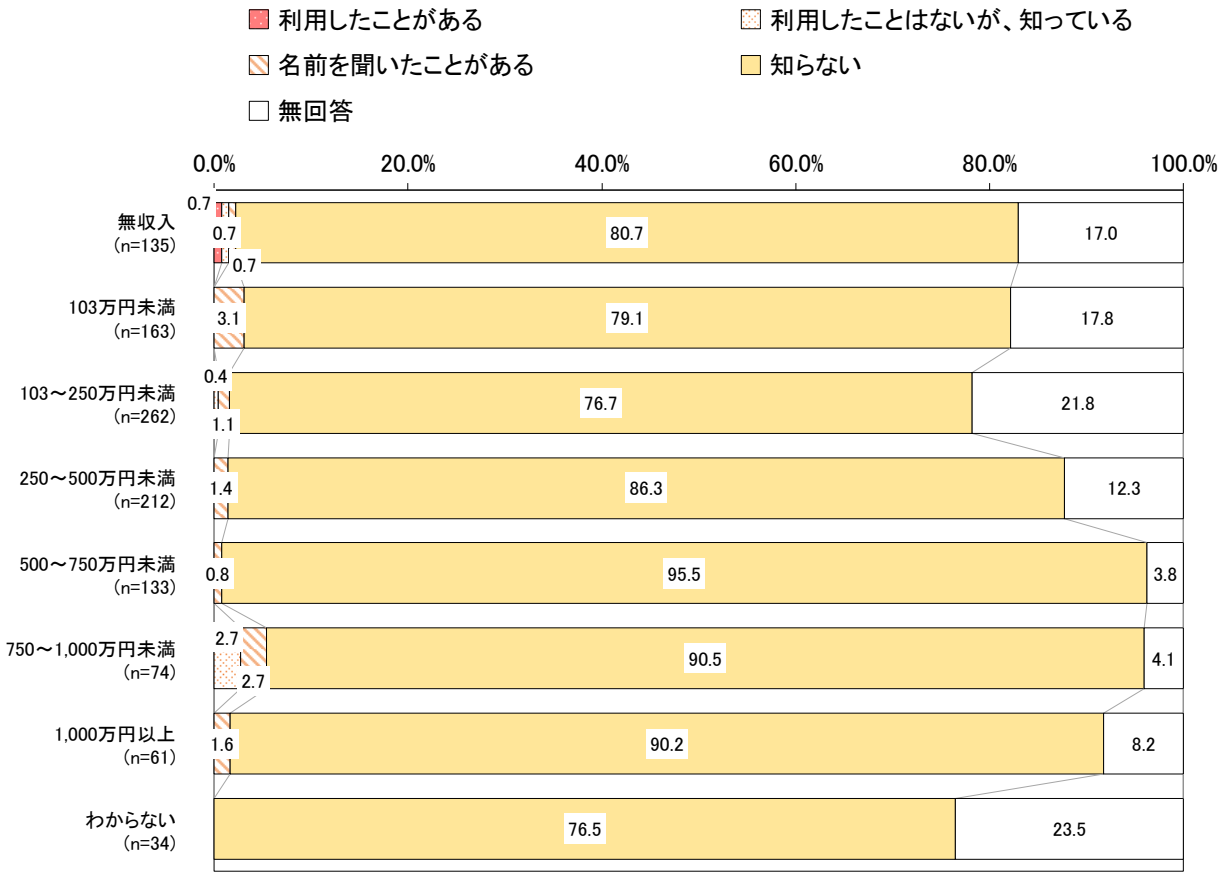
職業別でみると、他に比べ、派遣社員、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－111　女性創業塾の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

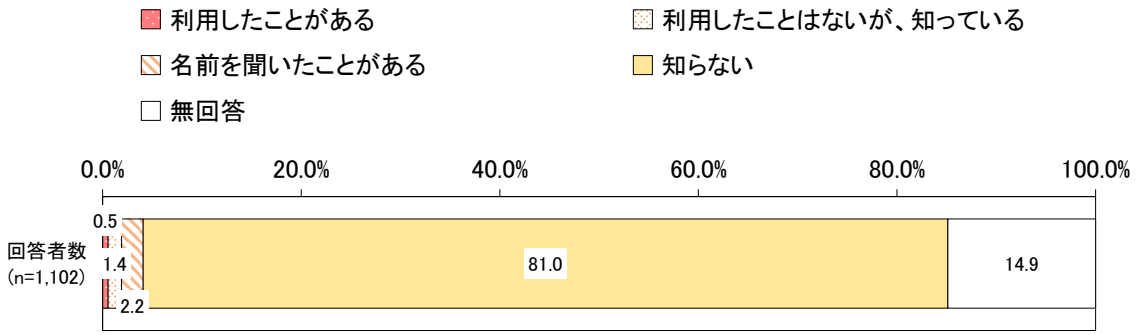
図表３－112　女性創業塾の認知度・利用状況（個人収入別）



（５）チャレンジショップ「ゆめちか」

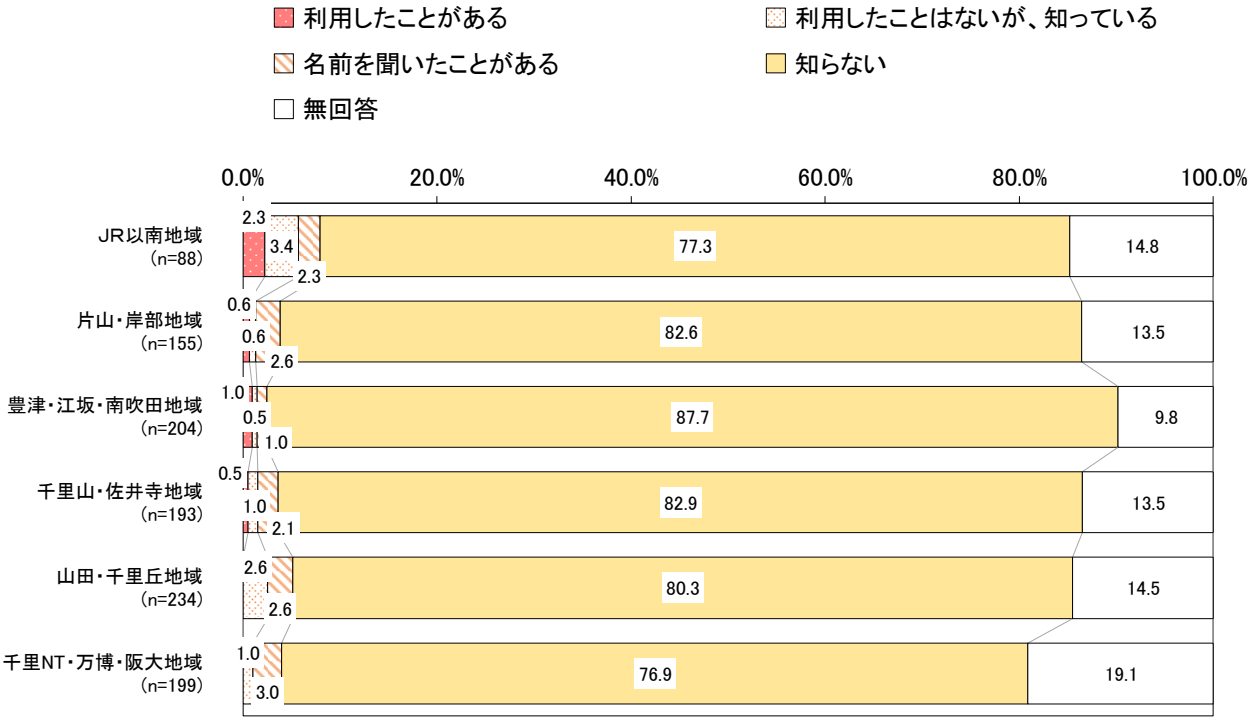
「知らない」の割合が 81.0％と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 2.2％、「利用したことはないが、知っている」の割合が 1.4％となっています。

図表３－113　チャレンジショップ「ゆめちか」の認知度・利用状況（単純回答）



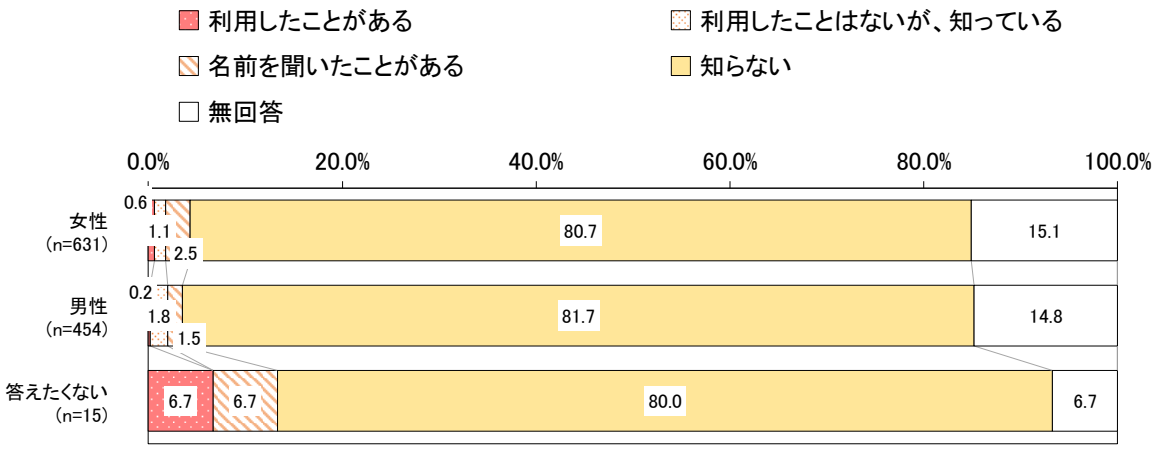
居住地域別でみると、他に比べ、ＪＲ以南地域で「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」「名前を聞いたことがある」の合計の割合が最も高くなっています。

図表３－114　チャレンジショップ「ゆめちか」の認知度・利用状況（居住地域別）



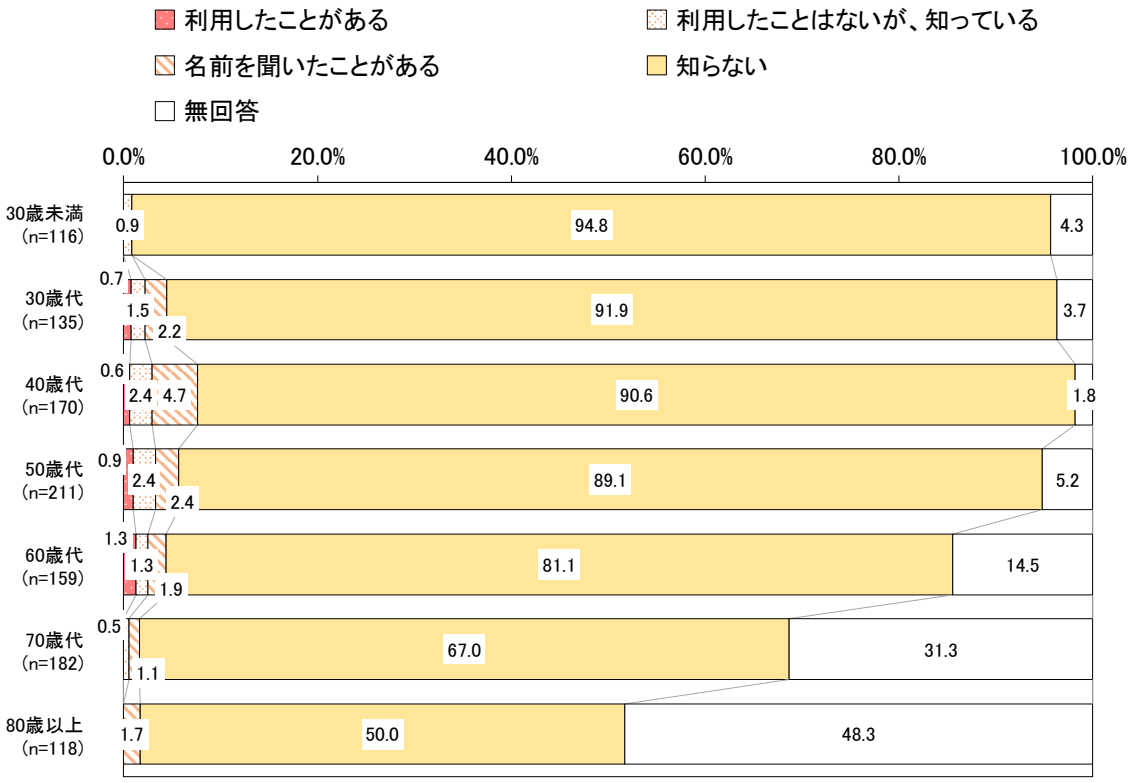
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－115　チャレンジショップ「ゆめちか」の認知度・利用状況（性別）



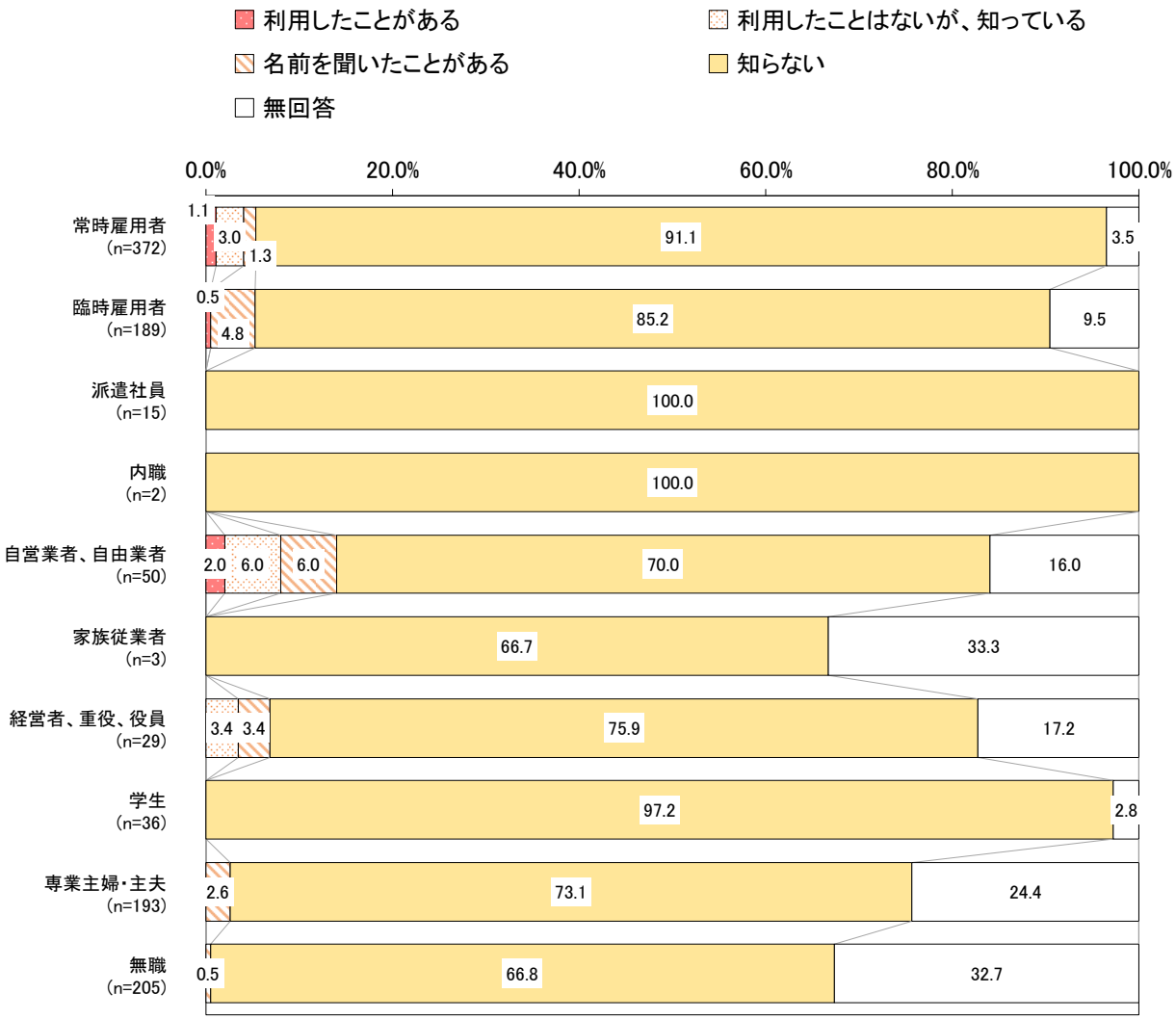
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」「名前を聞いたことがある」の合計の割合が最も高くなっています。

図表３－116　チャレンジショップ「ゆめちか」の認知度・利用状況（年齢別）



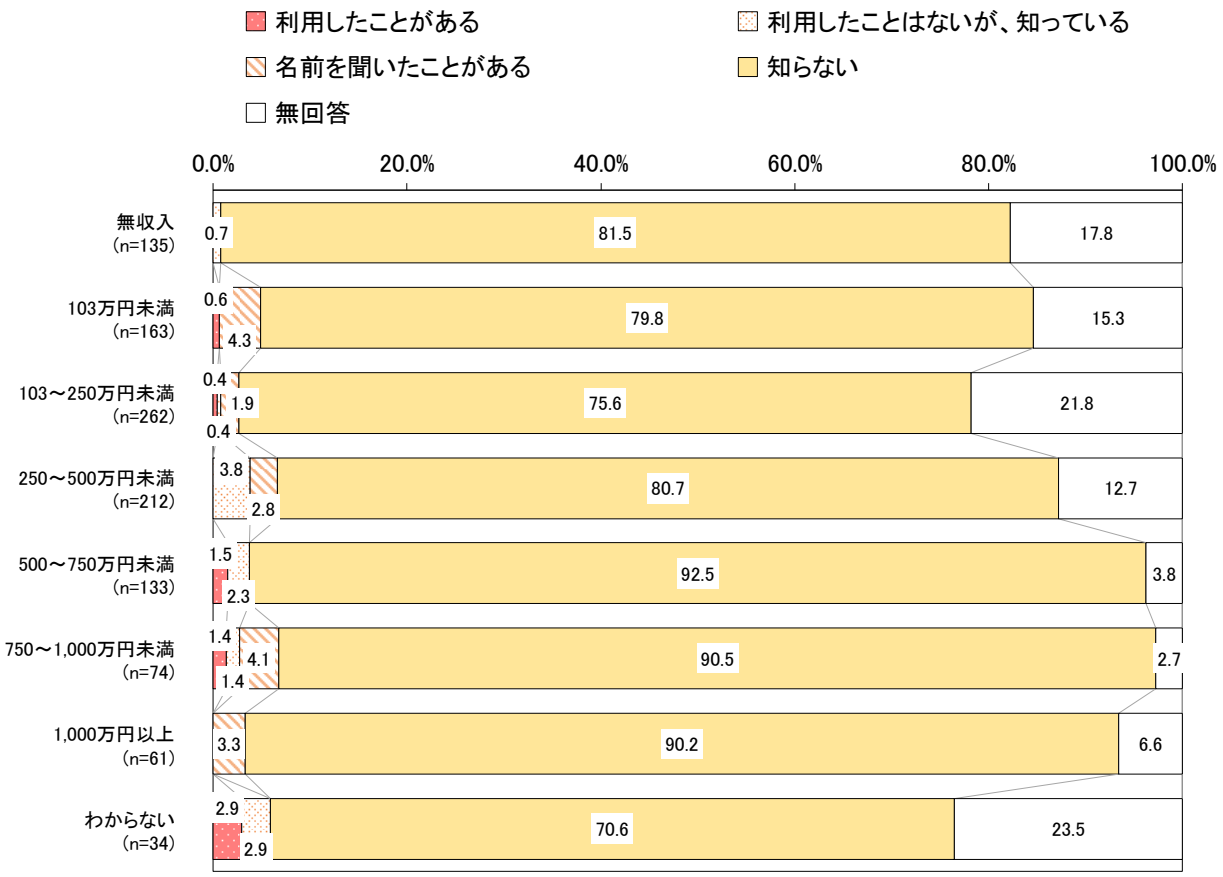
職業別でみると、他に比べ、自営業者、自由業者で「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」「名前を聞いたことがある」の合計の割合が最も高くなっています。

図表３－117　チャレンジショップ「ゆめちか」の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、750～1,000 万円未満で「利用したことがある」「利用したことはないが、知っている」「名前を聞いたことがある」の合計の割合が最も高くなっています。

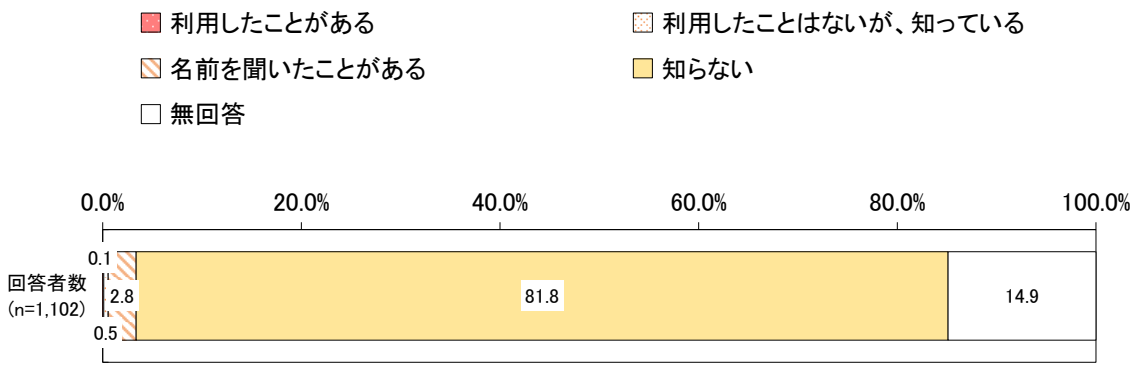
図表３－118　チャレンジショップ「ゆめちか」の認知度・利用状況（個人収入別）



（６）吹田市起業家交流会

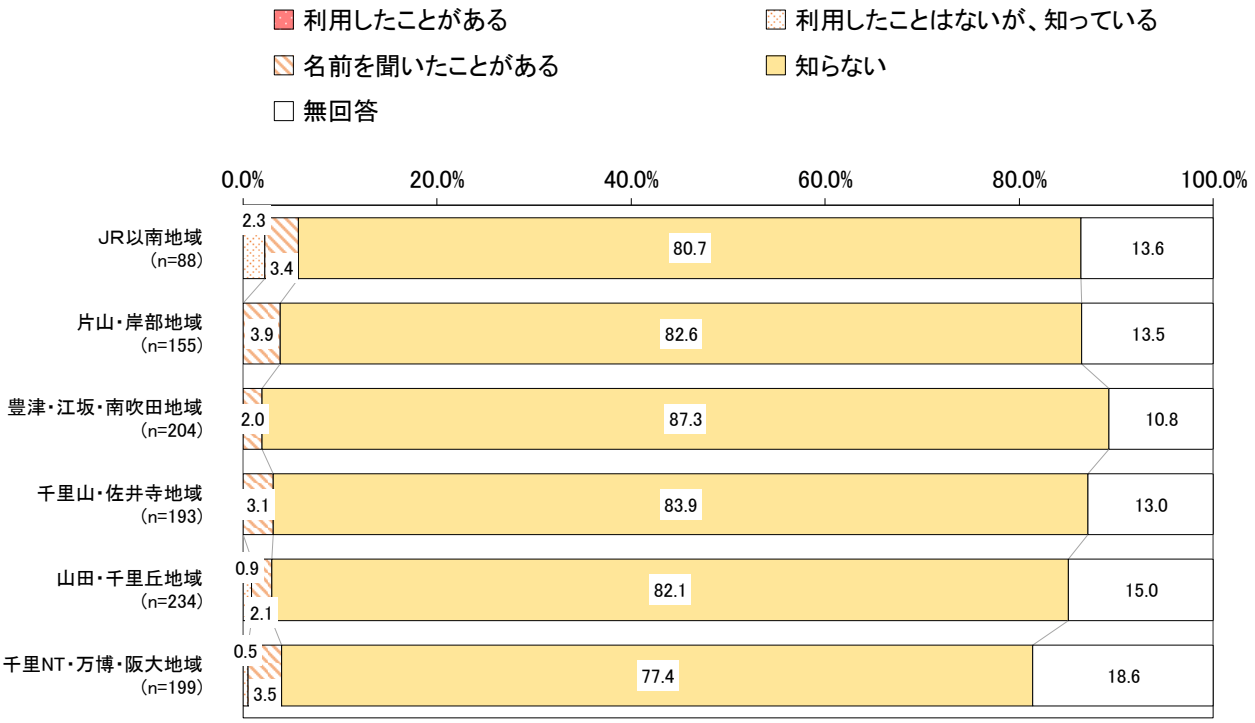
「知らない」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 2.8%、「利用したことはないが、知っている」の割合が 0.5%となっています。

図表３－119　吹田市起業家交流会の認知度・利用状況（単純回答）



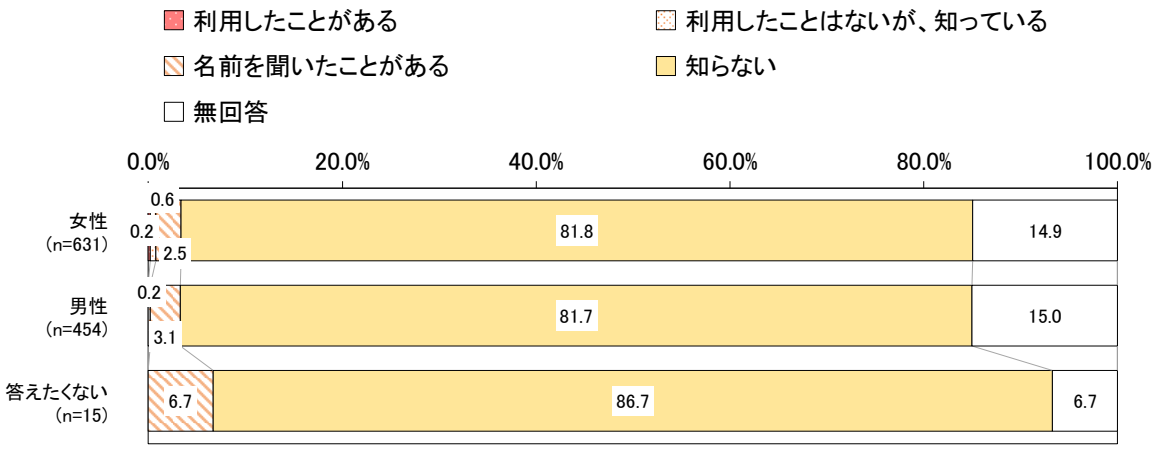
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－120　吹田市起業家交流会の認知度・利用状況（居住地域別）



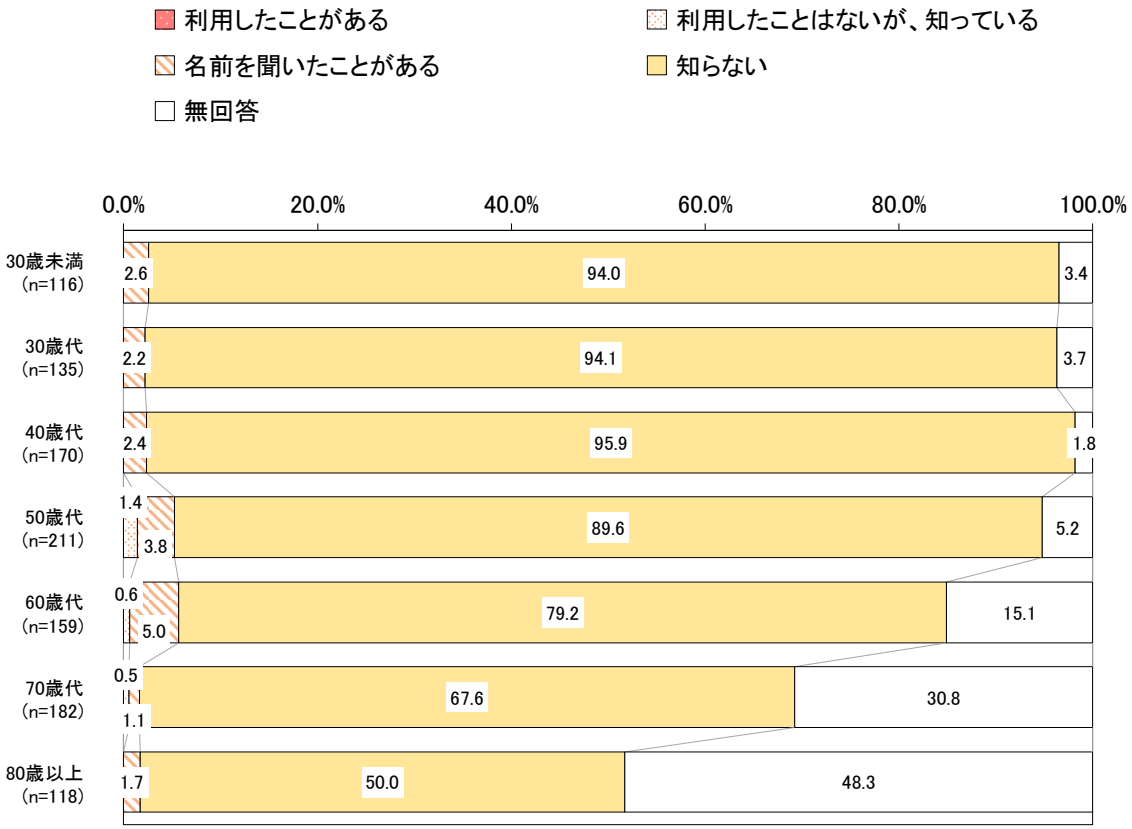
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－121　吹田市起業家交流会の認知度・利用状況（性別）



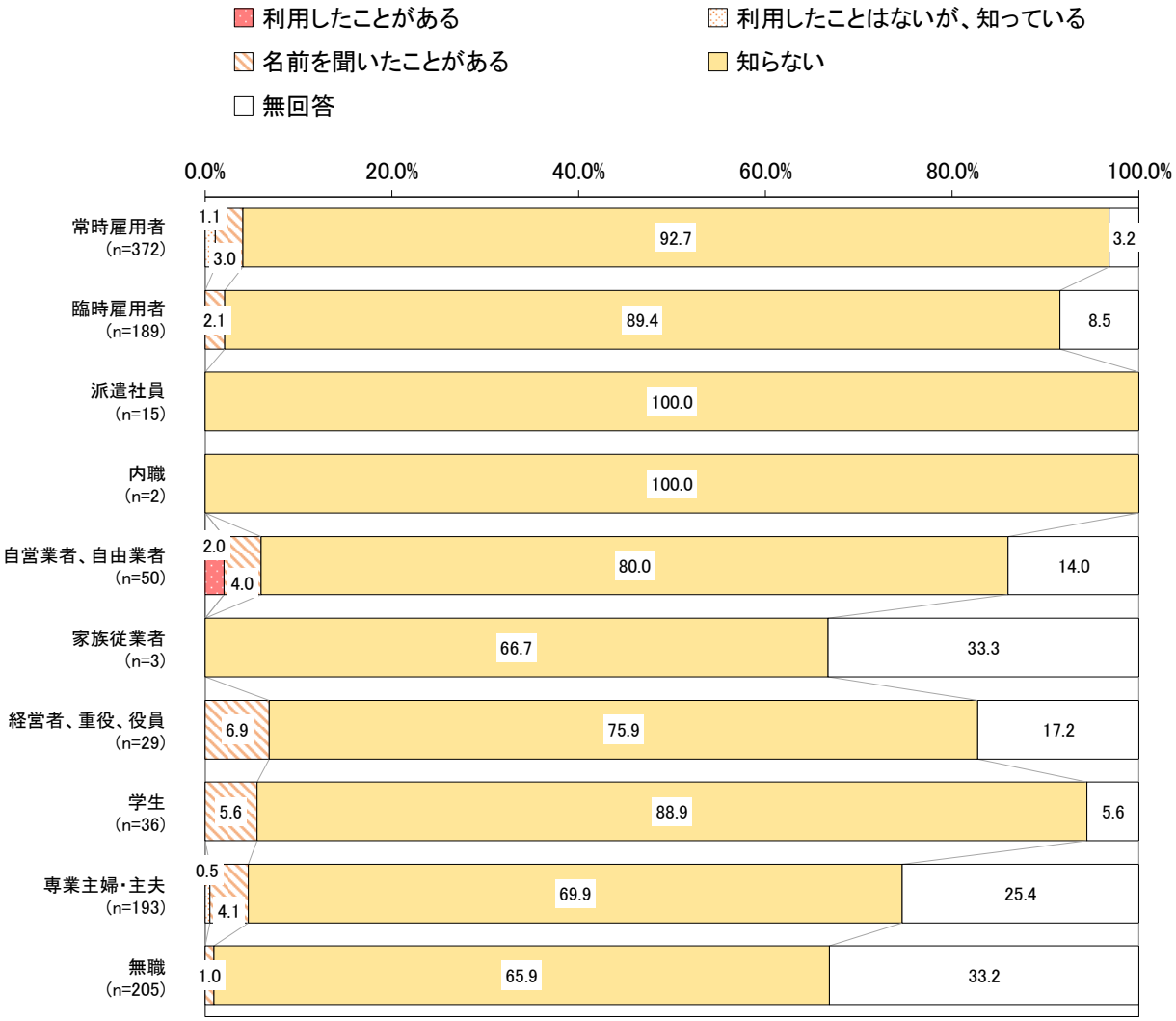
年齢別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－122　吹田市起業家交流会の認知度・利用状況（年齢別）



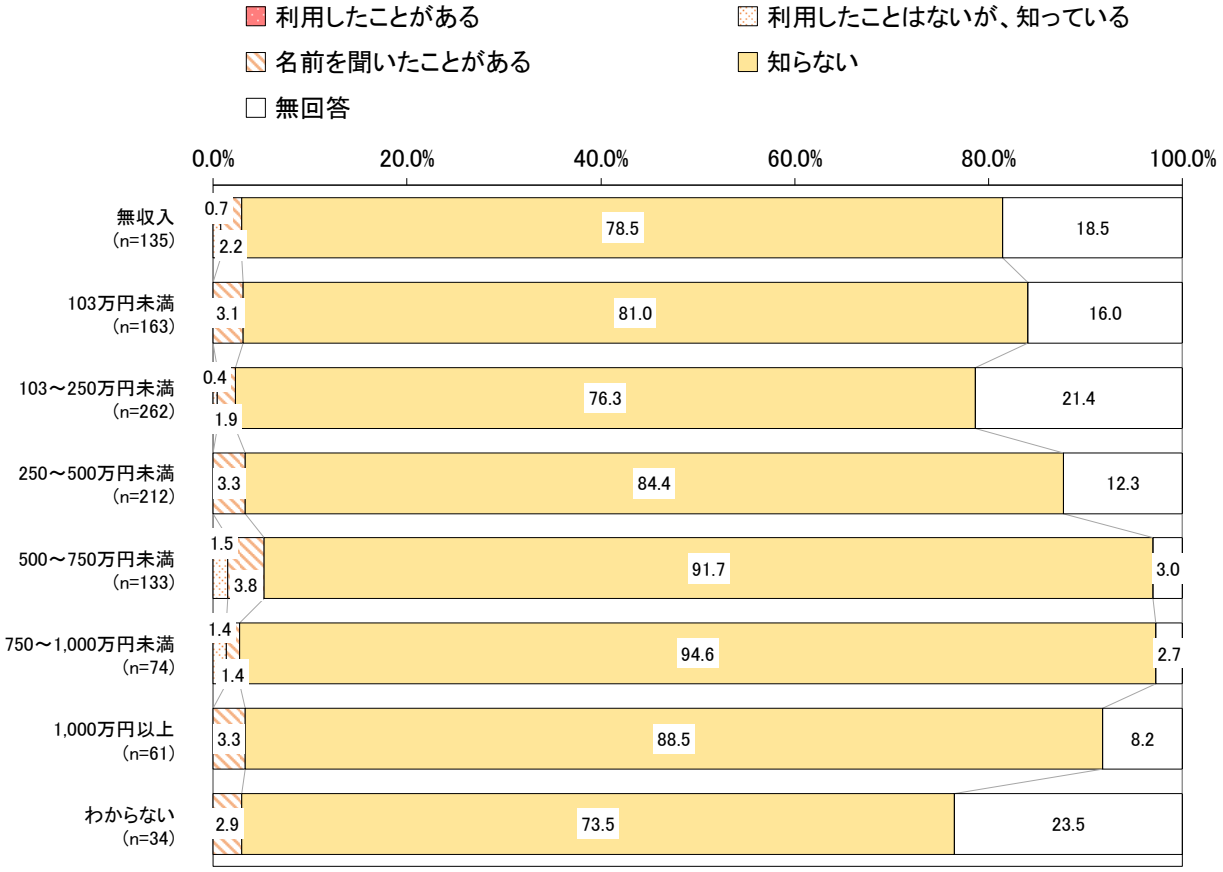
職業別でみると、他に比べ、派遣社員、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－123　吹田市起業家交流会の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、750～1,000 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

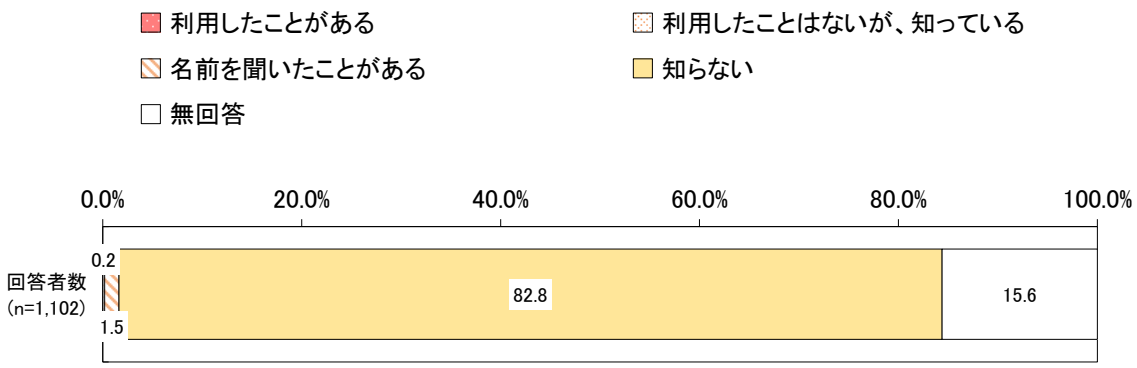
図表３－124　吹田市起業家交流会の認知度・利用状況（個人収入別）



（７）創業支援型事業所賃借料補助金

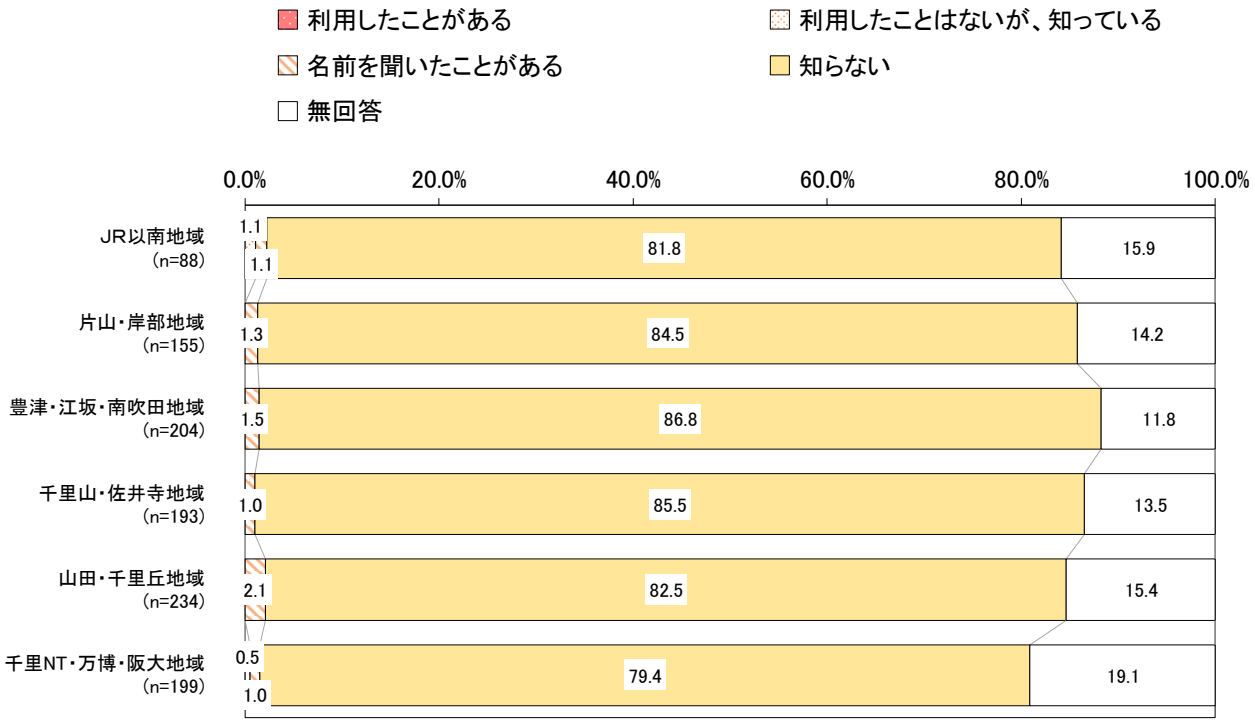
「知らない」の割合が 82.8％と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 1.5％、「利用したことはないが、知っている」の割合が 0.2％となっています。

図表３－125　創業支援型事業所賃借料補助金の認知度・利用状況（単純回答）



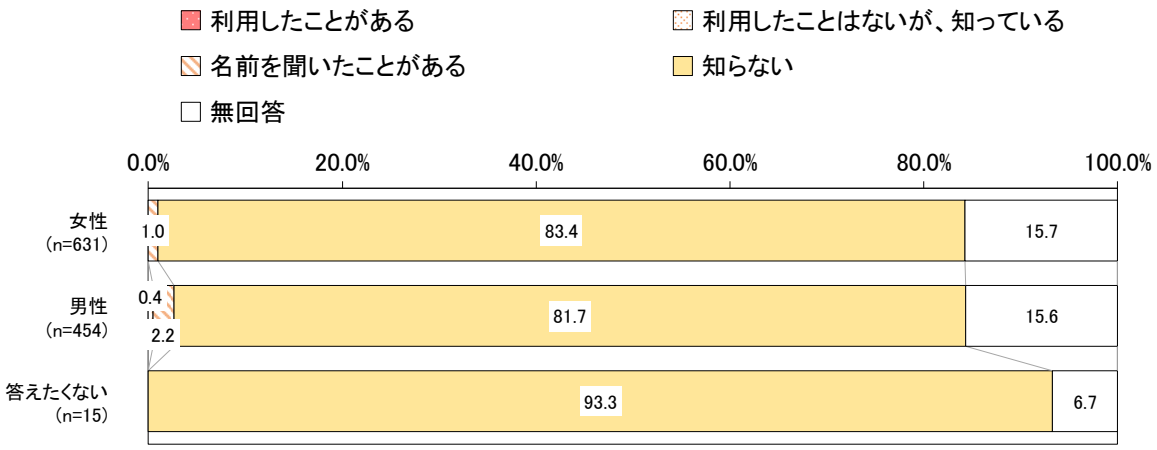
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－126　創業支援型事業所賃借料補助金の認知度・利用状況（居住地域別）



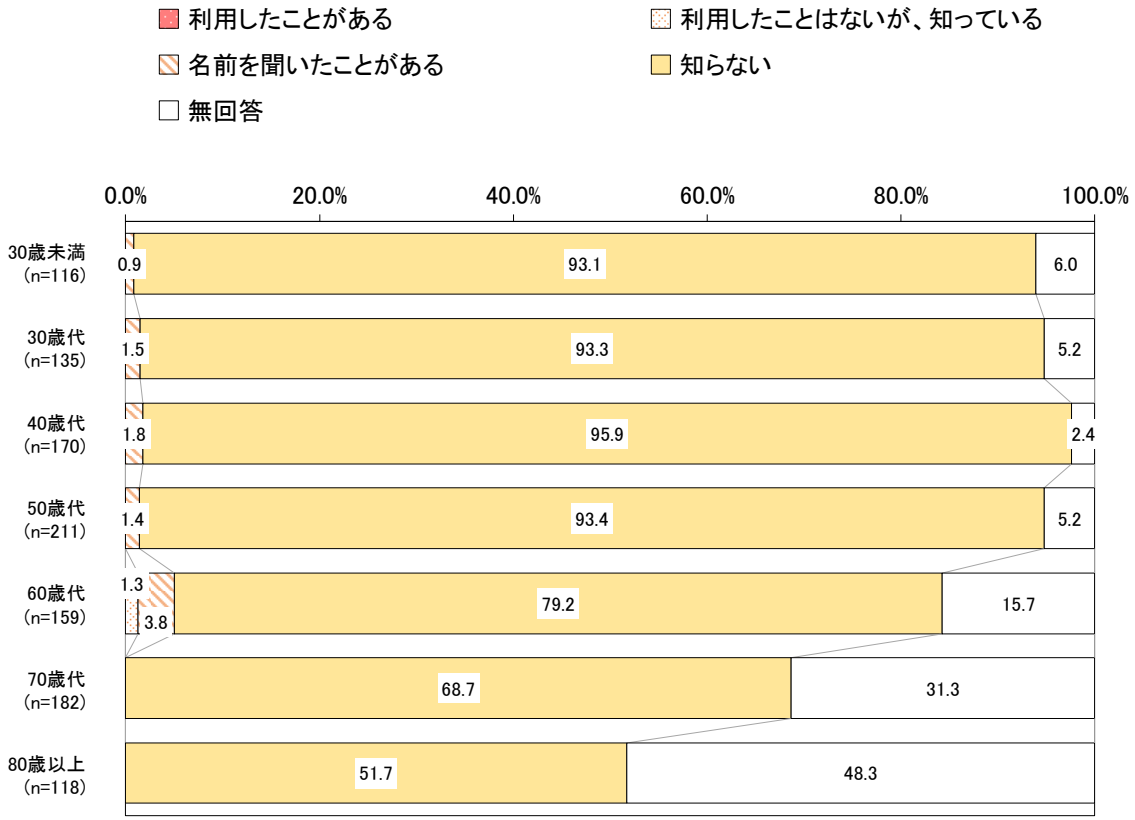
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－127　創業支援型事業所賃借料補助金の認知度・利用状況（性別）



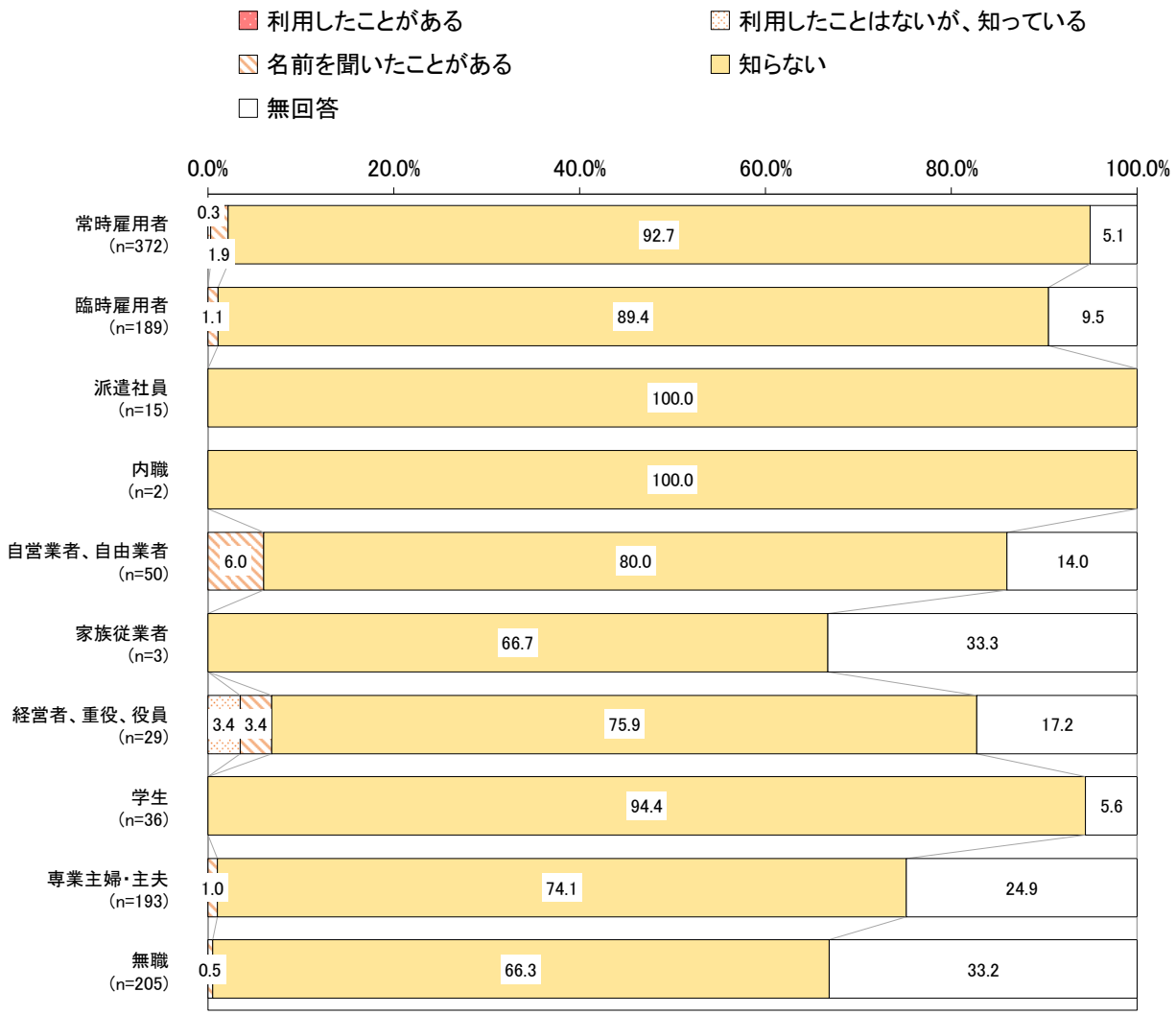
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－128　創業支援型事業所賃借料補助金の認知度・利用状況（年齢別）



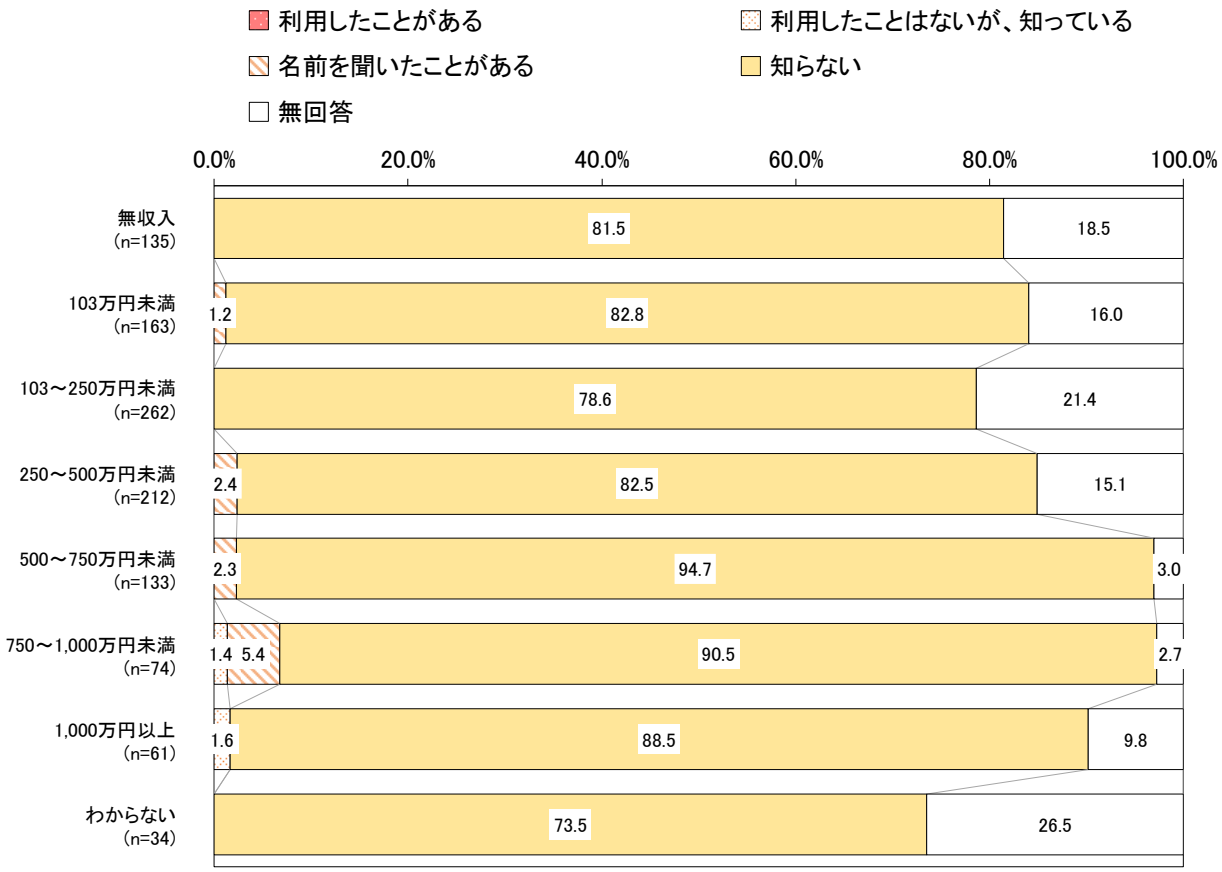
職業別でみると、他に比べ、派遣社員、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－129　創業支援型事業所賃借料補助金の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

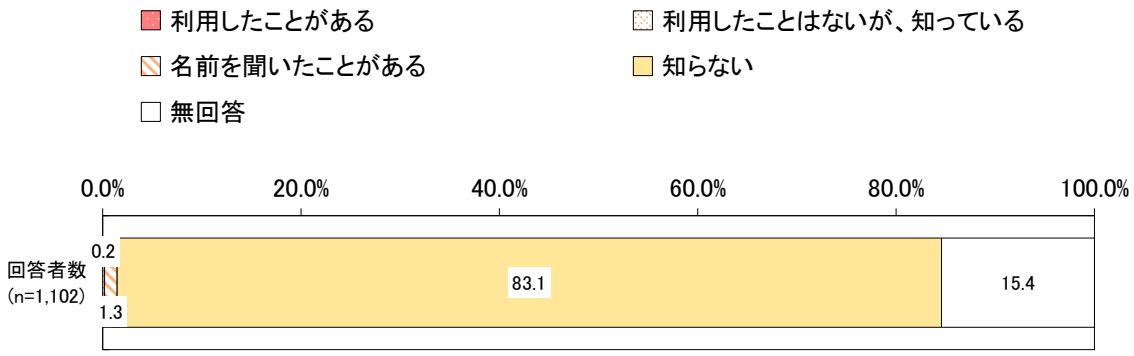
図表３－130　創業支援型事業所賃借料補助金の認知度・利用状況（個人収入別）



（８）開業サポート資金融資等に係る利子補給金

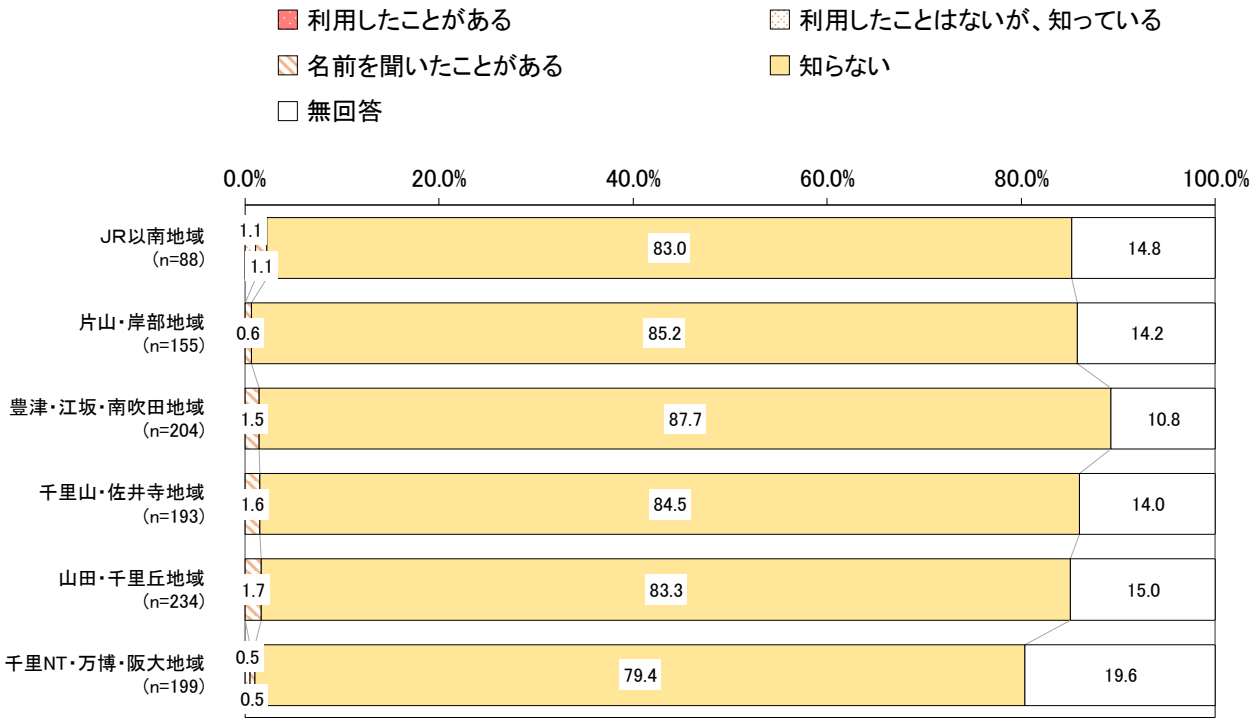
「知らない」の割合が 83.1％と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 1.3％、「利用したことはないが、知っている」の割合が 0.2％となっています。

図表３－131　開業サポート資金融資等に係る利子補給金の認知度・利用状況（単純回答）



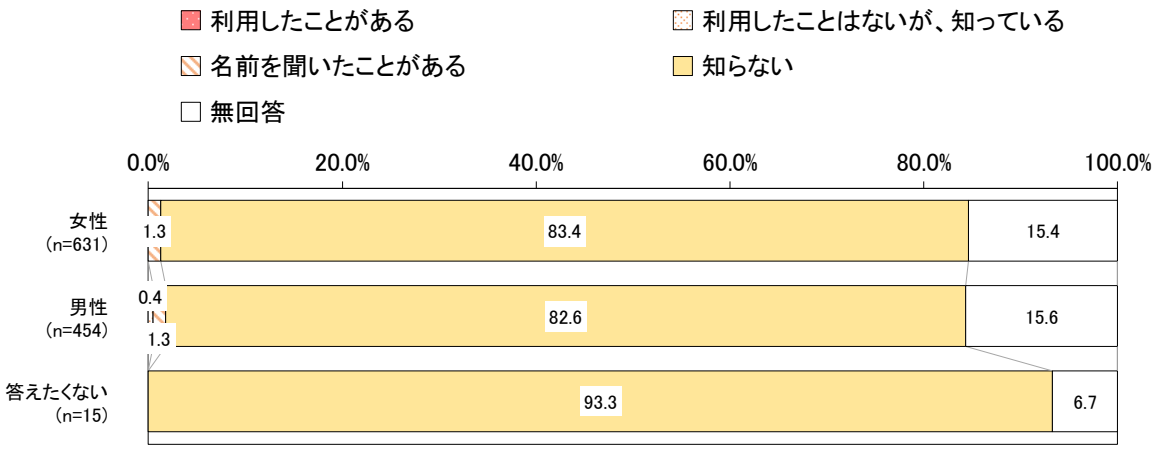
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－132　開業サポート資金融資等に係る利子補給金の認知度・利用状況（居住地域別）



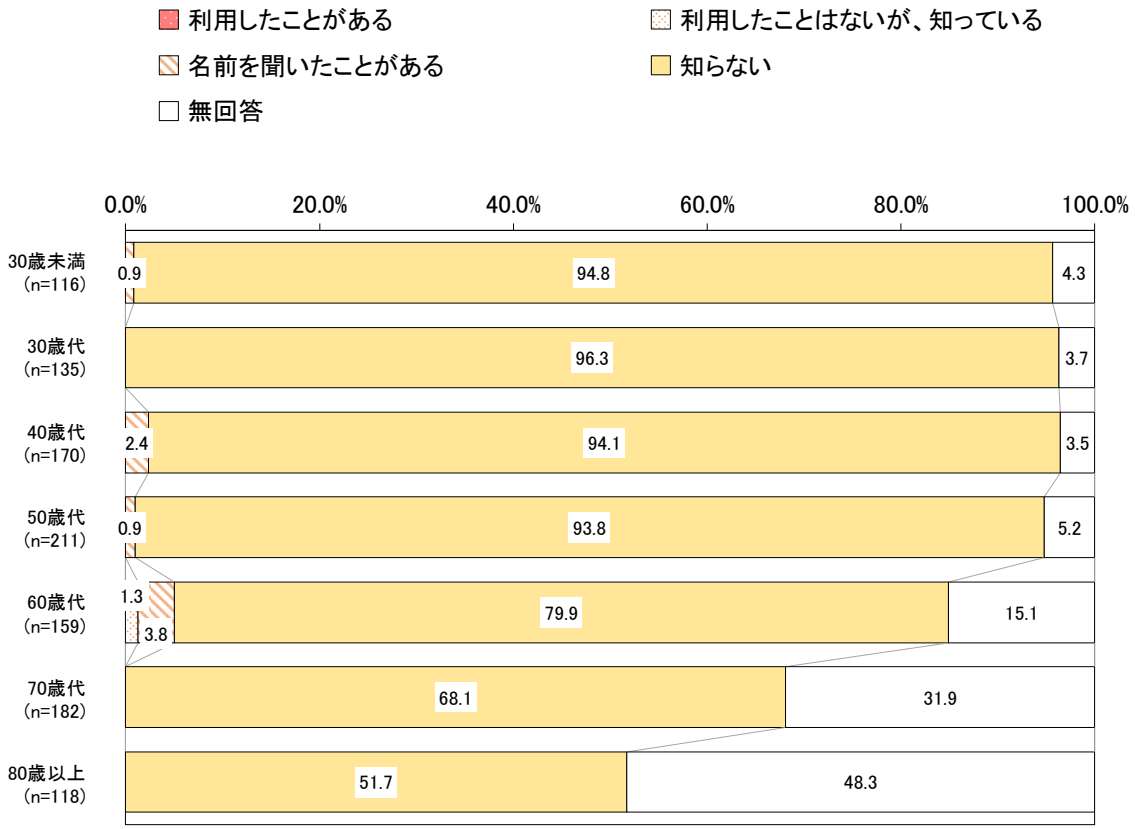
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－133　開業サポート資金融資等に係る利子補給金の認知度・利用状況（性別）



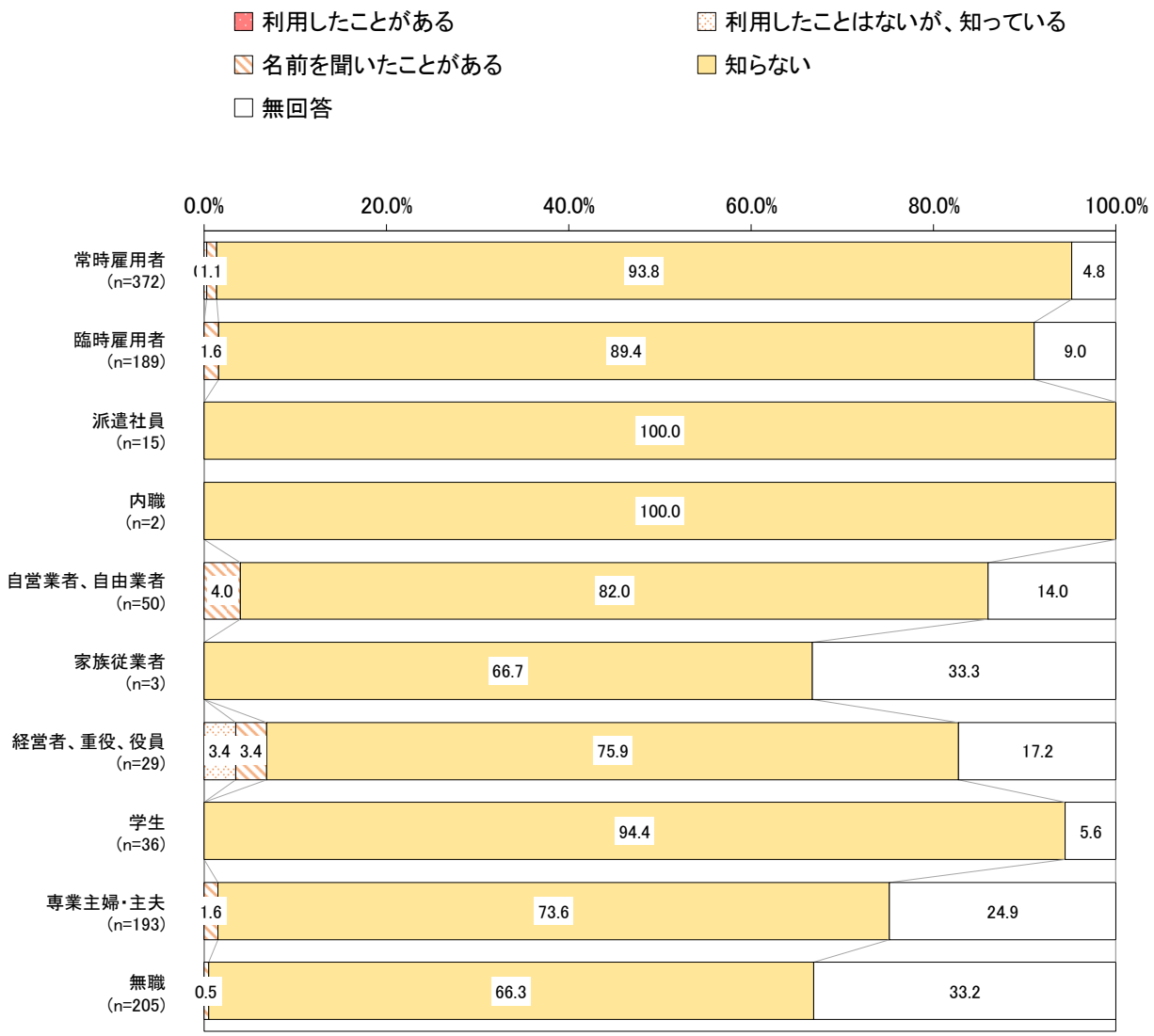
年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－134　開業サポート資金融資等に係る利子補給金の認知度・利用状況（年齢別）



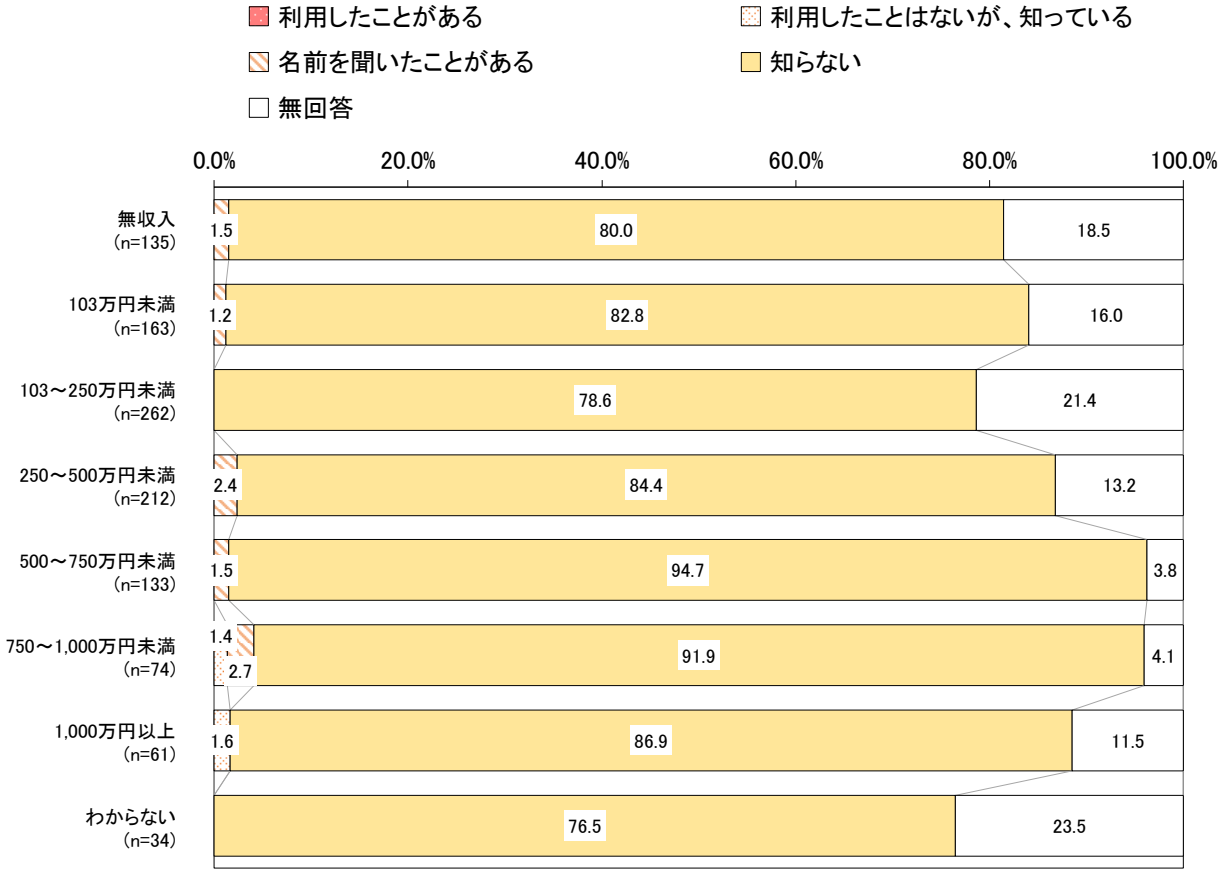
職業別でみると、他に比べ、派遣社員、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－135　開業サポート資金融資等に係る利子補給金の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

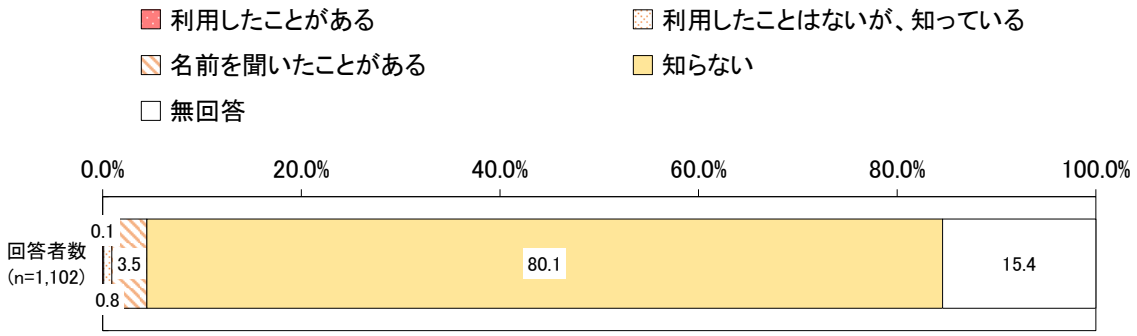
図表３－136　開業サポート資金融資等に係る利子補給金の認知度・利用状況（個人収入別）



（９）開業スタートアップ応援資金（大阪府制度）

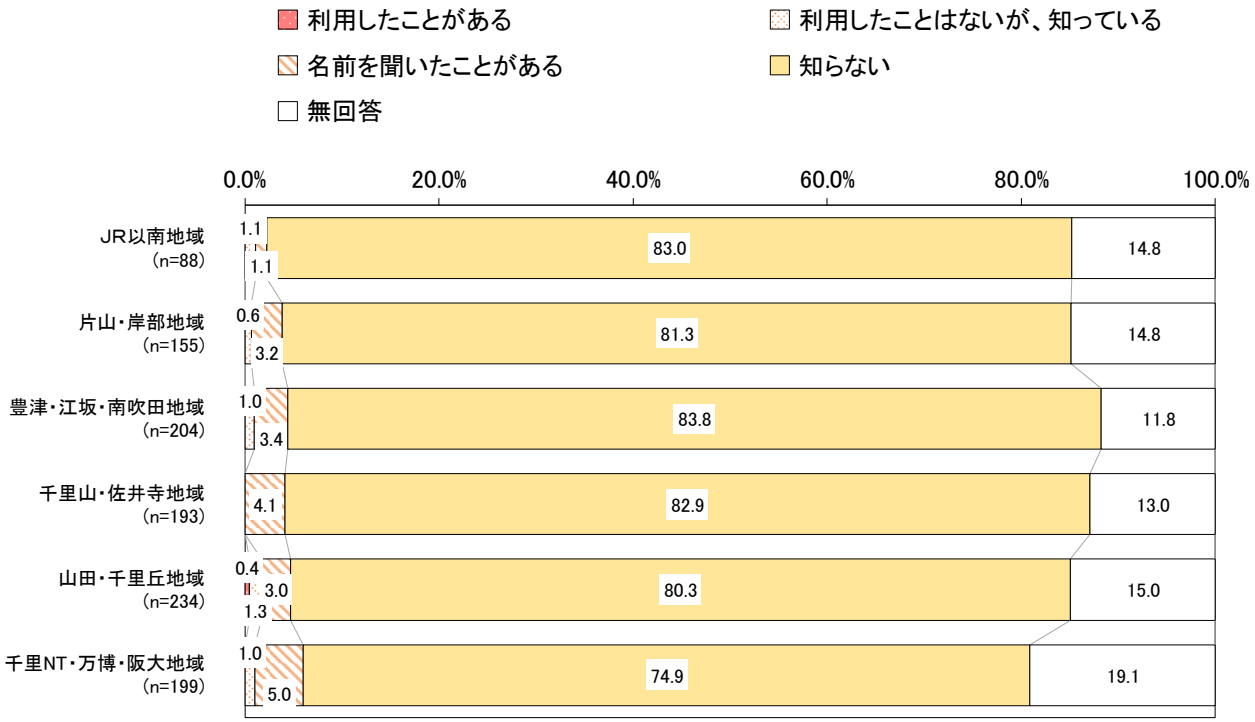
「知らない」の割合が 80.1％と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 3.5％、「利用したことはないが、知っている」の割合が 0.8％となっています。

図表３－137　開業スタートアップ応援資金（大阪府制度）の認知度・利用状況（単純回答）



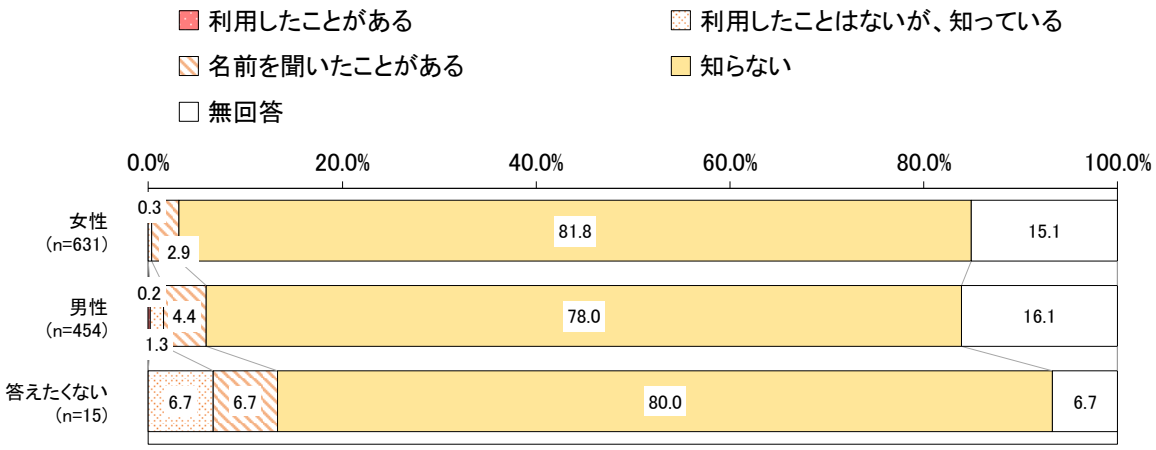
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表３－138　開業スタートアップ応援資金（大阪府制度）の認知度・利用状況（居住地域別）



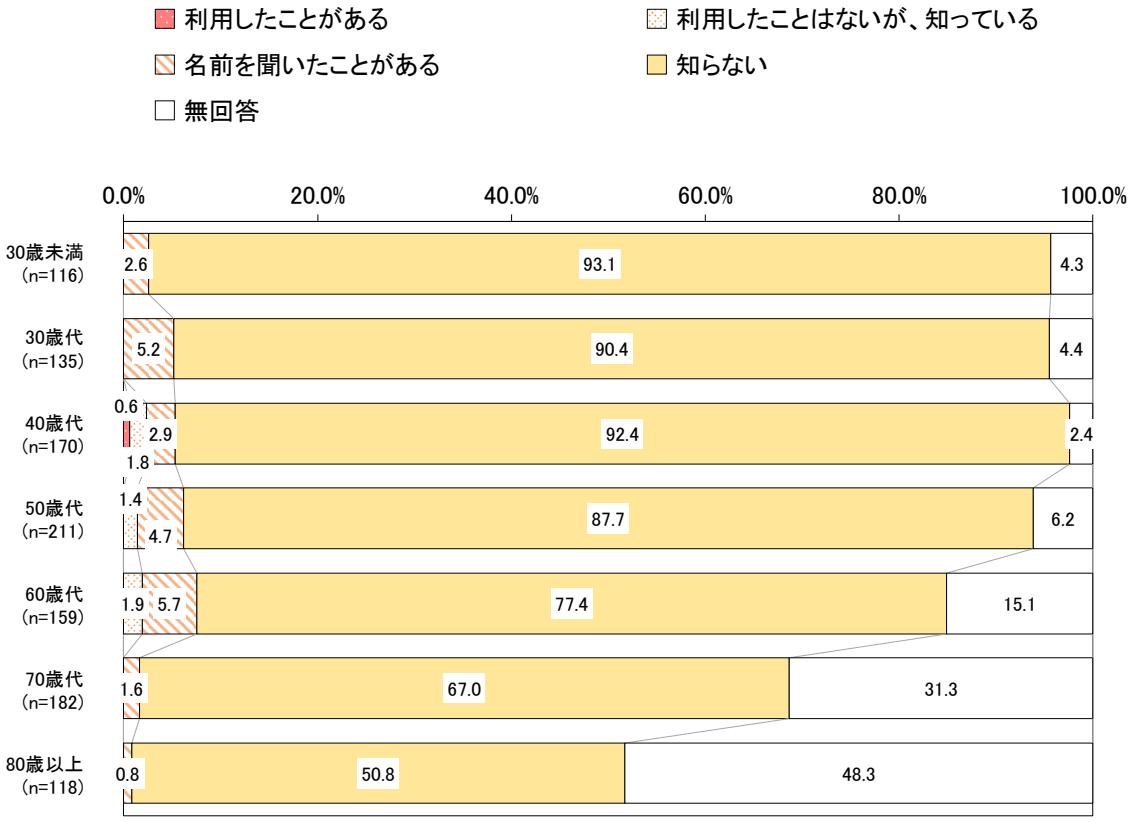
性別でみると、男性より女性の方が「知らない」と答えています。

図表３－139　開業スタートアップ応援資金（大阪府制度）の認知度・利用状況（性別）



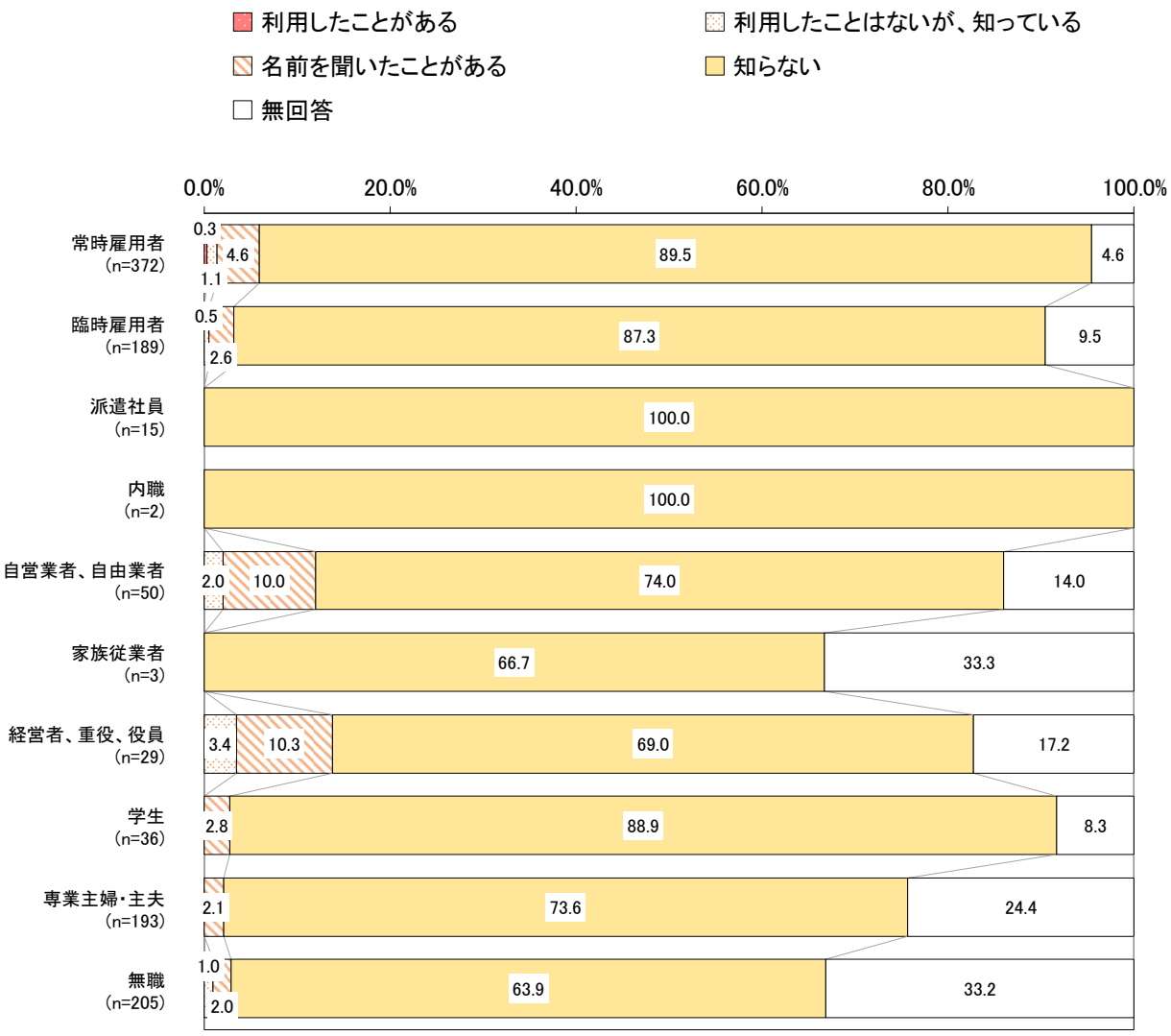
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－140　開業スタートアップ応援資金（大阪府制度）の認知度・利用状況（年齢別）



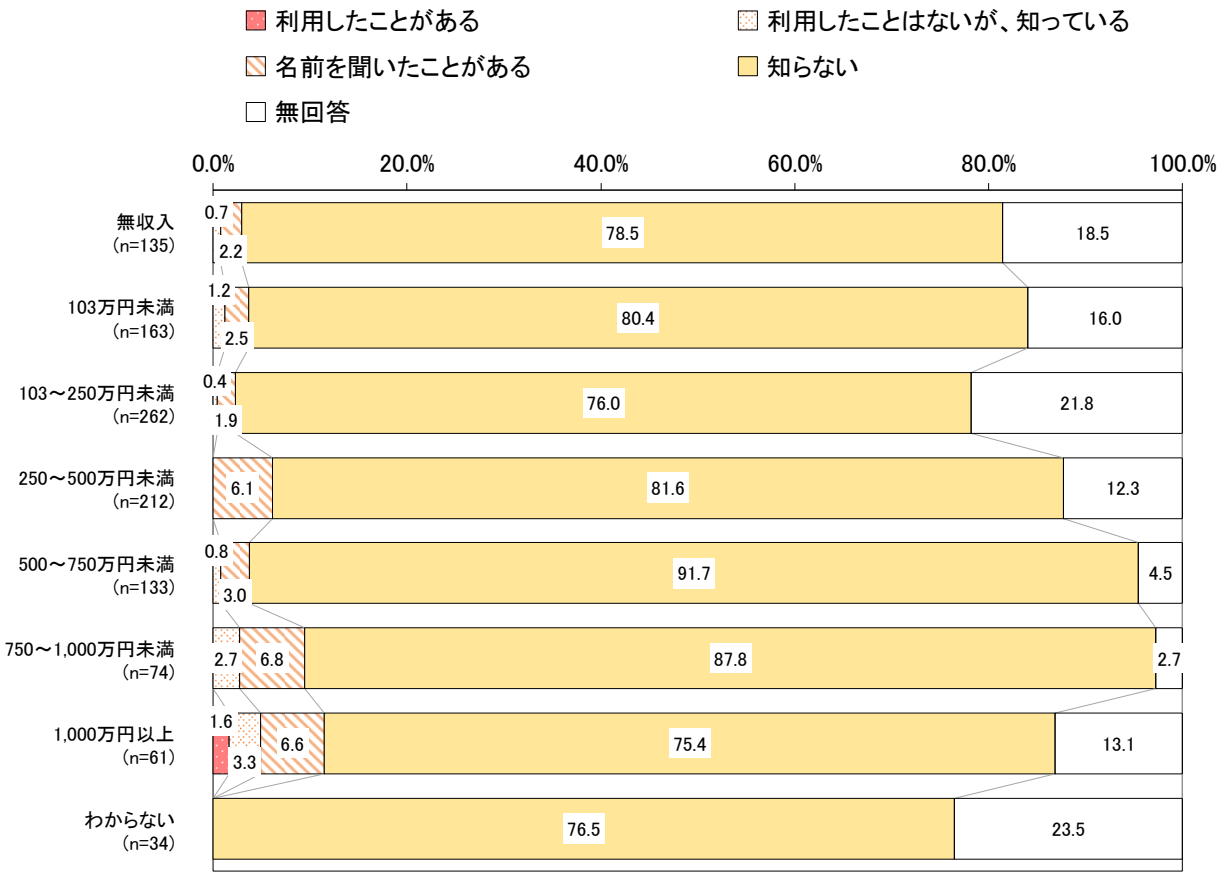
職業別でみると、他に比べ、派遣社員、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－141　開業スタートアップ応援資金（大阪府制度）の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

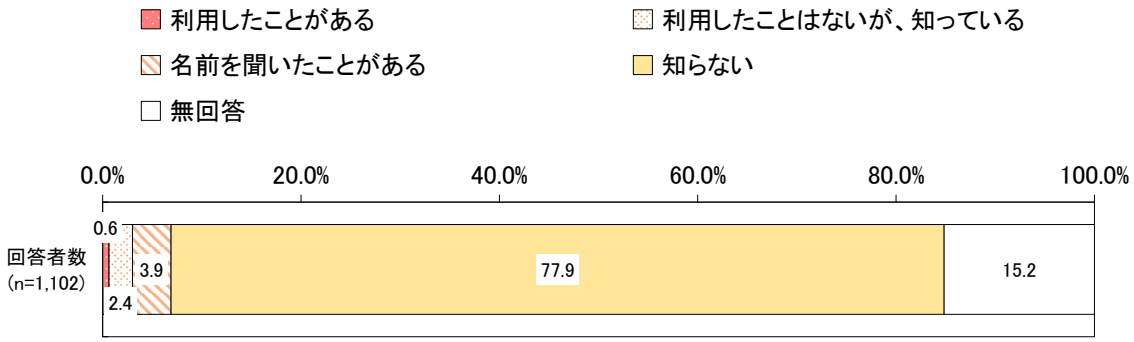
図表３－142　開業スタートアップ応援資金（大阪府制度）の認知度・利用状況（個人収入別）



（１０）新規開業資金（日本政策金融公庫制度）

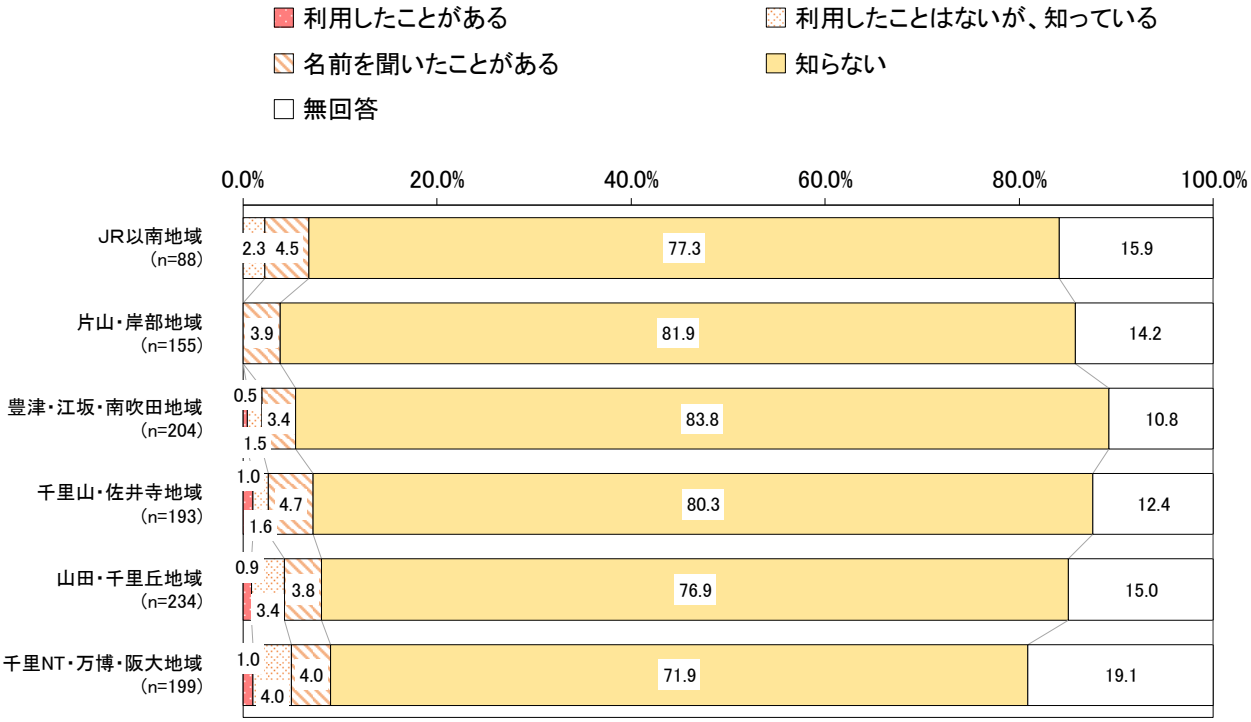
「知らない」の割合が 77.9%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」の割合が 3.9%、「利用したことはないが、知っている」の割合が 2.4%となっています。

図表３－143　新規開業資金（日本政策金融公庫制度）の認知度・利用状況（単純回答）



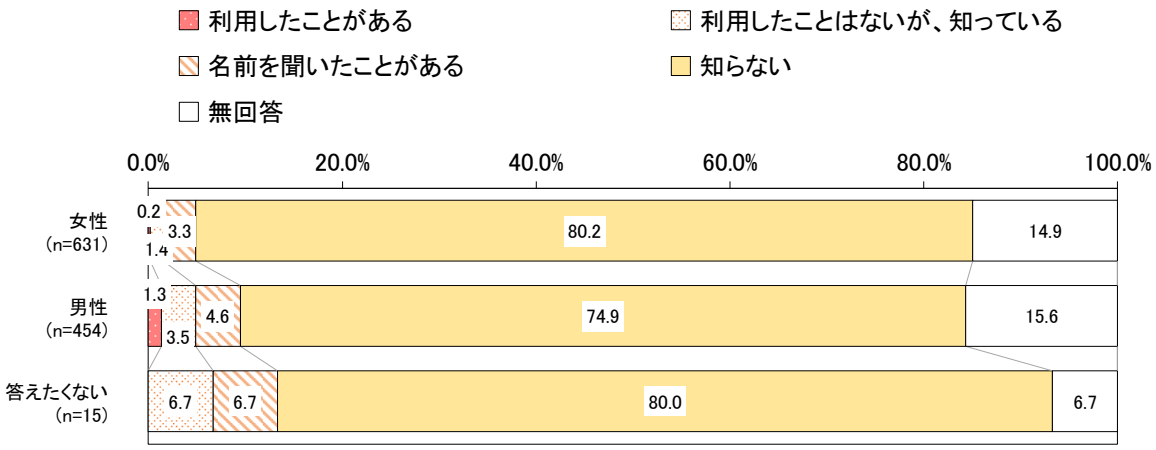
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－144　新規開業資金（日本政策金融公庫制度）の認知度・利用状況（居住地域別）



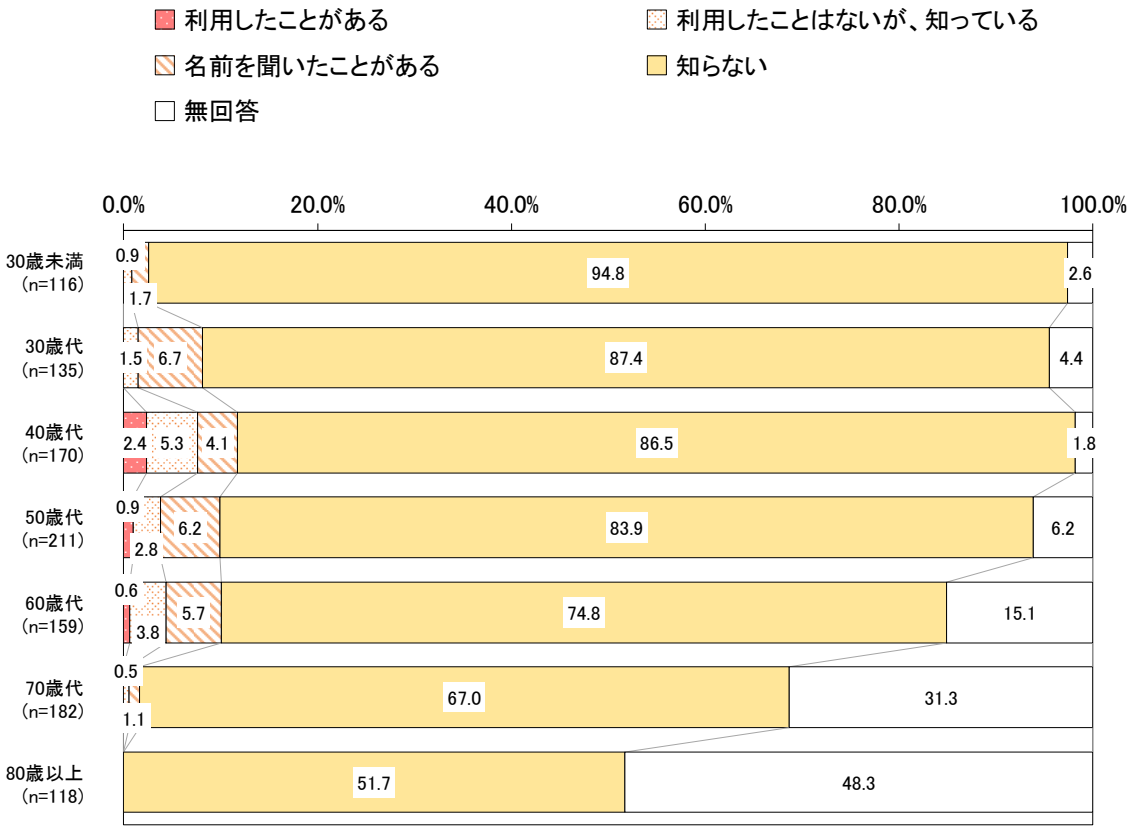
性別でみると、男性より女性の方が「知らない」と答えています。

図表３－145　新規開業資金（日本政策金融公庫制度）の認知度・利用状況（性別）



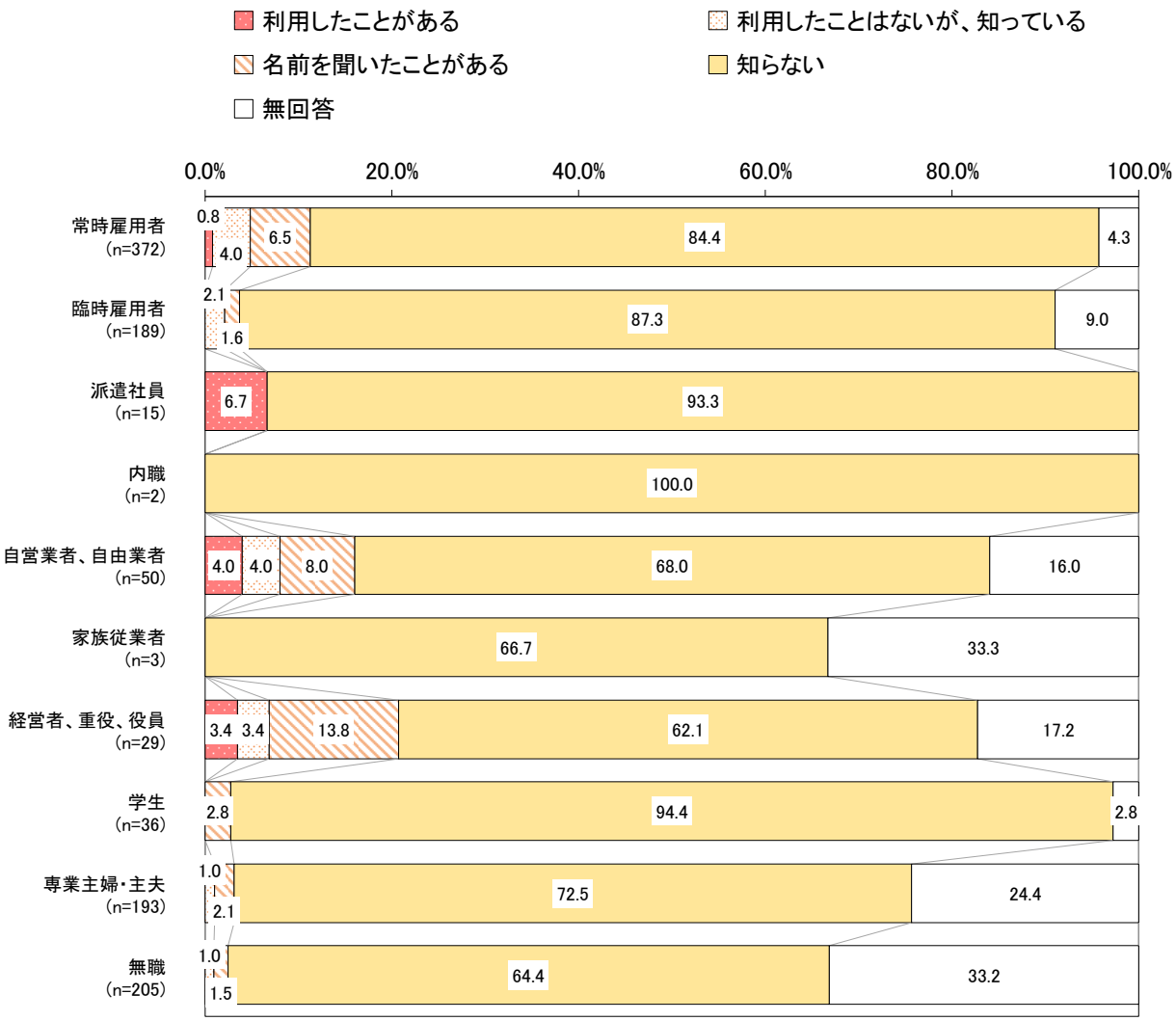
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－146　新規開業資金（日本政策金融公庫制度）の認知度・利用状況（年齢別）



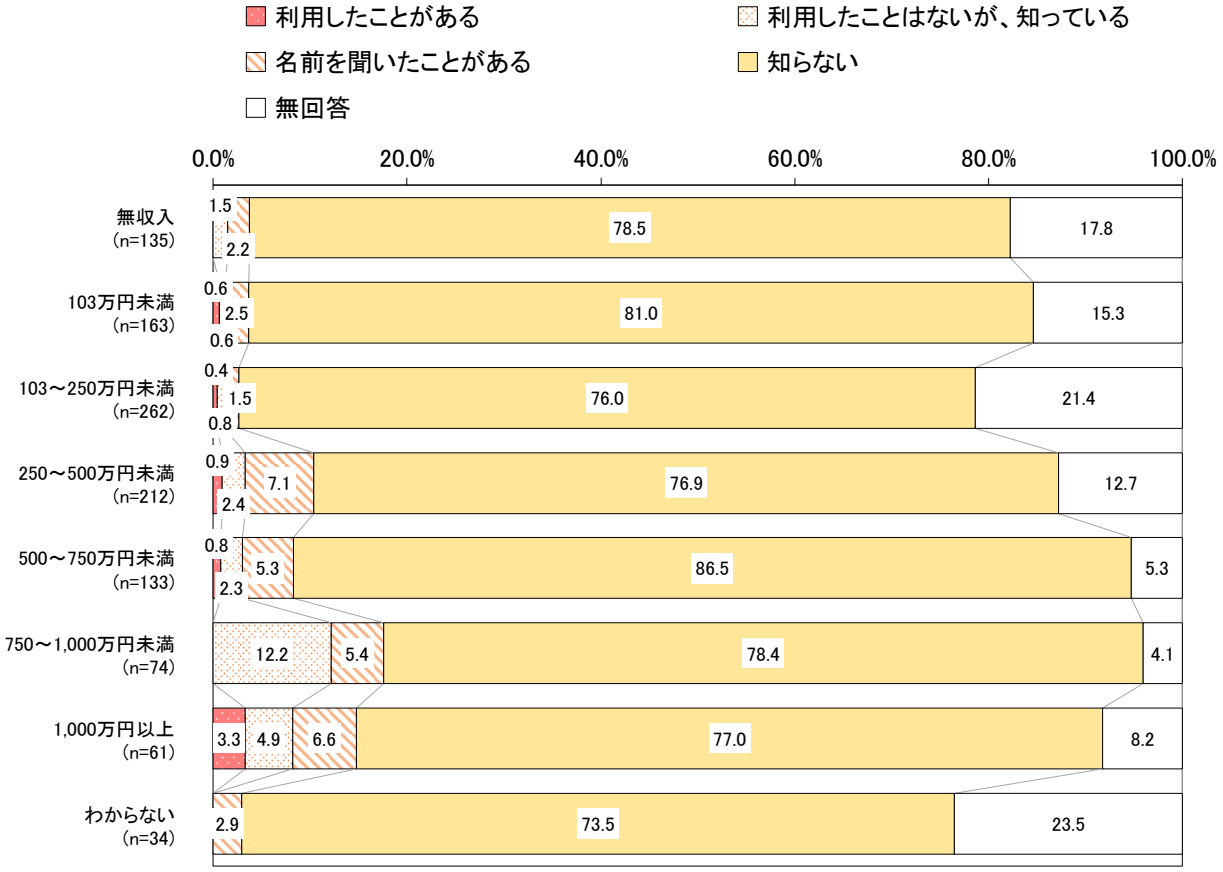
職業別でみると、他に比べ、内職で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－147　新規開業資金（日本政策金融公庫制度）の認知度・利用状況（職業別）



個人収入別でみると、他に比べ、500～750 万円未満で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表３－148　新規開業資金（日本政策金融公庫制度）の認知度・利用状況（個人収入別）

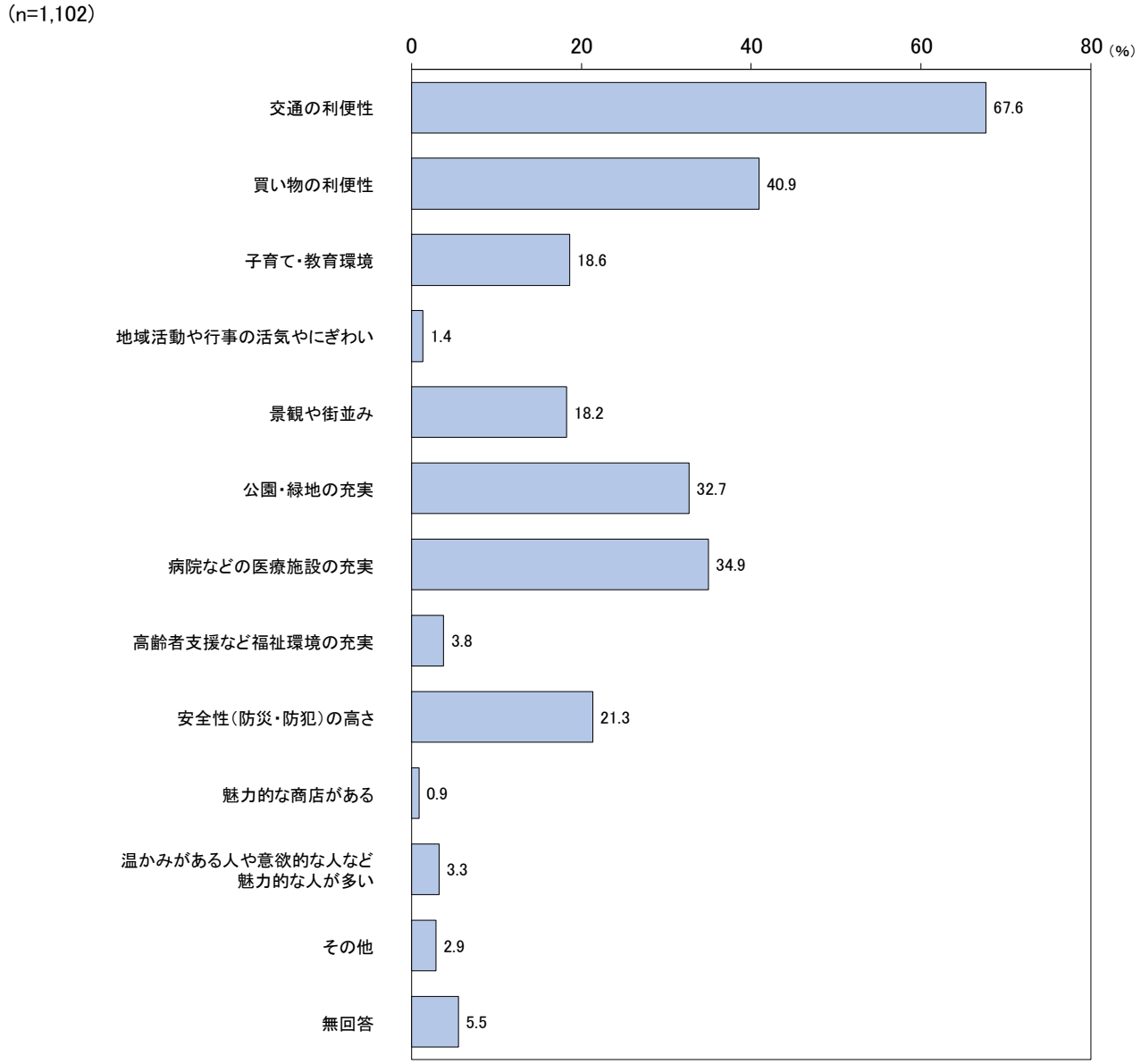


第４章　住みやすさについて

問 32　吹田市に暮らしていて、良いと思うところを聞かせてください。（３つまで）

「交通の利便性」の割合が 67.6％と最も高く、次いで「買い物の利便性」の割合が 40.9％、「病院などの医療施設の充実」の割合が 34.9％となっています。

図表４－１　吹田市の良いところ（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表４－２　吹田市の良いところ（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実	病院などの医療施設の充実
居住地域別	JR以南地域	88	81.8	44.3	9.1	2.3	9.1	10.2	47.7
	片山・岸部地域	155	70.3	43.9	16.1	1.9	12.3	27.7	45.8
	豊津・江坂・南吹田地域	204	84.3	56.4	15.7	1.5	13.2	26.5	26.5
	千里山・佐井寺地域	193	58.0	33.2	26.9	1.6	22.8	32.6	29.5
	山田・千里丘地域	234	58.5	43.2	20.9	0.9	15.4	34.6	38.9
	千里NT・万博・阪大地域	199	64.3	28.6	18.1	0.5	30.2	50.8	30.7

区分		有効回答数（件）	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	温かみがある人や意欲的な人など魅力的な人が多い	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	9.1	11.4	1.1	4.5	2.3	4.5
	片山・岸部地域	155	5.2	18.7	1.9	3.9	3.9	3.9
	豊津・江坂・南吹田地域	204	1.5	19.1	1.0	2.9	2.9	2.9
	千里山・佐井寺地域	193	3.1	28.5	－	4.1	2.6	6.7
	山田・千里丘地域	234	2.1	21.8	1.3	2.1	5.1	5.6
	千里NT・万博・阪大地域	199	4.5	24.1	0.5	2.5	0.5	6.5

性別でみると、女性より男性の方が「交通の利便性」と答えています。

図表４－３　吹田市の良いところ（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実	病院などの医療施設の充実
性別	女性	631	61.5	39.3	19.5	1.6	19.5	33.9	34.1
	男性	454	75.8	43.0	17.6	1.1	16.7	31.5	36.6
	答えたくない	15	80.0	53.3	13.3	－	13.3	20.0	26.7

区分		有効回答数（件）	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	温かみがある人や意欲的な人など魅力的な人が多い	その他	無回答
性別	女性	631	4.0	22.7	0.5	3.8	2.4	6.8
	男性	454	3.5	19.4	1.5	2.4	3.3	4.0
	答えたくない	15	6.7	26.7	－	6.7	－	－

年齢別でみると、他に比べ、50 歳代で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表４－４　吹田市の良いところ（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実	病院などの医療施設の充実
年齢別	30 歳未満	116	67.2	39.7	19.8	1.7	20.7	35.3	24.1
	30 歳代	135	58.5	38.5	34.1	2.2	20.7	37.0	25.2
	40 歳代	170	66.5	37.6	37.1	1.2	18.8	30.6	25.9
	50 歳代	211	73.5	42.7	19.4	1.9	20.9	30.3	31.3
	60 歳代	159	72.3	37.1	12.6	1.3	19.5	36.5	34.6
	70 歳代	182	69.8	48.9	4.4	0.5	13.2	32.4	57.1
	80 歳以上	118	59.3	38.1	3.4	0.8	12.7	28.0	44.1

区分		有効回答数（件）	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	温かみがある人や意欲的な人など魅力的な人が多い	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	1.7	32.8	1.7	6.0	3.4	0.9
	30 歳代	135	1.5	23.7	3.7	3.7	4.4	5.2
	40 歳代	170	2.4	27.1	0.6	4.1	4.1	4.1
	50 歳代	211	3.3	21.8	0.5	2.8	1.4	4.7
	60 歳代	159	3.1	19.5	0.6	0.6	2.5	6.9
	70 歳代	182	3.3	14.3	－	3.8	2.2	5.5
	80 歳以上	118	13.6	11.0	－	2.5	3.4	11.9

職業別でみると、他に比べ、内職で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表４－５　吹田市の良いところ（職業別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実	病院などの医療施設の充実
職業別	常時雇用者	372	71.0	40.9	25.5	1.6	19.4	30.1	27.7
	臨時雇用者	189	70.4	37.0	30.7	2.6	22.2	34.9	33.3
	派遣社員	15	66.7	53.3	6.7	－	6.7	26.7	40.0
	内職	2	100.0	100.0	－	－	－	50.0	50.0
	自営業者、自由業者	50	66.0	34.0	18.0	－	14.0	30.0	34.0
	家族従業者	3	66.7	－	33.3	－	66.7	33.3	66.7
	経営者、重役、役員	29	89.7	58.6	10.3	－	24.1	27.6	24.1
	学生	36	55.6	41.7	22.2	2.8	27.8	44.4	33.3
	専業主婦・主夫	193	56.5	39.4	10.9	0.5	16.6	36.8	38.3
	無職	205	68.3	44.9	4.4	1.0	12.2	30.7	48.8

区分		有効回答数（件）	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	温かみがある人や意欲的な人など魅力的な人が多い	その他	無回答
職業別	常時雇用者	372	2.4	25.5	1.6	1.9	4.6	3.5
	臨時雇用者	189	2.6	19.6	1.1	4.8	0.5	4.8
	派遣社員	15	－	13.3	－	－	－	6.7
	内職	2	－	－	－	－	－	－
	自営業者、自由業者	50	－	26.0	－	6.0	2.0	8.0
	家族従業者	3	－	－	－	－	－	－
	経営者、重役、役員	29	3.4	20.7	－	3.4	－	3.4
	学生	36	－	36.1	5.6	2.8	5.6	－
	専業主婦・主夫	193	5.2	17.6	－	5.2	2.1	10.4
	無職	205	7.8	16.6	－	2.4	3.4	6.3

居住形態別でみると、他に比べ、ＵＲ・公社（賃貸）で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表４－６　吹田市の良いところ（居住形態別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実	病院などの医療施設の充実
居住形態別	持ち家（一戸建て）	336	70.5	38.4	18.8	1.5	15.8	27.4	40.5
	持ち家（マンション）	426	65.0	41.5	20.0	0.9	20.9	36.4	32.6
	民間賃貸（一戸建て）	10	60.0	40.0	30.0	10.0	20.0	50.0	10.0
	民間賃貸（マンション）	197	69.0	44.2	19.3	1.5	15.7	29.9	26.4
	UR・公社（賃貸）	36	75.0	41.7	13.9	2.8	16.7	44.4	33.3
	府営・市営（賃貸）	55	67.3	40.0	3.6	1.8	20.0	27.3	54.5
	社宅・寮	21	66.7	42.9	19.0	－	19.0	38.1	19.0
	その他	16	56.3	31.3	31.3	－	18.8	50.0	56.3

区分		有効回答数（件）	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	温かみがある人や意欲的な人など魅力的な人が多い	その他	無回答
居住形態別	持ち家（一戸建て）	336	5.1	17.6	0.9	4.2	2.1	5.4
	持ち家（マンション）	426	2.8	22.8	0.2	2.1	2.8	6.6
	民間賃貸（一戸建て）	10	－	10.0	－	10.0	－	－
	民間賃貸（マンション）	197	2.0	25.9	2.5	5.6	4.6	5.1
	UR・公社（賃貸）	36	5.6	27.8	－	－	－	2.8
	府営・市営（賃貸）	55	9.1	14.5	－	1.8	1.8	5.5
	社宅・寮	21	－	19.0	4.8	－	4.8	4.8
	その他	16	12.5	18.8	－	－	12.5	－

家族構成別でみると、他に比べ、三世代（親と子と孫）で「交通の利便性」の割合が低くなっています。

図表４－７　吹田市の良いところ（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実	病院などの医療施設の充実
家族構成別	ひとり暮らし	182	70.3	41.8	4.9	0.5	15.4	33.0	30.2
	夫婦・パートナーのみ	330	70.3	43.6	8.2	0.6	18.8	33.3	40.3
	二世代（親と子）	530	64.9	38.5	30.9	2.1	18.1	32.3	32.8
	三世代（親と子と孫）	22	59.1	40.9	4.5	－	36.4	36.4	50.0
	その他	26	76.9	50.0	15.4	－	23.1	34.6	38.5

区分		有効回答数（件）	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	温かみがある人や意欲的な人など魅力的な人が多い	その他	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	182	4.9	25.3	1.6	4.9	3.3	4.4
	夫婦・パートナーのみ	330	3.9	16.1	0.9	2.7	2.7	6.4
	二世代（親と子）	530	2.8	23.8	0.8	3.0	2.8	5.3
	三世代（親と子と孫）	22	－	22.7	－	4.5	4.5	4.5
	その他	26	15.4	11.5	－	3.8	3.8	－

居住年数別でみると、他に比べ、30～40 年未満で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表４－８　吹田市の良いところ（居住年数別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実	病院などの医療施設の充実
居住年数別	１年未満	34	44.1	23.5	23.5	－	17.6	47.1	11.8
	１～５年未満	138	61.6	34.8	25.4	4.3	19.6	46.4	21.0
	５～10 年未満	119	67.2	48.7	29.4	－	15.1	25.2	30.3
	10～20 年未満	167	68.3	43.1	29.9	2.4	21.6	31.7	25.1
	20～30 年未満	204	69.1	36.8	17.6	1.5	20.1	32.4	33.8
	30～40 年未満	119	74.8	34.5	15.1	－	21.0	33.6	41.2
	40～50 年未満	159	66.7	46.5	8.8	－	11.9	34.6	45.9
	50 年以上	157	72.0	46.5	5.7	1.3	17.8	22.3	51.6

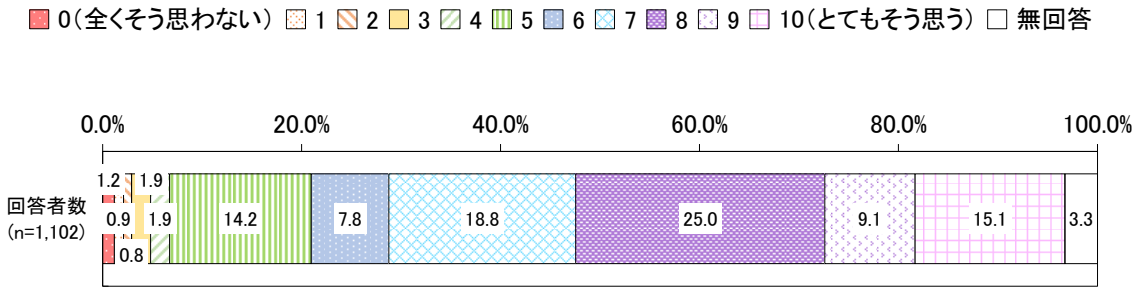
区分		有効回答数（件）	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	温かみがある人や意欲的な人など魅力的な人が多い	その他	無回答
居住年数別	１年未満	34	－	8.8	2.9	5.9	11.8	11.8
	１～５年未満	138	2.9	26.1	2.9	4.3	2.2	2.2
	５～10 年未満	119	－	23.5	0.8	3.4	2.5	6.7
	10～20 年未満	167	0.6	25.7	1.8	3.0	1.8	4.2
	20～30 年未満	204	3.9	24.5	0.5	3.4	3.4	5.4
	30～40 年未満	119	1.7	25.2	－	1.7	2.5	3.4
	40～50 年未満	159	6.9	19.5	－	1.9	4.4	5.0
	50 年以上	157	9.6	8.3	－	4.5	1.3	9.6

第５章　シティプロモーションの取組について

問 33　あなた自身は吹田市のことを友人や知人に「よいまちだ」とおすすめしたいと思いますか。（10 段階評価、１つだけ○印）

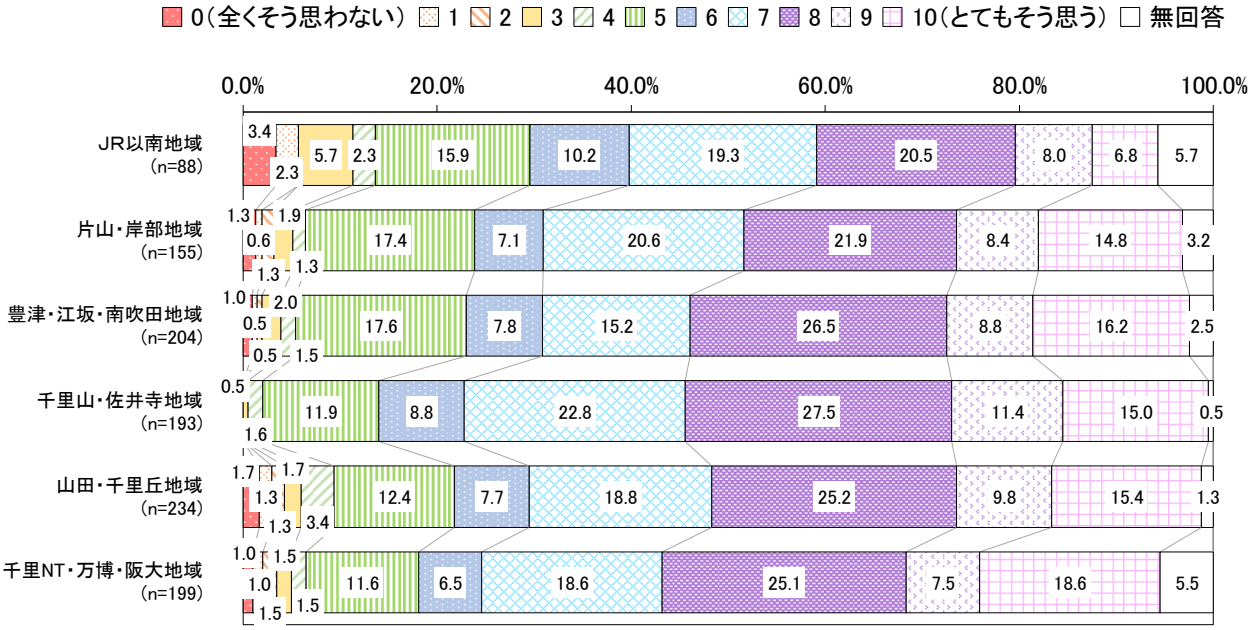
10 段階中「８」と答えた方が 25.0％と最も多く、期待値は「7.2」となっています。

図表５－１　吹田市のおすすめ度合（単純回答）



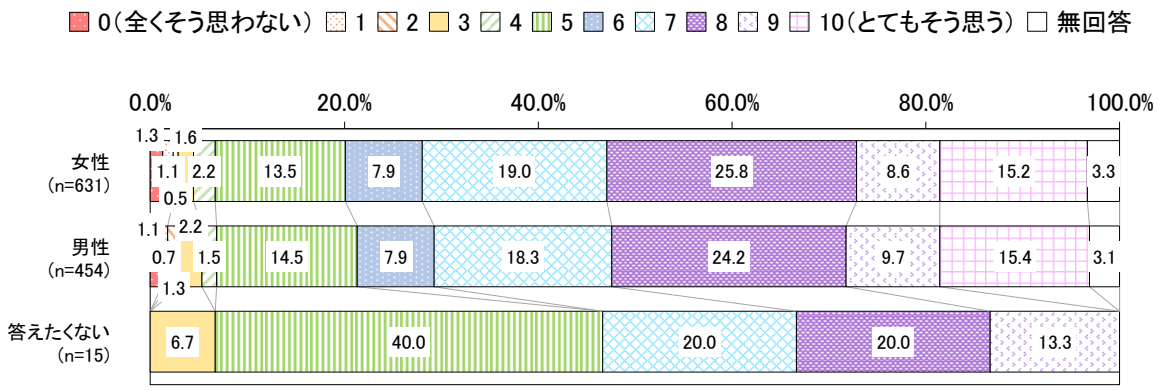
居住地域別の回答割合は以下のとおりです。また、千里山・佐井寺地域の期待値は「7.6」となり、最も平均満足度が高いことがわかります。

図表５－２　吹田市のおすすめ度合（居住地域別）



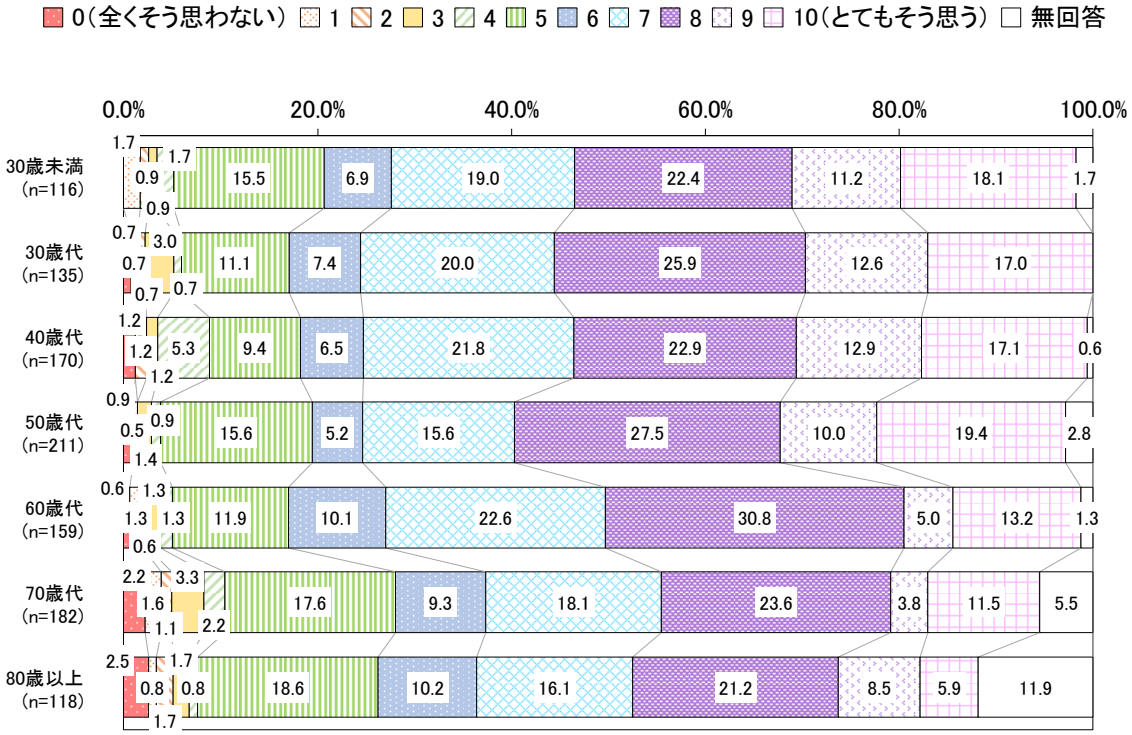
性別の回答割合は以下のとおりです。また、女性の期待値は「7.2」、男性の期待値は「7.2」となり、大きな差異は見られません。

図表５－３　吹田市のおすすめ度合（性別）



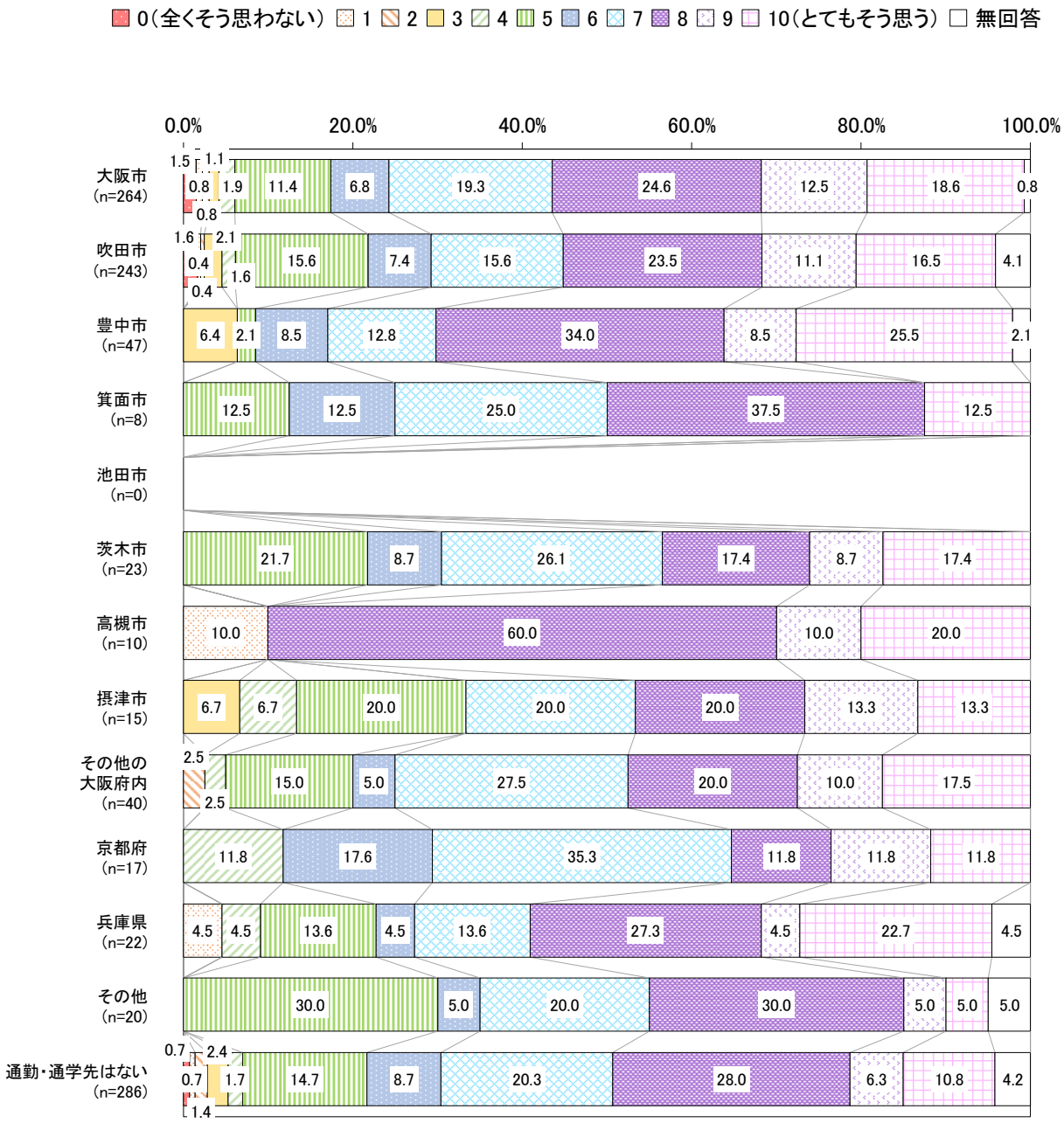
年齢別の回答割合は以下のとおりです。また、30 歳代、50 歳代の期待値は「7.5」となり、最も平均満足度が高いことがわかります。

図表５－４　吹田市のおすすめ度合（年齢別）



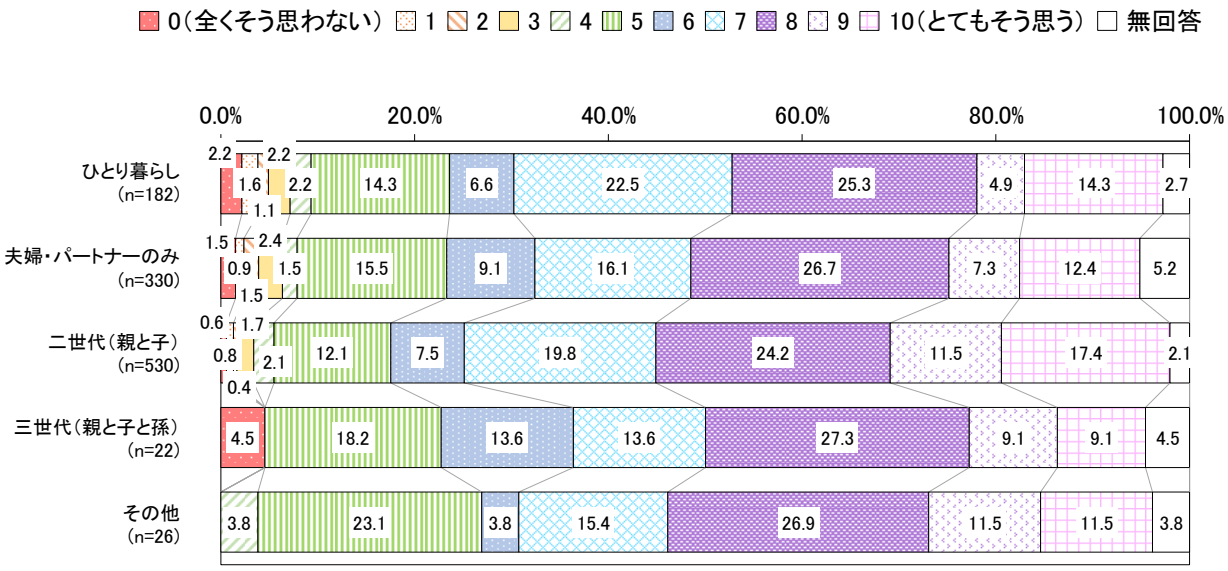
通勤地別の回答割合は以下のとおりです。また、豊中市に通う方の期待値は「7.9」となり、最も平均満足度が高いことがわかります。

図表５－５　吹田市のおすすめ度合（通勤地別）



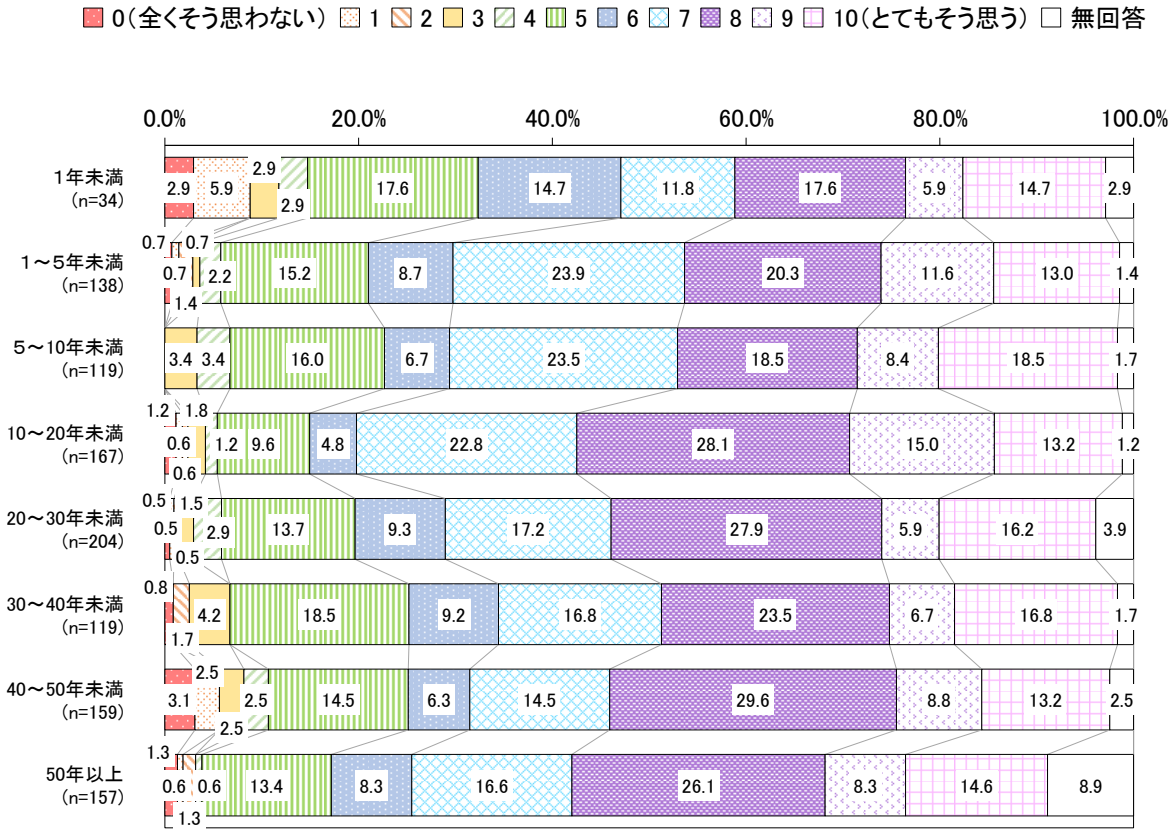
家族構成別の回答割合は以下のとおりです。また、二世代（親と子）の期待値は「7.5」となり、最も平均満足度が高いことがわかります。

図表５－６　吹田市のおすすめ度合（家族構成別）



居住年数別の回答割合は以下のとおりです。また、10～20 年未満の期待値は「7.5」となり、最も平均満足度が高いことがわかります。

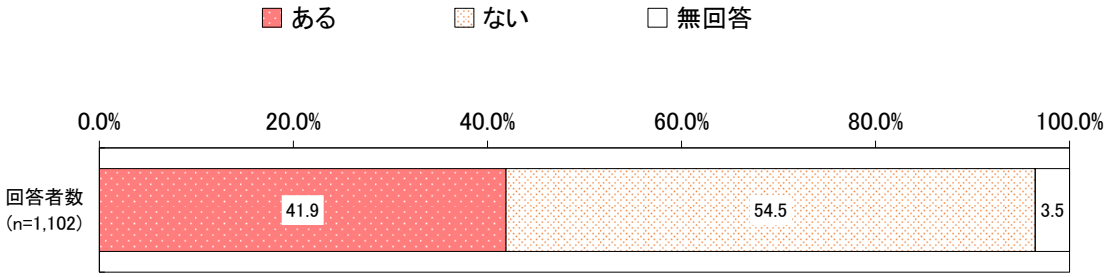
図表５－７　吹田市のおすすめ度合（居住年数別）



問 34　あなたは、吹田市のことを友人や知人等におすすめしたことはありますか。
（１つだけ○印）

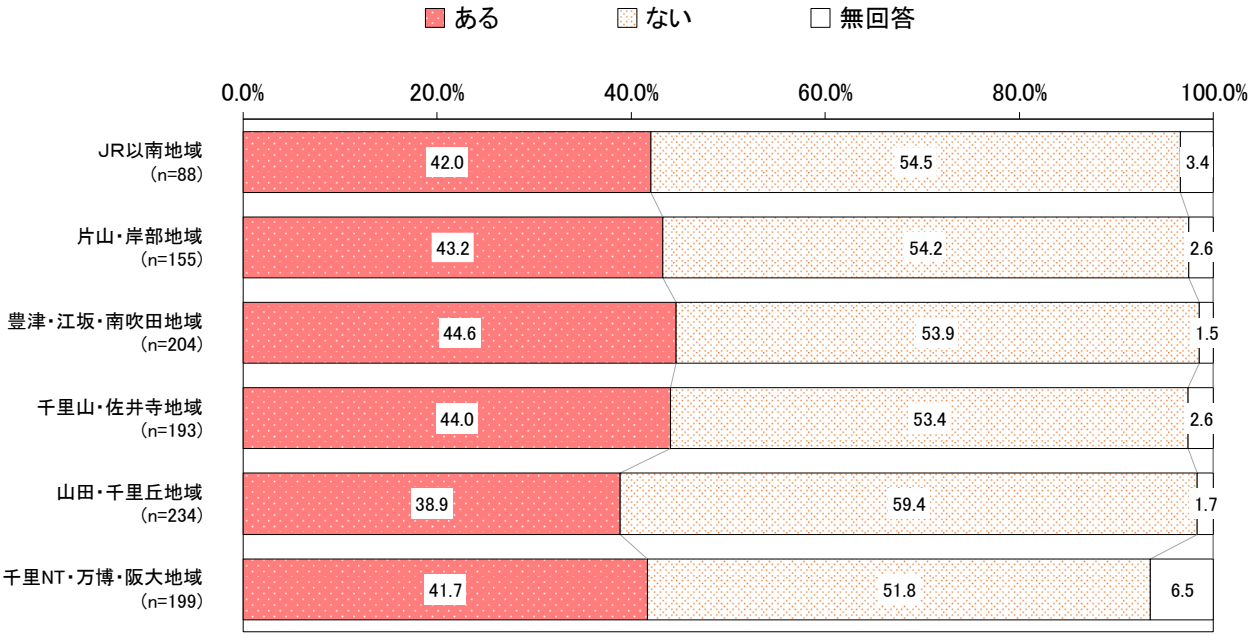
「ある」が 41.9%、「ない」が 54.5%でした。

図表５－８　吹田市を友人や知人にすすめた経験（単純回答）



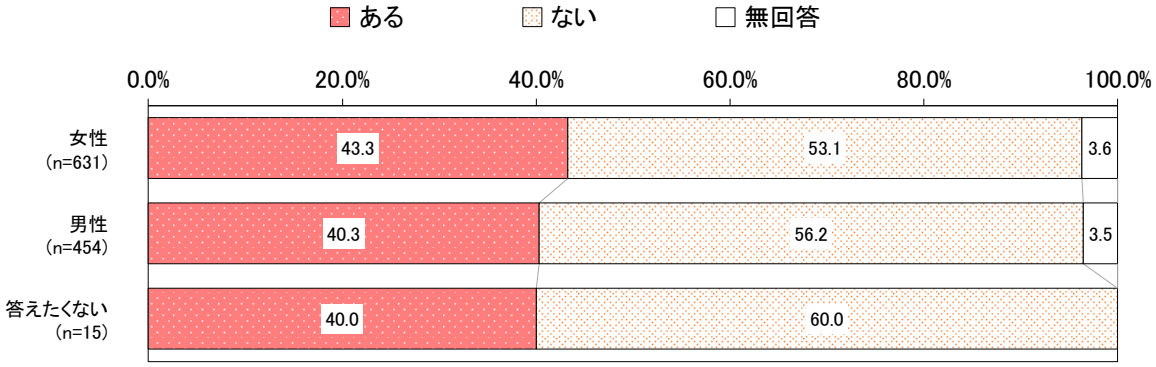
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表５－９　吹田市を友人や知人にすすめた経験（居住地域別）



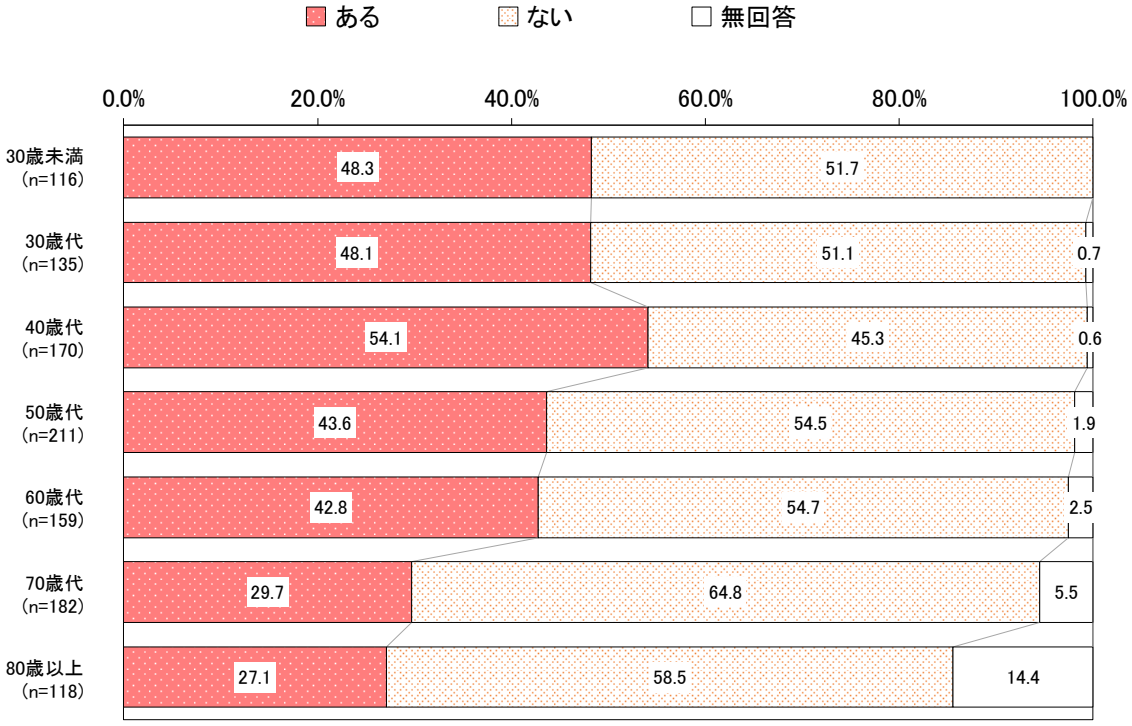
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表５－10　吹田市を友人や知人にすすめた経験（性別）



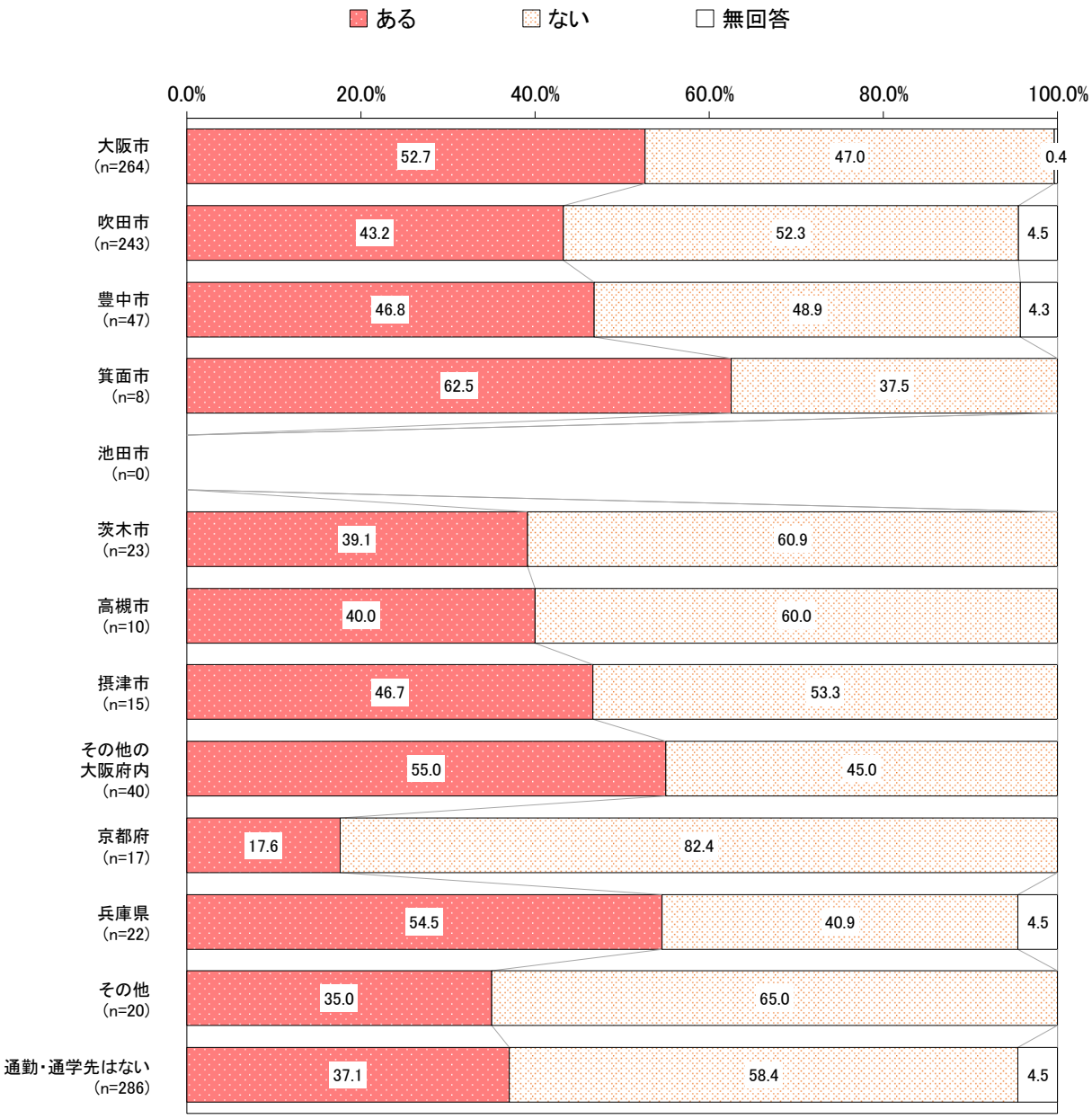
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表５－11　吹田市を友人や知人にすすめた経験（年齢別）



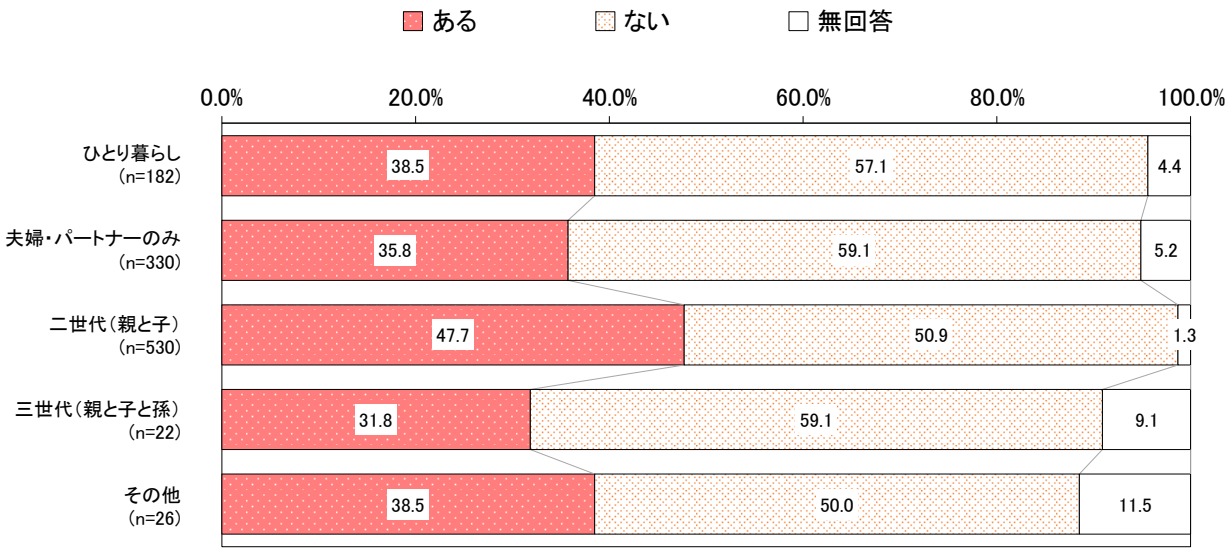
通勤地別でみると、他に比べ、箕面市で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表５－12　吹田市を友人や知人にすすめた経験（通勤地別）



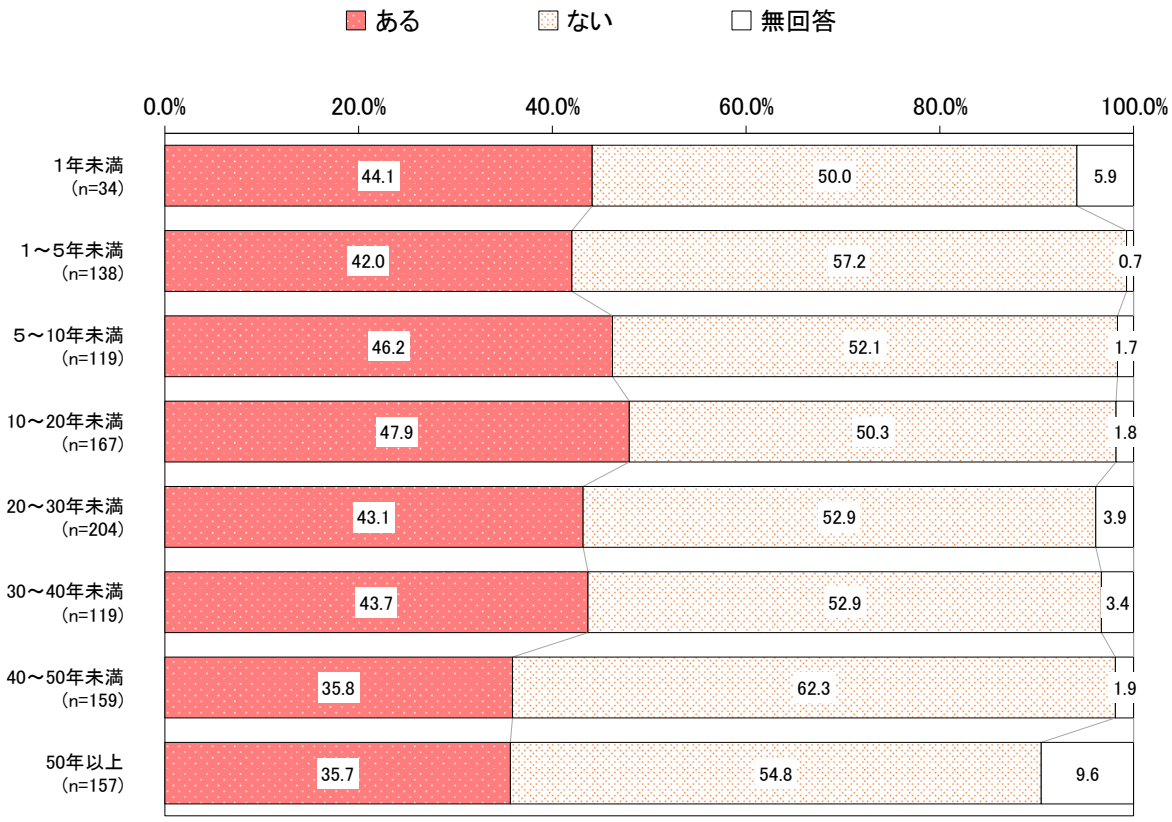
家族構成別でみると、他に比べ、二世代（親と子）で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表５－13　吹田市を友人や知人にすすめた経験（家族構成別）



居住年数別でみると、他に比べ、10～20 年未満で「ある」の割合が最も高くなっています。

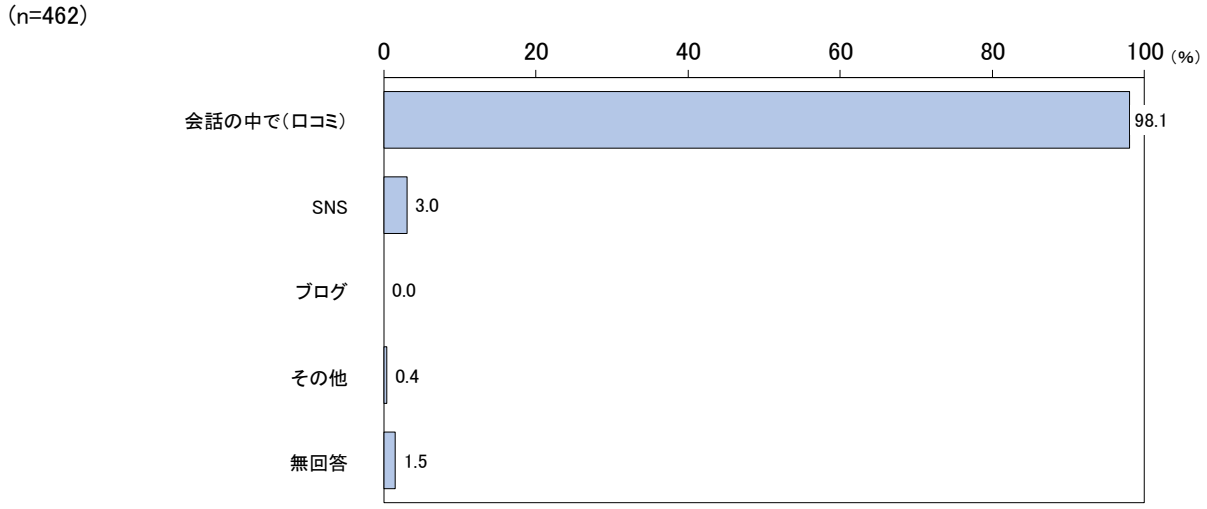
図表５－14　吹田市を友人や知人にすすめた経験（居住年数別）



問 34-1(1)　どのような手段を使っておすすめしましたか。（いくつでも）

「会話の中で（口コミ）」の割合が 98.1％と最も高く、次いで「SNS」の割合が 3.0％となっています。

図表５－15　吹田市をすすめた手段（単純回答）



居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表５－16　吹田市をすすめた手段（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	会話の中で（口コミ）	ＳＮＳ	ブログ	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	37	97.3	2.7	－	－	2.7
	片山・岸部地域	67	98.5	－	－	－	1.5
	豊津・江坂・南吹田地域	91	95.6	3.3	－	1.1	2.2
	千里山・佐井寺地域	85	98.8	4.7	－	1.2	1.2
	山田・千里丘地域	91	98.9	2.2	－	－	1.1
	千里NT・万博・阪大地域	83	100.0	4.8	－	－	－

性別でみると、大きな差異はみられません。

図表５－17　吹田市をすすめた手段（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	会話の中で（口コミ）	ＳＮＳ	ブログ	その他	無回答
性別	女性	273	97.8	3.3	－	0.4	1.5
	男性	183	98.4	2.7	－	0.5	1.6
	答えたくない	6	100.0	－	－	－	－

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

図表５－18　吹田市をすすめた手段（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	会話の中で（口コミ）	ＳＮＳ	ブログ	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	56	92.9	1.8	－	－	5.4
	30 歳代	65	98.5	3.1	－	－	1.5
	40 歳代	92	100.0	2.2	－	－	－
	50 歳代	92	100.0	4.3	－	－	－
	60 歳代	68	100.0	4.4	－	1.5	－
	70 歳代	54	100.0	3.7	－	－	－
	80 歳以上	32	93.8	－	－	－	6.3

通勤地別でみると、大きな差異はみられません。

図表５－19　吹田市をすすめた手段（通勤地別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	会話の中で（口コミ）	ＳＮＳ	ブログ	その他	無回答
通勤地別	大阪市	139	98.6	2.2	－	0.7	1.4
	吹田市	105	97.1	3.8	－	－	1.9
	豊中市	22	100.0	－	－	－	－
	箕面市	5	100.0	－	－	－	－
	池田市	0	－	－	－	－	－
	茨木市	9	100.0	11.1	－	－	－
	高槻市	4	100.0	－	－	－	－
	摂津市	7	100.0	－	－	－	－
	その他の大阪府内	22	100.0	4.5	－	－	－
	京都府	3	100.0	－	－	－	－
	兵庫県	12	91.7	－	－	－	8.3
	その他	7	100.0	－	－	－	－
	通勤・通学先はない	106	99.1	4.7	－	0.9	－

家族構成別でみると、大きな差異はみられません。

図表５－20　吹田市をすすめた手段（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	会話の中で（口コミ）	ＳＮＳ	ブログ	その他	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	70	95.7	2.9	－	1.4	2.9
	夫婦・パートナーのみ	118	100.0	3.4	－	－	－
	二世代（親と子）	253	98.4	2.8	－	－	1.6
	三世代（親と子と孫）	7	100.0	－	－	－	－
	その他	10	80.0	10.0	－	10.0	10.0

居住年数別でみると、大きな差異はみられません。

図表５－21　吹田市をすすめた手段（居住年数別）

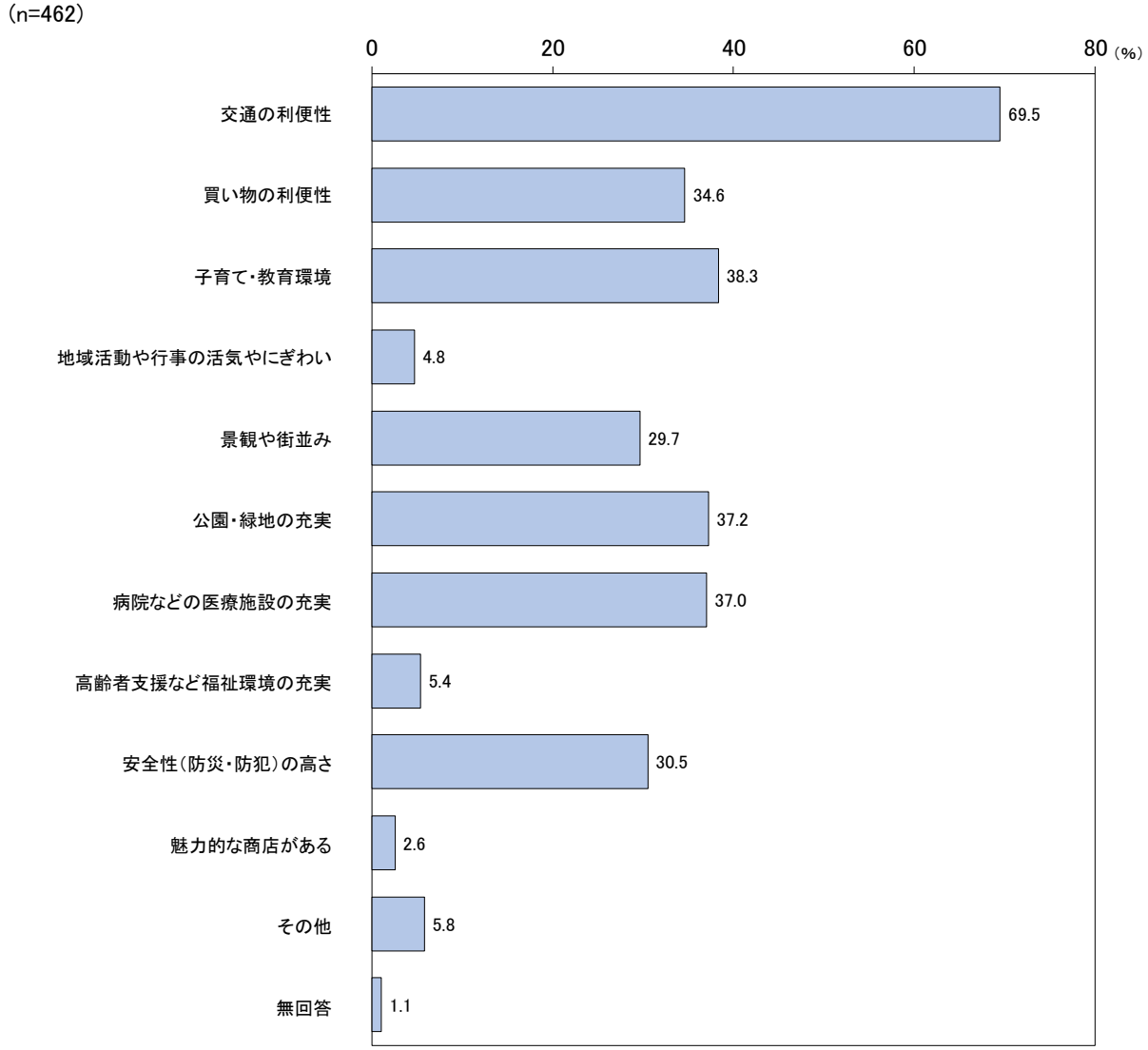
単位：％

区分		有効回答数（件）	会話の中で（口コミ）	ＳＮＳ	ブログ	その他	無回答
居住年数別	1年未満	15	80.0	－	－	－	20.0
	1～5年未満	58	100.0	－	－	－	－
	5～10 年未満	55	100.0	3.6	－	－	－
	10～20 年未満	80	100.0	3.8	－	－	－
	20～30 年未満	88	96.6	5.7	－	－	2.3
	30～40 年未満	52	98.1	3.8	－	－	1.9
	40～50 年未満	57	98.2	3.5	－	1.8	－
	50 年以上	56	98.2	－	－	1.8	1.8

問 34-1(2)　何をおすすめしましたか。（いくつでも）

「交通の利便性」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「子育て・教育環境」の割合が 38.3%、「公園・緑地の充実」の割合が 37.2%となっています。

図表５－22　おすすめした内容（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表５－23　おすすめした内容（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
居住地域別	JR以南地域	37	78.4	45.9	27.0	5.4	16.2	5.4
	片山・岸部地域	67	71.6	26.9	37.3	4.5	20.9	31.3
	豊津・江坂・南吹田地域	91	89.0	50.5	23.1	4.4	25.3	24.2
	千里山・佐井寺地域	85	57.6	24.7	43.5	3.5	32.9	38.8
	山田・千里丘地域	91	67.0	37.4	44.0	7.7	28.6	41.8
	千里NT・万博・阪大地域	83	59.0	26.5	51.8	3.6	47.0	65.1

区分		有効回答数（件）	病院などの医療施設の充実	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	37	48.6	21.6	29.7	2.7	10.8	2.7
	片山・岸部地域	67	40.3	3.0	26.9	4.5	1.5	3.0
	豊津・江坂・南吹田地域	91	29.7	3.3	20.9	2.2	8.8	1.1
	千里山・佐井寺地域	85	30.6	3.5	34.1	2.4	10.6	－
	山田・千里丘地域	91	42.9	2.2	33.0	3.3	3.3	1.1
	千里NT・万博・阪大地域	83	36.1	6.0	38.6	1.2	2.4	－

性別でみると、女性より男性の方が「交通の利便性」と答えています。

図表５－24　おすすめした内容（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
性別	女性	273	64.8	35.5	42.1	4.8	31.9	37.0
	男性	183	76.0	32.8	32.8	4.9	26.2	36.6
	答えたくない	6	83.3	50.0	33.3	－	33.3	66.7

区分		有効回答数（件）	病院などの医療施設の充実	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	その他	無回答
性別	女性	273	36.6	6.6	30.0	1.8	4.4	1.5
	男性	183	37.7	3.8	31.1	3.3	8.2	0.5
	答えたくない	6	33.3	－	33.3	16.7	－	－

年齢別でみると、他に比べ、50 歳代で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表５－25　おすすめした内容（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
年齢別	30 歳未満	56	58.9	32.1	25.0	7.1	28.6	35.7
	30 歳代	65	61.5	38.5	55.4	3.1	32.3	30.8
	40 歳代	92	66.3	25.0	53.3	3.3	26.1	38.0
	50 歳代	92	79.3	42.4	32.6	3.3	32.6	38.0
	60 歳代	68	72.1	30.9	36.8	5.9	36.8	38.2
	70 歳代	54	74.1	40.7	27.8	3.7	24.1	48.1
	80 歳以上	32	68.8	31.3	21.9	12.5	21.9	31.3

区分		有効回答数（件）	病院などの医療施設の充実	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	56	17.9	5.4	41.1	7.1	3.6	7.1
	30 歳代	65	15.4	－	33.8	3.1	9.2	1.5
	40 歳代	92	29.3	1.1	32.6	3.3	6.5	－
	50 歳代	92	33.7	3.3	22.8	1.1	7.6	－
	60 歳代	68	54.4	2.9	20.6	1.5	4.4	－
	70 歳代	54	64.8	14.8	29.6	1.9	3.7	－
	80 歳以上	32	59.4	25.0	43.8	－	3.1	－

職業別でみると、以下のとおりです。

図表５－26　おすすめした内容（職業別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
職業別	常時雇用者	193	70.5	31.1	40.4	3.1	27.5	34.2
	臨時雇用者	81	70.4	43.2	58.0	2.5	38.3	42.0
	派遣社員	5	80.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	内職	1	100.0	100.0	－	－	－	100.0
	自営業者、自由業者	21	81.0	33.3	28.6	4.8	9.5	38.1
	家族従業者	2	100.0	50.0	－	－	50.0	50.0
	経営者、重役、役員	11	81.8	45.5	36.4	18.2	45.5	54.5
	学生	18	55.6	38.9	38.9	11.1	27.8	50.0
	専業主婦・主夫	66	66.7	36.4	27.3	4.5	28.8	39.4
	無職	61	62.3	27.9	24.6	8.2	32.8	32.8

区分		有効回答数（件）	病院などの医療施設の充実	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	その他	無回答
職業別	常時雇用者	193	25.9	1.6	30.6	2.1	9.3	2.1
	臨時雇用者	81	38.3	3.7	22.2	2.5	－	－
	派遣社員	5	60.0	－	20.0	－	20.0	－
	内職	1	－	－	－	－	－	－
	自営業者、自由業者	21	28.6	－	38.1	4.8	4.8	－
	家族従業者	2	50.0	－	－	－	－	－
	経営者、重役、役員	11	9.1	－	18.2	－	－	－
	学生	18	33.3	16.7	61.1	22.2	－	5.6
	専業主婦・主夫	66	47.0	12.1	30.3	1.5	6.1	－
	無職	61	67.2	11.5	34.4	－	4.9	－

居住形態別でみると、他に比べ、社宅・寮で「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表５－27　おすすめした内容（居住形態別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
居住形態別	持ち家（一戸建て）	142	70.4	35.2	41.5	6.3	24.6	33.1
	持ち家（マンション）	181	69.1	29.8	42.0	4.4	34.3	43.1
	民間賃貸（一戸建て）	7	57.1	42.9	57.1	－	42.9	28.6
	民間賃貸（マンション）	83	73.5	41.0	27.7	3.6	30.1	27.7
	UR・公社（賃貸）	11	54.5	54.5	36.4	－	27.3	81.8
	府営・市営（賃貸）	19	63.2	36.8	31.6	10.5	26.3	52.6
	社宅・寮	9	77.8	33.3	22.2	－	11.1	22.2
	その他	7	57.1	14.3	28.6	－	28.6	14.3

区分		有効回答数（件）	病院などの医療施設の充実	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	その他	無回答
居住形態別	持ち家（一戸建て）	142	37.3	7.0	27.5	2.8	3.5	0.7
	持ち家（マンション）	181	35.4	2.8	30.4	3.3	6.6	0.6
	民間賃貸（一戸建て）	7	42.9	－	14.3	－	－	－
	民間賃貸（マンション）	83	26.5	4.8	36.1	1.2	9.6	2.4
	UR・公社（賃貸）	11	72.7	18.2	27.3	－	－	－
	府営・市営（賃貸）	19	78.9	21.1	26.3	5.3	－	－
	社宅・寮	9	11.1	－	44.4	－	22.2	－
	その他	7	42.9	－	28.6	－	－	14.3

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦・パートナーのみで「交通の利便性」の割合が最も高くなっています。

図表５－28　おすすめした内容（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
家族構成別	ひとり暮らし	70	64.3	34.3	14.3	－	30.0	34.3
	夫婦・パートナーのみ	118	74.6	35.6	26.3	7.6	32.2	39.8
	二世代（親と子）	253	68.4	34.8	49.8	4.7	28.5	37.5
	三世代（親と子と孫）	7	42.9	14.3	71.4	－	42.9	42.9
	その他	10	80.0	30.0	30.0	－	20.0	20.0

区分		有効回答数（件）	病院などの医療施設の充実	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	その他	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	70	37.1	11.4	37.1	1.4	2.9	2.9
	夫婦・パートナーのみ	118	48.3	7.6	28.0	3.4	9.3	－
	二世代（親と子）	253	31.2	2.0	30.4	2.8	5.5	1.2
	三世代（親と子と孫）	7	42.9	－	14.3	－	－	－
	その他	10	40.0	20.0	30.0	－	－	－

居住年数が１年以上経過すると「交通の利便性」に対する評価が、高止まりしています。

図表５－29　おすすめした内容（居住年数別）

単位：％

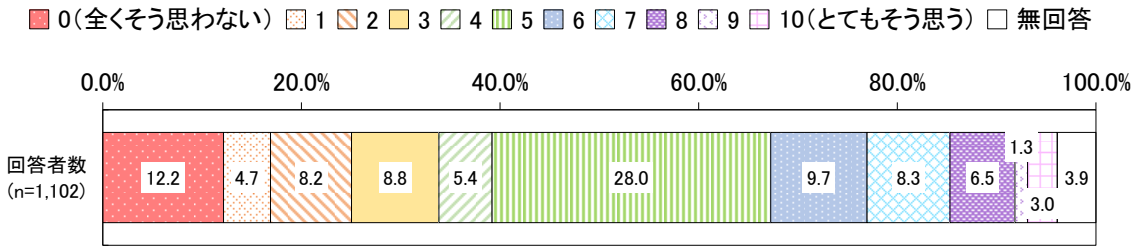
区分		有効回答数（件）	交通の利便性	買い物の利便性	子育て・教育環境	地域活動や行事の活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
居住年数別	1年未満	15	33.3	6.7	20.0	－	40.0	60.0
	1～5年未満	58	58.6	31.0	43.1	3.4	29.3	39.7
	5～10 年未満	55	60.0	38.2	43.6	3.6	25.5	25.5
	10～20 年未満	80	75.0	38.8	43.8	5.0	23.8	31.3
	20～30 年未満	88	71.6	30.7	35.2	5.7	34.1	33.0
	30～40 年未満	52	71.2	30.8	50.0	1.9	44.2	46.2
	40～50 年未満	57	77.2	35.1	28.1	8.8	24.6	49.1
	50 年以上	56	78.6	44.6	28.6	5.4	25.0	35.7

区分		有効回答数（件）	病院などの医療施設の充実	高齢者支援など福祉環境の充実	安全性（防災・防犯）の高さ	魅力的な商店がある	その他	無回答
居住年数別	1年未満	15	26.7	－	26.7	6.7	6.7	13.3
	1～5年未満	58	10.3	3.4	37.9	－	5.2	1.7
	5～10 年未満	55	23.6	－	32.7	7.3	16.4	－
	10～20 年未満	80	23.8	2.5	32.5	2.5	3.8	－
	20～30 年未満	88	36.4	4.5	25.0	2.3	3.4	2.3
	30～40 年未満	52	48.1	1.9	34.6	1.9	7.7	－
	40～50 年未満	57	64.9	14.0	22.8	1.8	3.5	－
	50 年以上	56	60.7	14.3	30.4	1.8	3.6	－

問 35　あなたは、清掃、見守り活動やイベントなど地域を良くしよう・盛り上げようとするための取組や活動に参加したいと思いますか。
（10 段階評価、１つだけ〇印）

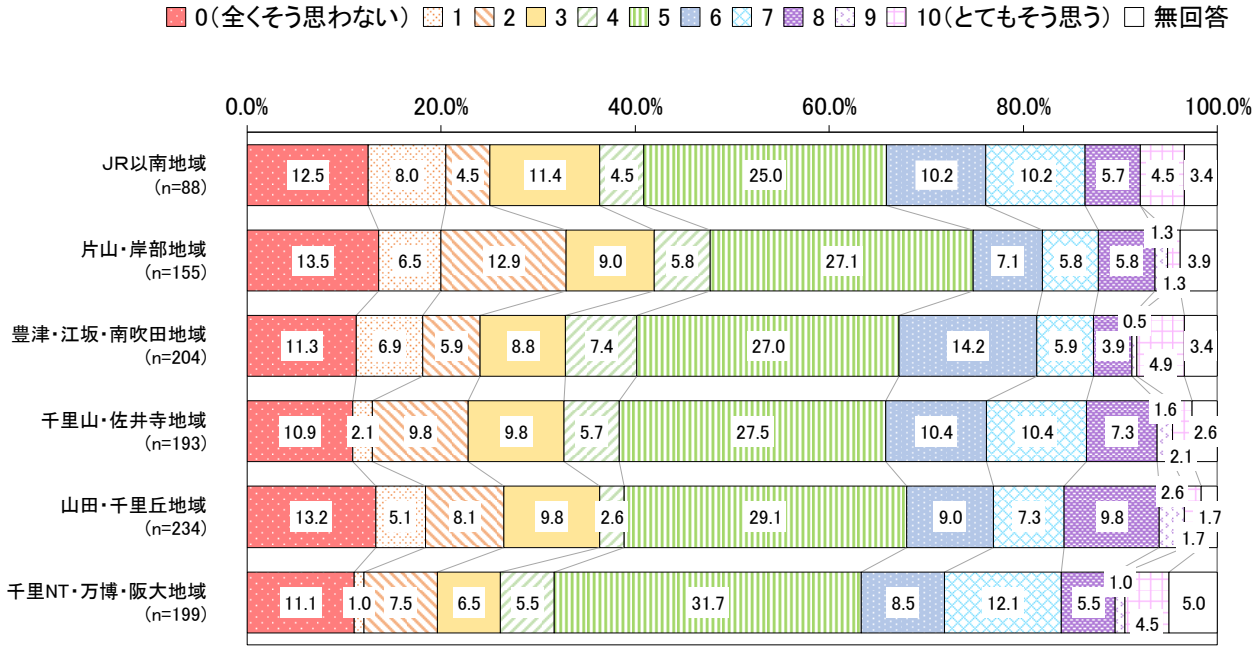
10 段階中「５」と答えた方が 28.0％と最も多く、期待値は「4.4」となっています。

図表５－30　地域の活動やイベントへの参加意向（単純回答）



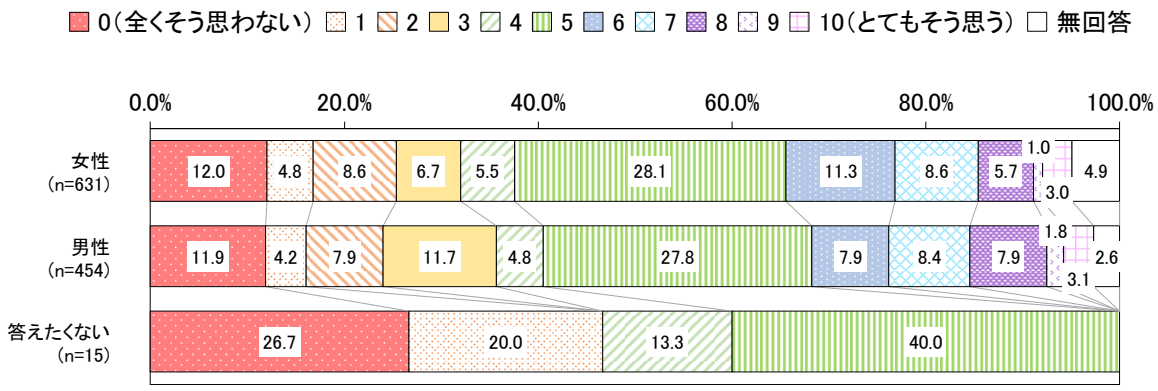
居住地域別の回答割合は以下のとおりです。また、千里ＮＴ・万博・阪大の期待値は「4.7」となり、最も平均志向が高いことがわかります。

図表５－31　地域の活動やイベントへの参加意向（居住地域別）



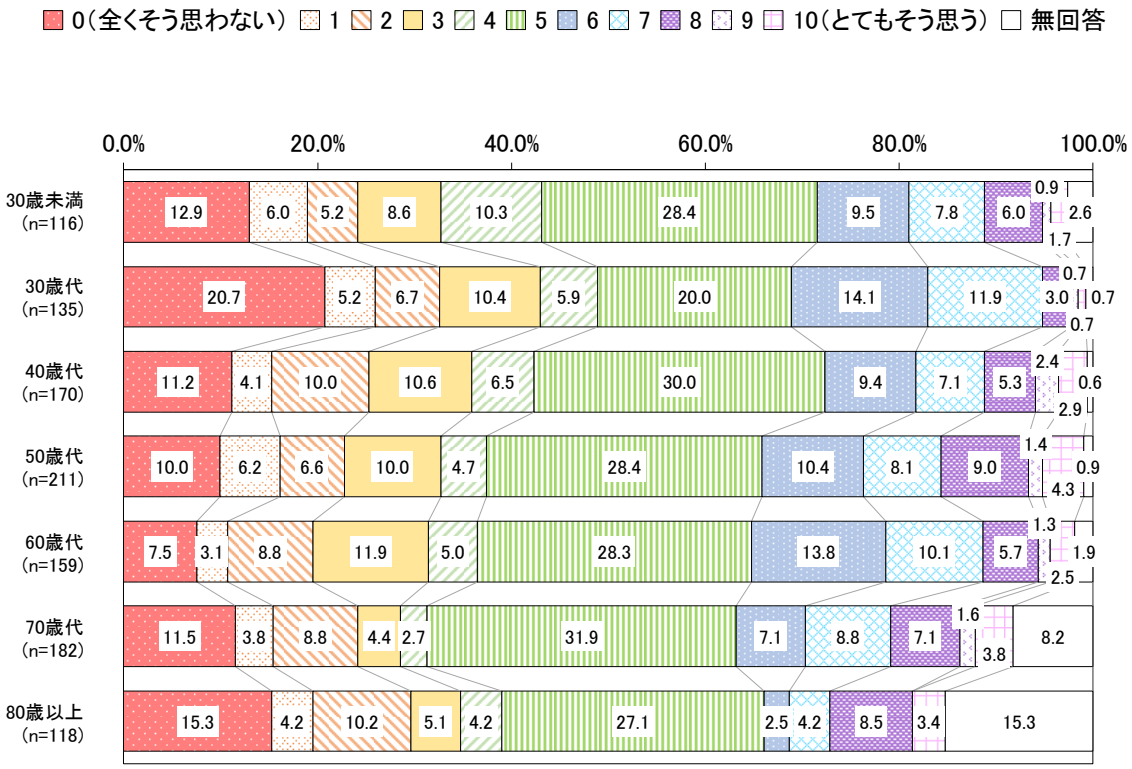
性別の回答割合は以下のとおりです。また、女性の期待値は「4.4」、男性の期待値は「4.4」となり、大きな差異は見られません。

図表５－32　地域の活動やイベントへの参加意向（性別）



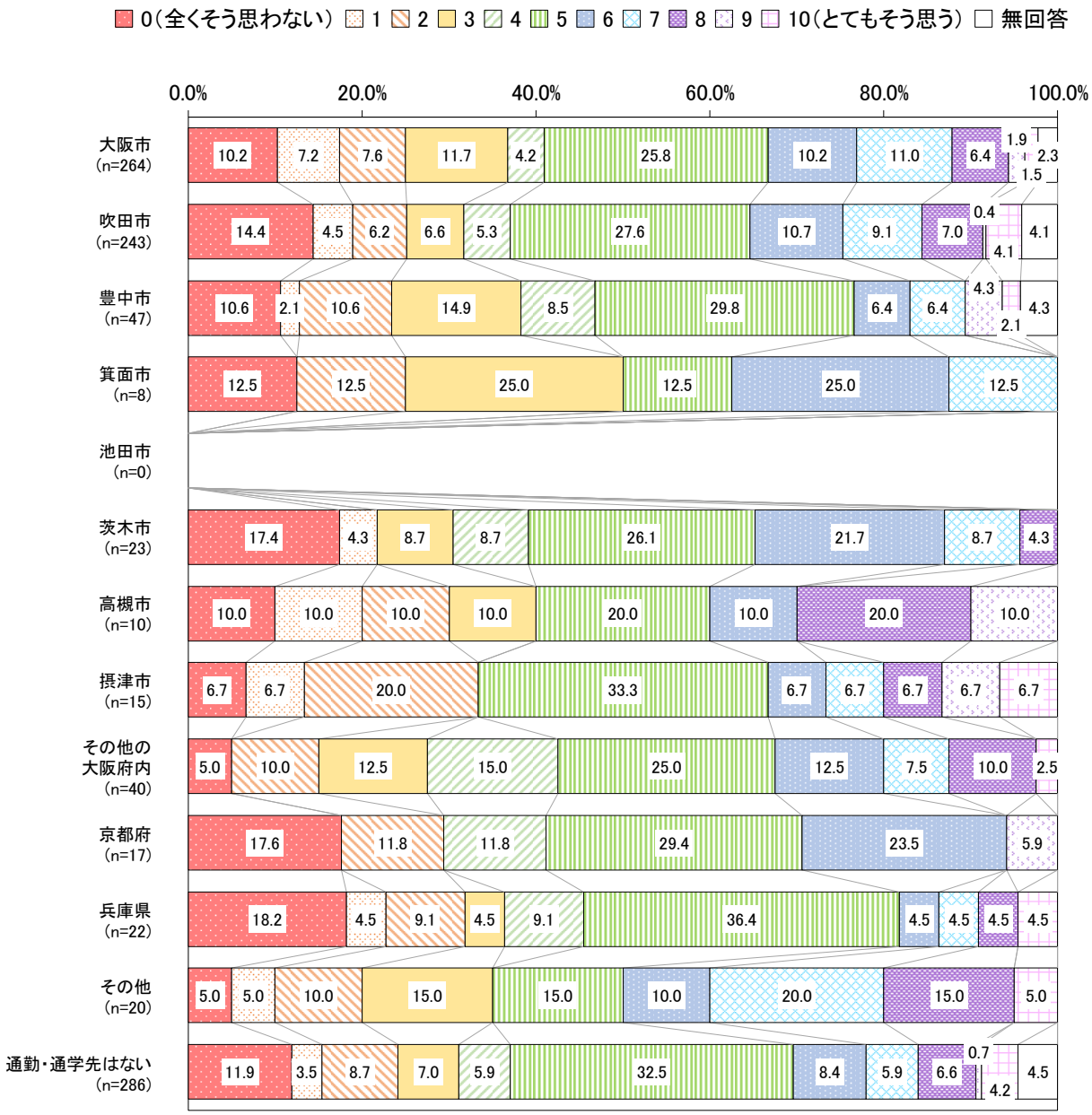
年齢別の回答割合は以下のとおりです。また、50 歳代、60 歳代、70 歳代の期待値は「4.6」となり、平均志向が高いことがわかります。

図表５－33　地域の活動やイベントへの参加意向（年齢別）



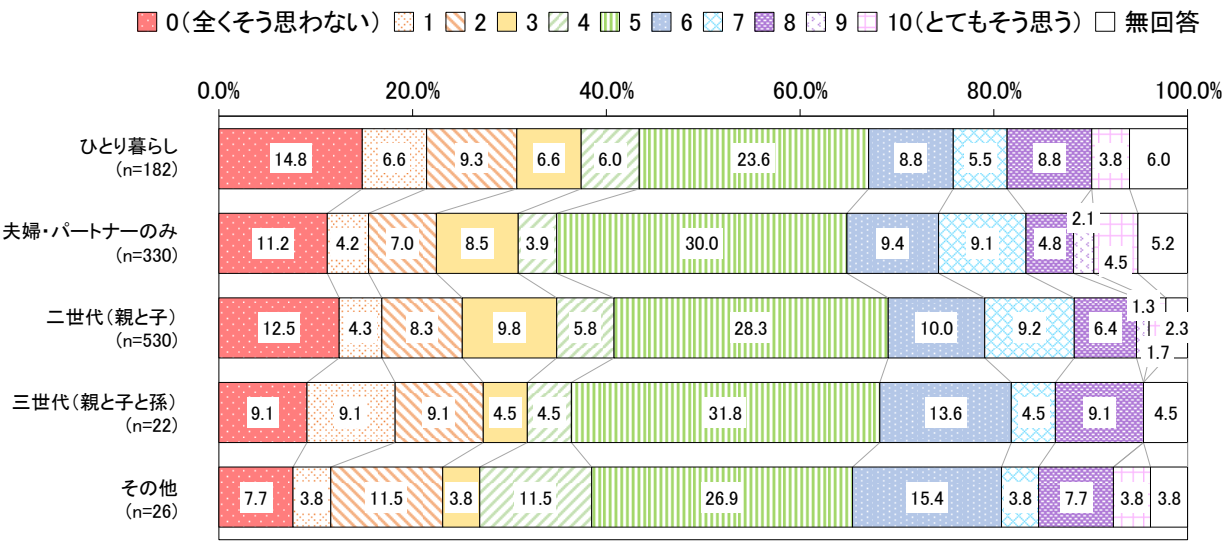
通勤地別の回答割合は以下のとおりです。また、その他の地域に通う方の期待値は「5.2」となり、最も平均志向が高いことがわかります。

図表５－34　地域の活動やイベントへの参加意向（通勤地別）



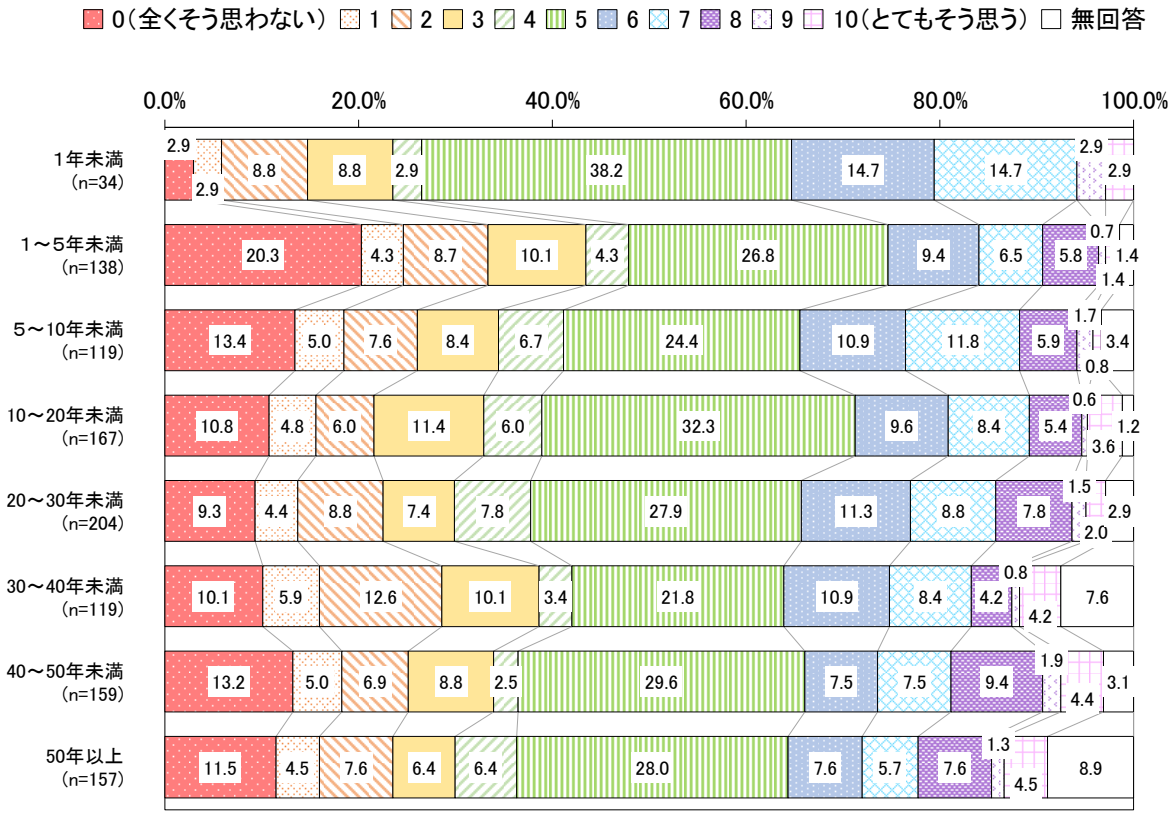
家族構成別の回答割合は以下のとおりです。また、夫婦・パートナーのみ、その他の期待値は「4.6」となり、平均志向が高いことがわかります。

図表５－35　地域の活動やイベントへの参加意向（家族構成別）



居住年数別の回答割合は以下のとおりです。また、１年未満の期待値は「5.0」となり、最も平均志向が高いことがわかります。

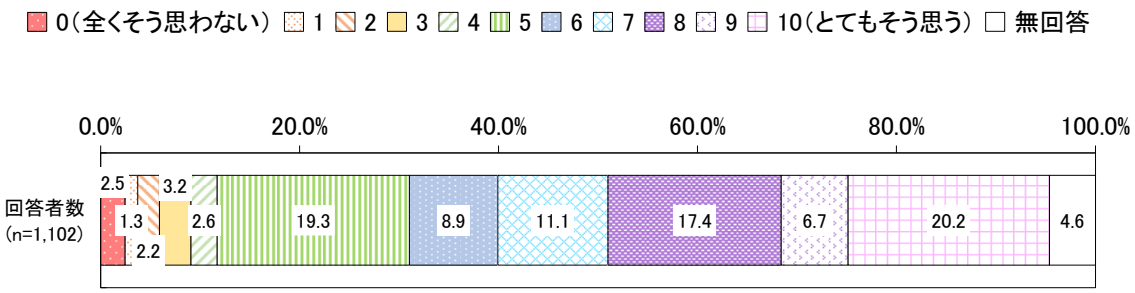
図表５－36　地域の活動やイベントへの参加意向（居住年数別）



問 36　あなたは、清掃、見守り活動やイベントなど地域を良くしよう・盛り上げようとする取組等に実際に参加しなくとも、それらに対して、感謝の気持ちを表現・発信したり、できる範囲で応援したりしたいと思いますか。
（10 段階評価、１つだけ〇印）

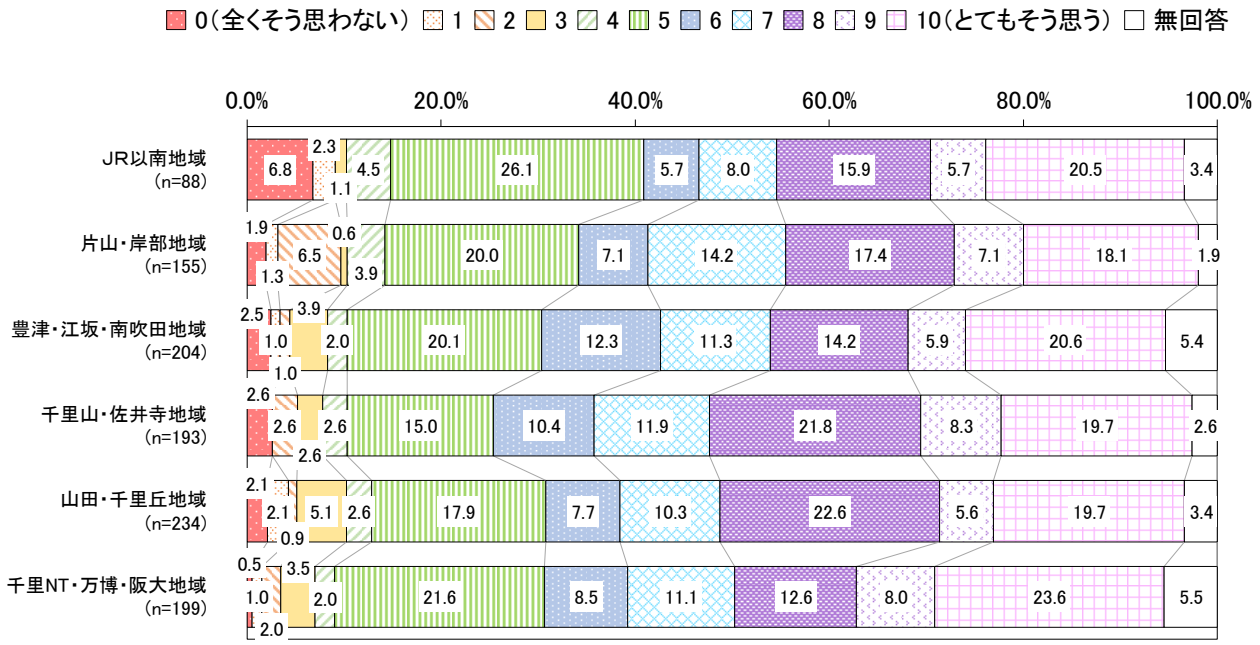
10 段階中「10」と答えた方が 20.2%と最も多く、期待値は「6.9」となっています。

図表５－37　地域の活動やイベントへの感謝・応援したい気持ちの度合（単純回答）



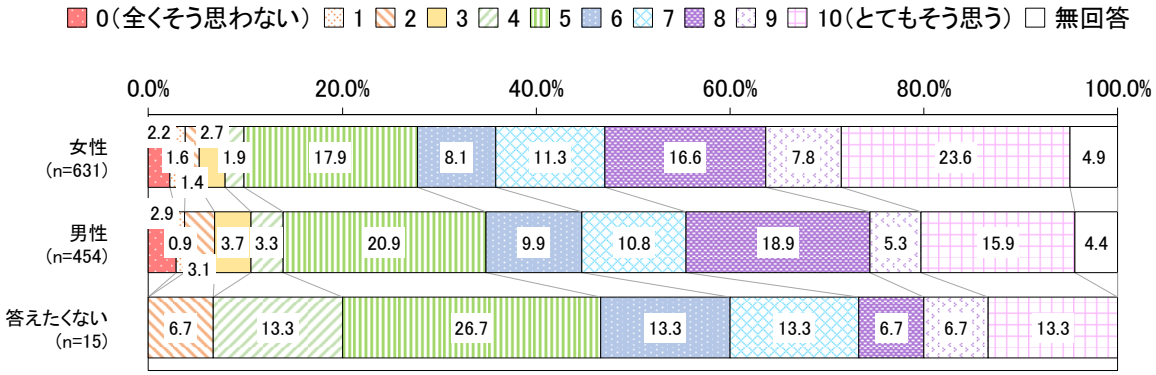
居住地域別の回答割合は以下のとおりです。また、千里山・佐井寺地域と千里ＮＴ・万博・阪大地域の期待値は「7.1」となり、最も平均志向が高いことがわかります。

図表５－38　地域の活動やイベントへの感謝・応援したい気持ちの度合（居住地域別）



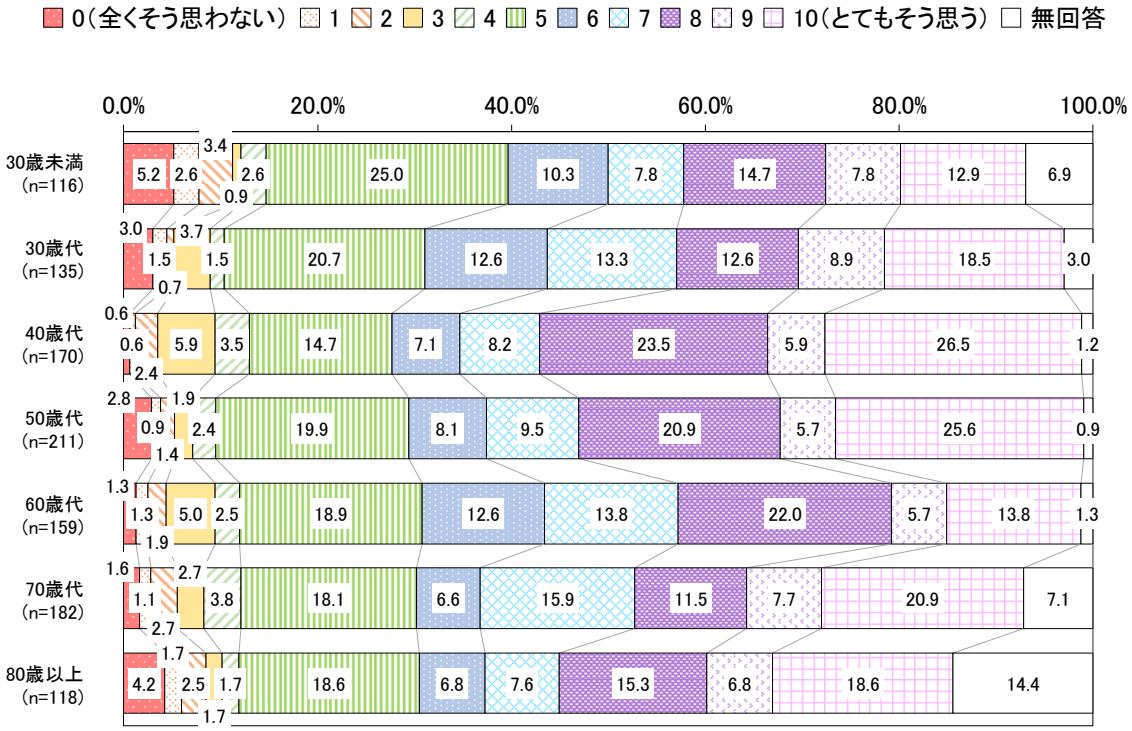
性別の回答割合は以下のとおりです。また、女性の期待値は「7.1」となり、より平均志向が高いことがわかります。

図表５－39　地域の活動やイベントへの感謝・応援したい気持ちの度合（性別）



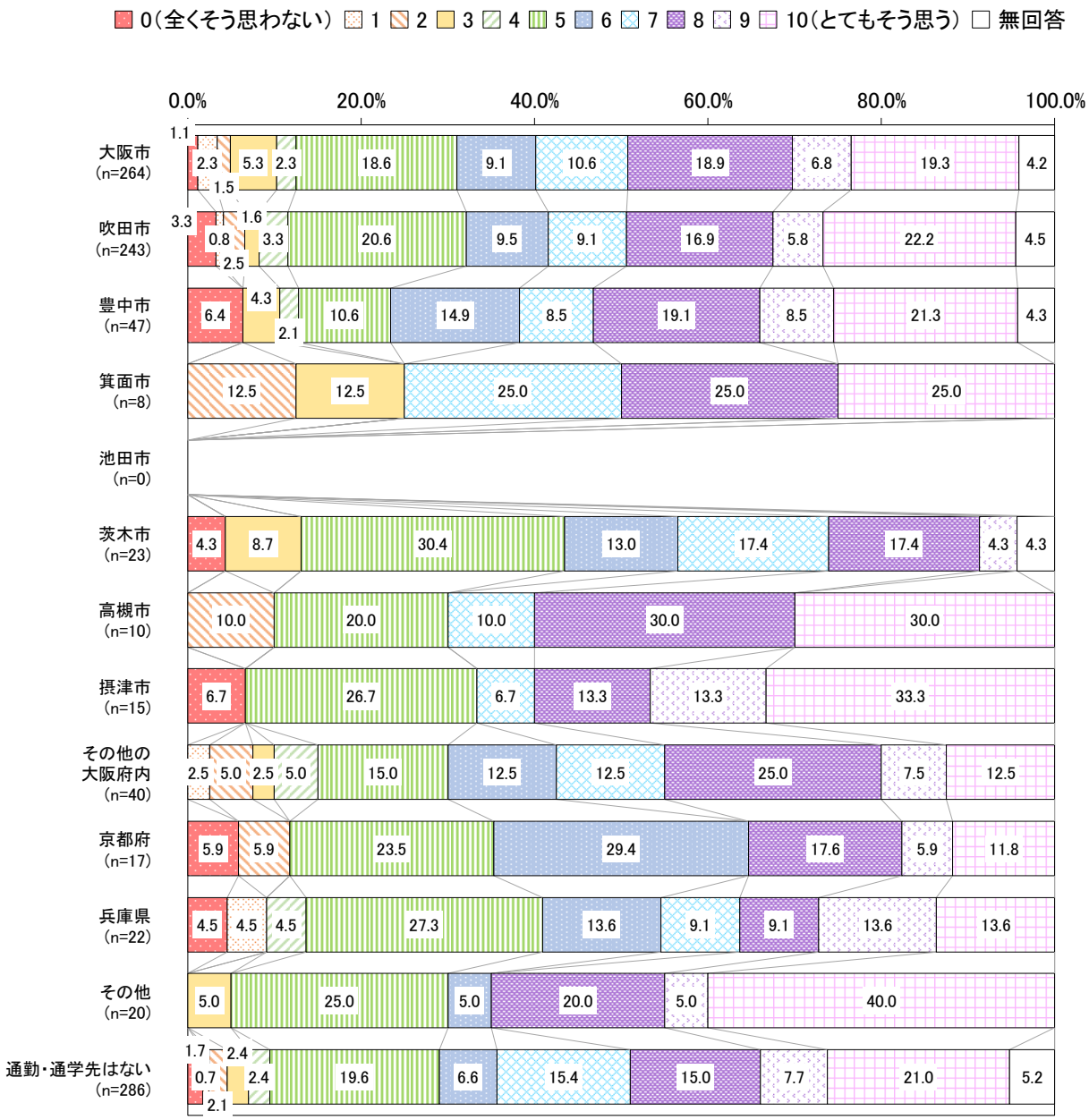
年齢別の回答割合は以下のとおりです。また、40 歳代の期待値は「7.3」となり、最も平均志向が高いことがわかります。

図表５－40　地域の活動やイベントへの感謝・応援したい気持ちの度合（年齢別）



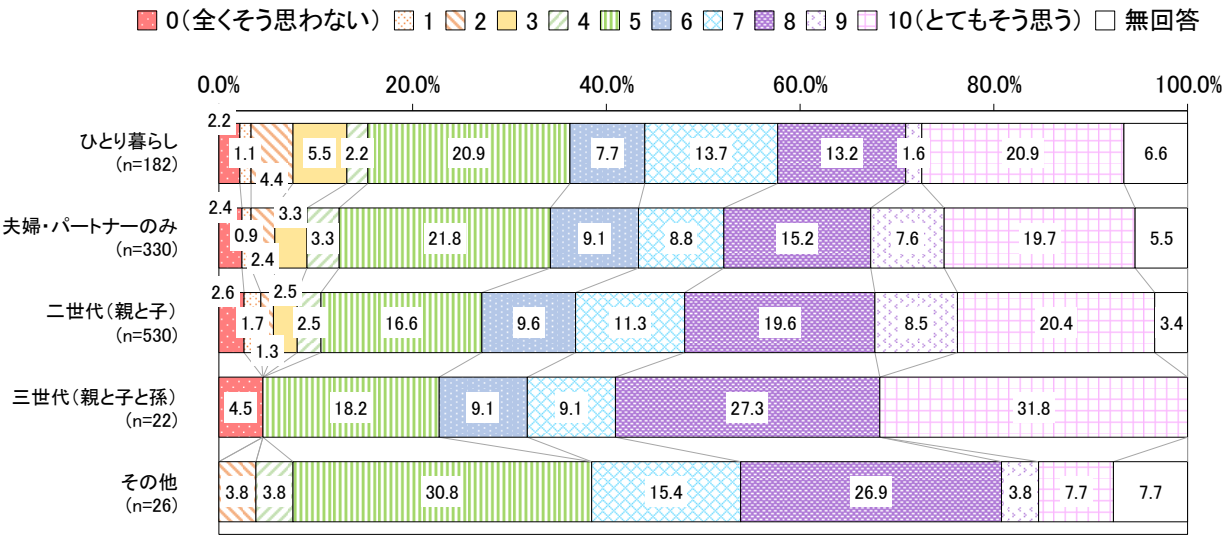
通勤地別の回答割合は以下のとおりです。また、その他の地域に通う方の期待値は「7.8」となり、最も平均志向が高いことがわかります。

図表５－41　地域の活動やイベントへの感謝・応援したい気持ちの度合（通勤地別）



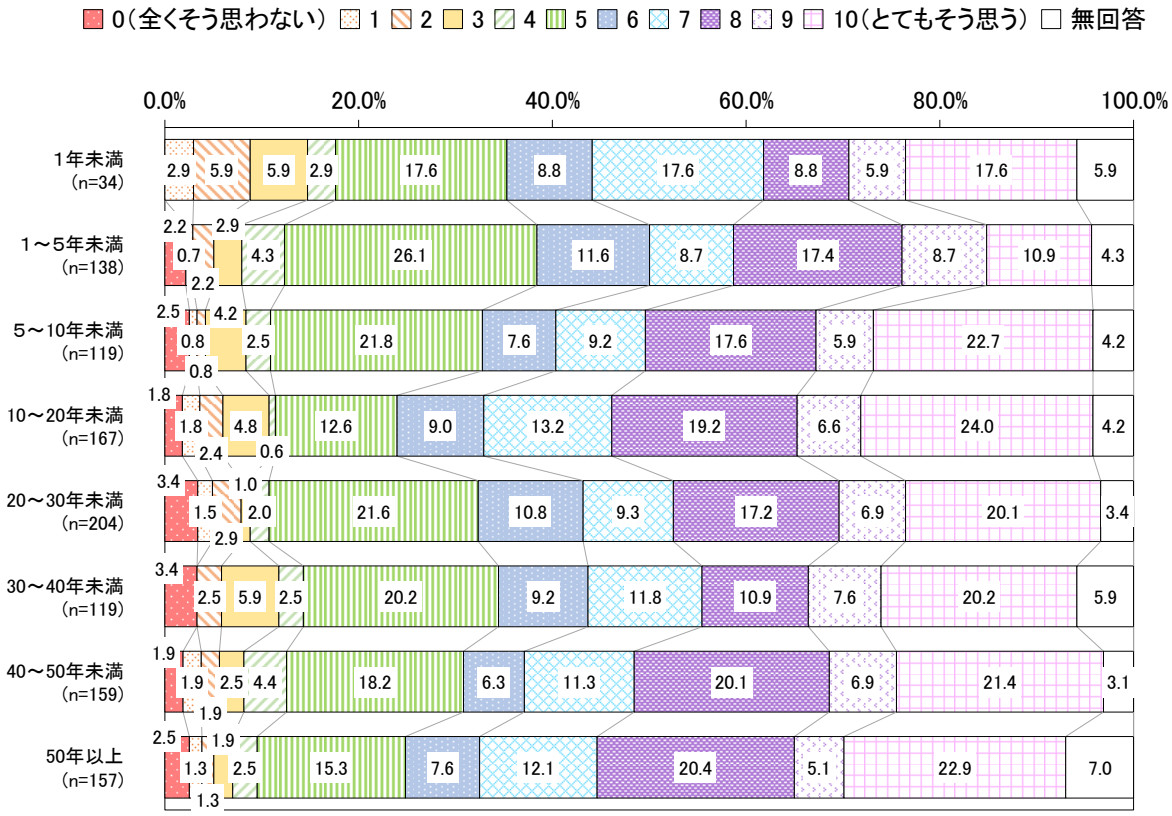
家族構成別の回答割合は以下のとおりです。また、三世代（親と子と孫）の期待値は「7.5」となり、最も平均志向が高いことがわかります。

図表５－42　地域の活動やイベントへの感謝・応援したい気持ちの度合（家族構成別）



居住年数別の回答割合は以下のとおりです。また、50 年以上の期待値は「7.2」となり、最も平均志向が高いことがわかります。

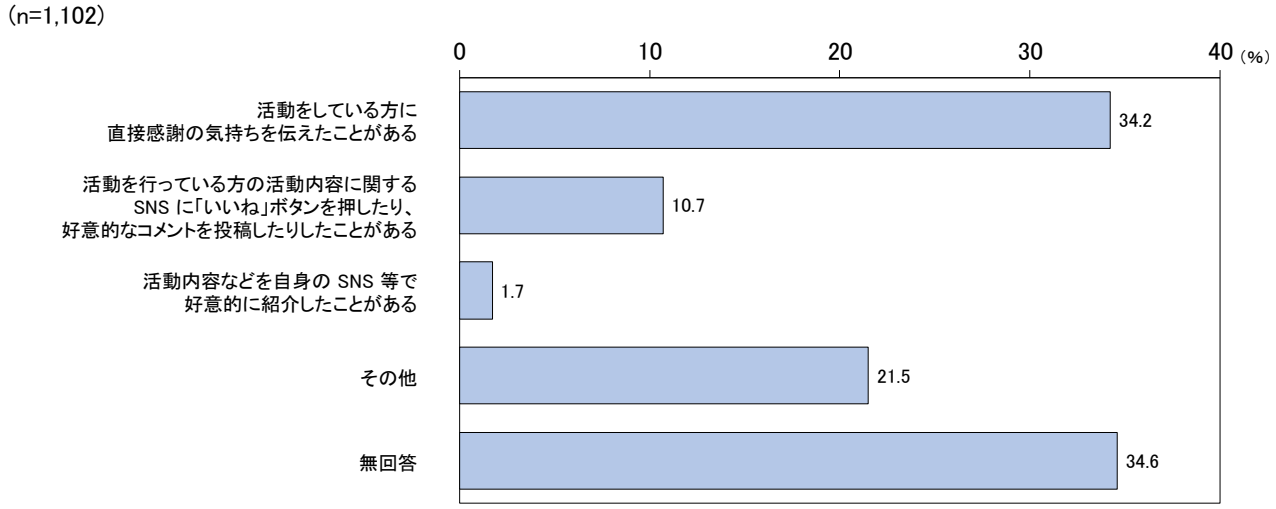
図表５－43　地域の活動やイベントへの感謝・応援したい気持ちの度合（居住年数別）



問 37　あなたは、地域を良くしよう、盛り上げようという活動を行っている方へ感謝の気持ちを表現・発信したことがありますか。（いくつでも）

「活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「活動を行っている方の活動内容に関する SNS に「いいね」ボタンを押したり、好意的なコメントを投稿したりしたことがある」の割合が 10.7%、「活動内容などを自身の SNS 等で好意的に紹介したことがある」の割合が 1.7%となっています。

図表５－44　地域に貢献している方に対して感謝の有無（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、千里ＮＴ・万博・阪大地域で「活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある」の割合が最も高くなっています。

図表５－45　地域に貢献している方に対して感謝の有無（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある	活動内容に関するＳＮＳに好意的なコメントを投稿したことがある	活動内容などを自身のＳＮＳ等で好意的に紹介したことがある	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	31.8	9.1	3.4	22.7	39.8
	片山・岸部地域	155	34.8	13.5	1.3	23.2	30.3
	豊津・江坂・南吹田地域	204	25.0	11.8	1.0	24.5	38.7
	千里山・佐井寺地域	193	33.2	12.4	1.0	20.7	34.2
	山田・千里丘地域	234	38.9	8.1	2.1	22.6	32.5
	千里NT・万博・阪大地域	199	40.2	10.6	2.5	17.6	31.2

性別でみると、男性より女性の方が「活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある」と答えています。

図表５－46　地域に貢献している方に対して感謝の有無（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある	活動内容に関するＳＮＳに好意的なコメントを投稿したことがある	活動内容などを自身のＳＮＳ等で好意的に紹介したことがある	その他	無回答
性別	女性	631	36.8	10.1	0.6	20.0	35.2
	男性	454	30.4	11.5	3.3	23.1	34.4
	答えたくない	15	40.0	13.3	－	40.0	13.3

年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある」の割合が最も高くなっています。

図表５－47　地域に貢献している方に対して感謝の有無（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある	活動内容に関するＳＮＳに好意的なコメントを投稿したことがある	活動内容などを自身のＳＮＳ等で好意的に紹介したことがある	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	20.7	19.8	1.7	21.6	37.9
	30 歳代	135	16.3	20.7	3.7	21.5	38.5
	40 歳代	170	28.2	13.5	0.6	27.1	34.1
	50 歳代	211	37.9	10.9	2.8	24.2	28.0
	60 歳代	159	40.3	6.9	1.9	16.4	34.6
	70 歳代	182	46.7	2.7	－	20.3	34.1
	80 歳以上	118	43.2	4.2	0.8	19.5	37.3

通勤地別でみると、他に比べ、高槻市に通う方で「活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある」の割合が最も高くなっています。

図表５－48　地域に貢献している方に対して感謝の有無（通勤地別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある	活動内容に関するＳＮＳに好意的なコメントを投稿したことがある	活動内容などを自身のＳＮＳ等で好意的に紹介したことがある	その他	無回答
通勤地別	大阪市	264	25.0	18.9	2.3	21.2	35.6
	吹田市	243	37.0	7.0	1.6	22.6	32.5
	豊中市	47	23.4	17.0	－	27.7	36.2
	箕面市	8	25.0	－	－	25.0	50.0
	池田市	－	－	－	－	－	－
	茨木市	23	26.1	8.7	－	26.1	39.1
	高槻市	10	60.0	10.0	－	10.0	30.0
	摂津市	15	33.3	20.0	6.7	13.3	40.0
	その他の大阪府内	40	27.5	10.0	5.0	27.5	30.0
	京都府	17	5.9	17.6	5.9	47.1	23.5
	兵庫県	22	27.3	22.7	－	18.2	31.8
	その他	20	35.0	20.0	5.0	25.0	25.0
	通勤・通学先はない	286	44.8	6.6	1.0	17.1	33.9

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦・パートナーのみの方で「活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある」の割合が最も高くなっています。

図表５－49　地域に貢献している方に対して感謝の有無（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある	活動内容に関するＳＮＳに好意的なコメントを投稿したことがある	活動内容などを自身のＳＮＳ等で好意的に紹介したことがある	その他	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	182	29.1	12.1	1.1	22.0	37.9
	夫婦・パートナーのみ	330	36.7	8.8	2.4	22.1	33.0
	二世代（親と子）	530	34.9	12.1	1.5	20.8	33.8
	三世代（親と子と孫）	22	27.3	－	－	22.7	50.0
	その他	26	34.6	7.7	－	23.1	34.6

居住年数別でみると、他に比べ、50 年以上で「活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある」の割合が最も高くなっています。

図表５－50　地域に貢献している方に対して感謝の有無（居住年数別）

単位：％

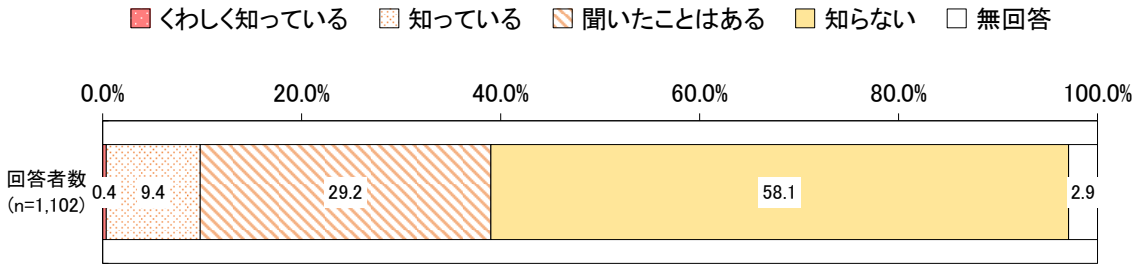
区分		有効回答数（件）	活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある	活動内容に関するＳＮＳに好意的なコメントを投稿したことがある	活動内容などを自身のＳＮＳ等で好意的に紹介したことがある	その他	無回答
居住年数別	1年未満	34	14.7	14.7	－	17.6	52.9
	1～5年未満	138	18.8	17.4	3.6	27.5	34.1
	5～10 年未満	119	24.4	16.8	－	26.9	32.8
	10～20 年未満	167	37.1	9.0	－	18.6	37.7
	20～30 年未満	204	36.8	11.8	2.9	18.1	32.8
	30～40 年未満	119	36.1	11.8	2.5	20.2	32.8
	40～50 年未満	159	42.1	5.0	2.5	24.5	30.8
	50 年以上	157	43.9	4.5	0.6	18.5	36.3

第６章　こども基本法などについて

問 38　こども基本法について知っていますか。（１つだけ○印）

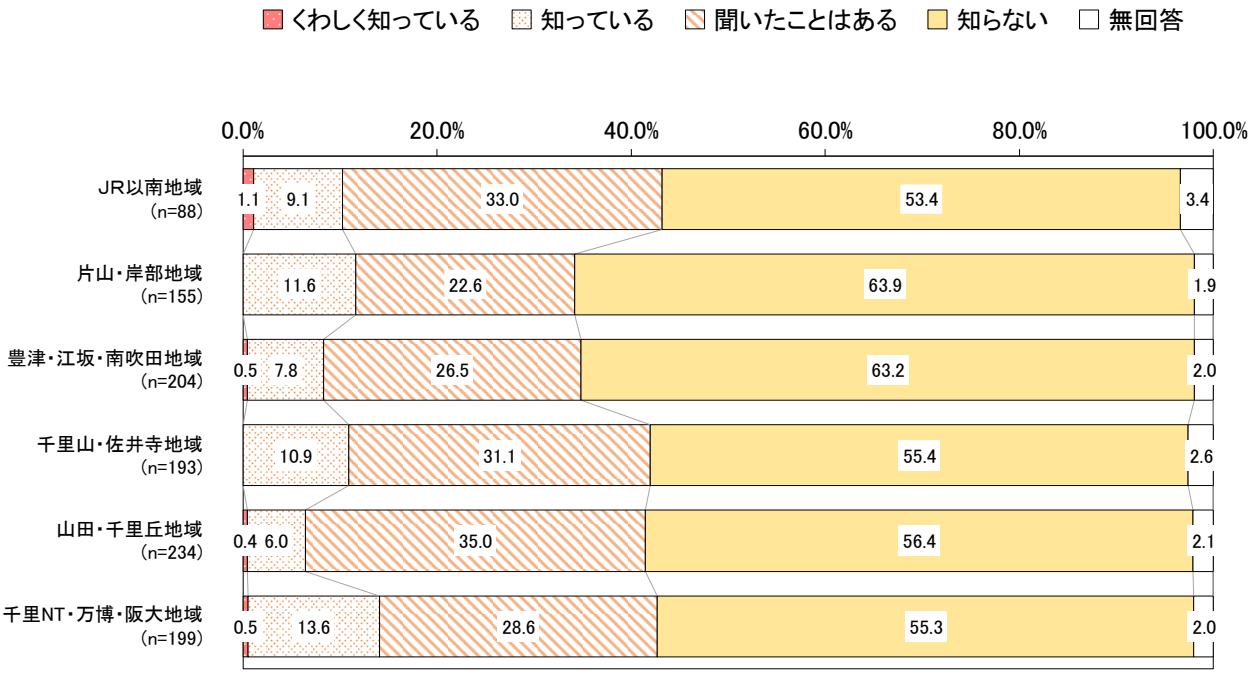
「知らない」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 29.2%、「知っている」の割合が 9.4%となっています。

図表６－１　こども基本法の認知度（単純回答）



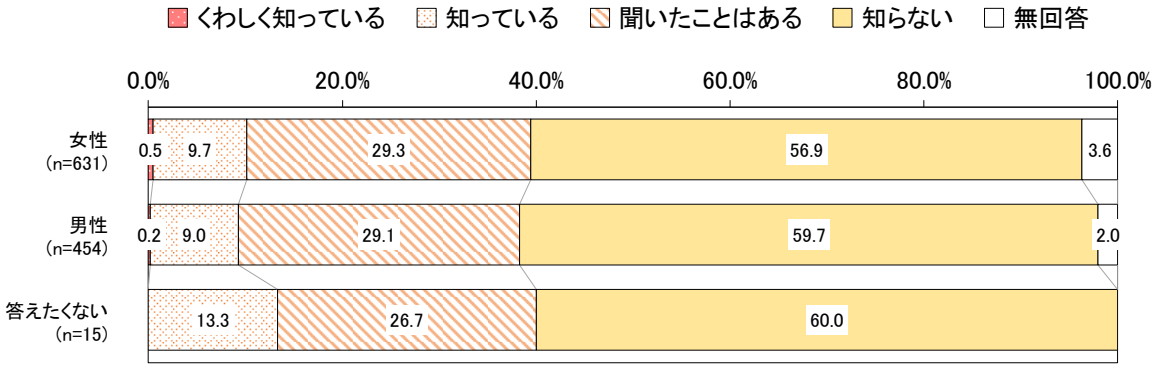
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表６－２　こども基本法の認知度（居住地域別）



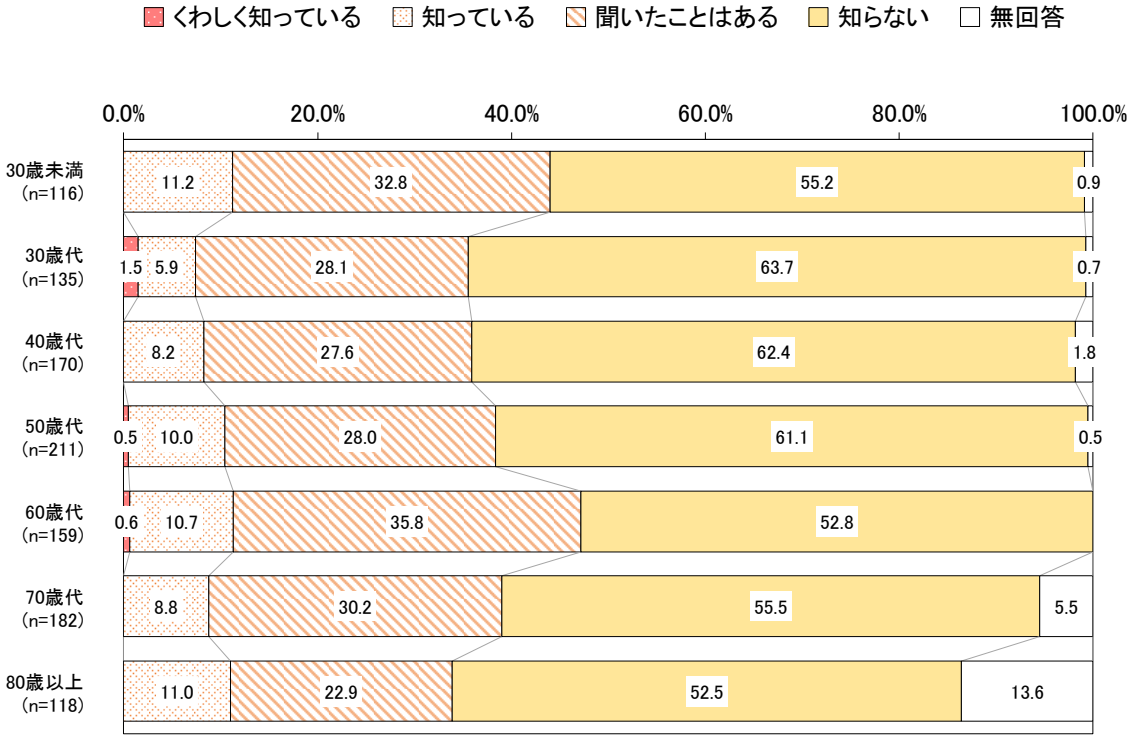
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表６－３　こども基本法の認知度（性別）



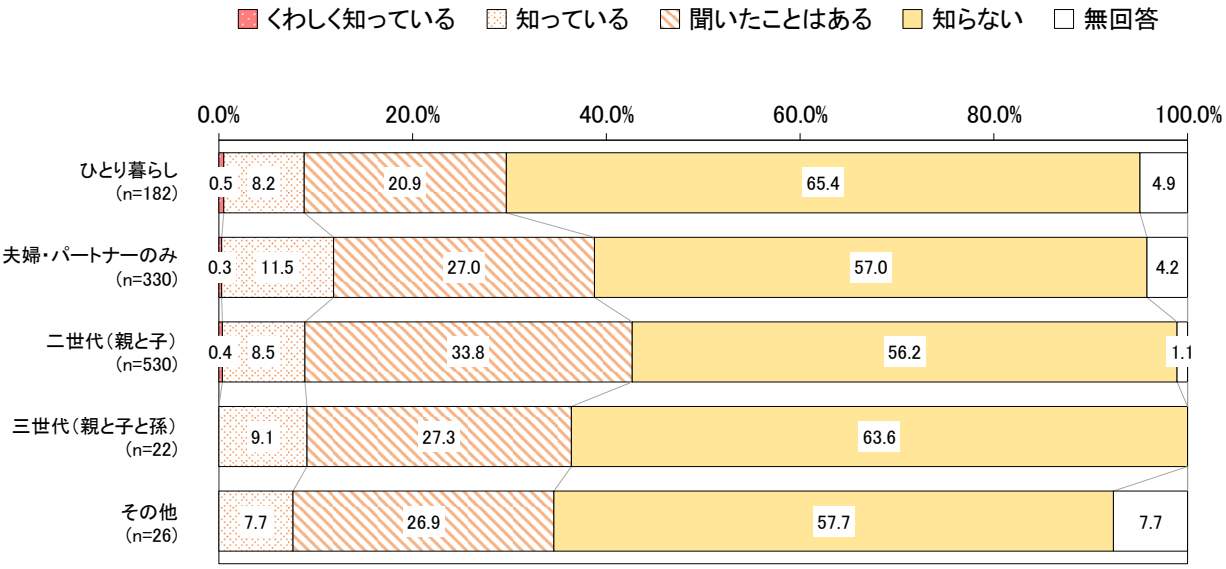
年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表６－４　こども基本法の認知度（年齢別）



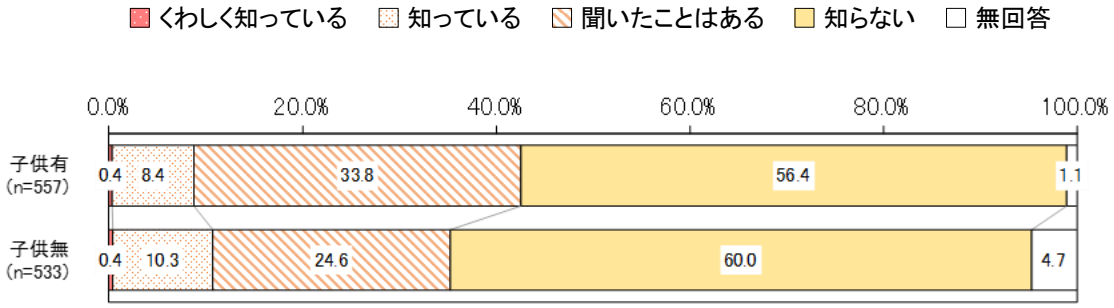
家族構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表６－５　こども基本法の認知度（家族構成別）



子供の有無別でみると、子供の有無にかかわらず「知らない」の割合が高くなっています。

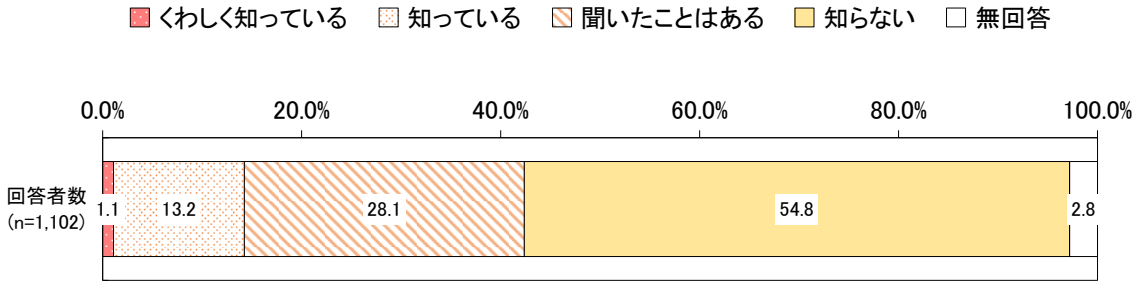
図表６－６　こども基本法の認知度（子供の有無別）



問 39　子どもの権利条約について知っていますか。（１つだけ○印）

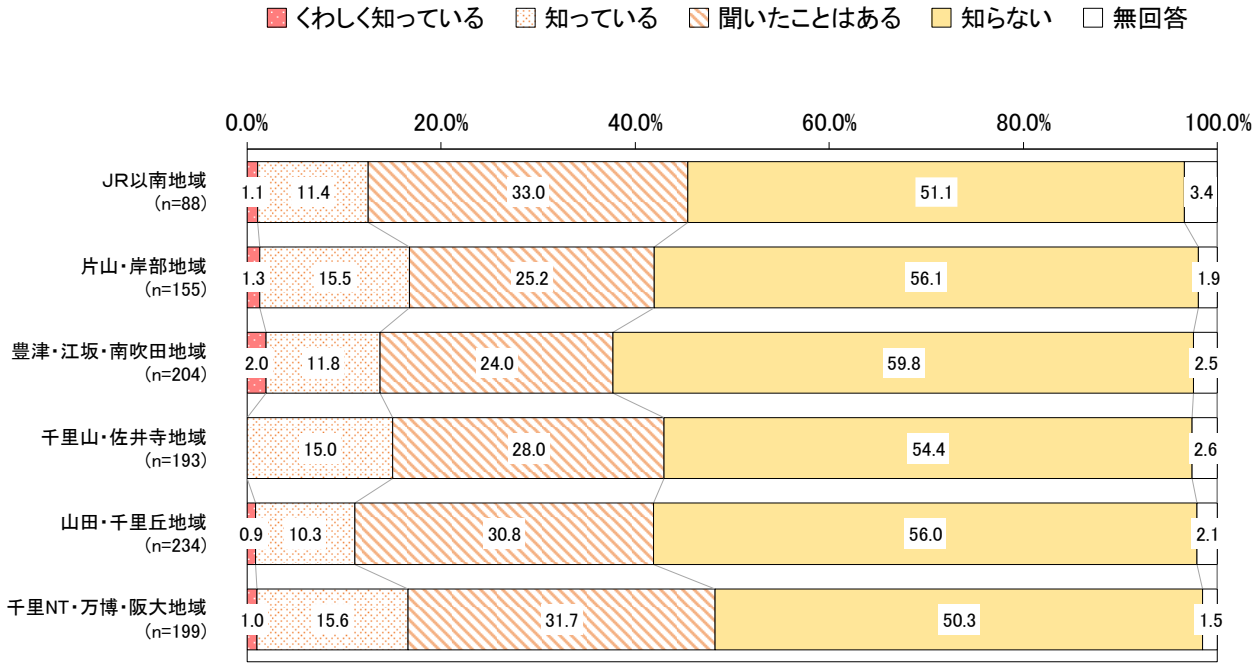
「知らない」の割合が 54.8％と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 28.1％、「知っている」の割合が 13.2％となっています。

図表６－７　子どもの権利条約の認知度（単純回答）



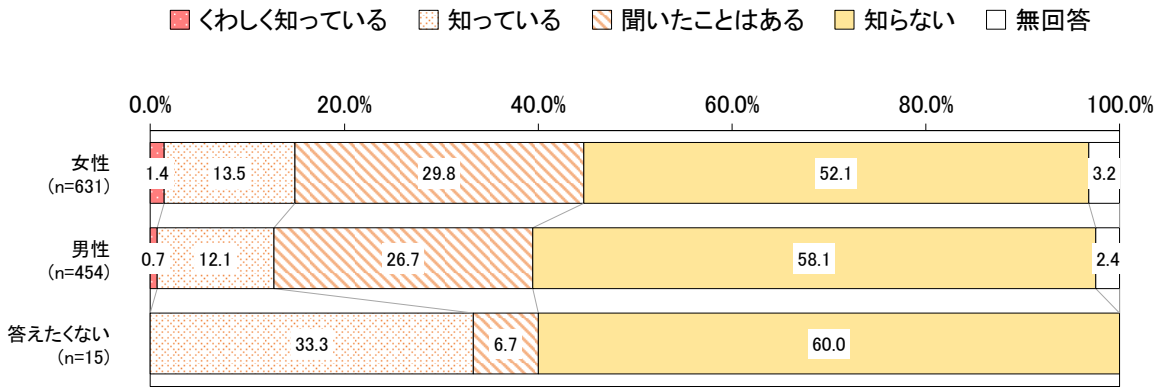
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表６－８　子どもの権利条約の認知度（居住地域別）



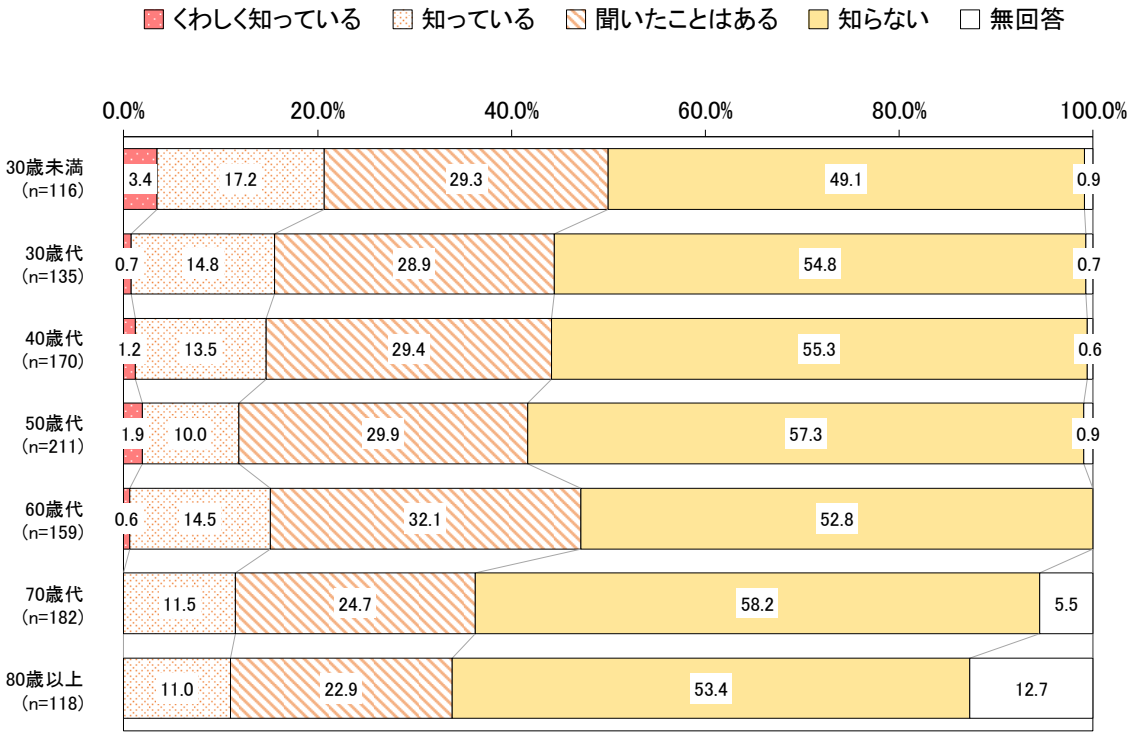
性別でみると、女性、男性ともに「知らない」と回答しています。

図表６－９　子どもの権利条約の認知度（性別）



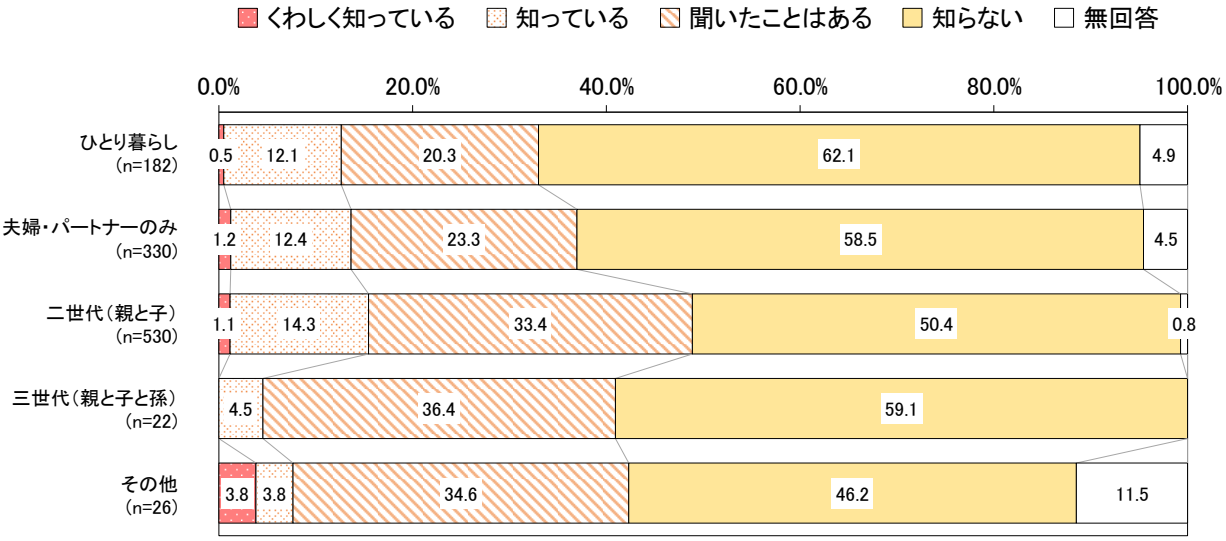
年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表６－10　子どもの権利条約の認知度（年齢別）



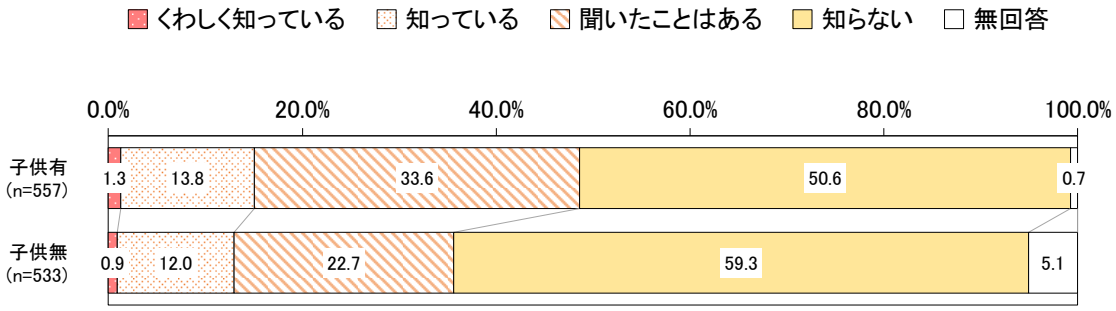
家族構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表６－11　子どもの権利条約の認知度（家族構成別）



子供の有無別でみると、子供無の方に比べ、子供有の方で「聞いたことはある」の割合が高くなっています。

図表６－12　子どもの権利条約の認知度（子供の有無別）

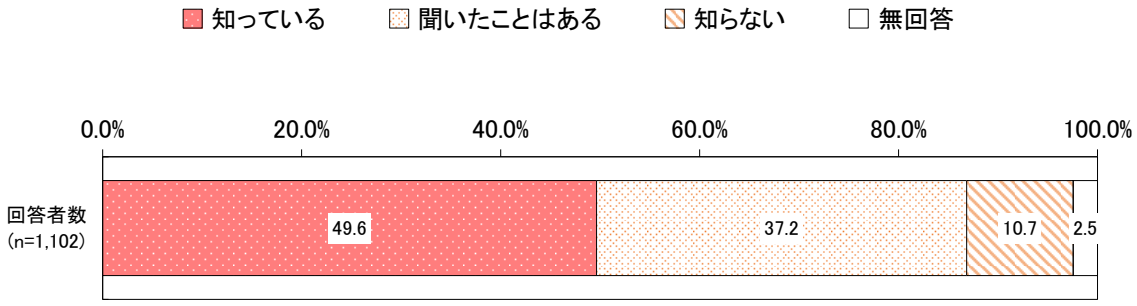


第７章　こども食堂などについて

問 40　こども食堂について知っていますか。（１つだけ○印）

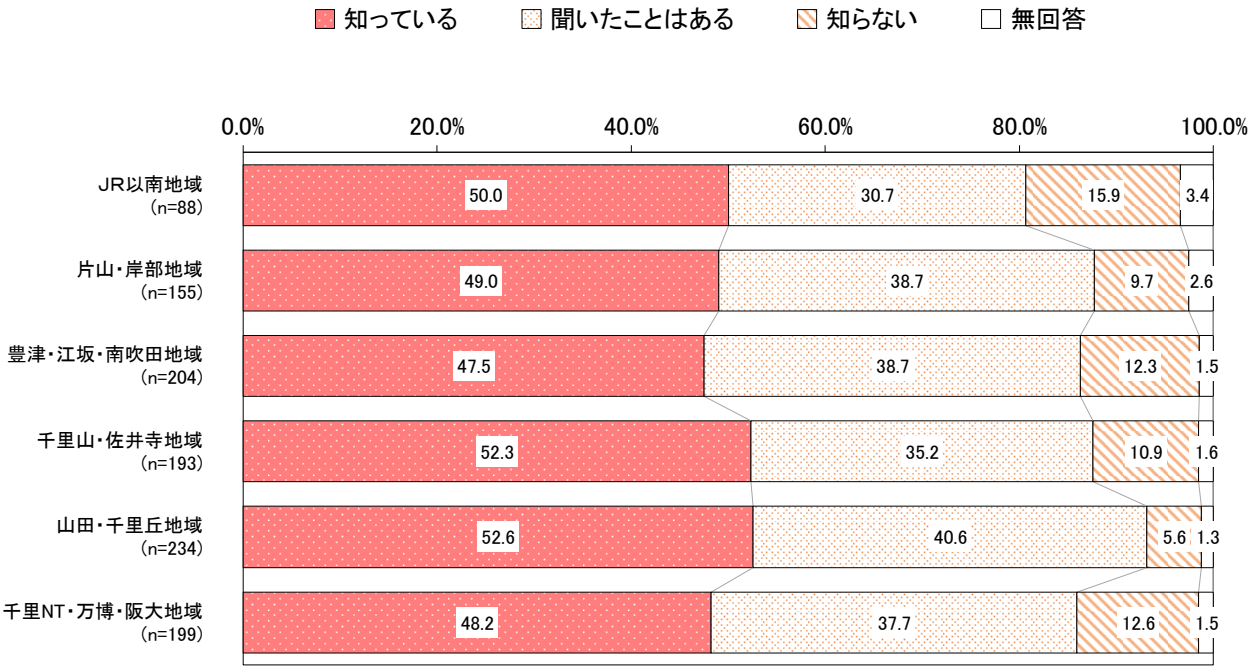
「知っている」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 37.2%、「知らない」の割合が 10.7%となっています。

図表７－１　こども食堂の認知度（単純回答）



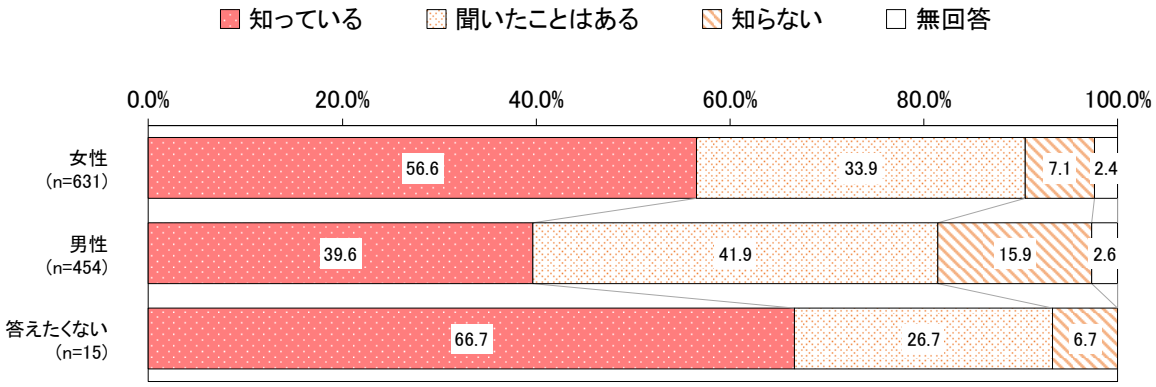
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表７－２　こども食堂の認知度（居住地域別）



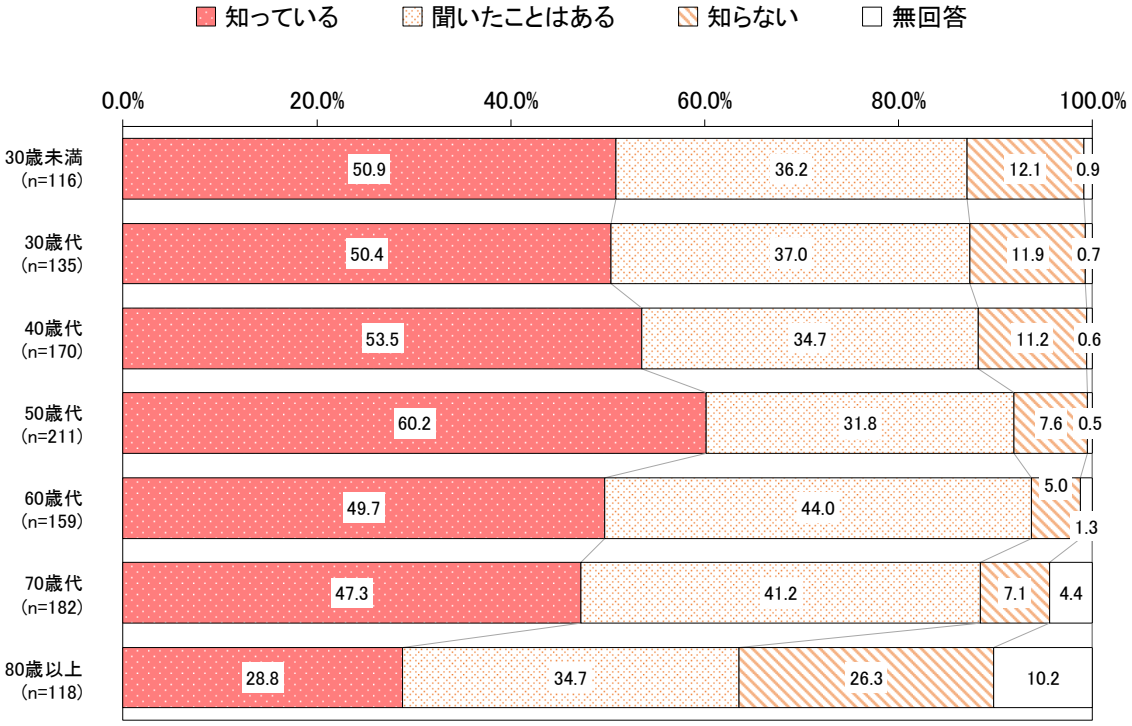
性別でみると、男性より女性の方が「知っている」と答えています。

図表７－３　こども食堂の認知度（性別）



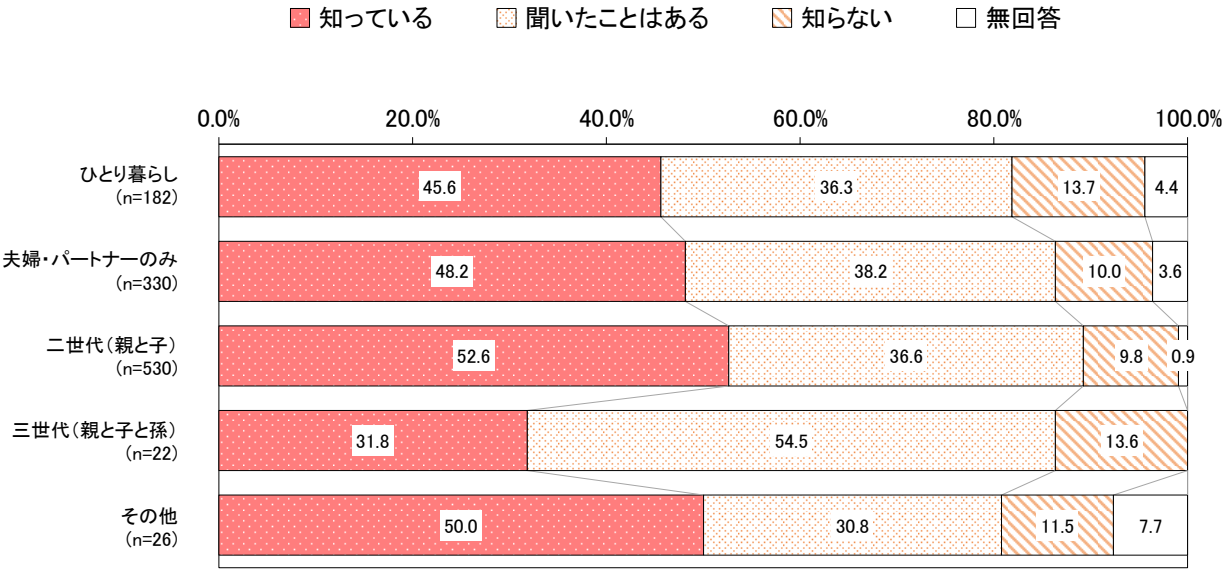
年齢別でみると、他に比べ、50 歳代で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表７－４　こども食堂の認知度（年齢別）



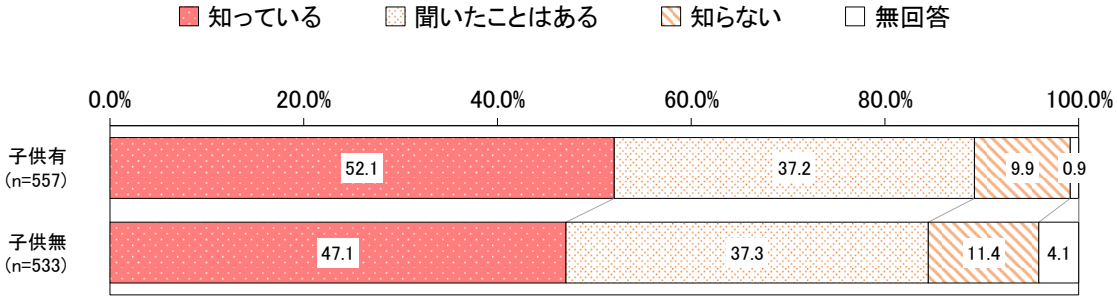
家族構成別でみると、他に比べ、二世代（親と子）で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表７－５　こども食堂の認知度（家族構成別）



子供の有無別でみると、子供の有無にかかわらず「知っている」の割合が高くなっています。

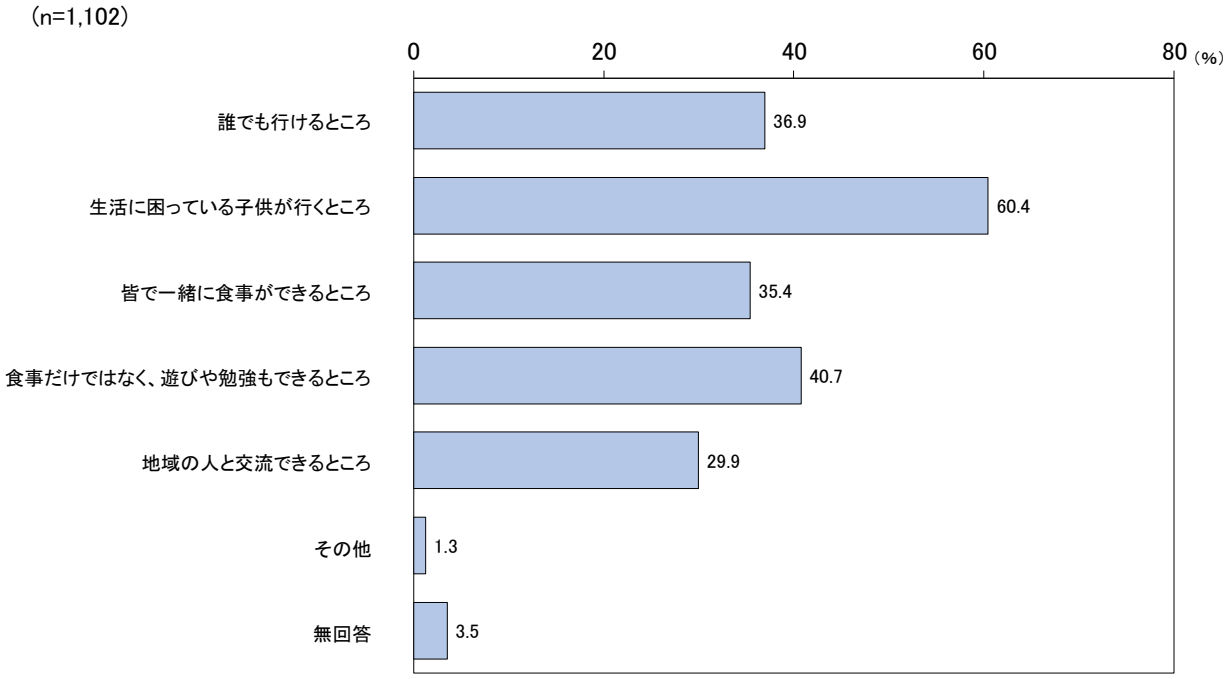
図表７－６　こども食堂の認知度（子供の有無別）



問 41　こども食堂はどういうところだと思いますか。（いくつでも）

「生活に困っている子供が行くところ」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「食事だけではなく、遊びや勉強もできるところ」の割合が 40.7%、「誰でも行けるところ」の割合が 36.9%となっています。

図表７－７　こども食堂へのイメージ（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「生活に困っている子供が行くところ」の割合が最も高くなっています。

図表７－８　こども食堂へのイメージ（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	誰でも行けるところ	生活に困っている子供が行くところ	皆で一緒に食事ができるところ	食事だけではなく、遊びや勉強もできるところ	地域の人と交流できるところ	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	36.4	55.7	26.1	38.6	29.5	2.3	5.7
	片山・岸部地域	155	38.1	59.4	32.3	42.6	34.2	－	3.2
	豊津・江坂・南吹田地域	204	30.4	58.3	37.3	40.2	28.4	2.5	2.9
	千里山・佐井寺地域	193	37.3	70.5	36.3	40.4	27.5	1.6	2.6
	山田・千里丘地域	234	39.7	62.4	41.0	41.9	29.5	0.9	0.9
	千里NT・万博・阪大地域	199	39.7	55.3	33.2	41.7	32.7	1.0	4.0

性別でみると、女性、男性ともに「生活に困っている子供が行くところ」と回答しています。

図表７－９　こども食堂へのイメージ（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	誰でも行けるところ	生活に困っている子供が行くところ	皆で一緒に食事ができるところ	食事だけではなく、遊びや勉強もできるところ	地域の人と交流できるところ	その他	無回答
性別	女性	631	40.6	60.4	38.7	43.4	31.1	1.0	3.6
	男性	454	31.1	61.2	30.6	36.1	28.2	1.5	3.5
	答えたくない	15	53.3	46.7	33.3	60.0	40.0	6.7	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「生活に困っている子供が行くところ」の割合が最も高くなっています。

図表７－10　こども食堂へのイメージ（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	誰でも行けるところ	生活に困っている子供が行くところ	皆で一緒に食事ができるところ	食事だけではなく、遊びや勉強もできるところ	地域の人と交流できるところ	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	31.0	72.4	36.2	35.3	27.6	0.9	3.4
	30 歳代	135	38.5	65.9	40.0	37.0	31.1	2.2	3.0
	40 歳代	170	38.2	63.5	35.9	35.3	33.5	1.2	0.6
	50 歳代	211	39.3	64.5	33.6	43.1	31.8	1.4	0.5
	60 歳代	159	42.1	57.2	42.8	45.3	29.6	1.9	－
	70 歳代	182	35.7	51.6	31.3	47.8	28.6	0.5	6.0
	80 歳以上	118	31.4	46.6	29.7	36.4	26.3	0.8	14.4

家族構成別でみると、他に比べ、三世代（親と子と孫）で「生活に困っている子供が行くところ」の割合が最も高くなっています。

図表７－11　こども食堂へのイメージ（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	誰でも行けるところ	生活に困っている子供が行くところ	皆で一緒に食事ができるところ	食事だけではなく、遊びや勉強もできるところ	地域の人と交流できるところ	その他	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	182	31.9	59.3	31.9	42.9	28.0	1.1	4.9
	夫婦・パートナーのみ	330	37.3	55.5	35.5	40.0	25.8	1.2	5.8
	二世代（親と子）	530	39.2	63.0	36.8	39.6	33.0	1.5	1.7
	三世代（親と子と孫）	22	27.3	72.7	22.7	45.5	27.3	－	－
	その他	26	30.8	69.2	42.3	46.2	34.6	－	7.7

子供の有無別でみると、子供無の方に比べ、子供有の方で「生活に困っている子供が行くところ」の割合が高くなっています。

図表７－12　こども食堂へのイメージ（子供の有無別）

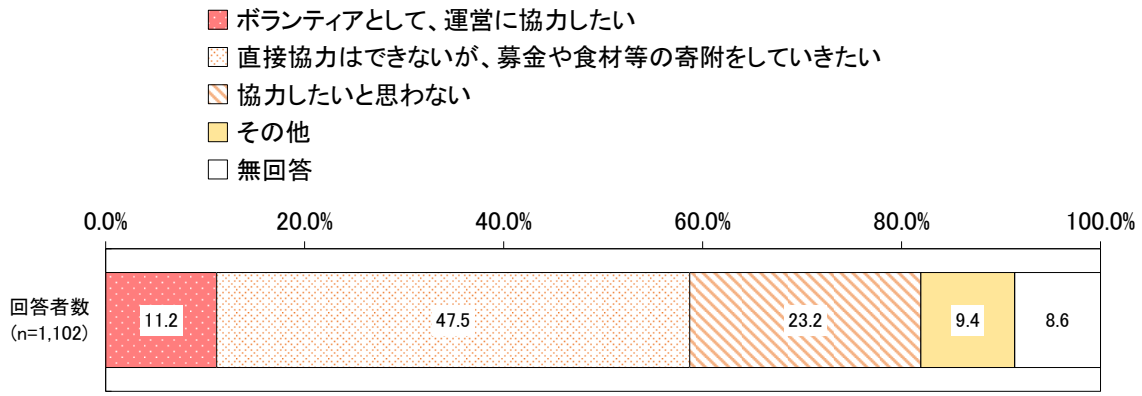
単位：％

区分		有効回答数（件）	誰でも行けるところ	生活に困っている子供が行くところ	皆で一緒に食事ができるところ	食事だけではなく、遊びや勉強もできるところ	地域の人と交流できるところ	その他	無回答
子	子供有	557	38.6	63.6	36.4	39.9	32.7	1.4	1.6
	子供無	533	35.3	57.2	34.3	41.3	27.0	1.1	5.6

問 42　こども食堂などの子供の居場所や、地域等での子供が参加できる行事のために、今後協力したいと思いますか。（１つだけ○印）

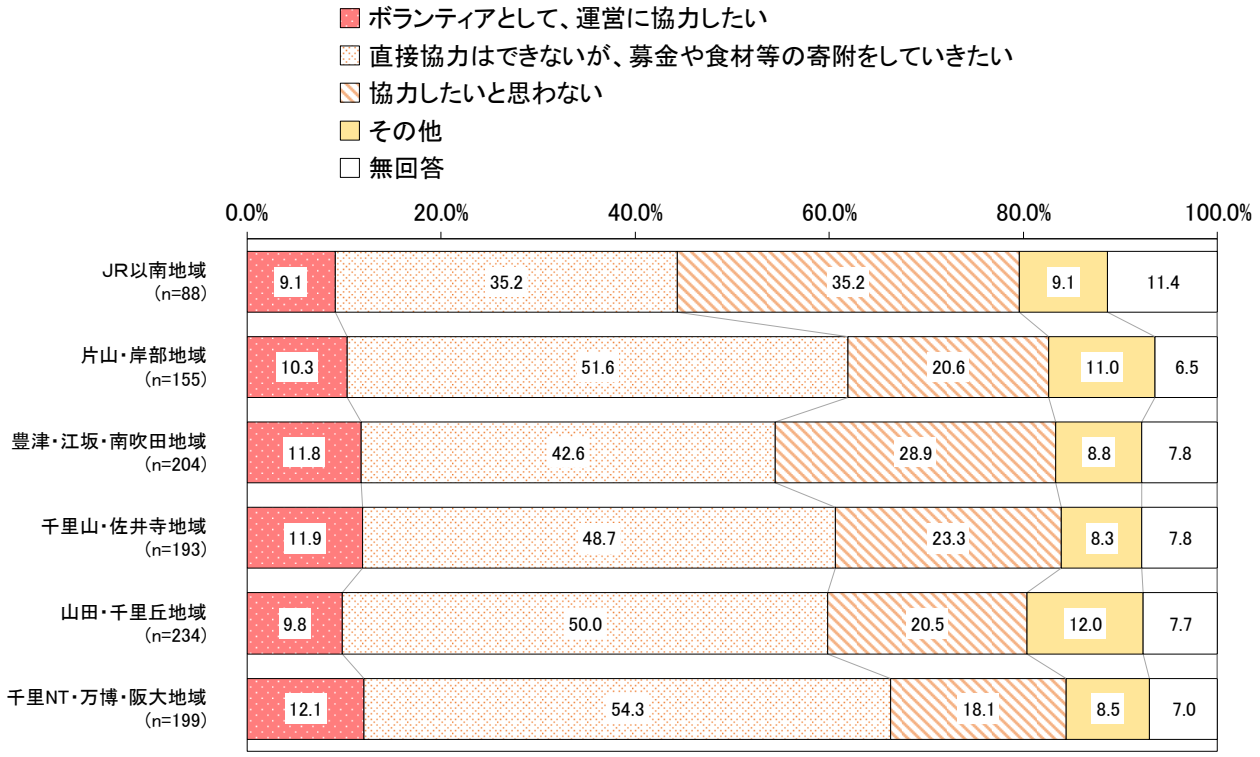
「直接協力はできないが、募金や食材等の寄附をしていきたい」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「協力したいと思わない」の割合が 23.2%、「ボランティアとして、運営に協力したい」の割合が 11.2%となっています。

図表７－13　こども食堂への協力意向（単純回答）



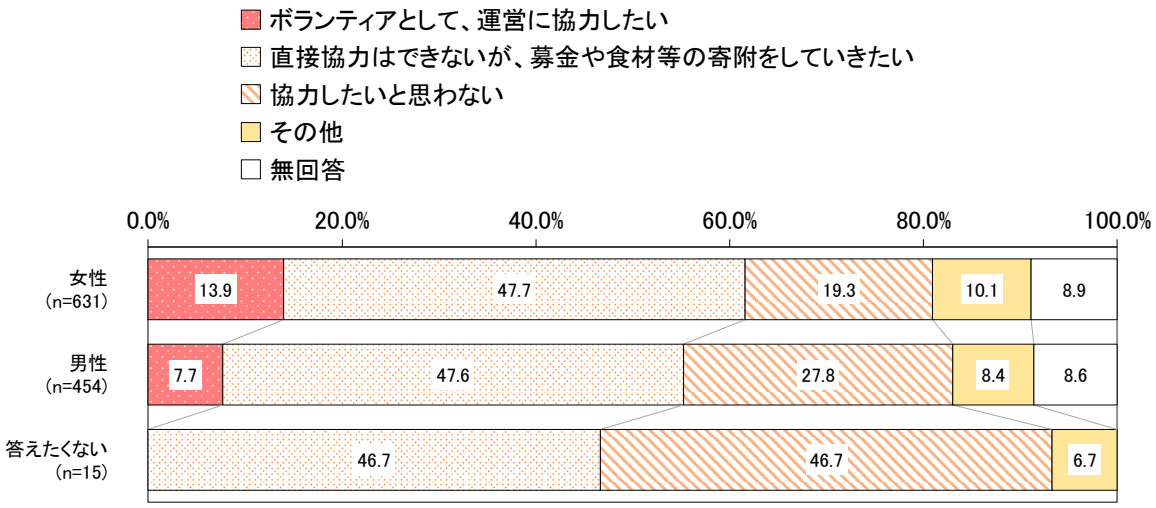
居住地域別でみると、他に比べ、千里ＮＴ・万博・阪大地域で「直接協力はできないが、募金や食材等の寄附をしていきたい」の割合が最も高くなっています。

図表７－14　こども食堂への協力意向（居住地域別）



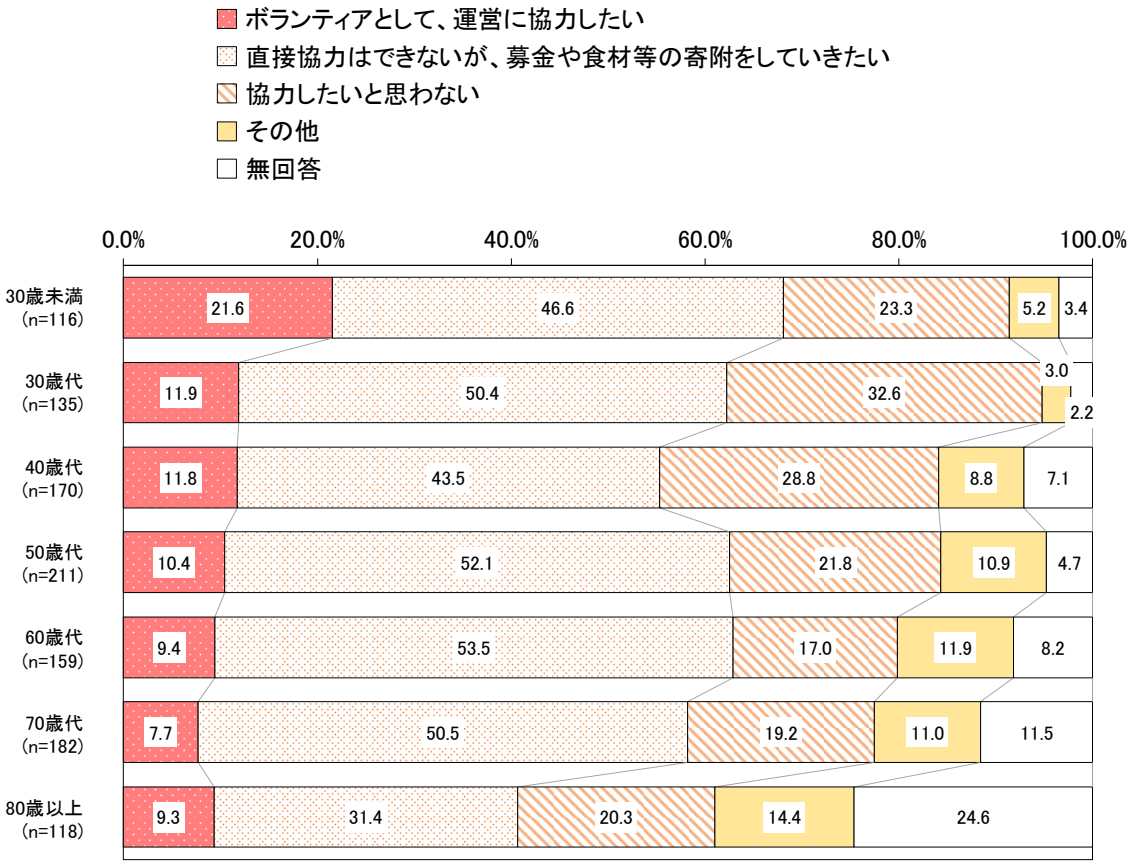
性別でみると、男性より女性の方が「ボランティアとして、運営に協力したい」と答えています。

図表７－15　こども食堂への協力意向（性別）



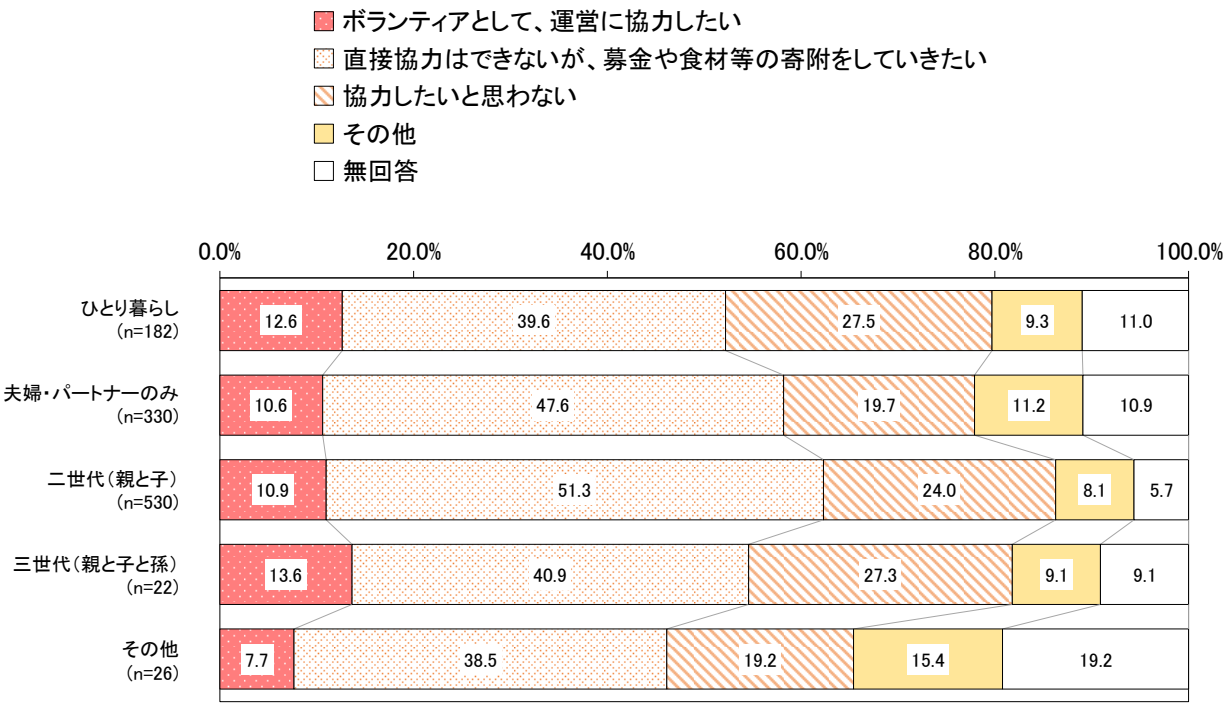
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「ボランティアとして、運営に協力したい」の割合が最も高くなっています。

図表７－16　こども食堂への協力意向（年齢別）



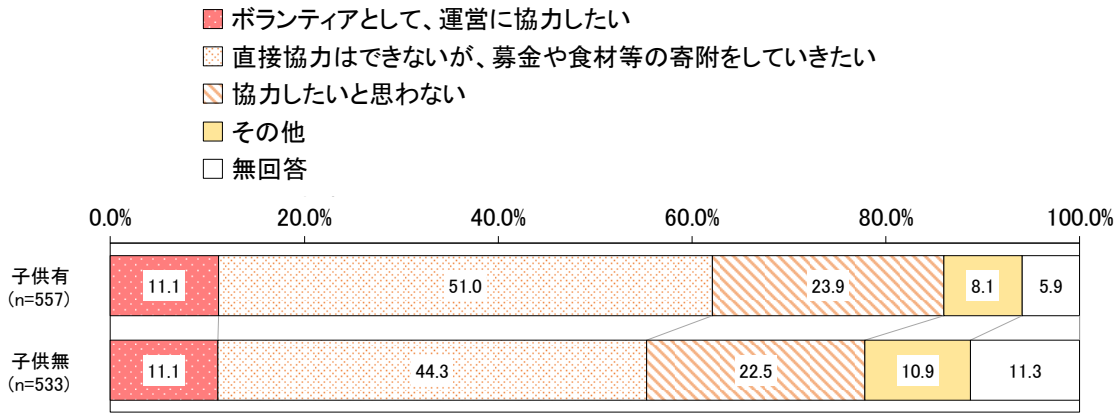
家族構成別でみると、他に比べ、二世代（親と子）で「直接協力はできないが、募金や食材等の寄附をしていきたい」の割合が最も高くなっています。

図表７－17　こども食堂への協力意向（家族構成別）



子供の有無別でみると、子供無の方に比べ、子供有の方で「直接協力はできないが、募金や食材等の寄附をしていきたい」の割合が高くなっています。

図表７－18　こども食堂への協力意向（子供の有無別）

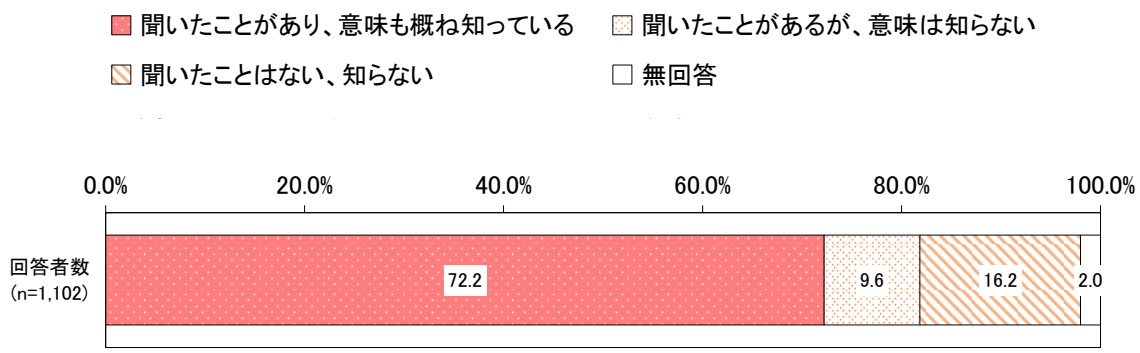


第８章　ヤングケアラーについて

問 43　「ヤングケアラー」という言葉を知っていましたか。（１つだけ○印）

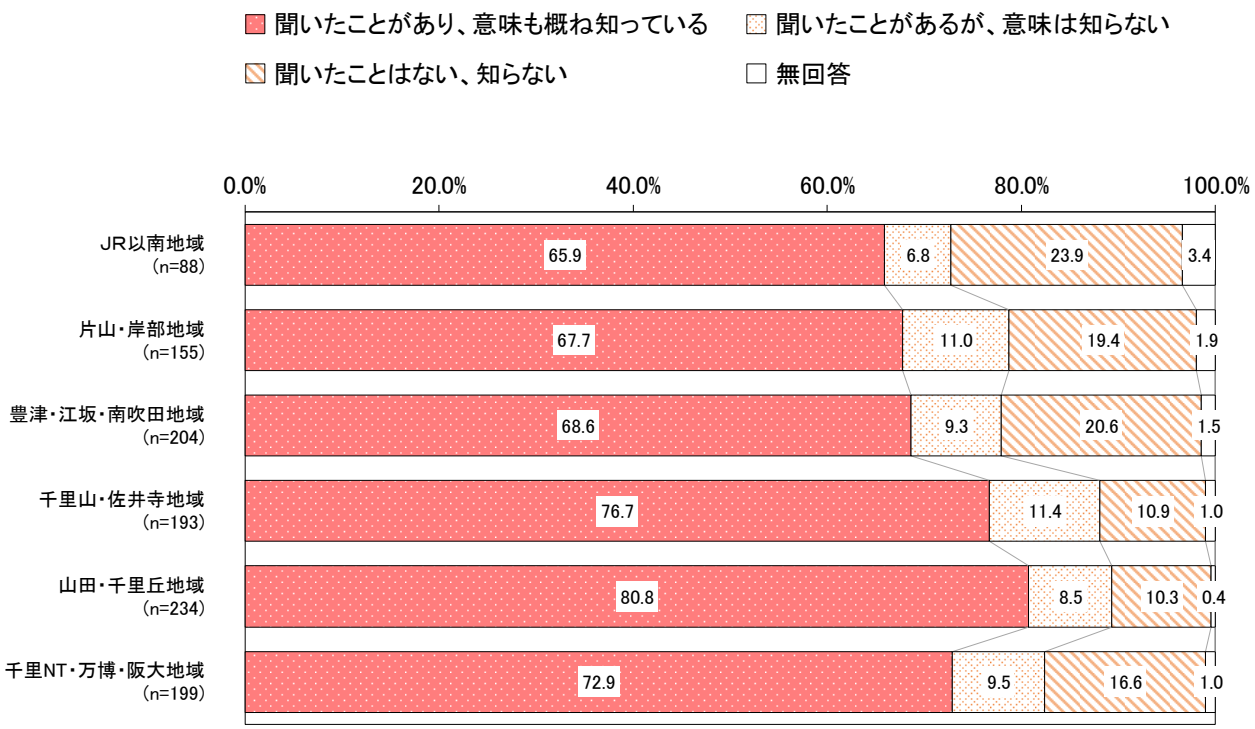
「聞いたことがあり、意味も概ね知っている」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「聞いたことはない、知らない」の割合が 16.2%、「聞いたことがあるが、意味は知らない」の割合が 9.6%となっています。

図表８－１　「ヤングケアラー」という言葉の認知度（単純回答）



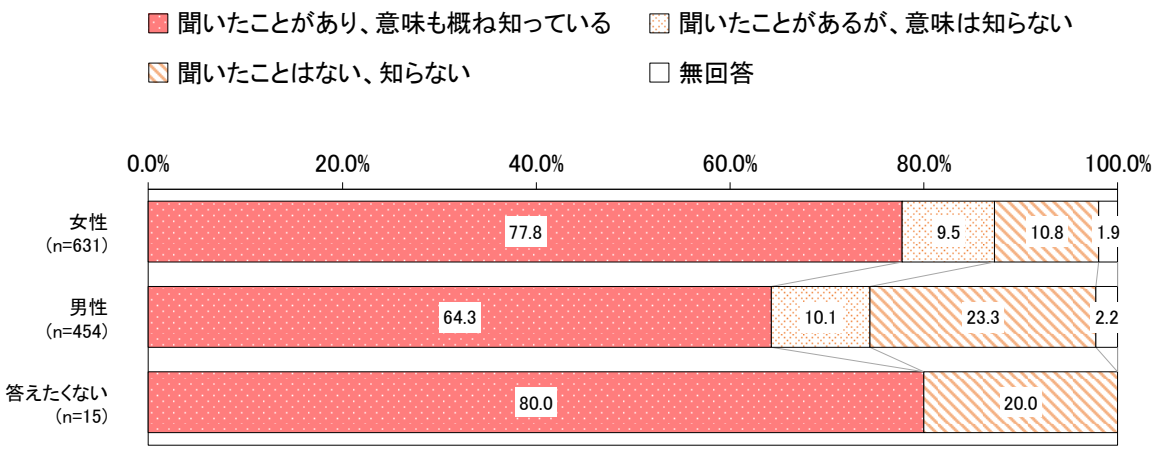
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「聞いたことがあり、意味も概ね知っている」の割合が最も高くなっています。

図表８－２　「ヤングケアラー」という言葉の認知度（居住地域別）



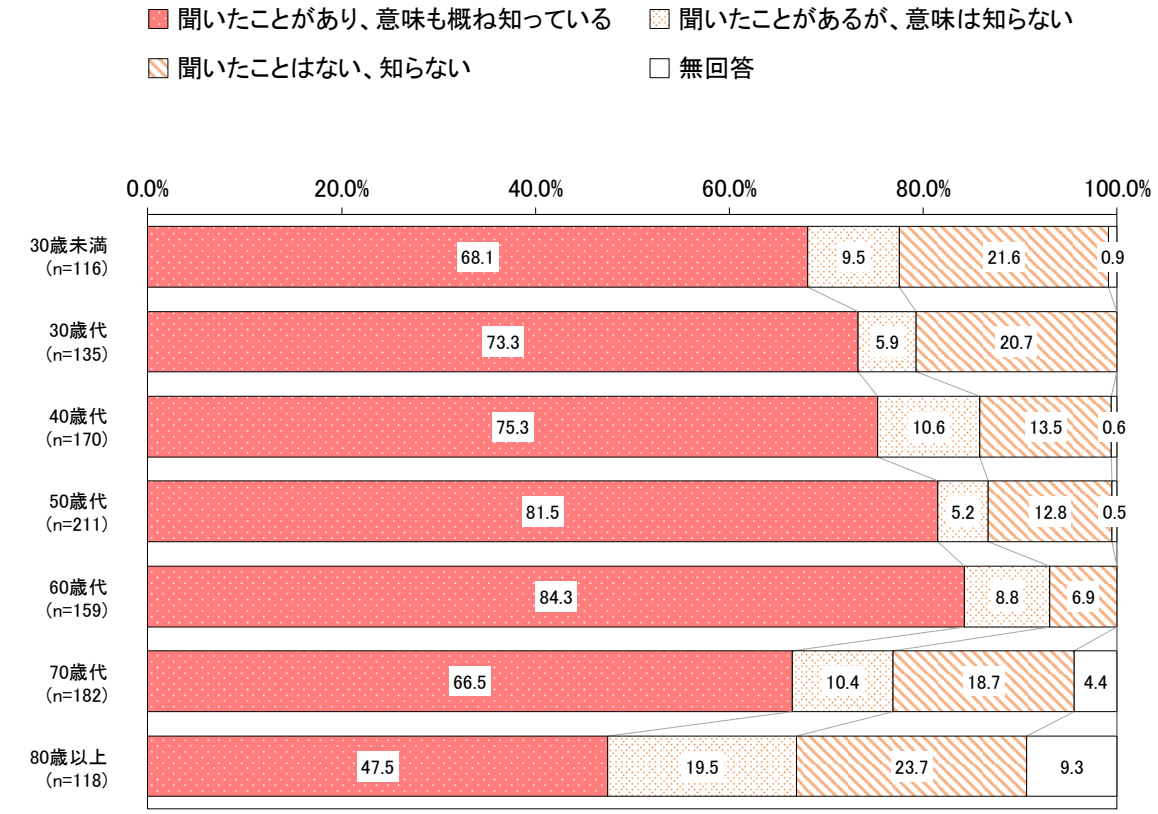
性別でみると、男性より女性の方が「聞いたことがあり、意味も概ね知っている」と答えています。

図表８－３　「ヤングケアラー」という言葉の認知度（性別）



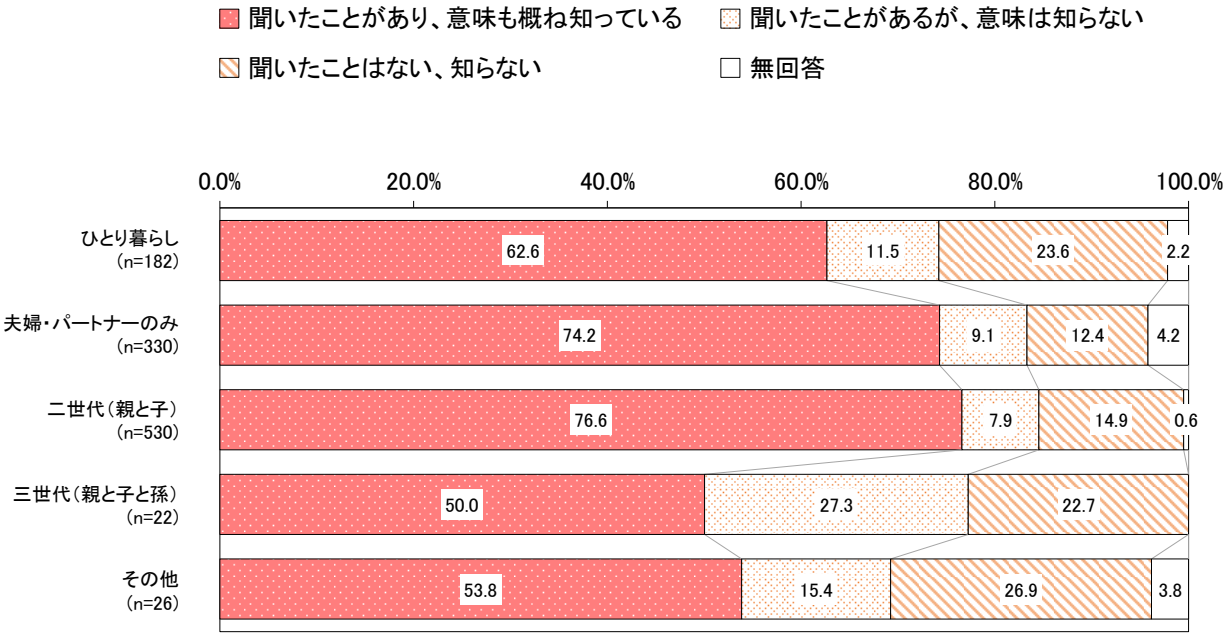
年齢別でみると、他に比べ、60 歳代で「聞いたことがあり、意味も概ね知っている」の割合が最も高くなっています。

図表８－４　「ヤングケアラー」という言葉の認知度（年齢別）



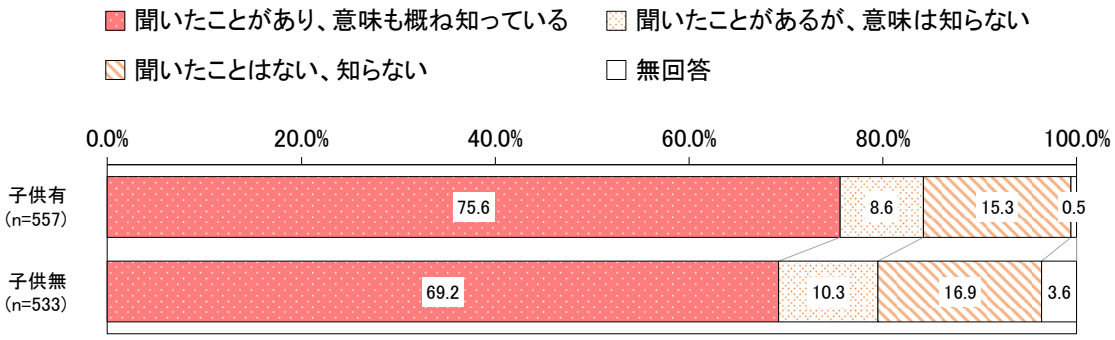
家族構成別でみると、他に比べ、二世代（親と子）で「聞いたことがあり、意味も概ね知っている」の割合が最も高くなっています。

図表８－５　「ヤングケアラー」という言葉の認知度（家族構成別）



子供の有無別でみると、子供無の方に比べ、子供有の方で「聞いたことがあり、意味も概ね知っている」の割合が高くなっています。

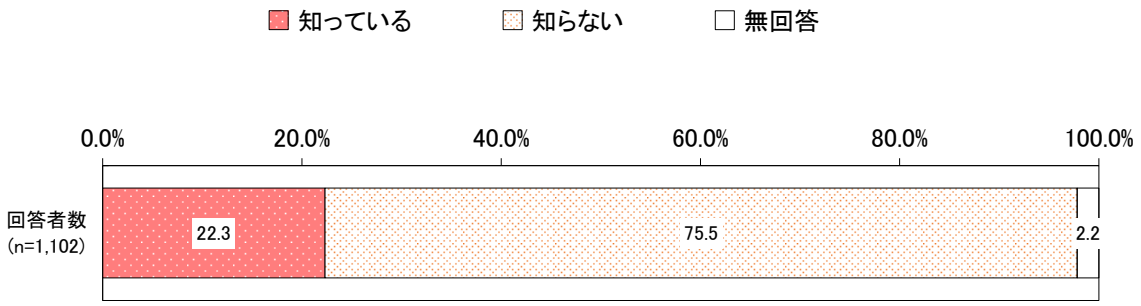
図表８－６　「ヤングケアラー」という言葉の認知度（子供の有無別）



問 44　「ヤングケアラー」について市に相談窓口（家庭児童相談室、青少年室、教育センター）があるのを知っていますか。（１つだけ○印）

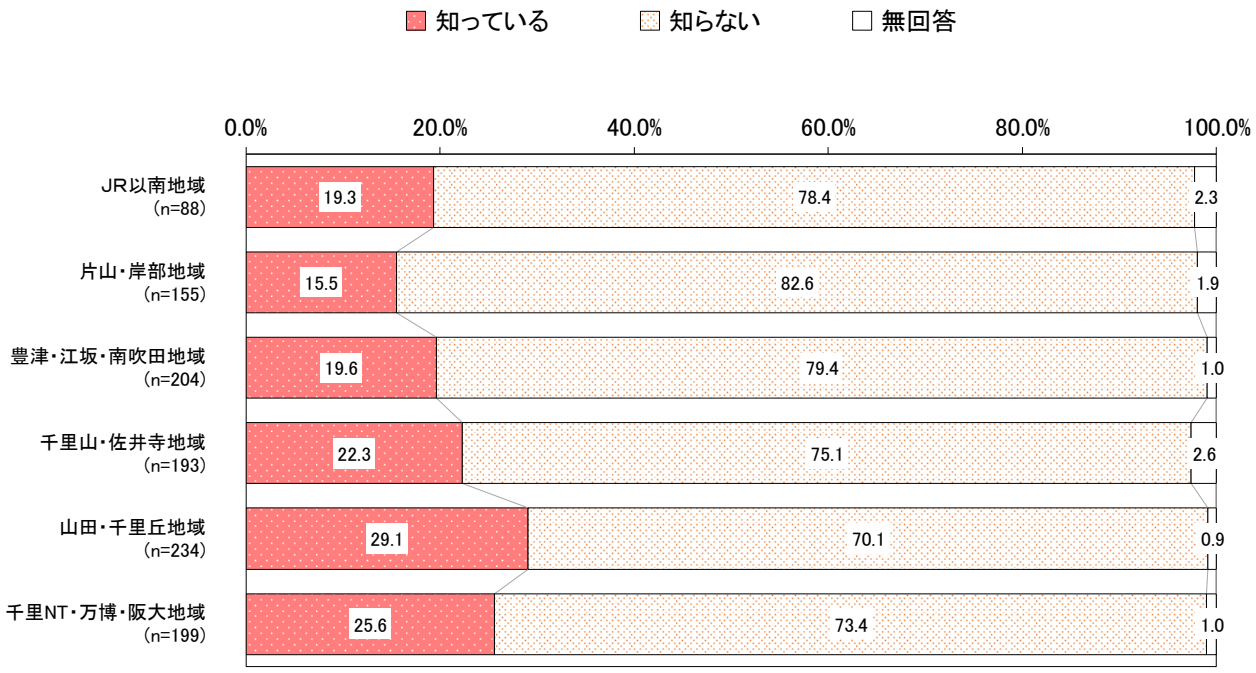
「知っている」が 22.3%「知らない」が 75.5%でした。

図表８－７　「ヤングケアラー」についての相談窓口の認知度（単純回答）



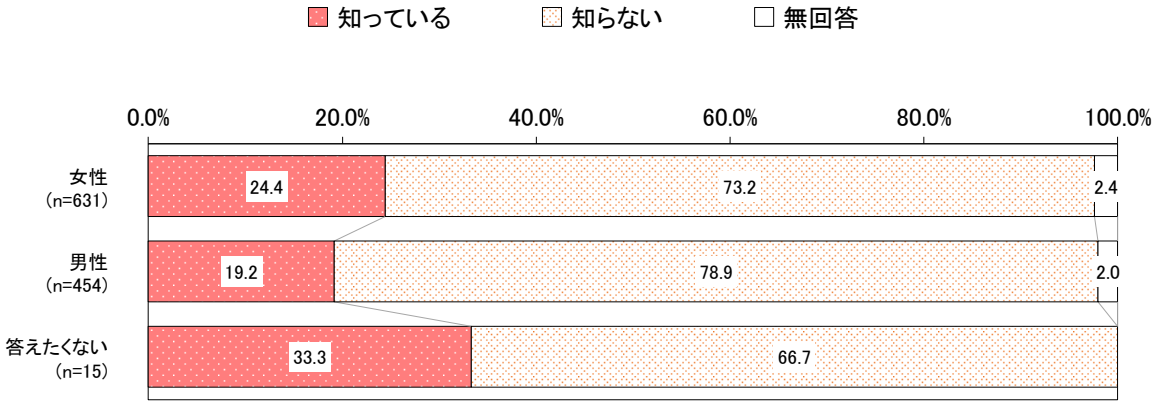
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「知らない」の割合が最も高くなっています。

図表８－８　「ヤングケアラー」についての相談窓口の認知度（居住地域別）



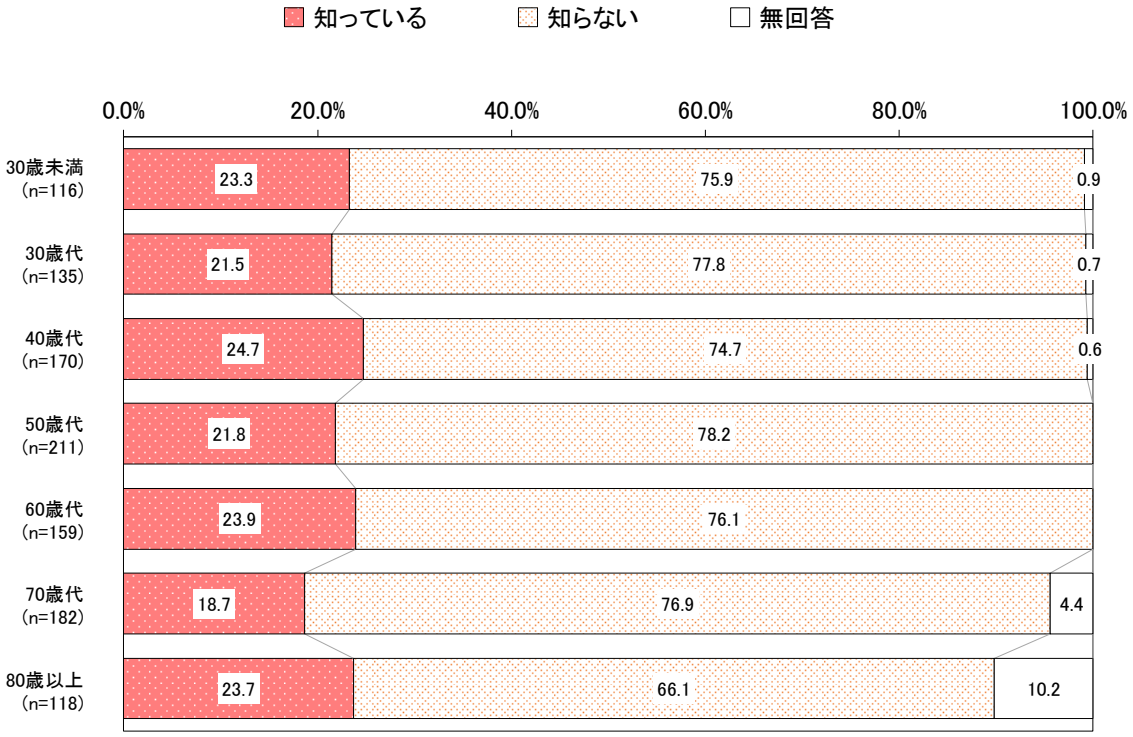
性別でみると、女性より男性の方が「知らない」と答えています。

図表８－９　「ヤングケアラー」についての相談窓口の認知度（性別）



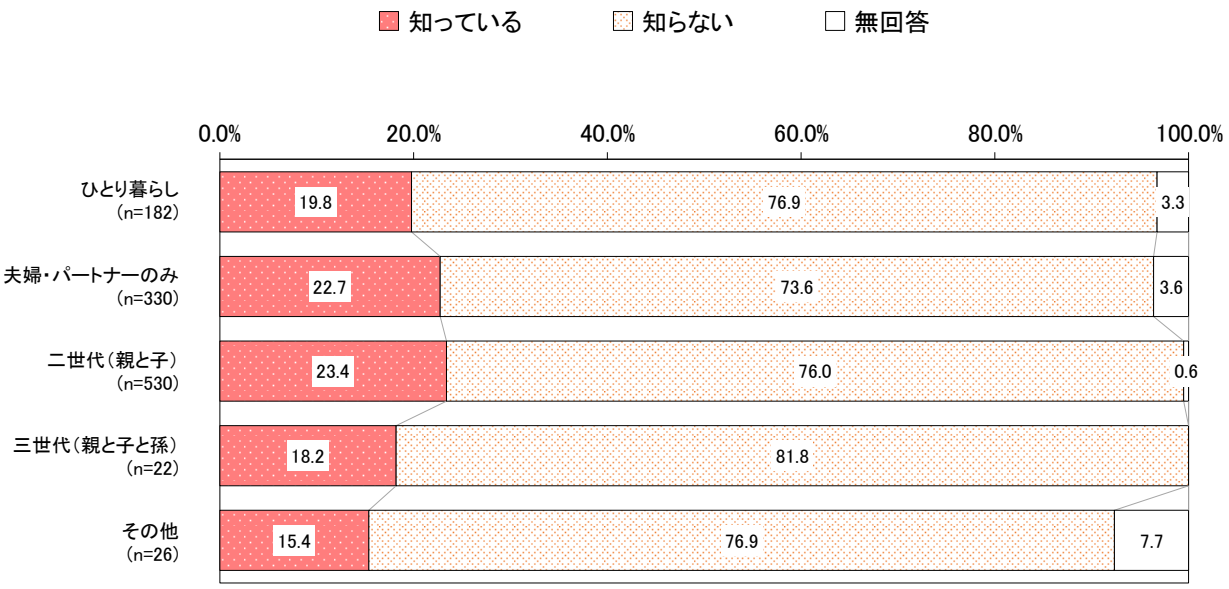
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表８－10　「ヤングケアラー」についての相談窓口の認知度（年齢別）



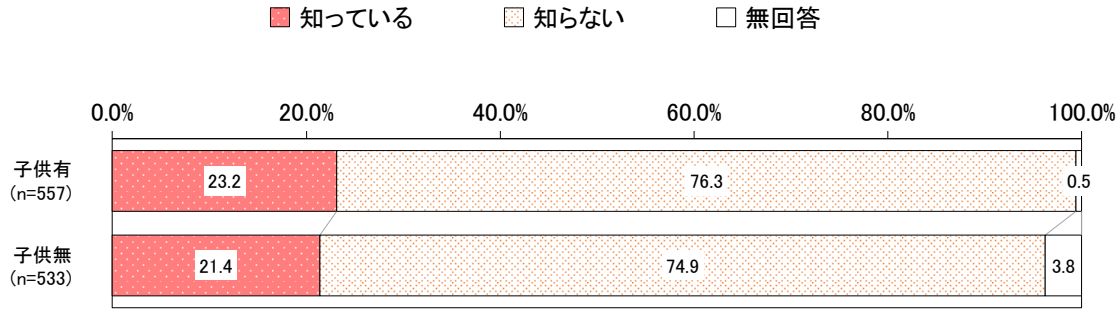
家族構成別でみると、他に比べ、二世代（親と子）で「知っている」の割合が最も高くなっています。

図表８－11　「ヤングケアラー」についての相談窓口の認知度（家族構成別）



子供の有無別でみると、大きな差異はみられません。

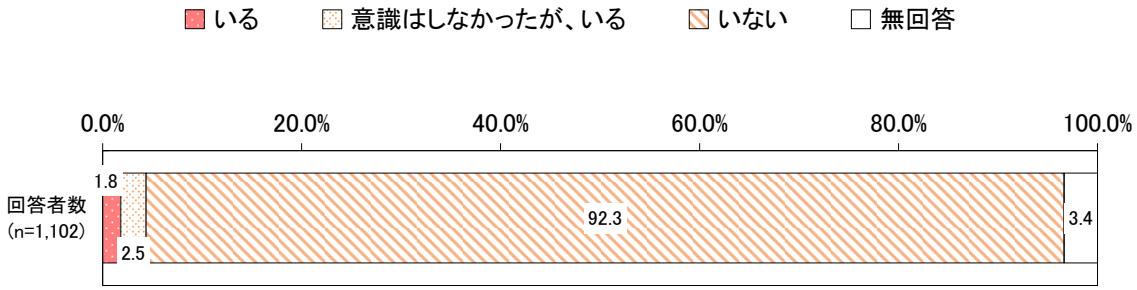
図表８－12　「ヤングケアラー」についての相談窓口の認知度（子供の有無別）



問 45　今あなたの周囲に、お手伝いで子供の責任や範ちゅうを超えるようなことをしていると思う方はいますか。（１つだけ〇印）

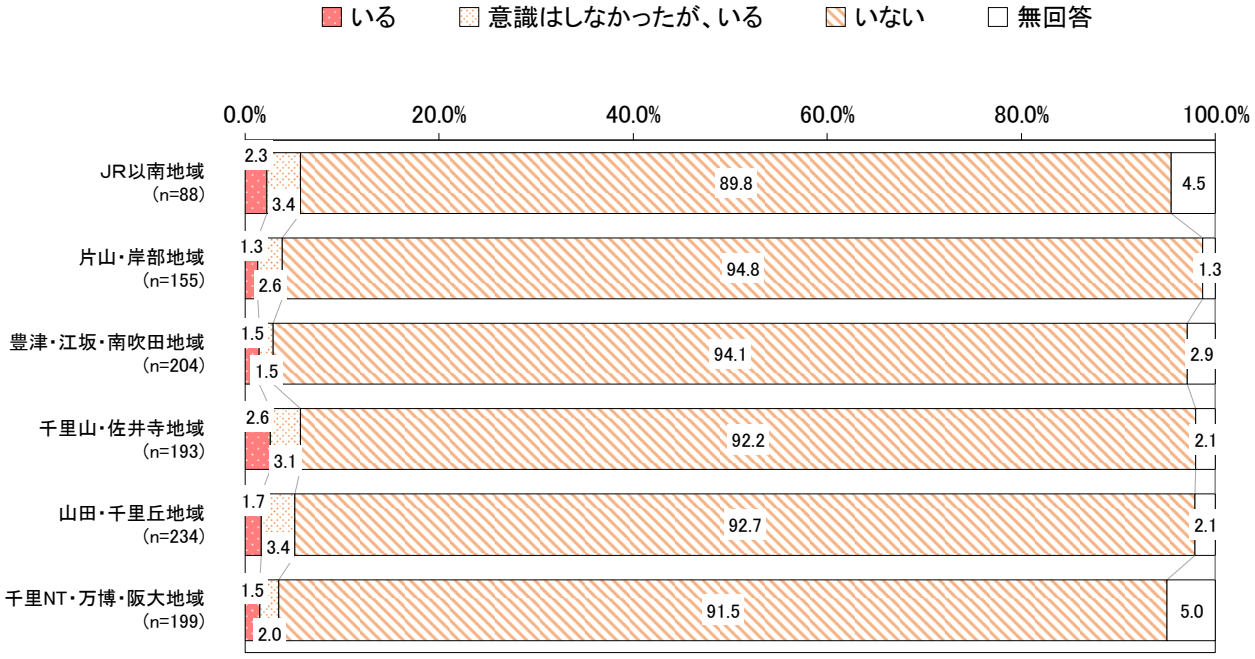
「いない」の割合が 92.3%と最も高く、次いで「意識はしなかったが、いる」の割合が 2.5%、「いる」の割合が 1.8%となっています。

図表８－13　ヤングケアラーと思われる子供の有無（単純回答）



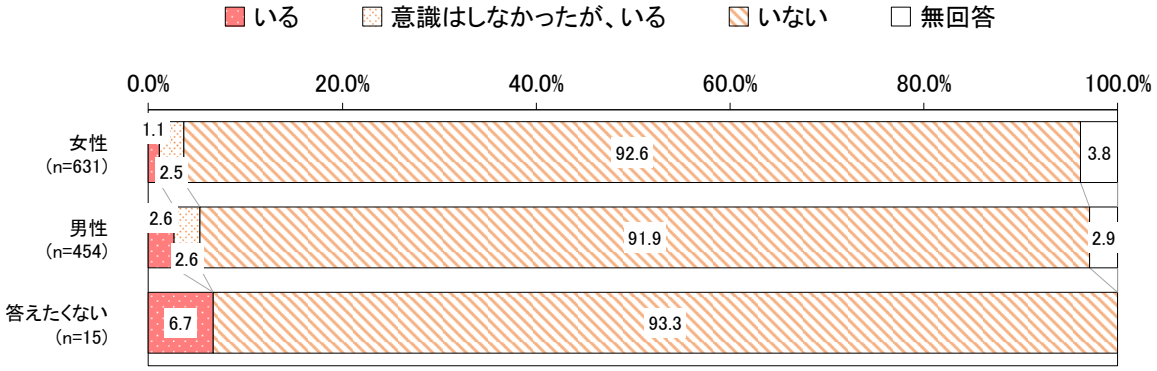
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表８－14　ヤングケアラーと思われる子供の有無（居住地域別）



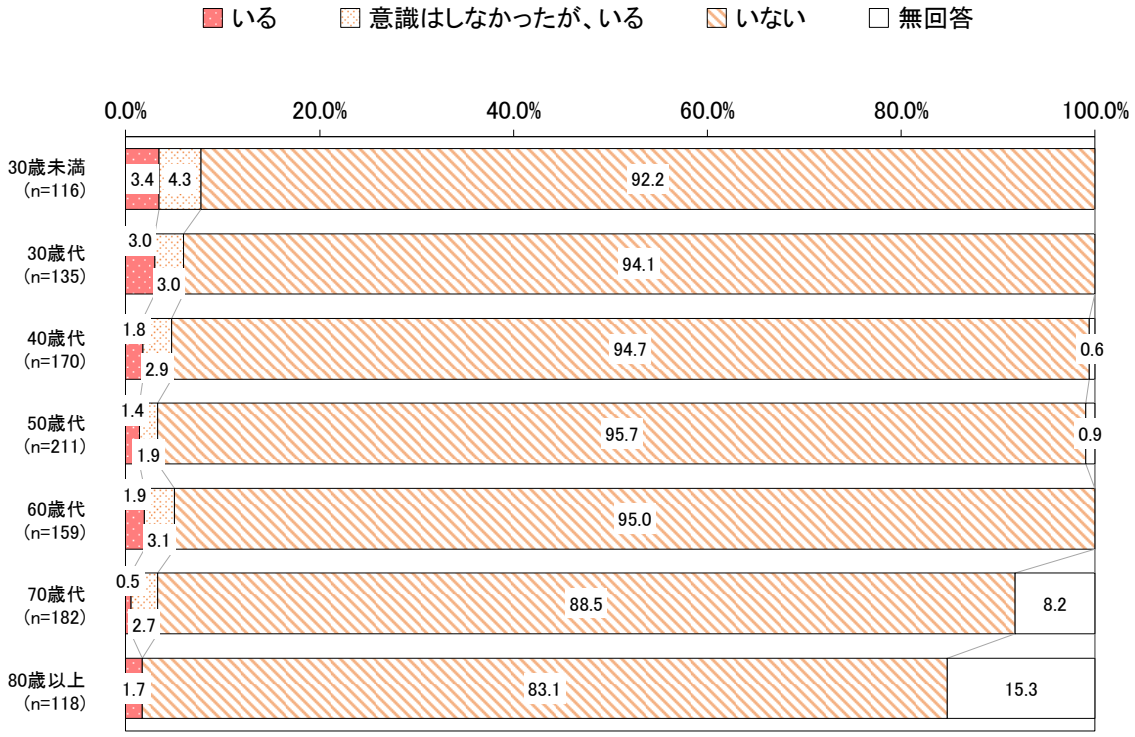
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表８－15　ヤングケアラーと思われる子供の有無（性別）



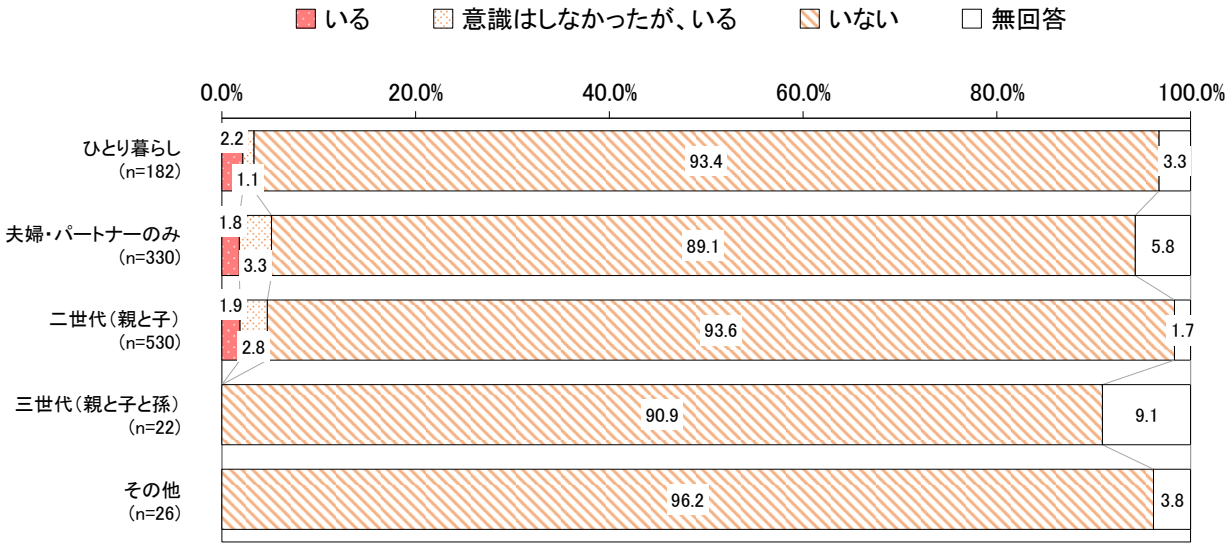
年齢別でみると、大きな差異はみられません。

図表８－16　ヤングケアラーと思われる子供の有無（年齢別）



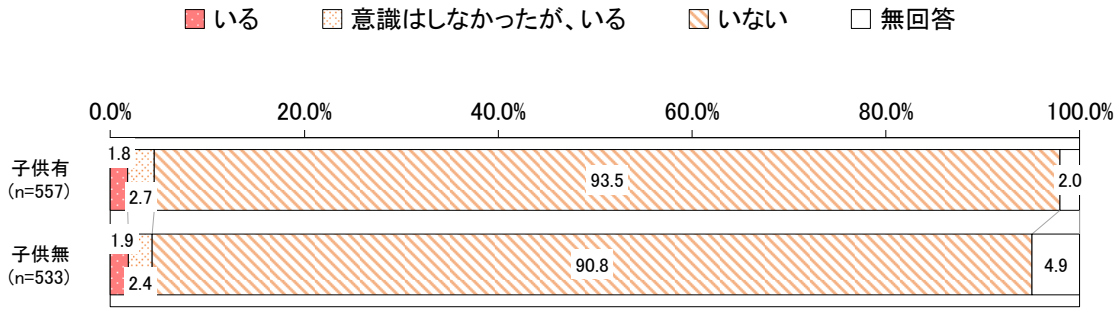
家族構成別でみると、大きな差異はみられません。

図表８－17　ヤングケアラーと思われる子供の有無（家族構成別）



子供の有無別でみると、大きな差異はみられません。

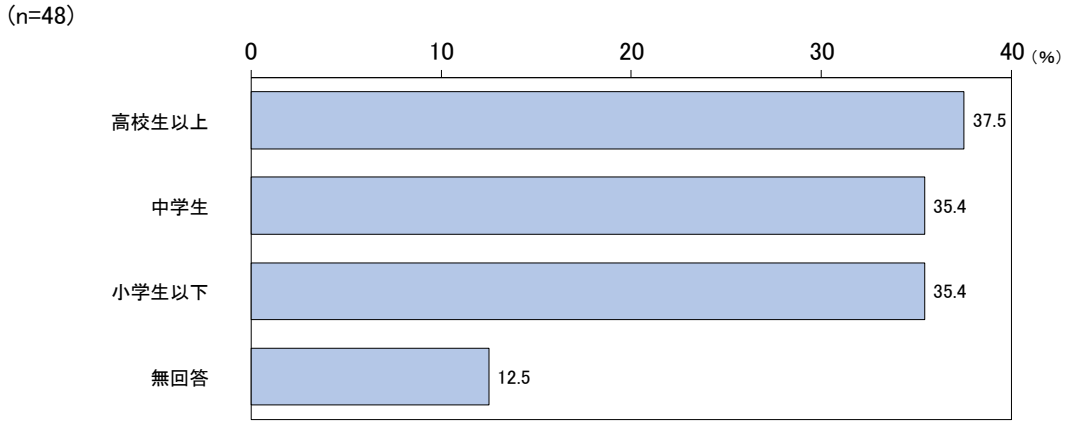
図表８－18　ヤングケアラーと思われる子供の有無（子供の有無別）



問 45-1　子供の年代はどの区分だと思われますか。（いくつでも）

「高校生以上」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「中学生」「小学生以下」の割合が 35.4%となっています。

図表８－19　ヤングケアラーと思われる子供の年代（単純回答）



居住地域別でみると、以下のとおりです。

図表８－20　ヤングケアラーと思われる子供の年代（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	高校生以上	中学生	小学生以下	無回答
居住地域別	JR以南地域	5	20.0	80.0	60.0	－
	片山・岸部地域	6	－	33.3	16.7	50.0
	豊津・江坂・南吹田地域	6	66.7	16.7	33.3	－
	千里山・佐井寺地域	11	54.5	27.3	36.4	9.1
	山田・千里丘地域	12	41.7	41.7	33.3	8.3
	千里NT・万博・阪大地域	7	28.6	28.6	28.6	14.3

性別でみると、以下のとおりです。

図表８－21　ヤングケアラーと思われる子供の年代（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	高校生以上	中学生	小学生以下	無回答
性別	女性	23	34.8	34.8	39.1	13.0
	男性	24	41.7	33.3	33.3	12.5
	答えたくない	1	－	100.0	－	－

年齢別でみると、以下のとおりです。

図表８－22　ヤングケアラーと思われる子供の年代（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	高校生以上	中学生	小学生以下	無回答
年齢別	30 歳未満	9	44.4	11.1	11.1	33.3
	30 歳代	8	－	50.0	50.0	－
	40 歳代	8	12.5	62.5	25.0	25.0
	50 歳代	7	42.9	28.6	42.9	14.3
	60 歳代	8	75.0	25.0	37.5	－
	70 歳代	6	66.7	33.3	33.3	－
	80 歳以上	2	－	50.0	100.0	－

家族構成別でみると、以下のとおりです。

図表８－23　ヤングケアラーと思われる子供の年代（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	高校生以上	中学生	小学生以下	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	6	16.7	－	50.0	33.3
	夫婦・パートナーのみ	17	52.9	35.3	29.4	17.6
	二世代（親と子）	25	32.0	44.0	36.0	4.0
	三世代（親と子と孫）	0	－	－	－	－
	その他	0	－	－	－	－

子供の有無別でみると、以下のとおりです。

図表８－24　ヤングケアラーと思われる子供の年代（子供の有無別）

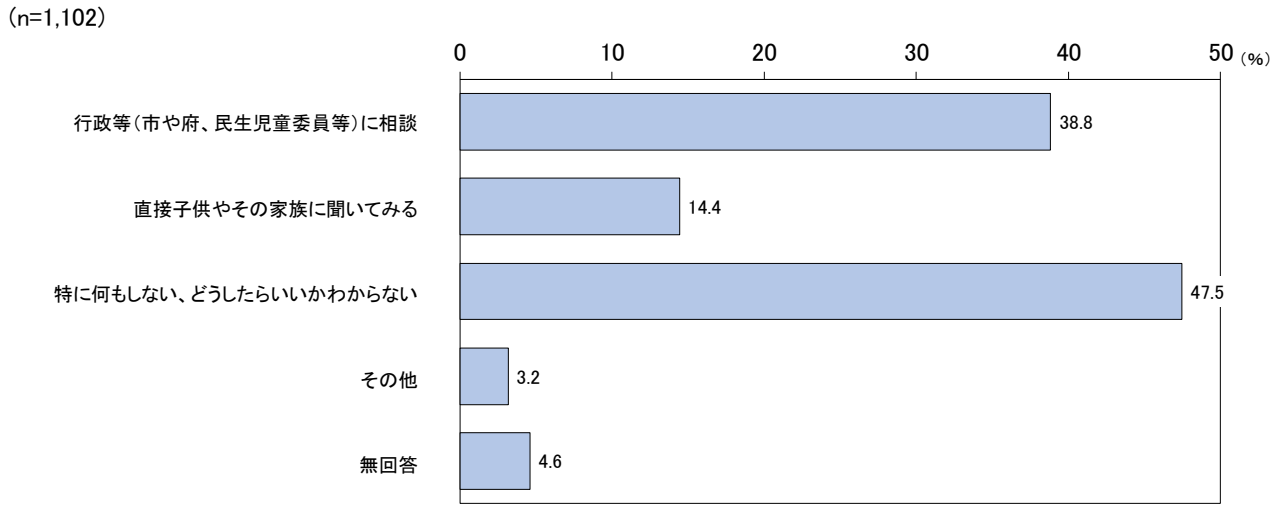
単位：％

区分		有効回答数（件）	高校生以上	中学生	小学生以下	無回答
子	子供有	25	32.0	44.0	36.0	4.0
	子供無	23	43.5	26.1	34.8	21.7

問46　ヤングケアラーと思われる子供を発見したとき、どのように行動されますか。（いくつでも）

「特に何もしない、どうしたらいいかわからない」の割合が47.5%と最も高く、次いで「行政等（市や府、民生児童委員等）に相談」の割合が38.8%、「直接子供やその家族に聞いてみる」の割合が14.4%となっています。

図表８－25　ヤングケアラーと思われる子供を発見したときの行動（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「特に何もしない、どうしたらいいかわからない」の割合が最も高くなっています。

図表８－26　ヤングケアラーと思われる子供を発見したときの行動（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	行政等(市や府、民生児童委員等)に相談	直接子供やその家族に聞いてみる	特に何もしない、どうしたらいいかわからない	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	29.5	11.4	53.4	9.1	6.8
	片山・岸部地域	155	42.6	12.3	47.7	1.3	3.2
	豊津・江坂・南吹田地域	204	32.4	14.7	53.9	4.9	2.5
	千里山・佐井寺地域	193	45.6	14.0	43.0	2.1	4.7
	山田・千里丘地域	234	40.2	18.4	44.0	2.1	3.8
	千里NT・万博・阪大地域	199	41.7	13.6	46.7	2.0	4.5

性別でみると、女性より男性の方が「特に何もしない、どうしたらいいかわからない」に回答が集中しています。

図表８－27　ヤングケアラーと思われる子供を発見したときの行動（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	行政等（市や府、民生児童委員等）に相談	直接子供やその家族に聞いてみる	特に何もしない、どうしたらいいかわからない	その他	無回答
性別	女性	631	42.5	17.7	42.3	3.5	5.1
	男性	454	33.3	9.7	54.8	2.9	4.2
	答えたくない	15	53.3	20.0	40.0	－	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「特に何もしない、どうしたらいいかわからない」の割合が最も高くなっています。

図表８－28　ヤングケアラーと思われる子供を発見したときの行動（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	行政等（市や府、民生児童委員等）に相談	直接子供やその家族に聞いてみる	特に何もしない、どうしたらいいかわからない	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	28.4	23.3	50.0	1.7	2.6
	30 歳代	135	28.9	17.8	53.3	4.4	2.2
	40 歳代	170	35.9	12.4	52.4	7.1	1.2
	50 歳代	211	41.2	14.7	48.8	3.8	2.4
	60 歳代	159	52.2	15.7	37.1	1.3	1.9
	70 歳代	182	45.1	12.6	45.6	0.5	7.1
	80 歳以上	118	33.9	6.8	46.6	2.5	16.1

家族構成別でみると、他に比べ、三世代（親と子と孫）で「特に何もしない、どうしたらいいかわからない」の割合が高くなっています。

図表８－29　ヤングケアラーと思われる子供を発見したときの行動（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	行政等（市や府、民生児童委員等）に相談	直接子供やその家族に聞いてみる	特に何もしない、どうしたらいいかわからない	その他	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	182	39.6	9.3	49.5	4.4	6.6
	夫婦・パートナーのみ	330	43.0	15.2	42.4	2.1	6.1
	二世代（親と子）	530	37.2	15.8	49.4	3.6	2.3
	三世代（親と子と孫）	22	27.3	18.2	50.0	－	9.1
	その他	26	30.8	15.4	57.7	－	7.7

子供の有無別でみると、子供有の方に比べ、子供無の方で「行政等（市や府、民生児童委員等）に相談」の割合が高くなっています。

図表８－30　ヤングケアラーと思われる子供を発見したときの行動（子供の有無別）

単位：％

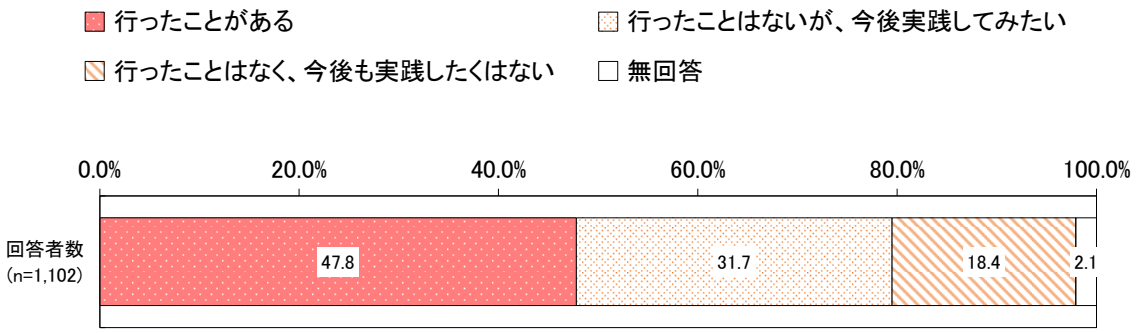
区分		有効回答数（件）	行政等（市や府、民生児童委員等）に相談	直接子供やその家族に聞いてみる	特に何もしない、どうしたらいいかわからない	その他	無回答
子	子供有	557	36.8	16.0	49.6	3.4	2.5
	子供無	533	41.3	13.1	45.4	2.8	6.4

第９章　減塩を意識した食生活について

問 47　あなたは、減塩を意識した食生活を行ったことがありますか。（１つだけ○印）

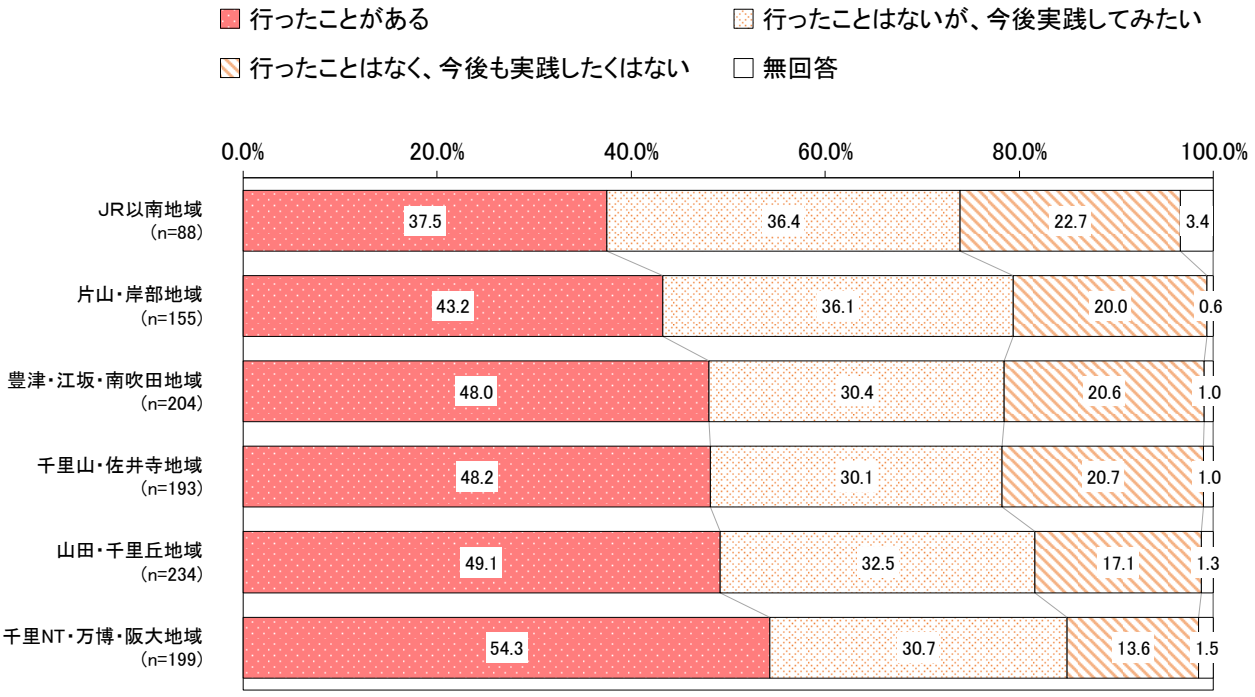
「行ったことがある」の割合が 47.8％と最も高く、次いで「行ったことはないが、今後実践してみたい」の割合が 31.7％、「行ったことはなく、今後も実践したくはない」の割合が 18.4％となっています。

図表９－１　減塩を意識した食生活の経験（単純回答）



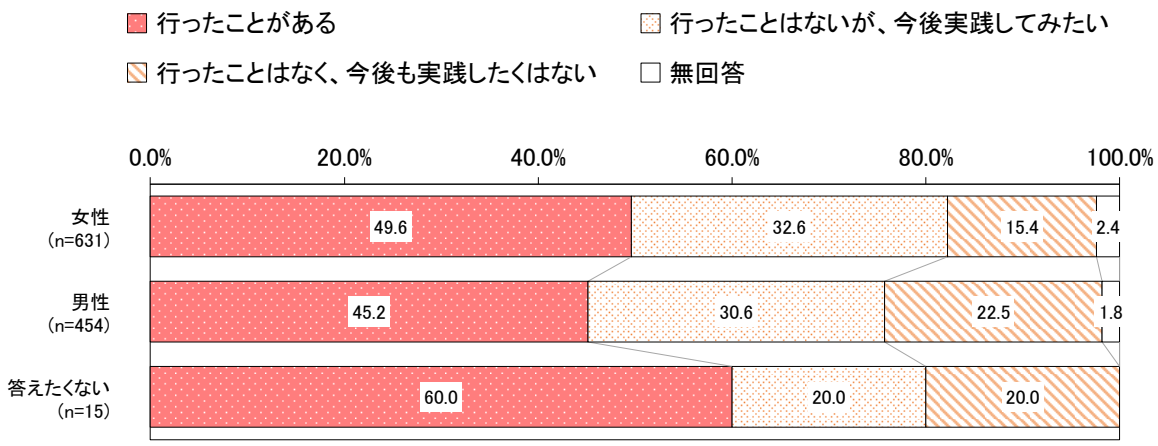
居住地域別でみると、他に比べ、千里ＮＴ・万博・阪大地域で「行ったことがある」の割合が最も高くなっています。

図表９－２　減塩を意識した食生活の経験（居住地域別）



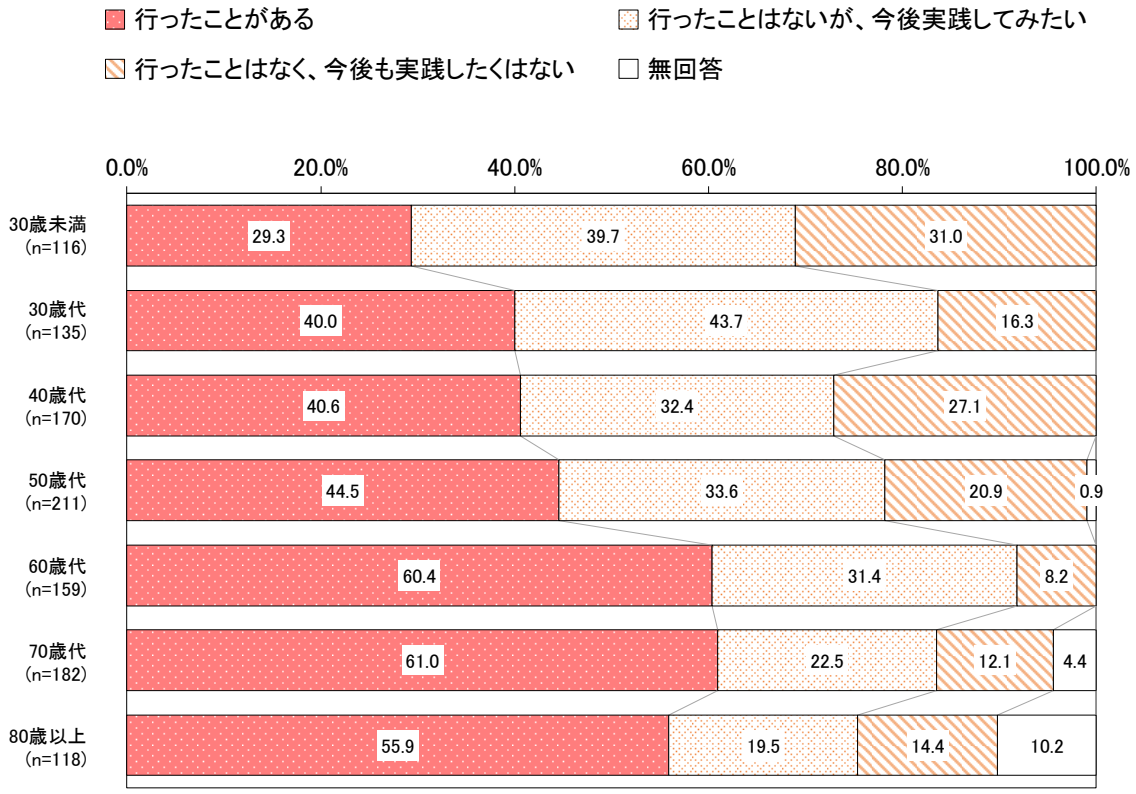
性別でみると、男性より女性の方が「行ったことがある」と答えています。

図表９－３　減塩を意識した食生活の経験（性別）



年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「行ったことがある」の割合が最も高くなっています。

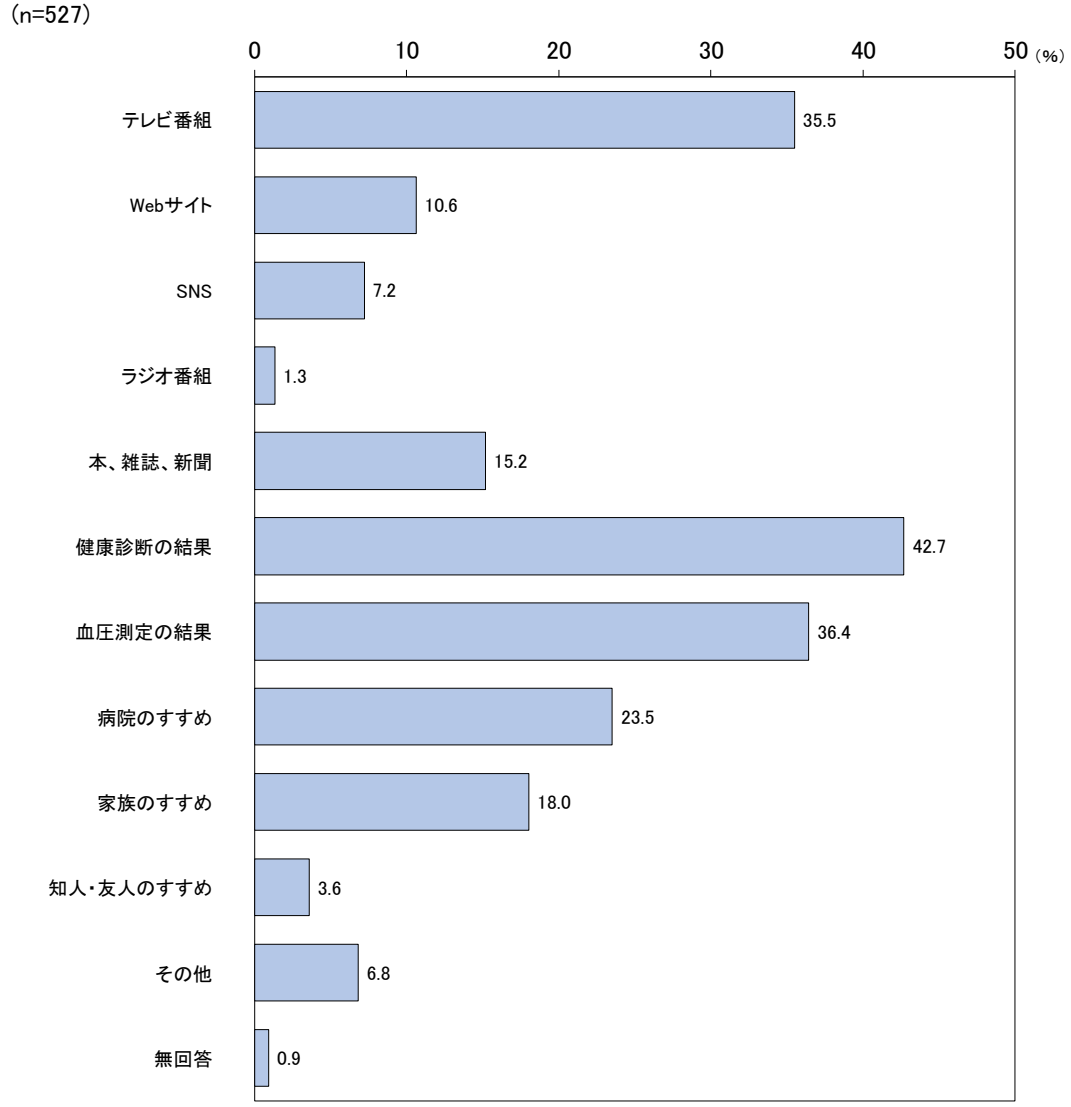
図表９－４　減塩を意識した食生活の経験（年齢別）



問 47-1(1)　減塩を意識した食生活を始めたきっかけはなんですか。（いくつでも）

「健康診断の結果」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「血圧測定の結果」の割合が 36.4%、「テレビ番組」の割合が 35.5%となっています。

図表９－５　減塩を意識した食生活を始めたきっかけ（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「健康診断の結果」の割合が最も高くなっています。

図表９－６　減塩を意識した食生活を始めたきっかけ（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	テレビ番組	Ｗｅｂサイト	ＳＮＳ	ラジオ番組	本、雑誌、新聞	健康診断の結果
居住地域別	JR以南地域	33	24.2	9.1	6.1	－	6.1	51.5
	片山・岸部地域	67	31.3	6.0	6.0	3.0	14.9	52.2
	豊津・江坂・南吹田地域	98	36.7	15.3	9.2	3.1	14.3	39.8
	千里山・佐井寺地域	93	36.6	14.0	5.4	1.1	18.3	45.2
	山田・千里丘地域	115	31.3	6.1	3.5	－	8.7	42.6
	千里NT・万博・阪大地域	108	41.7	12.0	13.0	0.9	21.3	36.1

区分		有効回答数（件）	血圧測定の結果	病院のすすめ	家族のすすめ	知人・友人のすすめ	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	33	48.5	27.3	27.3	－	3.0	－
	片山・岸部地域	67	47.8	31.3	19.4	3.0	9.0	1.5
	豊津・江坂・南吹田地域	98	30.6	17.3	18.4	4.1	6.1	－
	千里山・佐井寺地域	93	31.2	20.4	12.9	4.3	6.5	2.2
	山田・千里丘地域	115	37.4	23.5	20.0	1.7	8.7	1.7
	千里NT・万博・阪大地域	108	31.5	22.2	17.6	6.5	5.6	－

性別でみると、女性より男性の方が「健康診断の結果」と答えています。

図表９－７　減塩を意識した食生活を始めたきっかけ（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	テレビ番組	Ｗｅｂサイト	ＳＮＳ	ラジオ番組	本、雑誌、新聞	健康診断の結果
性別	女性	313	37.4	10.2	7.0	1.6	18.5	39.0
	男性	205	32.7	10.2	6.3	1.0	7.8	47.3
	答えたくない	9	33.3	33.3	33.3	－	66.7	66.7

区分		有効回答数（件）	血圧測定の結果	病院のすすめ	家族のすすめ	知人・友人のすすめ	その他	無回答
性別	女性	313	33.2	19.5	14.7	5.1	9.3	1.0
	男性	205	41.0	29.3	22.9	1.0	3.4	1.0
	答えたくない	9	44.4	33.3	22.2	11.1	－	－

年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「健康診断の結果」の割合が最も高くなっています。

図表９－８　減塩を意識した食生活を始めたきっかけ（年齢別）

単位：％

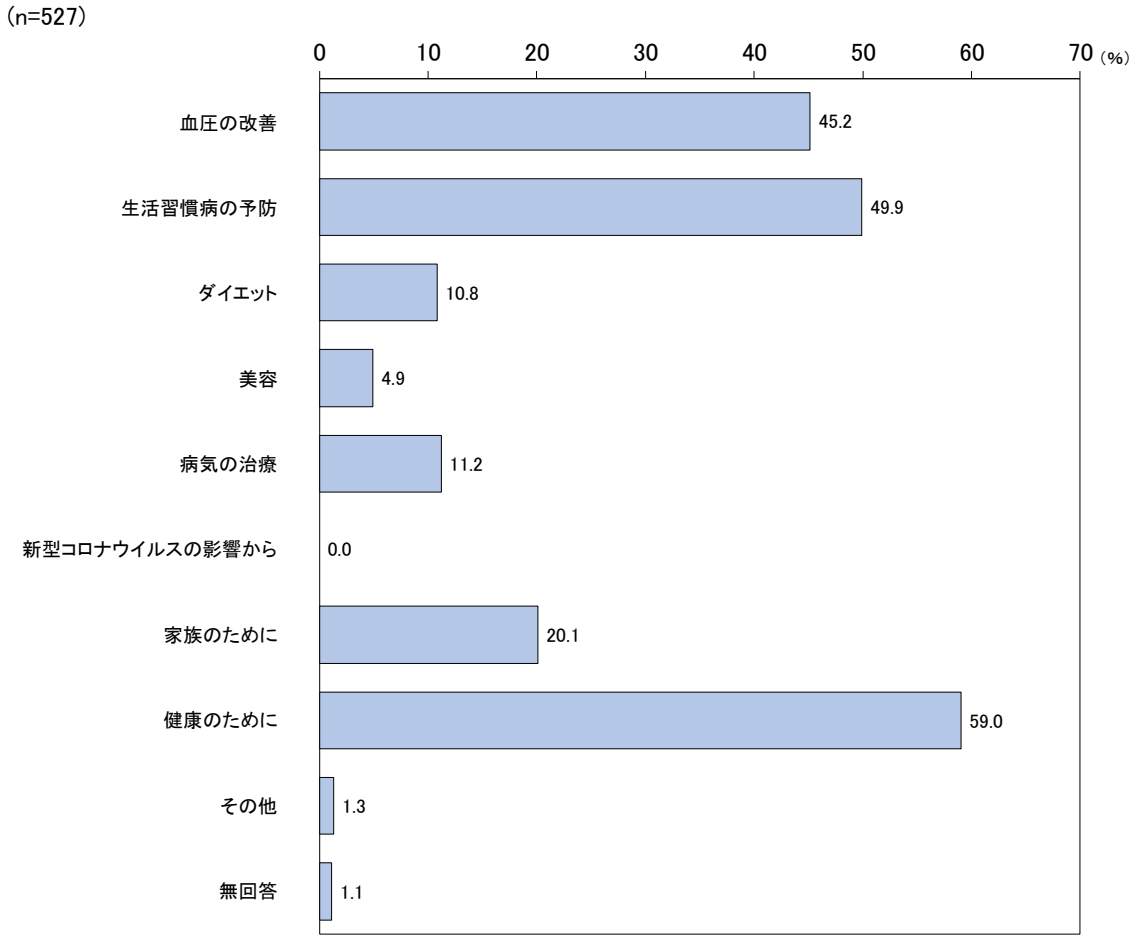
区分		有効回答数（件）	テレビ番組	Ｗｅｂサイト	ＳＮＳ	ラジオ番組	本、雑誌、新聞	健康診断の結果
年齢別	30 歳未満	34	23.5	17.6	17.6	－	8.8	11.8
	30 歳代	54	27.8	25.9	29.6	－	11.1	20.4
	40 歳代	69	31.9	5.8	10.1	－	17.4	43.5
	50 歳代	94	37.2	16.0	5.3	1.1	9.6	50.0
	60 歳代	96	40.6	11.5	3.1	2.1	21.9	42.7
	70 歳代	111	36.0	2.7	0.9	3.6	17.1	52.3
	80 歳以上	66	40.9	4.5	－	－	13.6	50.0

区分		有効回答数（件）	血圧測定の結果	病院のすすめ	家族のすすめ	知人・友人のすすめ	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	34	8.8	2.9	32.4	2.9	17.6	2.9
	30 歳代	54	13.0	5.6	18.5	5.6	13.0	3.7
	40 歳代	69	27.5	15.9	14.5	1.4	7.2	1.4
	50 歳代	94	39.4	19.1	23.4	5.3	8.5	1.1
	60 歳代	96	38.5	22.9	11.5	3.1	4.2	－
	70 歳代	111	47.7	41.4	16.2	4.5	3.6	－
	80 歳以上	66	54.5	31.8	19.7	1.5	3.0	－

問 47-1(2)　減塩を意識した食生活を行った理由はなんですか。（いくつでも）

「健康のために」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「生活習慣病の予防」の割合が 49.9%、「血圧の改善」の割合が 45.2%となっています。

図表９－９　減塩を意識した食生活を行った理由（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、ＪＲ以南地域で「健康のために」の割合が最も高くなっています。

図表９－10　減塩を意識した食生活を行った理由（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	血圧の改善	生活習慣病の予防	ダイエット	美容	病気の治療	新型コロナウイルスの影響から	家族のために	健康のために	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	33	48.5	42.4	6.1	3.0	18.2	－	21.2	66.7	－	3.0
	片山・岸部地域	67	56.7	55.2	7.5	1.5	7.5	－	17.9	65.7	3.0	1.5
	豊津・江坂・南吹田地域	98	37.8	42.9	13.3	9.2	12.2	－	19.4	54.1	－	2.0
	千里山・佐井寺地域	93	45.2	55.9	15.1	6.5	8.6	－	18.3	50.5	－	1.1
	山田・千里丘地域	115	47.0	47.8	7.8	1.7	10.4	－	20.9	59.1	1.7	0.9
	千里NT・万博・阪大地域	108	40.7	50.0	12.0	6.5	11.1	－	22.2	63.0	2.8	－

性別でみると、男性より女性の方が「健康のために」と答えています。

図表９－11　減塩を意識した食生活を行った理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	血圧の改善	生活習慣病の予防	ダイエット	美容	病気の治療	新型コロナウイルスの影響から	家族のために	健康のために	その他	無回答
性別	女性	313	39.6	50.2	9.6	7.0	10.2	－	25.6	61.0	1.6	0.6
	男性	205	53.2	48.8	12.2	1.5	12.2	－	11.7	54.6	1.0	2.0
	答えたくない	9	55.6	66.7	22.2	11.1	22.2	－	22.2	88.9	－	－

年齢別でみると、他に比べ、80 歳以上で「健康のために」の割合が最も高くなっています。

図表９－12　減塩を意識した食生活を行った理由（年齢別）

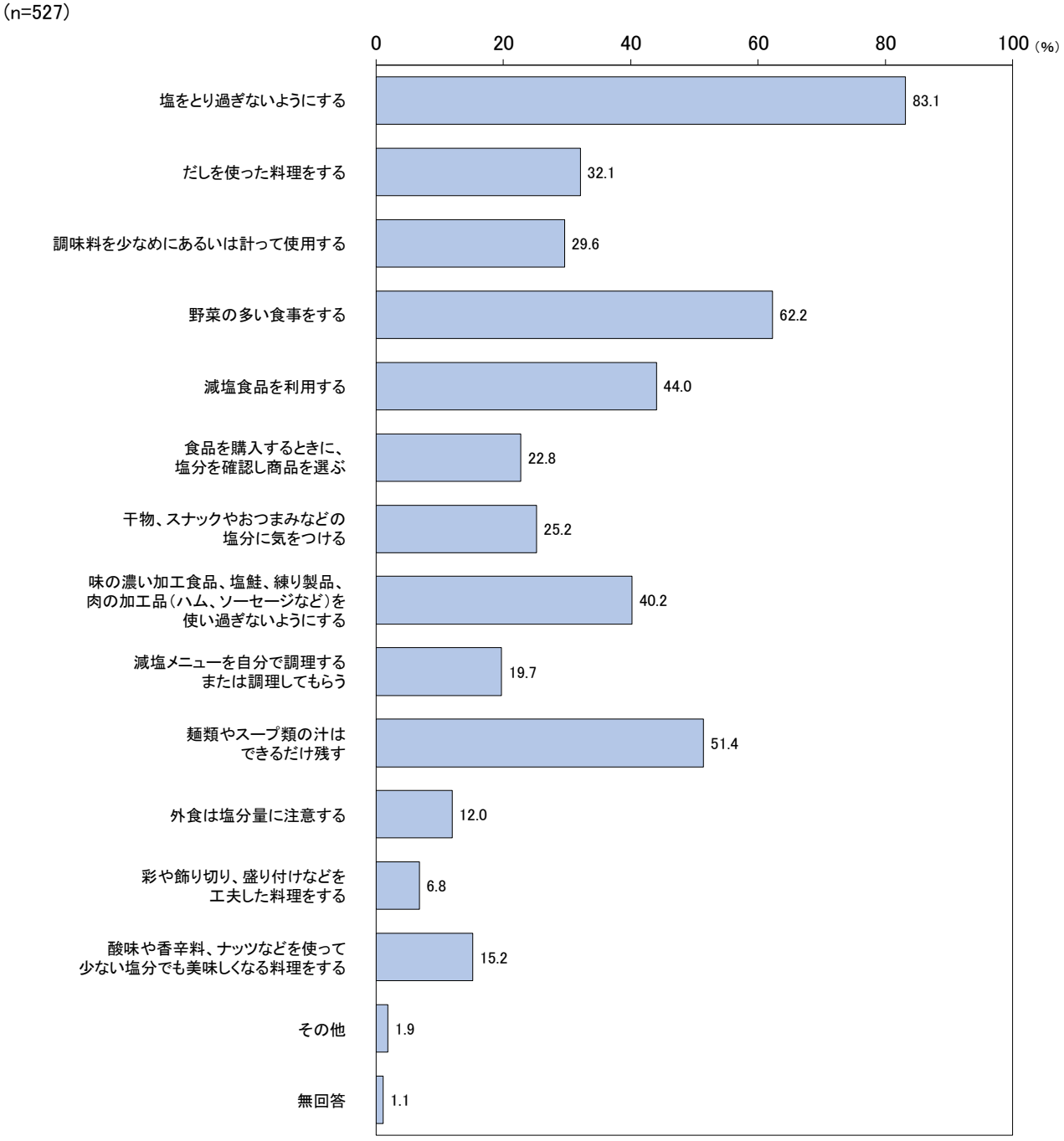
単位：％

区分		有効回答数（件）	血圧の改善	生活習慣病の予防	ダイエット	美容	病気の治療	新型コロナウイルスの影響から	家族のために	健康のために	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	34	20.6	35.3	26.5	29.4	2.9	－	14.7	47.1	2.9	5.9
	30 歳代	54	20.4	42.6	25.9	18.5	1.9	－	13.0	59.3	－	1.9
	40 歳代	69	37.7	44.9	15.9	1.4	7.2	－	23.2	56.5	－	1.4
	50 歳代	94	48.9	45.7	12.8	2.1	5.3	－	34.0	61.7	4.3	1.1
	60 歳代	96	52.1	59.4	6.3	3.1	9.4	－	21.9	56.3	2.1	－
	70 歳代	111	52.3	55.0	2.7	－	24.3	－	17.1	56.8	－	0.9
	80 歳以上	66	60.6	51.5	3.0	－	16.7	－	7.6	71.2	－	－

問 47-1(3)　下記のような減塩を意識した食生活をしたことがありますか。（いくつでも）

「塩をとり過ぎないようにする」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「野菜の多い食事をする」の割合が 62.2%、「麺類やスープ類の汁はできるだけ残す」の割合が 51.4%となっています。

図表９－13　減塩を意識した食生活の詳細（単純回答）



居住地域別でみると、どの地域においても「塩をとり過ぎないようにする」の割合が高くなっています。

図表９－14　減塩を意識した食生活の詳細（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	塩をとり過ぎないようにする	だしを使った料理をする	調味料を少なめにあるいは計って使用する	野菜の多い食事をする	減塩食品を利用する	食品を購入するときに、塩分を確認し商品を選ぶ	干物、スナックやおつまみなどの塩分に気をつける	味の濃い加工食品、塩鮭、練り製品、肉の加工品を使い過ぎないようにする
居住地域別	JR以南地域	33	87.9	33.3	15.2	57.6	51.5	27.3	33.3	36.4
	片山・岸部地域	67	85.1	38.8	38.8	61.2	47.8	22.4	20.9	41.8
	豊津・江坂・南吹田地域	98	80.6	28.6	28.6	61.2	45.9	19.4	21.4	38.8
	千里山・佐井寺地域	93	88.2	32.3	30.1	67.7	50.5	20.4	25.8	49.5
	山田・千里丘地域	115	80.0	29.6	27.8	60.9	40.9	25.2	27.0	36.5
	千里NT・万博・阪大地域	108	79.6	33.3	33.3	63.0	35.2	24.1	25.0	37.0

区分		有効回答数（件）	減塩メニューを自分で調理するまたは調理してもらう	麺類やスープ類の汁はできるだけ残す	外食は塩分量に注意する	彩や飾り切り、盛り付けなどを工夫した料理をする	酸味や香辛料、ナッツなどを使って少ない塩分でも美味しくなる料理をする	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	33	15.2	42.4	9.1	3.0	21.2	－	－
	片山・岸部地域	67	28.4	55.2	10.4	4.5	14.9	1.5	1.5
	豊津・江坂・南吹田地域	98	22.4	49.0	12.2	5.1	9.2	1.0	2.0
	千里山・佐井寺地域	93	19.4	57.0	16.1	8.6	10.8	1.1	2.2
	山田・千里丘地域	115	15.7	53.0	10.4	10.4	14.8	3.5	0.9
	千里NT・万博・阪大地域	108	17.6	47.2	10.2	5.6	23.1	2.8	－

性別でみると、男性より女性の方が「塩をとり過ぎないようにする」と答えています。

図表９－15　減塩を意識した食生活の詳細（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	塩をとり過ぎないようにする	だしを使った料理をする	調味料を少なめにあるいは計って使用する	野菜の多い食事をする	減塩食品を利用する	食品を購入するときに、塩分を確認し商品を選ぶ	干物、スナックやおつまみなどの塩分に気をつける	味の濃い加工食品、塩鮭、練り製品、肉の加工品を使い過ぎないようにする
性別	女性	313	83.4	40.6	36.4	66.8	46.6	23.0	26.5	43.5
	男性	205	82.0	17.6	17.1	54.1	39.5	22.4	23.9	35.6
	答えたくない	9	100.0	66.7	77.8	88.9	55.6	22.2	11.1	33.3

区分		有効回答数（件）	減塩メニューを自分で調理するまたは調理してもらう	麺類やスープ類の汁はできるだけ残す	外食は塩分量に注意する	彩や飾り切り、盛り付けなどを工夫した料理をする	酸味や香辛料、ナッツなどを使って少ない塩分でも美味しくなる料理をする	その他	無回答
性別	女性	313	24.3	52.7	11.8	9.9	20.4	1.9	0.6
	男性	205	12.7	48.3	11.2	1.5	6.3	2.0	2.0
	答えたくない	9	22.2	77.8	33.3	22.2	33.3	－	－

年齢別でみると、どの世代においても「塩をとり過ぎないようにする」の割合が高くなっています。

図表９－16　減塩を意識した食生活の詳細（年齢別）

単位：％

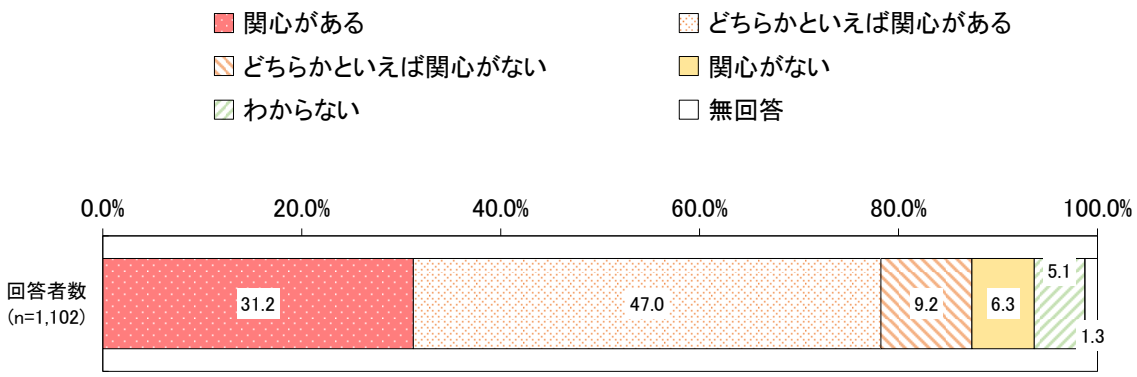
区分		有効回答数（件）	塩をとり過ぎないようにする	だしを使った料理をする	調味料を少なめにあるいは計って使用する	野菜の多い食事をする	減塩食品を利用する	食品を購入するときに、塩分を確認し商品を選ぶ	干物、スナックやおつまみなどの塩分に気をつける	味の濃い加工食品、塩鮭、練り製品、肉の加工品を使い過ぎないようにする
年齢別	30 歳未満	34	76.5	29.4	26.5	55.9	44.1	11.8	20.6	32.4
	30 歳代	54	74.1	37.0	40.7	53.7	50.0	22.2	18.5	40.7
	40 歳代	69	82.6	33.3	39.1	65.2	50.7	17.4	24.6	33.3
	50 歳代	94	81.9	28.7	27.7	57.4	56.4	21.3	12.8	34.0
	60 歳代	96	86.5	36.5	32.3	64.6	47.9	30.2	28.1	36.5
	70 歳代	111	87.4	30.6	21.6	71.2	30.6	26.1	35.1	52.3
	80 歳以上	66	83.3	28.8	25.8	59.1	30.3	19.7	30.3	43.9

区分		有効回答数（件）	減塩メニューを自分で調理するまたは調理してもらう	麺類やスープ類の汁はできるだけ残す	外食は塩分量に注意する	彩や飾り切り、盛り付けなどを工夫した料理をする	酸味や香辛料、ナッツなどを使って少ない塩分でも美味しくなる料理をする	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	34	5.9	41.2	14.7	8.8	11.8	－	5.9
	30 歳代	54	22.2	44.4	11.1	5.6	16.7	1.9	1.9
	40 歳代	69	15.9	46.4	11.6	8.7	13.0	1.4	1.4
	50 歳代	94	23.4	51.1	11.7	6.4	13.8	1.1	－
	60 歳代	96	17.7	53.1	9.4	5.2	10.4	2.1	－
	70 歳代	111	24.3	60.4	13.5	6.3	18.9	3.6	0.9
	80 歳以上	66	18.2	53.0	12.1	7.6	19.7	1.5	1.5

問 48　あなたは、減塩に限らず「食育」に関心がありますか。（１つだけ○印）

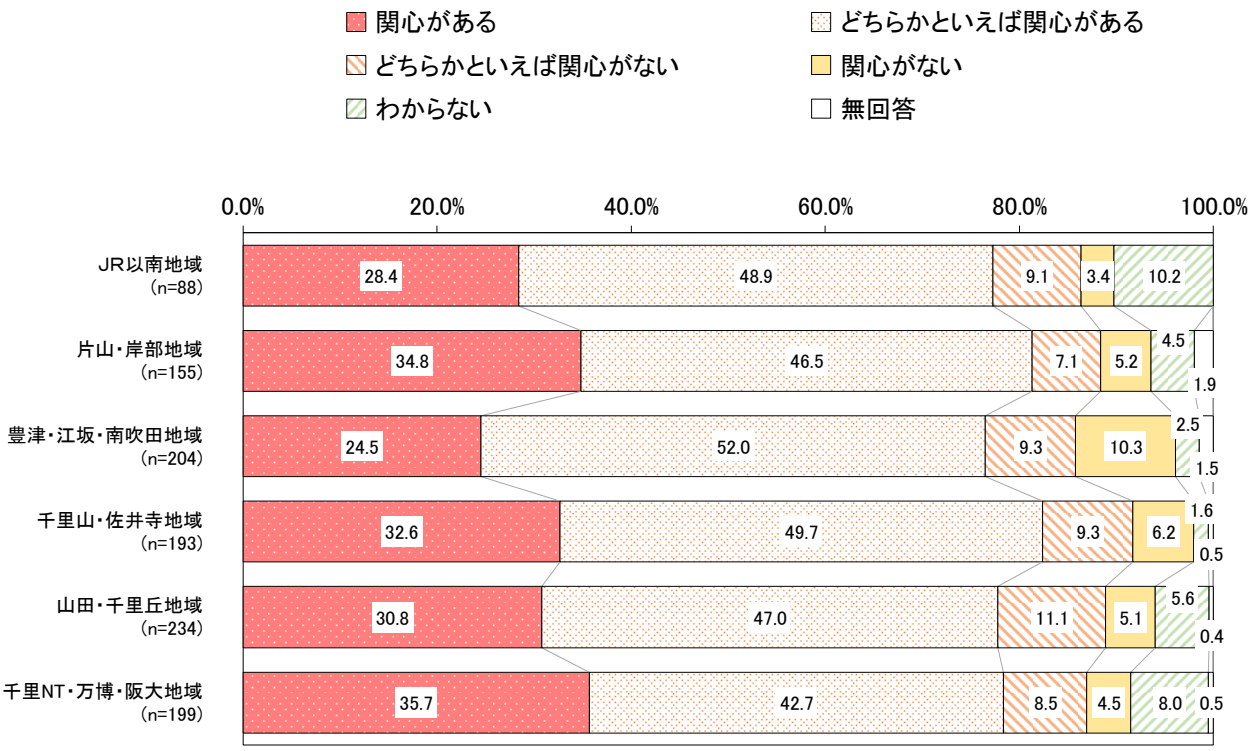
「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が 78.2%、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が 15.5%となっています。

図表９－17　食育への関心度（単純回答）



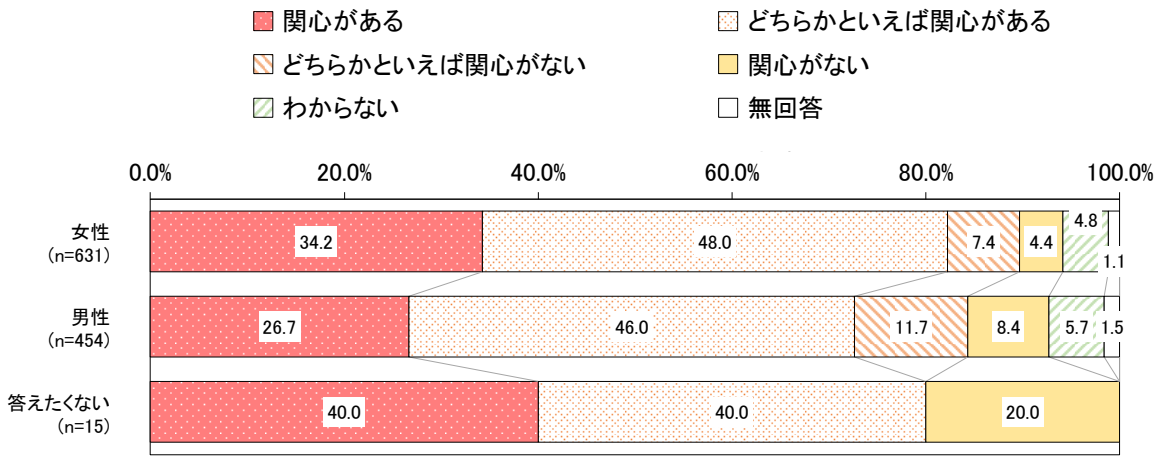
居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が最も高くなっています。

図表９－18　食育への関心度（居住地域別）



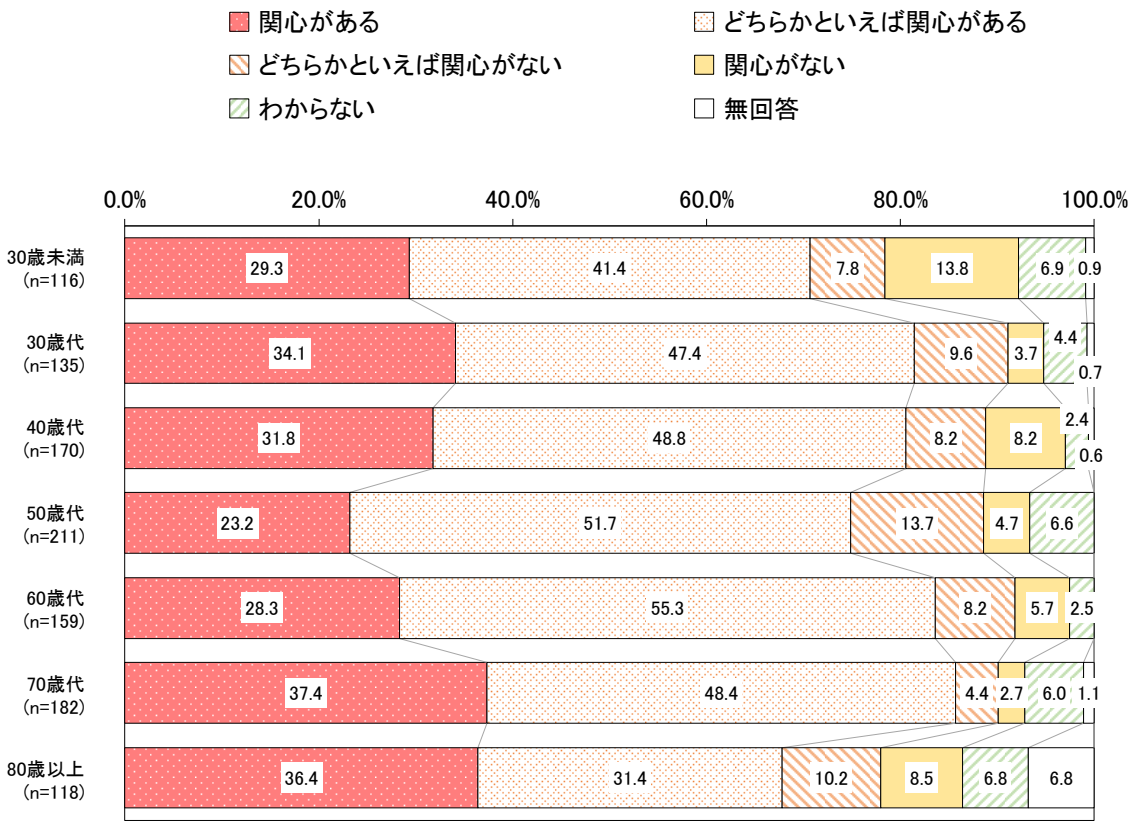
性別でみると、男性より女性の方が“関心がある”と答えています。

図表９－19　食育への関心度（性別）



年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で “関心がある”の割合が最も高くなっています。

図表９－20　食育への関心度（年齢別）

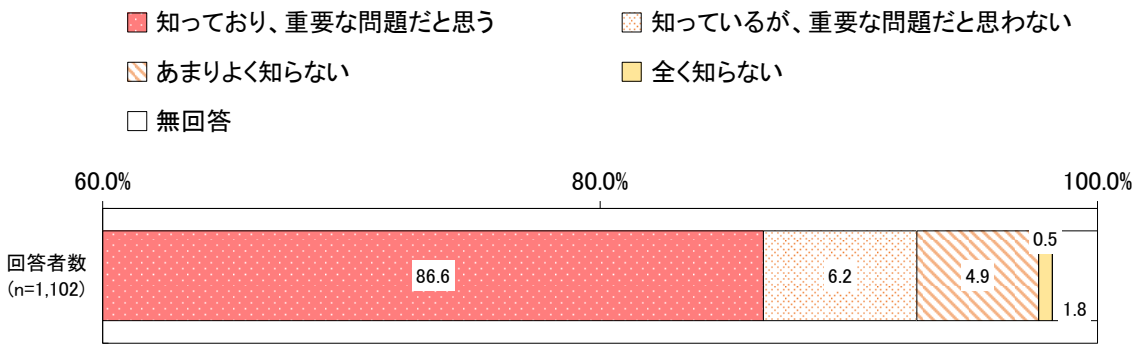


第１０章　地球環境問題について

問 49　あなたは、地球温暖化についてご存知ですか。また重要な問題だと思いますか。（１つだけ○印）

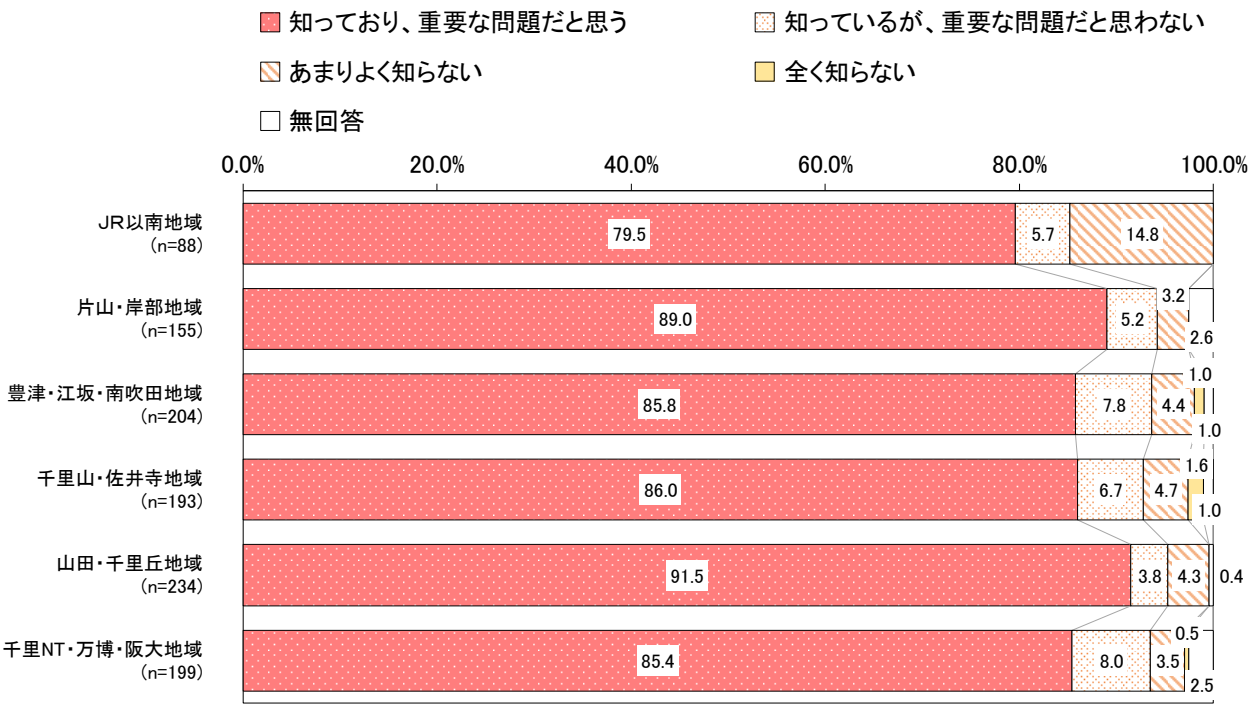
「知っており、重要な問題だと思う」の割合が 86.6%と最も高く、次いで「知っているが、重要な問題だと思わない」の割合が 6.2%、「あまりよく知らない」の割合が 4.9%となっています。

図表10－１　地球温暖化の認知度（単純回答）



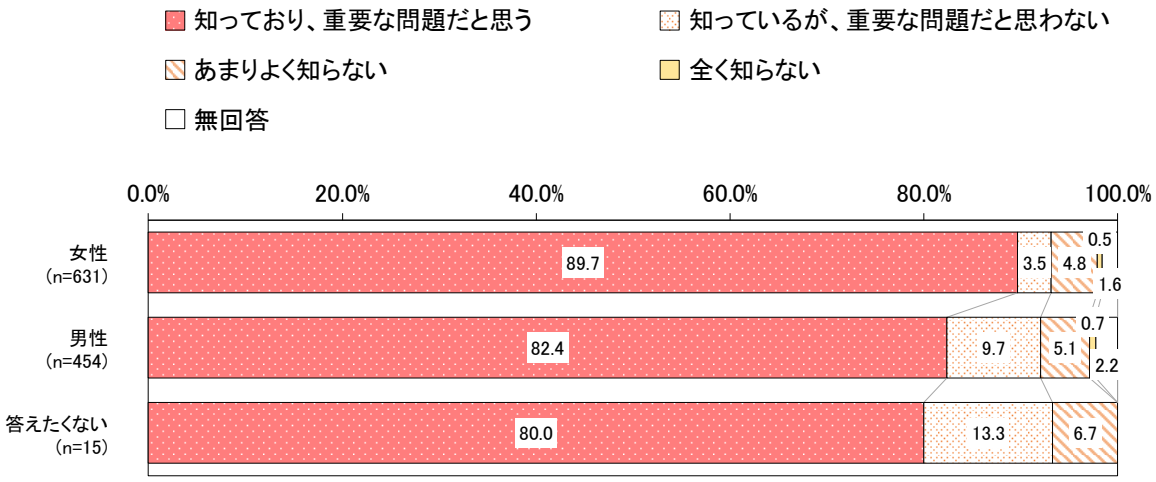
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「知っており、重要な問題だと思う」の割合が最も高くなっています。

図表10－２　地球温暖化の認知度（居住地域別）



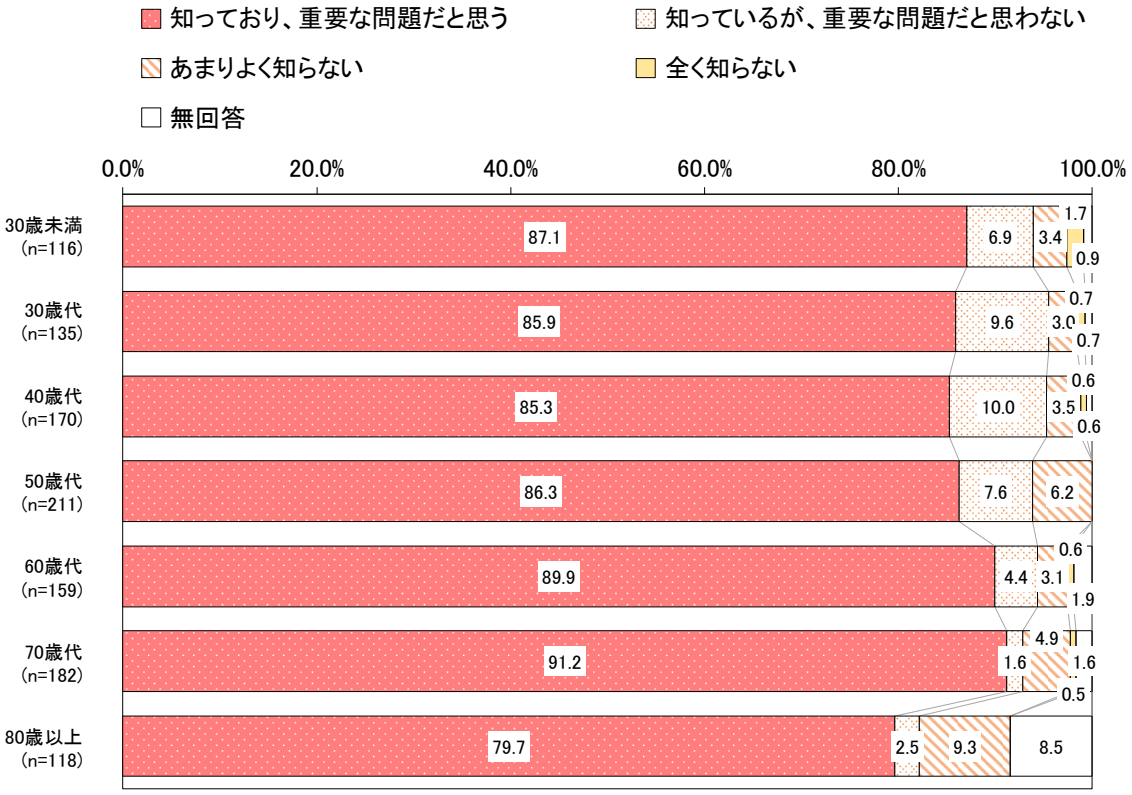
性別でみると、男性より女性の方が「知っており、重要な問題だと思う」と答えています。

図表10－３　地球温暖化の認知度（性別）



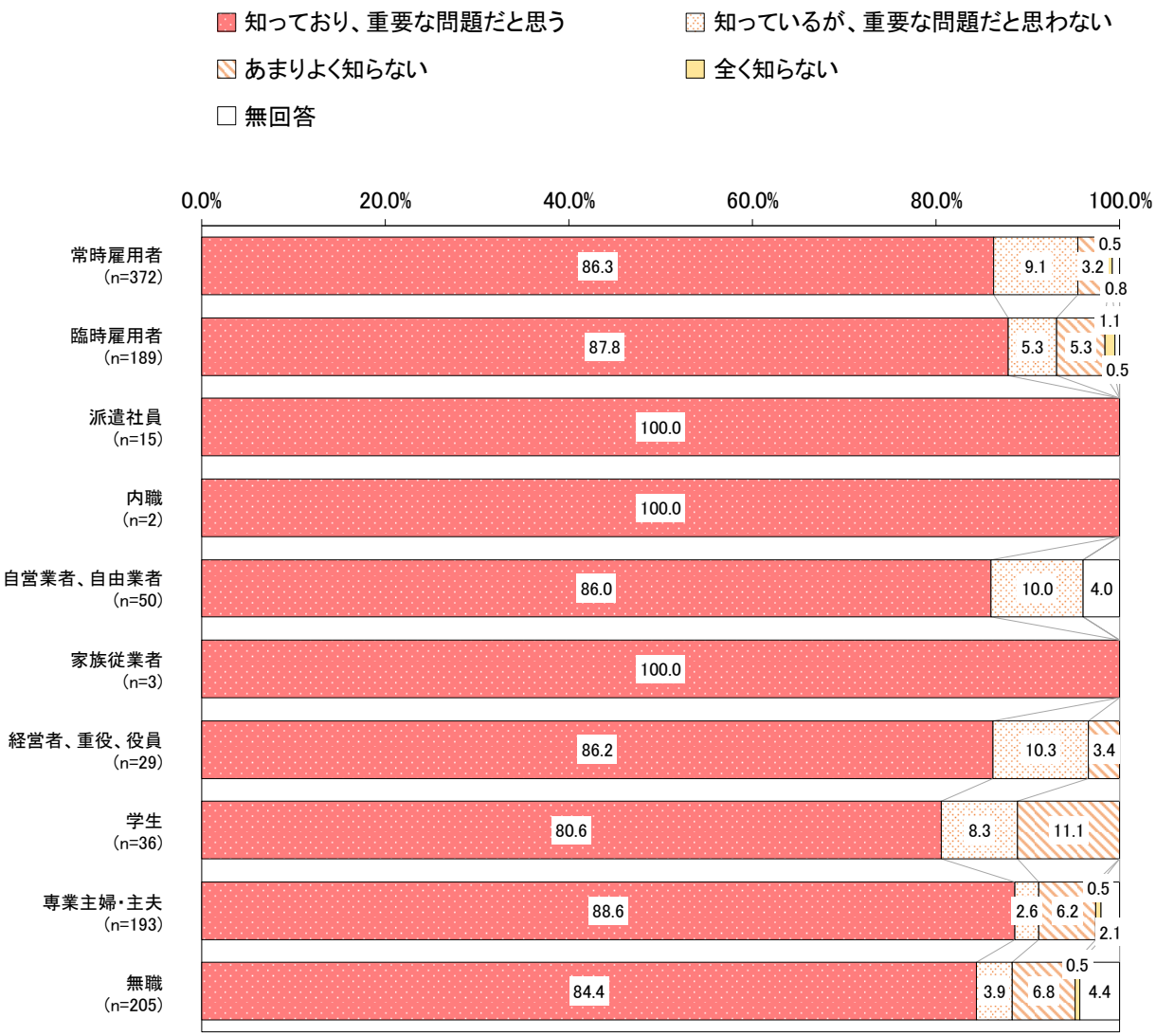
年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「知っており、重要な問題だと思う」の割合が最も高くなっています。

図表10－４　地球温暖化の認知度（年齢別）



職業別でみると、以下のとおりです。

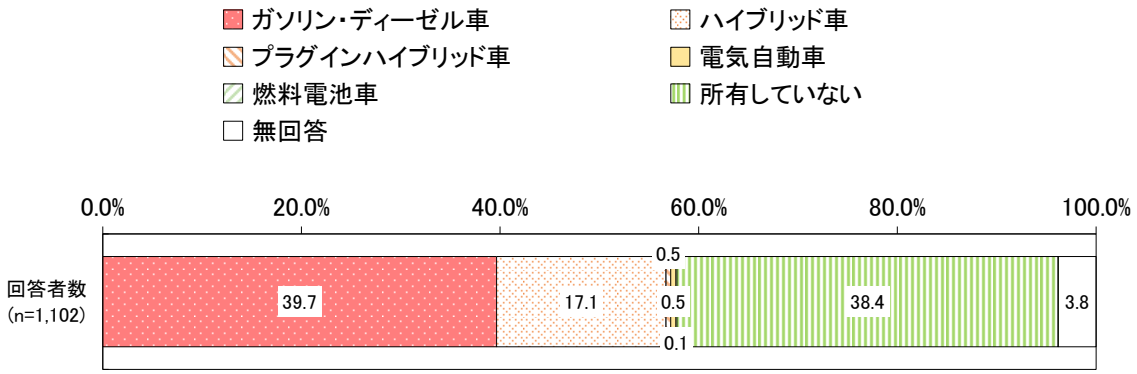
図表10－５　地球温暖化の認知度（職業別）



問 50　現在所有されている車のうち、主に利用している車の種類を教えてください。
（１つだけ○印）

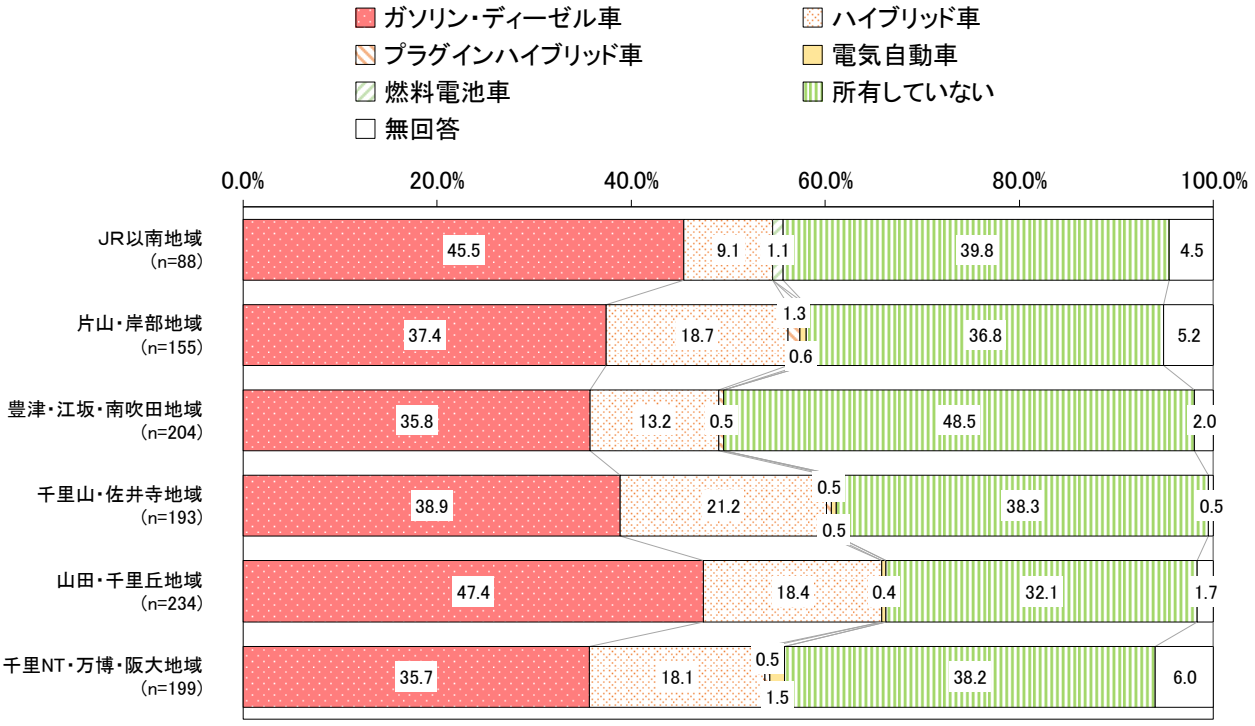
「ガソリン・ディーゼル車」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「所有していない」の割合が 38.4%、「ハイブリッド車」の割合が 17.1%となっています。

図表10－６　主に利用している車の種類（単純回答）



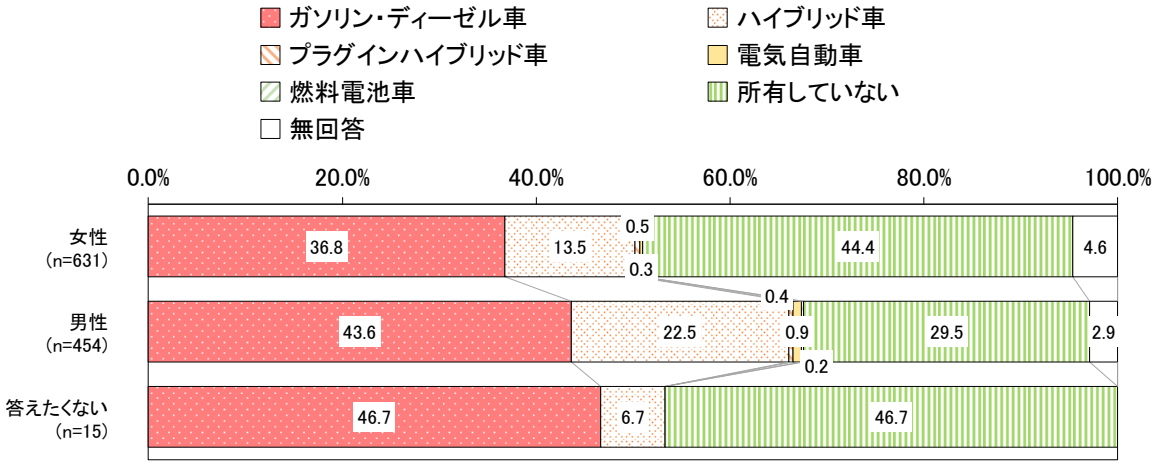
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「所有していない」の割合が最も高くなっています。

図表10－７　主に利用している車の種類（居住地域別）



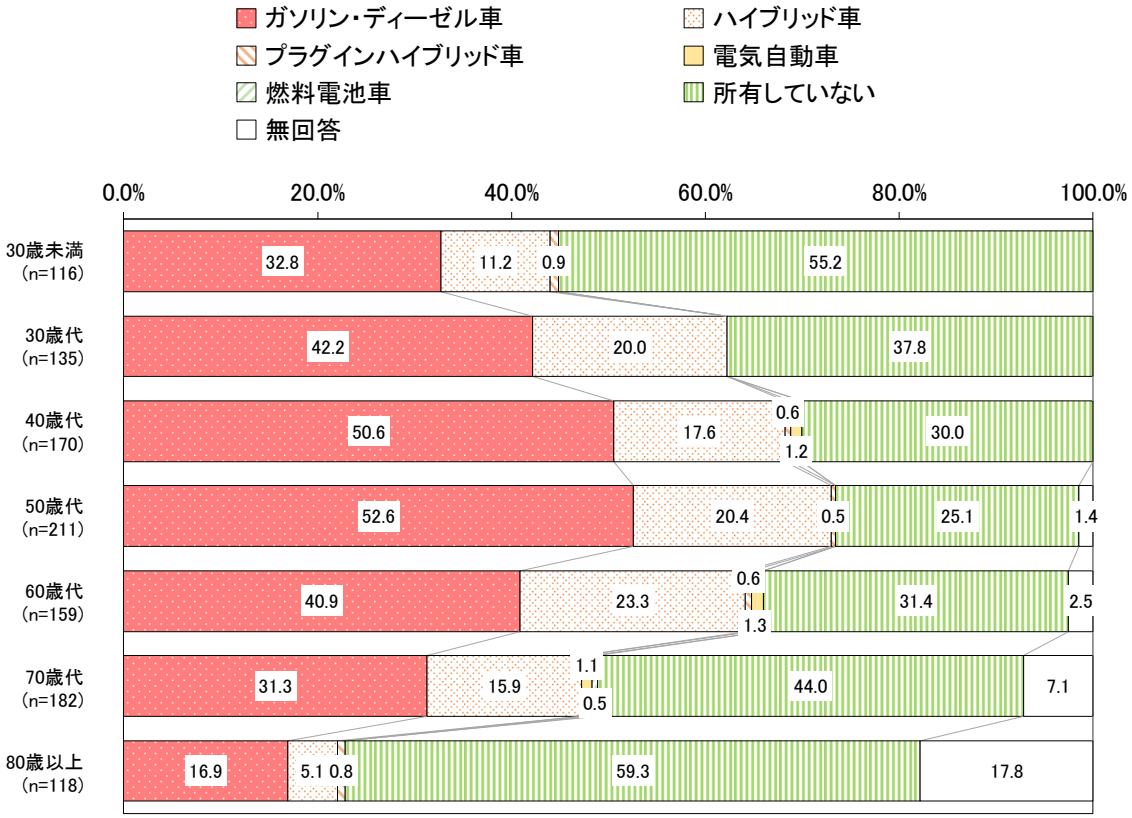
性別でみると、男性より女性の方が「所有していない」と答えています。

図表10－８　主に利用している車の種類（性別）



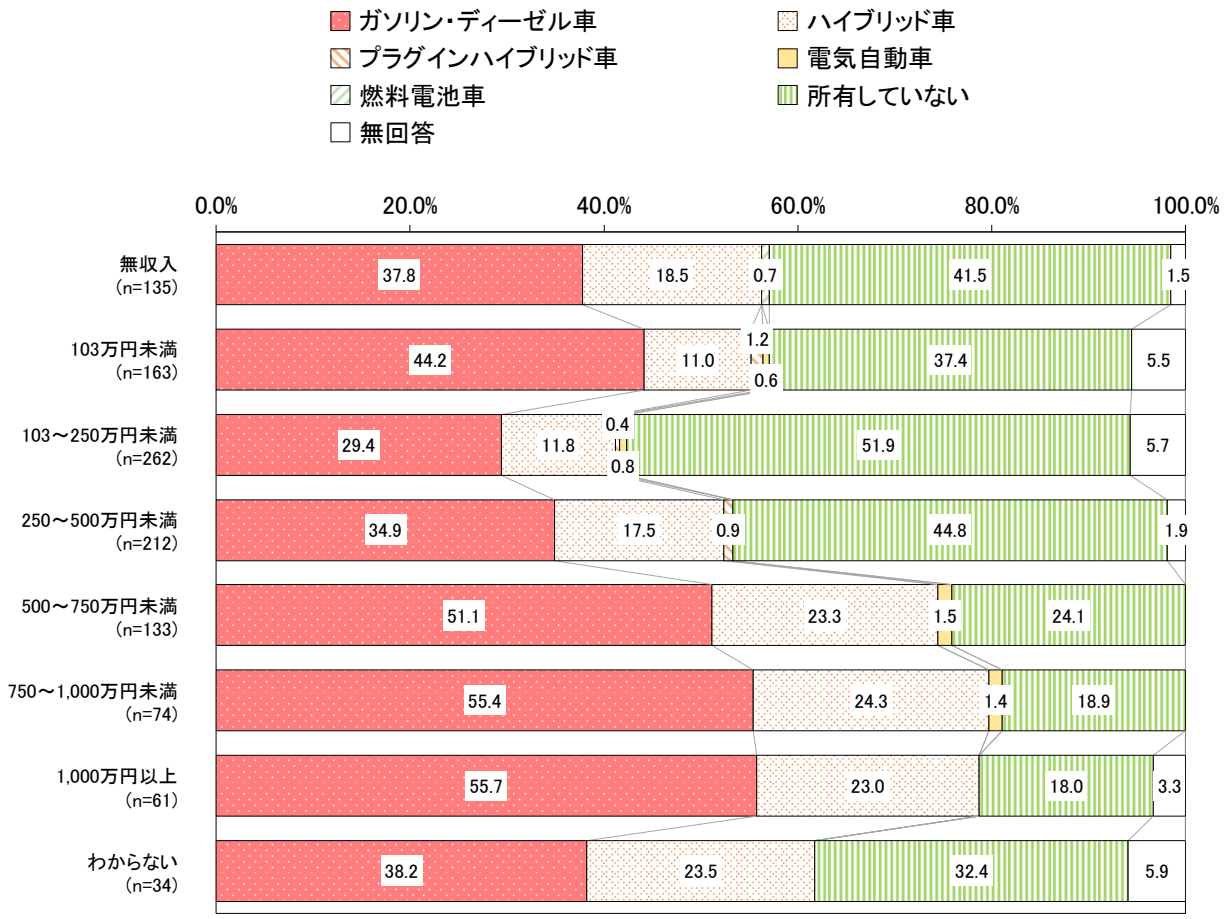
年齢別でみると、他に比べ、80 歳以上で「所有していない」の割合が最も高くなっています。

図表10－９　主に利用している車の種類（年齢別）



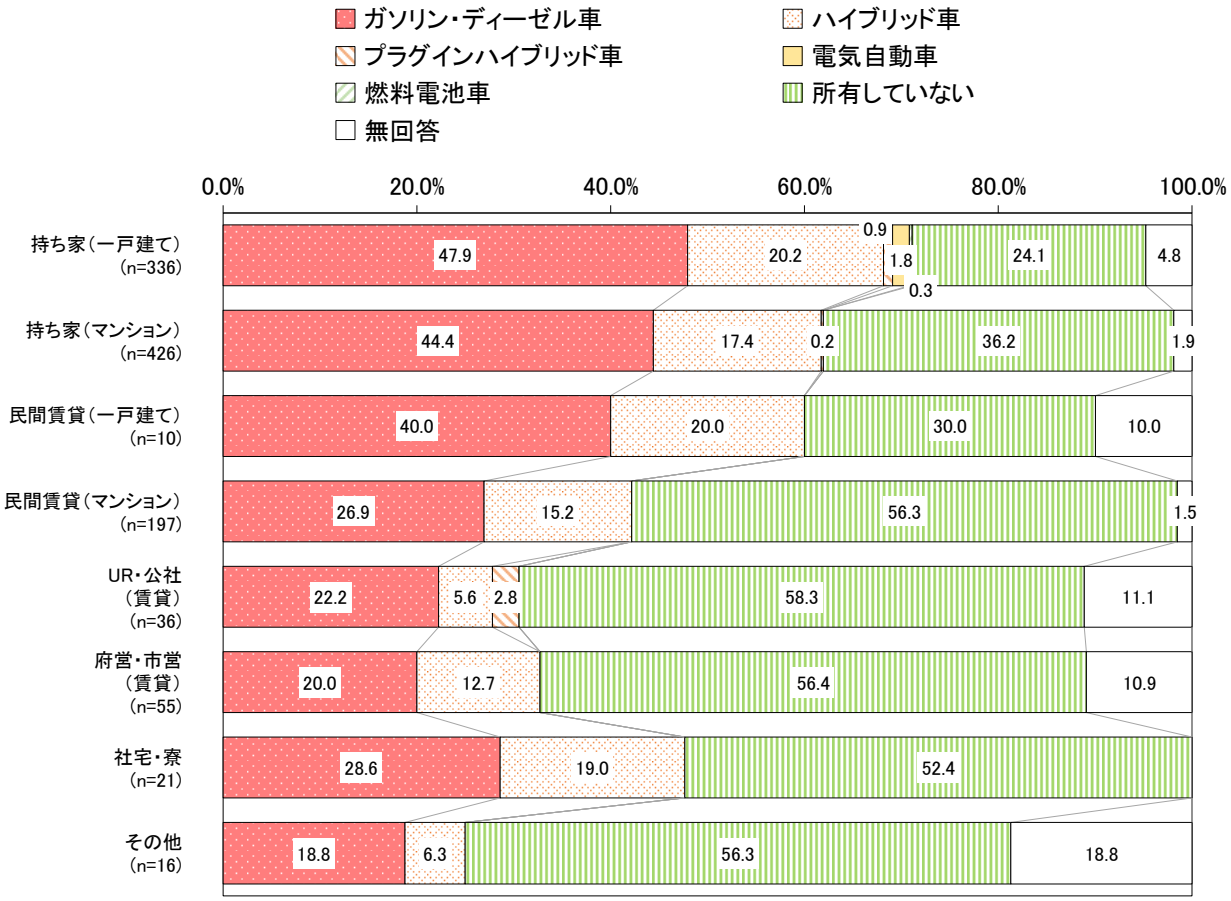
個人収入別でみると、他に比べ、1,000 万円以上で「ガソリン・ディーゼル車」の割合が最も高くなっています。

図表10－10　主に利用している車の種類（個人収入別）



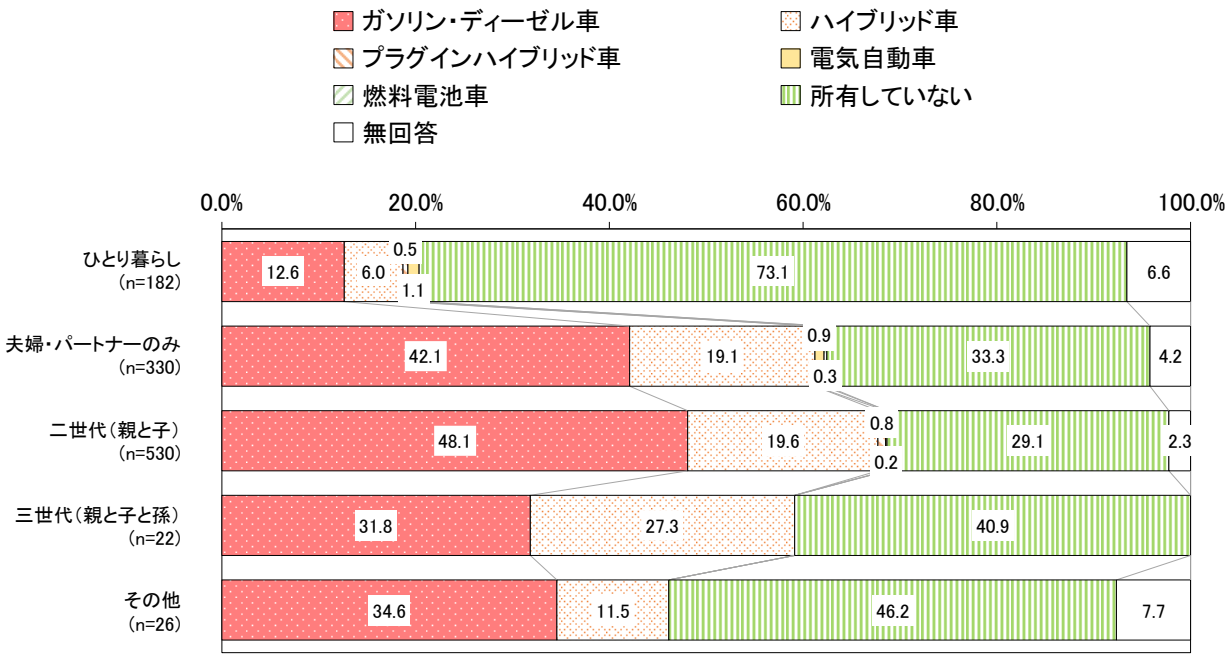
居住形態別でみると、他に比べ、ＵＲ・公社（賃貸）で「所有していない」の割合が最も高くなっています。

図表 10－11　主に利用している車の種類（居住形態別）



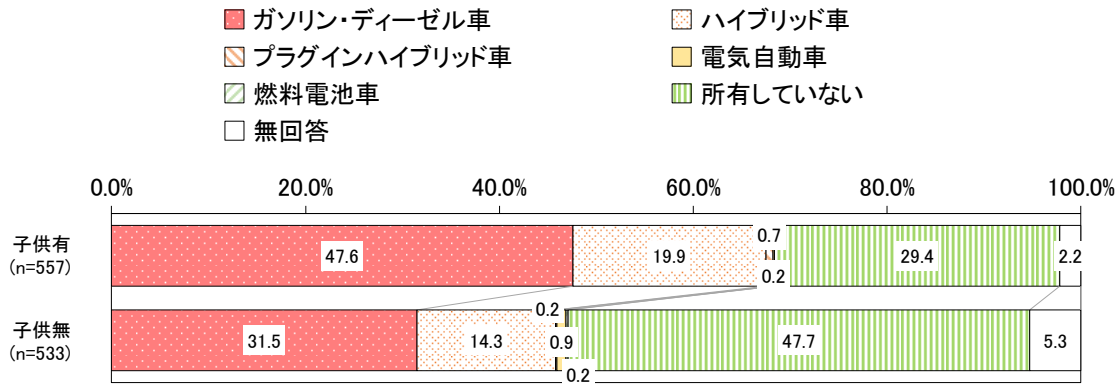
家族構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「所有していない」の割合が最も高くなっています。

図表 10－12　主に利用している車の種類（家族構成別）



子供の有無別でみると、子供有の方に比べ、子供無の方で「所有していない」の割合が高くなっています。

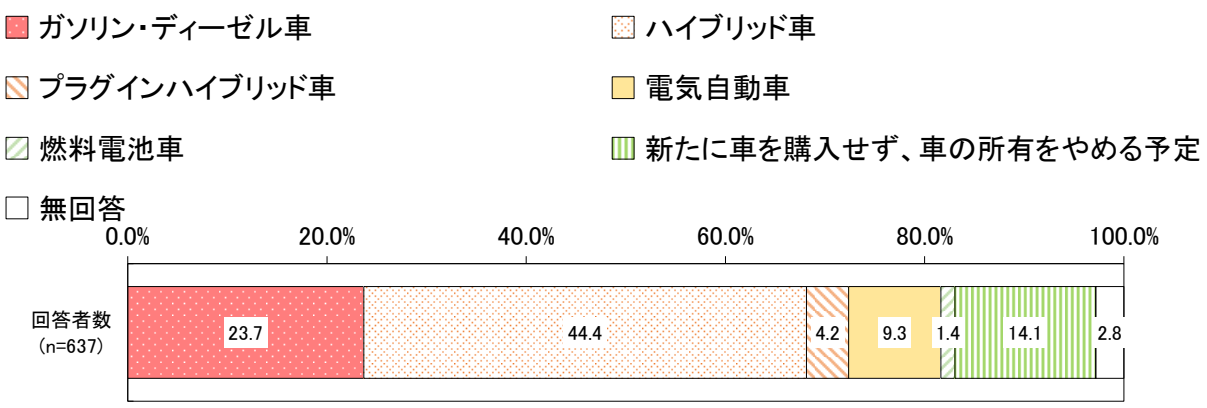
図表 10－13　主に利用している車の種類（子供の有無別）



問 50-1　乗り換えの時期が来た場合に、乗り換えたい車の種類を教えてください。
（１つだけ〇印）

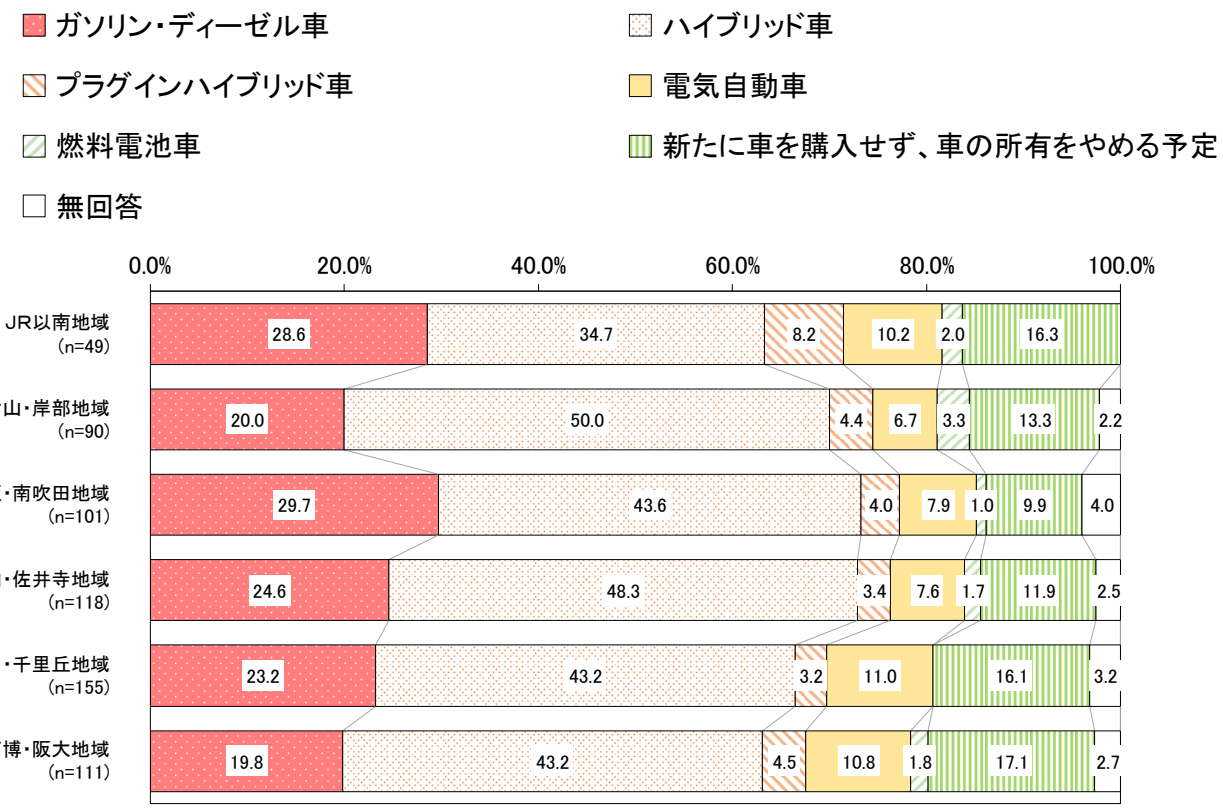
「ハイブリッド車」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「ガソリン・ディーゼル車」の割合が 23.7%、「新たに車を購入せず、車の所有をやめる予定」の割合が 14.1%となっています。

図表10－14　乗り換えたい車の種類（単純回答）



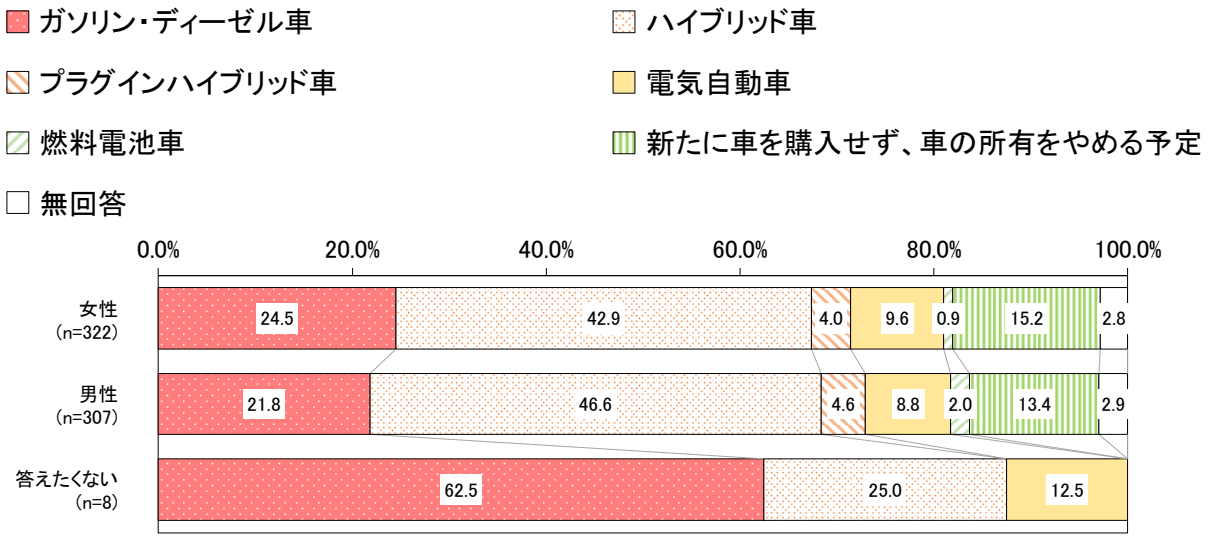
居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「ハイブリッド車」の割合が最も高くなっています。

図表10－15　乗り換えたい車の種類（居住地域別）



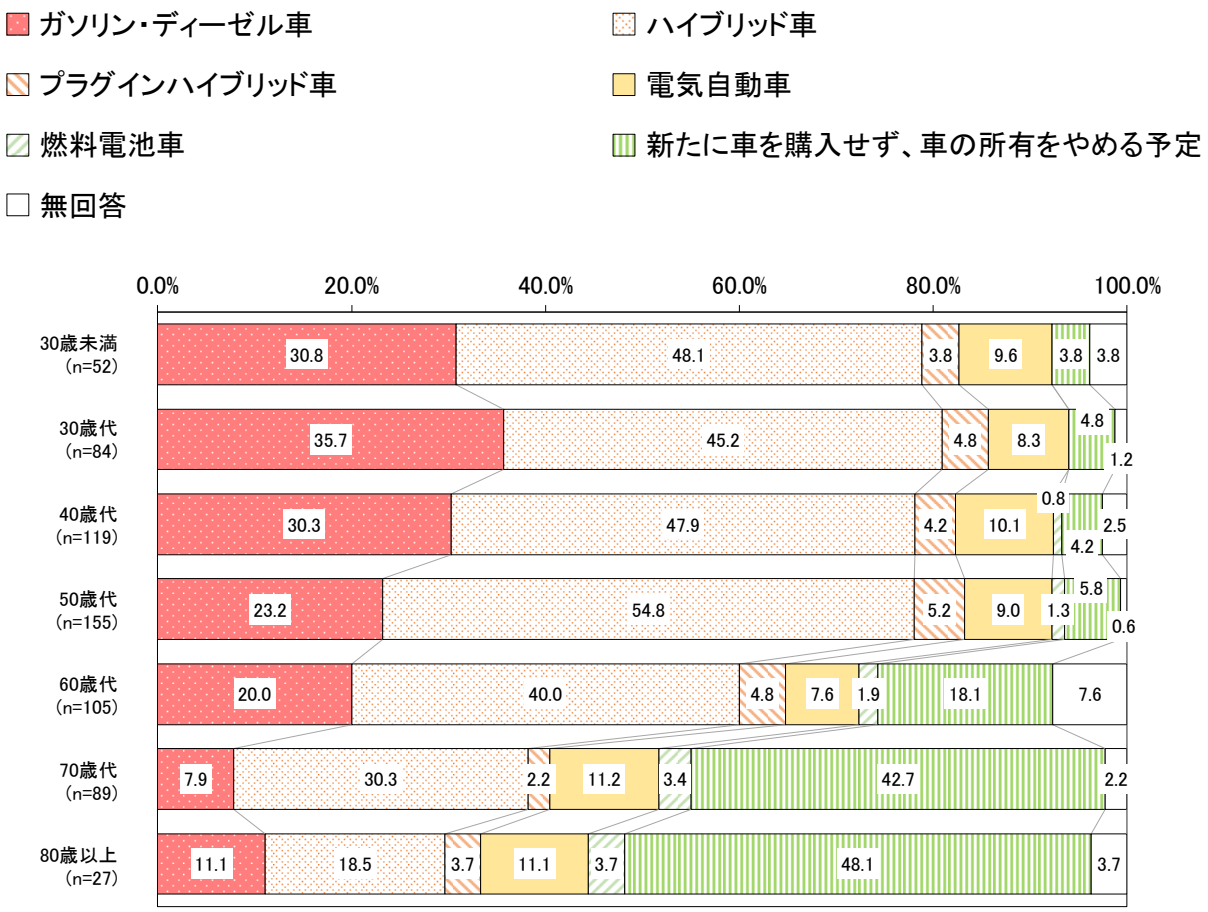
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表10－16　乗り換えたい車の種類（性別）



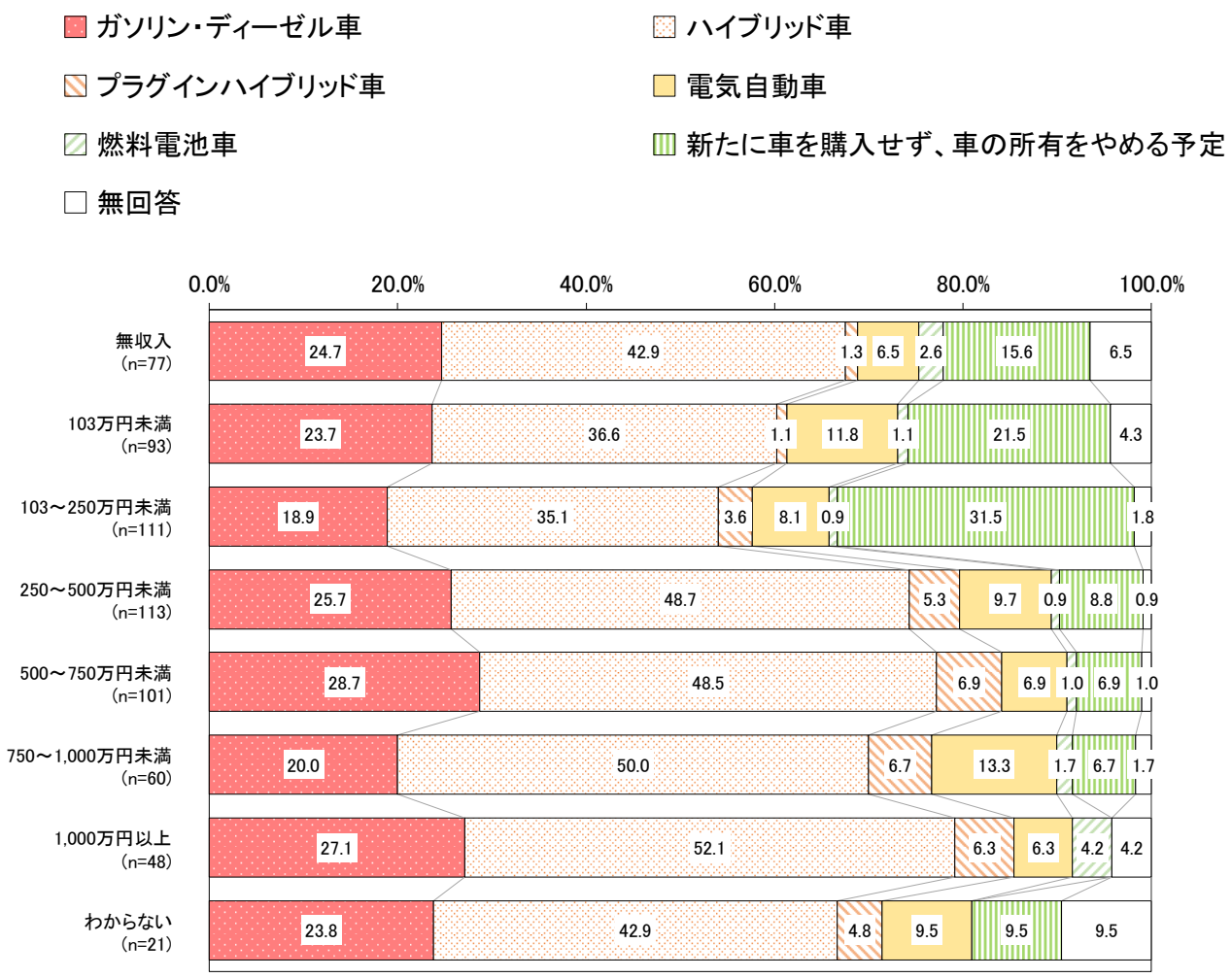
年齢別でみると、他に比べ、50 歳代で「ハイブリッド車」の割合が最も高くなっています。

図表10－17　乗り換えたい車の種類（年齢別）



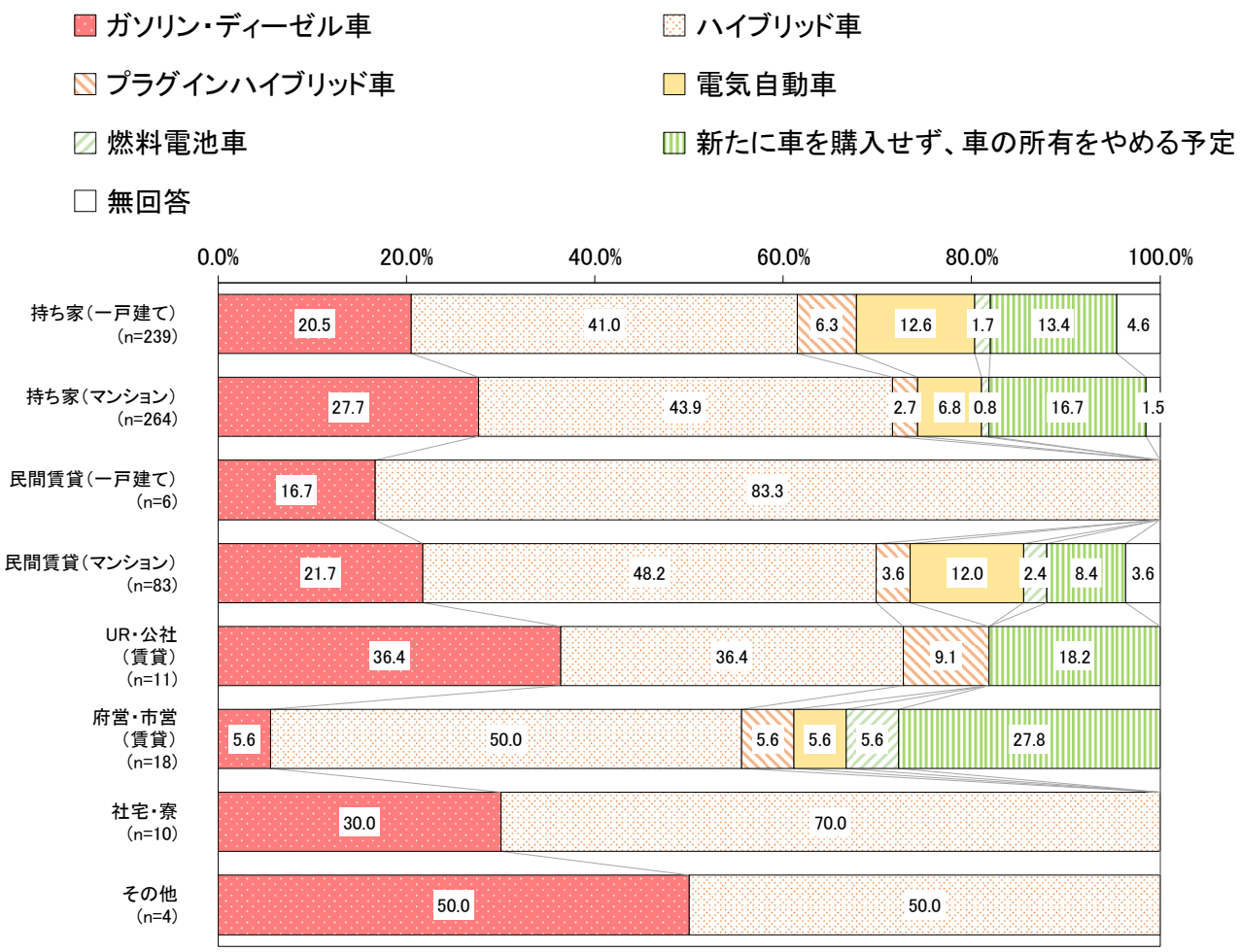
個人収入別でみると、他に比べ、1,000 万円以上で「ハイブリッド車」の割合が最も高くなっています。

図表10－18　乗り換えたい車の種類（個人収入別）



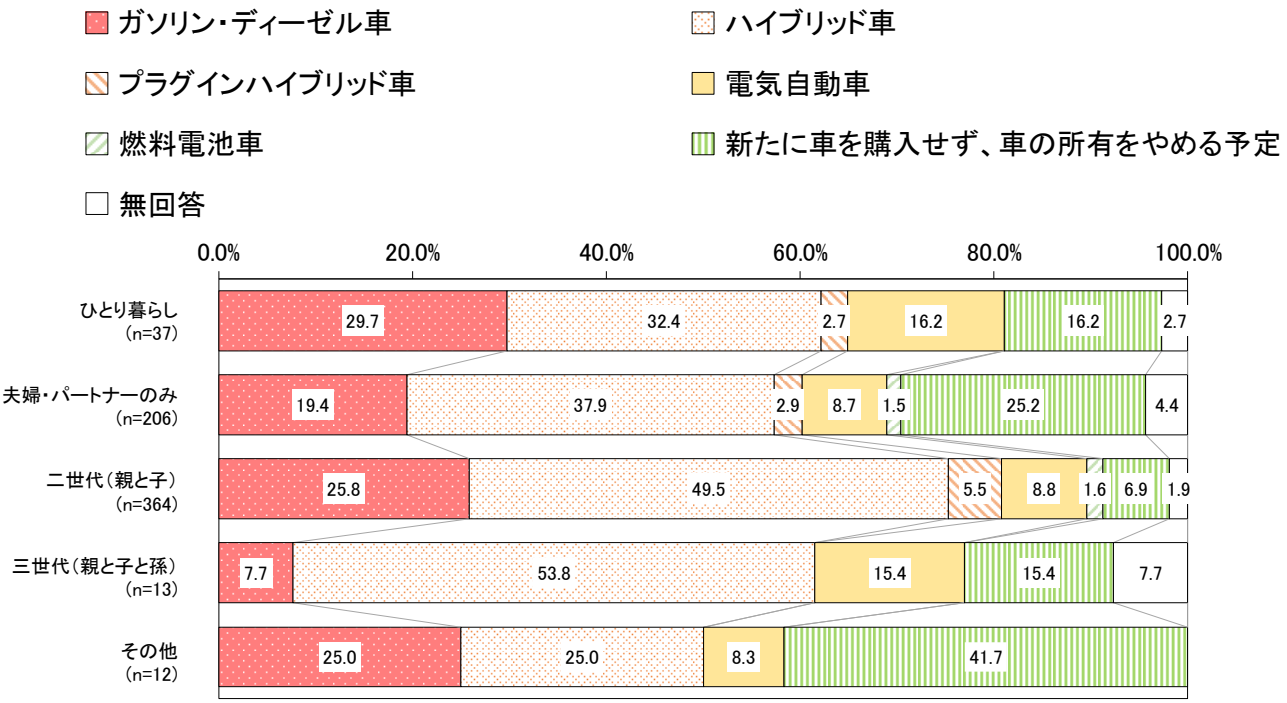
居住形態別でみると、他に比べ、民間賃貸（一戸建て）で「ハイブリッド車」の割合が最も高くなっています。

図表 10－19　乗り換えたい車の種類（居住形態別）



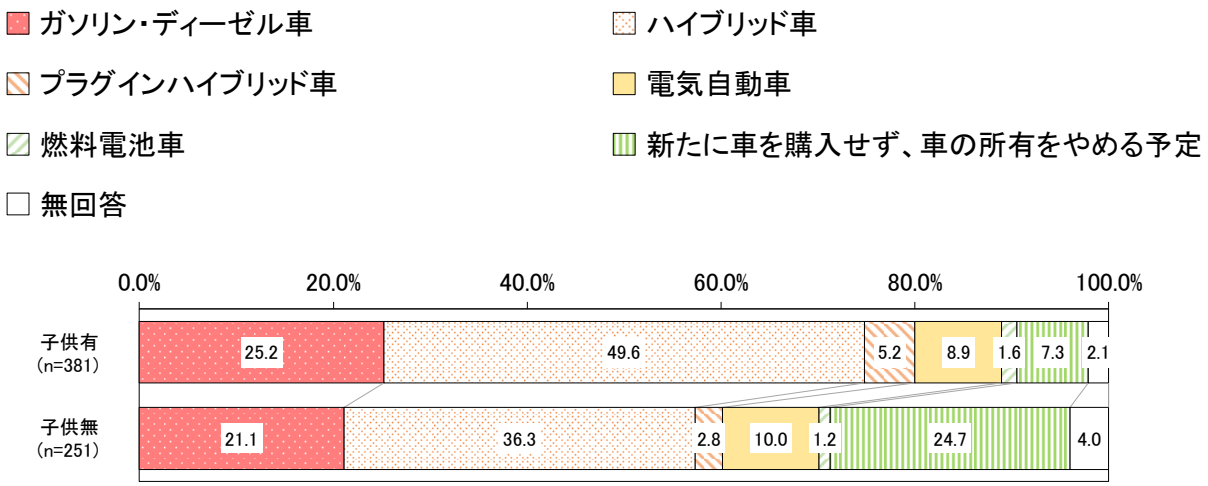
家族構成別でみると、他に比べ、三世代（親と子と孫）で「ハイブリッド車」の割合が最も高くなっています。

図表 10－20　乗り換えたい車の種類（家族構成別）



子供の有無別でみると、子供無の方に比べ、子供有の方で「ハイブリッド車」の割合が高くなっています。

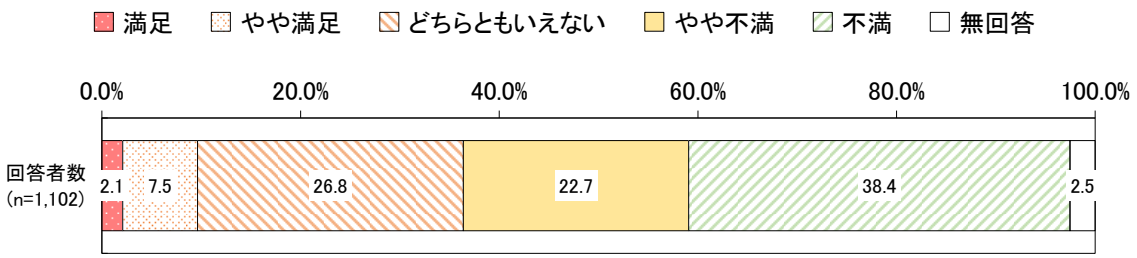
図表 10－21　乗り換えたい車の種類（子供の有無別）



問 51　あなたは、居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）について、どの程度満足していますか。（１つだけ○印）

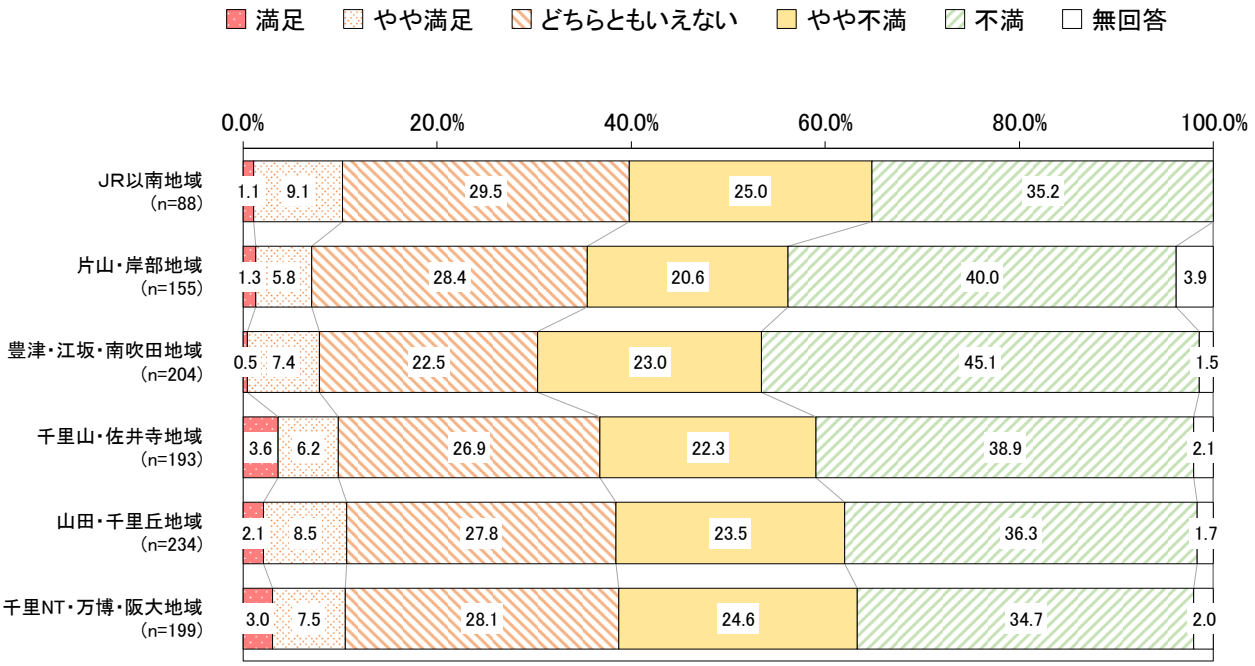
「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が 61.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 26.8%、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 9.6%となっています。

図表10－22　居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）について（単純回答）



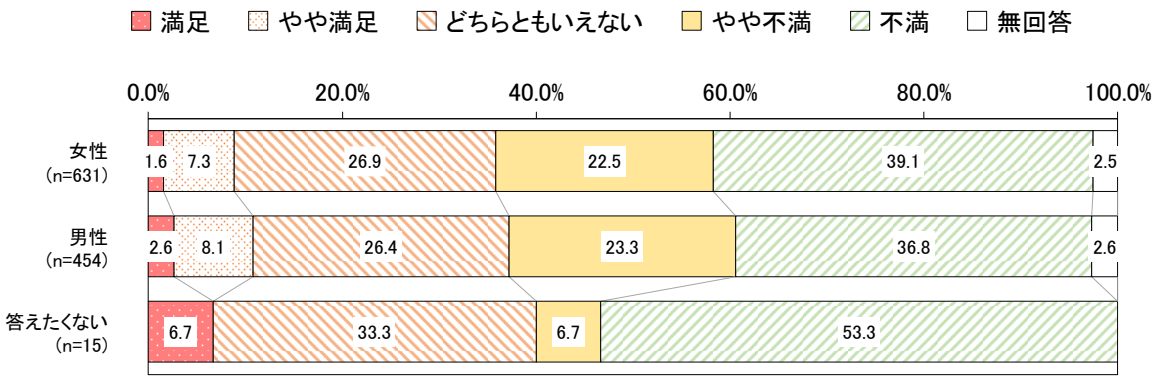
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で“不満”の割合が最も高くなっています。

図表10－23　居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）について（居住地域別）



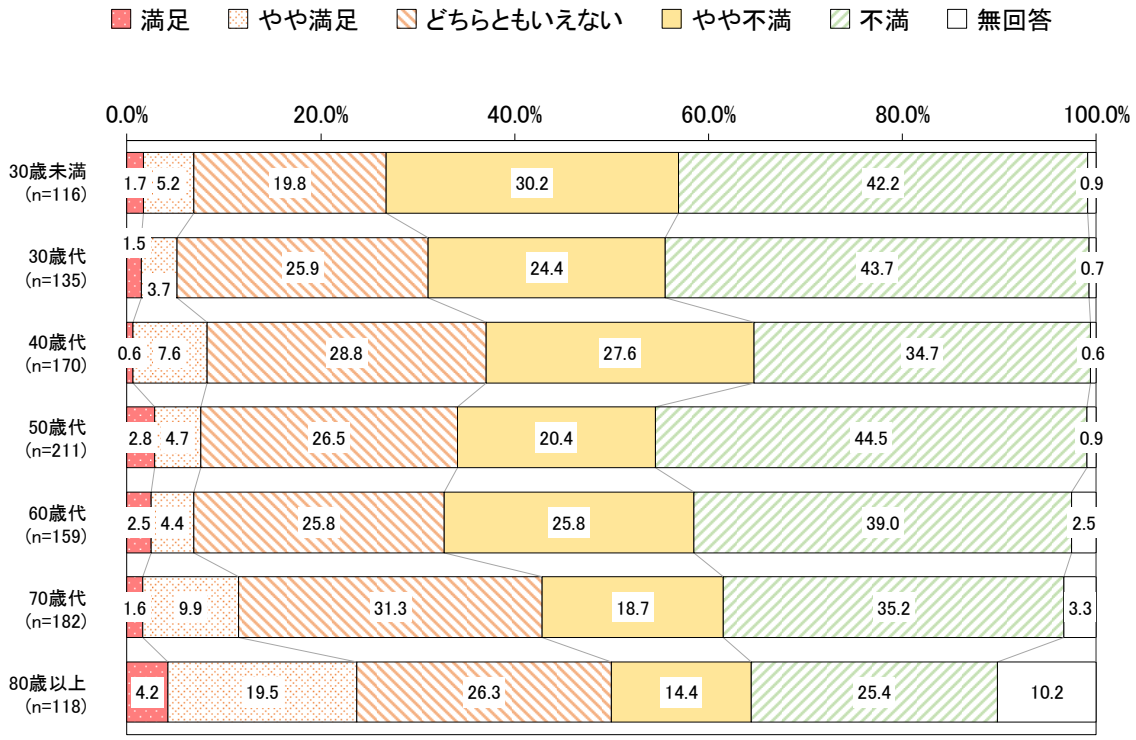
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表10－24　居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）について（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が最も高くなっています。

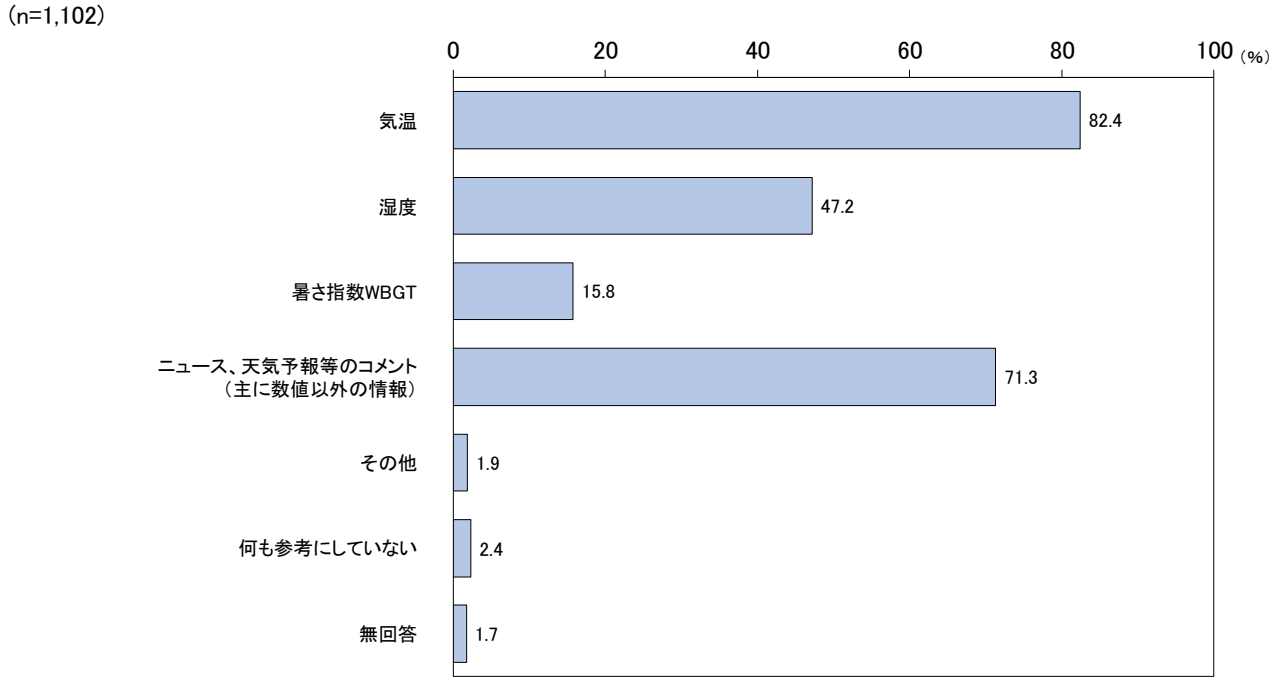
図表10－25　居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）について（年齢別）



問 52　熱中症の危険度を把握するために、どのような情報を参考にしていますか。
（いくつでも）

「気温」の割合が 82.4%と最も高く、次いで「ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）」の割合が 71.3%、「湿度」の割合が 47.2%となっています。

図表10－26　熱中症の危険度を把握するための情報ツール（単純回答）



居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表10－27　熱中症の危険度を把握するための情報ツール（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	気温	湿度	暑さ指数ＷＢＧＴ	ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）	その他	何も参考にしていない	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	84.1	52.3	12.5	69.3	1.1	2.3	－
	片山・岸部地域	155	84.5	45.2	18.1	72.3	1.9	1.9	2.6
	豊津・江坂・南吹田地域	204	81.9	49.5	15.2	68.1	2.5	3.9	0.5
	千里山・佐井寺地域	193	82.9	49.2	19.2	73.1	1.0	1.0	1.0
	山田・千里丘地域	234	84.6	46.6	15.0	72.2	3.0	2.1	0.9
	千里NT・万博・阪大地域	199	82.4	45.7	14.1	72.4	1.5	2.0	2.0

性別でみると、男性より女性の方が「気温」と答えています。

図表 10－28　熱中症の危険度を把握するための情報ツール（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	気温	湿度	暑さ指数ＷＢＧＴ	ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）	その他	何も参考にしていない	無回答
性別	女性	631	85.3	49.3	17.0	75.3	1.6	0.8	1.7
	男性	454	78.2	43.2	13.7	65.9	2.4	4.6	1.8
	答えたくない	15	86.7	73.3	33.3	73.3	－	－	－

年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「気温」の割合が最も高くなっています。

図表 10－29　熱中症の危険度を把握するための情報ツール（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	気温	湿度	暑さ指数ＷＢＧＴ	ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）	その他	何も参考にしていない	無回答
年齢別	30 歳未満	116	86.2	46.6	18.1	56.0	1.7	2.6	0.9
	30 歳代	135	90.4	50.4	20.0	67.4	3.0	2.2	0.7
	40 歳代	170	83.5	46.5	19.4	71.2	0.6	4.7	0.6
	50 歳代	211	81.5	43.6	16.1	73.0	2.8	1.4	－
	60 歳代	159	81.8	54.1	15.7	76.7	1.9	1.3	1.3
	70 歳代	182	84.1	47.3	11.0	78.6	1.6	1.1	1.1
	80 歳以上	118	68.6	39.8	10.2	69.5	1.7	3.4	10.2

職業別でみると、以下のとおりです。

図表 10－30　熱中症の危険度を把握するための情報ツール（職業別）

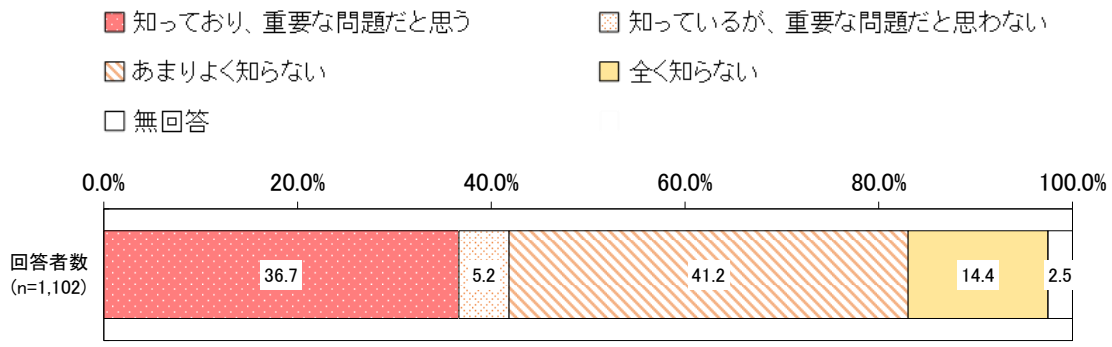
単位：％

区分		有効回答数（件）	気温	湿度	暑さ指数ＷＢＧＴ	ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）	その他	何も参考にしていない	無回答
職業別	常時雇用者	372	83.1	43.8	18.3	66.7	2.2	3.0	0.8
	臨時雇用者	189	86.2	48.1	18.0	78.8	0.5	1.6	0.5
	派遣社員	15	80.0	33.3	26.7	80.0	－	6.7	－
	内職	2	100.0	100.0	－	100.0	－	－	－
	自営業者、自由業者	50	72.0	46.0	14.0	64.0	6.0	2.0	4.0
	家族従業者	3	100.0	100.0	－	66.7	－	－	－
	経営者、重役、役員	29	86.2	44.8	13.8	75.9	－	6.9	－
	学生	36	86.1	47.2	16.7	47.2	5.6	2.8	－
	専業主婦・主夫	193	86.0	49.7	16.6	80.3	1.6	－	2.1
	無職	205	76.1	50.7	8.8	69.3	2.0	2.9	4.4

問 53　あなたは、生物多様性についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。（１つだけ○印）

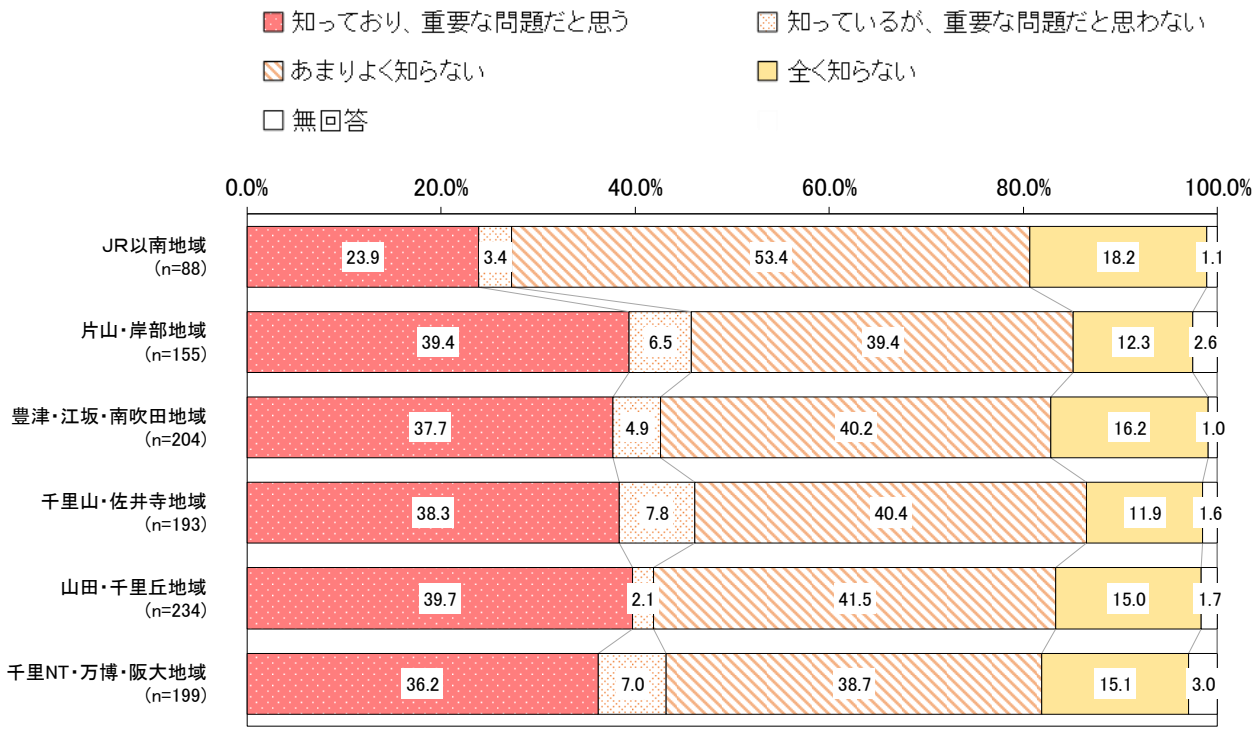
「あまりよく知らない」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「知っており、重要な問題だと思う」の割合が 36.7%、「全く知らない」の割合が 14.4%となっています。

図表10－31　生物多様性の認知度、重要度（単純回答）



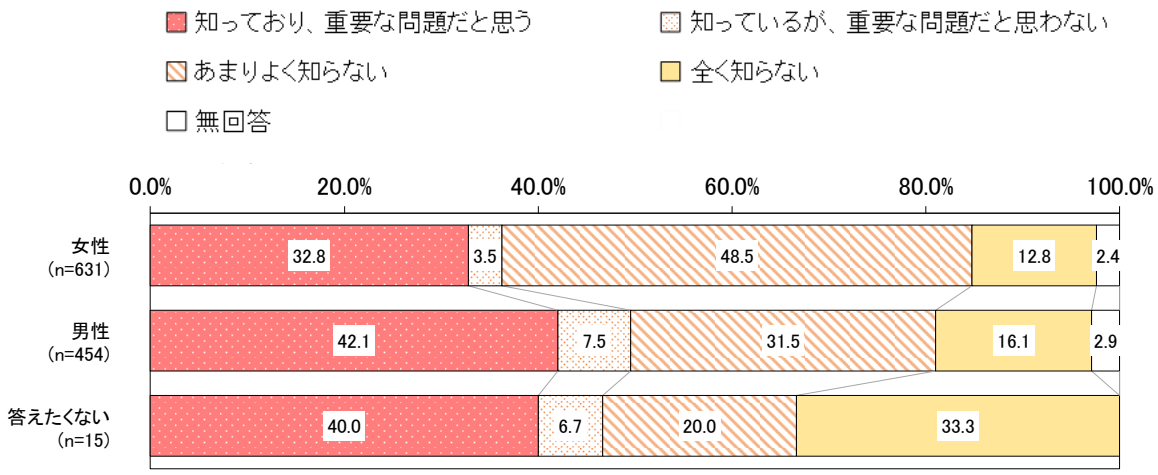
居住地域別でみると、他に比べ、ＪＲ以南地域で「あまりよく知らない」の割合が最も高くなっています。

図表10－32　生物多様性の認知度、重要度（居住地域別）



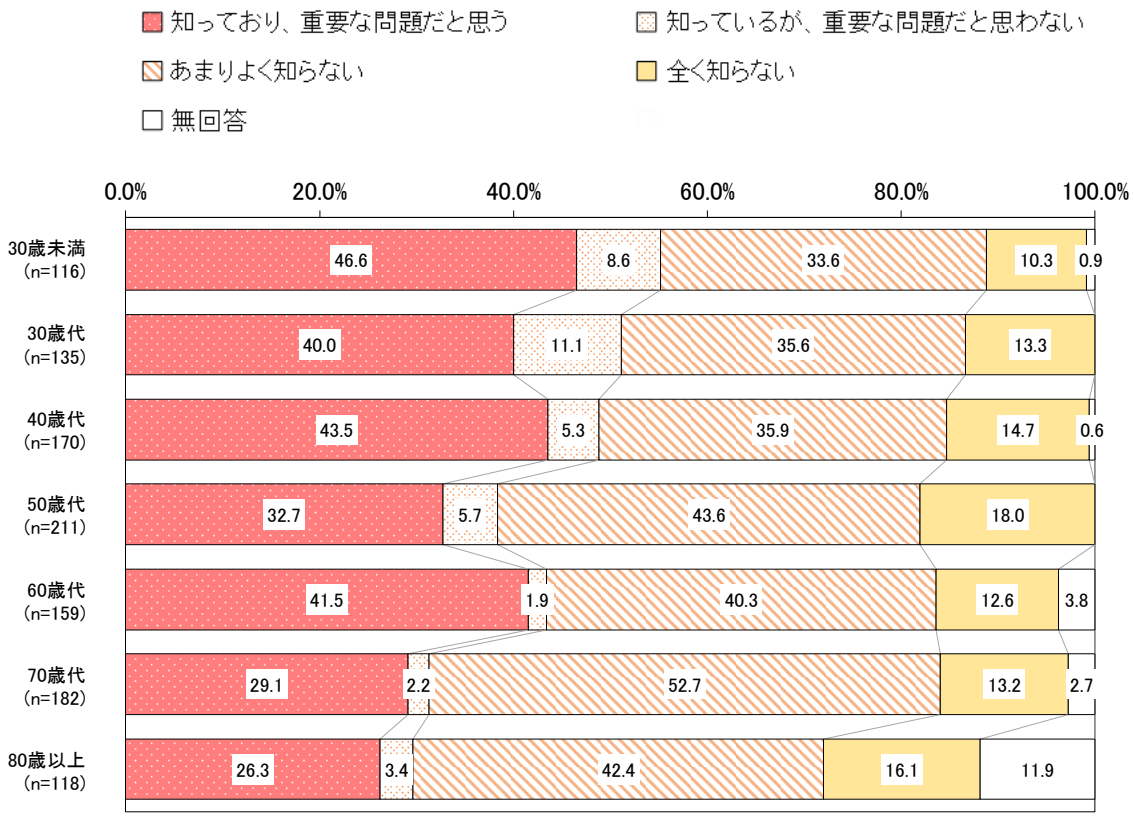
性別でみると、男性より女性の方が「あまりよく知らない」と答えています。

図表10－33　生物多様性の認知度、重要度（性別）



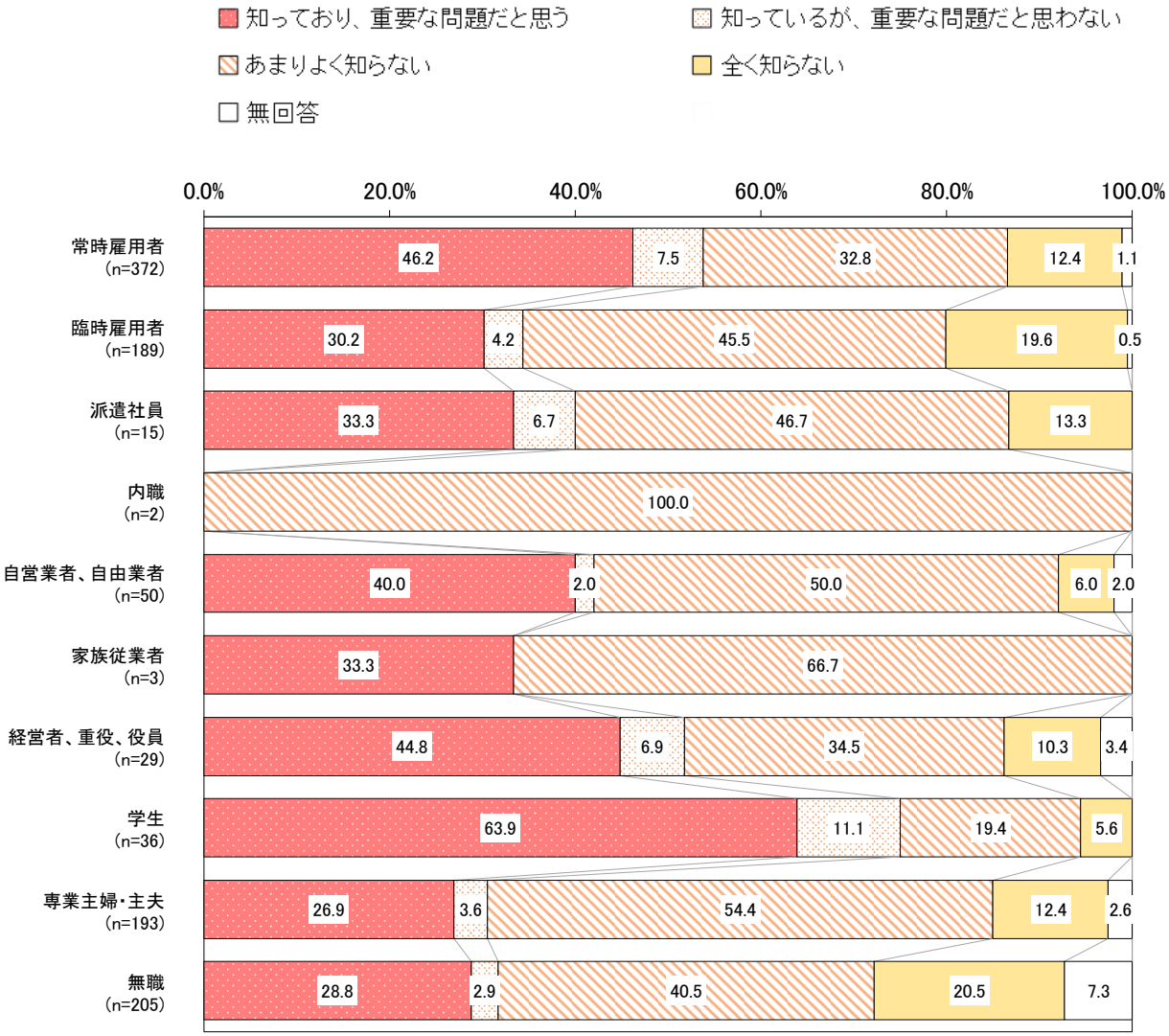
年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「あまりよく知らない」の割合が最も高くなっています。

図表10－34　生物多様性の認知度、重要度（年齢別）



職業別でみると、他に比べ、学生で「知っており、重要な問題だと思う」の割合が最も高くなっています。

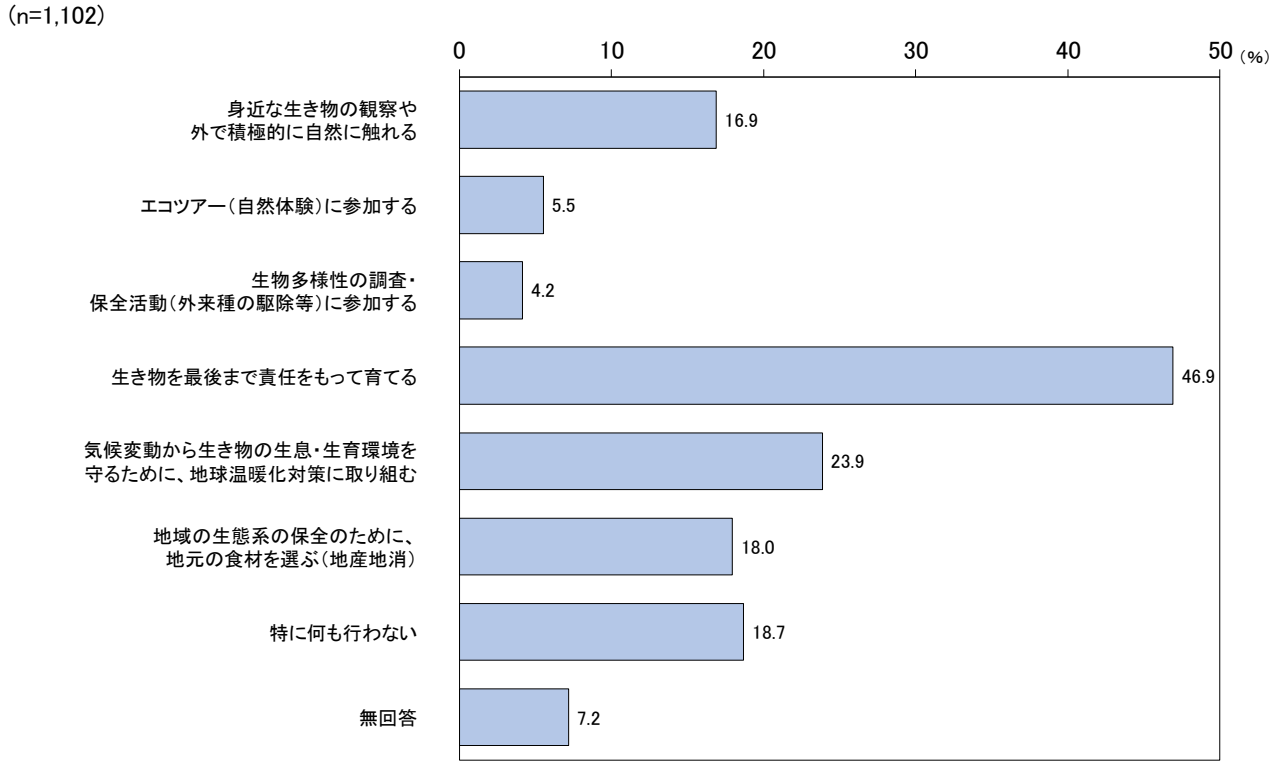
図表10－35　生物多様性の認知度、重要度（職業別）



問 54　生物多様性に配慮した行動として、どのようなことであれば実践できると思いますか。（主なもの２つまで）

「生き物を最後まで責任をもって育てる」の割合が 46.9％と最も高く、次いで「気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む」の割合が 23.9％、「特に何も行わない」の割合が 18.7％となっています。

図表10－36　生物多様性に配慮した行動として実践できるもの（単純回答）



居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表10－37　生物多様性に配慮した行動として実践できるもの（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	エコツアー（自然体験）に参加する	生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	生き物を最後まで責任をもって育てる	気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	特に何も行わない	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	11.4	5.7	2.3	46.6	21.6	18.2	26.1	4.5
	片山・岸部地域	155	18.7	9.0	5.2	47.7	23.2	18.1	13.5	7.7
	豊津・江坂・南吹田地域	204	16.7	3.4	4.4	49.5	23.0	16.2	23.0	3.9
	千里山・佐井寺地域	193	16.6	7.8	2.1	46.1	21.8	20.7	17.1	7.8
	山田・千里丘地域	234	17.5	3.0	5.1	47.0	29.9	20.1	16.7	6.4
	千里NT・万博・阪大地域	199	18.6	6.5	5.0	45.7	21.6	16.6	19.6	7.0

性別でみると、男性より女性の方が「生き物を最後まで責任をもって育てる」と答えています。

図表 10－38　生物多様性に配慮した行動として実践できるもの（性別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	エコツアー（自然体験）に参加する	生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	生き物を最後まで責任をもって育てる	気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	特に何も行わない	無回答
性別	女性	631	16.2	4.1	3.0	49.8	23.5	20.1	15.1	8.2
	男性	454	18.1	7.5	5.7	43.2	23.8	15.0	23.3	5.9
	答えたくない	15	13.3	6.7	6.7	33.3	40.0	20.0	33.3	－

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

図表 10－39　生物多様性に配慮した行動として実践できるもの（年齢別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	エコツアー（自然体験）に参加する	生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	生き物を最後まで責任をもって育てる	気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	特に何も行わない	無回答
年齢別	30 歳未満	116	20.7	4.3	7.8	50.9	20.7	14.7	21.6	2.6
	30 歳代	135	29.6	8.1	3.0	49.6	23.7	18.5	18.5	3.0
	40 歳代	170	18.2	5.9	5.9	53.5	23.5	20.0	14.7	3.5
	50 歳代	211	12.8	5.2	3.8	43.6	27.0	17.5	25.6	3.3
	60 歳代	159	13.2	8.8	4.4	53.5	26.4	19.5	11.9	6.3
	70 歳代	182	13.2	3.3	3.3	45.1	22.0	21.4	15.4	12.6
	80 歳以上	118	15.3	3.4	1.7	30.5	22.9	10.2	23.7	20.3

職業別でみると、どの職業においても「生き物を最後まで責任をもって育てる」の割合が高くなっています。

図表 10－40　生物多様性に配慮した行動として実践できるもの（職業別）

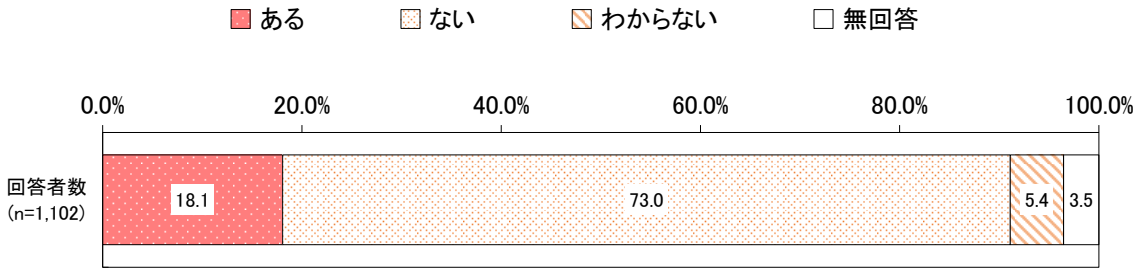
単位：%

区分		有効回答数（件）	身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	エコツアー（自然体験）に参加する	生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	生き物を最後まで責任をもって育てる	気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	特に何も行わない	無回答
職業別	常時雇用者	372	20.2	7.5	5.4	47.8	25.0	18.5	20.7	2.2
	臨時雇用者	189	13.2	4.8	2.6	55.0	25.4	16.9	15.9	6.3
	派遣社員	15	6.7	6.7	－	60.0	26.7	13.3	33.3	－
	内職	2	－	－	－	50.0	50.0	－	50.0	－
	自営業者、自由業者	50	22.0	4.0	4.0	52.0	28.0	10.0	20.0	6.0
	家族従業者	3	33.3	－	33.3	33.3	－	－	－	33.3
	経営者、重役、役員	29	17.2	10.3	3.4	41.4	24.1	34.5	10.3	6.9
	学生	36	19.4	5.6	19.4	47.2	22.2	11.1	19.4	2.8
	専業主婦・主夫	193	15.0	2.1	2.1	50.8	23.8	23.8	9.8	11.4
	無職	205	15.1	5.9	2.9	33.7	20.0	14.1	25.4	13.7

問 55　あなたは、地域の美化や緑化、環境イベントなどのボランティア活動に参加したことはありますか。（１つだけ○印）

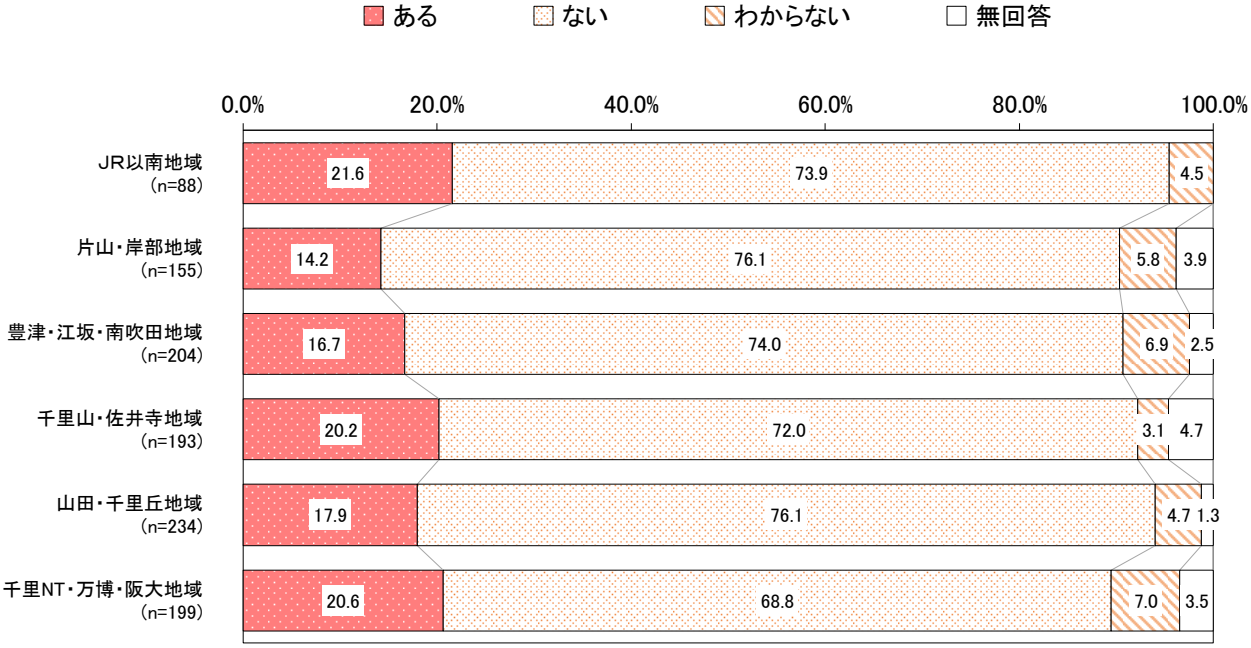
「ある」が 18.1%、「ない」が 73.0%でした。

図表10－41　ボランティア活動への参加経験（単純回答）



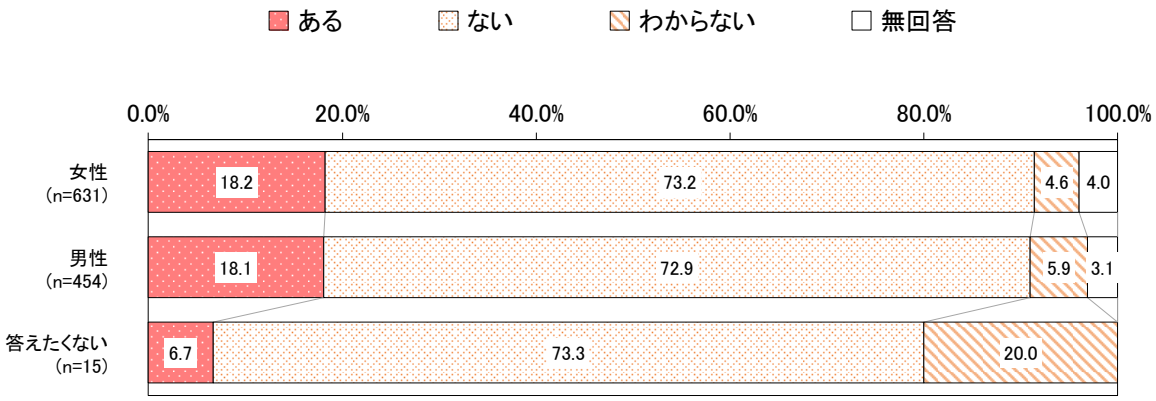
居住地域別でみると、他に比べ、ＪＲ以南地域で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表 10－42　ボランティア活動への参加経験（居住地域別）



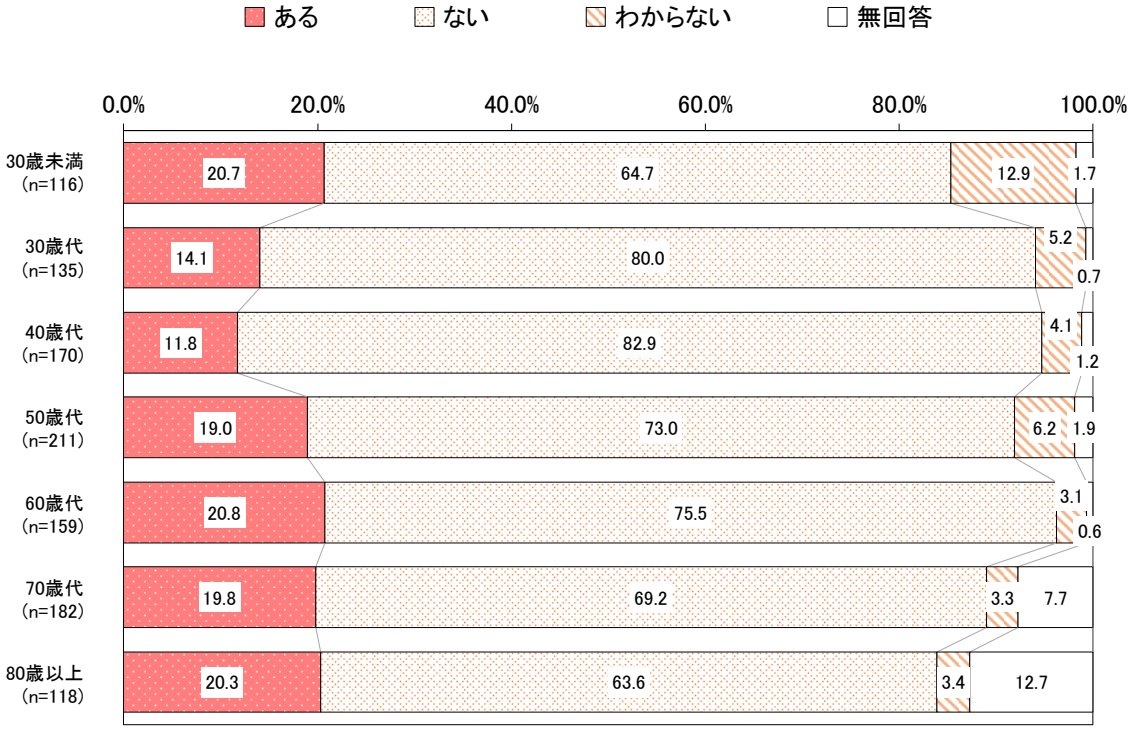
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表10－43　ボランティア活動への参加経験（性別）



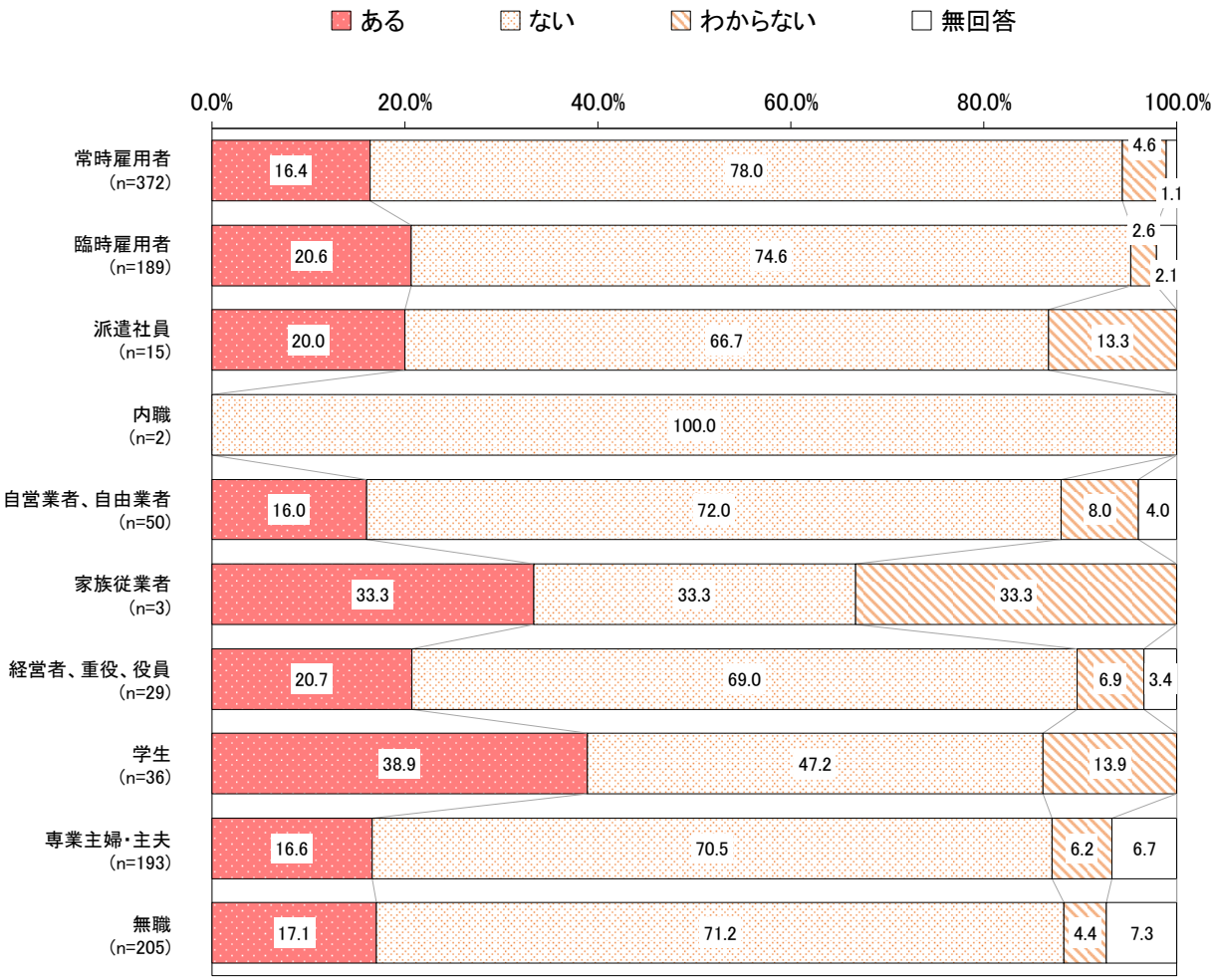
年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「ない」の割合が最も高くなっています。

図表10－44　ボランティア活動への参加経験（年齢別）



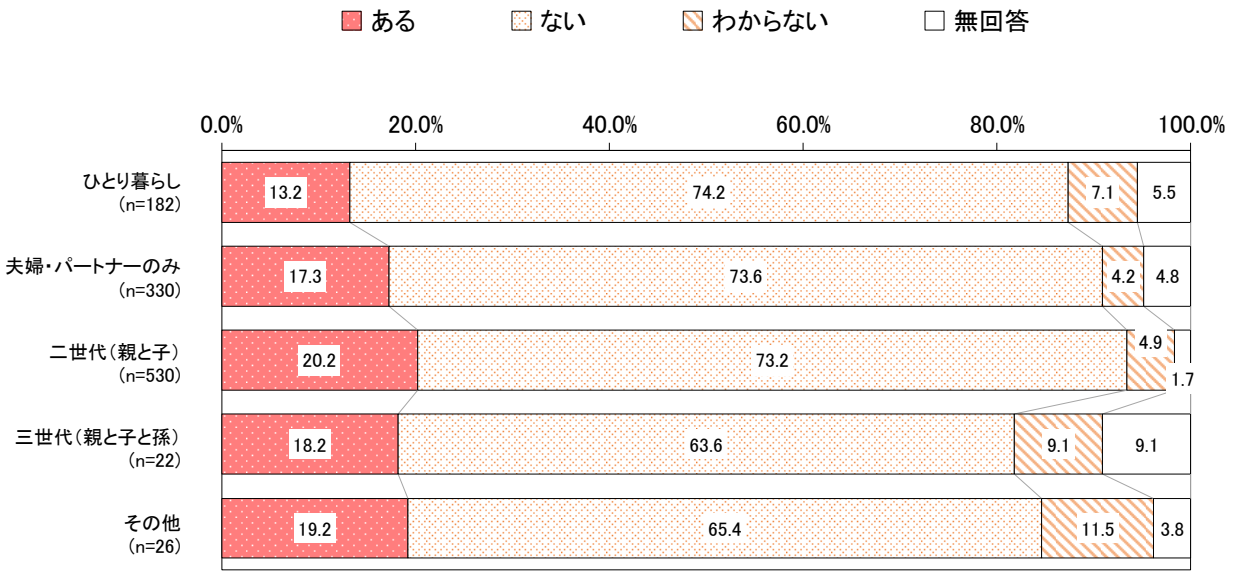
職業別でみると、他に比べ、学生で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表 10－45　ボランティア活動への参加経験（職業別）



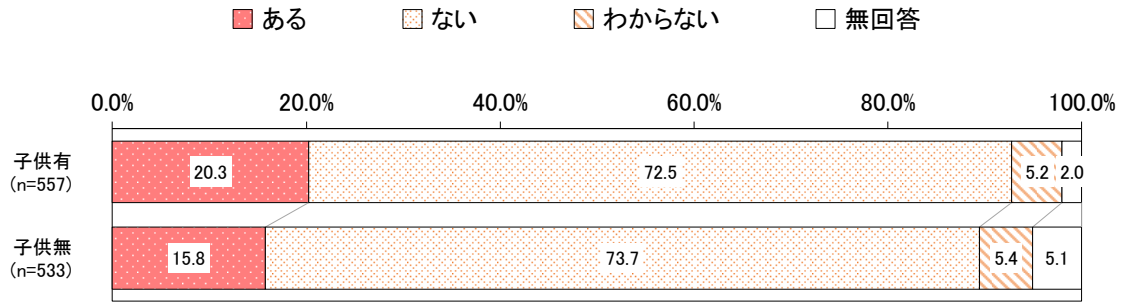
家族構成別でみると、他に比べ、二世代（親と子）で「ある」の割合が最も高くなっています。

図表 10－46　ボランティア活動への参加経験（家族構成別）



子供の有無別でみると、子供無の方に比べ、子供有の方で「ある」の割合が高くなっています。

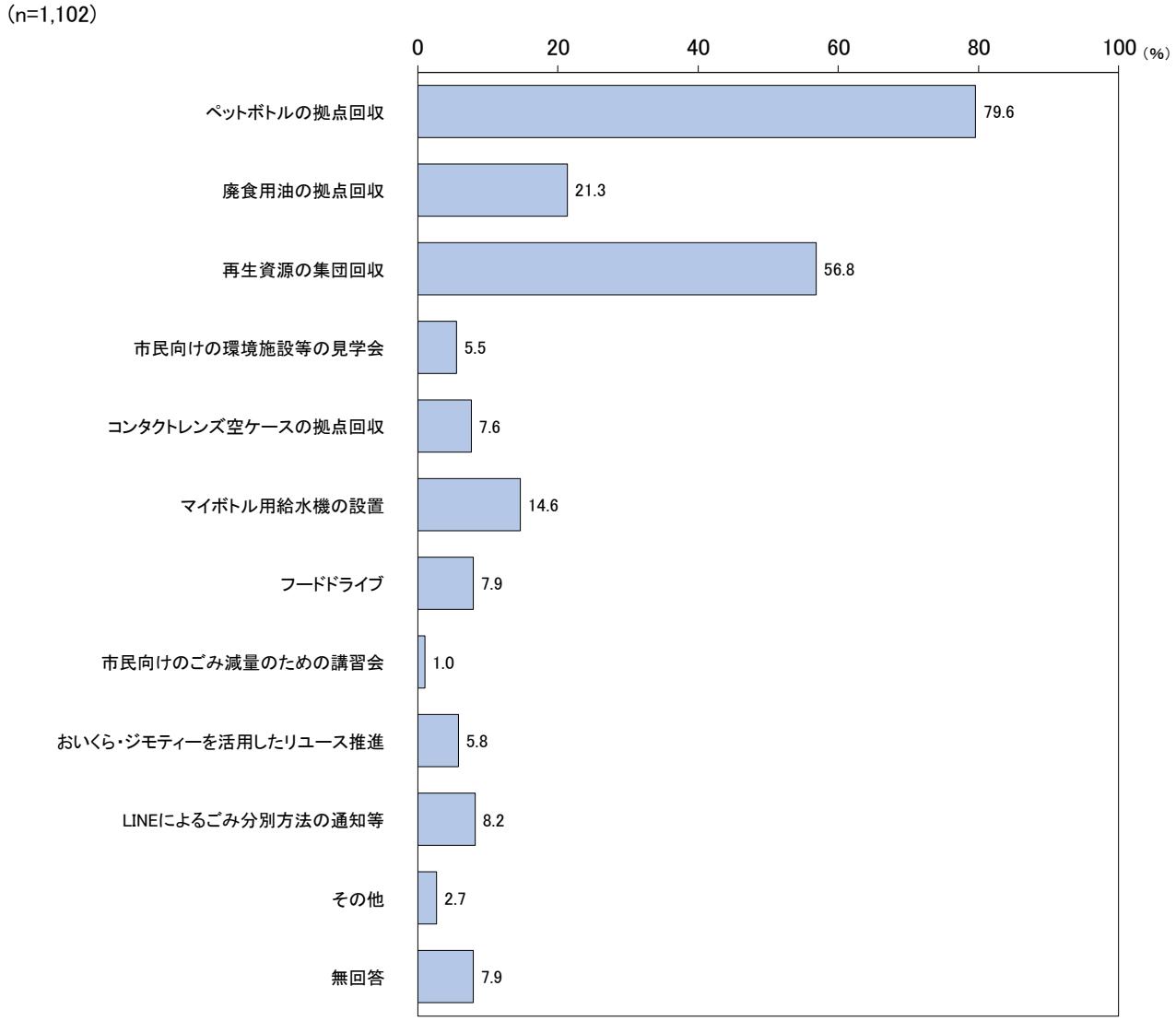
図表 10－47　ボランティア活動への参加経験（子供の有無別）



問 56　吹田市が行っている、ごみ減量に向けた主な取組のうち、あなたが知っている取組はありますか。（いくつでも）

「ペットボトルの拠点回収」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「再生資源の集団回収」の割合が 56.8%、「廃食用油の拠点回収」の割合が 21.3%となっています。

図表10－48　ごみ減量に向けた取組の認知度（単純回答）



居住地域別でみると、どの地域においても「ペットボトルの拠点回収」の割合が高くなっています。

図表10－49　ごみ減量に向けた取組の認知度（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ペットボトルの拠点回収	廃食用油の拠点回収	再生資源の集団回収	市民向けの環境施設等の見学会	コンタクトレンズ空ケースの拠点回収	マイボトル用給水機の設置
居住地域別	JR以南地域	88	83.0	13.6	60.2	8.0	6.8	13.6
	片山・岸部地域	155	82.6	20.6	58.1	4.5	7.7	9.0
	豊津・江坂・南吹田地域	204	74.0	19.1	45.6	4.4	7.8	10.8
	千里山・佐井寺地域	193	81.3	30.1	57.5	6.2	6.7	17.1
	山田・千里丘地域	234	80.8	22.6	63.2	6.8	9.0	15.4
	千里NT・万博・阪大地域	199	80.9	18.1	58.8	5.0	7.0	21.1

区分		有効回答数（件）	フードドライブ	市民向けのごみ減量のための講習会	おいくら・ジモティーを活用したリユース推進	ＬＩＮＥによるごみ分別方法の通知等	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	3.4	2.3	4.5	5.7	3.4	6.8
	片山・岸部地域	155	9.0	1.3	3.9	11.0	1.9	5.8
	豊津・江坂・南吹田地域	204	8.3	－	7.8	8.3	5.4	13.2
	千里山・佐井寺地域	193	7.8	1.0	8.8	10.9	2.1	6.7
	山田・千里丘地域	234	9.8	1.3	4.7	7.7	0.9	6.4
	千里NT・万博・阪大地域	199	7.0	0.5	5.0	5.5	3.0	5.0

性別でみると、男性より女性の方が個別の取組についての認知度が高くなっています。

図表 10－50　ごみ減量に向けた取組の認知度（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ペットボトルの拠点回収	廃食用油の拠点回収	再生資源の集団回収	市民向けの環境施設等の見学会	コンタクトレンズ空ケースの拠点回収	マイボトル用給水機の設置
性別	女性	631	81.9	24.2	60.7	5.7	10.1	17.9
	男性	454	76.0	16.3	51.3	4.8	4.4	9.9
	答えたくない	15	86.7	53.3	66.7	13.3	－	20.0

区分		有効回答数（件）	フードドライブ	市民向けのごみ減量のための講習会	おいくら・ジモティーを活用したリユース推進	ＬＩＮＥによるごみ分別方法の通知等	その他	無回答
性別	女性	631	10.1	1.1	7.9	8.6	1.9	7.4
	男性	454	4.4	0.9	2.4	7.3	3.7	8.6
	答えたくない	15	20.0	－	20.0	20.0	6.7	6.7

年齢別でみると、どの世代においても「ペットボトルの拠点回収」の割合が高くなっています。

図表 10－51　ごみ減量に向けた取組の認知度（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ペットボトルの拠点回収	廃食用油の拠点回収	再生資源の集団回収	市民向けの環境施設等の見学会	コンタクトレンズ空ケースの拠点回収	マイボトル用給水機の設置
年齢別	30 歳未満	116	68.1	10.3	32.8	2.6	7.8	12.9
	30 歳代	135	75.6	18.5	40.0	2.2	8.9	17.8
	40 歳代	170	81.8	23.5	55.9	2.9	11.2	17.6
	50 歳代	211	83.4	25.1	55.9	4.3	12.3	17.1
	60 歳代	159	82.4	19.5	66.7	7.5	6.9	15.7
	70 歳代	182	81.9	25.8	72.5	8.2	2.7	10.4
	80 歳以上	118	77.1	22.0	66.1	11.9	0.8	10.2

区分		有効回答数（件）	フードドライブ	市民向けのごみ減量のための講習会	おいくら・ジモティーを活用したリユース推進	ＬＩＮＥによるごみ分別方法の通知等	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	4.3	－	6.0	5.2	5.2	19.0
	30 歳代	135	11.1	1.5	12.6	13.3	1.5	7.4
	40 歳代	170	13.5	－	7.6	7.6	5.3	4.1
	50 歳代	211	10.4	0.9	5.2	10.0	3.8	5.7
	60 歳代	159	10.1	1.3	5.0	7.5	1.3	6.3
	70 歳代	182	3.3	1.6	3.3	8.8	0.5	4.9
	80 歳以上	118	－	1.7	0.8	2.5	1.7	13.6

家族構成別でみると、どの世帯においても「ペットボトルの拠点回収」の割合が高くなっています。

図表 10－52　ごみ減量に向けた取組の認知度（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ペットボトルの拠点回収	廃食用油の拠点回収	再生資源の集団回収	市民向けの環境施設等の見学会	コンタクトレンズ空ケースの拠点回収	マイボトル用給水機の設置
家族構成別	ひとり暮らし	182	79.1	22.0	51.6	4.4	6.0	11.5
	夫婦・パートナーのみ	330	77.9	18.8	59.4	7.0	5.2	12.1
	二世代（親と子）	530	80.6	22.8	56.6	5.3	9.8	16.4
	三世代（親と子と孫）	22	72.7	22.7	59.1	4.5	9.1	31.8
	その他	26	84.6	15.4	65.4	3.8	3.8	19.2

区分		有効回答数（件）	フードドライブ	市民向けのごみ減量のための講習会	おいくら・ジモティーを活用したリユース推進	ＬＩＮＥによるごみ分別方法の通知等	その他	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	182	4.4	－	4.4	6.0	1.6	11.5
	夫婦・パートナーのみ	330	7.6	2.1	4.2	9.4	3.9	8.2
	二世代（親と子）	530	9.8	0.8	7.7	8.7	2.5	6.4
	三世代（親と子と孫）	22	9.1	－	－	4.5	－	13.6
	その他	26	－	－	3.8	3.8	3.8	3.8

子供の有無別でみると、子供無の方に比べ、子供有の方で「ペットボトルの拠点回収」の割合が高くなっています。

図表 10－53　ごみ減量に向けた取組の認知度（子供の有無別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	ペットボトルの拠点回収	廃食用油の拠点回収	再生資源の集団回収	市民向けの環境施設等の見学会	コンタクトレンズ空ケースの拠点回収	マイボトル用給水機の設置
子	子供有	557	80.4	22.8	56.7	5.2	9.7	17.2
	子供無	533	78.4	19.7	57.0	6.0	5.4	12.0

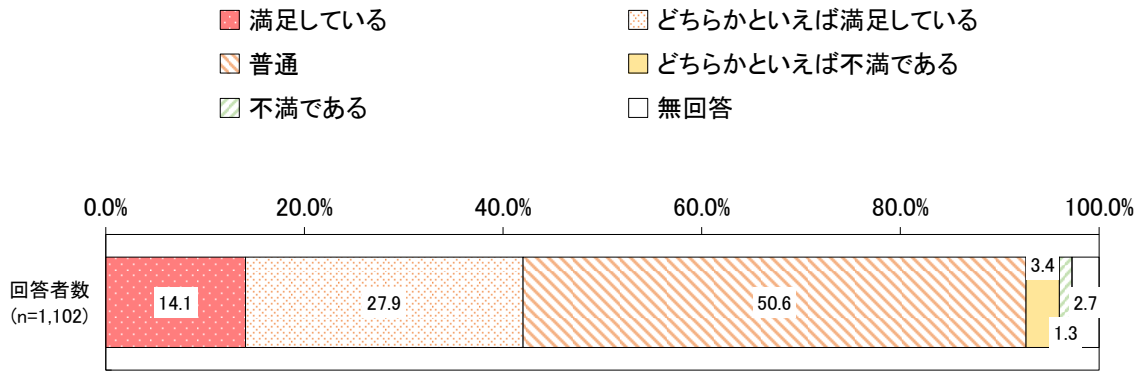
区分		有効回答数（件）	フードドライブ	市民向けのごみ減量のための講習会	おいくら・ジモティーを活用したリユース推進	ＬＩＮＥによるごみ分別方法の通知等	その他	無回答
子	子供有	557	9.7	0.7	7.4	8.4	2.3	6.6
	子供無	533	6.2	1.3	4.3	8.1	3.2	9.2

問 57　吹田市が行っている、ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどのごみ減量の取組についてお伺いします。（１つだけ○印）

（１）取組への満足度を教えてください。

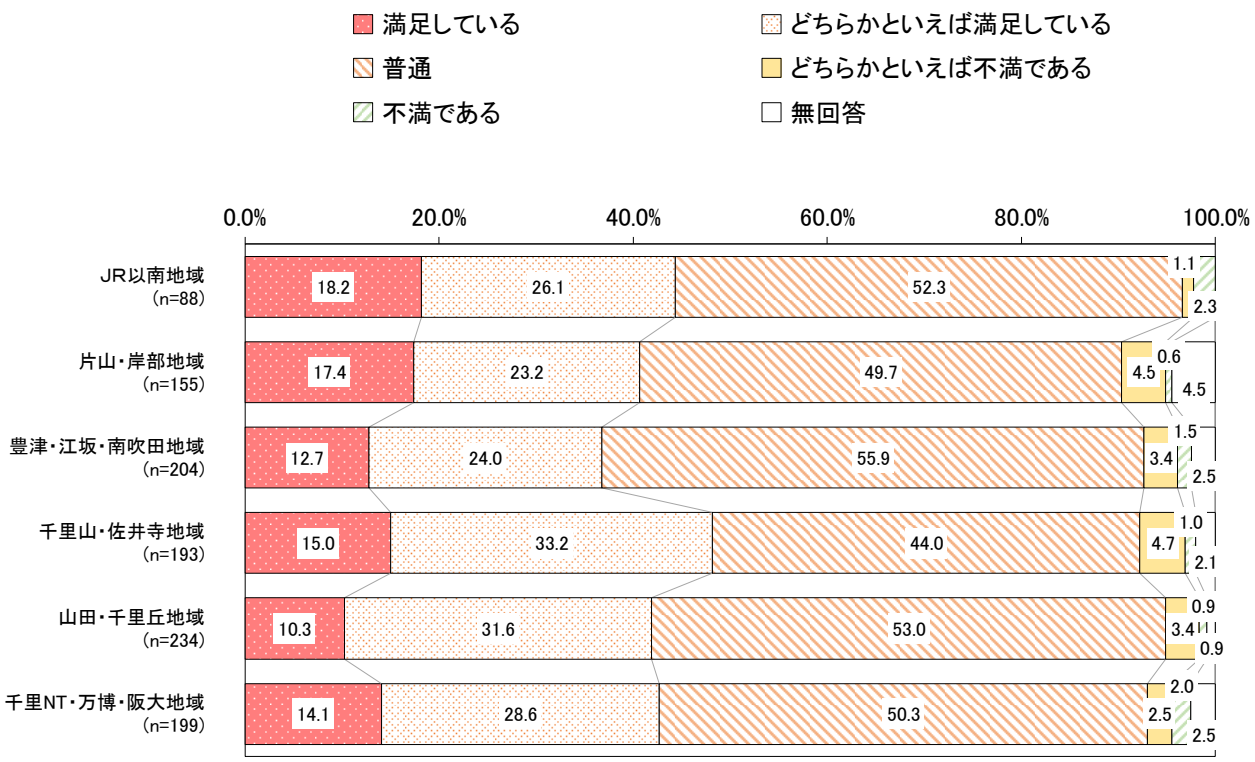
「普通」が 50.6％と最も高く、次いで「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足”の割合が 42.0％、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満”の割合が 4.7％となっています。

図表10－54　ごみ減量に向けた取組の満足度（単純回答）



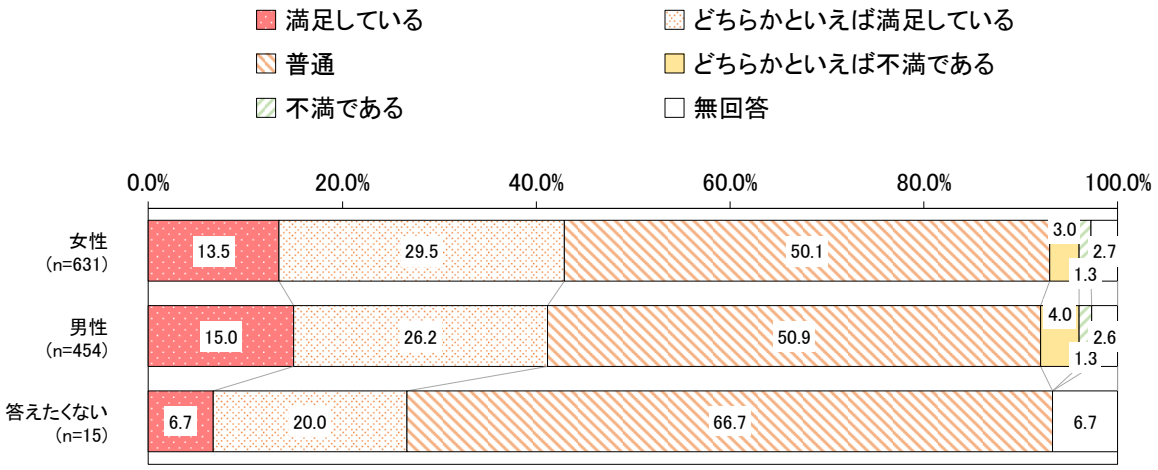
居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足”の割合が最も高くなっています。

図表10－55　ごみ減量に向けた取組の満足度（居住地域別）



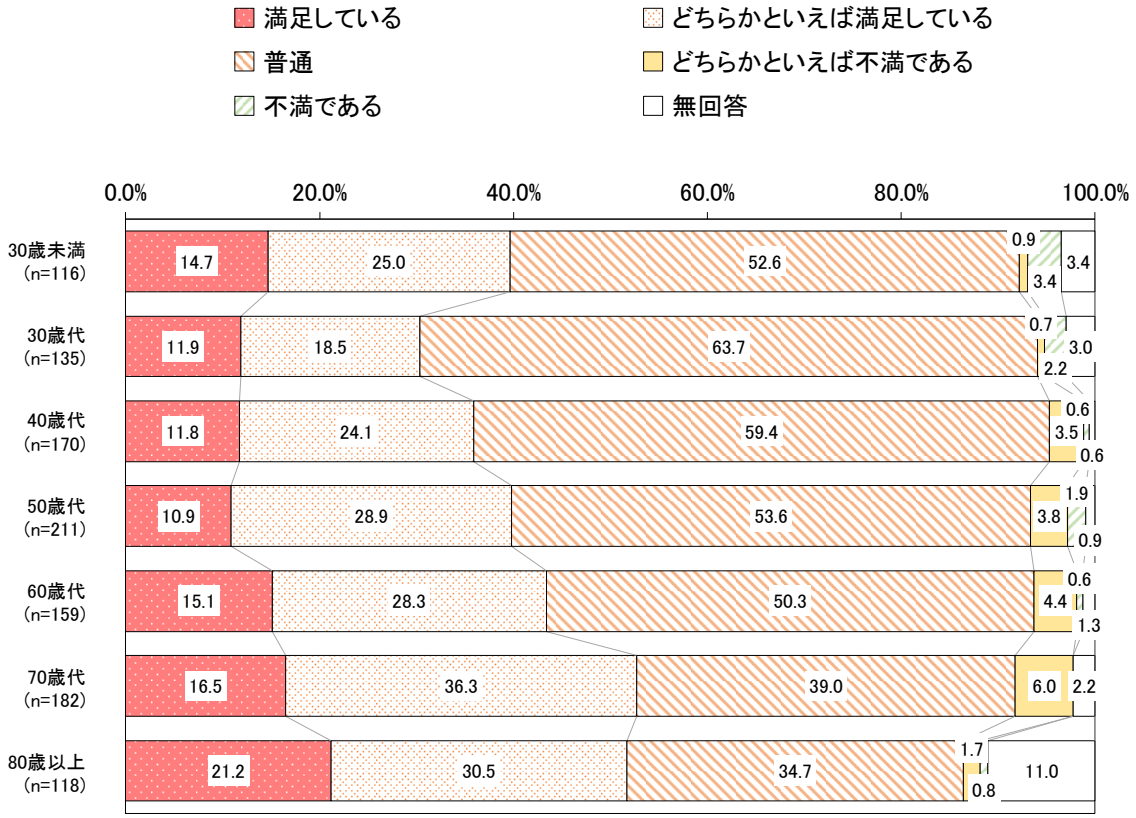
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表10－56　ごみ減量に向けた取組の満足度（性別）



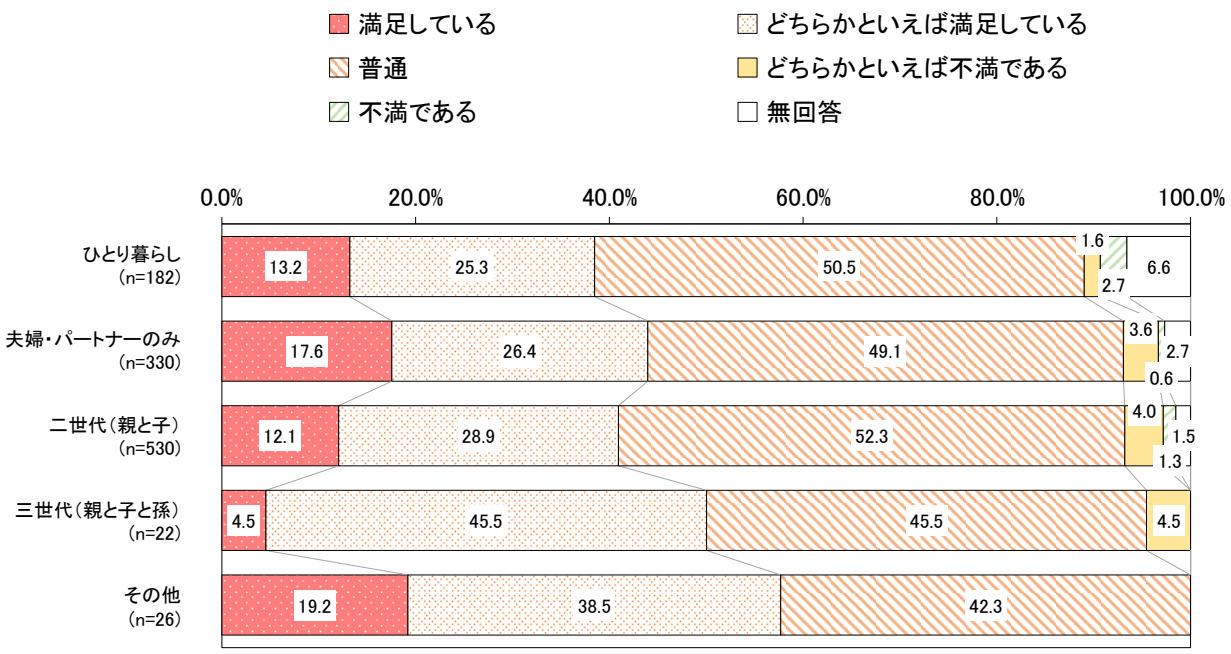
年齢別でみると、他に比べ、70 歳代で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足”の割合が最も高くなっています。

図表10－57　ごみ減量に向けた取組の満足度（年齢別）



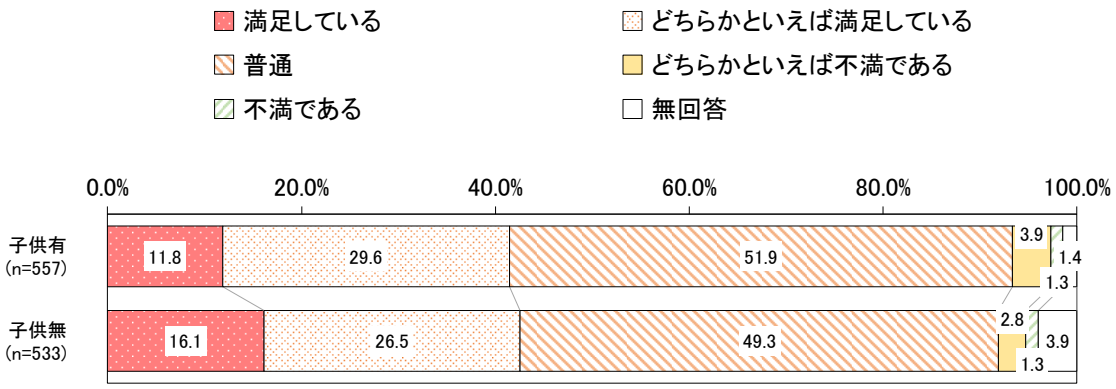
家族構成別でみると、他に比べ、三世代（親と子と孫）で「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

図表 10－58　ごみ減量に向けた取組の満足度（家族構成別）



子供の有無別でみると、大きな差異はみられません。

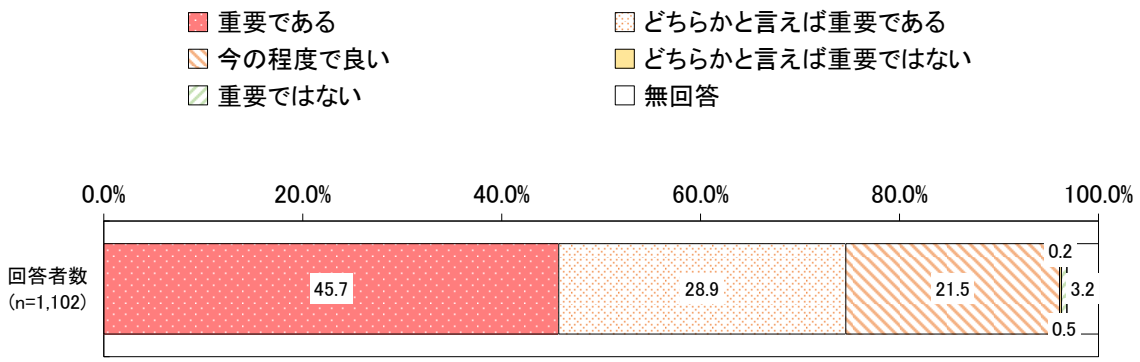
図表 10－59　ごみ減量に向けた取組の満足度（子供の有無別）



（２）取組が重要だと思う程度を教えてください。

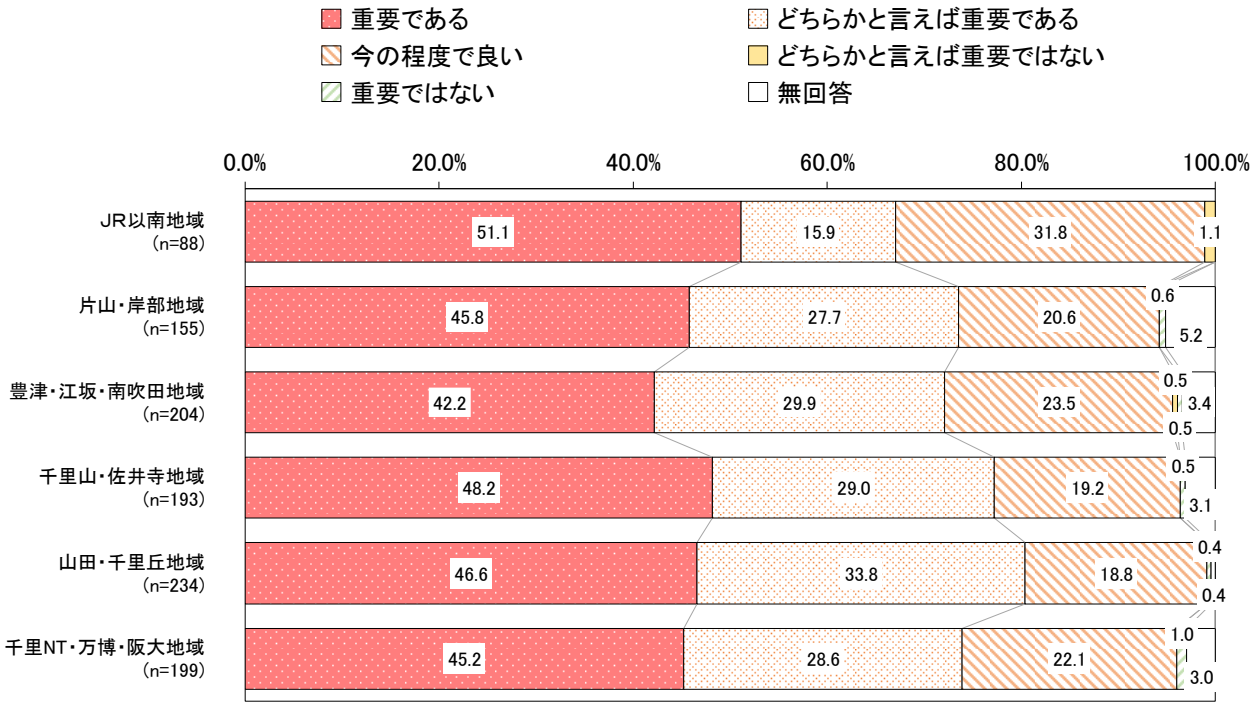
「重要である」と「どちらかと言えば重要である」をあわせた“重要”の割合が 74.6%と最も高く、次いで「今の程度で良い」が 21.5%、「どちらかと言えば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が 0.7%となっています。

図表10－60　ごみ減量に向けた取組の重要度（単純回答）



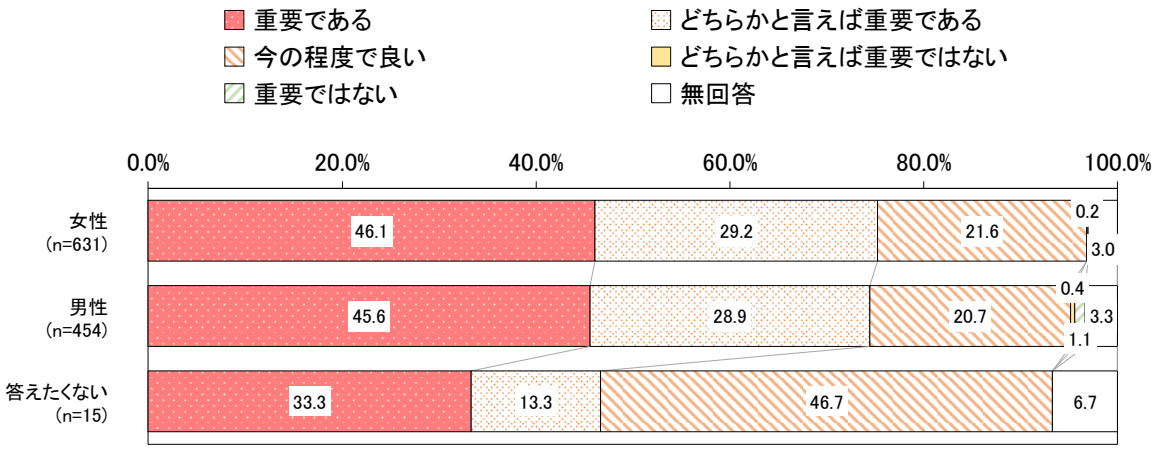
居住地域別でみると、他に比べ、山田・千里丘地域で「重要である」と「どちらかと言えば重要である」をあわせた“重要”の割合が最も高くなっています。

図表10－61　ごみ減量に向けた取組の重要度（居住地域別）



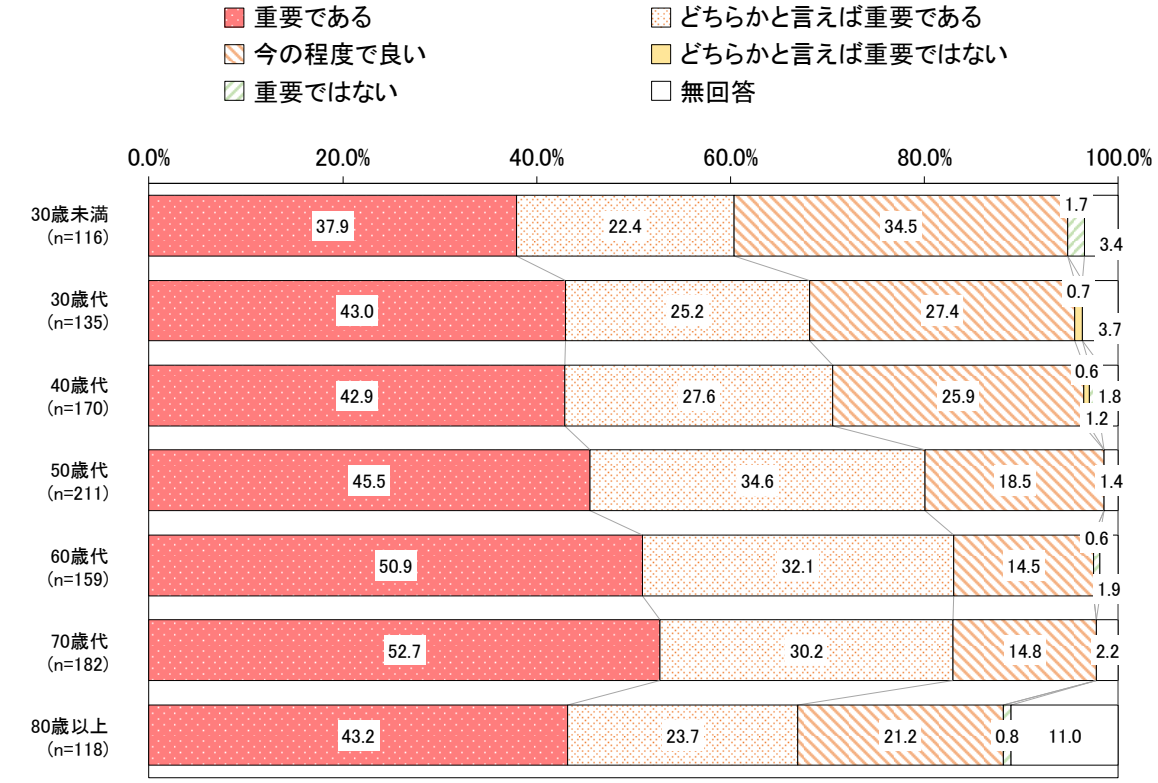
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表10－62　ごみ減量に向けた取組の重要度（性別）



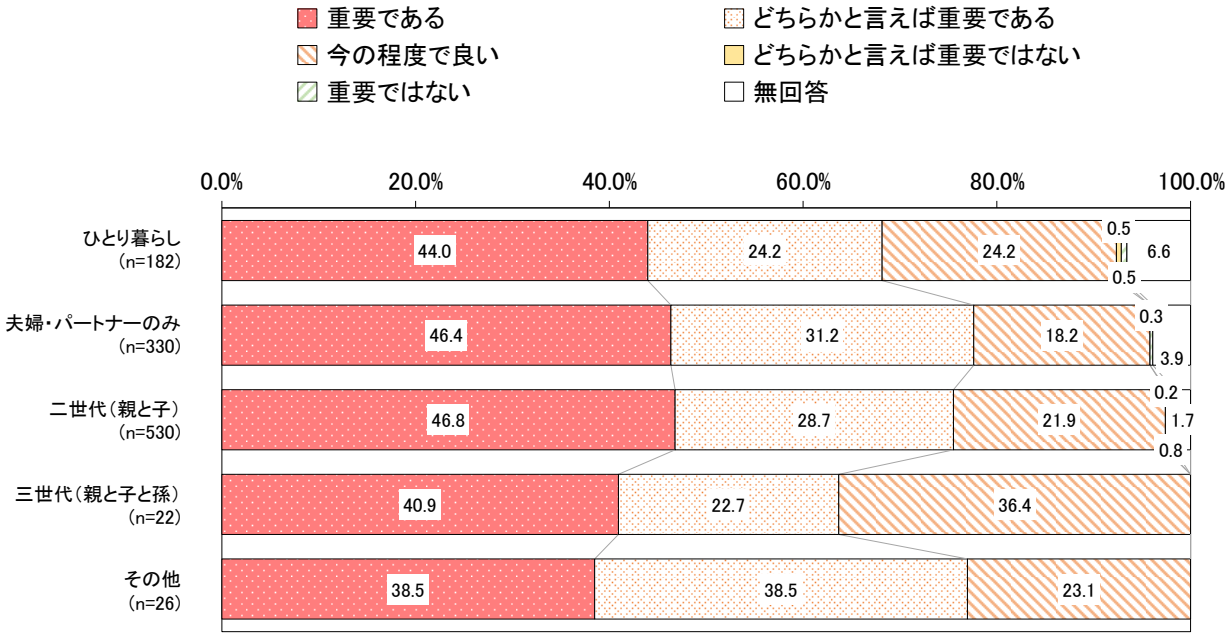
年齢別でみると、他に比べ、60 歳代で「重要である」と「どちらかと言えば重要である」をあわせた“重要”の割合が最も高くなっています。

図表10－63　ごみ減量に向けた取組の重要度（年齢別）



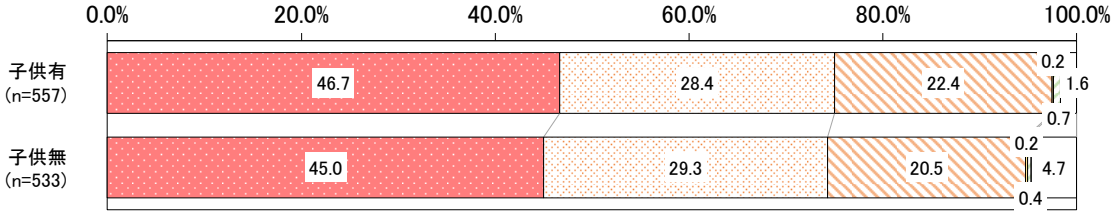
家族構成別でみると、他に比べ、夫婦・パートナーのみで「重要である」と「どちらかと言えば重要である」をあわせた“重要”の割合が最も高くなっています。

図表 10－64　ごみ減量に向けた取組の重要度（家族構成別）



子供の有無別でみると、大きな差異はみられません。

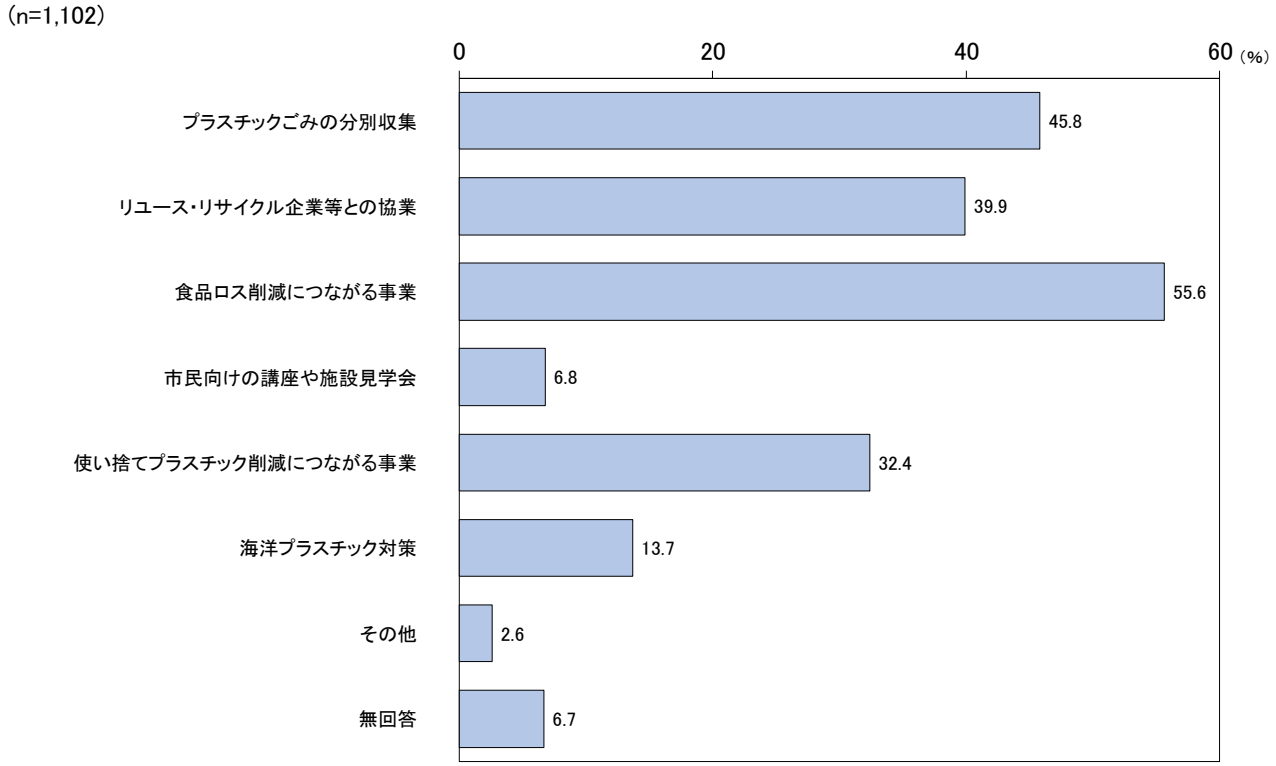
図表 10－65　ごみ減量に向けた取組の重要度（子供の有無別）



問 58　今後、吹田市が注力するべきと考える分野（ごみ減量につながる）について、教えてください。（３つまで）

「食品ロス削減につながる事業」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「プラスチックごみの分別収集」の割合が 45.8%、「リユース・リサイクル企業等との協業」の割合が 39.9%となっています。

図表10－66　吹田市が注力するべき分野（ごみ減量につながる）について（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「食品ロス削減につながる事業」の割合が最も高くなっています。

図表10－67　吹田市が注力するべき分野（ごみ減量につながる）について（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	プラスチックごみの分別収集	リユース・リサイクル企業等との協業	食品ロス削減につながる事業	市民向けの講座や施設見学会	使い捨てプラスチック削減につながる事業	海洋プラスチック対策	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	50.0	36.4	53.4	4.5	36.4	13.6	2.3	6.8
	片山・岸部地域	155	44.5	35.5	56.8	7.1	29.0	12.3	2.6	7.7
	豊津・江坂・南吹田地域	204	43.1	39.2	58.8	4.4	29.4	14.7	2.9	5.9
	千里山・佐井寺地域	193	40.9	45.1	58.5	6.2	30.6	16.1	3.6	6.7
	山田・千里丘地域	234	45.7	41.9	54.3	10.3	35.0	16.7	1.3	6.0
	千里NT・万博・阪大地域	199	53.3	40.7	52.8	7.0	35.2	9.0	3.0	4.5

性別でみると、男性より女性の方が「食品ロス削減につながる事業」と答えています。

図表 10－68　吹田市が注力するべき分野（ごみ減量につながる）について（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	プラスチックごみの分別収集	リユース・リサイクル企業等との協業	食品ロス削減につながる事業	市民向けの講座や施設見学会	使い捨てプラスチック削減につながる事業	海洋プラスチック対策	その他	無回答
性別	女性	631	44.4	37.6	57.4	7.1	32.8	13.8	2.2	6.7
	男性	454	48.2	43.2	53.1	6.6	31.3	13.7	3.3	6.8
	答えたくない	15	26.7	46.7	60.0	－	46.7	13.3	－	6.7

年齢別でみると、他に比べ、60 歳代で「食品ロス削減につながる事業」の割合が最も高くなっています。

図表 10－69　吹田市が注力するべき分野（ごみ減量につながる）について（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	プラスチックごみの分別収集	リユース・リサイクル企業等との協業	食品ロス削減につながる事業	市民向けの講座や施設見学会	使い捨てプラスチック削減につながる事業	海洋プラスチック対策	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	38.8	29.3	54.3	5.2	24.1	17.2	2.6	9.5
	30 歳代	135	34.8	43.0	51.9	6.7	31.9	16.3	3.7	8.9
	40 歳代	170	32.9	48.8	55.9	8.2	34.7	10.0	6.5	4.1
	50 歳代	211	43.6	44.1	64.0	4.7	25.1	16.1	1.9	4.3
	60 歳代	159	46.5	42.8	65.4	7.5	33.3	15.7	0.6	3.8
	70 歳代	182	60.4	36.8	50.0	7.7	45.1	12.6	0.5	5.5
	80 歳以上	118	63.6	28.8	44.9	8.5	30.5	8.5	3.4	13.6

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦・パートナーのみで「食品ロス削減につながる事業」の割合が高くなっています。

図表 10－70　吹田市が注力するべき分野（ごみ減量につながる）について（家族構成別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	プラスチックごみの分別収集	リユース・リサイクル企業等との協業	食品ロス削減につながる事業	市民向けの講座や施設見学会	使い捨てプラスチック削減につながる事業	海洋プラスチック対策	その他	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	182	45.1	36.3	50.5	3.3	36.3	15.9	3.3	7.1
	夫婦・パートナーのみ	330	53.6	38.5	59.4	6.4	33.0	13.9	1.8	5.5
	二世代（親と子）	530	40.2	43.0	55.7	7.9	30.0	12.6	3.2	7.2
	三世代（親と子と孫）	22	54.5	31.8	45.5	13.6	27.3	9.1	－	4.5
	その他	26	53.8	34.6	65.4	11.5	42.3	19.2	－	7.7

子供の有無別でみると、子供有の方に比べ、子供無の方で「食品ロス削減につながる事業」の割合が高くなっています。

図表 10－71　吹田市が注力するべき分野（ごみ減量につながる）について（子供の有無別）

単位：％

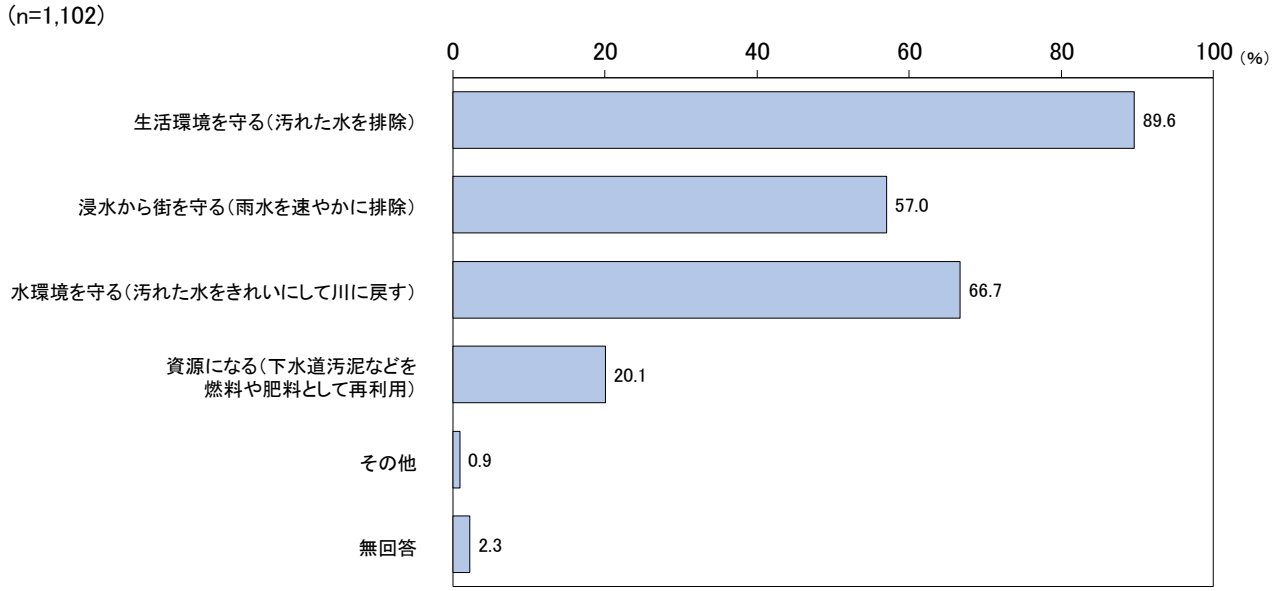
区分		有効回答数（件）	プラスチックごみの分別収集	リユース・リサイクル企業等との協業	食品ロス削減につながる事業	市民向けの講座や施設見学会	使い捨てプラスチック削減につながる事業	海洋プラスチック対策	その他	無回答
子	子供有	557	40.8	42.4	55.7	8.1	30.0	12.6	3.1	7.0
	子供無	533	50.8	37.7	56.3	5.6	34.5	14.8	2.3	6.2

第１１章　下水道について

問 59　あなたが知っている下水道の「役割」について、教えてください。
（いくつでも）

「生活環境を守る（汚れた水を排除）」の割合が 89.6％と最も高く、次いで「水環境を守る（汚れた水をきれいにして川に戻す）」の割合が 66.7％、「浸水から街を守る（雨水を速やかに排除）」の割合が 57.0％となっています。

図表11－１　下水道の役割の認知度（単純回答）



居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表11－２　下水道の役割の認知度（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	生活環境を守る（汚れた水を排除）	浸水から街を守る（雨水を速やかに排除）	水環境を守る（汚れた水をきれいにして川に戻す）	資源になる（下水道汚泥などを燃料や肥料として再利用）	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	92.0	62.5	61.4	18.2	－	1.1
	片山・岸部地域	155	86.5	55.5	69.7	22.6	0.6	4.5
	豊津・江坂・南吹田地域	204	88.2	53.9	66.7	19.6	0.5	2.0
	千里山・佐井寺地域	193	86.5	61.7	69.4	18.1	1.6	1.6
	山田・千里丘地域	234	92.3	59.0	66.7	20.5	1.3	0.4
	千里NT・万博・阪大地域	199	94.0	54.8	66.3	21.6	0.5	1.5

性別でみると、全ての項目で、女性より男性の方が下水道の役割を知っている割合が高くなっています。

図表 11－３　下水道の役割の認知度（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	生活環境を守る（汚れた水を排除）	浸水から街を守る（雨水を速やかに排除）	水環境を守る（汚れた水をきれいにして川に戻す）	資源になる（下水道汚泥などを燃料や肥料として再利用）	その他	無回答
性別	女性	631	89.1	54.5	63.7	16.0	0.8	2.1
	男性	454	90.1	60.4	70.9	25.8	1.1	2.4
	答えたくない	15	93.3	53.3	66.7	20.0	－	6.7

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

図表 11－４　下水道の役割の認知度（年齢別）

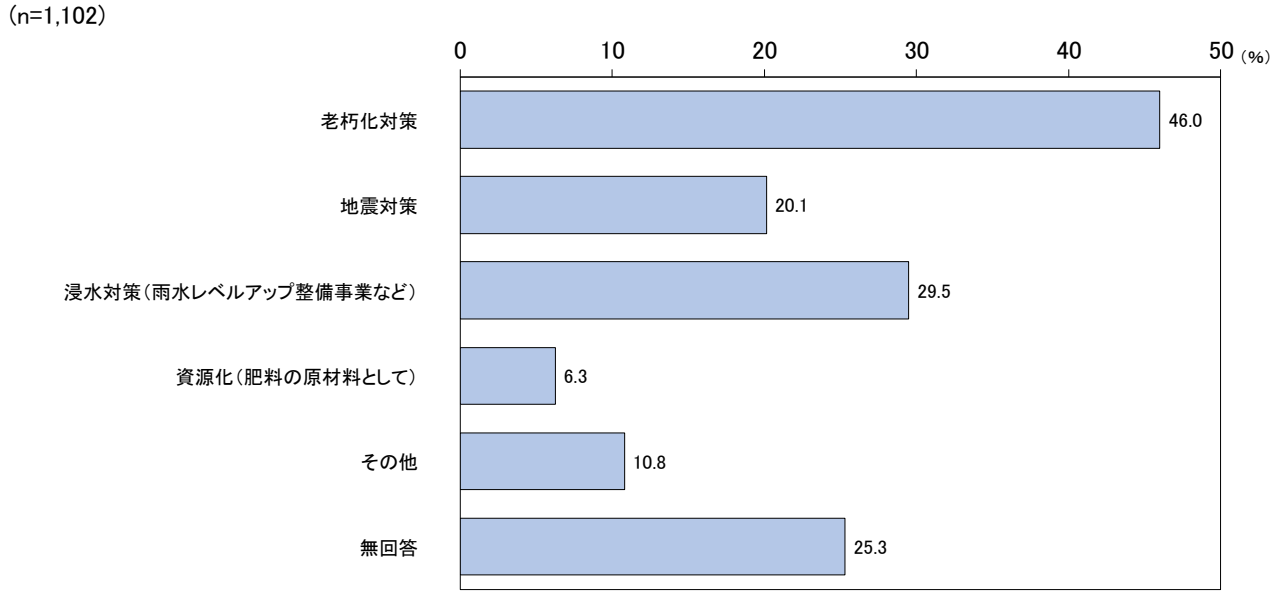
単位：％

区分		有効回答数（件）	生活環境を守る（汚れた水を排除）	浸水から街を守る（雨水を速やかに排除）	水環境を守る（汚れた水をきれいにして川に戻す）	資源になる（下水道汚泥などを燃料や肥料として再利用）	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	80.2	37.1	56.0	20.7	－	6.0
	30 歳代	135	88.9	50.4	62.2	18.5	0.7	1.5
	40 歳代	170	91.8	61.2	70.0	18.8	1.2	1.2
	50 歳代	211	91.9	56.4	71.6	15.6	－	0.5
	60 歳代	159	95.0	72.3	71.1	20.1	1.3	－
	70 歳代	182	89.0	58.8	72.5	25.8	1.6	2.7
	80 歳以上	118	84.7	55.1	55.1	22.9	1.7	6.8

問 60　あなたが知っている吹田市下水道部が行っている事業はありますか。
（いくつでも）

「老朽化対策」の割合が 46.0％と最も高く、次いで「浸水対策（雨水レベルアップ整備事業など）」の割合が 29.5％、「地震対策」の割合が 20.1％となっています。

図表11－５　吹田市下水道部が行っている事業の認知度（単純回答）



居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表11－６　吹田市下水道部が行っている事業の認知度（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	老朽化対策	地震対策	浸水対策（雨水レベルアップ整備事業など）	資源化（肥料の原材料として）	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	46.6	25.0	40.9	11.4	8.0	23.9
	片山・岸部地域	155	48.4	21.9	32.9	7.7	10.3	18.7
	豊津・江坂・南吹田地域	204	35.3	13.2	26.0	5.9	14.7	31.4
	千里山・佐井寺地域	193	43.0	16.1	31.6	2.6	11.4	27.5
	山田・千里丘地域	234	47.0	22.6	25.2	5.6	11.5	23.1
	千里NT・万博・阪大地域	199	56.8	25.6	27.6	7.5	8.0	23.1

性別でみると、全ての項目で、女性より男性の方が下水道部が行っている事業を知っている割合が高くなっています。

図表 11－７　吹田市下水道部が行っている事業の認知度（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	老朽化対策	地震対策	浸水対策（雨水レベルアップ整備事業など）	資源化（肥料の原材料として）	その他	無回答
性別	女性	631	42.6	17.4	27.4	5.7	10.8	27.1
	男性	454	50.9	23.1	31.9	7.0	10.6	22.9
	答えたくない	15	40.0	40.0	46.7	6.7	20.0	20.0

年齢別でみると、他に比べ、60 歳代で「老朽化対策」の割合が最も高くなっています。

図表 11－８　吹田市下水道部が行っている事業の認知度（年齢別）

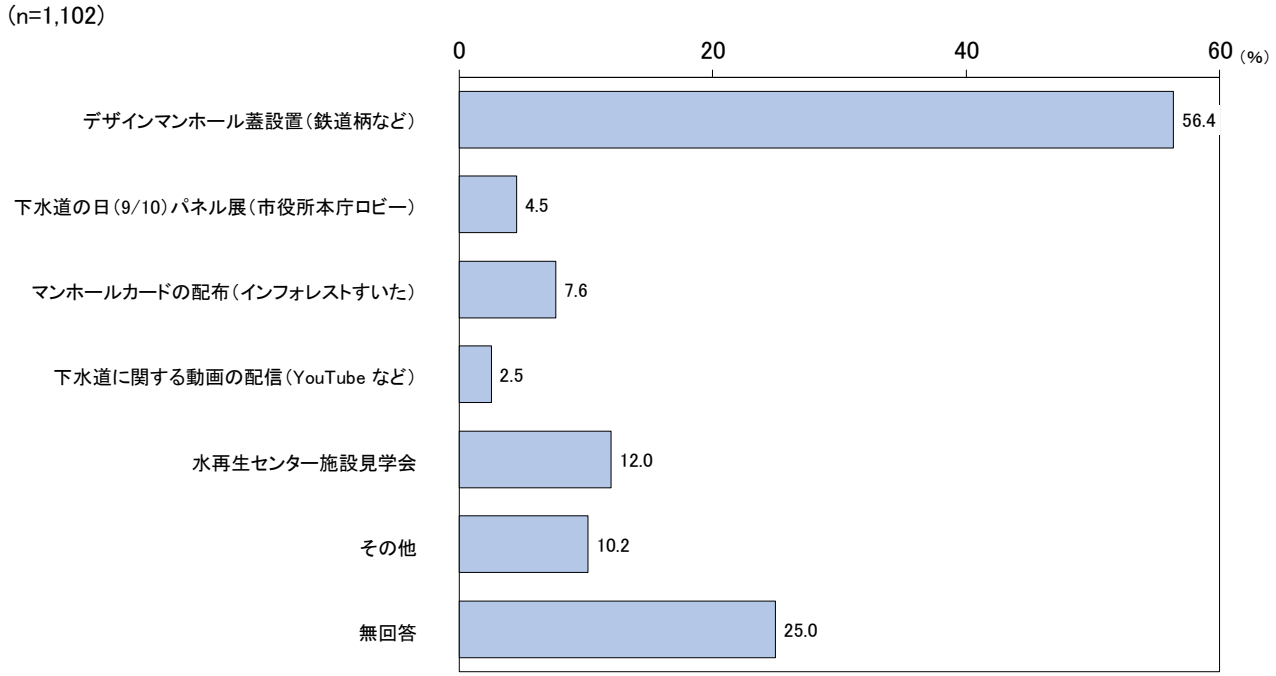
単位：％

区分		有効回答数（件）	老朽化対策	地震対策	浸水対策（雨水レベルアップ整備事業など）	資源化（肥料の原材料として）	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	30.2	19.8	20.7	5.2	14.7	31.9
	30 歳代	135	34.1	19.3	25.2	5.2	10.4	34.8
	40 歳代	170	39.4	18.2	31.8	5.9	16.5	22.4
	50 歳代	211	43.6	17.1	28.4	4.7	12.8	24.6
	60 歳代	159	60.4	22.0	35.2	4.4	8.8	18.9
	70 歳代	182	57.7	23.6	33.0	10.4	7.1	19.8
	80 歳以上	118	52.5	22.9	29.7	7.6	5.1	28.0

問 61　あなたが知っている（見たことがある）吹田市下水道部の広報活動を教えてください。（いくつでも）

「デザインマンホール蓋設置（鉄道柄など）」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「水再生センター施設見学会」の割合が 12.0%、「マンホールカードの配布（インフォレストすいた）」の割合が 7.6%となっています。

図表11－９　吹田市下水道部の広報活動の認知度（単純回答）



居住地域別でみると、どの地域においても「デザインマンホール蓋設置（鉄道柄など）」の割合が高くなっています。

図表11－10　吹田市下水道部の広報活動の認知度（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	デザインマンホール蓋設置（鉄道柄など）	下水道の日（９／１０）パネル展（市役所本庁ロビー）	マンホールカードの配布（インフォレストすいた）	下水道に関する動画の配信（ＹｏｕＴｕｂｅなど）	水再生センター施設見学会	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	47.7	5.7	13.6	4.5	13.6	10.2	33.0
	片山・岸部地域	155	61.3	5.8	8.4	1.3	13.5	10.3	20.0
	豊津・江坂・南吹田地域	204	49.5	3.4	5.4	2.0	10.8	16.2	27.9
	千里山・佐井寺地域	193	56.5	6.2	7.3	1.6	9.3	10.4	25.9
	山田・千里丘地域	234	60.7	3.4	7.7	2.6	13.7	7.3	21.4
	千里NT・万博・阪大地域	199	59.8	4.5	7.5	4.5	12.6	7.5	22.6

性別でみると、「水再生センター施設見学会」を除き、女性より男性の方が下水道部の広報活動を知っている割合が高くなっています。

図表 11－11　吹田市下水道部の広報活動の認知度（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	デザインマンホール蓋設置（鉄道柄など）	下水道の日（９／１０）パネル展（市役所本庁ロビー）	マンホールカードの配布（インフォレストすいた）	下水道に関する動画の配信（ＹｏｕＴｕｂｅなど）	水再生センター施設見学会	その他	無回答
性別	女性	631	56.3	3.5	6.8	1.0	12.4	9.5	26.1
	男性	454	56.4	5.3	8.4	4.4	11.0	10.8	23.3
	答えたくない	15	60.0	26.7	20.0	13.3	26.7	20.0	20.0

年齢別でみると、どの世代においても「デザインマンホール蓋設置（鉄道柄など）」の割合が高くなっています。

図表 11－12　吹田市下水道部の広報活動の認知度（年齢別）

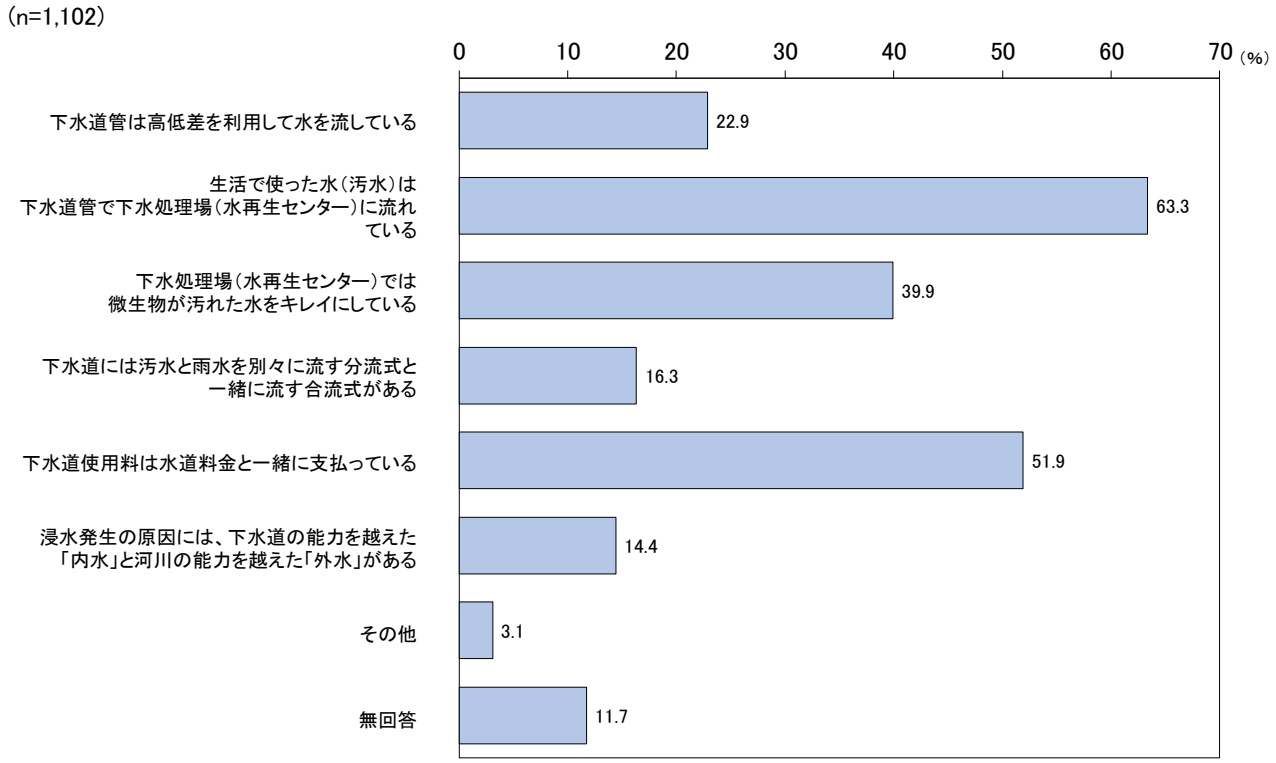
単位：％

区分		有効回答数（件）	デザインマンホール蓋設置（鉄道柄など）	下水道の日（９／１０）パネル展（市役所本庁ロビー）	マンホールカードの配布（インフォレストすいた）	下水道に関する動画の配信（ＹｏｕＴｕｂｅなど）	水再生センター施設見学会	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	52.6	2.6	4.3	3.4	12.9	10.3	27.6
	30 歳代	135	55.6	3.0	8.1	2.2	6.7	8.9	28.9
	40 歳代	170	54.1	5.9	11.2	2.9	21.2	11.2	21.8
	50 歳代	211	56.4	2.8	12.3	1.9	14.7	13.3	20.9
	60 歳代	159	62.9	6.9	7.5	2.5	7.5	10.7	20.1
	70 歳代	182	56.6	5.5	4.9	2.2	11.5	8.8	26.4
	80 歳以上	118	55.1	5.1	1.7	3.4	6.8	6.8	32.2

問 62　あなたが知っている下水道に関することを教えてください。（いくつでも）

「生活で使った水（汚水）は下水道管で下水処理場（水再生センター）に流れている」の割合が 63.3％と最も高く、次いで「下水道使用料は水道料金と一緒に支払っている」の割合が 51.9％、「下水処理場（水再生センター）では微生物が汚れた水をキレイにしている」の割合が 39.9％となっています。

図表11－13　下水道に関して知っていること（単純回答）



居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表11－14　下水道に関して知っていること（居住地域別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	下水道管は高低差を利用して水を流している	生活で使った水（汚水）は下水道管で下水処理場（水再生センター）に流れている	下水処理場（水再生センター）では微生物が汚れた水をキレイにしている	下水道には汚水と雨水を別々に流す分流式と一緒に流す合流式がある	下水道使用料は水道料金と一緒に支払っている	浸水発生の原因には、下水道の能力を越えた「内水」と河川の能力を越えた「外水」がある	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	88	27.3	68.2	43.2	17.0	47.7	17.0	1.1	11.4
	片山・岸部地域	155	25.2	65.2	40.0	12.9	47.1	14.2	1.9	12.3
	豊津・江坂・南吹田地域	204	19.6	58.3	43.1	17.6	48.5	11.3	4.4	10.8
	千里山・佐井寺地域	193	19.7	63.7	38.9	17.1	53.4	14.5	2.6	15.5
	山田・千里丘地域	234	22.6	65.4	39.3	18.8	55.1	17.9	3.8	8.1
	千里NT・万博・阪大地域	199	26.6	66.3	39.7	15.1	59.3	13.6	2.5	9.5

性別でみると、「下水道使用料は水道料金と一緒に支払っている」ことを除き、女性より男性の方が下水道に関することを知っている割合が高くなっています。

図表 11－15　下水道に関して知っていること（性別）

単位：%

区分		有効回答数（件）	下水道管は高低差を利用して水を流している	生活で使った水（汚水）は下水道管で下水処理場（水再生センター）に流れている	下水処理場（水再生センター）では微生物が汚れた水をキレイにしている	下水道には汚水と雨水を別々に流す分流式と一緒に流す合流式がある	下水道使用料は水道料金と一緒に支払っている	浸水発生の原因には、下水道の能力を越えた「内水」と河川の能力を越えた「外水」がある	その他	無回答
性別	女性	631	16.0	62.6	32.6	10.9	53.9	11.9	3.2	13.2
	男性	454	32.6	65.0	50.2	23.8	49.8	17.2	2.9	9.5
	答えたくない	15	13.3	46.7	33.3	13.3	33.3	26.7	6.7	20.0

年齢別でみると、どの世代においても「生活で使った水（汚水）は下水道管で下水処理場（水再生センターに流れている」の割合が高くなっています。

図表 11－16　下水道に関して知っていること（年齢別）

単位：％

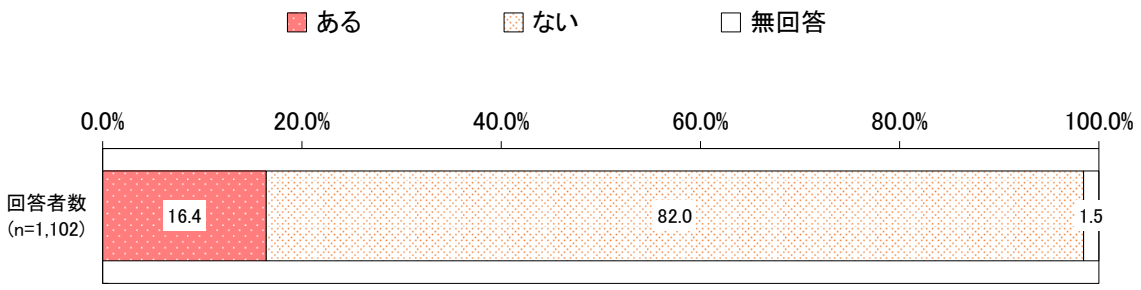
区分		有効回答数（件）	下水道管は高低差を利用して水を流している	生活で使った水（汚水）は下水道管で下水処理場（水再生センター）に流れている	下水処理場（水再生センター）では微生物が汚れた水をキレイにしている	下水道には汚水と雨水を別々に流す分流式と一緒に流す合流式がある	下水道使用料は水道料金と一緒に支払っている	浸水発生の原因には、下水道の能力を越えた「内水」と河川の能力を越えた「外水」がある	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	116	20.7	56.9	28.4	12.9	25.9	11.2	6.0	13.8
	30 歳代	135	23.7	65.9	37.0	15.6	38.5	8.9	2.2	11.1
	40 歳代	170	17.6	65.3	50.0	14.1	54.1	10.0	4.7	8.2
	50 歳代	211	19.0	64.9	44.1	16.1	54.0	9.5	1.9	10.9
	60 歳代	159	25.2	66.0	42.8	18.2	61.6	23.3	4.4	5.0
	70 歳代	182	27.5	64.8	35.7	20.3	64.8	22.5	1.1	12.6
	80 歳以上	118	28.0	58.5	35.6	14.4	55.1	14.4	2.5	20.3

第１２章　庁舎案内について

問 63　あなたは駅や公共施設等に設置されている、案内用のディスプレイやロボットを利用して、行き先等を調べたことがありますか。（１つだけ○印）

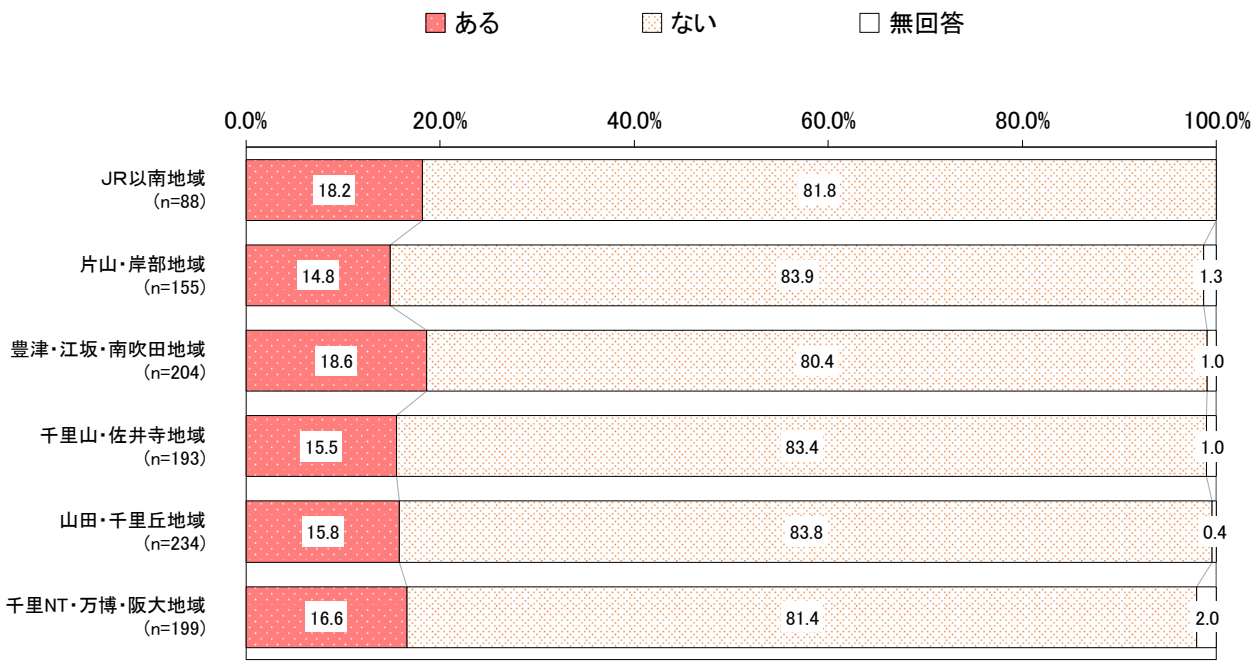
「ある」が 16.4%、「ない」が 82.0%でした。

図表12－１　案内用のディスプレイやロボットの活用状況（単純回答）



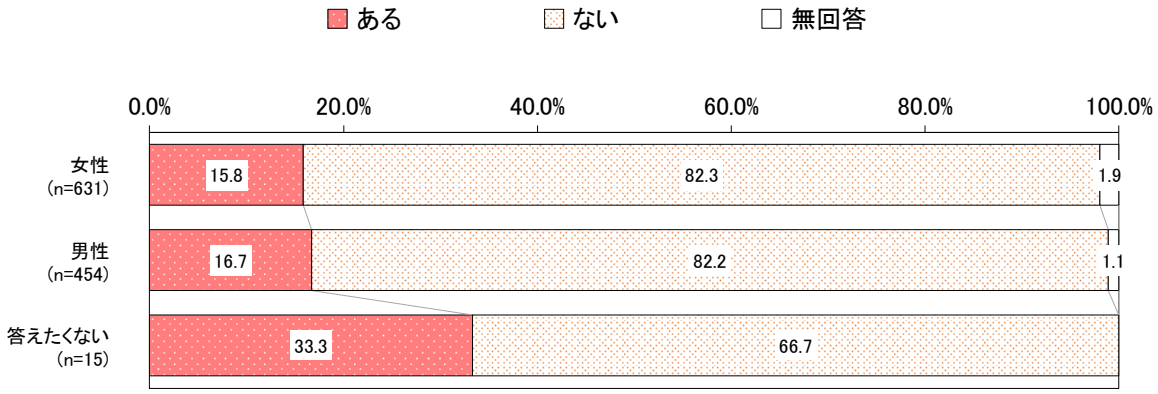
居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

図表12－２　案内用のディスプレイやロボットの活用状況（居住地域別）



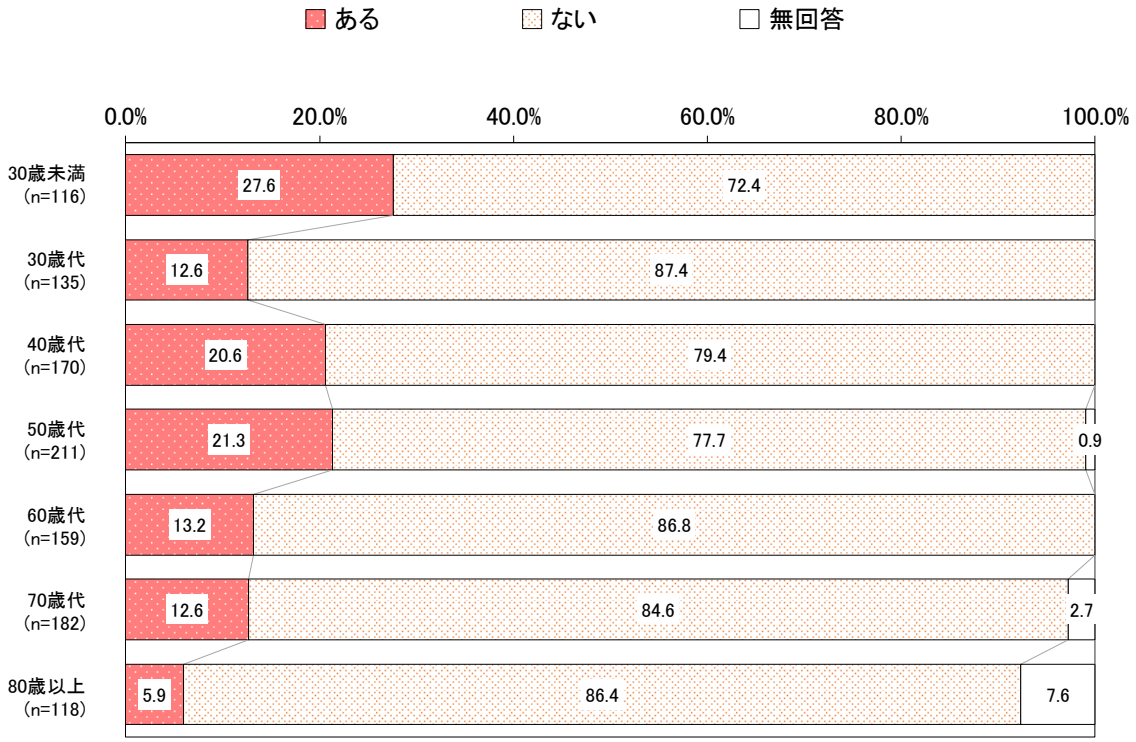
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表12－３　案内用のディスプレイやロボットの活用状況（性別）



年齢別でみると、他に比べ、30 歳代で「ない」の割合が最も高くなっています。

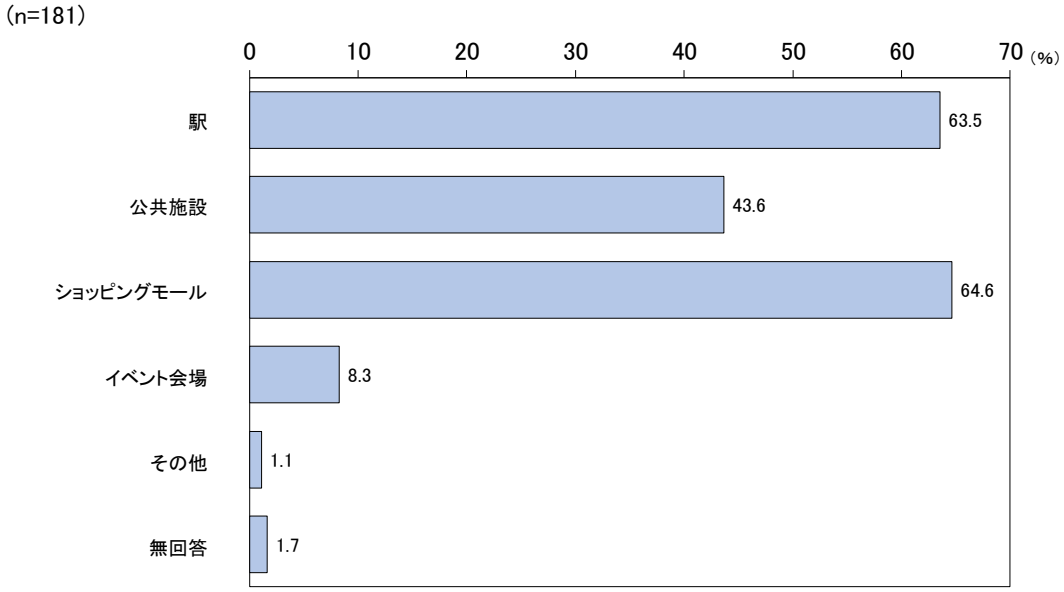
図表12－４　案内用のディスプレイやロボットの活用状況（年齢別）



問 63-1　どこで利用しましたか。（いくつでも）

「ショッピングモール」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「駅」の割合が 63.5%、「公共施設」の割合が 43.6%となっています。

図表12－５　案内用のディスプレイやロボットを見た場所（単純回答）



居住地域別でみると、他に比べ、千里ＮＴ・万博・阪大地域で「駅」の割合が最も高くなっています。

図表12－６　案内用のディスプレイやロボットを見た場所（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	駅	公共施設	ショッピングモール	イベント会場	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	16	50.0	56.3	56.3	6.3	6.3	－
	片山・岸部地域	23	69.6	34.8	56.5	17.4	－	4.3
	豊津・江坂・南吹田地域	38	60.5	28.9	68.4	2.6	－	－
	千里山・佐井寺地域	30	70.0	43.3	70.0	13.3	3.3	－
	山田・千里丘地域	37	51.4	45.9	73.0	10.8	－	5.4
	千里NT・万博・阪大地域	33	78.8	54.5	51.5	－	－	－

性別でみると、男性より女性の方が「ショッピングモール」と答えています。一方、女性より男性の方が「駅」と答えています。

図表 12－７　案内用のディスプレイやロボットを見た場所（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	駅	公共施設	ショッピングモール	イベント会場	その他	無回答
性別	女性	100	64.0	39.0	66.0	7.0	1.0	2.0
	男性	76	61.8	50.0	60.5	9.2	1.3	1.3
	答えたくない	5	80.0	40.0	100.0	20.0	－	－

年齢別でみると、他に比べ、80 歳以上で「駅」の割合が最も高くなっています。

図表 12－８　案内用のディスプレイやロボットを見た場所（年齢別）

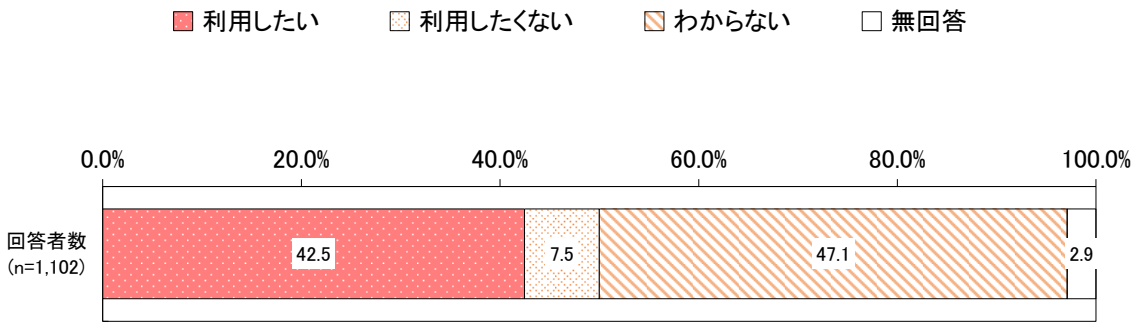
単位：％

区分		有効回答数（件）	駅	公共施設	ショッピングモール	イベント会場	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	32	65.6	31.3	75.0	－	－	6.3
	30 歳代	17	70.6	35.3	76.5	11.8	－	－
	40 歳代	35	57.1	42.9	62.9	17.1	－	2.9
	50 歳代	45	57.8	40.0	64.4	4.4	2.2	－
	60 歳代	21	61.9	47.6	57.1	14.3	4.8	－
	70 歳代	23	73.9	69.6	56.5	4.3	－	－
	80 歳以上	7	85.7	57.1	42.9	14.3	－	－

問 64　今後、市役所内で案内用のデジタル端末が設置された場合、利用したいと思いますか。（１つだけ○印）

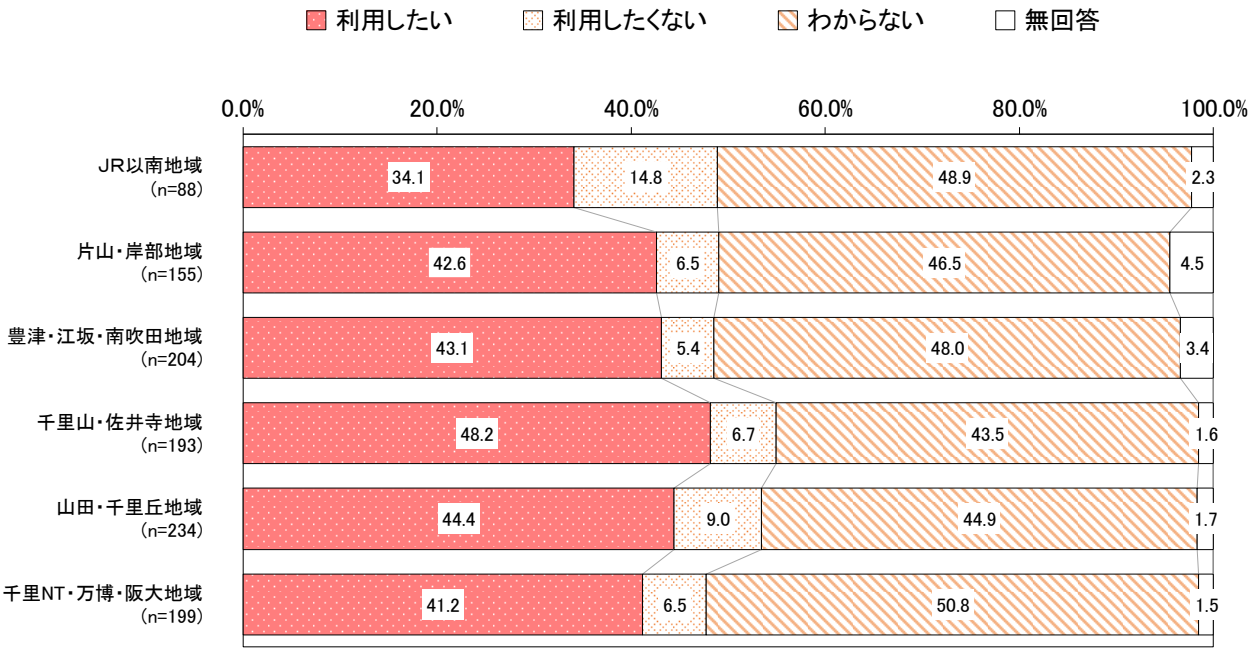
「利用したい」が 42.5%、「利用したくない」が 7.5%、「わからない」が 47.1%となっています。

図表12－９　市役所内で案内用のデジタル端末が設置された場合の利用意向（単純回答）



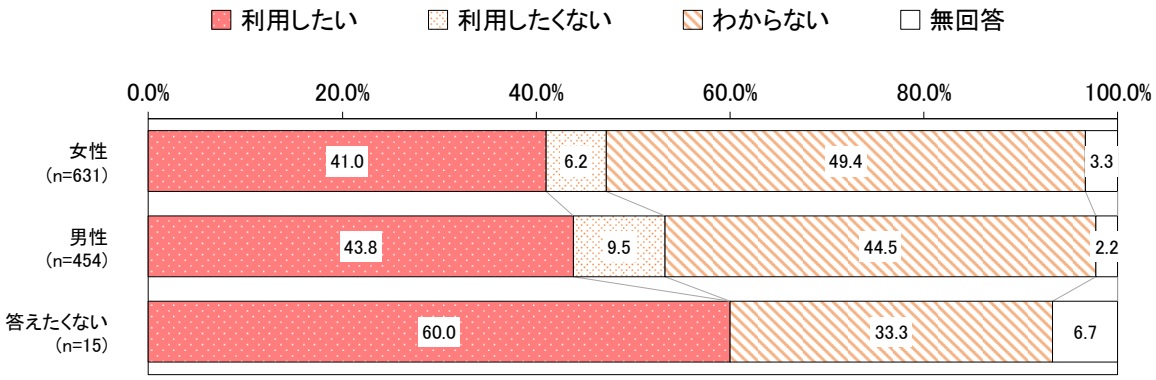
居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「利用したい」の割合が最も高くなっています。

図表12－10　市役所内で案内用のデジタル端末が設置された場合の利用意向（居住地域別）



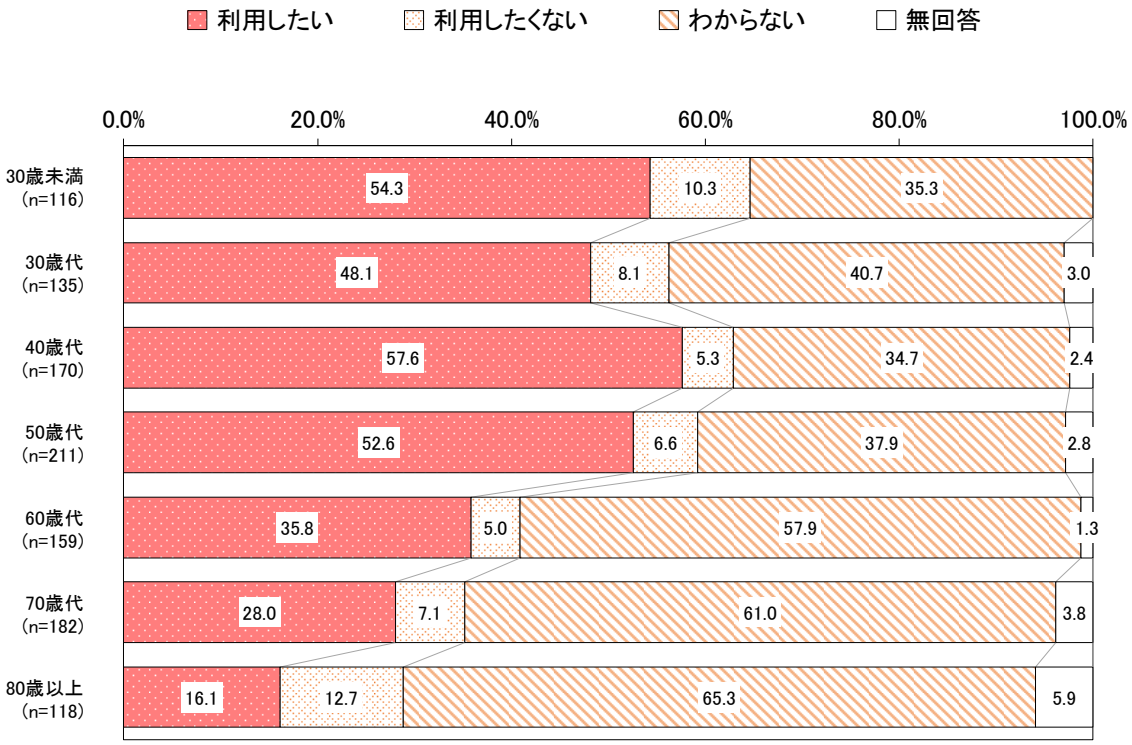
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表12－11　市役所内で案内用のデジタル端末が設置された場合の利用意向（性別）



年齢別でみると、他に比べ、40 歳代で「利用したい」の割合が最も高くなっています。

図表12－12　市役所内で案内用のデジタル端末が設置された場合の利用意向（年齢別）

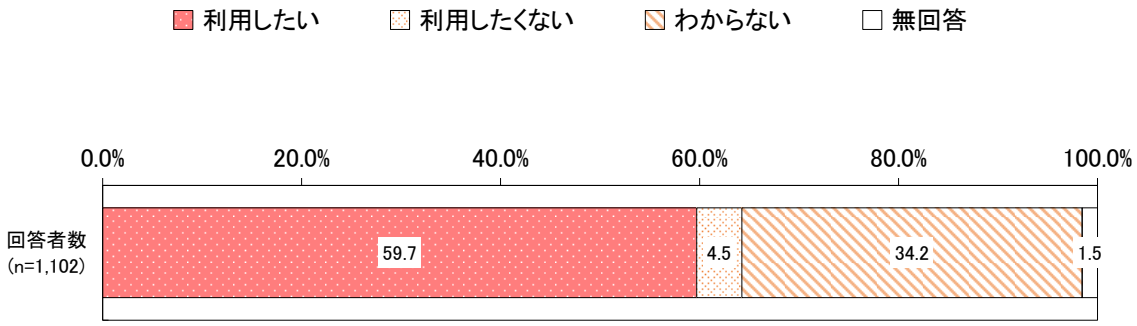


第１３章　おくやみコーナーについて

問 65　あなたは、おくやみコーナーができたら、利用したいと思いますか。
（１つだけ○印）

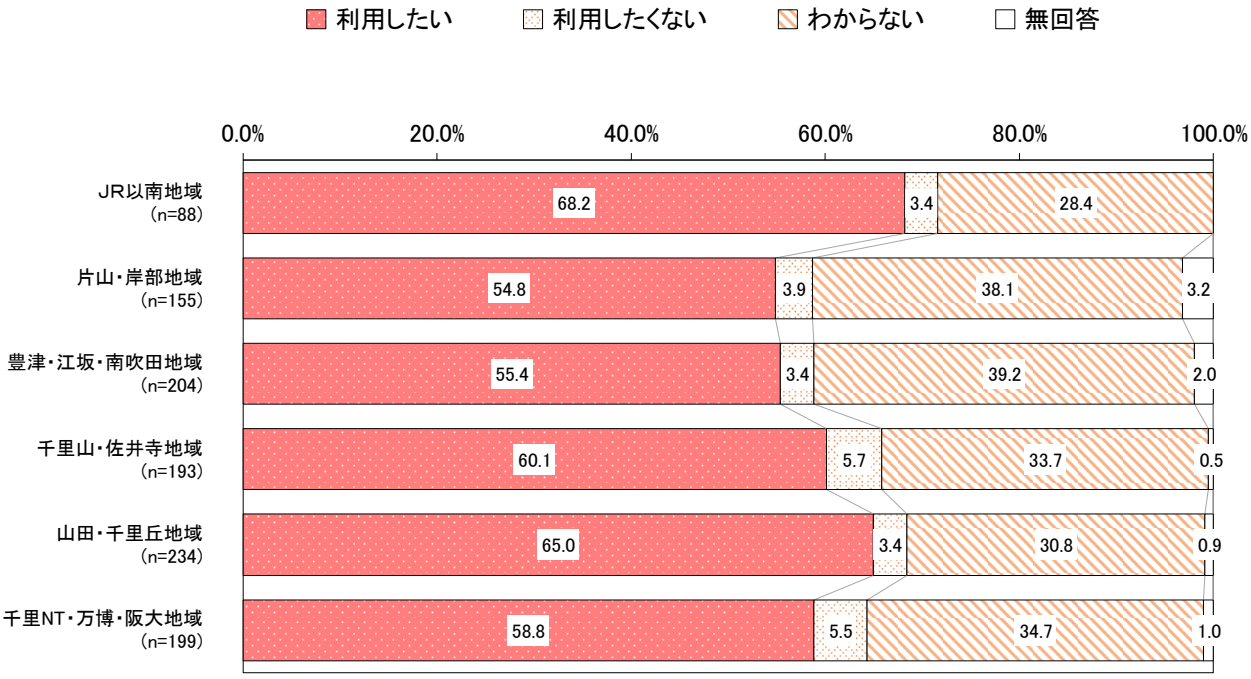
「利用したい」が 59.7%、「利用したくない」が 4.5%、「わからない」が 34.2%となっています。

図表13－１　おくやみコーナーの利用意向（単純回答）



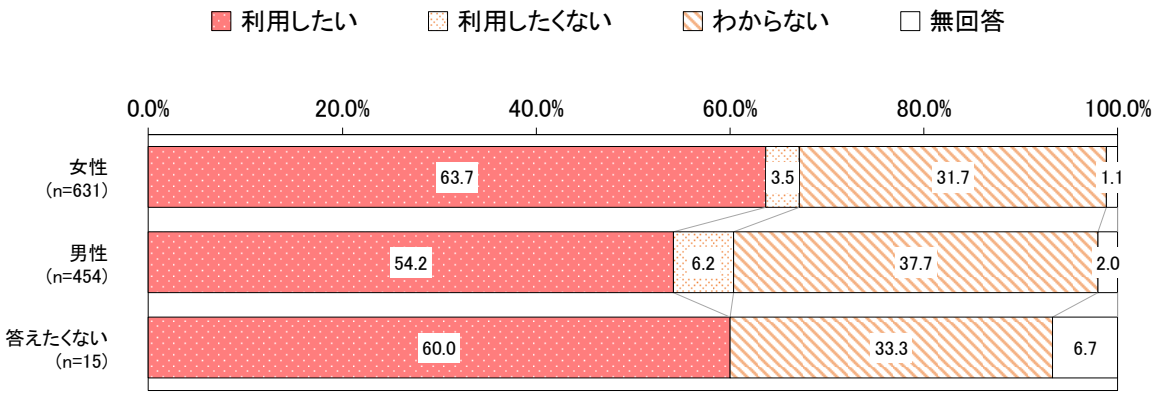
居住地域別でみると、他に比べ、ＪＲ以南地域で「利用したい」の割合が最も高くなっています。

図表13－２　おくやみコーナーの利用意向（居住地域別）



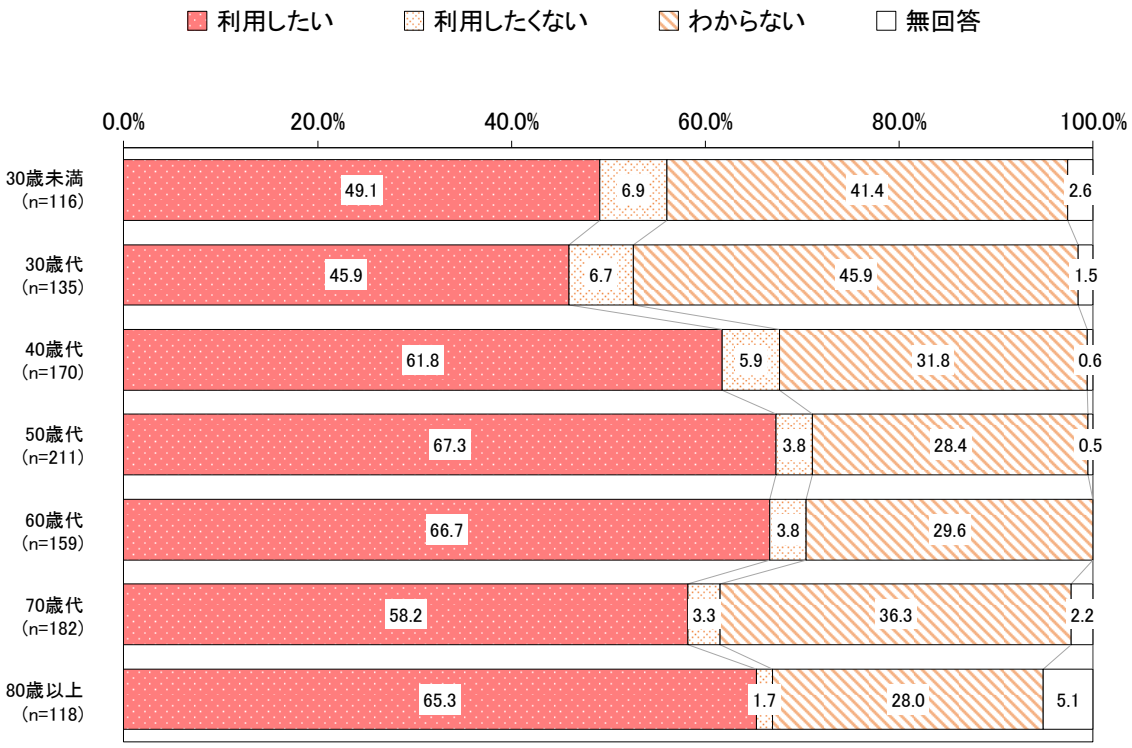
性別でみると、男性より女性の方が「利用したい」と答えています。

図表13－３　おくやみコーナーの利用意向（性別）



年齢別でみると、他に比べ、50 歳代で「利用したい」の割合が最も高くなっています。

図表13－４　おくやみコーナーの利用意向（年齢別）

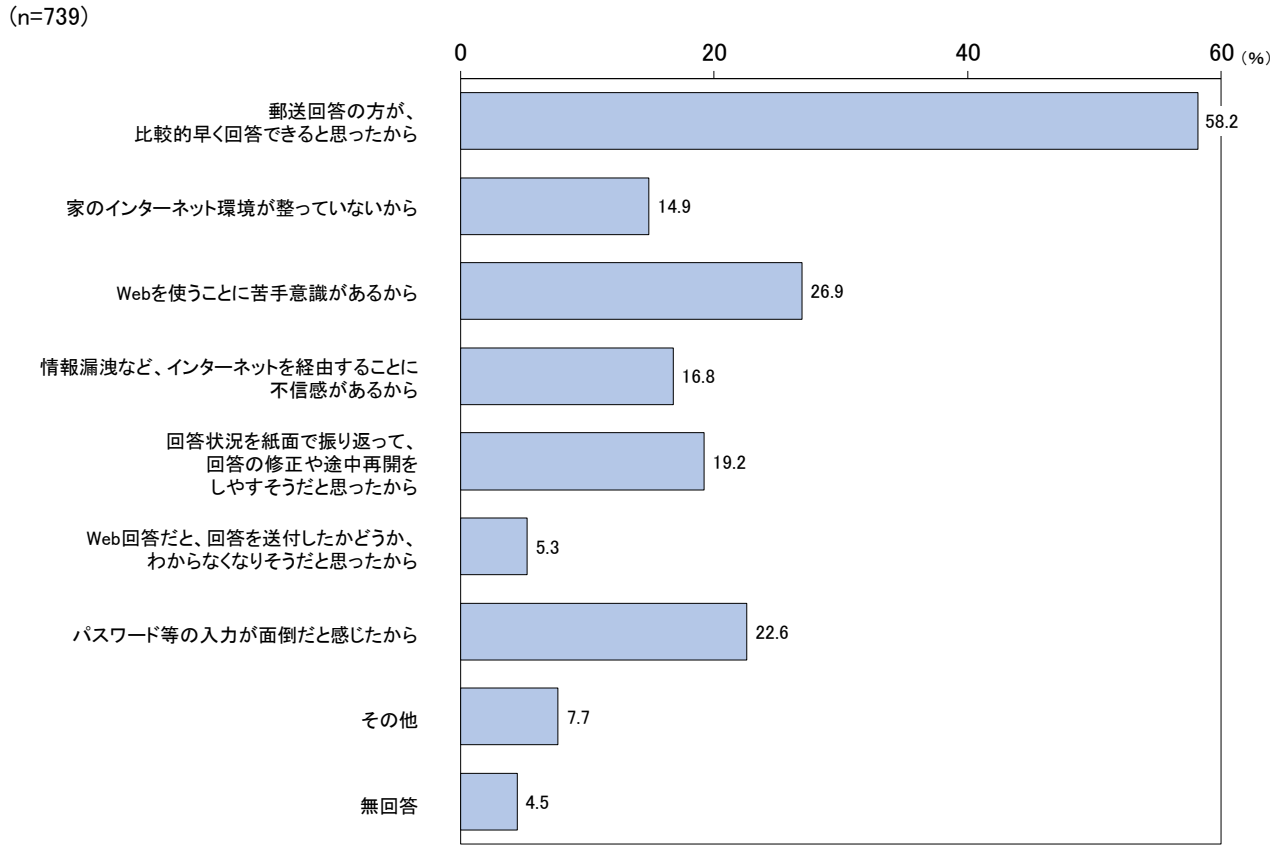


第１４章　市政モニタリング調査について

問 66-1　郵送でご回答いただいた方にお尋ねします。郵送で回答いただいた理由を教えてください。（いくつでも）

「郵送回答の方が、比較的早く回答できると思ったから」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「Web を使うことに苦手意識があるから」の割合が 26.9%、「パスワード等の入力が面倒だと感じたから」の割合が 22.6%となっています。

図表14－１　郵送での回答理由（単純回答）



居住地域別でみると、どの地域においても「郵送回答の方が、比較的早く回答できると思ったから」の割合が高くなっています。

図表14－２　郵送での回答理由（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	郵送回答の方が、比較的早く回答できると思ったから	家のインターネット環境が整っていないから	Ｗｅｂを使うことに苦手意識があるから	情報漏洩など、インターネットを経由することに不信感があるから	回答状況を紙面で振り返って、回答の修正や途中再開をしやすそうだと思ったから	Ｗｅｂ回答だと、回答を送付したかどうか、わからなくなりそうだと思ったから	パスワード等の入力が面倒だと感じたから	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	53	62.3	22.6	30.2	22.6	13.2	11.3	18.9	13.2	1.9
	片山・岸部地域	103	58.3	16.5	27.2	13.6	20.4	6.8	24.3	6.8	3.9
	豊津・江坂・南吹田地域	114	63.2	11.4	21.1	13.2	11.4	4.4	25.4	7.9	5.3
	千里山・佐井寺地域	132	62.1	12.1	30.3	16.7	22.0	5.3	16.7	7.6	3.0
	山田・千里丘地域	166	49.4	12.0	33.1	21.7	18.7	3.6	30.7	8.4	1.8
	千里NT・万博・阪大地域	142	61.3	18.3	22.5	14.1	26.8	5.6	17.6	6.3	6.3

性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 14－３　郵送での回答理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	郵送回答の方が、比較的早く回答できると思ったから	家のインターネット環境が整っていないから	Ｗｅｂを使うことに苦手意識があるから	情報漏洩など、インターネットを経由することに不信感があるから	回答状況を紙面で振り返って、回答の修正や途中再開をしやすそうだと思ったから	Ｗｅｂ回答だと、回答を送付したかどうか、わからなくなりそうだと思ったから	パスワード等の入力が面倒だと感じたから	その他	無回答
性別	女性	439	55.6	16.2	29.8	18.2	18.2	5.2	25.1	10.0	3.4
	男性	291	61.9	12.7	22.0	14.1	20.6	5.2	18.6	4.5	6.2
	答えたくない	7	71.4	28.6	42.9	42.9	28.6	14.3	42.9	－	－

年齢別でみると、どの世代においても「郵送回答の方が、比較的早く回答できると思ったから」の割合が高くなっていますが、80 歳以上では「Web を使うことに苦手意識があるから」の割合も高くなっています。

図表 14－４　郵送での回答理由（年齢別）

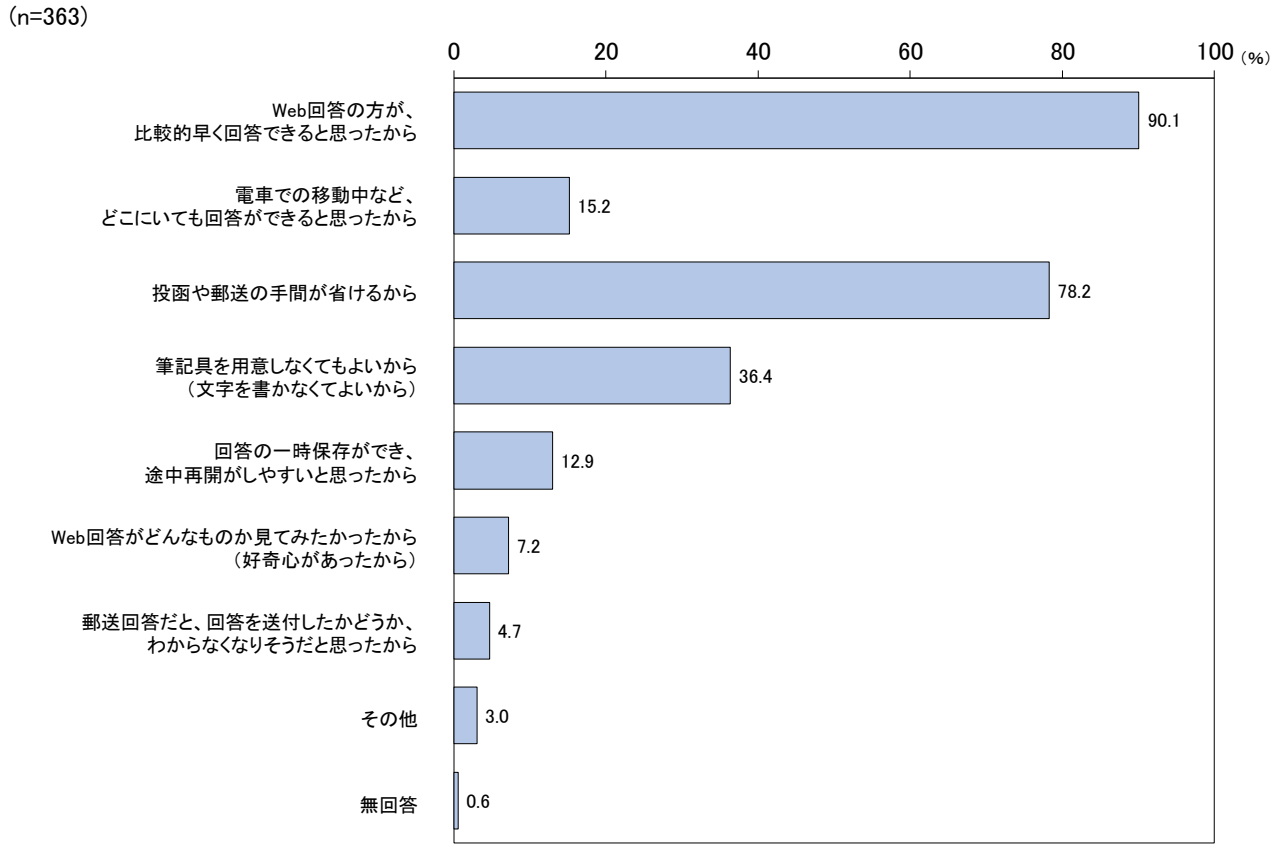
単位：％

区分		有効回答数（件）	郵送回答の方が、比較的早く回答できると思ったから	家のインターネット環境が整っていないから	Ｗｅｂを使うことに苦手意識があるから	情報漏洩など、インターネットを経由することに不信感があるから	回答状況を紙面で振り返って、回答の修正や途中再開をしやすそうだと思ったから	Ｗｅｂ回答だと、回答を送付したかどうか、わからなくなりそうだと思ったから	パスワード等の入力が面倒だと感じたから	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	43	65.1	4.7	4.7	18.6	20.9	9.3	37.2	14.0	2.3
	30 歳代	62	82.3	4.8	8.1	9.7	21.0	6.5	29.0	8.1	－
	40 歳代	80	73.8	2.5	8.8	15.0	21.3	2.5	26.3	16.3	1.3
	50 歳代	129	59.7	7.8	20.9	25.6	20.9	10.1	28.7	3.9	0.8
	60 歳代	129	62.8	10.1	38.0	17.8	19.4	5.4	24.8	8.5	1.6
	70 歳代	169	46.2	26.0	36.7	17.8	17.2	2.4	18.9	6.5	7.1
	80 歳以上	116	40.5	31.0	40.5	7.8	15.5	4.3	7.8	4.3	12.9

問 66-1　Web でご回答いただいた方にお尋ねします。Web で回答いただいた理由を教えてください。（いくつでも）

「Web 回答の方が、比較的早く回答できると思ったから」の割合が 90.1%と最も高く、次いで「投函や郵送の手間が省けるから」の割合が 78.2%、「筆記具を用意しなくてもよいから（文字を書かなくてよいから)」の割合が 36.4%となっています。

図表14－５　Webでの回答理由（単純回答）



居住地域別でみると、どの地域においても「Web 回答の方が、比較的早く回答できると思ったから」の割合が高くなっていますが、ＪＲ以南地域では「投函や郵送の手間が省けるから」の割合も最も高くなっています。

図表14－６　Webでの回答理由（居住地域別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	Ｗｅｂ回答の方が、比較的早く回答できると思ったから	電車での移動中など、どこにいても回答ができると思ったから	投函や郵送の手間が省けるから	筆記具を用意しなくてもよいから（文字を書かなくてよいから）	回答の一時保存ができ、途中再開がしやすいと思ったから	Ｗｅｂ回答がどんなものか見てみたかったから（好奇心があったから）	郵送回答だと、回答を送付したかどうか、わからなくなりそうだと思ったから	その他	無回答
居住地域別	JR以南地域	35	94.3	31.4	94.3	34.3	17.1	2.9	2.9	－	－
	片山・岸部地域	52	90.4	15.4	80.8	26.9	13.5	9.6	3.8	5.8	1.9
	豊津・江坂・南吹田地域	90	93.3	12.2	74.4	38.9	11.1	10.0	2.2	3.3	1.1
	千里山・佐井寺地域	61	93.4	16.4	75.4	39.3	16.4	4.9	3.3	1.6	－
	山田・千里丘地域	68	83.8	13.2	77.9	39.7	16.2	4.4	5.9	4.4	－
	千里NT・万博・阪大地域	57	86.0	10.5	75.4	35.1	5.3	8.8	10.5	1.8	－

性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 14－７　Web での回答理由（性別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	Ｗｅｂ回答の方が、比較的早く回答できると思ったから	電車での移動中など、どこにいても回答ができると思ったから	投函や郵送の手間が省けるから	筆記具を用意しなくてもよいから（文字を書かなくてよいから）	回答の一時保存ができ、途中再開がしやすいと思ったから	Ｗｅｂ回答がどんなものか見てみたかったから（好奇心があったから）	郵送回答だと、回答を送付したかどうか、わからなくなりそうだと思ったから	その他	無回答
性別	女性	192	88.0	15.6	82.8	33.3	14.1	8.9	5.2	3.1	－
	男性	163	92.6	13.5	74.2	39.9	11.0	4.9	2.5	3.1	1.2
	答えたくない	8	87.5	37.5	50.0	37.5	25.0	12.5	37.5	－	－

年齢別でみると、どの年代においても「Web 回答の方が、比較的早く回答できると思ったから」の割合が高くなっていますが、60 歳代では「投函や郵送の手間が省けるから」の割合も高くなっています。

図表 14－８　Web での回答理由（年齢別）

単位：％

区分		有効回答数（件）	Ｗｅｂ回答の方が、比較的早く回答できると思ったから	電車での移動中など、どこにいても回答ができると思ったから	投函や郵送の手間が省けるから	筆記具を用意しなくてもよいから（文字を書かなくてよいから）	回答の一時保存ができ、途中再開がしやすいと思ったから	Ｗｅｂ回答がどんなものか見てみたかったから（好奇心があったから）	郵送回答だと、回答を送付したかどうか、わからなくなりそうだと思ったから	その他	無回答
年齢別	30 歳未満	73	90.4	19.2	76.7	21.9	6.8	5.5	2.7	1.4	1.4
	30 歳代	73	94.5	16.4	76.7	38.4	15.1	9.6	8.2	1.4	－
	40 歳代	90	90.0	16.7	78.9	46.7	17.8	6.7	6.7	2.2	1.1
	50 歳代	82	91.5	17.1	82.9	41.5	15.9	3.7	3.7	3.7	－
	60 歳代	30	76.7	－	76.7	26.7	6.7	10.0	－	13.3	－
	70 歳代	13	84.6	－	69.2	23.1	－	15.4	－	－	－
	80 歳以上	2	100.0	－	50.0	50.0	－	50.0	－	－	－

Ⅲ　調査に対する意見・感想

今回の調査に対する意見・感想を問67として自由記述形式で求めたところ、321人から回答を得られました。それを分類の上で計上した結果が下記の表です。１人の回答者が複数の回答を記入している場合もあるため、意見・感想の総数は389件となっています。

有効回答のうち、調査項目に対する意見が67.9%となっておりますが、大半が市政モニタリング調査についての意見・感想となっております。

表　調査に対する意見・感想

			%	件数		
				大分類	中分類	小分類
全　体			100.0	389		
調査項目について			67.9	264		
	男女共同参画センターについて				1	
	市民自治について				8	
	地域経済について				9	
	住みやすさについて				5	
	シティプロモーションの取組について				0	
	こども基本法などについて				0	
	こども食堂などについて				1	
	ヤングケアラーについて				1	
	減塩を意識した食生活について				1	
	地球環境問題について				13	
	下水道について				0	
	庁舎案内について				1	
	おくやみコーナーについて				4	
	市政モニタリング調査について				220	
		良い・興味関心				42
		知らないことが多い				51
		設問への意見				60
		その他				67
その他			32.1	125	125	
		市政に対する意見・要望				57
		感謝・応援の声				36
		その他				32

小分類についてみると、市政モニタリング調査について、「設問への意見」が 60 件とその他を除いて最も多く、次いで「知らないことが多い」が 51 件となっています。

また、「市政に対する意見・要望」が 57 件、「感謝・応援の声」が 36 件あり、市政への興味関心を抱いている吹田市民が一定数いることが伺えます。

Ⅳ　調査票

令和６年度（2024 年度）

吹田市市政モニタリング調査

～アンケートご協力のお願い～

平素より市政の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、吹田市では、市内にお住まいの 18 歳以上の方々から無作為に抽出した 2,000 人を対象に、市政モニタリング調査を実施させていただくことになりました。

この調査は、快適で暮らしやすいまちづくりを促進するため、市民の皆様のご意見を伺い、それらを市政に反映することを目的として、４年に一度実施しています。

お答えいただいた内容は、調査の目的以外に使用することはございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、

９月 30 日（月）までに郵送か Web サイトからご回答ください。

この調査の結果は、まとまり次第、吹田市ホームページに掲載いたします。

なお、調査対象者の選び方や分析方法などにつきましては、別紙「Ｑ＆Ａ形式による調査の説明」をご覧ください。

令和６年（2024 年）９月

紙での回答の場合、本紙にご記入いただき、返信用封筒（切手不要）を使ってご投函ください。

インターネットでの回答の場合、以下のＱＲコードまたはＵＲＬからアクセスし、ユーザＩＤ・パスワードをご入力の上、専用の回答ページからご回答ください。

◇専用サイトへのアクセスはこちら（ＱＲコード）⟶

ＵＲＬ：https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/suitashi/monitoring/

※専用サイトへのログインの際には、次のユーザＩＤ・パスワードを入力してください。

◇ユーザ ID　　◇パスワード

※ユーザＩＤ・パスワードは、調査専用画面に入るための認証キーです。
回答者を特定するためのものではありません。

《回答ご記入上の注意》

1．宛名の方ご本人が回答をご記入ください。

2．ご記入は、黒のボールペン、濃い鉛筆、万年筆などでお願いします。

3．匿名での調査のため、調査票や返信用封筒（切手不要）に氏名・住所などの個人情報は記入しないでください。

4．回答は回答欄の番号に○印を、また、（　　）内は具体的にお書きください。

5．各質問の中には、「いくつでも○印」「主なもの２つまで○印」等、質問によって○印の数が異なりますので、それにしたがってお答えください。

6．この調査票は両面印刷になっています。記入漏れのないようにご注意ください。

7．ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的に使用することはございません。

8．答えにくい質問にはお答えいただかなくても結構です。可能な範囲内で回答していただければ幸いです。

9．回答のご記入が済みましたら、記入漏れがないかをご確認の上、
９月 30 日（月）までに同封している返信用封筒に入れ、ご投函ください。
（切手を貼る必要はありません。）

この調査票について不明な点がございましたら、次までお問合せください。

〈お問合せ先〉

吹田市　市民部　市民総務室

〒564-8550　吹田市泉町１丁目３番 40 号

直通電話 06-6384-1378

ＦＡＸ　06-6385-8300

〈調査受託会社〉

株式会社かんでん CS フォーラム

あなたやあなたのご家族についてお尋ねします。

まずは、下記の【吹田市地域一覧表】をご覧ください。

		地域名					
		ＪＲ以南地域	片山・岸部地域	豊津・江坂・南吹田地域	千里山・佐井寺地域	山田・千里丘地域	千里ニュータウン・万博・阪大地域
町名	あ	1．朝日町 2．内本町	23. 朝日が丘町	37. 泉町 38. 江坂町 1～4丁目 39. 江の木町	48. 江坂町５丁目	67. 青葉丘北 68. 青葉丘南	86. 青山台
	か	3．川岸町 4．川園町 5．寿町	24. 片山町 25. 上山手町 26. 岸部北 27. 岸部新町 28. 岸部中 29. 岸部南	40. 金田町	49. 春日	69. 樫切山	87. 上山田
	さ	6．幸町 7．昭和町 8．吹東町 9．末広町 10. 清和園町	30. 芝田町		50. 佐井寺 51. 佐井寺南が丘 52. 五月が丘北 53. 五月が丘西 54. 五月が丘東 55. 五月が丘南 56. 千里山霧が丘 57. 千里山高塚 58. 千里山竹園 59. 千里山月が丘 60. 千里山西 61. 千里山虹が丘 62. 千里山東 63. 千里山星が丘 64. 千里山松が丘	70. 清水 71. 尺谷 72. 新芦屋上 73. 新芦屋下 74. 千里丘上 75. 千里丘北 76. 千里丘下 77. 千里丘中 78. 千里丘西	88. 佐竹台 89. 千里万博公園
	た	11. 高城町 12. 高浜町	31. 天道町 32. 出口町	41. 垂水町 42. 豊津町	65. 竹谷町		90. 高野台 91. 竹見台 92. 津雲台
	な	13. 中の島町 14. 西御旅町	33. 西の庄町			79. 長野西 80. 長野東	
	は	15. 東御旅町 16. 日の出町 17. 平松町	34. 原町 35. 藤が丘町	43. 広芝町 44. 穂波町			93. 藤白台 94. 古江台
	ま	18. 南正雀 19. 南清和園町 20. 南高浜町 21. 目俵町 22. 元町		45. 南金田 46. 南吹田	66. 円山町		95. 桃山台
	や		36. 山手町	47. 芳野町		81. 山田市場 82. 山田北 83. 山田西 84. 山田東 85. 山田南	96. 山田丘

注）江坂町は１～４丁目と５丁目で地域が異なります。

問１　あなたは、現在どこにお住まいですか。１ページの一覧表を参照し、お住まいの町の番号を次の記入欄に記入してください。なお、江坂町１～４丁目と５丁目は、別の番号が割り当てられています。ご注意ください。

お住まいの町の番号	

問２　あなたの性別をお教えください。　（１つだけ○印）無回答　0.2%

１．女性　57.3%	２．男性　41.2%	３．答えたくない　1.4%

問３　あなたは、令和６年７月31日現在、何歳ですか。満年齢でご記入ください。

満　（　　）　歳

問４　あなたの主な職業は次のどれに当たりますか。　（１つだけ○印）無回答　0.7%

１．常時雇用されている一般従業者			33.8%
２．臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員			17.2%
３．派遣社員	1.4%	４．内職	0.2%
５．自営業者、自由業者	4.5%	６．家族従業者	0.3%
７．経営者、重役、役員	2.6%	８．学生	3.3%
９．専業主婦・主夫	17.5%	10．無職（学生、専業主婦・主夫を除く）	18.6%

問５　あなたの主な通勤・通学地はどこですか。自営業の方は自営地をお答えください。

（１つだけ○印）無回答　9.7%

１．大阪市　24.0%	２．吹田市　22.1%	３．豊中市　4.3%	４．箕面市　0.7%
５．池田市　0.0%	６．茨木市　2.1%	７．高槻市　0.9%	８．摂津市　1.4%
９．その他の大阪府内　3.6%		10．京都府　1.5%	11．兵庫県　2.0%
12．その他（具体的に：　　） 1.8%			
13．通勤・通学先はない　26.0%			

問６　あなたご自身とあなたの世帯全員の年間収入の合計はどれくらいですか。それぞれについてボーナスなども含めた額をお答えください。

下宿などで家計支持者と別居している方は、家計支持世帯の年間収入についてお答えください。　（それぞれ１つずつ○印）

【あなたご自身】　無回答　2.5%

１．無収入　12.3%	２．103万円未満　14.8%	３．103~250万円未満　23.8%
４．250~500万円未満　19.2%	５．500~750万円未満　12.1%	６．750~1,000万円未満　6.7%
７．1,000万円以上　5.5%	８．わからない　3.1%	

【あなたの世帯全員合計】　無回答　8.3%

１．250万円未満　14.2%	２．250~500万円未満　21.8%	３．500~750万円未満　13.8%
４．750~1,000万円未満　13.2%	５．1,000~1,500万円未満　12.8%	６．1,500万円以上　5.1%
７．わからない　10.9%		

問７　あなたが今、主として住んでいる住宅の種類は何ですか。　（1つだけ○印）無回答　0.5%

1．持ち家（一戸建て、タウンハウス）	30.5%	2．持ち家（マンション）	38.7%
3．民間賃貸（一戸建て）	0.9%	4．民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	17.9%
5．UR・公社（賃貸）	3.3%	6．府営・市営（賃貸）	5.0%
7．社宅・寮	1.9%		
8．その他（具体的に：　　）	1.5%		

問８　あなたと同居しているご家族について、当てはまるものをお答えください。

（１つだけ○印）無回答　1.1%

1．ひとり暮らし	16.5%	2．夫婦・パートナーのみ	29.9%
3．二世代（親と子）	48.1%	4．三世代（親と子と孫）	2.0%
5．その他（具体的に：　　）			2.4%

問８－１　*問８で「３」～「５」を選択された方にお聞きします。*

同居しているご家族の人数は、あなたを除いて何人ですか。　無回答　1.1%

□ 人

1人 18.0%　2人 37.0%　3人 22.7%　4人 15.6%　5人以上 6.4%

問８－２　*問８で「２」～「５」を選択された方にお聞きします。*

現在あなたと同居しているご家族の人数について、該当欄に数字をご記入ください。

（中学生については、15歳であっても中学生欄に記入願います。）

年齢	3歳未満	3歳以上就学前	小学生	中学生	15－18歳	19－24歳	25－34歳	35－44歳	45－54歳	55－64歳	65－74歳	75－84歳	85歳以上
人数	5.2%	5.1%	11.1%	6.2%	5.7%	9.7%	12.5%	13.2%	21.7%	17.5%	11.2%	12.4%	3.8%

すべての方にお聞きします。

問９　あなたは、吹田市に住んで（通算）何年になりますか。　（１つだけ○印）無回答　0.5%

１．１年未満　3.1%	２．１～５年未満　12.5%	３．５～10年未満　10.8%
４．10～20年未満 15.2%	５．20～30年未満　18.5%	６．30～40年未満　10.8%
７．40～50年未満 14.4%	８．50年以上　14.2%	

問 10　今住んでいる場所の直前には、あなたはどこに住んでいましたか。

（１つだけ○印）無回答　0.4%

１．生まれてからずっと同じところに住んでいる			4.2%
２．吹田市内の別のところに住んでいた			27.4%
３．近隣の市（豊中市、箕面市、池田市、茨木市、高槻市、摂津市）			19.7%
４．大阪市	15.2%	５．その他の大阪府内	7.2%
６．京都府内	1.9%	７．兵庫県内	7.4%
８．その他（都道府県名等を具体的にお書きください）			
（　　）			16.6%

問 11　あなたは、現在お住まいのところにこれからも住み続けたいと思いますか。

（１つだけ○印）無回答　0.4%

１．今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている	62.1%
２．できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う	13.7%
３．できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う	9.5%
４．よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている	3.1%
５．わからない	11.3%

問 12　生まれた場所に関係なく、あなたは吹田市を「私のふるさと」と思っていますか。

（１つだけ○印）無回答　0.2%

１．いつも思っている　32.1%	２．ときどき思う　26.1%
３．あまり思わない　30.1%	４．まったく思わない　11.4%

1 男女共同参画センターについて

吹田市立男女共同参画センター（以下「センター」という。）では、男女が共に性別にかかわりなく個性と能力を十分に発揮し、家庭責任を果たしつつ、職場や地域などあらゆる分野の活動に参画する社会を目指して、講座の開催や啓発活動などを行っています。

問 13　あなたは、センターの存在を知っていますか。（１つだけ○印）無回答　0.5%

１．知っている	32.2%	
２.知らない　【→問 14 へ】	67.3%	

▶問 13-１　*問 13 で「1.知っている」を選択された方にお聞きします。*

あなたは、センターを利用したことがありますか。　（１つだけ○印）無回答　0.8%

１．利用したことがある	18.3%
２．一度も利用したことがない　【→問 13-4 へ】	80.8%

▶問 13-２　*問 13-１で「1.利用したことがある」を選択された方にお聞きします。*

あなたは、どのような目的で利用されましたか。（いくつでも○印）無回答　6.2%

１．講座の受講	61.5%
２．相談	9.2%
３．情報ライブラリー	15.4%
４．貸室の使用	24.6%
５．その他：（具体的に　　）	6.2%

▶問 13-３　*問 13-１で「1.利用したことがある」を選択された方にお聞きします。*

（１）利用した際の、満足度を教えてください。　（１つだけ○印）

１．満足	26.2%
２．どちらかというと満足	46.2%
３．どちらでもない	23.1%
４．どちらかというと不満	4.6%
５．不満	0.0%

（２）その理由は何ですか。　（いくつでも○印）無回答　3.1%

１．講座の内容	52.3%	２．相談の対応	10.8%
３．ライブラリーの使いやすさ	7.7%	４．貸室の設備や備品等	24.6%
５．立地の利便性	30.8%	６．手続き方法	0.0%
７．その他（具体的に：　　）			4.6%

問 13-4　*問 13-1 で「2. 一度も利用したことがない」を選択された方にお聞きします。*

利用したことがないのは、なぜですか。　（いくつでも○印）無回答　1.0%

1．時間がない	18.5%	2．遠い	9.1%
3．場所を知らない	20.9%	4．どんな施設か知らない	34.8%
5．必要がない	48.8%		
6．その他（具体的に：　　）	4.9%		

すべての方にお聞きします。

問 14　センターが現在行っている次の取組のうち、センターの役割として大切だと思う活動はどれですか。　（いくつでも○印）無回答　2.5%

1．男女共同参画に関する講座等の開催	30.3%
2．悩みを抱える％への相談の実施	52.5%
3．男女共同参画に関する書籍等の資料提供	13.7%
4．センター独自の調査・研究による情報提供	15.3%
5．貸室の運営（会議、研修会等向け）	14.1%
6．貸室の運営（コーラス、ヨガ、画絵、手芸等向け）	17.2%
7．貸室の運営（調理室）	9.8%
8．貸室の運営（木工、生活に役立つ実験向け）	10.2%
9．その他（具体的に：　　）	1.4%
10．わからない	33.8%

問 15　今後、センターでは、どんな取組に注力すべきだと思いますか。

（いくつでも○印）無回答　2.4%

1．男女共同参画に関わる研究についてのわかりやすい情報提供	25.7%
2．男女共同参画について、市民が意見交換ができる機会の提供	18.2%
3．男女共同参画に取り組む市内団体とのさらなる連携	14.2%
4．悩みを持つ％が思いを吐き出せる相談等の強化	41.7%
5．生きづらさを抱える％が、つながることのできる場の提供	41.8%
6．その他（具体的に：　　）	2.4%
7．わからない	22.6%
8．特にない	11.4%

2 市民自治について

問 16　吹田市では、市民との協働を進めています。「協働」とは、市民及び市が、共通の目的を実現するため、それぞれの役割と責任を自覚しながら、お互いの立場を尊重し、協力することをいいます。この「協働」という言葉について、あなたはご存知でしたか。（１つだけ○印）無回答　1.3%

1.「協働」という言葉の内容を知っている	17.4%
2.「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている	26.0%
3.「協働」という言葉を知らない	55.4%

問 17　吹田市は平成 19 年 1 月に「協働」の理念などを定めた吹田市自治基本条例を施行しました。この条例についてご存知ですか。（１つだけ○印）無回答　1.4%

1. 条例の内容を知っている	1.5%
2. 条例の内容までは知らないが、名前は知っている	13.3%
3. 条例の内容も名前も知らない	83.8%

問 18　多くの審議会では委員を市民から公募していますが、市民からの応募が少ないのが現状です。それはどういう理由からだと思いますか。（2つまで○印）無回答　4.1%

1. 公募していることを知らないから	57.4%	2. 何をするところかがわからないから	38.1%
3. 参加できる時間帯ではないから	6.6%	4. 仕事などで参加する余裕がないから	31.1%
5. 興味がないから	22.0%		
6. その他（具体的に：　　）	2.5%		

問 19　あなたは、自治会に加入していますか。
※以下、「自治会」には町内会も含みます。
※市民体育祭や地域の防災訓練に参加しているような自治会活動を行っている管理組合を含みます。　（１つだけ○印）無回答　1.0%

1．加入している	49.3%
2．加入していない　【→問 19-３へ】	40.7%
3．わからない　【→問 20 へ】	9.1%

問 19-１　*問 19 で「1．加入している」を選択された方にお聞きします。*

あなたは、自治会の活動に満足していますか。　（１つだけ○印）無回答　0.9%

1．満足している　【→問 20 へ】	15.3%
2．どちらかといえば満足している　【→問 20 へ】	45.9%
3．どちらかといえば不満である	8.3%
4．不満である	3.9%
5．わからない・なんとも言えない　【→問 20 へ】	25.8%

問 19-２　*問 19-１で「3．どちらかといえば不満である」、「4．不満である」を選択された方にお聞きします。*

差し支えなければ、その理由をご記入ください。　（自由記述）

問 19-３　*問 19 で「2．加入していない」を選択された方にお聞きします。*

自治会に加入していない理由は何ですか。　（いくつでも○印）無回答　2.7%

1．近所付合いをしたくない	11.6%
2．自治会費などが高い	7.1%
3．役員を引き受けたくない	25.0%
4．加入の仕方がわからない（きっかけがない）	23.9%
5．加入するメリットがない	28.1%
6．仕事が忙しく会議や行事などに参加できない	30.4%
7．自分の住んでいる地域には自治会そのものがない	18.8%
8．その他（具体的に：　）	17.4%

すべての方にお聞きします。

問 20　あなたは、自治会の必要性を感じていますか。（１つだけ○印）無回答　2.1%

1．必要である	20.1%	2．どちらかといえば必要である	37.5%
3．どちらかといえば必要ではない	12.4%	4．必要ではない	8.6%
5．わからない	19.2%		

問 20-1　*問 20 で「1．必要である」「2．どちらかといえば必要である」を選択された方にお聞きします。*

あなたは、自治会の必要性をどのようなところに感じていますか。最も大切だと思うものを教えてください。（１つだけ○印）無回答　8.5%

1．住民同士の親睦の場を提供してくれるから	14.0%
2．住民同士の助け合いを促進してくれるから	18.7%
3．近隣トラブルの解決を図ってくれるから	3.6%
4．地域清掃など良好な生活環境の維持に貢献しているから	13.1%
5．地域の防災機能を担っているから	16.7%
6．地域の防犯機能を担っているから	4.1%
7．都市景観・まちなみなど地域の景観を良好に維持するための機能を担っているから	2.2%
8．地域課題を解決するための話し合いの場となるから	8.7%
9．地域情報が入手できるから	7.6%
10．その他（具体的に：　　）	1.1%
11．特にない	1.7%

すべての方にお聞きします。

問 21　過去１年間に地域の行事や活動へ参加したことがありますか。

（１つだけ○印）無回答　2.5%

1．ある	32.5 %
2．ない　【→問 21-2 へ】	65.1%

問 21-1　*問 21 で「1．ある」を選択された方にお聞きします。*

どのような行事や活動へ参加しましたか。（いくつでも○印）無回答　0.8%

1．自治会などの活動	44.1%
2．PTA 活動、子供会などの青少年育成に関する活動	15.1%
3．料理、英会話、書道などの学習に関する活動	2.5%
4．スポーツに関する活動	10.6%
5．音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	6.1%
6．高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	3.1%
7．清掃、美化などのボランティア活動	19.6%
8．祭りや体育祭などのイベント・行事	50.6%
9．地域づくり・まちづくりなどの活動	4.5%
10．防災訓練などの自主的な防災活動	31.6%
11．消防団活動	2.2%
12．その他（具体的に：　　）	2.8%

問 21-2　*問 21 で「2．ない」を選択された方にお聞きします。*

参加したことがない主な理由を教えてください。　（１つだけ○印）無回答　3.1%

1．関心はあるが、参加の仕方がわからない	6.0%	2．一緒に活動する仲間がいない	6.4%
3．健康上の都合が悪い	7.9%	4．時間帯が合わない	17.9%
5．特に関心がない	49.0%		
6．その他（具体的に：　　）	9.8%		

問 21-3　*問 21-2 で「1」～「4」を選択された方にお聞きします。*

参加できる状況になったときに、どのような行事や活動へ参加したいと思いますか。　（いくつでも○印）無回答　8.8%

1．自治会などの活動	10.9%
2．PTA 活動、子供会などの青少年育成に関する活動	6.2%
3．料理、英会話、書道などの学習に関する活動	20.1%
4．スポーツに関する活動	22.3%
5．音楽、演劇などの芸術文化に関する活動	21.5%
6．高齢者や障がい者の介護、身の回りの世話、保育などの社会福祉に関する活動	11.3%
7．清掃、美化などのボランティア活動	23.7%
8．祭りや体育祭などのイベント・行事	17.2%
9．地域づくり・まちづくりなどの活動	16.4%
10．防災訓練などの自主的な防災活動	22.3%
11．消防団活動	3.6%
12．その他（具体的に：　　）	1.5%

すべての方にお聞きします。

問 22　あなたは、吹田市市民公益活動センター（愛称ラコルタ）をご存知ですか。

（１つだけ○印）無回答　0.9%

1．知っている　6.4%	2．聞いたことはある　10.3%	3．知らない【→問 23へ】　82.5%

問 22-1　*問 22 で「1．知っている」「2．聞いたことはある」を選択された方にお聞きします。*

吹田市市民公益活動センター（愛称ラコルタ）を利用したことがありますか。

（１つだけ○印）無回答　4.9%

1．利用したことがある　19.1%	2．一度も利用したことがない　【→問 22-3へ】　76.0%

問 22-2　*問 22-1 で「1．利用したことがある」を選択された方にお聞きします。*

どのような内容で利用しましたか。　（いくつでも○印）無回答　0.0%

1．ボランティア活動など市民公益活動をするための情報収集	8.6%
2．ボランティアをするための団体の紹介を受けた	0.0%
3．会議室・交流スペース・ロッカー・事務ブース等の施設利用	57.1%
4．講座・イベントに参加	65.7%
5．所属団体の活動についての相談・支援（資金調達・活動の進め方・世代交代等）	0.0%
6．その他（具体的に：　　）	5.7%

問 22-3　*問 22-1 で「2．一度も利用したことがない」を選択された方にお聞きします。*

一度も利用したことがない理由を教えてください。　（いくつでも○印）無回答　3.6%

1．遠くて利用しづらい	24.5%
2．ボランティア活動などの市民公益活動をしていないので、利用する必要がない	37.4%
3．利用する時間がない	34.5%
4．その他（具体的に：　　）	14.4%

問 23　*すべての方にお聞きします。*

あなたがボランティア活動などの市民公益活動をする上で、受けたい支援として当てはまるもの全てに○をつけてください。（いくつでも○印）無回答　4.0%

1．ボランティアを募集している団体等の紹介	22.1%
2．所属団体の広報の支援	4.6%
3．所属団体の活動についての相談（資金獲得、活動の進め方、世代交代等）	5.1%
4．団体同士のマッチング	2.6%
5．LINE等のICT活用方法の研修等、活動に必要な研修の受講	4.6%
6．市民公益活動はしているが、受けたい支援はない	1.1%
7．市民公益活動をしないので、受けたい支援はない	21.1%
8．その他（具体的に：　　）	1.3%
9．わからない	46.4%

問 24　あなたは、次の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市民自治を進めるに当たってどの程度重要だと思いますか。

（「満足度」と「重要度」からそれぞれ１つずつ○印）

	満足度						重要度					
	満足している	どちらかといえば満足している	普通	どちらかといえば不満である	不満である	無回答	重要である	どちらかといえば重要である	今の程度で良い	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答
①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働	1.3%	8.2%	67.9%	9.7%	3.0%	10.0%	19.1%	27.9%	36.3%	2.9%	1.6%	12.2%
②市からの情報提供・公表	2.9%	15.8%	60.5%	8.9%	3.0%	8.9%	27.5%	24.5%	33.6%	1.7%	1.2%	11.5%
③市民参画の推進	1.1%	5.1%	71.2%	8.4%	3.2%	11.0%	12.2%	24.9%	44.6%	3.4%	1.7%	13.3%

3 地域経済について

問 25　あなたはＪＲ吹田駅前の旭通商店街内に平面駐車場があることをご存知ですか。　（１つだけ○印）無回答　1.3%

１．知っている　20.0%	２．聞いたことはある　2.6%	３．知らない　76.1%

問 25-１ *問 25 で「１．知っている」「２．聞いたことはある」を選択された方にお聞きします。*

あなたはＪＲ吹田駅前の旭通商店街内にある平面駐車場にコミュニティ施設であるステンショ Suita があることをご存知ですか。　（１つだけ○印）無回答　2.4%

１．知っている　22.9%	２．聞いたことはある　10.0%	３．知らない　64.7%

問 25-２　*問 25 で「１．知っている」「２．聞いたことはある」を選択された方にお聞きします。*

あなたはＪＲ吹田駅前の旭通商店街内にある平面駐車場内で行われている下記の取組をご存知ですか。　（それぞれ１つずつ○印）

	知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
①【常設】さくらカフェ（カフェ・食材の無料配布・こども食堂等）	26.1%	9.6%	43.8%	20.5%
②【常設】レンタルスペース	10.0%	8.4%	59.8%	21.7%
③さくらフェスタ	7.2%	12.0%	59.0%	21.7%
④あさひビアガーデン	6.4%	8.0%	63.5%	22.1%

すべての方にお聞きします。

問 26　あなたはＪＲ吹田駅前の旭通商店街内にある平面駐車場の場所にどのような施設があると良いと思いますか。　（いくつでも○印）無回答　2.5%

１．コミュニティ施設	14.3%
２．商業施設	21.1%
３．駐車場のままでよいと思う	26.2%
４．その他（具体的に：　）	2.7%
５．わからない	43.9%

問 27　あなたは、市が運営している就労支援施設「ＪＯＢナビすいた」をご存知ですか。　（１つだけ○印）無回答　1.6%

１．知っている　5.8%	２．聞いたことはある　14.9%	３．知らない　77.7%

問 28　あなたは、仕事（正規職員・パート・アルバイトなど）を探すときに、どのような施設や媒体を利用しますか。　（それぞれ１つずつ○印）

	よく使う	使う	たまに使う	使わない	無回答
①ＪＯＢナビすいた	0.1%	0.5%	1.3%	80.9%	17.2%
②ハローワーク	3.4%	10.6%	10.8%	60.0%	15.2%
③就職・転職サイト・アプリ	16.4%	17.0%	11.2%	39.6%	15.9%
④求人広告・情報誌	4.7%	12.4%	16.2%	51.0%	15.7%
⑤友人・知人からの紹介	4.0%	10.8%	13.5%	54.7%	17.0%
⑥就職･転職フェア等のイベント	1.6%	4.1%	5.8%	71.2%	17.2%

問 28-１　*問 28①で「よく使う」「使う」「たまに使う」を選択された方にお聞きします。*

「ＪＯＢナビすいた」を利用した際の満足度を教えてください。

（１つだけ○印）無回答　0.0%

１．満足	【→問 29 へ】	9.5%
２．やや満足	【→問 29 へ】	33.3%
３．どちらとも言えない	【→問 29 へ】	52.4%
４．やや不満		4.8%
５．不満		0.0%

問 28-２　*問 28-1 で「４．やや不満」「５．不満」を選択された方にお聞きします。*

その理由を記入してください。　（自由記述）

すべての方にお聞きします。

問 29　あなたは、就職活動（正規職員・パート・アルバイトなど）において、どのようなサポートを受けたいですか。　（いくつでも○印）無回答　15.8%

1．キャリアコンサルタントによる就職相談	26.2%
2．職業適性検査	25.4%
3．セミナー（模擬面接、マナー、コミュニケーション、パソコン）	21.1%
4．応募書類の作成（Word など）	14.6%
5．求人票の閲覧	31.4%
6．求人の紹介	36.9%
7．就職後のアフターフォロー	14.6%
8．資格取得	29.7%
9．その他（具体的に：　）	8.3%

問 30　あなたは創業について関心がありますか。　（１つだけ○印）無回答　6.6%

1．すでに創業している	2.5%	2．創業に向けて動き始めている	0.3%
3．いずれ創業したいと考えているが、まだ何も始めていない			3.4%
4．少し関心がある	20.1%	5．関心がない	67.2%

問 31　市内での創業をお考えの方向けの各種支援制度について、当てはまるものをそれぞれ１つずつお選びください。　（それぞれ１つずつ○印）

		利用したことがある	利用したことはないが、知っている	名前を聞いたことがある	知らない	無回答
相談先	(1)すいた経営革新支援センター「SaBiC（サビック）」	0.0%	0.3%	1.2%	84.2%	14.3%
	(2)起業ライダーマモル	0.0%	0.0%	0.5%	84.8%	14.8%
育成の場	(3)創業塾	0.1%	0.5%	1.7%	82.7%	15.1%
	(4)女性創業塾	0.1%	0.4%	1.5%	82.8%	15.2%
	(5)チャレンジショップ「ゆめちか」	0.5%	1.4%	2.2%	81.0%	14.9%
交流の場	(6)吹田市起業家交流会	0.1%	0.5%	2.8%	81.8%	14.9%
補助制度	(7)創業支援型事業所賃借料補助金	0.0%	0.2%	1.5%	82.8%	15.6%
	(8)開業サポート資金融資等に係る利子補給金	0.0%	0.2%	1.3%	83.1%	15.4%
融資制度	(9)開業スタートアップ応援資金（大阪府制度）	0.1%	0.8%	3.5%	80.1%	15.4%
	(10)新規開業資金（日本政策金融公庫制度）	0.6%	2.4%	3.9%	77.9%	15.2%

4 住みやすさについて

問 32　吹田市に暮らしていて、良いと思うところを聞かせてください。（3つまで○印）　無回答　5.5%

1．交通の利便性	67.6%	2．買い物の利便性	40.9%
3．子育て・教育環境	18.6%	4．地域活動や行事の活気やにぎわい	1.4%
5．景観や街並み	18.2%	6．公園・緑地の充実	32.7%
7．病院などの医療施設の充実	34.9%	8．高齢者支援など福祉環境の充実	3.8%
9．安全性（防災・防犯）の高さ	21.3%	10．魅力的な商店がある	0.9%
11．温かみがある人や意欲的な人など魅力的な人が多い			3.3%
12．その他（具体的に：　　）			2.9%

5 シティプロモーションの取組について

問 33　本市では、市民の市（まち）への愛着や誇りを醸成するために、市の魅力発信や魅力づくりといったシティプロモーション活動を実施しています。
あなた自身は吹田市のことを友人や知人に「よいまちだ」とおすすめしたいと思いますか。　（10 段階評価、１つだけ○印）無回答　3.3%

全く思わない										とてもそう思う
1.2%	0.9%	0.8%	1.9%	1.9%	14.2%	7.8%	18.8%	25.0%	9.1%	15.1%

問 34　あなたは、吹田市のことを友人や知人等におすすめしたことはありますか。
（１つだけ○印）無回答　3.5%

1．ある　41.9%	2．ない【→問 35 へ】　54.5%

問 34-1　*問 34 で「1．ある」を選択された方にお聞きします。*

（1）どのような手段を使っておすすめしましたか。　（いくつでも○印）無回答　1.5%

1．会話の中で（口コミ）	98.1%
2．SNS（Facebook・Instagram・X・TikTok・LINE など）	3.0%
3．ブログ	0.0%
4．その他（具体的に：　　）	0.4%

（2）何をおすすめしましたか。　（いくつでも○印）無回答　1.1%

1．交通の利便性	69.5%	2．買い物の利便性	34.6%
3．子育て・教育環境	38.3%	4．地域活動や行事の活気やにぎわい	4.8%
5．景観や街並み	29.7%	6．公園・緑地の充実	37.2%
7．病院などの医療施設の充実	37.0%	8．高齢者支援など福祉環境の充実	5.4%
9．安全性（防災・防犯）の高さ	30.5%	10．魅力的な商店がある	2.6%
11．その他（具体的に：　　）			5.8%

すべての方にお聞きします。

問 35　あなたは、清掃、見守り活動やイベントなど地域を良くしよう・盛り上げようとするための取組や活動に参加したいと思いますか。

（10 段階評価、１つだけ○印）無回答　3.9%

12.2%	4.7%	8.2%	8.8%	5.4%	28.0%	9.7%	8.3%	6.5%	1.3%	3.0%

全く思わない　　とてもそう思う

問 36　あなたは、清掃、見守り活動やイベントなど地域を良くしよう・盛り上げようとする取組等に実際に参加しなくとも、それらに対して、感謝の気持ちを表現・発信したり、できる範囲で応援したりしたいと思いますか。

10 段階評価、１つだけ○印）無回答　4.6%

2.5%	1.3%	2.2%	3.2%	2.6%	19.3%	8.9%	11.1%	17.4%	6.7%	20.2%

全く思わない　　とてもそう思う

問 37　あなたは、地域を良くしよう、盛り上げようという活動を行っている方へ感謝の気持ちを表現・発信したことがありますか。　（いくつでも○印）無回答　34.6%

1．活動をしている方に直接感謝の気持ちを伝えたことがある	34.2%
2．活動を行っている方の活動内容に関する SNS に「いいね」ボタンを押したり、好意的なコメントを投稿したりしたことがある	10.7%
3．活動内容などを自身の SNS 等で好意的に紹介したことがある	1.7%
4．その他（具体的に：　　）	21.5%

6　こども基本法などについて

問 38　こども基本法について知っていますか。　（１つだけ○印）無回答　2.9%

1．くわしく知っている	0.4%	2．知っている	9.4%
3．聞いたことはある	29.2%	4．知らない	58.1%

問 39　子どもの権利条約について知っていますか。　（１つだけ○印）無回答　2.8%

1．くわしく知っている	1.1%	2．知っている	13.2%
3．聞いたことはある	28.1%	4．知らない	54.8%

7 こども食堂などについて

問40　こども食堂について知っていますか。　（１つだけ○印）無回答　2.5%

1．知っている	49.6%	2．聞いたことはある	37.2%
3．知らない	10.7%		

問41　こども食堂はどういうところだと思いますか。（いくつでも○印）無回答　3.5%

1．誰でも行けるところ	36.9%
2．生活に困っている子供が行くところ	60.4%
3．皆で一緒に食事ができるところ	35.4%
4．食事だけでなく、遊びや勉強もできるところ	40.7%
5．地域の%と交流できるところ	29.9%
6．その他（具体的に：　　）	1.3%

問42　こども食堂などの子供の居場所や、地域等での子供が参加できる行事のために、今後協力したいと思いますか。　（１つだけ○印）無回答　8.6%

1．ボランティアとして、運営に協力したい	11.2%
2．直接協力はできないが、募金や食材等の寄附をしていきたい	47.5%
3．協力したいと思わない	23.2%
4．その他（具体的に：　　）	9.4%

8 ヤングケアラーについて

問43　ヤングケアラーは「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」のことをいいます。（こども家庭庁ホームページより）「ヤングケアラー」という言葉を知っていましたか。（1つだけ○印）無回答　2.0%

1．聞いたことがあり、意味も概ね知っている	72.2%
2．聞いたことがあるが、意味は知らない	9.6%
3．聞いたことはない、知らない	16.2%

問44　「ヤングケアラー」について市に相談窓口（家庭児童相談室、青少年室、教育センター）があるのを知っていますか。　（１つだけ○印）無回答　2.2%

1．知っている	22.3%
2．知らない	75.5%

問 45　今あなたの周囲に、お手伝いで子供の責任や範ちゅうを超えるようなことをしていると思う方はいますか。　（１つだけ○印）無回答　3.4%

1．いる	1.8%
2．意識はしなかったが、いる	2.5%
3．いない	92.3%

問 45-1　*問 45 で「1．いる」「2．意識はしなかったが、いる」を選択された方にお聞きします。*

子供の年代はどの区分と思われますか。　（いくつでも○印）無回答　12.5%

1．高校生以上	37.5%
2．中学生	35.4%
3．小学生以下	35.4%

すべての方にお聞きします。

問 46　ヤングケアラーと思われる子供を発見したとき、どのように行動されますか。

（いくつでも○印）無回答　4.6%

1．行政等（市や府、民生児童委員等）に相談	38.8%
2．直接子供やその家族に聞いてみる	14.4%
3．特に何もしない、どうしたらいいかわからない	47.5%
4．その他（具体的に：　　）	3.2%

9　減塩を意識した食生活について

問 47　あなたは、減塩を意識した食生活を行ったことがありますか。（1つだけ○印）　無回答　2.1%

1．行ったことがある	47.8%
2．行ったことはないが、今後実践してみたい　【→問 48 へ】	31.7%
3．行ったことはなく、今後も実践したくはない【→問 48 へ】	18.4%

問 47-1　*問 47 で「1．行ったことがある」を選択された方にお聞きします。*

（1）減塩を意識した食生活を始めたきっかけはなんですか。

（いくつでも○印）無回答　0.9%

1．テレビ番組	35.5%	2．Web サイト	10.6%	3．SNS	7.2%
4．ラジオ番組	1.3%	5．本、雑誌、新聞	15.2%	6．健康診断の結果	42.7%
7．血圧測定の結果	36.4%	8．病院のすすめ	23.5%		
9．家族のすすめ	18.0%	10．知人・友人のすすめ	3.6%		
11．その他（具体的に：　　）	6.8%				

（2）減塩を意識した食生活を行った理由はなんですか。
（いくつでも○印）無回答　1.1%

1．血圧の改善	45.2%	2．生活習慣病の予防	49.9%
3．ダイエット	10.8%	4．美容	4.9%
5．病気の治療	11.2%	6．新型コロナウイルスの影響から	0.0%
7．家族のために	20.1%	8．健康のために	59.0%
9．その他（具体的に：　　）			1.3%

（3）下記のような減塩を意識した食生活をしたことがありますか。
（いくつでも○印）無回答　1.1%

1．塩をとり過ぎないようにする	83.1%
2．だしを使った料理をする	32.1%
3．調味料を少なめにあるいは計って使用する	29.6%
4．野菜の多い食事をする	62.2%
5．減塩食品を利用する	44.0%
6．食品を購入するときに、塩分を確認し商品を選ぶ	22.8%
7．干物、スナックやおつまみなどの塩分に気をつける	25.2%
8．味の濃い加工食品、塩鮭、練り製品、肉の加工品（ハム、ソーセージなど）を使い過ぎないようにする	40.2%
9．減塩メニューを自分で調理するまたは調理してもらう	19.7%
10．麺類やスープ類の汁はできるだけ残す	51.4%
11．外食は塩分量に注意する	12.0%
12．彩や飾り切り、盛り付けなどを工夫した料理をする	6.8%
13．酸味や香辛料、ナッツなどを使って少ない塩分でも美味しくなる料理をする	15.2%
14．その他（具体的に：　　）	1.9%

すべての方にお聞きします。

問 48　あなたは、減塩に限らず「食育」に関心がありますか。　（1つだけ○印）無回答　1.3%

1．関心がある	31.2%	2．どちらかといえば関心がある	47.0%
3．どちらかといえば関心がない	9.2%	4．関心がない	6.3%
5．わからない	5.1%		

10 地球環境問題について

問49　あなたは、地球温暖化についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。

（１つだけ○印）無回答　1.8%

1．知っており、重要な問題だと思う	86.6%	2．知っているが、重要な問題だと思わない	6.2%
3．あまりよく知らない	4.9%	4．全く知らない	0.5%

問 50　現在所有されている車のうち、主に利用している車の種類を教えてください。

（１つだけ○印）無回答　3.8%

1．ガソリン・ディーゼル車	39.7%	2．ハイブリッド車	17.1%
3．プラグインハイブリッド車	0.5%	4．電気自動車	0.5%
5．燃料電池車	0.1%	6．所有していない	38.4%

問 50-1　*問 50 で「1」～「5」を選択された方にお聞きします。*

乗り換えの時期が来た場合に、乗り換えたい車の種類を教えてください。

（１つだけ○印）無回答　2.8%

1．ガソリン・ディーゼル車	23.7%	2．ハイブリッド車	44.4%
3．プラグインハイブリッド車	4.2%	4．電気自動車	9.3%
5．燃料電池車	1.4%	6．新たに車を購入せず、車の所有をやめる予定	14.1%

すべての方にお聞きします。

問 51　あなたは、居住地周辺の夏場の暑さ（涼しさ）について、どの程度満足していますか。

（１つだけ○印）無回答　2.5%

1．満足	2.1%	2．やや満足	7.5%
3．どちらともいえない	26.8%	4．やや不満	22.7%
5．不満	38.4%		

問 52　熱中症の危険度を把握するために、どのような情報を参考にしていますか。

（いくつでも○印）無回答　1.7%

1．気温	82.4%	2．湿度	47.2%
3．暑さ指数 WBGT	15.8%		
4．ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）			71.3%
5．その他（具体的に：　　）			1.9%
6．何も参考にしていない			2.4%

問 53　あなたは、生物多様性についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。

（１つだけ○印）無回答　2.5%

1．知っており、重要な問題だと思う	36.7%	2．知っているが、重要な問題だと思わない	5.2%
3．あまりよく知らない	41.2%	4．全く知らない	14.4%

問54　生物多様性に配慮した行動として、どのようなことであれば実践できると思いますか。　（主なもの２つまで○印）無回答　7.2%

1．身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	16.9%
2．エコツアー（自然体験）に参加する	5.5%
3．生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	4.2%
4．生き物を最後まで責任をもって育てる	46.9%
5．気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	23.9%
6．地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	18.0%
7．特に何も行わない	18.7%

問 55　あなたは、地域の美化や緑化、環境イベントなどのボランティア活動に参加したことがありますか。　（１つだけ○印）無回答　3.5%

1．ある　18.1%	2．ない　73.0%	3．わからない　5.4%

問 56　吹田市が行っている、ごみ減量に向けた主な取組のうち、あなたが知っている取組はありますか。　（いくつでも○印）無回答　7.9%

1．ペットボトルの拠点回収	79.6%
2．廃食用油の拠点回収	21.3%
3．再生資源の集団回収	56.8%
4．市民向けの環境施設等の見学会	5.5%
5．コンタクトレンズ空ケースの拠点回収	7.6%
6．マイボトル用給水機の設置	14.6%
7．フードドライブ	7.9%
8．市民向けのごみ減量のための講習会	1.0%
9．おいくら・ジモティーを活用したリユース推進	5.8%
10．LINE によるごみ分別方法の通知等	8.2%
11．その他（具体的に：　）	2.7%

問 57　吹田市が行っている、ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどのごみ減量の取組についてお伺いします。

（1）取組への満足度を教えてください。　（１つだけ○印）無回答　2.7%

1．満足している　14.1%	2．どちらかといえば満足している　27.9%	
3．普通　50.6%	4．どちらかといえば不満である　3.4%	5．不満である　1.3%

（2）取組が重要だと思う程度を教えてください。　（１つだけ○印）無回答　3.2%

1．重要である　45.7%	2．どちらかと言えば重要である　28.9%	
3．今の程度で良い　21.5%	4．どちらかといえば重要ではない　0.2%	5．重要ではない　0.5%

問 58　今後、吹田市が注力すべきと考える分野（ごみ減量につながる）について、お選びください。

（３つまで○印）無回答　6.7%

1．プラスチックごみの分別収集	45.8%
2．リユース・リサイクル企業等との協業	39.9%
3．食品ロス削減につながる事業	55.6%
4．市民向けの講座や施設見学会	6.8%
5．使い捨てプラスチック削減につながる事業	32.4%
6．海洋プラスチック対策	13.7%
7．その他（具体的に：　　）	2.6 %

11　下水道について

問 59 あなたが知っている下水道の「役割」について、教えてください。

（いくつでも○印）無回答　2.3%

1．生活環境を守る（汚れた水を排除）	89.6%
2．浸水から街を守る（雨水を速やかに排除）	57.0%
3．水環境を守る（汚れた水をきれいにして川に戻す）	66.7%
4．資源になる（下水道汚泥などを燃料や肥料として再利用）	20.1%
5．その他（具体的に：　　）	0.9%

問 60　あなたが知っている吹田市下水道部が行っている事業はありますか。

（いくつでも○印）無回答　25.3%

1．老朽化対策	46.0%
2．地震対策	20.1%
3．浸水対策（雨水レベルアップ整備事業など）	29.5%
4．資源化（肥料の原材料として）	6.3%
5．その他（具体的に：　　）	10.8%

問 61　あなたが知っている（見たことがある）吹田市下水道部の広報活動を教えてください。

（いくつでも○印）無回答　25.0%

1．デザインマンホール蓋設置（鉄道柄など）	56.4%
2．下水道の日（9/10）パネル展（市役所本庁ロビー）	4.5%
3．マンホールカードの配布（インフォレストすいた）	7.6%
4．下水道に関する動画の配信（YouTube など）	2.5%
5．水再生センター施設見学会	12.0%
6．その他（具体的に：　　）	10.2%

問 62　あなたが知っている下水道に関することを教えてください。　（いくつでも○印）無回答　11.7%

1．下水道管は高低差を利用して水を流している	22.9%
2．生活で使った水（汚水）は下水道管で下水処理場（水再生センター）に流れている	63.3%
3．下水処理場（水再生センター）では微生物が汚れた水をキレイにしている	39.9%
4．下水道には汚水と雨水を別々に流す分流式と一緒に流す合流式がある	16.3%
5．下水道使用料は水道料金と一緒に支払っている	51.9%
6．浸水発生の原因には、下水道の能力を越えた「内水」と河川の能力を越えた「外水」がある	14.4%
7．その他（具体的に：　　）	3.1%

12　庁舎案内について

問 63　あなたは駅や公共施設等に設置されている、案内用のディスプレイやロボットを利用して、行き先等を調べたことがありますか。　（1つだけ○印）無回答　1.5%

1．ある　16.4%	2．ない　82.0%

問 63-1　*問 63 で「1．ある」を選択された方にお聞きします。*

どこで利用しましたか。　（いくつでも○印）無回答　1.7%

1．駅　63.5%	2．公共施設　43.6%	3．ショッピングモール　64.6%	4．イベント会場　8.3%
5．その他（具体的に：　　） 1.1%			

すべての方にお聞きします。

問 64　今後、市役所内で案内用のデジタル端末が設置された場合、利用したいと思いますか。　（1つだけ○印）無回答　2.9%

1．利用したい　42.5%	2．利用したくない　7.5%	3．わからない　47.1%

13　おくやみコーナーについて

おくやみコーナーとは、ご家族がお亡くなりになられた際に、市役所で行う手続きを一括で行う専用の窓口です。

問 65　あなたは、おくやみコーナーができたら、利用したいと思いますか。

（1つだけ○印）無回答　1.5%

1．利用したい　59.7%	2．利用したくない　4.5%	3．わからない　34.2%

14 市政モニタリング調査について

市政モニタリング調査は、今年初めて Web 調査を導入しました。

問 66-1　郵送でご回答いただいた方にお尋ねします。郵送で回答いただいた理由を教えてください。（いくつでも○印）無回答　4.5%

1．郵送回答の方が、比較的早く回答できると思ったから	58.2%
2．家のインターネット環境が整っていないから	14.9%
3．Web を使うことに苦手意識があるから	26.9%
4．情報漏洩など、インターネットを経由することに不信感があるから	16.8%
5．回答状況を紙面で振り返って、回答の修正や途中再開をしやすそうだと思ったから	19.2%
6．Web 回答だと、回答を送付したかどうか、わからなくなりそうだと思ったから	5.3%
7．パスワード等の入力が面倒だと感じたから	22.6%
8．その他（具体的に：　　）	7.7%

問 66-1　Web でご回答いただいた方にお尋ねします。Web で回答いただいた理由を教えてください。（いくつでも○印）無回答　0.6%

1．Web 回答の方が、比較的早く回答できると思ったから	90.1%
2．電車での移動中など、どこにいても回答ができると思ったから	15.2%
3．投函や郵送の手間が省けるからら	78.2%
4．筆記具を用意しなくてもよいから（文字を書かなくてよいから）	36.4%
5．回答の一時保存ができ、途中再開がしやすいと思ったから	12.9%
6．Web 回答がどんなものか見てみたかったから（好奇心があったから）	7.2%
7．郵送回答だと、回答を送付したかどうか、わからなくなりそうだと思ったから	4.7%
8．その他（具体的に：　　）	3.0%

問 67　最後に、この調査に対してご意見・ご感想等がございましたらご記入ください。

（自由記述）

以上で終わりです。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、記入漏れがないかをご確認の上、返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。

令和６年度（2024 年度）
吹田市市政モニタリング調査報告書

令和７年（2025 年）３月

発　行：吹田市　市民部　市民総務室
所在地：〒564-8550
大阪府吹田市泉町１丁目３番 40 号
ＴＥＬ：06-6384-1378（直通）
ＦＡＸ：06-6385-8300